

西東京市

高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第6期）

策定のためのアンケート調査報告書

平成26年3月

西東京市

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の種類と対象者	3
2. 各調査の概要	4
(1) 高齢者一般調査.....	4
(2) 若年者一般調査.....	7
(3) 二次予防事業対象者調査.....	10
(4) 介護保険居宅サービス利用者調査.....	13
(5) 介護保険施設サービス利用者調査.....	16
(6) 介護保険サービス未利用者調査.....	18
(7) 介護保険サービス事業者調査.....	20
(8) 介護支援専門員調査.....	22
(9) 在宅医療と介護に関する調査.....	25
(10) 日常生活圏域ニーズ調査.....	28
3. 報告書を利用するにあたって	30
第2章 各調査の結果	31
1. 高齢者一般調査	33
(1) 基本属性.....	33
(2) 住まい方.....	41
(3) 生きがい.....	45
(4) 認知症についての意識.....	49
(5) 健康管理.....	52
(6) 医療の状況と介護予防.....	55
(7) 介護の経験と高齢者虐待.....	62
(8) 介護保険制度.....	65
(9) 高齢者保健福祉サービス、介護保険制度への意見・要望.....	68
2. 若年者一般調査	71
(1) 基本属性.....	71
(2) 地域とのかかわり.....	76
(3) 住まい方.....	81
(4) 生きがい.....	85
(5) 健康管理.....	88
(6) 介護の経験と介護予防、保健福祉サービス.....	93
(7) 介護保険制度.....	104
(8) 高齢者保健福祉サービス、介護保険制度への意見・要望.....	106
3. 二次予防事業対象者調査	109
(1) 基本属性.....	109
(2) 日ごろの悩みや困ったこと.....	115

(3) 生きがい	119
(4) 健康管理	122
(5) 介護予防事業の利用、評価、意向	129
(6) 市の介護保険・保健福祉サービス	138
(7) 介護保険制度	143
(8) 高齢者保健福祉サービス、介護保険制度への意見・要望	146
4. 介護保険居宅サービス利用者調査	147
(1) 基本属性	147
(2) 医療の状況	153
(3) 介護保険の利用	157
(4) 介護保険サービスの利用	161
(5) サービスの要望や苦情	169
(6) 介護保険制度	171
(7) 権利擁護	173
(8) 今後の過ごし方	174
(9) 市への要望	176
(10) 介護者の状況	178
5. 介護保険施設サービス利用者調査	187
(1) 基本属性	187
(2) 施設サービスの利用	190
(3) サービスの要望や苦情	195
(4) 今後の過ごし方	197
(5) 市への要望	200
6. 介護保険サービス未利用者調査	203
(1) 基本属性	203
(2) 要介護認定と介護保険サービス	208
(3) 日ごろの悩みや困ったこと	213
(4) 医療の状況	214
(5) 介護保険サービスの利用	218
(6) 市の介護保険・保健福祉サービス	220
(7) 今後の過ごし方	224
(8) 市への要望	225
(9) 介護者の状況	227
7. 介護保険サービス事業者調査	233
(1) 基本属性	233
(2) 収支の状況	237
(3) 事業運営	239
(4) 苦情の内容	241
(5) サービスの質の向上	242
(6) 今後の運営方針	244
(7) 地域包括支援センター	247
(8) 市への要望	249
8. 介護支援専門員調査	253
(1) 基本属性	253
(2) 所属事業所について	255

(3) ケアマネジメントについて	259
(4) 介護保険外サービス	269
(5) スキルアップ	274
(6) 医療と介護の連携の状況	276
(7) 保険者に対する意見と期待	280
9. 在宅医療と介護に関する調査	285
(1) 基本属性	285
(2) 主な介護者の状況	288
(3) 在宅療養生活について	290
(4) 退院支援	301
(5) 訪問診療（往診）医療機関について	302
(6) 医療と介護の連携について	304
(7) 今後の療養生活について	306
(8) 介護の負担感	310
(9) 医療や介護サービスへの意見・要望	312
10. 日常生活圏域ニーズ調査	313
(1) 基本属性	313
(2) 介護・介助の状況	317
(3) 生活の状況	319
(4) 住まい	320
(5) 生活機能について	322
(6) 日常生活について	340
(7) 社会参加について	344
(8) 高齢者保健福祉サービス、介護保険制度への意見・要望	350
資料 使用した調査票	353

第1章

調査の概要

1. 調査の種類と対象者

本調査では、以下の10種類の調査を実施している。

■調査の種類と対象者

調査種別	対象者	対象数
①高齢者一般調査	市内の介護保険第1号被保険者（二次予防事業対象者、要支援・要介護認定者を除く）	3,000人
②若年者一般調査	市内在住の55歳～64歳の人（要支援・要介護認定者を除く）	1,500人
③二次予防事業対象者調査	市内在住の第1号被保険者で二次予防事業対象者の人	200人
④介護保険居宅サービス利用者調査	市の要支援・要介護認定を受けている人のうち、居宅サービスを利用している人	1,500人
⑤介護保険施設サービス利用者調査	市の要支援・要介護認定を受けている人のうち、介護保険施設、認知症対応型共同生活介護（認知症高齢者グループホーム）、有料老人ホーム等に入所されている人	500人
⑥介護保険サービス未利用者調査	市の要支援・要介護認定を受けている人のうち、介護保険サービスを利用していない人	500人
⑦介護保険サービス事業者調査	西東京市介護保険連絡協議会参加事業者および市内地域包括支援センター	150事業所
⑧介護支援専門員調査	西東京市介護保険連絡協議会参加事業者の介護支援専門員	120人
⑨在宅医療と介護に関する調査	市の要介護認定を受けている人のうち、平成25年11月に介護保険の訪問看護を利用していた40歳以上の市内在住者	300人
⑩日常生活圏域ニーズ調査	市内在住の65歳以上の人	1,200人
		8,970件

2. 各調査の概要

(1) 高齢者一般調査

① 調査の目的

生きがいづくりや地域活動意向、介護予防等について把握し、高齢者保健福祉施策を検討するための資料とする。

② 調査対象

市内の介護保険第1号被保険者（二次予防事業対象者、要支援・要介護認定者を除く）3,000人

③ 調査方法

郵送配布・郵送回収（礼状督促1回送付）

④ 調査時期

平成26年2月10日～2月24日

⑤ 回収結果

配布数 A	回収数 B	回収率 C (B/A)	有効回収数 D	有効回収率 E (D/A)
3,000	2,046	68.2%	2,039	68.0%

⑥ 調査項目

調査項目	問番号	設問
A 基本属性	—	調査できない理由
	問1	記入者
	問2	性別
	問3	年齢
	問4	居住地区
	問5	居住形態
	問6	主に生活している階数
	問7	エレベーターの有無
	問8	住まいで困っていること
	問9	同居家族
	付問	夫婦ふたり暮らしの人の配偶者の年齢
	問10	収入の有無
	問11	年間の世帯収入
問12	困りごとの相談先	
問13	参加できる地域活動	
B 住まい方	問14	西東京市への居留意向
	付問1	住み続けたい理由
	付問2	転出したい理由
	問15	高齢期に向けた建て替え、リフォームの予定
	問16	自宅以外に住まう場合の支出可能な居住費用
	問17	安心して暮らすために必要な生活支援サービス
問18	住み続けるために必要な交通手段や移動手段	
C 生きがい	問19	継続して行っていること
	問20	今後行いたいこと
	問21	高齢者の生きがいづくりで市に力を入れてほしいこと
	問22	現在の悩みや不安
問23	外出頻度	
D 認知症についての意識	問24	認知症に対する不安の有無
	問25	認知症になった場合に心配なこと
	問26	認知症になった場合の相談先
	問27	認知症サポーターについての認知度
	問28	認知症サポーターについての関心度
問29	認知症になっても暮らしていけるためのまちづくりがあるとよいこと	
E 健康管理	問30	主観的健康感
	問31	体調を維持するために行っていることの有無
	付問1	体調を維持するために行っていること
付問2	健康な生活を送るために市から支援してほしいこと	

第1章 調査の概要

調査項目	問番号	設問
F 医療の状況と介護 予防	問 32	治療中の病気の有無
	付問	受診している医療機関の数と診療科
	問 33	かかりつけ医のイメージ
	問 34	かかりつけ医・歯科医・薬局の有無
	問 35	長期療養が必要になった場合の自宅での療養希望
	付問 1	在宅での療養の実現可能性
	付問 2	自宅での療養の実現が難しいと思う理由
	問 36	健康維持のために利用している場所と、今後の利用意向
	問 37	今後利用したい介護予防サービス
	問 38	市が取り組むべき介護保険・保健福祉サービス
問 39	福祉に関する情報の希望する入手方法	
G 介護の経験と高齢 者虐待	問 40	中心となって面倒をみている両親や親せきの有無
	付問 1	面倒をみている形
	付問 2	面倒をみていくうえで困っていることの有無
	問 41	高齢者虐待だと思うこと
	問 42	高齢者虐待に気づいたことの有無
	問 43	高齢者虐待の通報先や相談先の認知
問 44	高齢者虐待が起きる理由や背景だと思うこと	
H 介護保険制度	問 45	地域包括支援センターの認知
	付問 1	地域包括支援センターの場所の認知
	付問 2	地域包括支援センターの事業内容の認知
	問 46	介護が必要になった場合に生活したい場所
	問 47	介護保険制度をよりよくするために市が力を入れるべきこと
I 市への要望	問 48	市への意見・要望<自由回答>

(2) 若年者一般調査

① 調査の目的

若年者一般世代（55～64歳）の生きがいづくりや地域活動意向、介護予防等について把握し、市の将来の高齢者保健福祉施策を検討するための資料とする。

② 調査対象

市内在住の55～64歳の人（要支援・要介護認定者を除く） 1,500人

③ 調査方法

郵送配布・郵送回収（礼状督促1回送付）

④ 調査時期

平成26年2月10日～2月24日

⑤ 回収結果

配布数 A	回収数 B	回収率 C (B/A)	有効回収数 D	有効回収率 E (D/A)
1,500	777	51.8%	775	51.7%

⑥ 調査項目

調査項目	問番号	設問
A 基本属性	—	調査できない理由
	問1	記入者
	問2	性別
	問3	年齢
	問4	居住地区
	問5	居住形態
	問6	主に生活している階数
	問7	エレベーターの有無
	問8	住まいで困っていること
	問9	同居家族
	問10	収入の有無
B 地域とのかかわり	問11	年間の世帯収入
	問12	近所づきあいの程度
	問13	地域の行事や活動の参加頻度
	付問1	地域の行事や活動の具体的内容〈自由回答〉
	付問2	地域の活動に参加している理由
	問14	参加できる地域活動
	問15	ボランティア活動の必要性
	問16	ボランティア活動やコミュニティビジネスへの意向
問17	地域活動に参加できる地域の範囲	
C 住まい方	問18	西東京市への居留意向
	付問1	住み続けたい理由
	付問2	転出したい理由
	問19	高齢期に向けた建て替え、リフォームの予定
	問20	自宅以外に住まう場合の支出可能な居住費用
	問21	安心して暮らすために必要な生活支援サービス
	問22	住み続けるために必要な交通手段や移動手段
D 生きがい	問23	継続して行っていること
	問24	今後行いたいこと
	問25	現在の悩みや不安
E 健康管理	問26	主観的健康感
	問27	体調を維持するために行っていることの有無
	付問	体調を維持するために行っていること
	問28	健康維持等のために知りたい情報
	問29	治療中の病気の有無
	付問	受診している医療機関の数と診療科
	問30	かかりつけ医・歯科医・薬局の有無
	問31	長期療養が必要になった場合の自宅での療養希望
	付問1	自宅での療養の実現可能性
	付問2	自宅での療養の実現が難しいと思う理由
	問32	将来の健康への不安

調査項目	問番号	設問
F 介護の経験や介護 予防、保険福祉サ ービスについて	問 33	中心となって面倒をみている両親や親せきの有無
	付問 1	面倒をみている形
	付問 2	面倒をみていくうえで困っていることの有無
	問 34	認知症介護で大変だったこと
	問 35	認知症になった場合に、財産管理で心配なこと
	問 36	認知症になっても暮らしていけるためのまちづくりにあるとよいこと
	問 37	認知症サポーターについての認知度
	問 38	認知症サポーターについての関心度
	問 39	認知症と認知症予防について知りたいこと、参加したいこと
	問 40	今後利用したい介護予防サービス
	問 41	市が取り組むべき介護保険・保健福祉サービス
	問 42	福祉に関する情報の希望する入手方法
G 介護保険制度	問 43	介護が必要になった場合に過ごしたい場所
	問 44	介護保険制度をよりよくするために市が力を入れるべきこと
H 市への要望	問 45	市への意見・要望〈自由回答〉

(3) 二次予防事業対象者調査

① 調査の目的

二次予防事業対象者の状況を把握するとともに、介護予防事業の利用状況、評価、意向を把握し、介護予防事業の今後の方向性を検討する。

② 調査対象

市内に居住する第1号被保険者で、平成25年度の生活機能評価を受診した人のうち、医師により生活機能の低下があると判定された二次予防事業対象者（要支援・要介護認定者を除く） 200人

③ 調査方法

郵送配布・郵送回収（礼状督促1回送付）

④ 調査時期

平成26年2月10日～2月24日

⑤ 回収結果

配布数 A	回収数 B	回収率 C (B/A)	有効回収数 D	有効回収率 E (D/A)
200	140	70.0%	140	70.0%

⑥ 調査項目

調査項目	問番号	設問
A 基本属性	—	調査できない理由
	問1	記入者
	問2	性別
	問3	年齢
	問4	居住地区
	問5	居住形態
	問6	主に生活している階数
	問7	エレベーターの有無
	問8	住まいで困っていること
	問9	同居家族
	付問	夫婦ふたり暮らしの人の配偶者の年齢
	問10	収入の有無
問11	年間の世帯収入	
問12	外出頻度	
B 日ごろの悩みや困ったこと	問13	現在の悩みや不安
	問14	日常生活で困っていることの有無
	付問	困っていること
	問15	困りごとの相談先
問16	将来認知症状態になった場合の自分の財産管理で心配なこと	
C 生きがい	問17	継続して行っていること
	問18	今後行いたいこと
	問19	高齢者の生きがいづくりで市に力を入れてほしいこと
D 健康管理	問20	主観的健康感
	問21	体調を維持するために行っていることの有無
	付問	体調を維持するために行っていること
	問22	健康維持のために利用している場所と、今後の利用希望
	問23	治療中の病気の有無
	付問	受診している医療機関の数と診療科
	問24	かかりつけ医・歯科医・薬局の有無
	問25	長期療養が必要になった場合の自宅での療養希望
	付問1	自宅での療養の実現可能性
	付問2	自宅での療養の実現が難しいと思う理由
問26	将来の健康への不安	
E 介護予防事業の利用、評価、意向	問27	介護予防サービスの利用状況
	付問1	利用後の生活や気持ちの変化
	付問2	利用していない理由<自由回答>
	付問3	今後の介護予防サービスの利用意向
	問28	生活機能評価の利用のしやすさ
	付問	利用しにくかった理由
	問29	生活機能評価の結果紹介されたサービス
	問30	紹介されたサービスの利用状況
	付問1	紹介されたサービスを利用した感想
	付問2	取り組みの継続状況
	付問2-1	継続している取り組み
	付問2-2	継続していない理由
	付問3	紹介されたサービスを利用しなかった、利用しよくなかった理由
問31	介護予防に求めること	

第1章 調査の概要

調査項目	問番号	設問
F 市の介護保険・保健福祉サービス	問 32	市が取り組むべき介護保険・保健福祉サービス
	問 33	福祉に関する情報の希望する入手方法
	問 34	地域包括支援センターの認知
	付問 1	地域包括支援センターの場所の認知
	付問 2	地域包括支援センターの事業内容の認知
G 介護保険制度	問 35	介護が必要になった場合に過ごしたい場所
	問 36	介護保険制度をよりよくするために市が力を入れるべきこと
H 市への要望	問 37	市への意見・要望<自由回答>

(4) 介護保険居宅サービス利用者調査

① 調査の目的

在宅で介護を受けながら生活している高齢市民および家族介護者の生活実態を把握するとともに、介護保険サービス、介護予防・生活支援サービスの利用状況および今後の利用意向、家族介護者支援のニーズなどを探る。

② 調査対象

市の要支援・要介護認定を受けている人のうち、介護保険居宅サービスを利用する第1号被保険者1,500人

③ 調査方法

郵送配布・郵送回収（礼状督促1回送付）

④ 調査時期

平成26年2月10日～2月24日

⑤ 回収結果

配布数 A	回収数 B	回収率 C (B/A)	有効回収数 D	有効回収率 E (D/A)
1,500	956	63.7%	933	62.2%

⑥ 調査項目

調査項目	問番号	設 問
A 基本属性	—	調査できない理由
	問1	記入者
	問2	性別
	問3	年齢
	問4	居住地区
	問5	居住形態
	問6	主に生活している階数
	問7	エレベーターの有無
	問8	住まいで困っていること
	問9	同居家族
	付問	夫婦ふたり暮らしの人の配偶者の年齢
問10	要介護度	
B 医療の状況	問11	治療中の病気の有無
	問12	かかりつけ医・歯科医・薬局の有無
	問13	利用している医療の受診形態
	付問1	利用している医療サービス
	付問2	在宅療養を送る上で困っていること
	付問3	今後の在宅での療養生活の継続意向
	付問3-1	在宅療養生活を継続する理由
C 介護保険の利用	問14	介護保険の申請を勧めた人
	問15	ひと月の介護保険サービスの利用料
	問16	利用限度額の超過の有無（付問：限度額以上の理由、限度額以内の理由）
D 介護保険サービスの利用	問17	介護保険サービスの利用状況・利用意向
	問18	「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」「複合型サービス」の利用意向
	問19	介護保険外サービスの利用状況
	付問1	利用している介護保険外サービス
	付問2	介護保険外サービスの利用意向
	問20	介護保険サービス利用後の生活環境の変化
	付問	変化がない、悪くなった理由
	問21	前年からのサービス種類や回数の増減
	問22	介護度が変わったことで困った経験
	付問	困ったこと
	問23	居宅サービス計画への本人や家族の希望の反映
	問24	介護支援専門員に対する満足度
	付問	介護支援専門員に対する不満
	問25	居宅サービスの満足度
	付問	居宅サービスを不満に思う理由
E サービスの要望や苦情	問26	サービスの不満や問題点を伝えた相手
	付問	不満や問題点の改善状況
	問27	事業者を変更した経験
	付問	事業者を変更した理由

調査項目	問番号	設問
F 介護保険制度	問 28	地域包括支援センターの認知
	付問 1	地域包括支援センターの場所の認知
	付問 2	地域包括支援センターの事業内容の認知
G 権利擁護	問 29	成年後見制度の認知状況
	問 30	成年後見制度の利用意向
	問 31	日常生活自立支援事業の認知状況
H 今後の過ごし方	問 32	今後生活したい場所
	問 33	今後希望するサービスや手助け
I 市への要望	問 34	介護保険制度をよりよくするために市が力を入れるべきこと
	問 35	高齢者保健福祉サービスや保険制度について<自由回答>
J 介護者の状況	問 36	介護者の有無
	問 37	主な介護者の性別
	問 38	主な介護者
	問 39	主な介護者の年齢
	問 40	主な介護者の居住場所
	問 41	主な介護者の介護期間
	問 42	1日あたりのお世話・介護時間
	問 43	本人の認知症の診断の有無
	問 44	介護保険利用後の悩みの改善状況
	問 45	介護負担
	問 46	介護で一番困っていること<自由回答>
	問 47	介護者の孤独感
	問 48	虐待
	問 49	介護の負担感
問 50	介護者の支援策で必要なもの	

(5) 介護保険施設サービス利用者調査

① 調査の目的

介護保険施設サービス利用者の入所までの状況や施設での生活・サービスの利用状況を把握し、サービス水準の目標設定やサービスと保険料の妥当性などの検討を行うための参考とする。また在宅で暮らし続けるために必要なことを検討する。

② 調査対象

介護保険施設サービスおよび認知症対応型共同生活介護（認知症高齢者グループホーム）、有料老人ホームを利用する第1号被保険者 500人

③ 調査方法

郵送配布・郵送回収（礼状督促1回送付）

④ 調査時期

平成26年2月10日～2月24日

⑤ 回収結果

配布数 A	回収数 B	回収率 C (B/A)	有効回収数 D	有効回収率 E (D/A)
500	240	48.0%	227	45.4%

⑥ 調査項目

調査項目	問番号	設 問
A 基本属性	—	調査できない理由
	問1	記入者
	問2	性別
	問3	年齢
	問4	要介護度
	問5	入所施設の種類
	問6	入所期間
	問7	家族の有無
	付問	家族の面会頻度
B 施設サービスの利用	問8	入所している部屋
	問9	個室の希望
	問10	入所している施設の評価
	問11	施設に改善してほしいこと
	問12	施設を利用する際に作成した施設サービス計画（ケアプラン）の認知
	付問	施設サービス計画（ケアプラン）の満足度
	問13	施設利用料の負担感
問14	現在の施設での全般的な生活の評価	
C サービスの要望や苦情	問15	サービスの不満や問題点を伝えた相手
	付問1	不満や問題点の改善状況
	付問2	不満や問題点の具体的内容
D 今後の過ごし方	問16	今後生活したい場所
	付問1	今後は別の施設で過ごしたい人が希望する施設の種類の種類
	付問2	今後は自宅で過ごしたい人が希望する介護保険サービス
	問17	退所後の帰宅先
	問18	帰宅先の住所
問19	帰宅するにあたって問題となること	
E 市への要望	問20	介護保険制度をよりよくするために市が力を入れるべきこと
	問21	市への意見・要望＜自由回答＞

(6) 介護保険サービス未利用者調査

① 調査の目的

介護保険サービス未利用者の未利用であった理由と、今後の利用意向などを把握し、適正なサービス利用につなげる方策を検討するための資料とする。

② 調査対象

市の要支援・要介護認定を受けている人のうち、介護保険サービスの未利用者 500人

③ 調査方法

郵送配布・郵送回収（礼状督促1回送付）

④ 調査時期

平成26年2月10日～2月24日

⑤ 回収結果

配布数 A	回収数 B	回収率 C (B/A)	有効回収数 D	有効回収率 E (D/A)
500	289	57.8%	260	52.0%

⑥ 調査項目

調査項目	問番号	設問
A 基本属性	—	調査できない理由
	問1	記入者
	問2	性別
	問3	年齢
	問4	居住地区
	問5	居住形態
	問6	主に生活している階数
	問7	エレベーターの有無
	問8	住まいで困っていること
	問9	同居家族
	付問	夫婦ふたり暮らしの人の配偶者の年齢
B 要介護認定と介護 保険サービス	問10	要介護度
	問11	要介護認定の申請
	問12	要介護認定を申請した理由<自由回答>
	問13	介護保険サービスを利用していない理由
	問14	介護等の状況
C 日常生活の困りごと	問15	日常生活で困っていることの有無
	付問	困っていること
D 医療の状況	問16	治療中の病気の有無
	問17	かかりつけ医・歯科医・薬局の有無
	問18	医療の受診形態
	付問1	利用している医療サービス
	付問2	在宅療養を送るうえで困っていること
	付問3	今後の在宅療養生活の継続意向
	付問3-1	在宅療養生活を継続する理由
E 介護保険	問19	介護保険サービス認知状況と利用意向があるサービス
F 市の介護保険・保 健福祉サービス	問20	市が取り組むべき介護保険・保健福祉サービス
	問21	地域包括支援センターの認知
	付問1	地域包括支援センターの場所の認知
	付問2	地域包括支援センターの事業内容の認知
G 今後の過ごし方	問22	今後生活したい場所
H 市への要望	問23	介護保険制度をよりよくするために市が力を入れるべきこと
	問24	市への意見・要望<自由回答>
I 介護者の状況	問25	介護者の有無
	問26	主な介護者の性別
	問27	主な介護者
	問28	主な介護者の年齢
	問29	主な介護者の居住場所
	問30	主な介護者の介護期間
	問31	1日あたりのお世話・介護時間
	問32	本人の認知症の診断の有無
	問33	介護負担
	問34	介護で一番困っていること<自由回答>
	問35	介護者の孤独感
	問36	虐待
	問37	介護者の支援策で必要なこと

(7) 介護保険サービス事業者調査

① 調査の目的

市内で提供している介護サービス事業の状況や、今後の事業展開、事業課題、市への意見や要望等を把握し、介護保険制度の適切な運営に向けた方策を検討するための参考とする。

② 調査対象

西東京市介護保険連絡協議会参加事業者および市内地域包括支援センター 150 事業所

③ 調査方法

郵送配布・郵送回収（礼状督促1回送付）

④ 調査時期

平成26年2月10日～2月24日

⑤ 回収結果

配布数 A	回収数 B	回収率 C (B/A)	有効回収数 D	有効回収率 E (D/A)
150	90	60.0%	90	60.0%

⑥ 調査項目

調査項目	問番号	設問
A 基本属性	問1	組織形態
	問2	所在地
	問3	提供しているサービス (1) 介護サービス (2) 予防サービス
	問4	利用者数
B 収支の状況	問5	収支の状況
	問6	収支についての当初の見込みとの比較
	付問1	上回った理由
	付問2	下回った理由
C 事業運営	問7	平成24年度の報酬改定による利用者への影響
	問8	職員のキャリア支援 (1) 事業所内での講習会・研修 (2) 外部の研修や事例検討、勉強会
	問9	円滑な事業運営のために困難に感じていること
D 苦情の内容	問10	苦情の内容
E サービスの質の向上	問11	第三者評価の実施予定
	付問1	実施した時期
	付問2	実施予定がない理由
	問12	事業所で課題として挙げられること・今後取り組むこと
F 今後の運営方針	問13	今後の事業拡大
	付問	事業規模の縮小を考えている理由
	問14	地域密着型サービスの事業拡大や新規参入意向
	問15	平成27年度の介護保険制度の改正による経営への影響予想
G 地域包括支援センター	問16	地域包括支援センターの機能に対する評価
	付問	回答の理由、要望
H 市への要望	問17	事業者として西東京市に望むこと
	問18	介護保険制度をよりよくするために市が力を入れるべきこと
	問19	介護保険制度に関する要望<自由回答>

(8) 介護支援専門員調査

① 調査の目的

市内に事業所を設置し、市内在住の高齢者の居宅介護計画（ケアプラン）を作成している介護支援専門員の業務状況や介護保険・保険外サービスの状況、業務全般の考えや医療と介護の連携の状況等を把握し、今後のケアマネジメントや介護保険サービスの充実に役立てるための参考とする。また、研修参加等のスキルアップの状況や意向を把握し、介護支援専門員への支援策の充実に役立てる。

② 調査対象

西東京市介護保険連絡協議会参加事業者の介護支援専門員 120人

③ 調査方法

郵送配布・郵送回収（礼状督促1回送付）

④ 調査時期

平成26年2月10日～2月24日

⑤ 回収結果

配布数 A	回収数 B	回収率 C (B/A)	有効回収数 D	有効回収率 E (D/A)
120	73	60.8%	73	60.8%

⑥ 調査項目

調査項目	問番号	設 問
A 基本属性	問1	性別
	問2	年齢
	問3	勤務形態（常勤・非常勤）
	問4	介護支援専門員としての経験年数
	問5	介護支援専門員以外に持っている資格
B 所属事業所について	問6	所属事業所の組織
	問7	サービス事業所併設の有無
	付問	併設事業所の介護保険サービス事業の内容
	問8	特定事業所加算の取得状況
	問9	西東京市の利用者の割合
	問10	事業所内での西東京市を中心に活動している介護支援専門員の数
B ケアマネジメントと介護保険サービス	問11	事業所内の主任介護支援専門員の数
	問12	ケアマネジメントをする上で困難に感じること
	付問	相談しにくい理由<自由回答>
	問13	ケアプラン作成が困難と感じるケースの担当経験
	付問	ケアプラン作成が困難と感じるケースの内容
	問14	困難と感じるケースの対応方法
	問15	担当している要支援認定者の有無
	問16	「要支援」のほうが「要介護」より困難だと感じることの有無
	付問	「要支援」が困難だと感じたとき
	問17	ケアプラン作成時に不足して困ったサービス （1）介護給付サービス（2）予防給付サービス
	問18	支給限度額の幅を広げる必要性を感じたことの有無
	付問	支給限度額の幅を広げる必要性を感じる時
	問19	住宅改修事業者を選ぶ際の行動
	問20	ケアプランの作成以外の業務
	問21	業務で最も負担に感じること
問22	地域包括支援センターの評価	
付問	役立っていると思わない理由<自由回答>	
問23	地域包括支援センターに期待すること	
C 介護保険外サービス	問24	ケアプランへの介護保険外サービスの追加経験
	付問1	追加した経験がある市の高齢者サービスの内容
	付問2	追加した経験がある市の高齢者サービス以外のサービスの内容
	付問3	保険外サービスを加えるにあたって困難に感じたこと
	付問4	保険外サービスを加えたことがない理由
	問25	近隣の居住者の支援を受けている利用者の有無
	問26	今後の保険外サービスのケアプランへの追加意向
	問27	保険外サービス充実のために必要なこと<自由回答>
D スキルアップ	問28	この1年での研修・講習会等への参加状況
	付問	研修・講習会等に参加しなかった理由
	問29	今後参加したいと思う研修や講習会
E 医療と介護の連携	問30	在宅療養中の高齢者に対する医療と介護の連携の評価
	付問	連携が不十分であると思う理由
	問31	連携を図る上で良いと思う情報の共有化の進め方<自由回答>
	問32	サービス利用者の情報の関係機関、職種への連絡状況
	問33	高齢者の在宅療養を進めていくうえで不足している機能

調査項目	問番号	設 問
F 保険者に対する意見と期待	問 34	ケアマネジメントを実施する上での保険者との連携の評価
	問 35	「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」「複合型サービス」の必要性
	問 36	西東京市でとくに必要なサービスとその理由<自由回答>
	問 37	介護支援専門員として西東京市に望むこと
	問 38	介護保険制度をよりよくするために市が力を入れるべきこと
	問 39	介護保険に関する要望<自由回答>

(9) 在宅医療と介護に関する調査

① 調査の目的

在宅で療養生活を送っている要介護認定者の在宅療養生活の状況や医療と介護の連携の考え方などを把握し、医療と介護の連携の方策を検討するための参考とする。

② 調査対象

平成 25 年 11 月に介護保険の訪問看護を利用していた 40 歳以上の市内在住の要介護認定者 300 人

③ 調査方法

郵送配布・郵送回収（礼状督促 1 回送付）

④ 調査時期

平成 26 年 2 月 10 日～2 月 24 日

⑤ 回収結果

配布数 A	回収数 B	回収率 C (B/A)	有効回収数 D	有効回収率 E (D/A)
300	183	61.0%	171	57.0%

⑥ 調査項目

調査項目	問番号	設 問
A 基本属性	問 1	現在の生活場所
	問 2	記入者
	問 3	性別
	問 4	年齢
	問 5	居住地区
	問 6	世帯構成
	問 7	要介護度
B 主な介護者の状況	問 8	主な介護者の年齢
	問 9	主な介護者の居住場所
	問 10	主な介護者の介護期間
	問 11	1日あたりのお世話・介護時間
	問 12	主な介護者の健康状態
	問 13	主な介護者の要介護認定の状況
C 調査対象者の在宅療養生活	問 14	療養が必要になった主な原因
	問 15	受けている医療処置
	問 16	在宅療養についての地域包括支援センターへの相談の有無
	問 17	体調急変時の連絡先
	付問	かかりつけ医のイメージ
	問 18	在宅療養を送るうえで困っていること
	問 19	主な介護保険サービスの利用状況と利用していない理由 (ア) 訪問看護 (イ) 訪問介護 (ウ) 通所介護 (エ) 短期入所生活介護 (オ) 小規模多機能型居宅介護
	問 20	医療の受診形態
	問 21	在宅医療を受けている期間
	問 22	在宅医療を受ける前の状況
	問 23	1か月あたりの訪問診療（往診）回数
	問 24	往診医師の診療科
	問 25	在宅医療に対する満足度
	問 26	1か月あたりの通院回数
	問 27	通院時の移動方法
	問 28	通院している診療科
	問 29	通院している理由
	問 30	今後の在宅医療の利用希望
	付問 1	在宅医療の希望理由
	付問 2	在宅医療を希望しない理由
D 退院支援	問 31	入院先病院からの退院支援の有無
	問 32	退院支援援助に対する満足度
E 訪問診療（往診） 医療機関	問 33	医療機関をどのように見つけたか
	問 34	在宅療養支援診療所かどうか
	問 35	行う医療行為
F 医療と介護の連携	問 36	医療機関と介護サービス事業者の連携の状況
	付問	連携していないと思う理由
	問 37	医療機関と介護サービス事業者の連携を図るため中心になるべき人
G 今後の療養生活	問 38	在宅での療養生活を継続するために希望すること
	問 39	今後希望する療養生活の場所
	問 40	希望する最期を迎えたい場所
	付問	自宅で最期を迎えられない理由

調査項目	問番号	設問
H 介護の負担感	問 41	介護負担の状況
	問 42	介護の負担感
I 市への要望	問 43	在宅療養者の医療や介護サービスについての意見・要望等〈自由回答〉

(10) 日常生活圏域ニーズ調査

① 調査の目的

国が示した日常生活圏域ニーズ調査を利用し、市内在住の65歳以上の高齢者の家族や生活状況、身体状況や外出の状況、転倒予防の状況等を把握し、二次予防の必要がある対象者を抽出するとともに、生活支援の必要性等を検討するための参考とする。

② 調査対象

市内に居住する65歳以上の人 1,200人

③ 調査方法

郵送配布・郵送回収（礼状督促1回送付）

④ 調査時期

平成26年2月10日～2月24日

⑤ 回収結果

配布数 A	回収数 B	回収率 C (B/A)	有効回収数 D	有効回収率 E (D/A)
1,200	852	71.0%	848	70.7%

⑥ 調査項目

調査項目	設 問
基本属性	記入日、記入者、年齢、性別、居住地区、要支援・要介護認定
第1 家族や生活状況	家族や生活の状況（家族構成/家族人数/同居家族/日中独居の状況/介護・介助の有無/年金の種類/暮らしの感じ方/就労状況/住居形態/生活している部屋）
第2 運動・閉じこもり	運動・閉じこもり（階段の昇り降り/いすからの立ち上がり/継続歩行/歩行距離/週1回以上の外出/外出回数の減少/外出を控えている理由/外出の頻度/外出する際の移動手段）
第3 転倒予防	転倒予防（過去1年間の転倒の有無/転倒に対する不安の有無/丸くなった背中/歩行速度/杖歩行の有無）
第4 口腔・栄養	口腔・栄養（過去6か月間の体重減少/身長・体重/固いものの食べにくさ/半年前と比べた固いものの食べにくさ/お茶等でむせること/口の渇き/歯磨き習慣/歯科検診の受診状況/歯石除去の状況/入れ歯の有無/入れ歯の噛み合わせ/入れ歯の手入れ）
第5 物忘れ	物忘れ（周りの人から物忘れがあると言われる/電話番号を調べての電話/今日が何月何日かわからないとき/5分前の記憶/その日の活動の判断/自分の考えを人に伝えられる）
第6 日常生活	日常生活（一人での外出/日用品の買い物/食事の用意/請求書の支払い/預貯金の出し入れ/食事/就寝するときの介助/座位/洗面や歯磨き/トイレ/入浴/歩行/階段の昇り降り/着替え/大便・小便の失敗/家事全般）
第7 社会参加	社会参加（書類/新聞/読書/健康についての関心/友人宅への訪問/家族や友人の相談/家族や友人・知人などへの相談/相談相手/病人を見舞うこと/若い人に話しかける/趣味/生きがい/ボランティア活動・地域活動への参加状況/助け合い/相談相手/友人関係）
第8 健康状態	健康状態（健康観/病歴と現在治療している疾患/服薬/通院の状況/在宅サービスの利用状況/充実感/これまで楽しんでやれてきたことが楽しめなくなったこと/以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じる事/自分が役に立つ人間だと思えないとき/疲労感）
要 望	保健福祉や介護保険についての意見・要望（自由回答）

3. 報告書を利用するにあたって

- 図・表中のnとは、基数となる実数のことである。
- 回答はnを100%として百分率で算出している。小数点以下第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が全体を示す数値と一致しないことがある。
- 図・表中の―は回答者が皆無のものである。
- 複数回答ができる質問では、回答比率の合計が100%を超える。
- 質問において、年代別、要介護度別など調査対象者の基本属性を中心としたクロス集計結果の図・表については、基本属性等に「無回答」があるため、全体の示す数値と一致しない。
- 図・表において、回答の選択肢表記を簡略化している場合がある。

第2章

各調査の結果

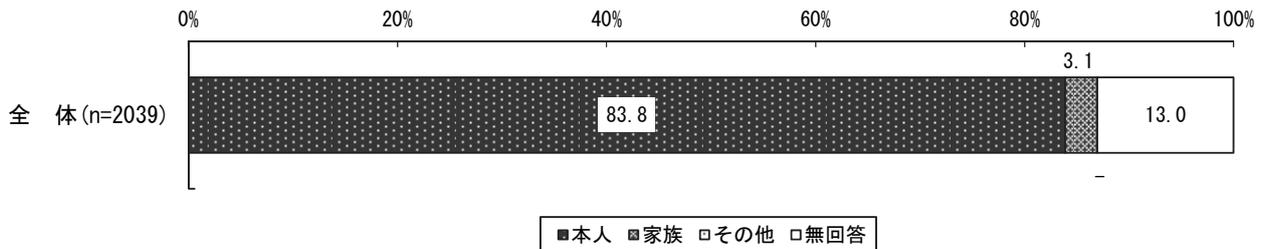
1. 高齢者一般調査

(1) 基本属性

① 調査票の記入者（問1）

調査票の記入者は、「本人」が83.8%、「家族」が3.1%となっている。

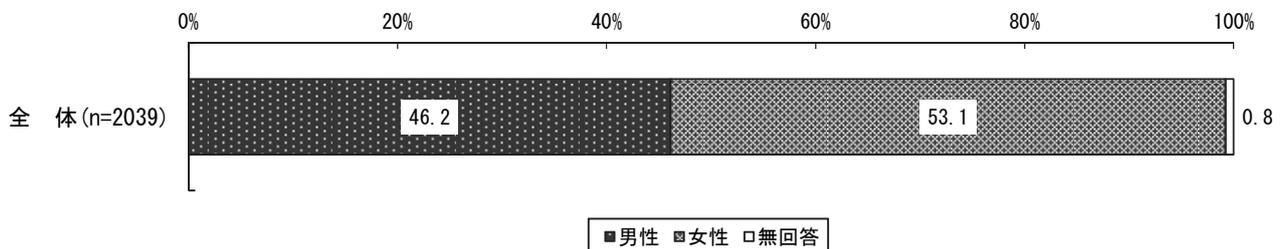
■調査票の記入者



② 性別（問2）

性別は、「男性」が46.2%、「女性」が53.1%となっている。

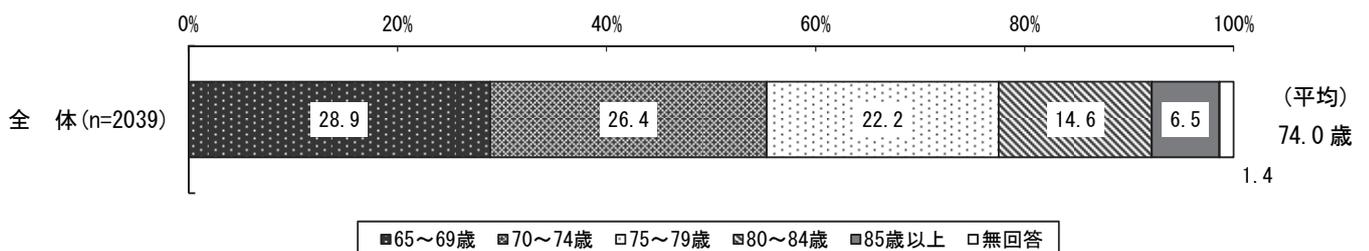
■性別



③ 年齢（問3）

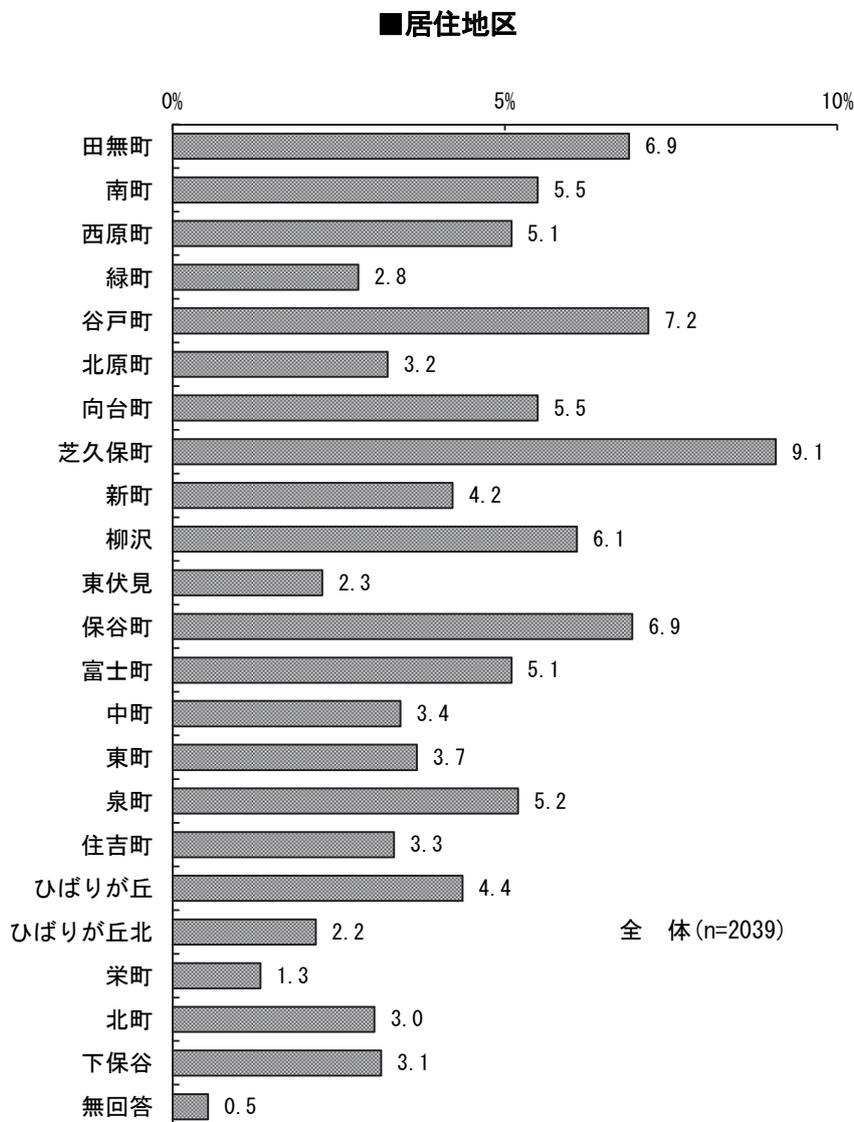
年齢は、「65～69歳」が最も多く28.9%、次いで「70～74歳」（26.4%）、「75～79歳」（22.2%）が続いている。また、前期高齢者は55.3%、後期高齢者は43.3%である。

■年齢



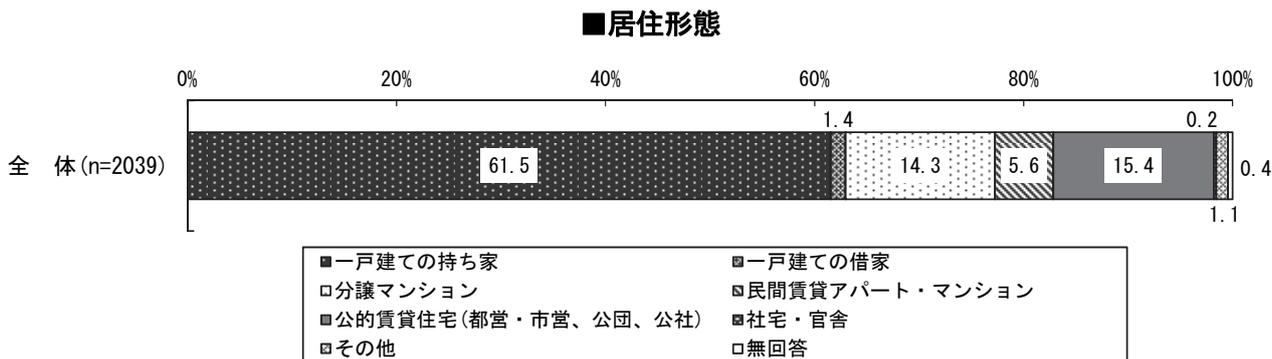
④ 居住地区（問4）

居住地区は、「芝久保町」（9.1%）が最も多く、次いで「谷戸町」（7.2%）、「田無町」「保谷町」（ともに6.9%）が続いている。



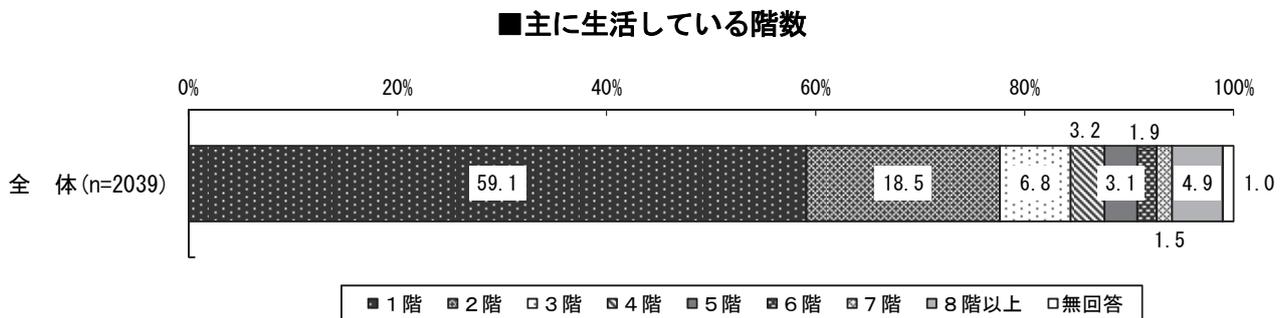
⑤ 居住形態（問5）

居住形態は、「一戸建ての持ち家」が最も多く61.5%、次いで「公的賃貸住宅」（15.4%）、「分譲マンション」（14.3%）が続いている。



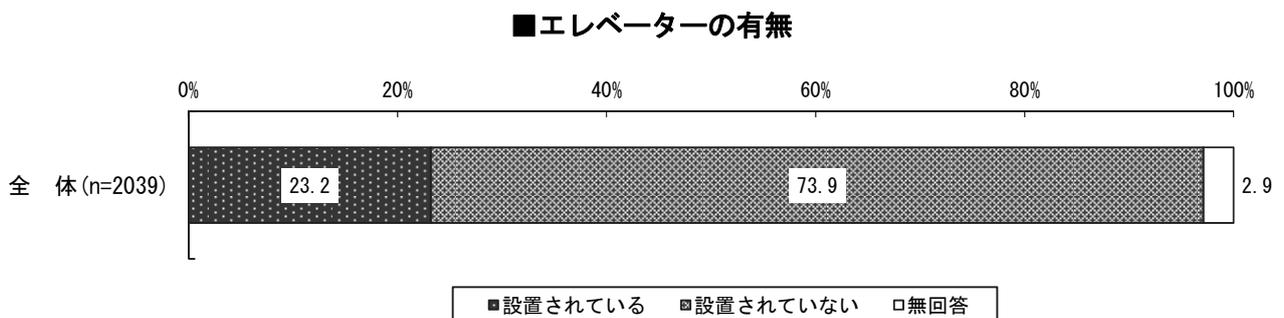
⑥ 主に生活している階数（問6）

主に生活している階数は、「1階」が最も多く59.1%、「2階」(18.5%)、「3階」(6.8%)が続いている。



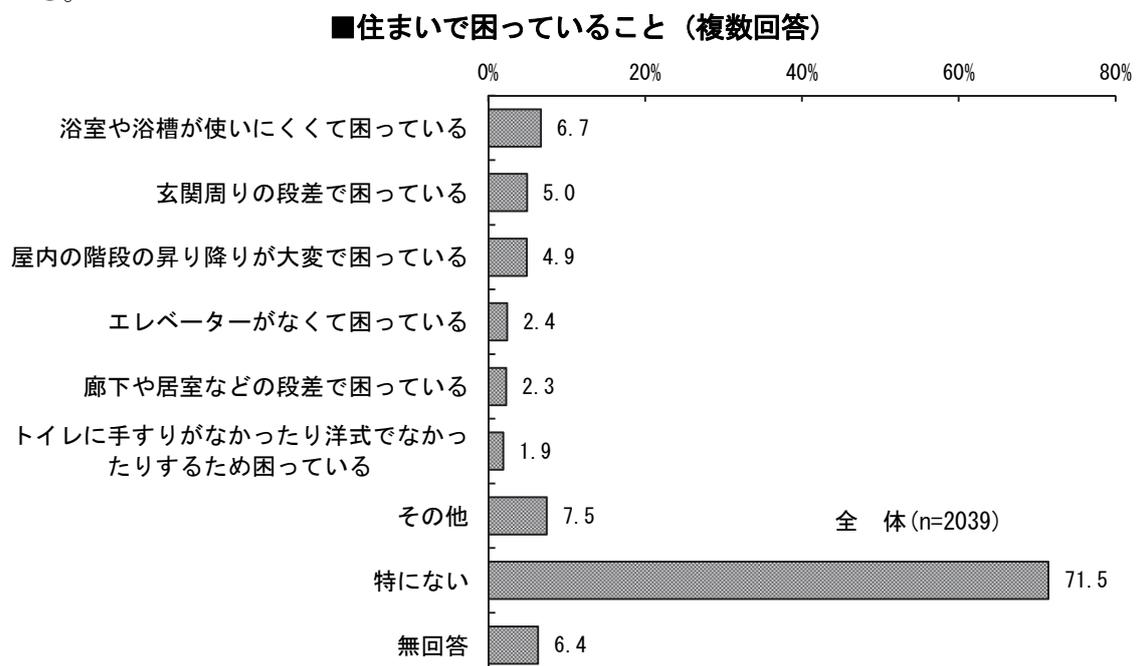
⑦ エレベーターの有無（問7）

エレベーターの有無は、「設置されている」が23.2%、「設置されていない」が73.9%となっている。



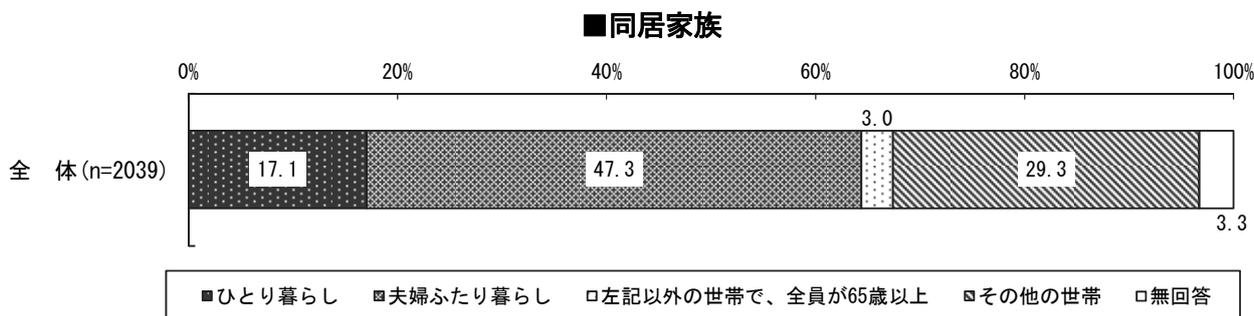
⑧ 住まいで困っていること（問8）

住まいで困っていることは、「浴室や浴槽が使いにくくて困っている」(6.7%)が最も多く、「玄関周りの段差で困っている」(5.0%)、「屋内の階段の昇り降りが大変で困っている」(4.9%)が続いている。



⑨ 同居家族（問9）

同居家族は、「ひとり暮らし」が17.1%、「夫婦ふたり暮らし」が47.3%、「左記以外の世帯で、全員が65歳以上」が3.0%、「その他の世帯」が29.3%となっている。



性・年代別にみると、「ひとり暮らし」は女性の85歳以上で30.2%、女性の75～84歳で28.1%と多くなっている。

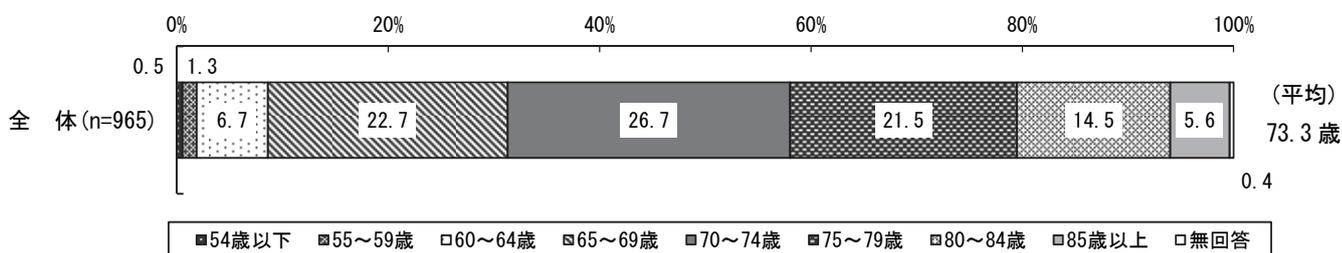
■同居家族（性・年代別）

		（%）				
		ひとり暮らし	夫婦ふたり暮らし	全員の65歳以上	その他の世帯	無回答
男性	男性計 (n=941)	11.3	55.3	2.2	28.6	2.7
	65～74歳 (n=498)	13.1	51.6	3.0	30.9	1.4
	75～84歳 (n=372)	7.8	59.4	1.6	27.2	4.0
	85歳以上 (n=67)	17.9	59.7	-	19.4	3.0
	無回答 (n=4)	-	50.0	-	25.0	25.0
女性	女性計 (n=1082)	22.1	40.8	3.7	30.2	3.2
	65～74歳 (n=627)	17.7	45.8	4.0	29.8	2.7
	75～84歳 (n=377)	28.1	36.6	2.7	29.7	2.9
	85歳以上 (n=63)	30.2	19.0	6.3	36.5	7.9
	無回答 (n=15)	20.0	26.7	6.7	33.3	13.3

⑩ 夫婦ふたり暮らしの人の配偶者の年齢（問9-1）

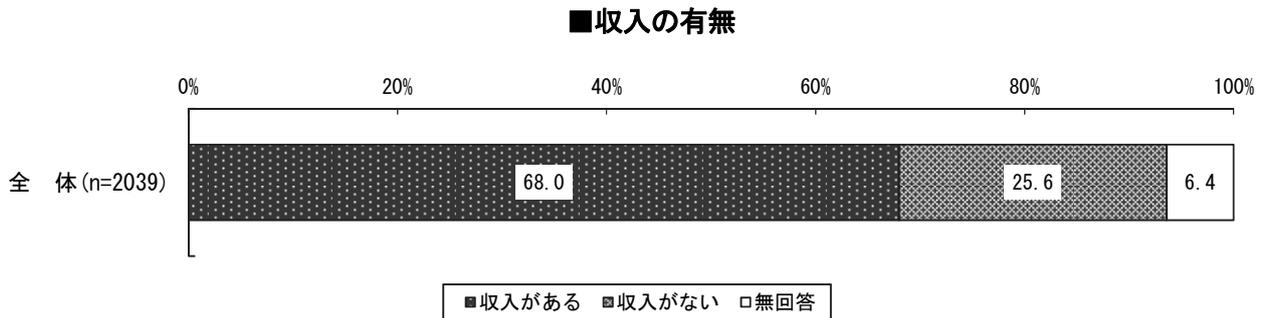
夫婦ふたり暮らしの人の配偶者の年齢は、「70～74歳」が26.7%、「65～69歳」が22.7%、「75～79歳」が21.5%となっている。

**■夫婦ふたり暮らしの人の配偶者の年齢
＜夫婦ふたり暮らしの人＞**



⑪ 収入の有無（問10）

収入の有無は、「収入がある」が68.0%、「収入がない」が25.6%となっている。



⑫ 年間の世帯収入（問11）

年間の世帯収入は、「200万円以上300万円未満」（23.5%）が最も多く、「300万円以上400万円未満」（16.1%）、「120万円以上200万円未満」（13.6%）が続いている。

■年間の世帯収入

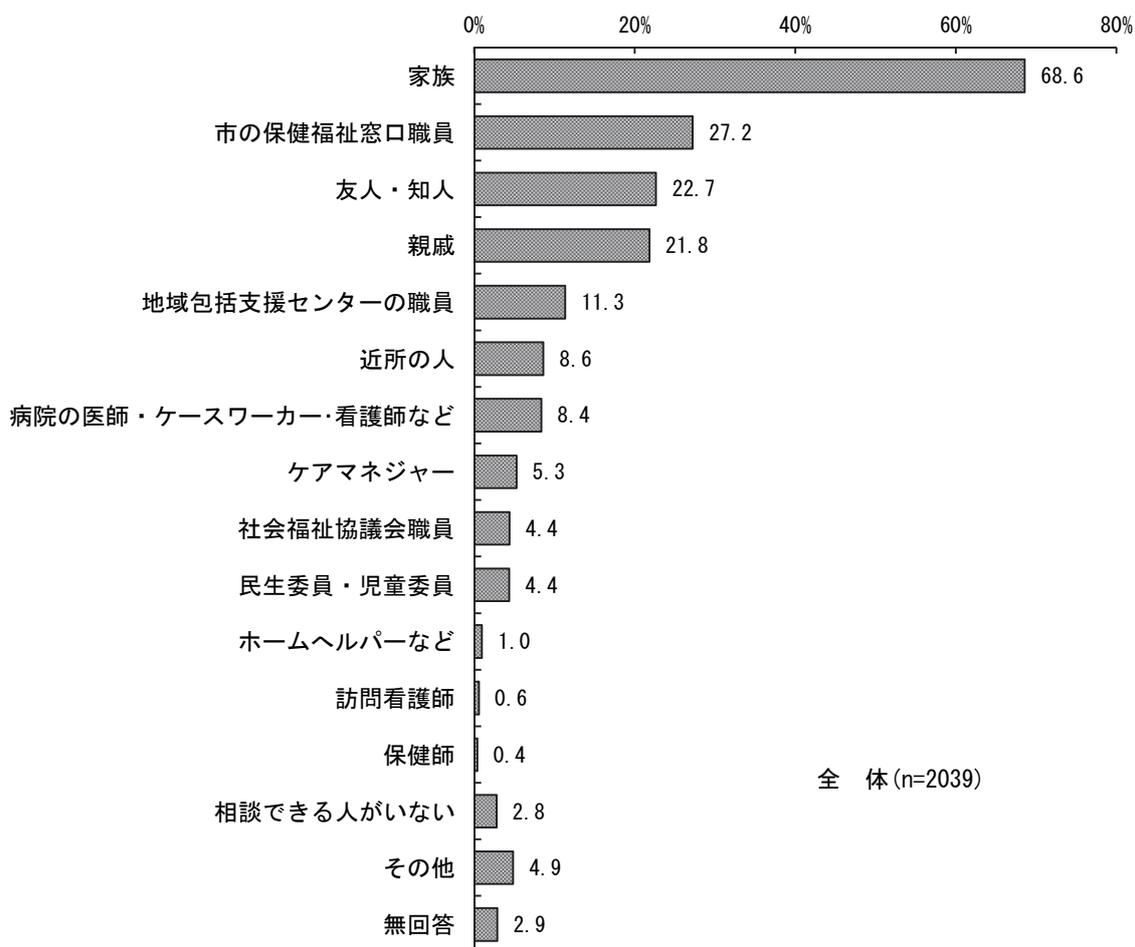
全 体 (n=2039)	(%)
60万円未満	4.5
60万円以上120万円未満	11.4
120万円以上200万円未満	13.6
200万円以上300万円未満	23.5
300万円以上400万円未満	16.1
400万円以上500万円未満	9.2
500万円以上600万円未満	5.3
600万円以上700万円未満	2.1
700万円以上900万円未満	2.1
900万円以上1,000万円未満	0.6
1,000万円以上	2.6
無回答	8.9

⑬ 困りごとの相談先（問12）

困りごとの相談先は、「家族」が最も多く68.6%、「市の保健福祉窓口職員」（27.2%）、「友人・知人」（22.7%）、「親戚」（21.8%）が続いている。

平成23年度調査と比較すると、「市の保健福祉窓口職員」「地域包括支援センターの職員」が増えており、それぞれ7.0ポイント、4.2ポイント高くなっている。

■困りごとの相談先（複数回答）



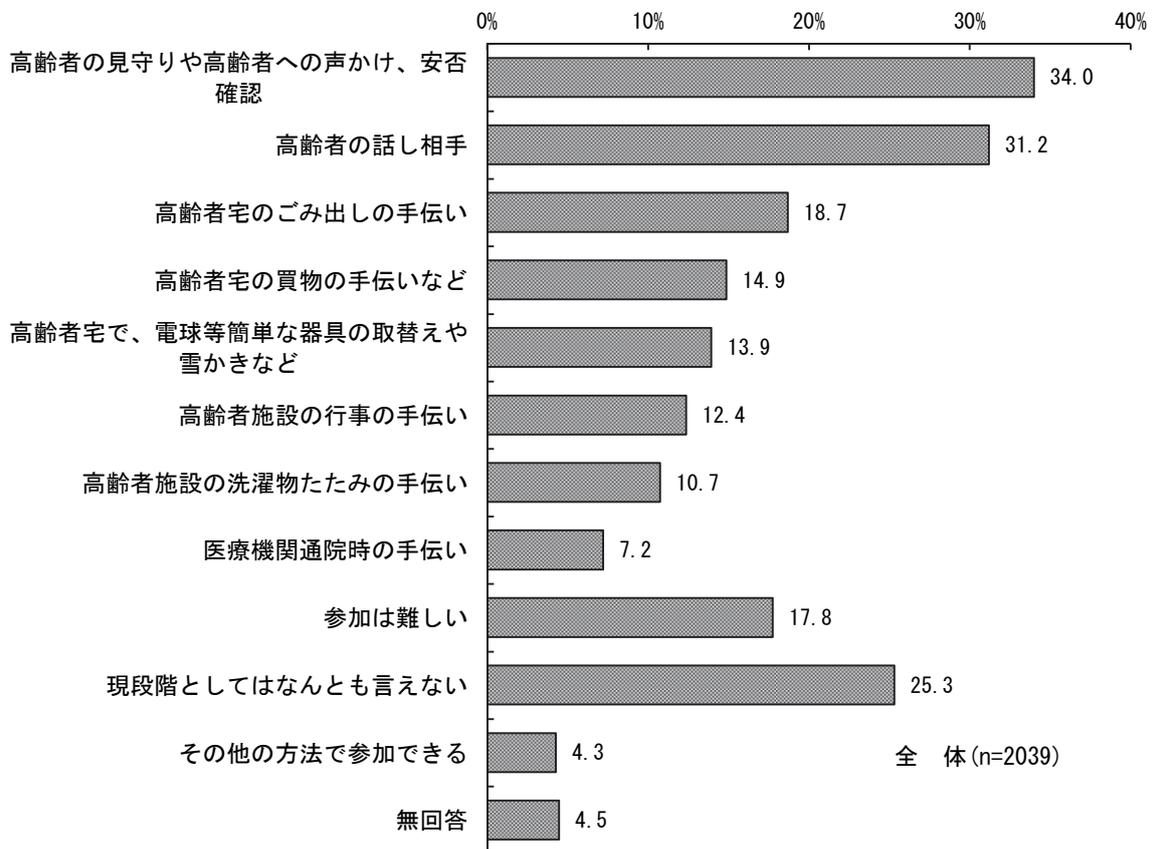
■困りごとの相談先（複数回答）【前回比較】

	家族	市の保健福祉窓口職員	友人・知人	親戚	地域包括支援センターの職員	近所の人	病院の医師・ケースワーカー・看護師など	ケアマネジャー	社会福祉協議会職員	民生委員・児童委員	ホームヘルパーなど	訪問看護師	保健師	相談できる人がいない	その他	無回答
平成25年度調査 (n=2039)	68.6	27.2	22.7	21.8	11.3	8.6	8.4	5.3	4.4	4.4	1.0	0.6	0.4	2.8	4.9	2.9
平成23年度調査 (n=1134)	68.2	20.2	18.8	22.5	7.1	8.0	7.5	3.3	3.3	3.9	0.7	0.4	0.2	3.1	4.2	4.3

⑭ 参加できる地域活動（問13）

参加できる地域活動は、「高齢者の見守りや高齢者への声かけ、安否確認」が最も多く34.0%、「高齢者の話し相手」（31.2%）が続いている。また、「参加は難しい」は17.8%である。

■参加できる地域活動（複数回答）



平成23年度調査と比較すると、「高齢者の見守りや高齢者への声かけ、安否確認」「高齢者宅のごみ出しの手伝い」の割合がそれぞれ5.4ポイント、3.3ポイント高くなっている。反対に「参加は難しい」の割合は4.4ポイント低くなっている。

■参加できる地域活動（複数回答）【前回比較】

	高齢者の見守りや高齢者への声かけ、安否確認	高齢者の話し相手	高齢者宅のごみ出しの手伝い	高齢者宅の買物の手伝いなど	高齢者宅で、電球等簡単な器具の取替えや雪かきなど	高齢者施設の行事の手伝い	高齢者施設の洗濯物たたみの手伝い	医療機関通院時の手伝い	参加は難しい	現段階としてはなんとも言いえない	その他の方法で参加できる	無回答
平成25年度調査 (n=2039)	34.0	31.2	18.7	14.9	13.9	12.4	10.7	7.2	17.8	25.3	4.3	4.5
平成23年度調査 (n=1134)	28.6	29.8	15.4	13.8	12.1	9.8	8.9	6.4	22.2	24.4	3.9	6.3

第2章 各調査の結果

性・年代別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「参加は難しい」の割合が高くなる。反対に年齢が下がるほど「高齢者の見守りや高齢者への声かけ、安否確認」「高齢者宅のごみ出しの手伝い」の割合は高くなっている。

■参加できる地域活動（性・年代別：複数回答）

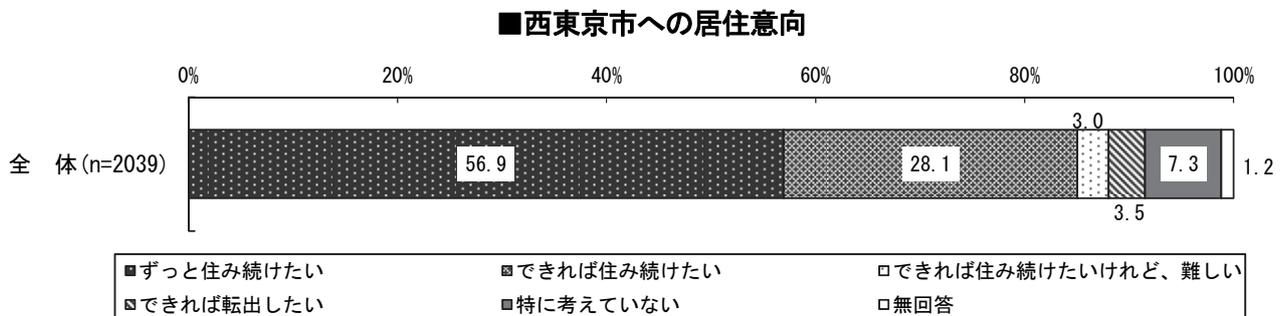
(%)

		高齢者の見守りや高齢者への声かけ、安否確認	高齢者の話し相手	高齢者宅のごみ出しの手伝い	高齢者宅の買物の手伝い	高齢者宅で、電球等簡単な器具の取替えや雪かき	高齢者施設の行事の手伝い	高齢者施設の洗濯物たたみ	医療機関通院時の手伝い	参加は難しい	現段階としてはなんとも	その他の方法で参加できない	無回答
男性	男性 計 (n=941)	33.2	25.4	19.2	14.1	24.4	11.3	3.3	7.7	18.1	28.1	4.1	4.0
	65～74歳 (n=498)	37.1	23.5	21.9	17.9	30.1	12.7	3.2	8.6	14.7	29.1	3.6	2.8
	75～84歳 (n=372)	29.3	29.0	17.2	10.2	19.6	10.2	3.8	6.5	20.4	27.4	4.8	4.8
	85歳以上 (n=67)	23.9	20.9	11.9	6.0	9.0	7.5	1.5	6.0	31.3	23.9	4.5	7.5
	無回答 (n=4)	50.0	-	-	50.0	25.0	-	-	25.0	-	25.0	-	25.0
女性	女性 計 (n=1082)	34.8	36.2	18.3	15.6	4.9	13.3	17.2	6.9	17.5	22.9	4.3	4.7
	65～74歳 (n=627)	39.4	37.5	24.1	20.6	6.9	18.0	21.7	8.9	13.6	23.8	3.7	4.0
	75～84歳 (n=377)	29.7	35.5	11.7	9.5	2.1	7.2	11.4	4.5	21.2	22.5	5.0	5.0
	85歳以上 (n=63)	19.0	31.7	3.2	3.2	3.2	1.6	6.3	1.6	36.5	14.3	6.3	6.3
	無回答 (n=15)	33.3	20.0	6.7	13.3	-	20.0	20.0	6.7	6.7	33.3	6.7	20.0

(2) 住まい方

① 西東京市への居留意向（問14）

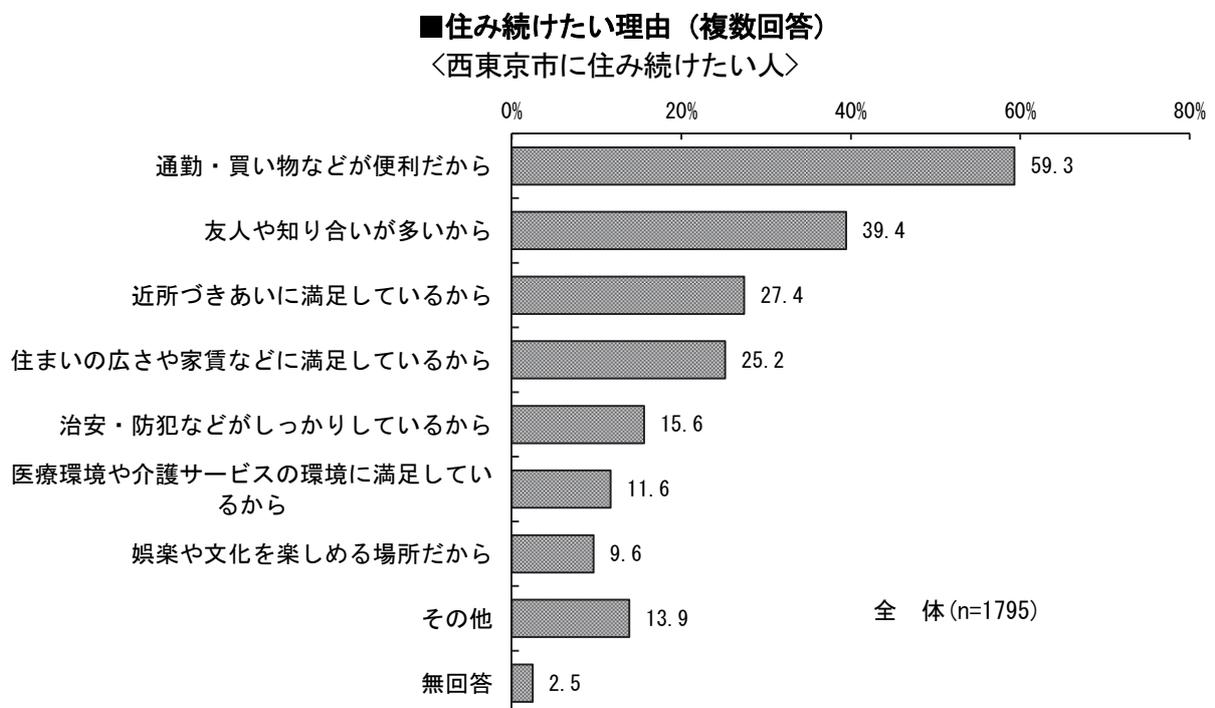
西東京市への居留意向は、「ずっと住みたい」が56.9%、「できれば住みたい」が28.1%、「できれば住みたいけれど、難しい」が3.0%、「できれば転出したい」が3.5%となっている。



② 住みたい理由（問14-1）

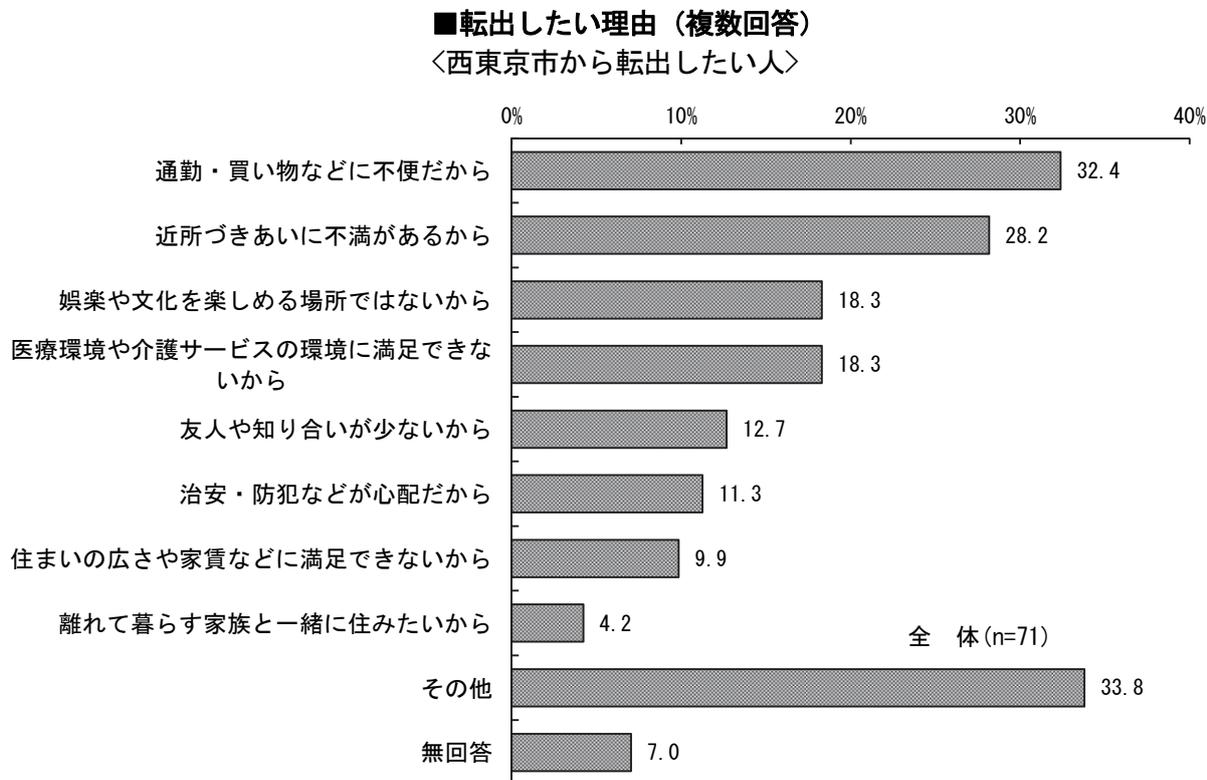
西東京市に住みたいと回答した人（※）に、住みたい理由をたずねたところ、「通勤・買い物などが便利だから」が最も多く59.3%、「友人や知り合いが多いから」（39.4%）、「近所づきあいに満足しているから」（27.4%）、「住まいの広さや家賃などに満足しているから」（25.2%）が続いている。

※ 問14で「ずっと住みたい」「できれば住みたい」「できれば住みたいけれど、難しい」と回答した人



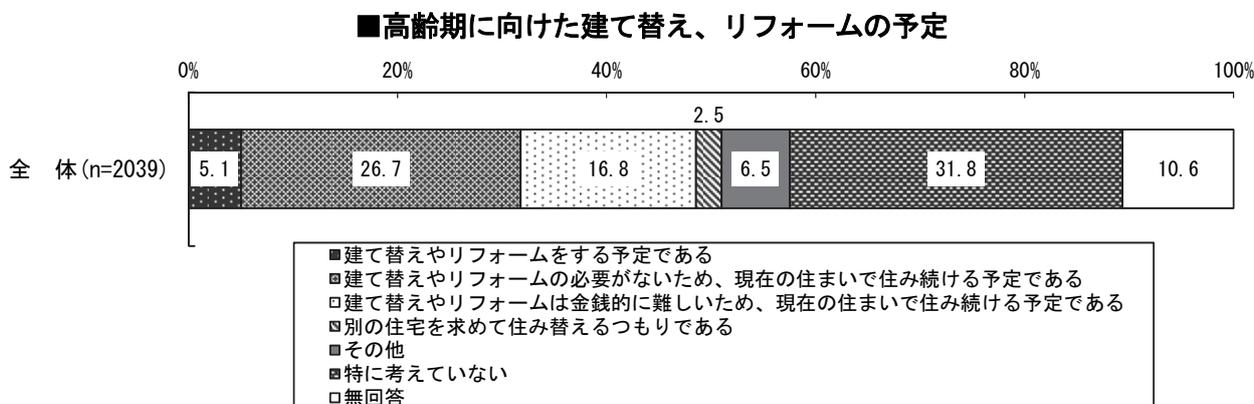
③ 転出したい理由（問14-2）

西東京市から転出したいと回答した人に、転出したい理由をたずねたところ、「通勤・買い物などに不便だから」が最も多く32.4%、「近所づきあいに不満があるから」（28.2%）、「娯楽や文化を楽しめる場所ではないから」「医療環境や介護サービスの環境に満足できないから」（ともに18.3%）が続いている。



④ 高齢期に向けた建て替え、リフォームの予定（問15）

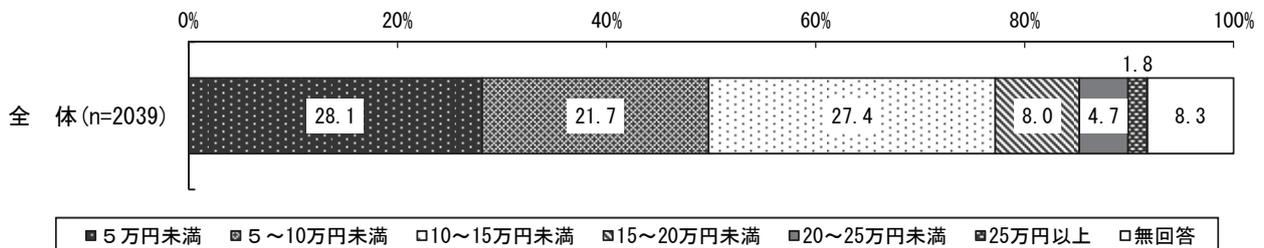
高齢期に向けた建て替え、リフォームの予定は、「建て替えやリフォームをする予定である」が5.1%、「必要がないため、現在の住まいで住み続ける予定である」が26.7%、「金銭的に難しいため、現在の住まいで住み続ける予定である」が16.8%、「別の住宅を求めて住み替えるつもりである」が2.5%となっている。



⑤ 自宅以外に住まう場合の支出可能な居住費用（問16）

自宅以外（サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム、特別養護老人ホーム等）に住むことになった場合に支出できる費用は、「5万円未満」が28.1%と最も多く、「10～15万円未満」が27.4%、「5～10万円未満」が21.7%、「15～20万円未満」が8.0%となっている。

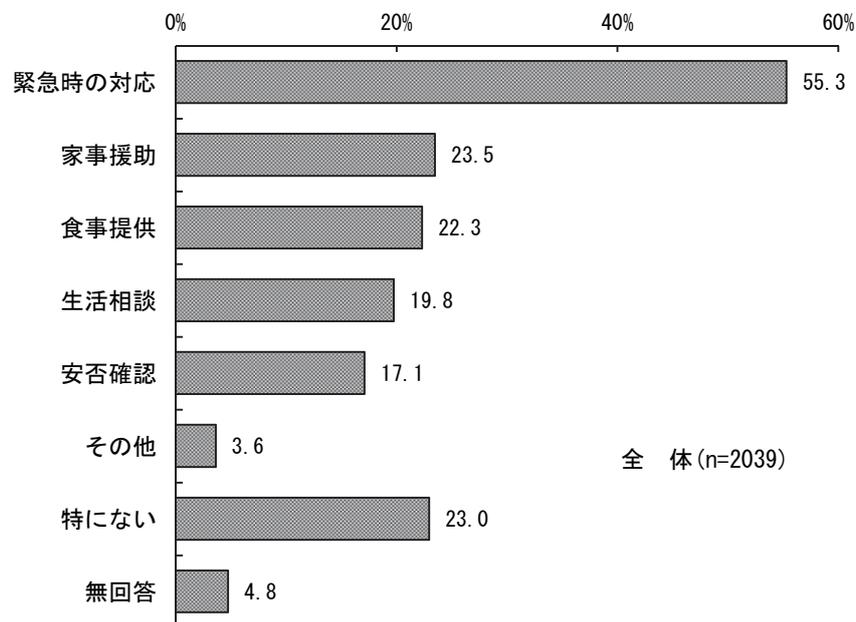
■自宅以外に住まう場合の支出可能な居住費用



⑥ 安心して暮らすために必要な生活支援サービス（問17）

安心して暮らすために必要な生活支援サービスは、「緊急時の対応」が最も多く55.3%、「家事援助」(23.5%)、「食事提供」(22.3%)、「生活相談」(19.8%)、「安否確認」(17.1%)が続いている。

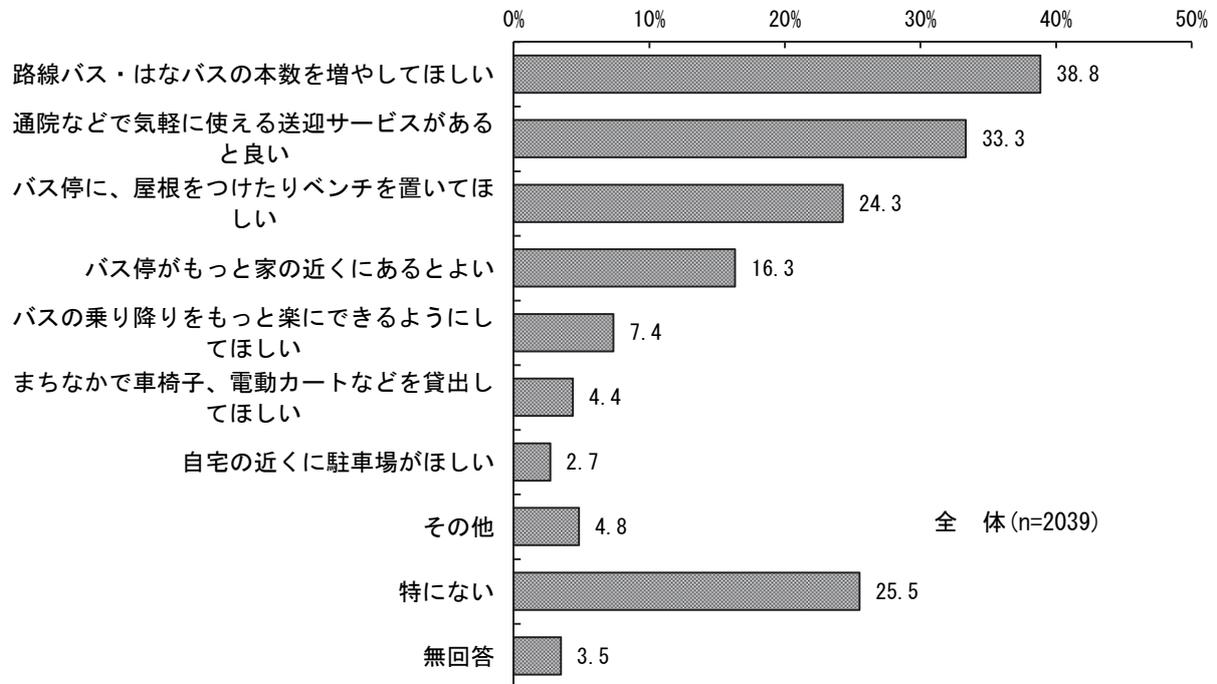
■安心して暮らすために必要な生活支援サービス（複数回答）



⑦ 住み続けるために必要な交通手段や移動手段（問18）

住み続けるために必要な交通手段や移動手段は、「路線バス・はなバスの本数を増やしてほしい」が最も多く 38.8%、「通院などで気軽に使える送迎サービスがあると良い」（33.3%）、「バス停に、屋根をつけたりベンチを置いてほしい」（24.3%）が続いている。

■住み続けるために必要な交通手段や移動手段（複数回答（3つまで））

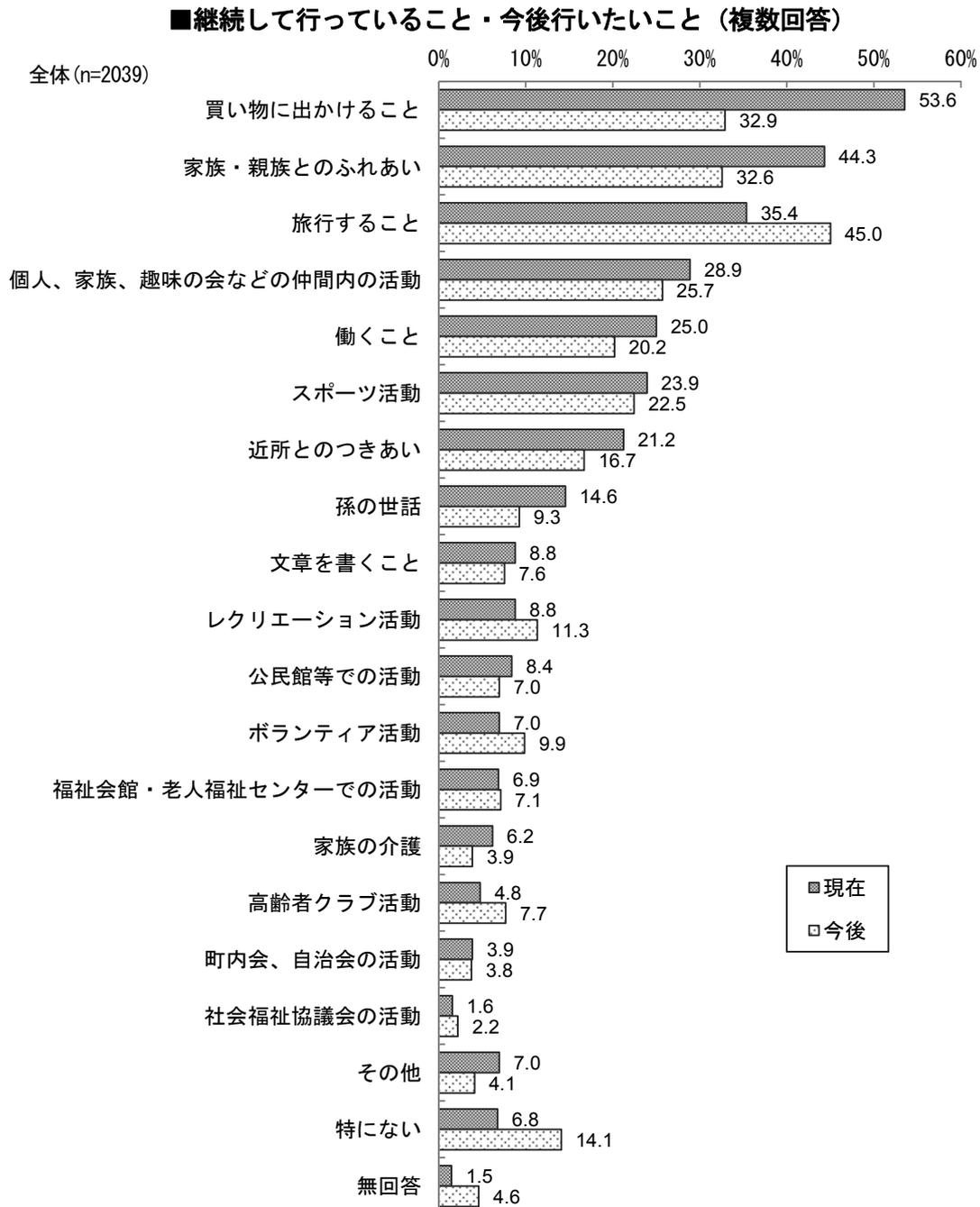


(3) 生きがい

① 継続して行っていること・今後行いたいこと（問19、20）

現在継続して行っていることは、「買い物に出かけること」が最も多く53.6%、「家族・親族とのふれあい」（44.3%）、「旅行すること」（35.4%）が続いている。

今後行いたいことは、「旅行すること」が最も多く45.0%、「買い物に出かけること」（32.9%）、「家族・親族とのふれあい」（32.6%）が続いている。



第2章 各調査の結果

現在継続して行っていることを平成23年度調査と比較すると、上位3項目の順位が変動し「買い物に出かけること」が13.7ポイントの増加、「家族・親族とのふれあい」が8.0ポイント減少、「旅行すること」が5.1ポイント減少している。

■継続して行っていること（複数回答）【前回比較】

	買い物に出かけること	家族・親族とのふれあい	旅行すること	個人、家族、趣味の会などの仲間内の活動	働くこと	スポーツ活動	近所とのつきあい	孫の世話	文章を書くこと	レクリエーション活動
平成25年度調査 (n=2039)	53.6	44.3	35.4	28.9	25.0	23.9	21.2	14.6	8.8	8.8
平成23年度調査 (n=1134)	39.9	52.3	40.5	27.5	25.2	17.2	20.7	12.1	8.4	9.5

	公民館等での活動	ボランティア活動	福祉会館・老人福祉センターでの活動	家族の介護	高齢者クラブ活動	町内会、自治会の活動	社会福祉協議会の活動	その他	特にない	無回答
平成25年度調査 (n=2039)	8.4	7.0	6.9	6.2	4.8	3.9	1.6	7.0	6.8	1.5
平成23年度調査 (n=1134)	8.6	7.3	8.0	6.6	5.5	5.6	1.3	13.6	6.4	3.9

今後行いたいことを平成23年度調査と比較すると、「買い物に出かけること」と「スポーツ活動」が大幅に増加しそれぞれ15.7ポイント、9.0ポイント高くなっている。

■今後行いたいこと（複数回答）【前回比較】

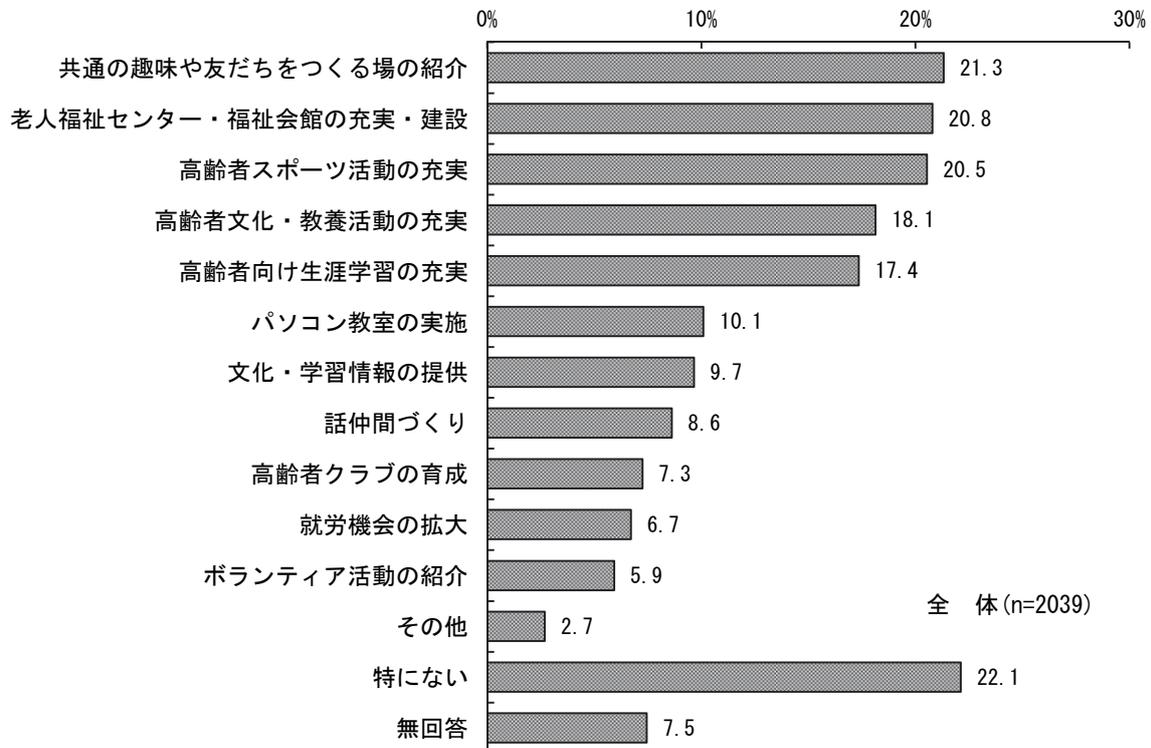
	旅行すること	買い物に出かけること	家族・親族とのふれあい	個人、家族、趣味の会などの仲間内の活動	スポーツ活動	働くこと	近所とのつきあい	レクリエーション活動	ボランティア活動	孫の世話
平成25年度調査 (n=2039)	45.0	32.9	32.6	25.7	22.5	20.2	16.7	11.3	9.9	9.3
平成23年度調査 (n=1134)	38.9	17.2	34.7	21.2	13.5	17.4	13.9	8.9	8.1	8.2

	高齢者クラブ活動	文章を書くこと	福祉会館・老人福祉センターでの活動	公民館等での活動	家族の介護	町内会、自治会の活動	社会福祉協議会の活動	その他	特にない	無回答
平成25年度調査 (n=2039)	7.7	7.6	7.1	7.0	3.9	3.8	2.2	4.1	14.1	4.6
平成23年度調査 (n=1134)	4.9	5.7	8.1	8.2	3.4	2.6	2.3	6.3	13.8	10.7

② 高齢者の生きがいがづくりで市に力を入れて欲しいこと（問21）

高齢者の生きがいがづくりで市に力を入れて欲しいことは、「共通の趣味や友だちをつくる場の紹介」（21.3%）に次いで、「老人福祉センター・福祉会館の充実・建設」（20.8%）、「高齢者スポーツ活動の充実」（20.5%）が続いている。

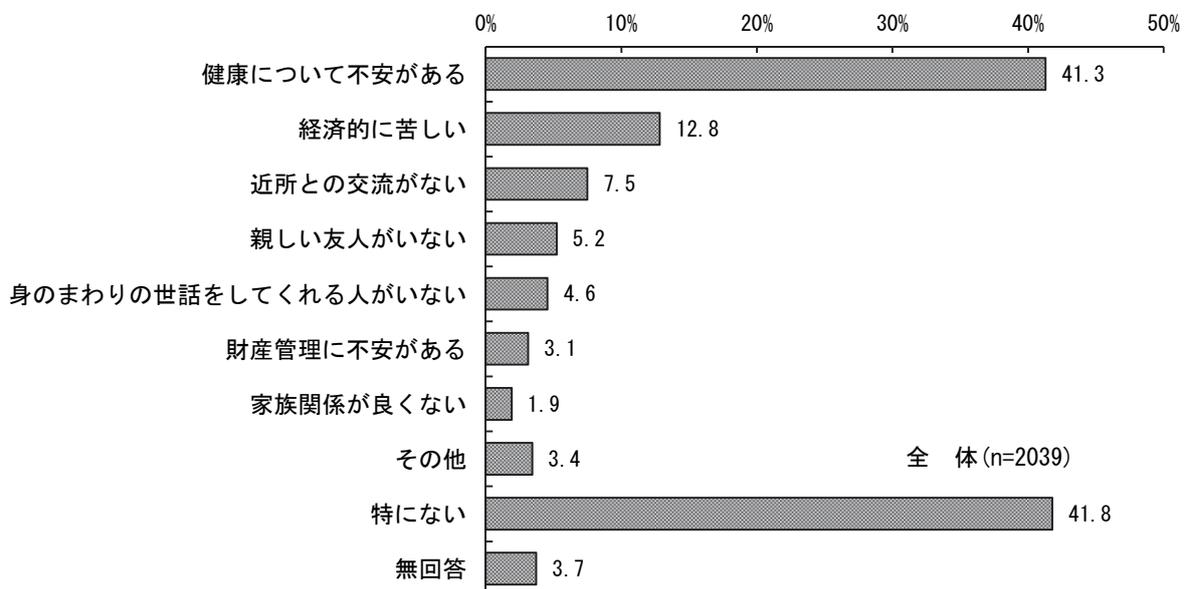
■高齢者の生きがいがづくりで市に力を入れて欲しいこと（複数回答（3つまで））



③ 現在の悩みや不安（問22）

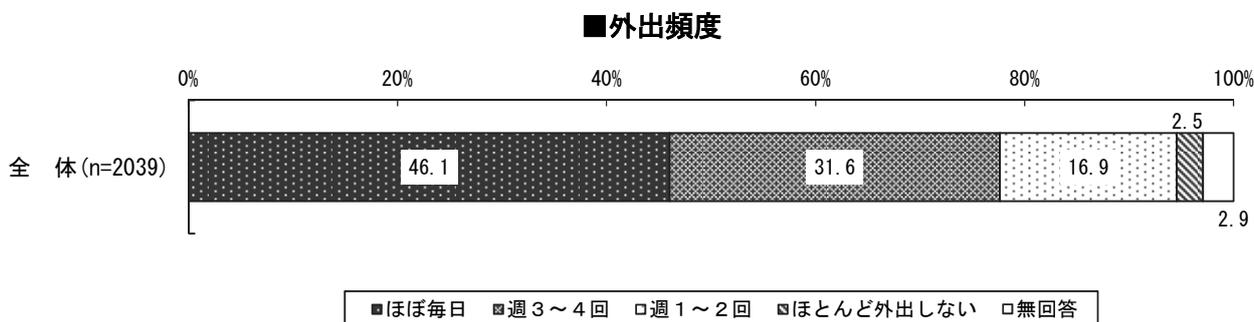
現在の悩みや不安は、「健康について不安がある」が最も多く 41.3%、「経済的に苦しい」（12.8%）、「近所との交流がない」（7.5%）が続いている。

■現在の悩みや不安（複数回答）



④ 外出頻度（問23）

外出頻度は、「ほぼ毎日」が46.1%、「週3～4回」が31.6%、「週1～2回」が16.9%、「ほとんど外出しない」が2.5%となっている。



性・年代別にみると、「ほぼ毎日」外出する割合は男性の方が高く、また年齢が低くなるほど高くなる。一方、女性85歳以上では「ほとんど外出しない」割合が14.3%と高く、「ほぼ毎日」(17.5%)外出する割合は他の年代に比べて特に低くなっている。

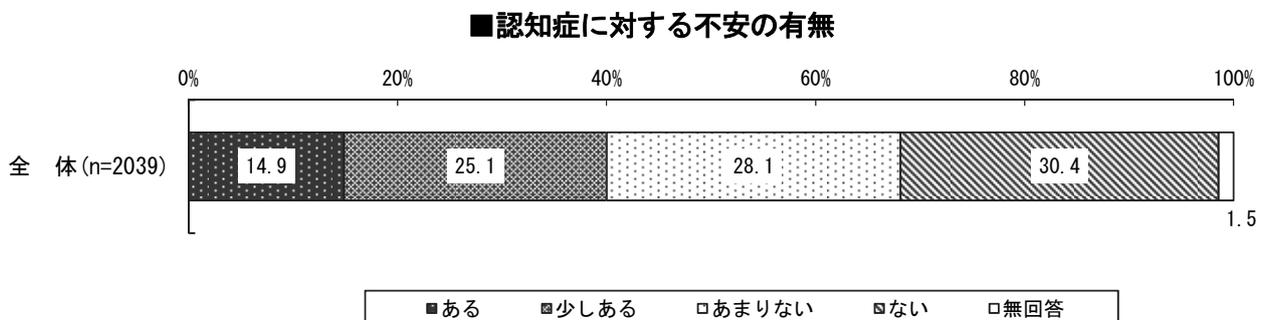
■外出頻度（性・年代別）

		(%)				
		ほ ぼ 毎 日	週 3 ～ 4 回	週 1 ～ 2 回	外 出 と し ん だ い	無 回 答
男性	男性 計 (n=941)	50.1	25.9	18.8	2.2	3.0
	65～74歳 (n=498)	56.8	24.5	15.5	2.0	1.2
	75～84歳 (n=372)	44.1	28.0	20.7	2.4	4.8
	85歳以上 (n=67)	35.8	23.9	31.3	3.0	6.0
	無回答 (n=4)	-	50.0	50.0	-	-
女性	女性 計 (n=1082)	42.3	36.7	15.4	2.8	2.8
	65～74歳 (n=627)	48.3	35.4	12.1	1.8	2.4
	75～84歳 (n=377)	35.8	40.3	18.3	2.4	3.2
	85歳以上 (n=63)	17.5	30.2	33.3	14.3	4.8
	無回答 (n=15)	60.0	26.7	6.7	6.7	-

(4) 認知症についての意識

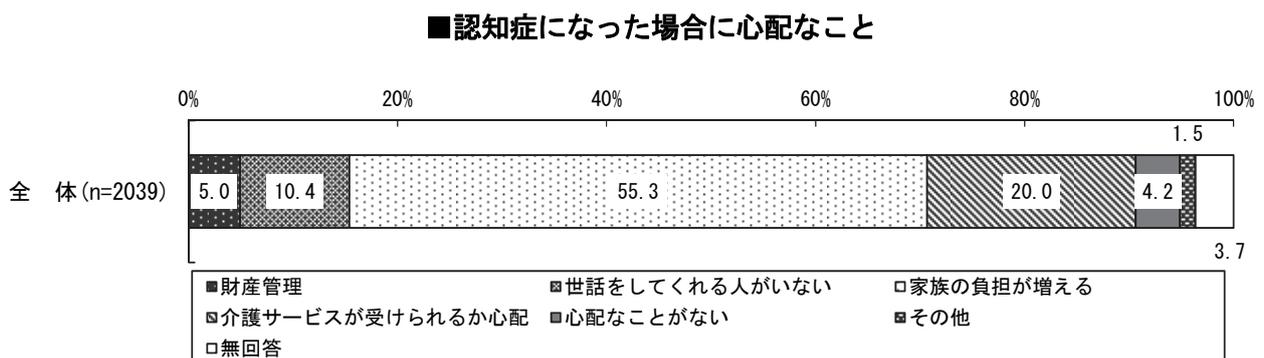
① 認知症に対する不安の有無 (問24)

認知症に対する不安は、「ある」が14.9%、「少しある」が25.1%、「あまりない」が28.1%、「ない」が30.4%となっている。



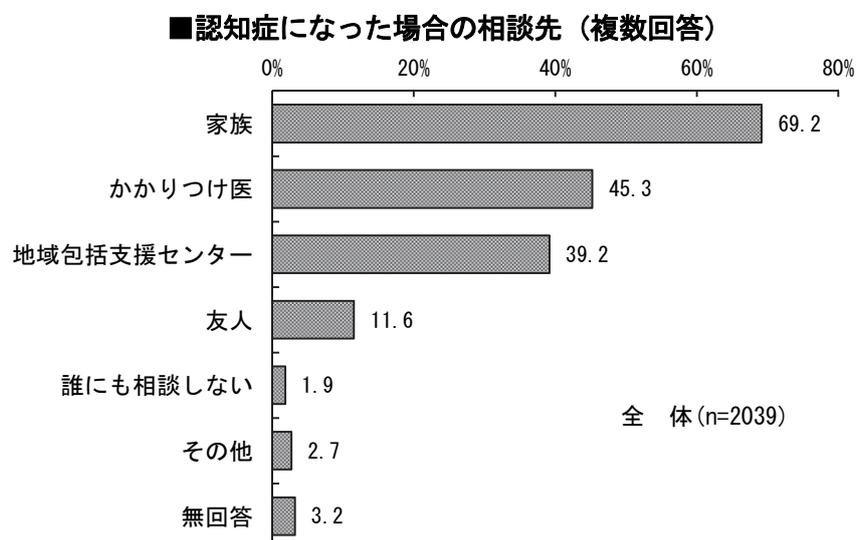
② 認知症になった場合に心配なこと (問25)

認知症になった場合に心配なことは、「家族の負担が増える」が最も多く55.3%、「介護サービスが受けられるか心配」(20.0%)が続いている。



③ 認知症になった場合の相談先 (問26)

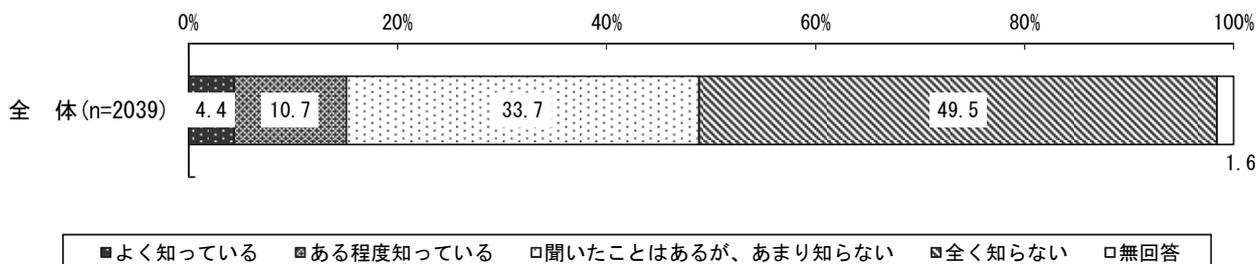
認知症になった場合の相談先は、「家族」が最も多く69.2%、「かかりつけ医」(45.3%)、「地域包括支援センター」(39.2%)が続いている。



④ 認知症サポーターについての認知度（問27）

認知症サポーターについての認知度は、「よく知っている」が4.4%、「ある程度知っている」が10.7%、「聞いたことはあるが、あまり知らない」が33.7%、「全く知らない」が49.5%となっている。

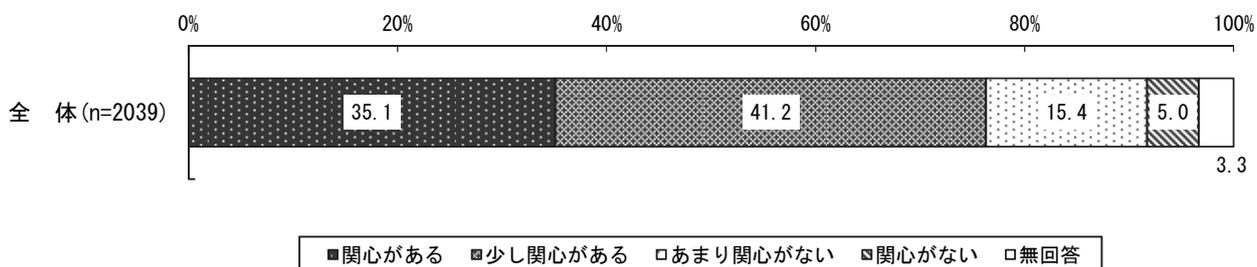
■認知症サポーターについての認知度



⑤ 認知症サポーターについての関心度（問28）

認知症サポーターについての関心度は、「関心がある」が35.1%、「少し関心がある」が41.2%、「あまり関心がない」が15.4%、「関心がない」が5.0%となっている。

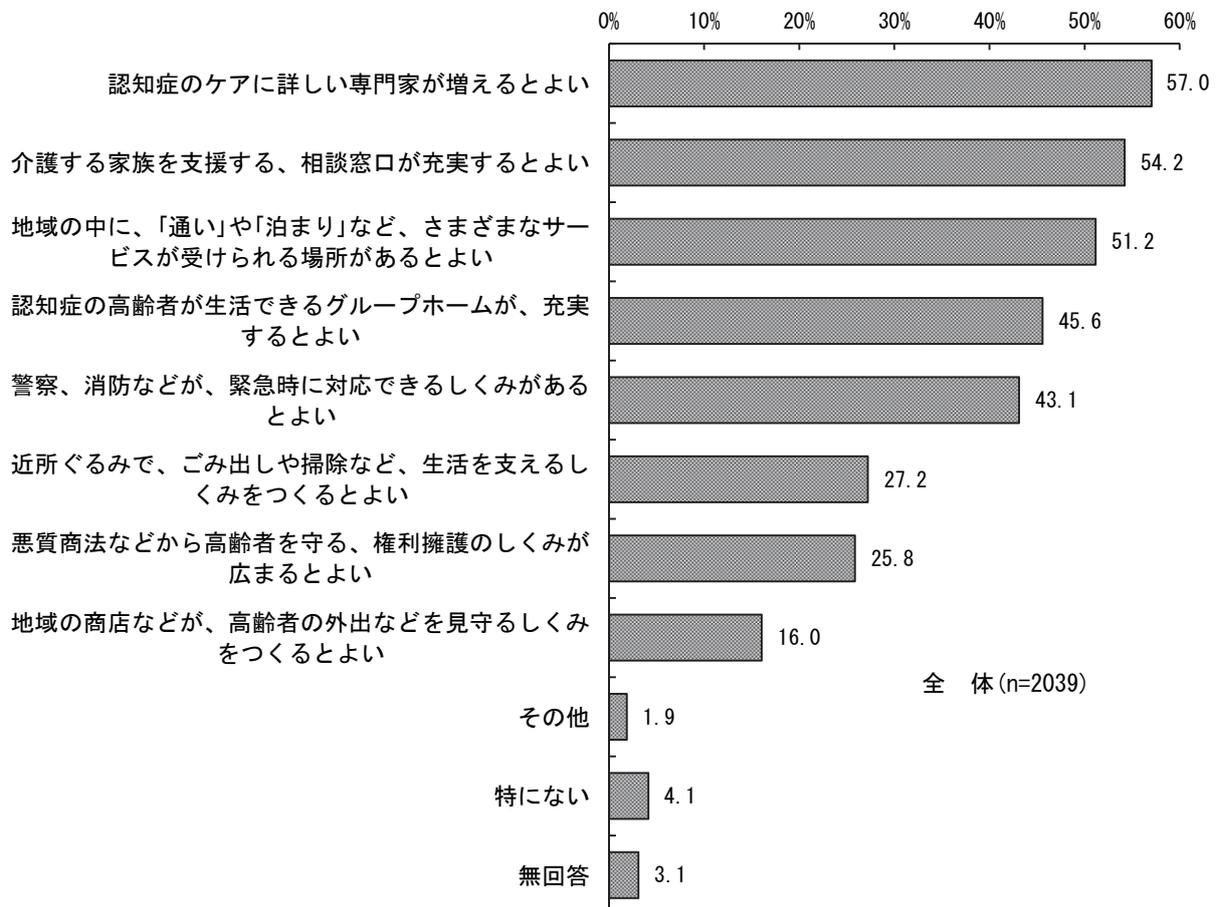
■認知症サポーターについての関心度



⑥ 認知症になっても暮らしていけるためのまちづくりがあるとよいこと（問29）

認知症になっても暮らしていけるためのまちづくりがあるとよいことは、「認知症のケアに詳しい専門家が増えるとよい」が最も多く57.0%、「介護する家族を支援する、相談窓口が充実するとよい」（54.2%）、「地域の中に、「通い」や「泊まり」など、さまざまなサービスが受けられる場所があるとよい」（51.2%）が続いている。

■認知症になっても暮らしていけるためのまちづくりがあるとよいこと（複数回答）

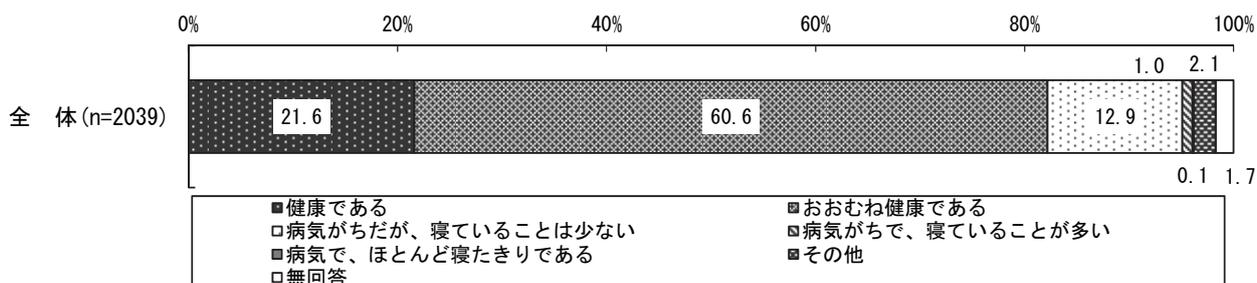


(5) 健康管理

① 主観的健康感（問30）

主観的健康感は、「健康である」（21.6%）と「おおむね健康である」（60.6%）を合計すると《健康》は82.2%となっている。「病気がちだが、寝ていることは少ない」が12.9%、「病気がちで、寝ていることが多い」が1.0%となっている。

■主観的健康感



性・年代別にみると、《健康》は概ね8割程度となっているが、女性85歳以上では、61.9%と低く、特に「健康である」（11.1%）割合は1割程度と低い。また、女性85歳以上は「病気がちだが、寝ていることは少ない」（30.2%）が高く3割程度となっている。

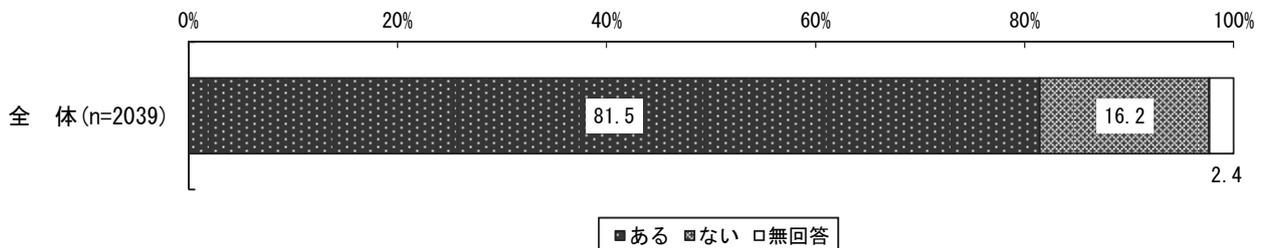
■主観的健康感（性・年代別）

		（%）						
		健康である	おおむね健康である	病気がちだが、寝ていることは少ない	病気がちで、寝ていることが多い	病気がちで、ほとんど寝たきりである	その他	無回答
男性	男性計 (n=941)	22.2	61.2	12.9	0.9	-	1.9	1.0
	65～74歳 (n=498)	25.7	60.4	11.2	0.6	-	1.4	0.6
	75～84歳 (n=372)	18.3	61.6	15.1	0.8	-	2.7	1.6
	85歳以上 (n=67)	17.9	67.2	10.4	3.0	-	1.5	-
	無回答 (n=4)	25.0	25.0	50.0	-	-	-	-
女性	女性計 (n=1082)	21.2	60.1	12.8	1.1	0.2	2.3	2.3
	65～74歳 (n=627)	24.9	59.2	10.4	1.0	0.3	2.1	2.2
	75～84歳 (n=377)	16.4	63.7	14.3	1.1	-	2.4	2.1
	85歳以上 (n=63)	11.1	50.8	30.2	3.2	-	1.6	3.2
	無回答 (n=15)	26.7	46.7	6.7	-	-	13.3	6.7

② 体調を維持するために行っていることの有無（問31）

体調を維持するために行っていることの有無は、「ある」が81.5%、「ない」が16.2%となっている。

■体調を維持するために行っていることの有無

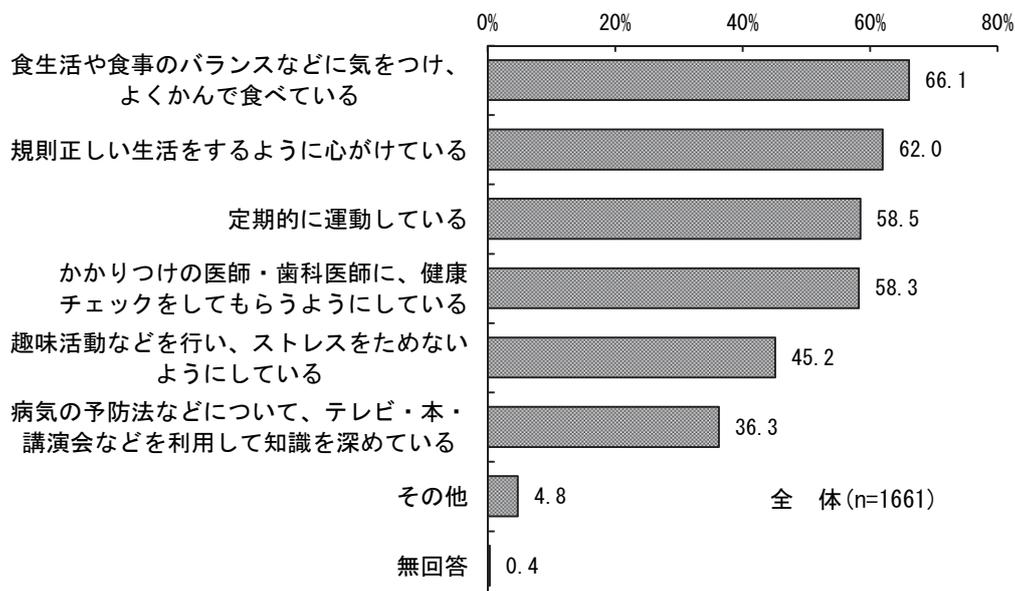


③ 体調を維持するために行っていること（問31-1）

体調を維持するために行っていることがある人に、その内容をたずねたところ、「食生活や食事のバランスなどに気をつけ、よくかんで食べている」が最も多く66.1%、「規則正しい生活をするように心がけている」（62.0%）、「定期的に運動している」（58.5%）が続いている。

■体調を維持するために行っていること（複数回答）

<体調を維持するために行っていることがある人>

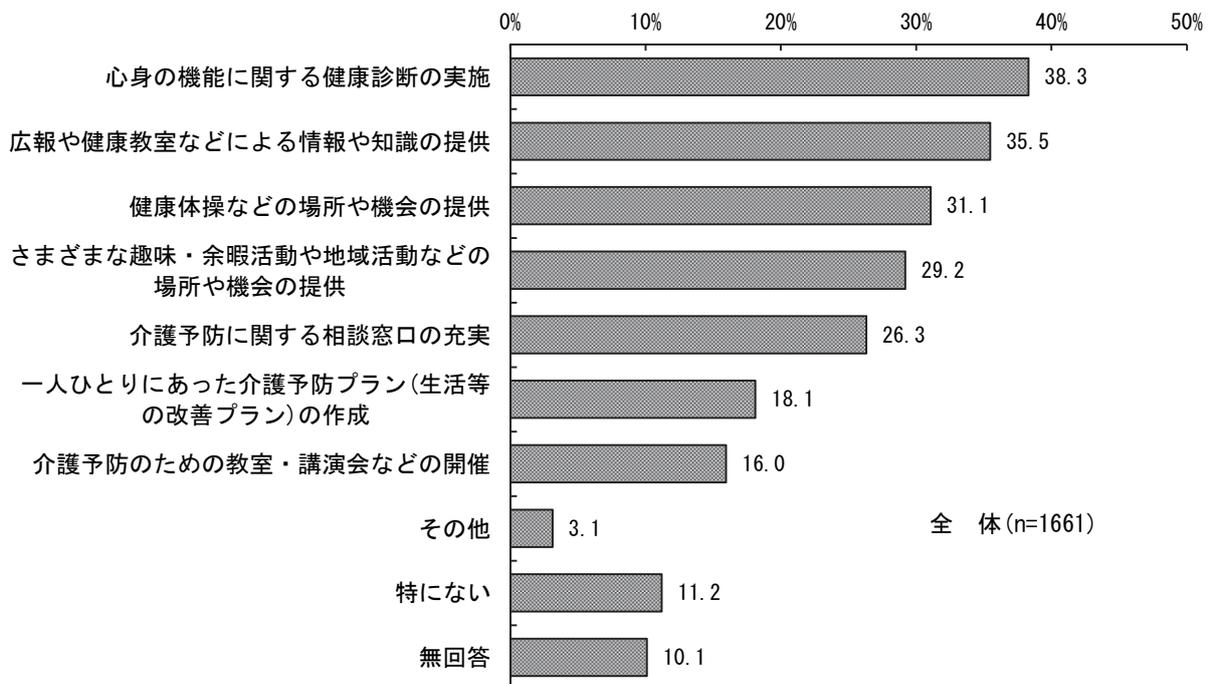


④ 健康な生活を送るために市から支援してほしいこと（問3 1-2）

体調を維持するために行っていることがある人に、健康な生活を送るために市から支援してほしいことをたずねたところ、「心身の機能に関する健康診断の実施」が最も多く 38.3%、「広報や健康教室などによる情報や知識の提供」（35.5%）、「健康体操などの場所や機会の提供」（31.1%）が続いている。

■健康な生活を送るために市から支援してほしいこと（複数回答）

<体調を維持するために行っていることがある人>



性・年代別にみると、最も多い「心身の機能に関する健康診断の実施」では、女性 85 歳以上の割合がやや高いが、男女とも年代による差は見られない。「広報や健康教室などによる情報や知識の提供」「健康体操などの場所や機会の提供」「さまざまな趣味・余暇活動や地域活動などの場所や機会の提供」は女性での割合がやや高く、年齢が低いほど高くなる傾向にある。

■健康な生活を送るために市から支援してほしいこと（性・年代別：複数回答）

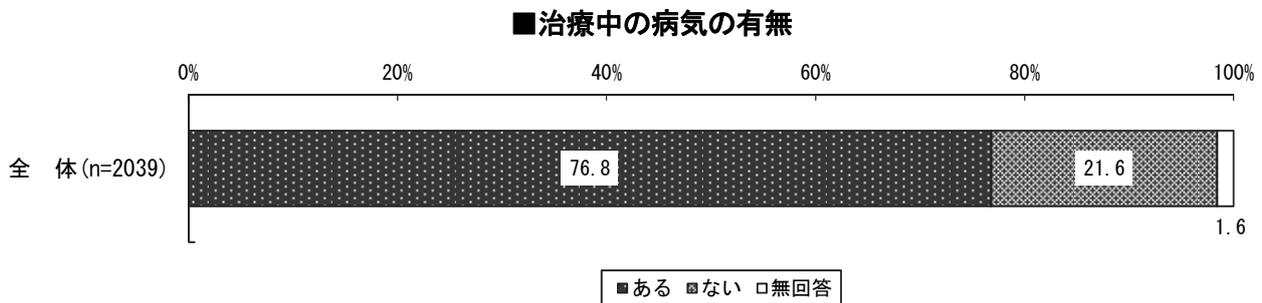
<体調を維持するために行っていることがある人>

		心身の機能に関する健康診断の実施	広報や健康教室などによる情報や知識の提供	健康体操などの場所や機会の提供	さまざまな趣味・余暇活動や地域活動などの場所や機会の提供	介護予防に関する相談窓口の充実	一人ひとりにあった介護予防プラン(生活等の改善プラン)の作成	介護予防のための教室・講演会などの開催	その他	特にない	無回答
男性	男性 計 (n=743)	39.8	33.5	24.0	27.7	28.4	17.6	16.7	3.5	12.1	9.3
	65~74歳 (n=394)	38.6	33.0	24.9	32.5	28.9	17.8	16.5	3.6	12.9	7.1
	75~84歳 (n=292)	41.8	32.5	24.0	23.6	27.1	16.8	16.8	3.8	12.0	11.6
	85歳以上 (n=54)	38.9	44.4	18.5	16.7	29.6	20.4	16.7	1.9	7.4	11.1
	無回答 (n=3)	33.3	-	-	-	66.7	33.3	33.3	-	-	33.3
女性	女性 計 (n=907)	36.9	37.2	36.7	30.2	24.7	18.6	15.4	2.9	10.4	10.9
	65~74歳 (n=528)	36.6	39.8	41.5	34.5	25.4	21.2	18.2	2.1	8.3	9.3
	75~84歳 (n=314)	36.6	34.7	31.2	24.8	24.5	14.6	12.1	4.1	12.7	12.4
	85歳以上 (n=52)	44.2	28.8	19.2	19.2	21.2	19.2	9.6	1.9	15.4	15.4
	無回答 (n=13)	30.8	23.1	46.2	30.8	15.4	7.7	7.7	7.7	15.4	23.1

(6) 医療の状況と介護予防

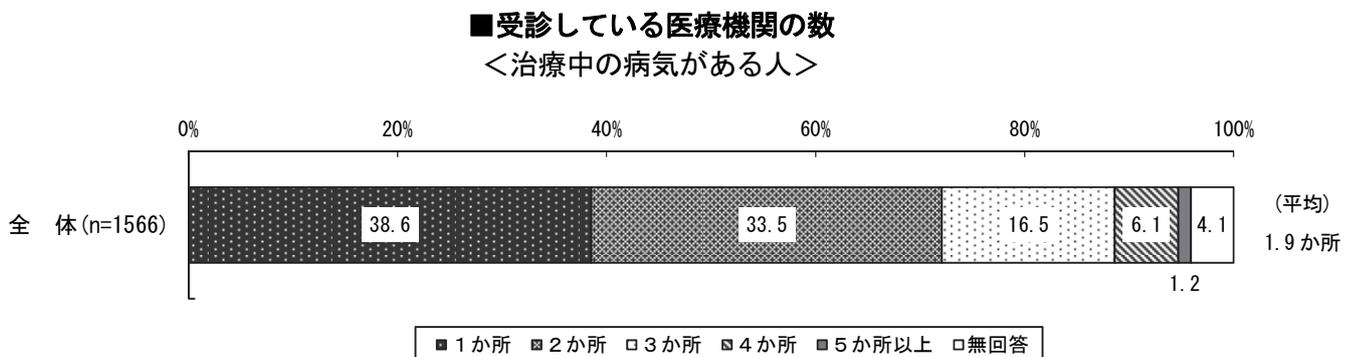
① 治療中の病気の有無 (問32)

治療中の病気の有無は、「ある」が76.8%、「ない」が21.6%となっている。



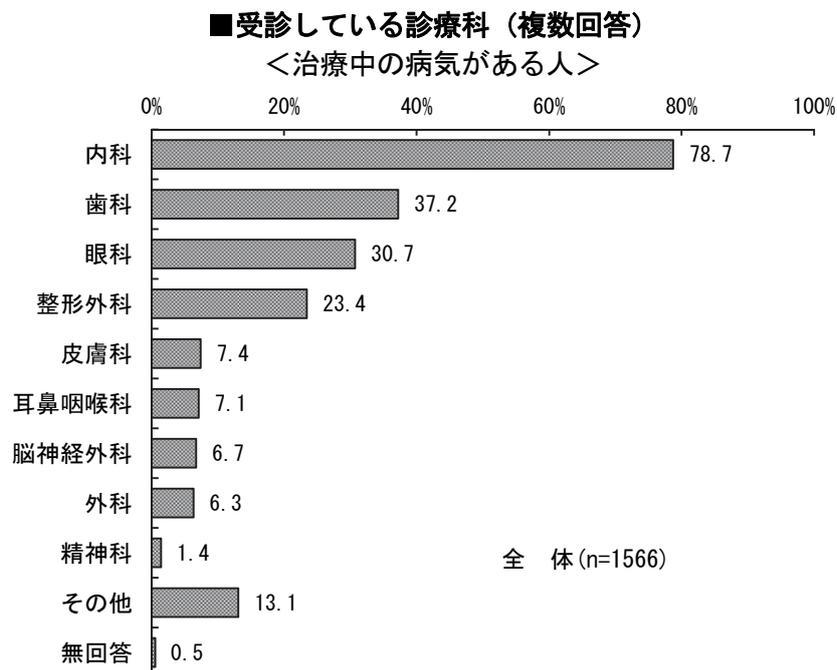
② 受診している医療機関の数 (問32-1)

治療中の病気がある人に、定期的に受診している医療機関の数をたずねたところ、「1か所」が最も多く38.6%、「2か所」(33.5%)、「3か所」(16.5%)が続いている。



③ 受診している診療科 (問32-1)

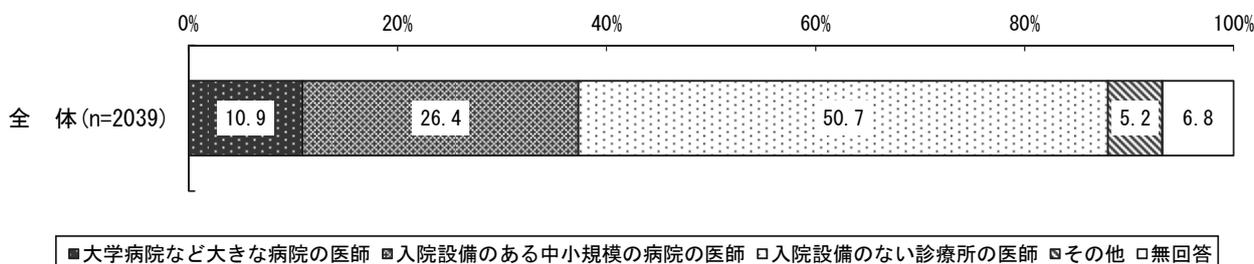
治療中の病気がある人が受診している診療科は、「内科」が最も多く78.7%、「歯科」(37.2%)、「眼科」(30.7%)、「整形外科」(23.4%)が続いている。



④ 「かかりつけ医」のイメージ (問33)

「かかりつけ医」のイメージは、「入院設備のない診療所の医師」が最も多く 50.7%、「入院設備のある中小規模の病院の医師」(26.4%)、「大学病院など大きな病院の医師」(10.9%)が続いている。

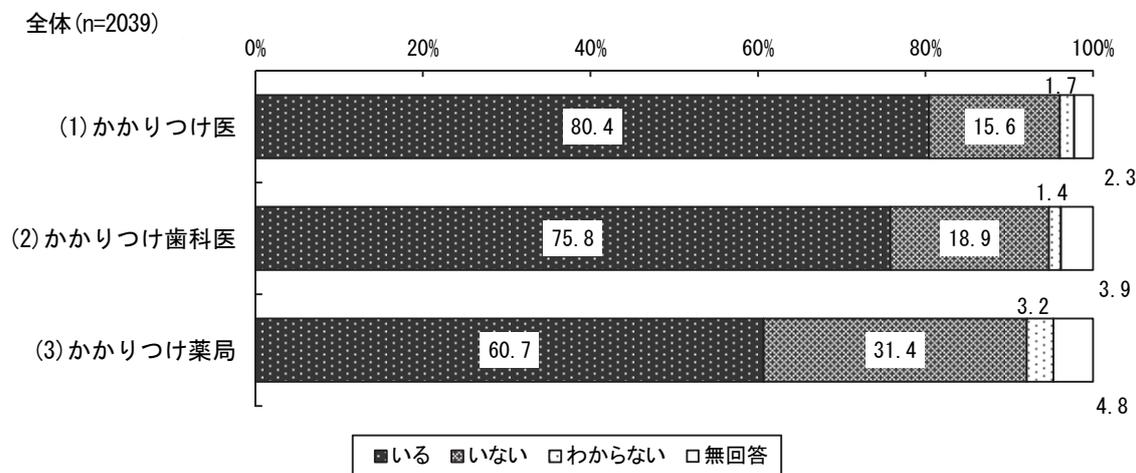
■「かかりつけ医」のイメージ



⑤ かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬局の有無 (問34)

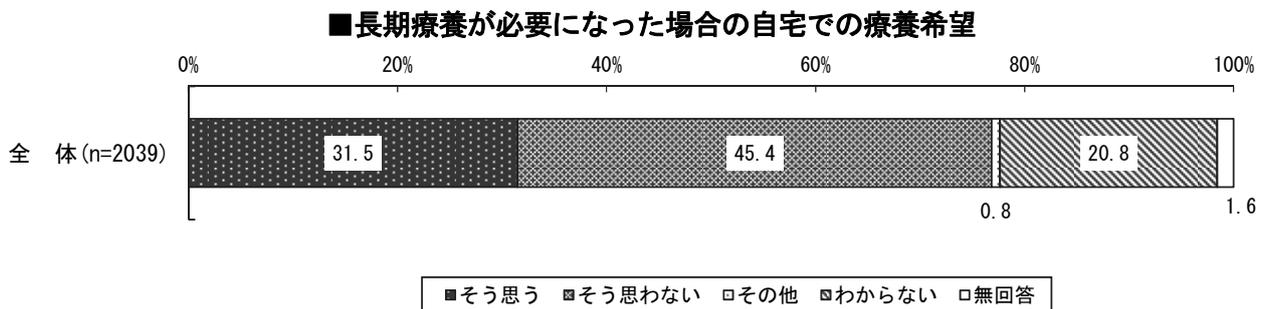
かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬局の有無について「いる」と答えた割合は、『かかりつけ医』が最も多く 80.4%、次いで『かかりつけ歯科医』が 75.8%、『かかりつけ薬局』が 60.7% である。

■かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬局の有無



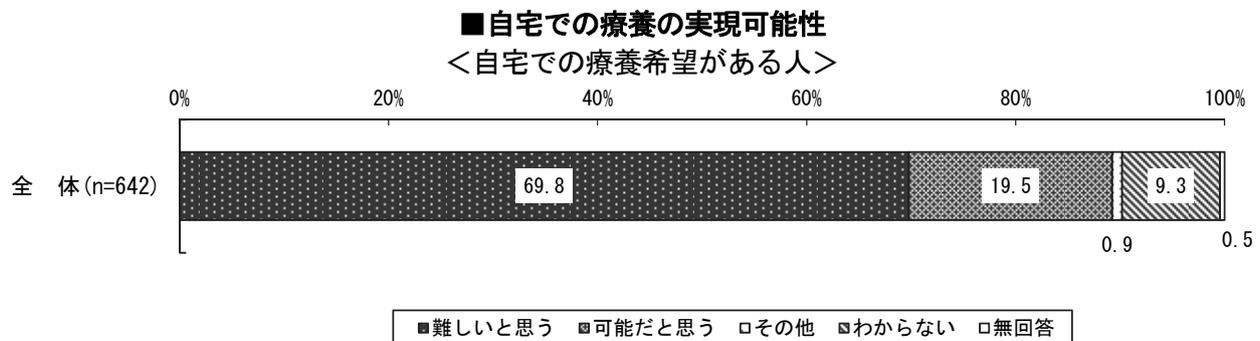
⑥ 長期療養が必要になった場合の自宅での療養希望（問35）

長期療養が必要になった場合の自宅での療養希望は、「そう思う」が31.5%、「そう思わない」が45.4%となっている。



⑦ 自宅での療養の実現可能性（問35-1）

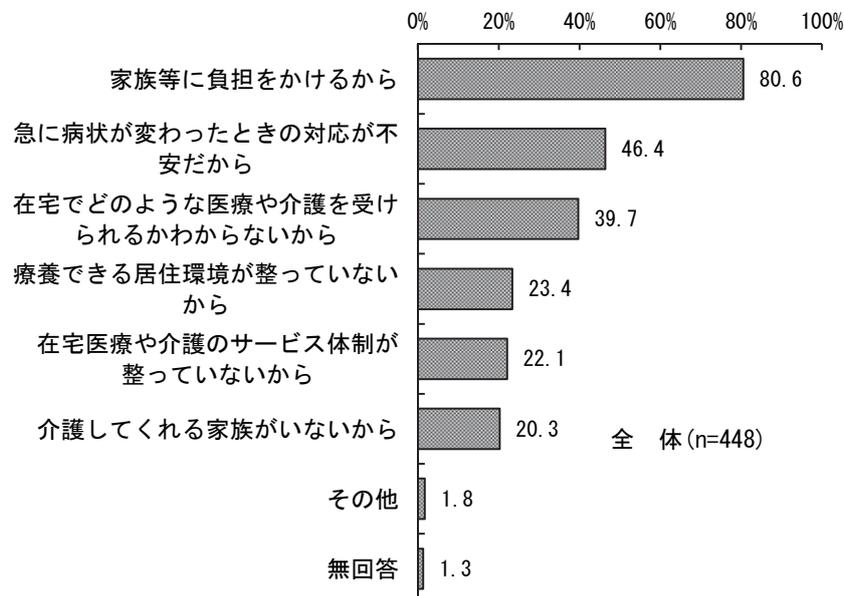
長期療養が必要になった場合の自宅での療養希望がある人に、実現可能性をたずねたところ、「難しいと思う」が69.8%、「可能だと思う」が19.5%となっている。



⑧ 自宅での療養の実現が難しいと思う理由（問35-2）

長期療養が必要になった場合の自宅での療養希望がある人で実現は「難しいと思う」人に、その理由をたずねたところ、『家族等に負担をかけるから』が最も多く80.6%、『急に病状が変わったときの対応が不安だから』（46.4%）が続いている。

■自宅での療養の実現が難しいと思う理由（複数回答（3つまで））
＜自宅での療養希望があるが実現は難しいと思う人＞

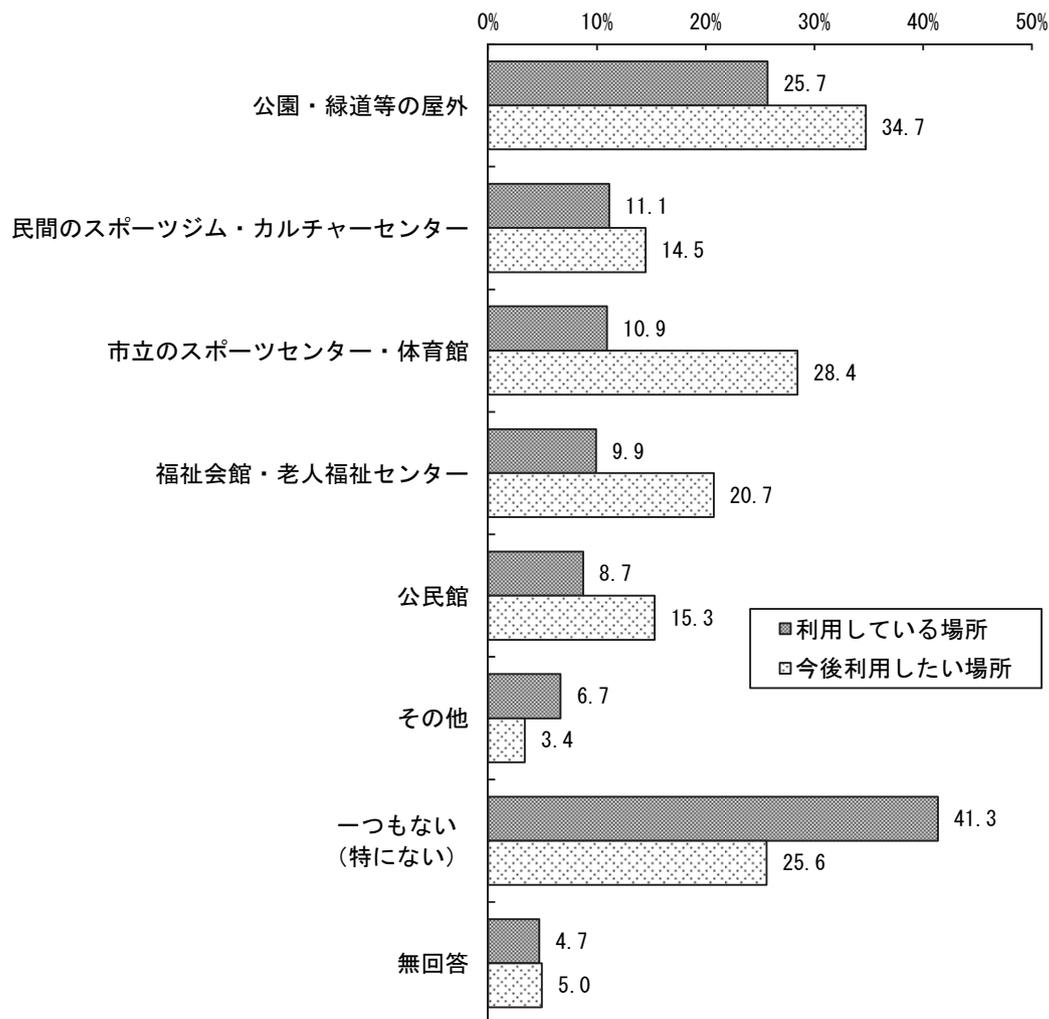


⑨ 健康維持のために利用している場所と、今後の利用意向（問36）

健康維持のために「利用している場所」は、『公園・緑道等の屋外』が25.7%で最も多く、『民間のスポーツジム・カルチャーセンター』が11.1%、『市立のスポーツセンター・体育館』が10.9%で続いている。

健康維持のために「今後利用したい場所」は、『公園・緑道等の屋外』が34.7%で最も多く、『市立のスポーツセンター・体育館』が28.4%、『福祉会館・老人福祉センター』が20.7%で続いている。

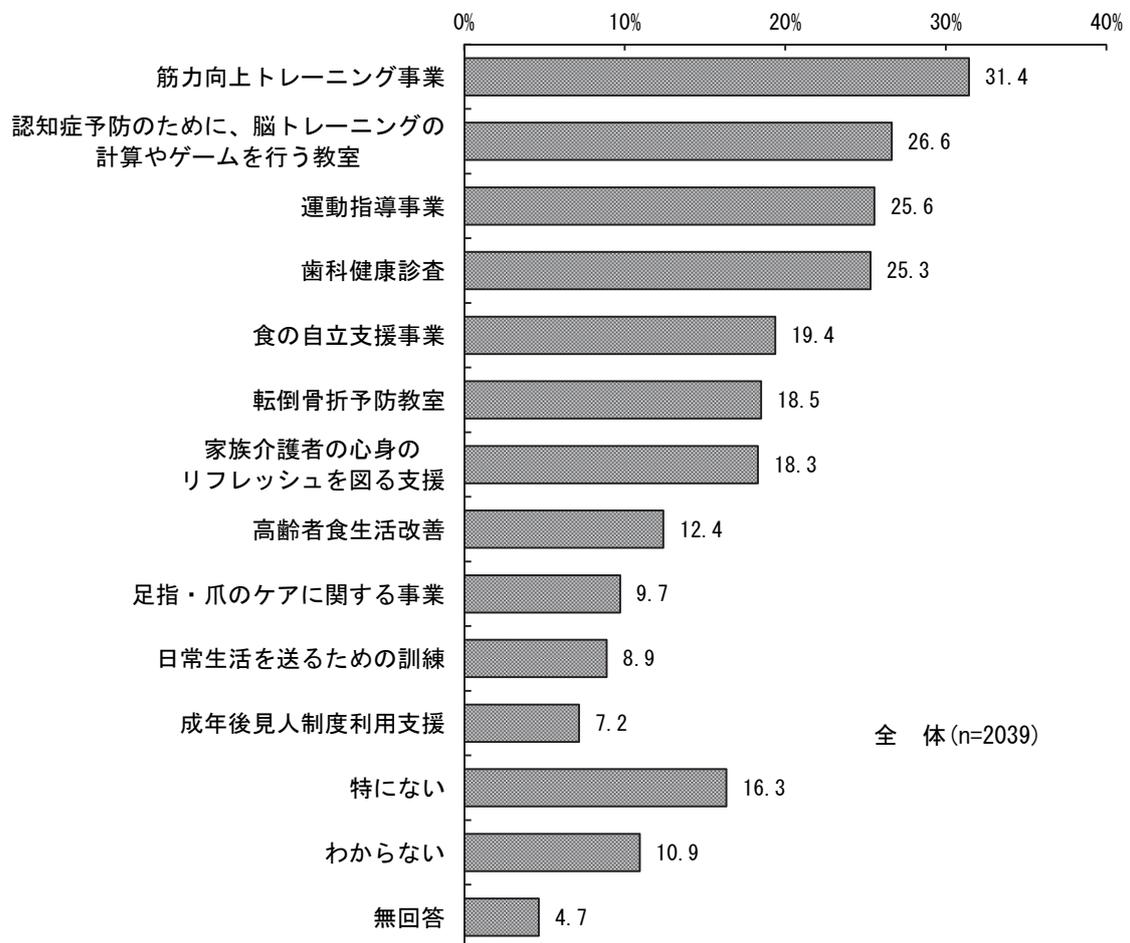
■健康維持のために利用している場所と、今後の利用意向（複数回答）



⑩ 今後利用したい介護予防サービス（問37）

今後利用したい介護予防サービスは、「筋力向上トレーニング事業」が最も多く 31.4%、「認知症予防のために、脳トレーニングの計算やゲームを行う教室」（26.6%）、「運動指導事業」（25.6%）、「歯科健康診査」（25.3%）が続いている。

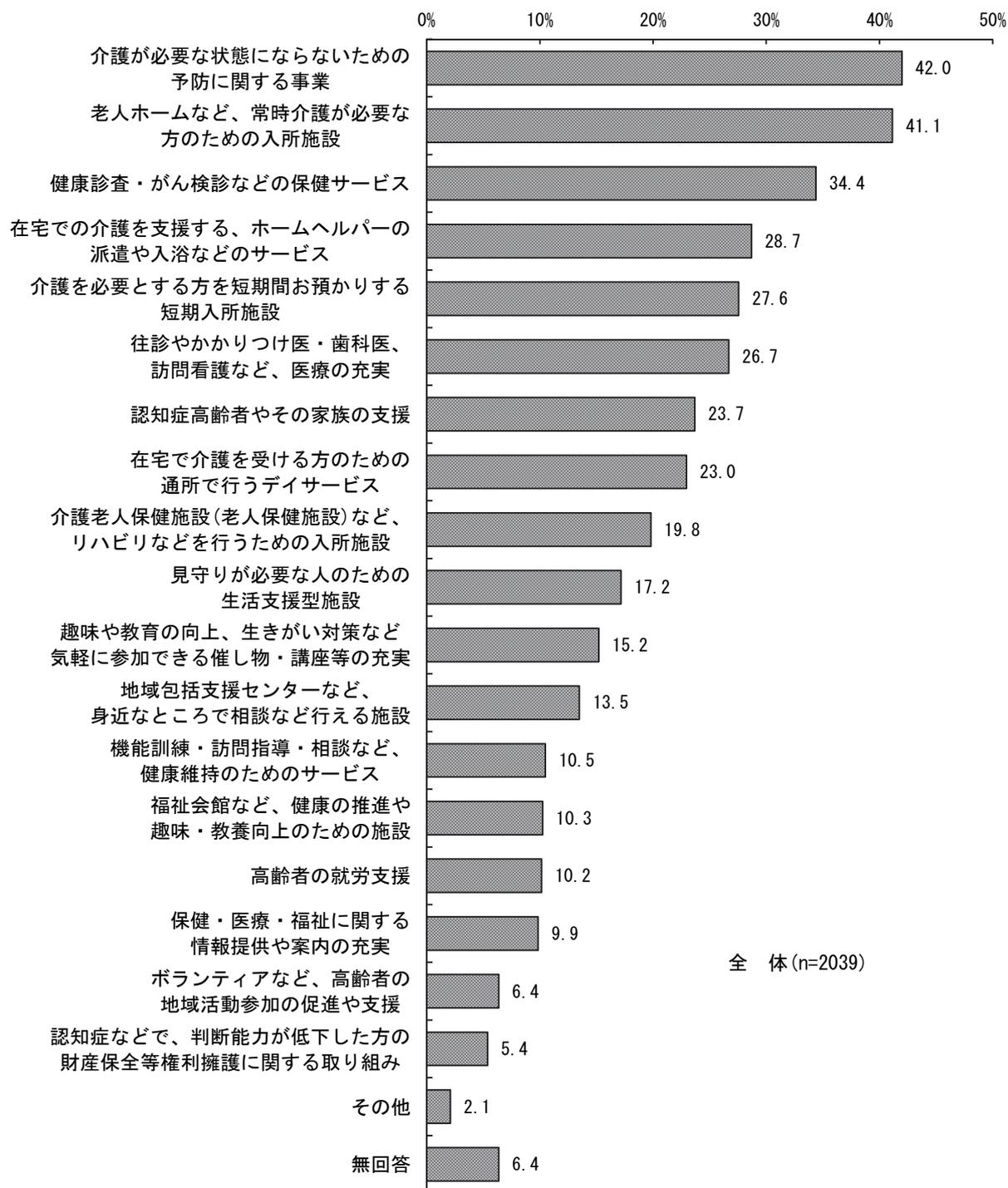
■今後利用したい介護予防サービス（複数回答）



⑪ 市が取り組むべき介護保険・保健福祉サービス（問38）

市が取り組むべき介護保険・保健福祉サービスは、「介護が必要な状態にならないための予防に関する事業」が最も多く42.0%、「老人ホームなど、常時介護が必要な方のための入所施設」(41.1%)、「健康診査・がん検診などの保健サービス」(34.4%)が続いている。

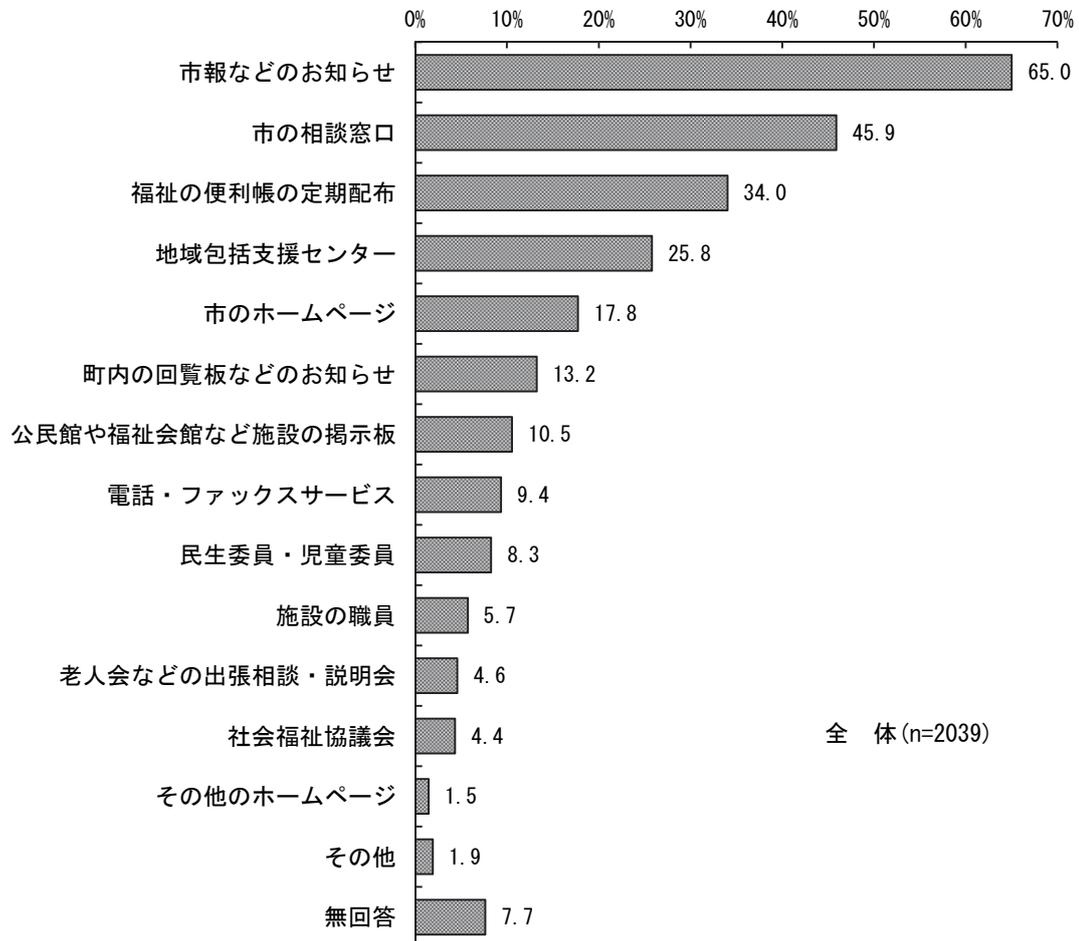
■市が取り組むべき介護保険・保健福祉サービス（複数回答（5つまで））



⑫ 福祉に関する情報の希望する入手方法（問39）

福祉に関する情報の希望する入手方法は、「市報などのお知らせ」が最も多く 65.0%、「市の相談窓口」（45.9%）、「福祉の便利帳の定期配布」（34.0%）が続いている。

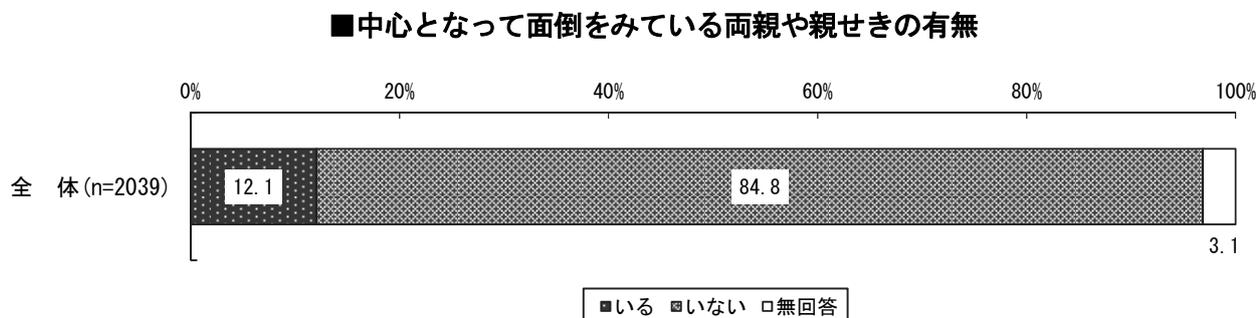
■福祉に関する情報の希望する入手方法（複数回答）



(7) 介護の経験と高齢者虐待

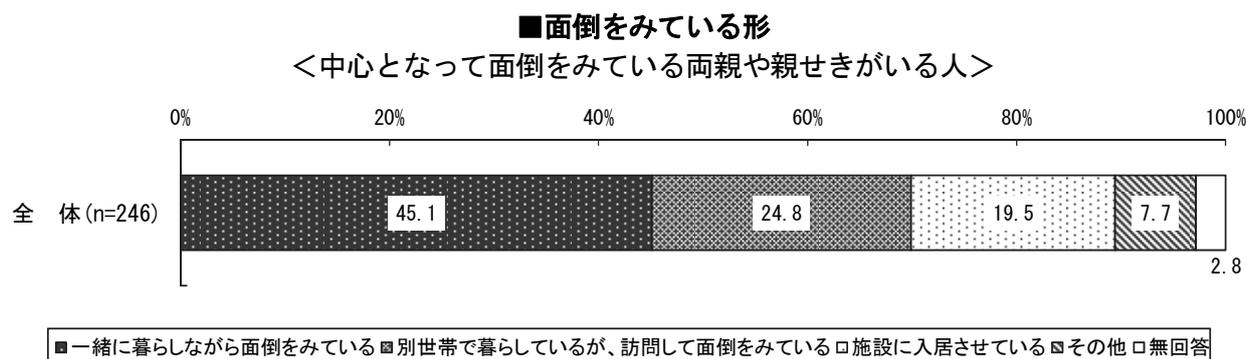
① 中心となって面倒をみている両親や親せきの有無（問40）

中心となって面倒をみている両親や親せきの有無は、「いる」が12.1%、「いない」が84.8%となっている。



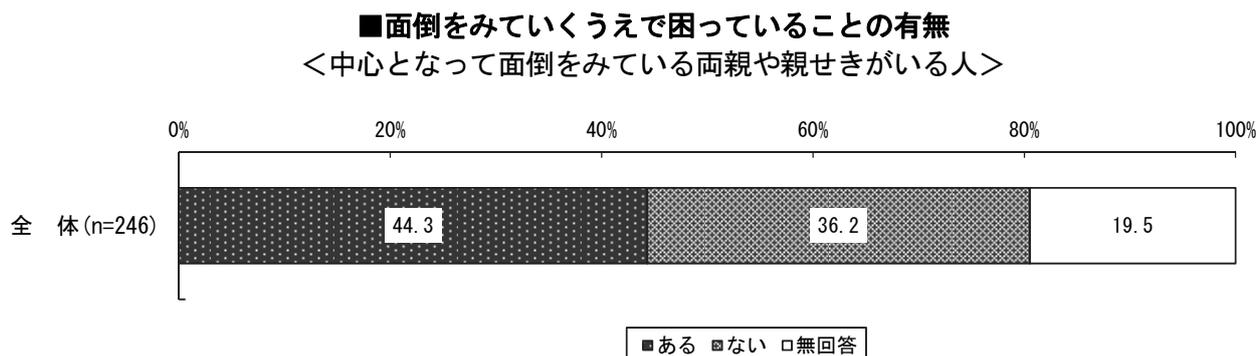
② 面倒をみている形（問40-1）

中心となって面倒をみている両親や親せきがいる人に、面倒をみている形をたずねたところ、「一緒に暮らしながら面倒をみている」が45.1%、「別世帯で暮らしているが、訪問して面倒をみている」が24.8%、「施設に入居させている」が19.5%となっている。



③ 面倒をみていくうえで困っていることの有無（問40-2）

中心となって面倒をみている両親や親せきがいる人に、面倒をみていくうえで困っていることの有無をたずねたところ、「ある」が44.3%、「ない」が36.2%となっている。



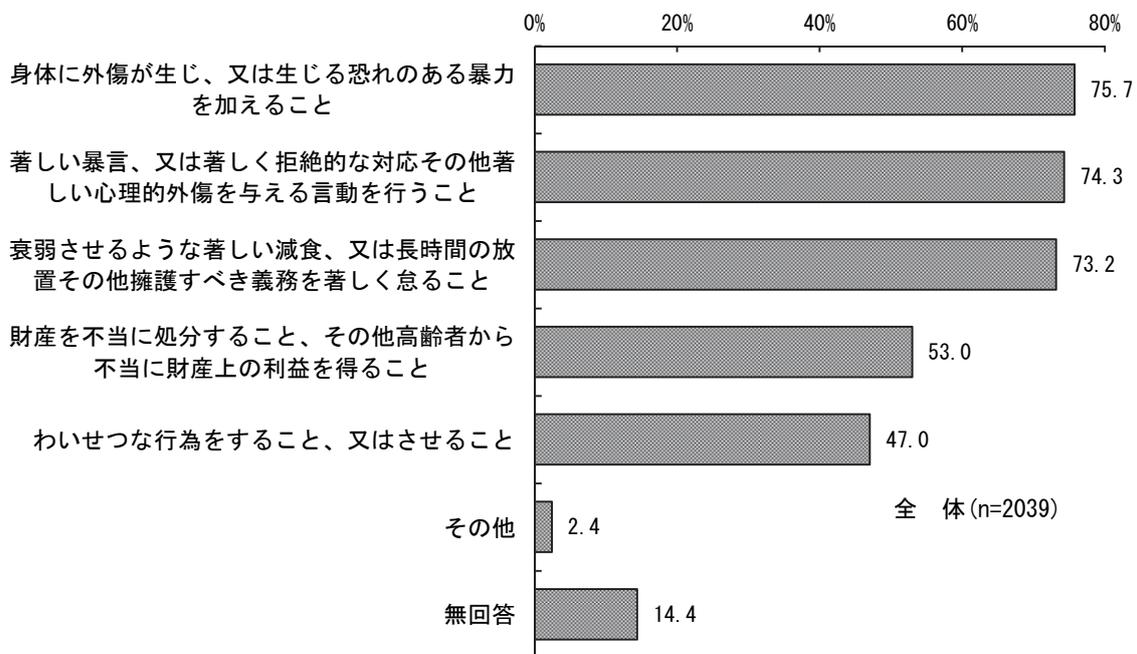
【具体的な内容】

- ・ 理学的療法など体を動かす正しい知識が必要。
- ・ 面倒を見ている人が高齢になっている。
- ・ エレベーターが付いていないので動けなくなった時困る。
- ・ 費用負担が長期になると大変。
- ・ 自分だけの時間がほしい。
- ・ 介護に疲れ、ストレスがたまることがある。
- ・ 認知症の周辺行動による応対に苦勞する。
- ・ 介護する側が急に病気等になった時の対応。

④ 高齢者虐待だと思ふこと（問41）

高齢者虐待だと思ふことは、「身体に外傷が生じ、又は生じる恐れのある暴力を加えること」（75.7%）、「著しい暴言、又は著しく拒絶的な対応その他著しい心理的外傷を与える言動を行うこと」（74.3%）、「衰弱させるような著しい減食、又は長時間の放置その他擁護すべき義務を著しく怠ること」（73.2%）が7割を超えている。

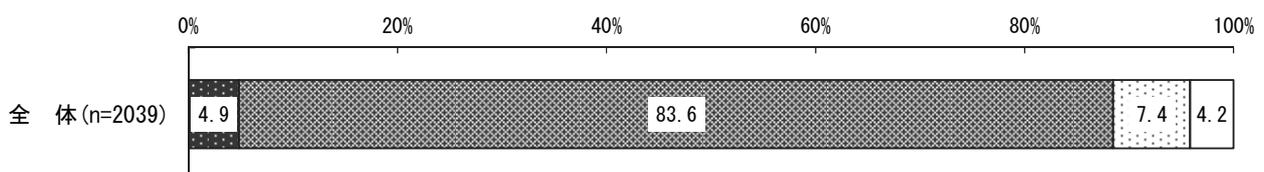
■ 高齢者虐待だと思ふこと（複数回答）



⑤ 高齢者虐待に気づいたことの有無（問42）

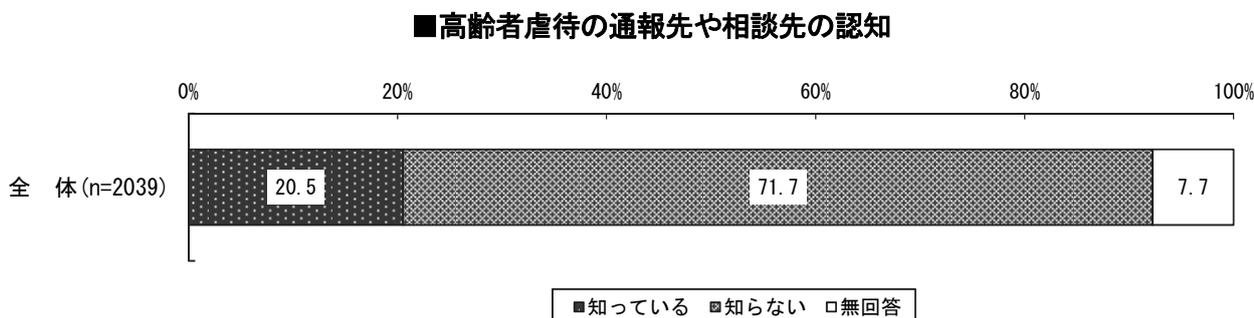
高齢者虐待に気づいたことの有無は、「ある」が4.9%、「ない」が83.6%となっている。

■ 高齢者虐待に気づいたことの有無



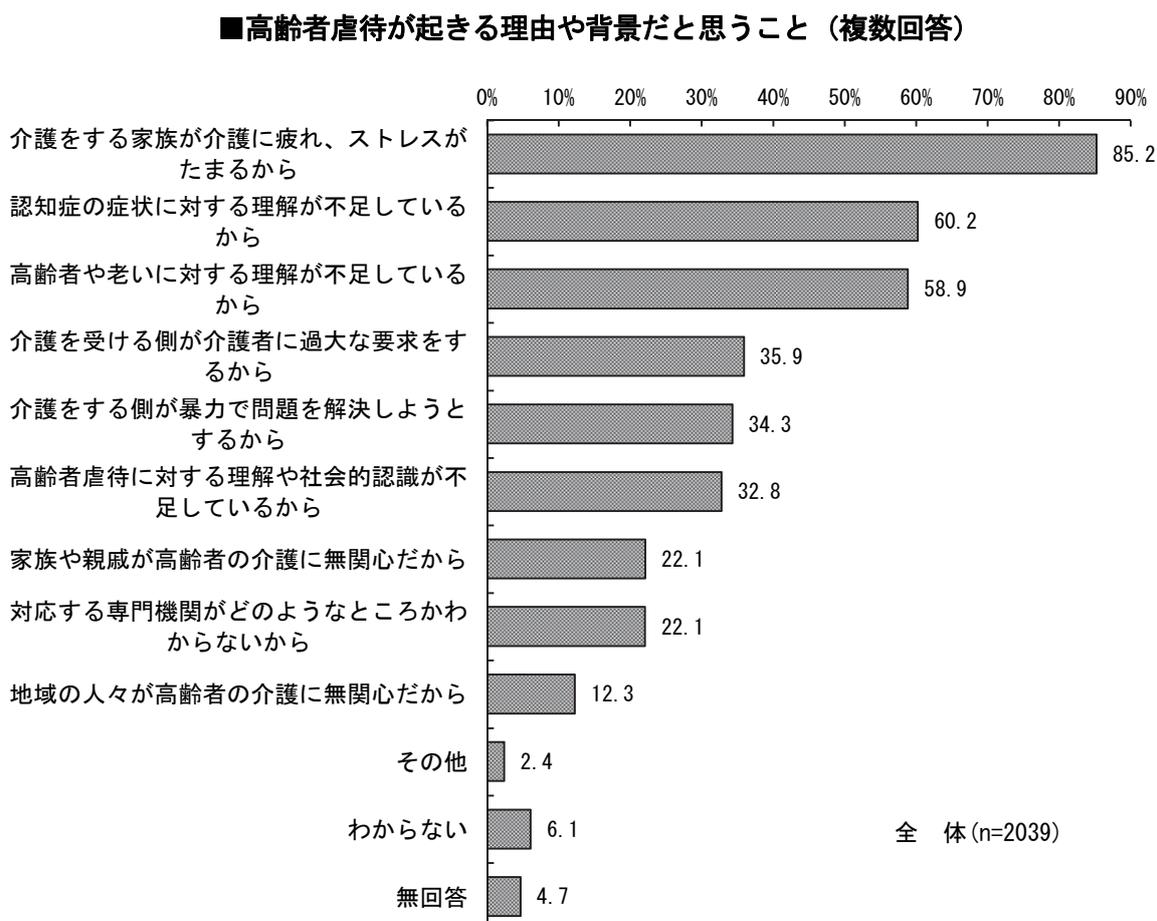
⑥ 高齢者虐待の通報先や相談先の認知（問43）

高齢者虐待の通報先や相談先の認知は、「知っている」が20.5%、「知らない」が71.7%となっている。



⑦ 高齢者虐待が起きる理由や背景だと思ふこと（問44）

高齢者虐待が起きる理由や背景だと思ふことは、「介護をする家族が介護に疲れ、ストレスがたまるから」が最も多く85.2%、「認知症の症状に対する理解が不足しているから」(60.2%)、「高齢者や老いに対する理解が不足しているから」(58.9%)が続いている。

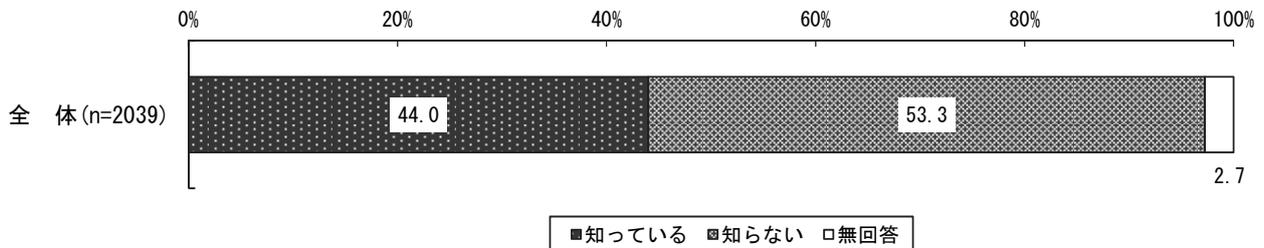


(8) 介護保険制度

① 地域包括支援センターの認知（問45）

地域包括支援センターの認知は、「知っている」が44.0%、「知らない」が53.3%となっている。

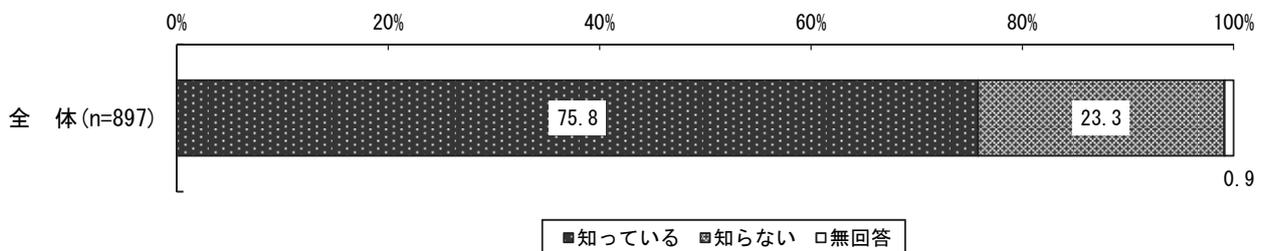
■地域包括支援センターの認知



② 地域包括支援センターの場所の認知（問45-1）

地域包括支援センターを知っている人に、住んでいる地区を担当している地域包括支援センターの場所を知っているかたずねたところ、「知っている」が75.8%、「知らない」が23.3%となっている。

■地域包括支援センターの場所の認知
 <地域包括支援センターを知っている人>

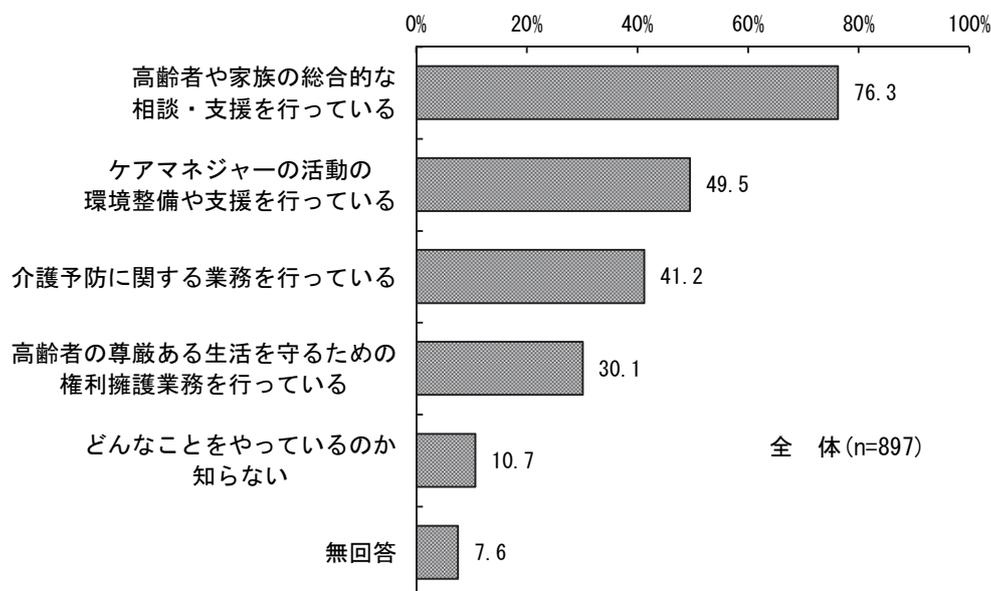


③ 地域包括支援センターの事業内容の認知（問45-2）

地域包括支援センターを知っている人に、地域包括支援センターの事業内容について知っているかたずねたところ、「高齢者や家族の総合的な相談・支援を行っている」が最も多く76.3%、「ケアマネジャーの活動の環境整備や支援を行っている」（49.5%）、「介護予防に関する業務を行っている」（41.2%）が続いている。

■地域包括支援センターの事業内容の認知（複数回答）

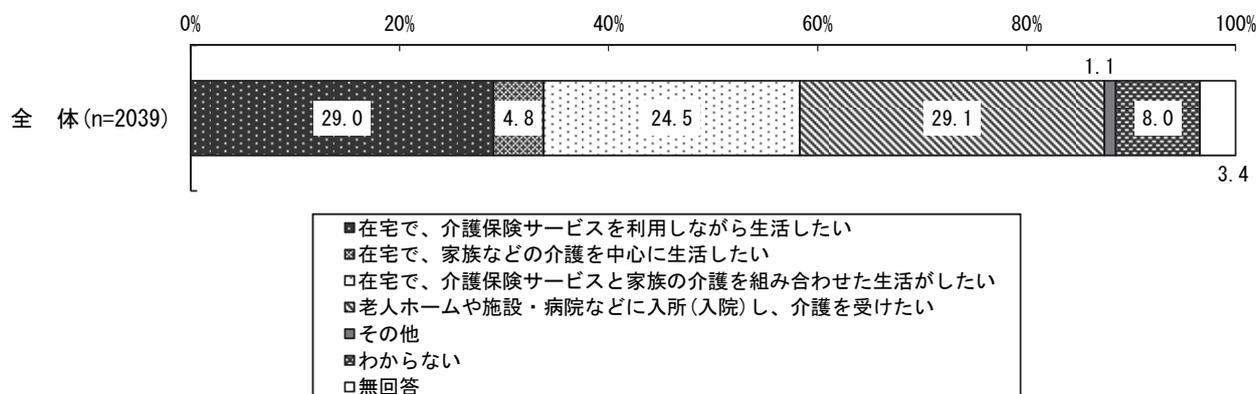
<地域包括支援センターを知っている人>



④ 介護が必要になった場合に生活したい場所（問46）

介護が必要になった場合に生活したい場所は、「老人ホームや施設・病院などに入所（入院）し、介護を受けたい」が29.1%、「在宅で、介護保険サービスを利用しながら生活したい」が29.0%、「在宅で、介護保険サービスと家族の介護を組み合わせた生活がしたい」が24.5%となっている。

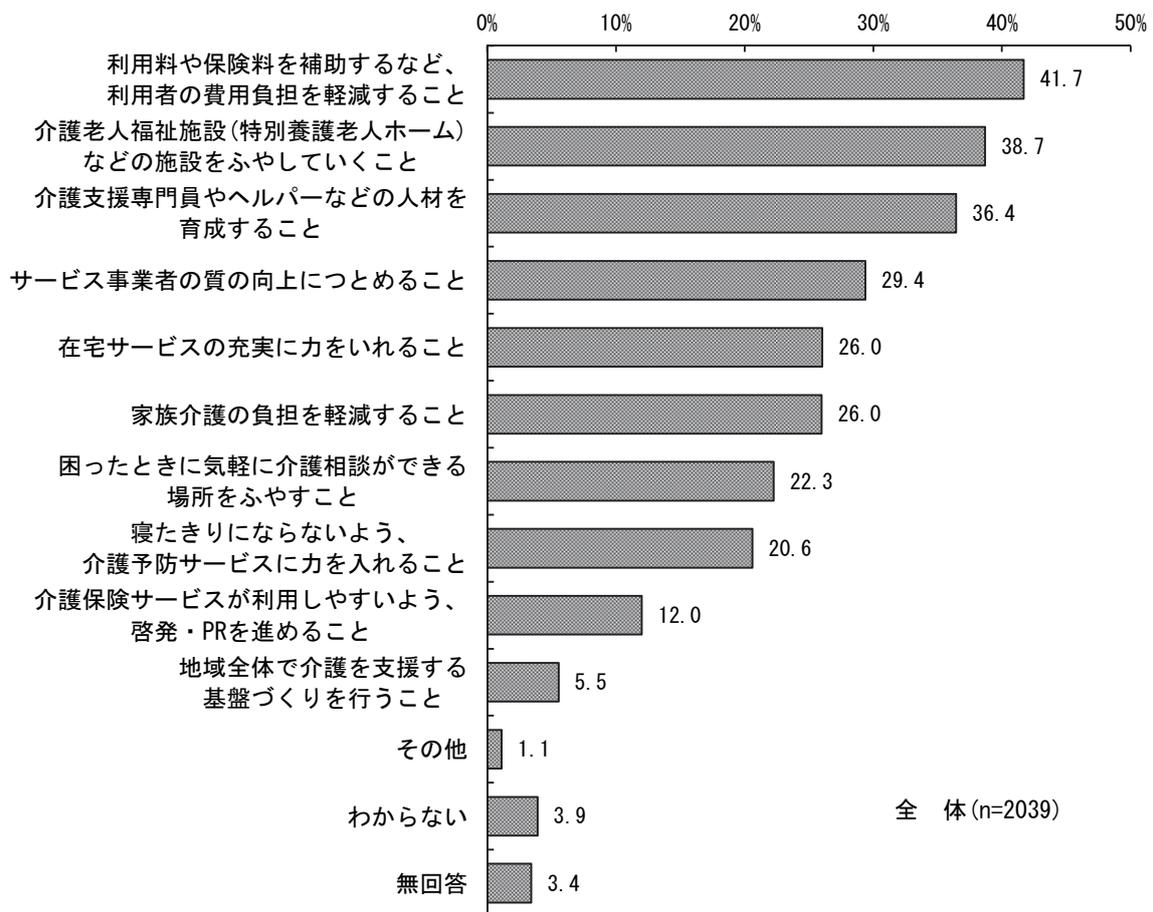
■介護が必要になった場合に生活したい場所



⑤ 介護保険制度をよりよくするために市が力を入れるべきこと（問47）

介護保険制度をよりよくするために市が力を入れるべきことは、「利用料や保険料を補助するなど、利用者の費用負担を軽減すること」が最も多く41.7%、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）などの施設をふやしていくこと」（38.7%）、「介護支援専門員やヘルパーなどの人材を育成すること」（36.4%）が続いている。

■介護保険制度をよりよくするために市が力を入れるべきこと（複数回答（3つまで））



(9) 高齢者保健福祉サービス、介護保険制度への意見・要望（問48）

高齢者保健福祉サービス、介護保険制度について、自由記述形式でうかがい、内容ごとに分類・整理を行った。主な意見は以下のとおりである。

(高齢者の社会参加の促進)

- ・ボランティア活動をしたくてボランティアセンターに登録したが声がかかってこない。
- ・ストレスをためないためにも、個人4～5人でも、簡単に借りられる場所がほしい。
- ・元気な老人もたくさんいるのだから、もっと老人パワーを活かす制度を作るべき。
- ・スポーツなども良いが、身近なことなど（地域の歴史など）を勉強する機会がほしい。

(活動・交流の場の整備)

- ・高齢者福祉センターを拡大し、市内の高齢者が気軽に利用できるよう考えてほしい。
- ・健康体操運動など随時、人数制限などなく、楽しく集まれる場所として参加できたらと思う。
- ・一週間に二回位集まってお話ができる場所があったらいい。それが生きがいになり病気もせずに暮らせることができるのではないかな。

(就労支援)

- ・趣味や運動等、積極的に参加していきたい。自分のできる範囲で、ボランティア活動にも取り組んでいきたいので、少しでも有料の仕事をしたい。

(健康づくりの推進)

- ・市の高齢者の体操教室は1年間教えて頂くと2年目はなかなか教えて頂けないので、続けて教えてもらえる体操教室をもっと増やしてほしい。
- ・福社会館の健康体操に毎年参加できるようお願いします。
- ・市内の民間スポーツジム等と提携した健康維持のための割安な企画を検討してほしい。
- ・65才以上の方が元気にスポーツをしているサークル、クラブに助成金を出してほしい。

(介護予防の推進)

- ・年をとっても明るく元気に暮らせるよう、まず介護予防に力を入れ、まち全体で健康体操など啓発、PRしていくとよい。
- ・予防のために利用できる所が少ない。
- ・介護予防の充実のために健康支援を行う。
- ・介護予防のために気楽に参加できる、軽いスポーツ、体操などがもっとあると良い。
- ・予防のために普段から健康に気をつけたいので、プールのある施設を増やしてほしい。

(介護保険サービスの充実)

- ・相談の電話や連絡が入ったら、即日対応できるよう人材を増やしてほしい。
- ・介護が必要となったら、すぐに入所できる施設を充実し、入所待機者をゼロにする。
- ・家族の環境、体の状況にあわせた多種類の施設がほしい。
- ・介護老人施設の増大と、その入居を安くしてほしい。
- ・介護に関して、訪問ヘルパーの充実。
- ・自分が介護を受けなければ生活できなくなった時、年金で支払える老人福祉施設があると助かる。
- ・リハビリ施設、だれでも必要に応じて利用できる設備が必要。
- ・介護保険制度を受ける手続きをもっと簡単にしてもらいたい。
- ・寝たきりにならないようにサービス、リハビリの活動支援に力を入れてほしい。

(生活支援サービスの充実)

- ・高齢者だけの生活者が通院する時に自宅まですぐ来てくれる車の介護サービスがほしい。
- ・日々の暮らしの中で高い所に手が届かない、電球を替えられない、窓をふけないなど困ることがだんだん増えてきた。介護保険でこういう家事援助をやってもらえる制度はできないか。
- ・低所得高齢独居者、単身居住者等へ市の食堂、学校給食の業者等へ依頼し、少なくとも民間業者より安価で安心な食サービスを実施する。宅配の際、市報を渡し、一言、二言話しかけ、生活状況をつかむ。配達にはボランティア又は個人商店に依頼する。

(特養の整備)

- ・特別養護老人ホームの増設。
- ・特養へ入るために現状は1～2年入居待ちになるようなので、せめて半年以内に入居できるように施設への入所者枠を大幅に増やすべきである。
- ・家計の負担にならない程度の経費で入所できる特別養護老人ホームが増えることを希望する。
- ・特養老人ホームにいつでも入れるようにしてほしい。

(高齢者向け住宅の整備)

- ・現在はまだまだ自力で何でもできるが、一人身になった時、費用も少なく安心して入居できるホーム等を希望する。
- ・お互い協力しあって、生活することができるようにシェアハウスがほしい。

(認知症への支援)

- ・認知症になったら施設に入居できるようにしてほしい。
- ・みんなで認知症対応ができるまちづくりをする。各家庭はもちろん、町内で営業しているあらゆる職種の人が「もしかしてこの人は認知症で家がわからなくなっているのでは？」などと感じたらその情報を1ヶ所に集中できる体制をつくる。
- ・団塊世代が70才に到達するまでに認知症予防の種々のプログラム（特に運動）を早急に実施するのがよい。

(在宅療養体制の充実)

- ・在宅で介護している人のサークル作りや夜間の負担をかけない社会資源の充実。介護者は在宅でいつまでも居られるような社会作り。
- ・最後の時を迎えるまで、在宅で過ごしたい。そのための人材育成、介護保険の利用しやすさ、手続きなどの簡便化も必要である。
- ・可能な限り、家で生活したいと皆思っている。そのための支援補助を市にお願いしたい。

(介護者への支援)

- ・介護する人への支援（健康維持や諸費用）が必要である。

(人材の確保と処遇改善)

- ・ヘルパーが高齢化しており、若いヘルパーの育成に努めてほしい。
- ・仕事がきついわりには収入が少ない。
- ・福祉事業に従事している従業員の待遇が悪過ぎる。高齢化社会だから介護は絶対必要であり、それに従事する人が一生の仕事としていけるような待遇をするべきと思う。

(介護保険制度の適切な運営)

- ・年金生活者にとって年々保険（介護）料が増えるのは困る。市や国でもっと負担してほしい。
- ・介護保険料が高すぎる。
- ・過度のサービスは求めない。バランスの取れた市政を行ってほしい。

(情報発信の充実)

- ・サービスや制度の内容がわかりにくいので、もう少しわかりやすく知らせてほしい。

(相談体制の充実)

- ・介護専門家がいる、いつでも自由に気軽に相談できることを希望する。
- ・気軽に相談できる場所・人員の拡充を望む。

(高齢者を地域で支えるまちづくり)

- ・地域で見守りができる活動環境を作る。
- ・ボランティアを含め、地域ぐるみで高齢者を見守り、支える仕掛けが早く確立されるよう祈る。
- ・単独世帯が多くなっているので民生委員、ささえあい訪問協力員等、地域の人に関わっていくことも必要と思う。

(見守りの充実)

- ・高齢者の家庭を巡回することを希望する。
- ・認定されなくても、病名がなくても一応相談を希望した家に対して車での見守りがほしい。
- ・高齢者一人住まいは心配である。元気そうに見えるが時々顔を見せてほしい。
- ・孤独死が放置されないよう早期に発見できるメカニズムの構築が必要である。
- ・後期高齢者に対して、月1回ぐらいまわって来てほしい。

(移動支援)

- ・歩行が困難な人のために、車椅子で自宅から乗れる送り迎えの車があれば助かる。

(高齢者に優しいまちづくり)

- ・道の狭い所があって、車がスピード出してくるとよけるのに大変で、慌てると転びそうになる。
- ・田無は夜道が暗すぎるので外灯などもっとたくさんつけて明るくしてほしい。
- ・高齢者が外に出ていける、外に出て行きたいと思うようなまちづくり（道、公園、勉強する場、文化に触れる場など）をお願いしたい。

(質の向上)

- ・施設でのヘルパーのレベルアップとともに理学的療法（リハ含む）に力を入れて寝たきり予防をお願いしたい。
- ・人手不足もあると思うが各事業所（訪問、居宅）介護施設等の介護職員のレベルが低すぎる。もっと研修などを充実させて良い職員を増やしてほしい。
- ・介護職員の確保と資質の向上に対する施策をお願いしたい。

(経済的負担の軽減)

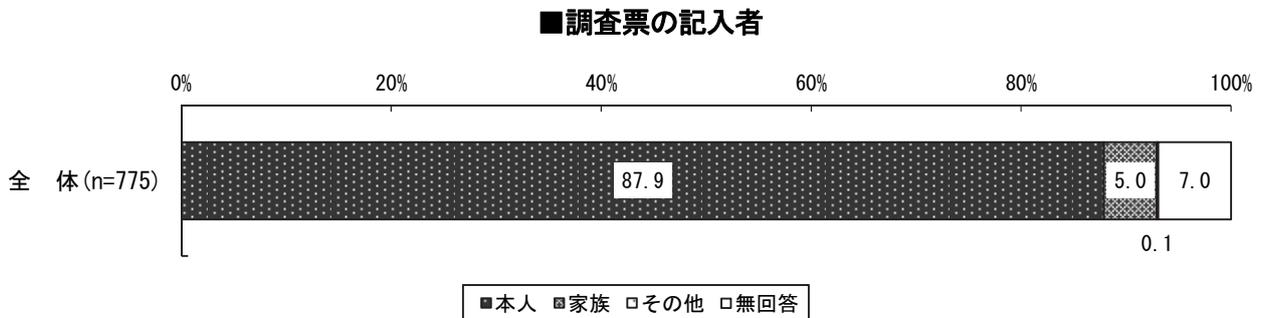
- ・低所得者には、何事も負担を低くしてもらいたい。
- ・経済的に苦しいので介護保険料を下げしてほしい。

2. 若年者一般調査

(1) 基本属性

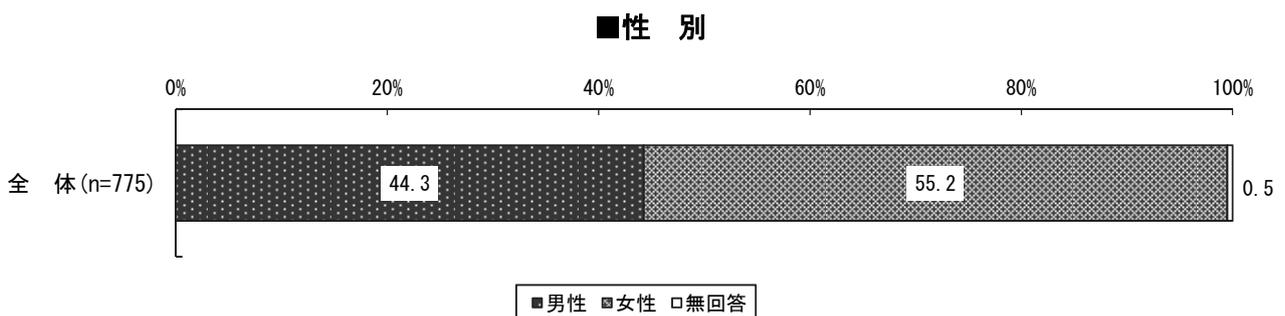
① 調査票の記入者（問1）

調査票の記入者は、「本人」が87.9%、「家族」が5.0%である。



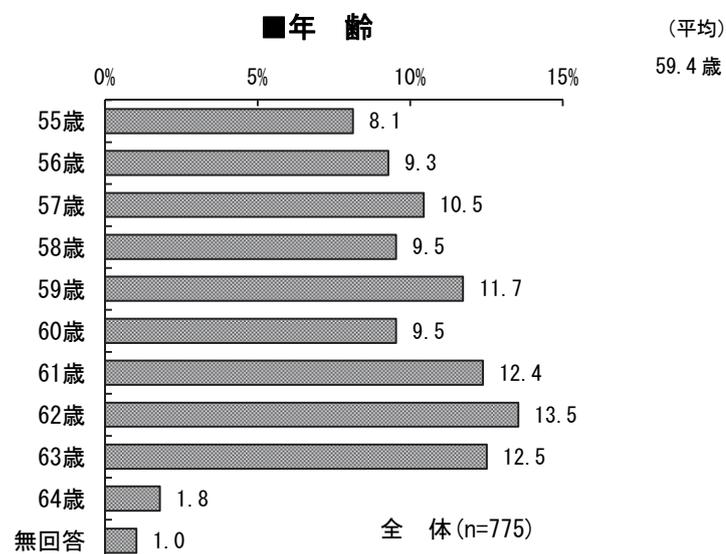
② 性別（問2）

性別は、「男性」が44.3%、「女性」が55.2%となっている。



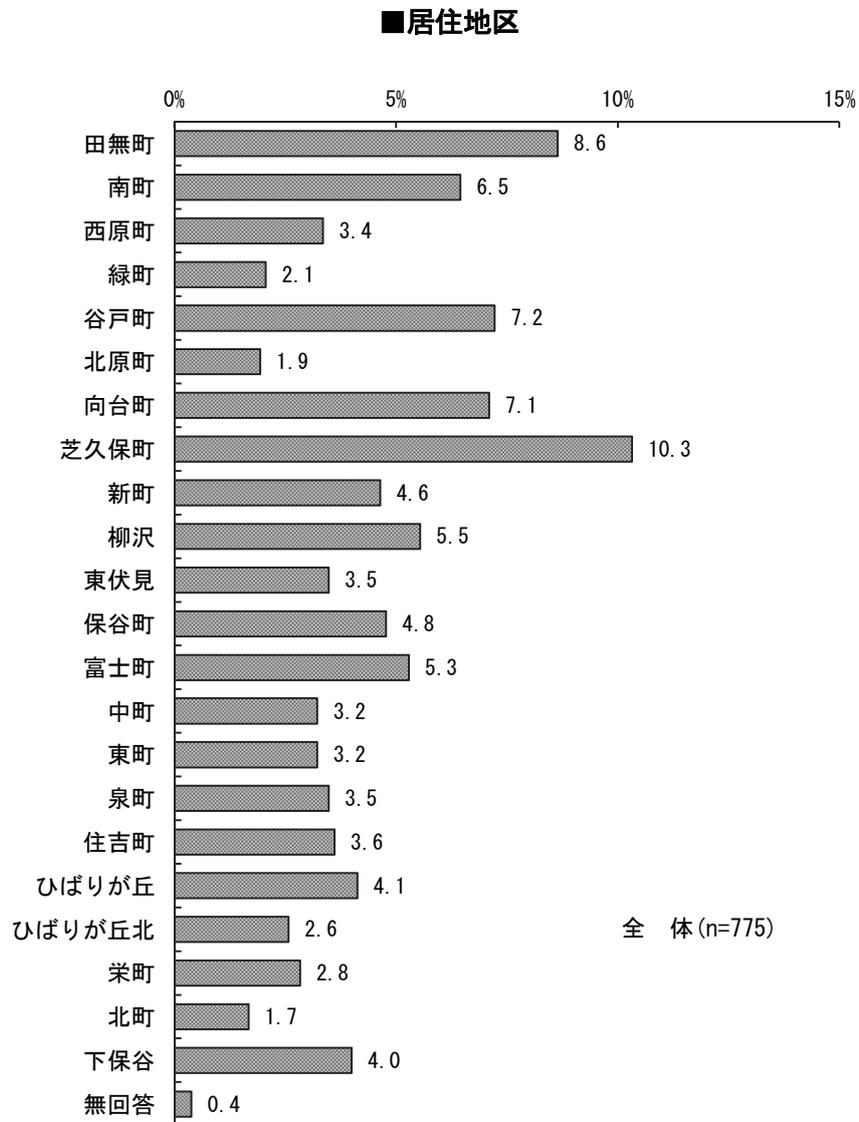
③ 年齢（問3）

年齢は、「62歳」が最も多く13.5%、次いで「63歳」（12.5%）、「61歳」（12.4%）が続いている。



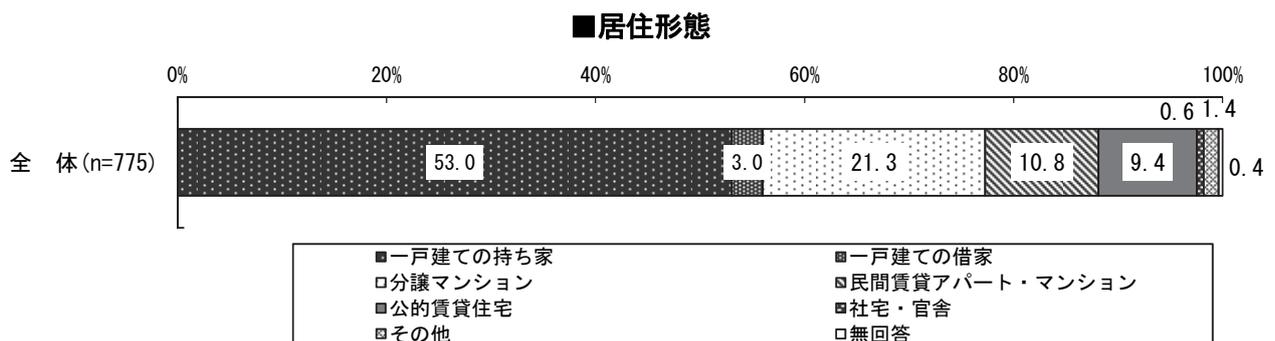
④ 居住地区（問4）

居住地区は、「芝久保町」（10.3%）が最も多く、次いで「田無町」（8.6%）、「谷戸町」（7.2%）、「向台町」（7.1%）が続いている。



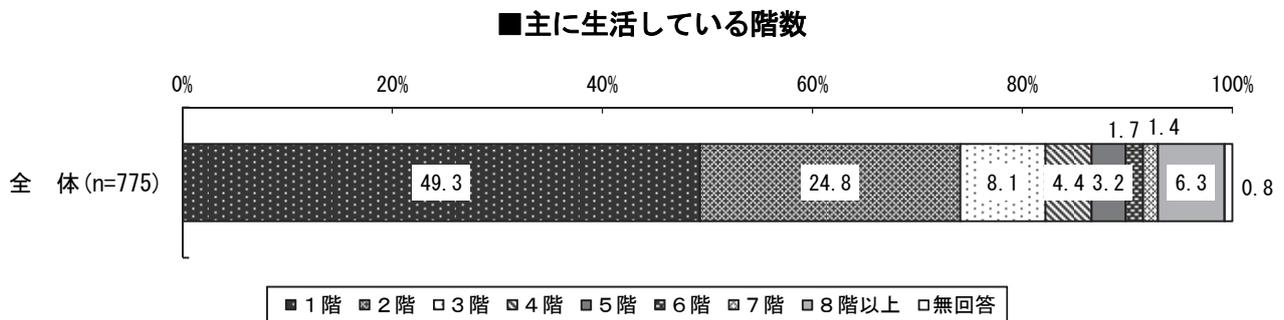
⑤ 居住形態（問5）

居住形態は、「一戸建ての持ち家」が最も多く 53.0%、次いで「分譲マンション」（21.3%）、「民間賃貸アパート・マンション」（10.8%）が続いている。



⑥ 主に生活している階数（問6）

主に生活している階数は、「1階」が最も多く49.3%、「2階」(24.8%)、「3階」(8.1%)が続いている。



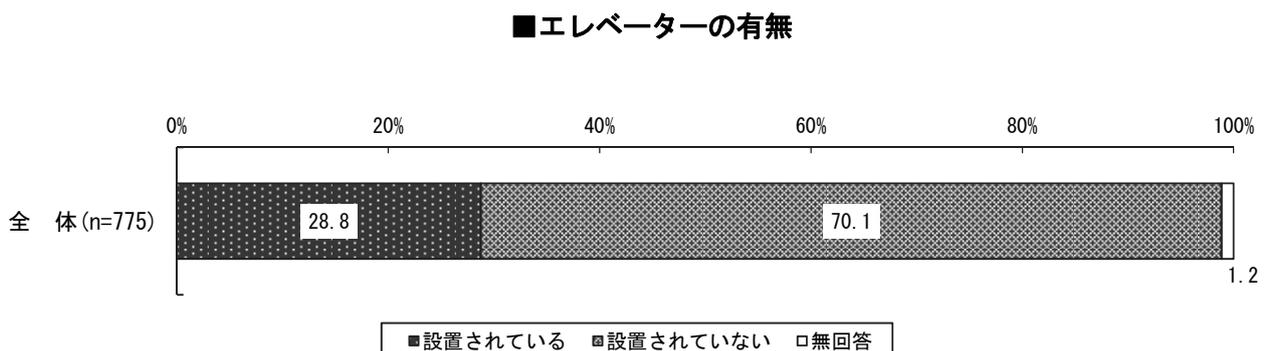
■主に生活している階数【前回比較】

(%)

	1階	2階	3階	4階	5階	6階	7階	8階以上	無回答
平成25年度調査 (n=775)	49.3	24.8	8.1	4.4	3.2	1.7	1.4	6.3	0.8
平成22年度調査 (n=910)	47.4	23.8	8.6	5.1	3.1	1.4	2.0	6.5	2.2

⑦ エレベーターの有無（問7）

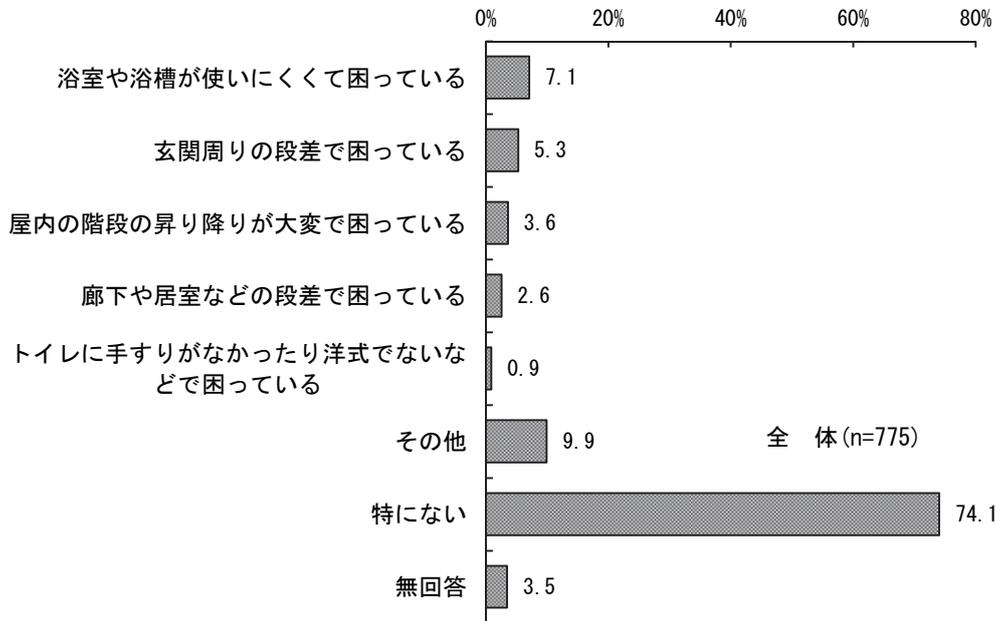
エレベーターの有無は、「設置されている」が28.8%、「設置されていない」が70.1%となっている。



⑧ 住まいで困っていること（問8）

住まいで困っていることは、「浴室や浴槽が使いにくくて困っている」が最も多く7.1%、「玄関周りの段差で困っている」（5.3%）、「屋内の階段の昇り降りが大変で困っている」（3.6%）が続いている。

■住まいで困っていること（複数回答）



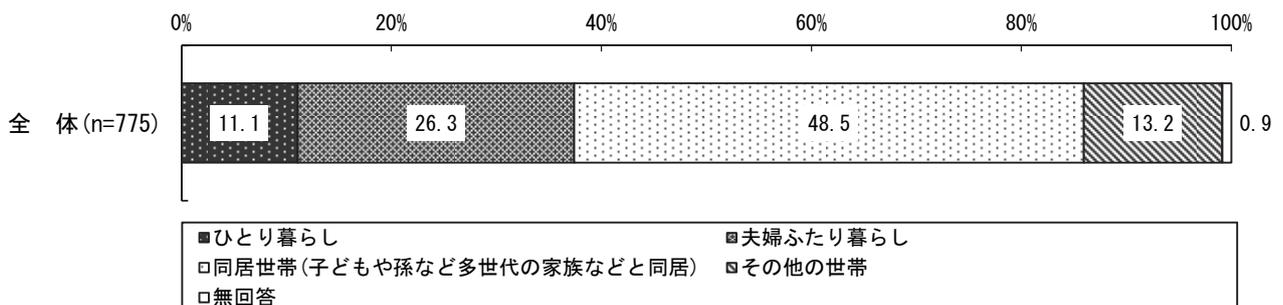
■住まいで困っていること（複数回答）【前回比較】

	困る	玄関	差廊	り屋	く浴	なか	ト	そ	特	無
	つ	つ	で	が	く	な	い	他	に	回
	関	下	下	内	室	か	ト		な	答
	り	や	居	の	や	つ	レ		い	
	の	つ	室	大	浴	困	に			
	段	居	な	変	槽	り	手			
	差	て	い	階	が	洋	す			
	で	る	ど	段	使	式	り			
		の	の	の	い	で	な			
		段	段	昇	る	い	い			
				り	い	に	な			
				降						
平成25年度調査 (n=775)	5.3	2.6	3.6	7.1	0.9	9.9	74.1	3.5		
平成22年度調査 (n=910)	4.7	2.2	4.0	8.0	1.2	9.7	69.6	7.4		

⑨ 同居家族（問9）

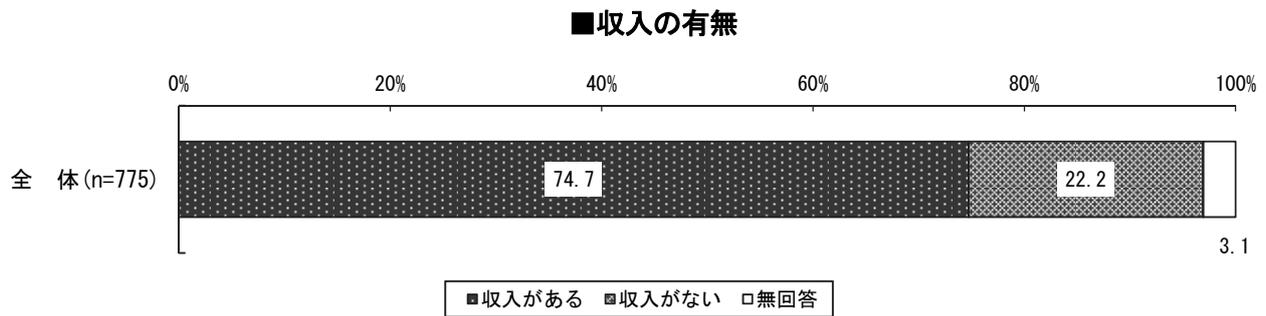
同居家族は、「ひとり暮らし」が11.1%、「夫婦ふたり暮らし」が26.3%、「同居世帯（子どもや孫など多世代の家族など同居）」が48.5%、「その他の世帯」が13.2%となっている。

■同居家族



⑩ 収入の有無（問10）

収入の有無は、「収入がある」が74.7%、「収入がない」が22.2%となっている。



⑪ 年間の世帯収入（問11）

年間の世帯収入は、「1,000万円以上」(15.1%)が最も多く、「200万円以上300万円未満」(12.1%)、「300万円以上400万円未満」(10.8%)が続いている。

■年間の世帯収入

年間の世帯収入	割合 (%)
60万円未満	4.1
60万円以上120万円未満	8.1
120万円以上200万円未満	10.7
200万円以上300万円未満	12.1
300万円以上400万円未満	10.8
400万円以上500万円未満	7.7
500万円以上600万円未満	7.2
600万円以上700万円未満	6.7
700万円以上900万円未満	9.2
900万円以上1,000万円未満	4.3
1,000万円以上	15.1
無回答	3.9

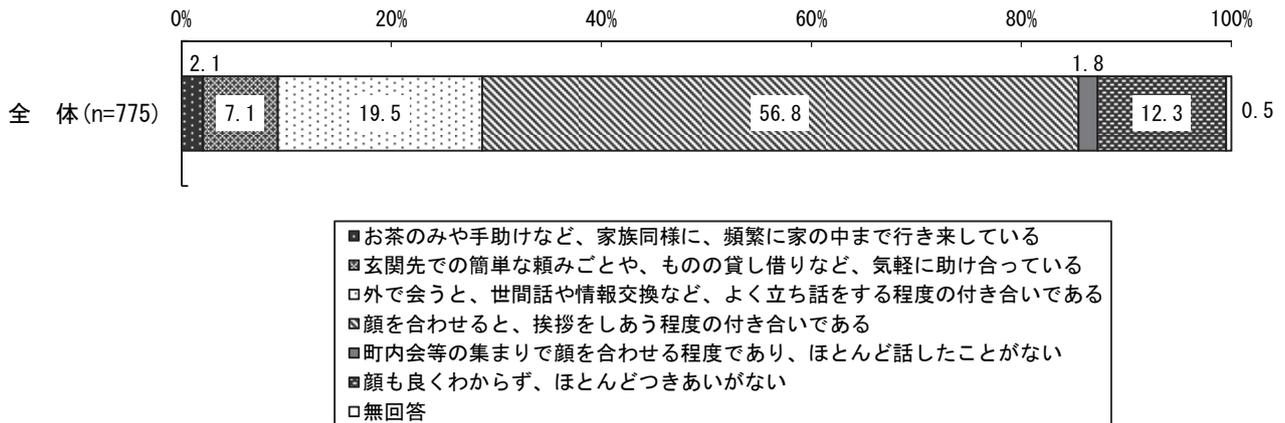
全体 (n=775)

(2) 地域とのかかわり

① 近所づきあいの程度 (問12)

近所づきあいの程度は、「顔を合わせると、挨拶をしあう程度」が最も多く56.8%、次いで「外で会うと、世間話や情報交換など、よく立ち話をする程度」が19.5%、「顔も良くわからず、ほとんどつきあいが無い」が12.3%、「玄関先での簡単な頼みごとや、ものの貸し借りなど、気軽に助け合っている」が7.1%となっている。

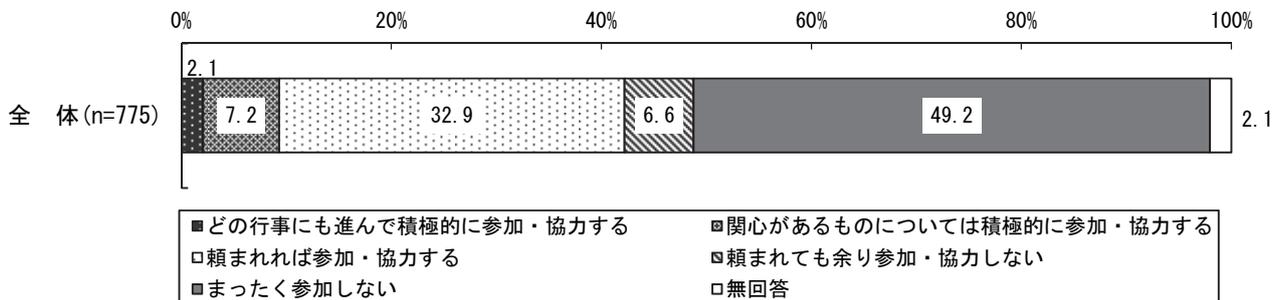
■近所づきあいの程度



② 地域の行事や活動の参加頻度 (問13)

地域の行事や活動の参加頻度は、「まったく参加しない」が最も多く49.2%、「頼まれれば参加・協力する」(32.9%)、「関心があるものについては積極的に参加・協力する」(7.2%)、「頼まれても余り参加・協力しない」(6.6%)、「どの行事にも進んで積極的に参加・協力する」(2.1%)が続いている。

■地域の行事や活動の参加頻度



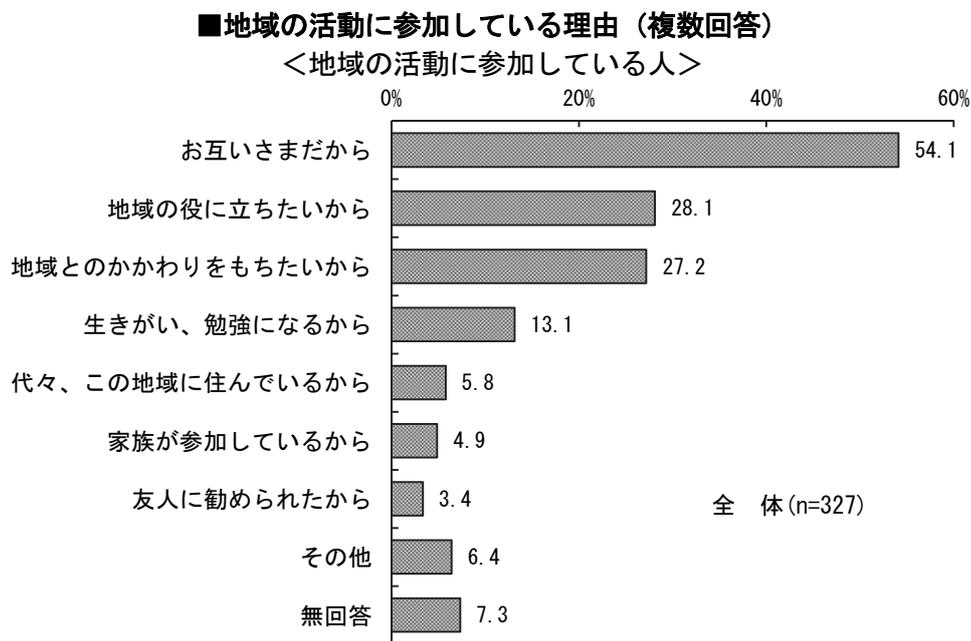
③ 地域の行事や活動の具体的内容（問13-1）

問13で、地域の行事や活動に「参加・協力する」と回答した人に、具体的な活動の内容をたずねた。主な意見は以下のとおりである。

- ・ 夏祭りなど自治会主催の催し物等
- ・ 市民まつり
- ・ エコプラザ協力員（書籍映像チーム）として、リサイクル市で古本担当
- ・ 町内会活動
- ・ 消防団、女性消防団
- ・ マンションの各種委員会
- ・ バザー等の参加
- ・ 雑草刈り
- ・ 月1回の掃除
- ・ おやじの会（小学校の行事の手助け）
- ・ 園芸関係
- ・ 育成会活動
- ・ 障害者のプール指導、おかし・ケーキ・パン作りを教える。
- ・ 子育て支援
- ・ 趣味サークル、食事会
- ・ ボランティアのつどい
- ・ 公民館のサークル活動
- ・ 社会福祉協議会のボランティア
- ・ 市報の配布、シルバー班会議、ゴミゼロ運動
- ・ 防災運動
- ・ ゴミ集積所の清掃当番
- ・ 高齢者施設の行事手伝い
- ・ 防災訓練
- ・ 商店会の祭り等
- ・ ミニミニデイ
- ・ ひとり暮らし高齢者宅への訪問（おかず届けや、古着の寄付、お茶飲み、季節ごとの食事会をして招く）、老人会のバス旅行
- ・ 年末の夜回り
- ・ 集団回収（資源ゴミ類）
- ・ ソフトボールの審判やスポーツ祭りの手伝いなど
- ・ 課外授業（小学校低学年の勉強会等）
- ・ ふれまち
- ・ 野良猫の保護、商店街の行事
- ・ 手話サークル
- ・ 公民館関係、社会福祉協議会関係、小・中学校関係、育成会関係などの活動
- ・ 団地の夏祭り（盆踊り）
- ・ 振り込め詐欺のセミナー
- ・ 高齢者交通指導、交通安全
- ・ ささえあい訪問協力員
- ・ 認知症サポーター養成講座

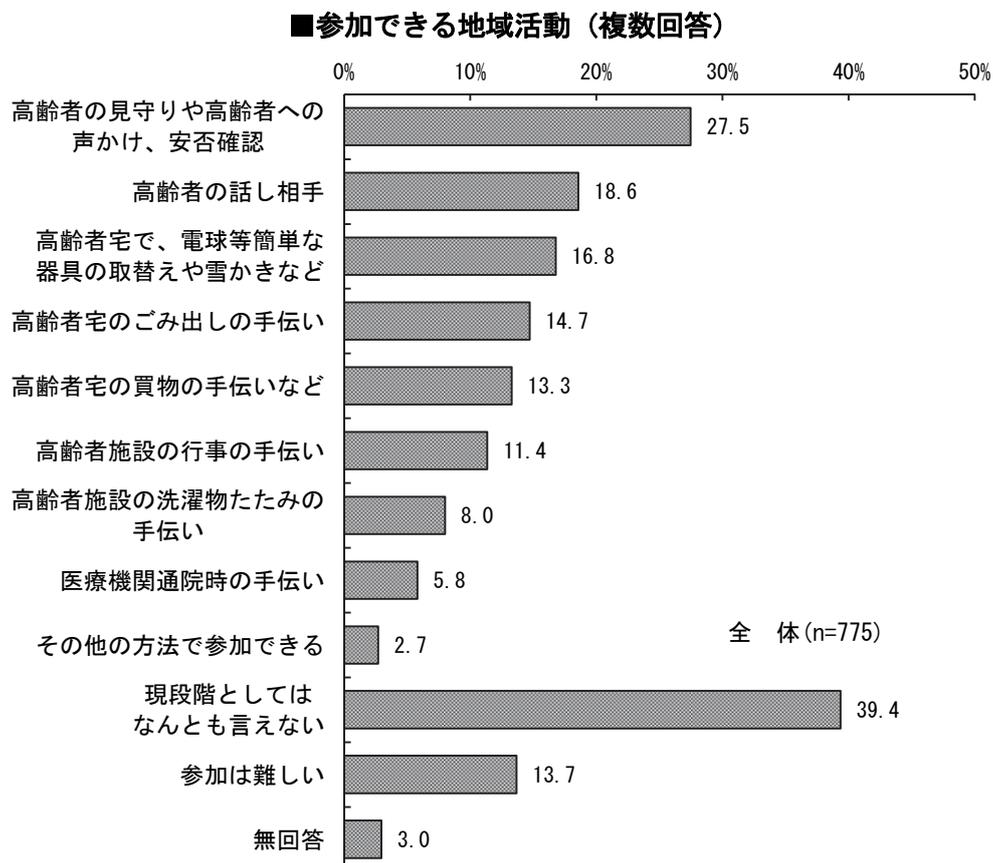
④ 地域の活動に参加している理由（問13-2）

地域の活動に参加している人の参加理由は、「お互いさまだから」が最も多く54.1%、「地域の役に立ちたいから」（28.1%）、「地域とのかかわりをもちたいから」（27.2%）が続いている。



⑤ 参加できる地域活動（問14）

参加できる地域活動は、「高齢者の見守りや高齢者への声かけ、安否確認」が最も多く27.5%、「高齢者の話し相手」（18.6%）、「高齢者宅で、電球等簡単な器具の取替えや雪かきなど」（16.8%）が続いている。



性・年代別にみると、「高齢者の見守りや高齢者への声かけ、安否確認」「高齢者の話し相手」は女性が男性よりもそれぞれ8.4ポイント、9.8ポイント高くなっているが、年代別の差は見られない。男性では「高齢者宅で、電球等簡単な器具の取替えや雪かきなど」の割合が女性より高くなっている。

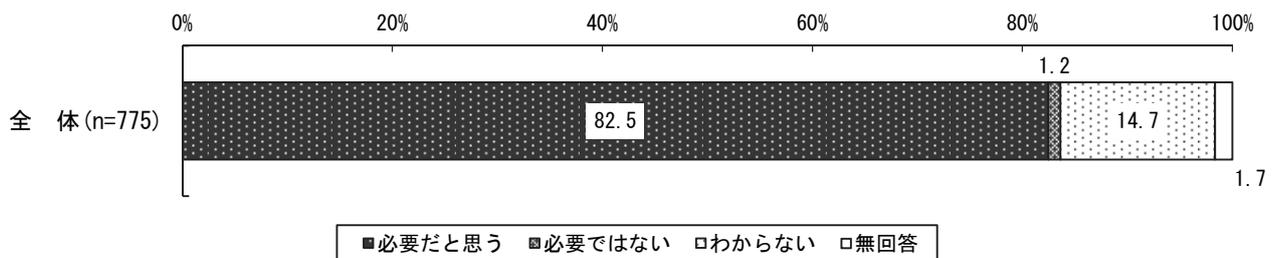
■参加できる地域活動（性・年代別：複数回答）

		高齢者の見守りや高齢者への声かけ、安否確認	高齢者の話し相手	高齢者宅で、電球等簡単な器具の取替えや雪かきなど	高齢者宅のごみ出しの手伝い	高齢者宅の買物の手伝いなど	高齢者施設の行事の手伝い	高齢者施設の洗濯物たたみの手伝い	医療機関通院時の手伝い	その他の方法で参加できる	現段階としてはなんとも言いえない	参加は難しい	無回答
男性	男性 計 (n=343)	22.7	13.1	25.1	13.4	9.3	5.2	1.5	4.7	1.7	43.1	12.2	2.9
	55～59歳 (n=162)	23.5	14.2	23.5	14.2	12.3	6.2	2.5	4.9	1.9	41.4	14.2	0.6
	60～64歳 (n=179)	22.3	12.3	26.8	12.8	6.7	4.5	0.6	4.5	1.7	44.7	10.1	5.0
	無回答 (n=2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0	-
女性	女性 計 (n=428)	31.1	22.9	10.3	15.9	16.6	16.4	13.1	6.8	3.5	36.7	15.0	2.6
	55～59歳 (n=218)	31.2	22.0	10.6	14.7	17.4	17.4	14.7	6.4	2.3	39.0	14.2	2.3
	60～64歳 (n=206)	31.1	23.8	9.7	17.5	16.0	15.5	11.7	7.3	4.9	34.0	15.5	2.9
	無回答 (n=4)	25.0	25.0	25.0	-	-	-	-	-	-	50.0	25.0	-

⑥ ボランティア活動の必要性（問15）

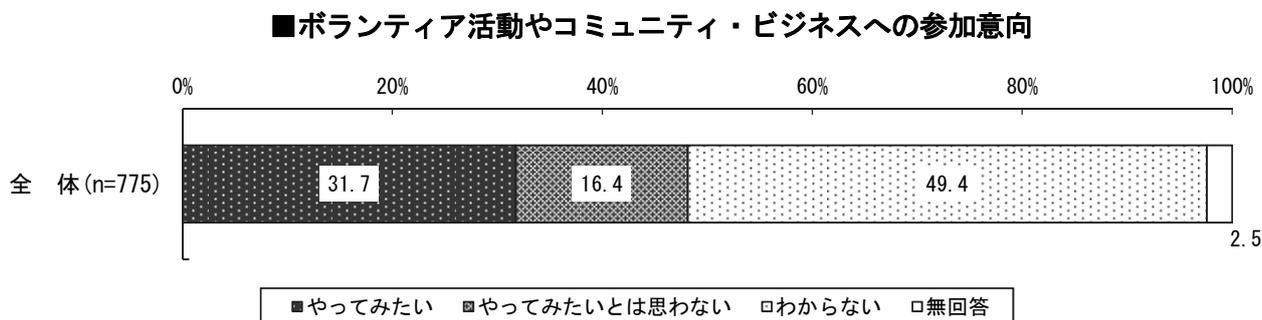
ボランティア活動の必要性は、「必要だと思う」が82.5%、「必要ではない」が1.2%、「わからない」が14.7%となっている。

■ボランティア活動の必要性



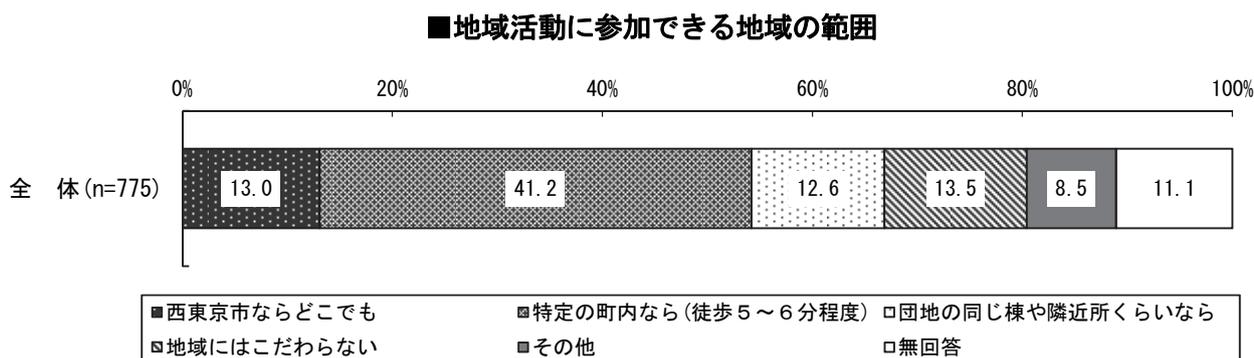
⑦ ボランティア活動やコミュニティ・ビジネスへの参加意向（問16）

ボランティア活動やコミュニティ・ビジネスへの参加意向は、「やってみたい」が31.7%、「やってみたいとは思わない」が16.4%、「わからない」が49.4%となっている。



⑧ 地域活動に参加できる地域の範囲（問17）

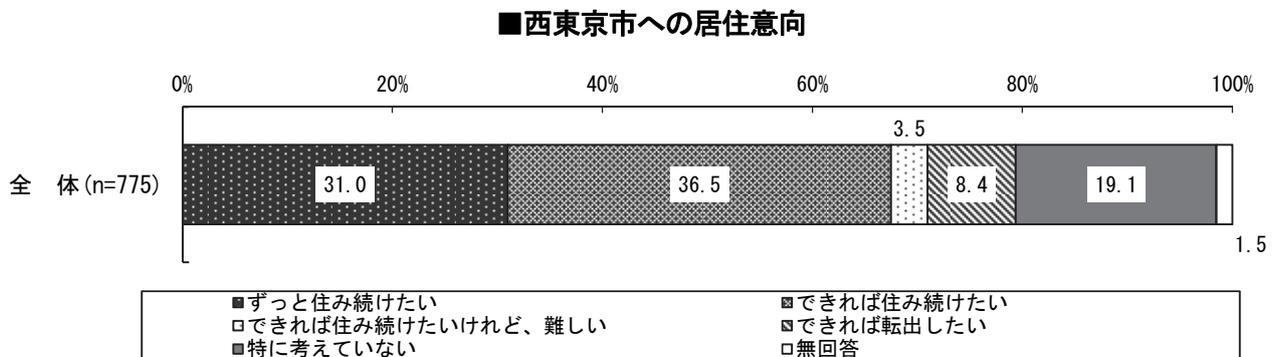
地域活動に参加できる地域の範囲は、「西東京市ならどこでも」が13.0%、「特定の町内なら（徒歩5～6分程度）」が41.2%、「団地の同じ棟や隣近所くらいなら」が12.6%、「地域にはこだわらない」が13.5%となっている。



(3) 住まい方

① 西東京市への居住意向（問18）

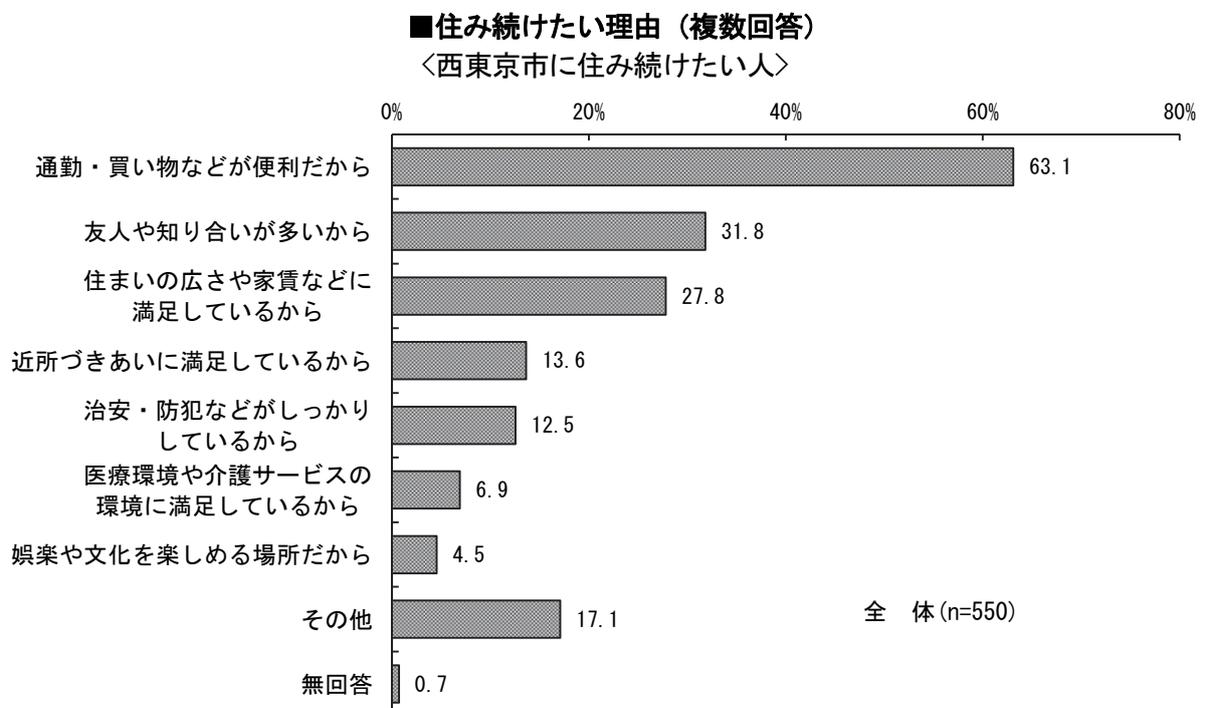
西東京市への居住意向は、「ずっと住みたい」が31.0%、「できれば住みたい」が36.5%、「できれば住みたいけれど、難しい」が3.5%、「できれば転出したい」が8.4%となっている。



② 住みたい理由（問18-1）

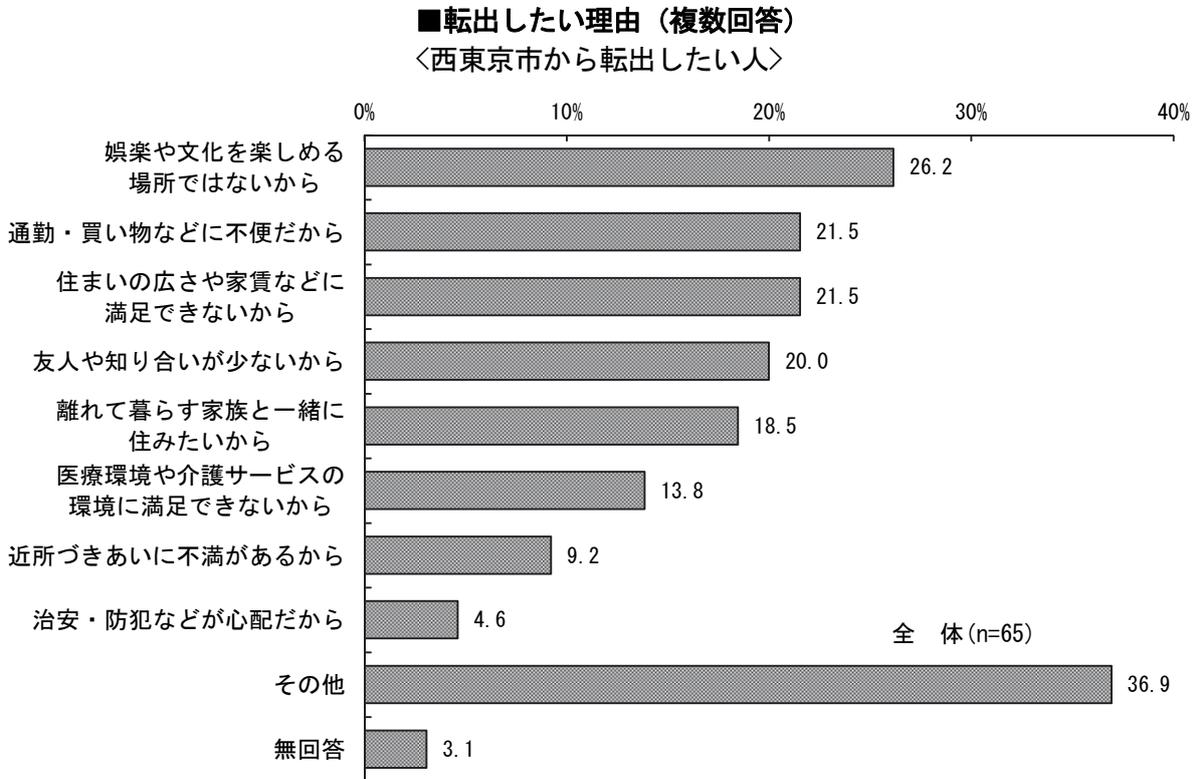
西東京市に住みたいと回答した人（※）に、住みたい理由をたずねたところ、「通勤・買い物などが便利だから」が最も多く63.1%、「友人や知り合いが多いから」（31.8%）、「住まいの広さや家賃などに満足しているから」（27.8%）が続いている。

※ 問18で「ずっと住みたい」「できれば住みたい」「できれば住みたいけれど、難しい」と回答した人



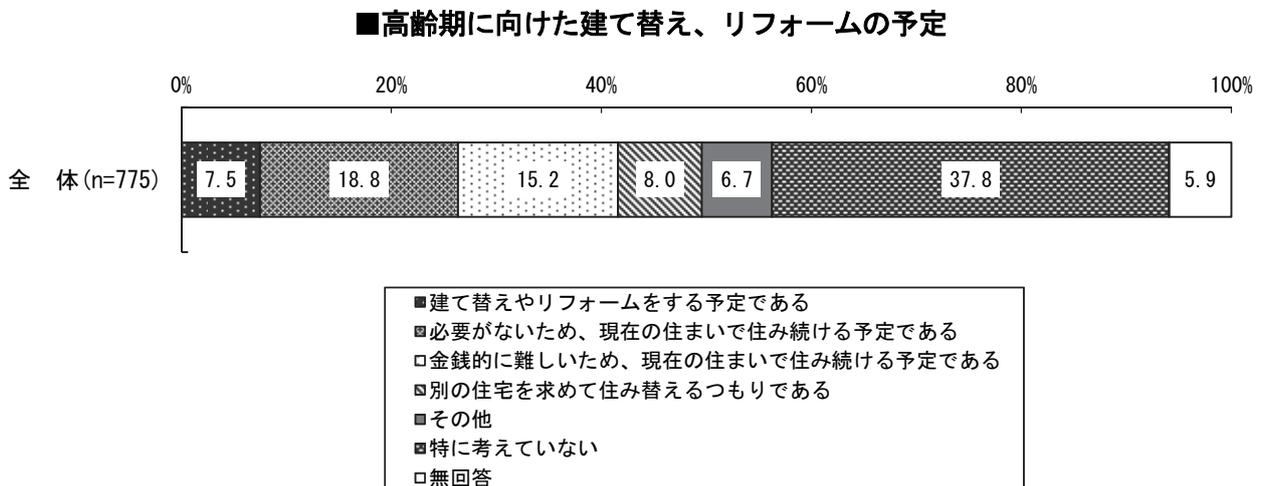
③ 転出したい理由（問18-2）

西東京市から「できれば転出したい」と回答した人の転出したい理由は、『娯楽や文化を楽しめる場所ではないから』が最も多く26.2%、『通勤・買い物などに不便だから』（21.5%）、『住まいの広さや家賃などに満足できないから』（21.5%）、『友人や知り合いが少ないから』（20.0%）が続いている。



④ 高齢期に向けた建て替え、リフォームの予定（問19）

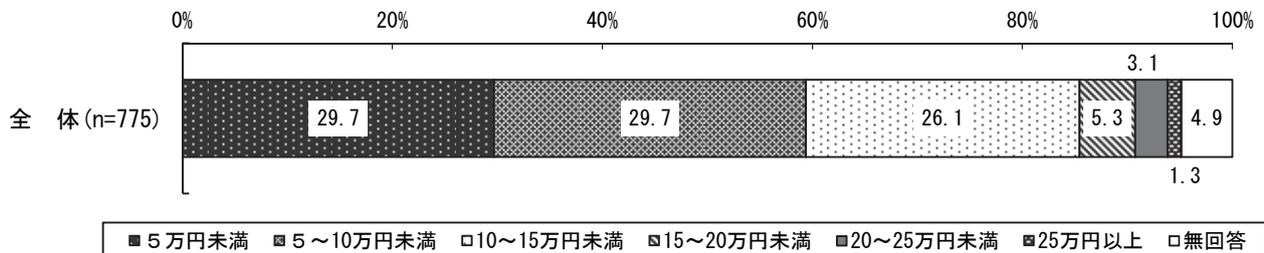
高齢期に向けた建て替え、リフォームの予定は、「建て替えやリフォームをする予定である」が7.5%、「必要がないため、現在の住まいで住み続ける予定である」が18.8%、「金銭的に難しいため、現在の住まいで住み続ける予定である」が15.2%、「別の住宅を求めて住み替えるつもりである」が8.0%となっている。



⑤ 自宅以外に住まう場合の支出可能な居住費用（問20）

自宅以外（サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム、特別養護老人ホーム等）に住むことになった場合に支出できる費用は、「5万円未満」と「5～10万円未満」が29.7%と最も多く、「10～15万円未満」が26.1%、「15～20万円未満」が5.3%となっている。

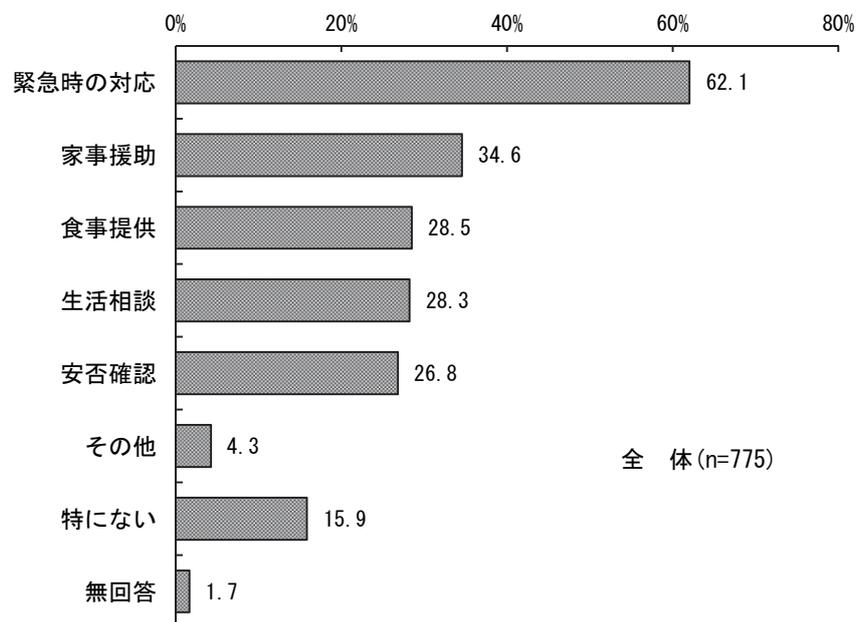
■自宅以外に住まう場合の支出可能な居住費用



⑥ 安心して暮らすために必要な生活支援サービス（問21）

安心して暮らすために必要な生活支援サービスは、「緊急時の対応」が最も多く62.1%、「家事援助」(34.6%)、「食事提供」(28.5%)、「生活相談」(28.3%)、「安否確認」(26.8%)が続いている。

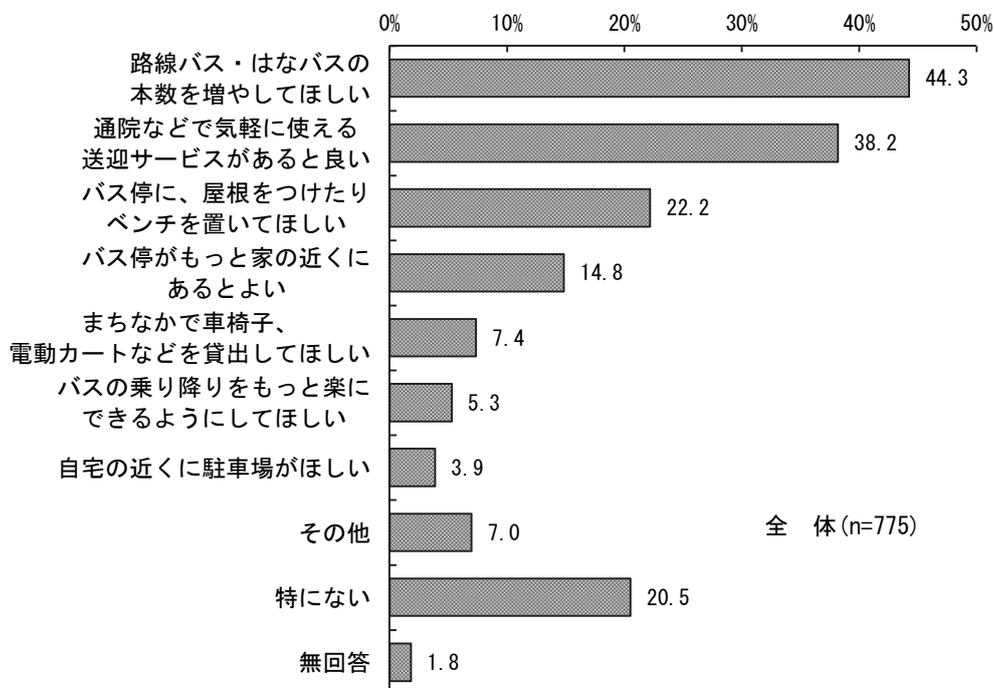
■安心して暮らすために必要な生活支援サービス（複数回答）



⑦ 住み続けるために必要な交通手段や移動手段（問22）

住み続けるために必要な交通手段や移動手段は、「路線バス・はなバスの本数を増やしてほしい」が最も多く44.3%、「通院などで気軽に使える送迎サービスがあると良い」（38.2%）、「バス停に、屋根をつけたりベンチを置いてほしい」（22.2%）が続いている。

■住み続けるために必要な交通手段や移動手段（複数回答（3つまで））

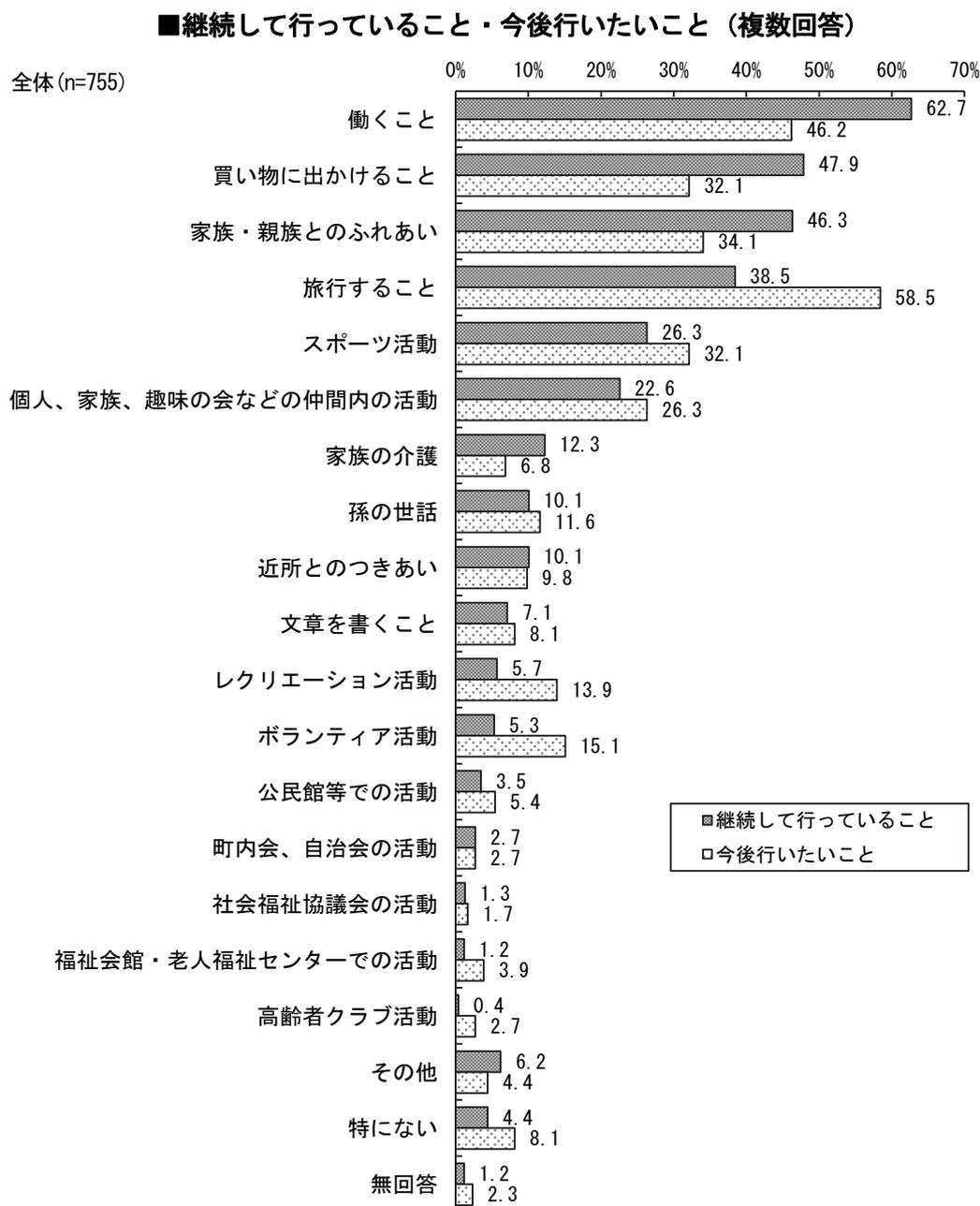


(4) 生きがい

① 継続して行っていること・今後行いたいこと（問23、24）

現在継続して行っていることは、「働くこと」が最も多く 62.7%、「買い物に出かけること」(47.9%)、「家族・親族とのふれあい」(46.3%)が続いている。

今後行いたいことは、「旅行すること」が最も多く 58.5%、「働くこと」(46.2%)、「家族・親族とのふれあい」(34.1%)が続いている。



第2章 各調査の結果

継続して行っていることを前回調査と比較すると、「買い物に出かけること」が9.9ポイント高くなっている。

■継続して行っていること（複数回答）【前回比較】

(%)

	働くこと	買い物に出かけること	い家族・親族とのふれあ	旅行すること	スポーツ活動	個人、家族、趣味の会などの仲間内の活動	家族の介護	孫の世話	近所とのつきあい	文章を書くこと
平成25年度調査 (n=775)	62.7	47.9	46.3	38.5	26.3	22.6	12.3	10.1	10.1	7.1
平成22年度調査 (n=910)	64.0	38.0	49.5	38.0	23.5	24.2	9.2	12.1	8.7	5.1
	レクリエーション活動	ボランティア活動	公民館等での活動	町内会、自治会の活動	社会福祉協議会の活動	福祉会館・老人福祉センターでの活動	高齢者クラブ活動	その他	特にな	無回答
平成25年度調査 (n=775)	5.7	5.3	3.5	2.7	1.3	1.2	0.4	6.2	4.4	1.2
平成22年度調査 (n=910)	8.1	4.9	5.1	4.1	1.0		0.3	7.0	4.4	4.7

今後行いたいことを前回調査と比較すると、「買い物に出かけること」は17.2ポイント、「旅行すること」が8.2ポイント高くなっている。

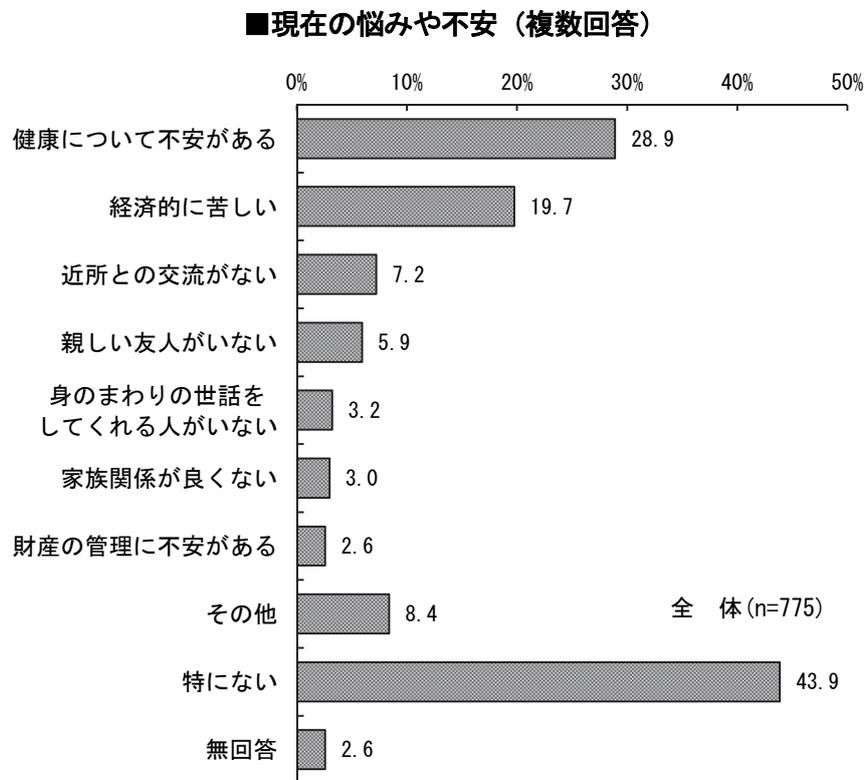
■今後行いたいこと（複数回答）【前回比較】

(%)

	旅行すること	働くこと	い家族・親族とのふれあ	買い物に出かけること	スポーツ活動	個人、家族、趣味の会などの仲間内の活動	ボランティア活動	レクリエーション活動	孫の世話	近所とのつきあい
平成25年度調査 (n=775)	58.5	46.2	34.1	32.1	32.1	26.3	15.1	13.9	11.6	9.8
平成22年度調査 (n=910)	50.3	44.4	36.3	14.9	25.2	26.5	15.8	12.0	9.7	8.9
	文章を書くこと	家族の介護	公民館等での活動	福祉会館・老人福祉センターでの活動	町内会、自治会の活動	高齢者クラブ活動	社会福祉協議会の活動	その他	特にな	無回答
平成25年度調査 (n=775)	8.1	6.8	5.4	3.9	2.7	2.7	1.7	4.4	8.1	2.3
平成22年度調査 (n=910)	5.4	4.5	9.7		3.3	2.0	3.7	4.2	8.2	6.3

② 現在の悩みや不安（問25）

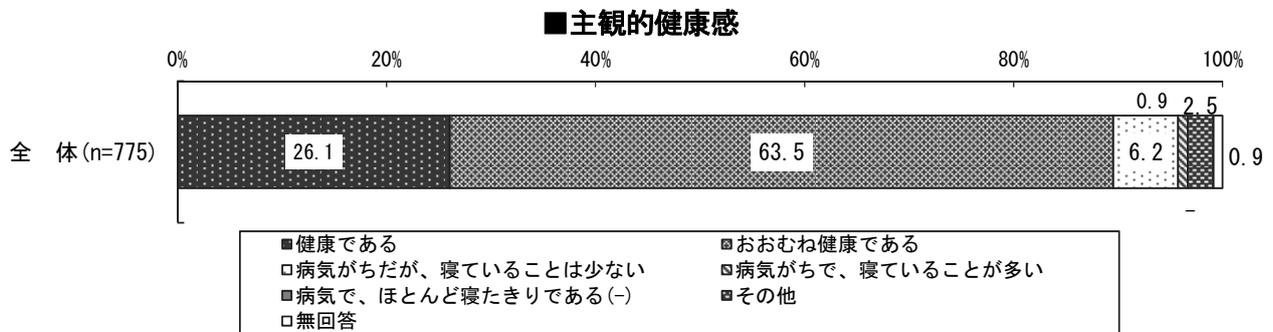
現在の悩みや不安は、「健康について不安がある」が最も多く 28.9%、「経済的に苦しい」(19.7%)、「近所との交流がない」(7.2%)が続いている。



(5) 健康管理

① 主観的健康感 (問26)

主観的健康感は、「健康である」(26.1%)と「おおむね健康である」(63.5%)を合計すると《健康》は89.6%となっている。「病気がちだが、寝ていることは少ない」が6.2%、「病気がちで、寝ていることが多い」が0.9%となっている。



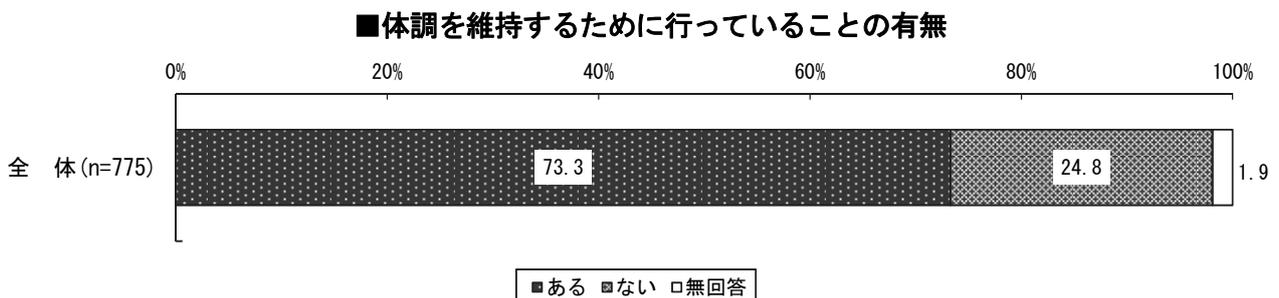
性・年代別にみると、《健康》は男女ともに9割程度となっており、「健康である」の割合は男性では年齢が低い人が高く、反対に女性では年齢が高い人が高くなっている。

■主観的健康感 (性・年代別)

		(%)						
		健康である	おおむね健康である	病気がちだが、寝ていることは少ない	病気がちで、寝ていることが多い	病気で、ほとんど寝たきりである	その他	無回答
男性	男性 計 (n=343)	25.7	64.7	6.4	1.2	-	1.7	0.3
	55～59歳 (n=162)	29.0	61.7	6.8	0.6	-	1.2	0.6
	60～64歳 (n=179)	22.9	67.0	6.1	1.7	-	2.2	-
	無回答 (n=2)	-	100.0	-	-	-	-	-
女性	女性 計 (n=428)	25.9	62.9	6.1	0.7	-	3.0	1.4
	55～59歳 (n=218)	23.9	65.6	6.4	0.5	-	3.2	0.5
	60～64歳 (n=206)	28.2	60.2	5.8	1.0	-	2.9	1.9
	無回答 (n=4)	25.0	50.0	-	-	-	-	25.0

② 体調を維持するために行っていることの有無 (問27)

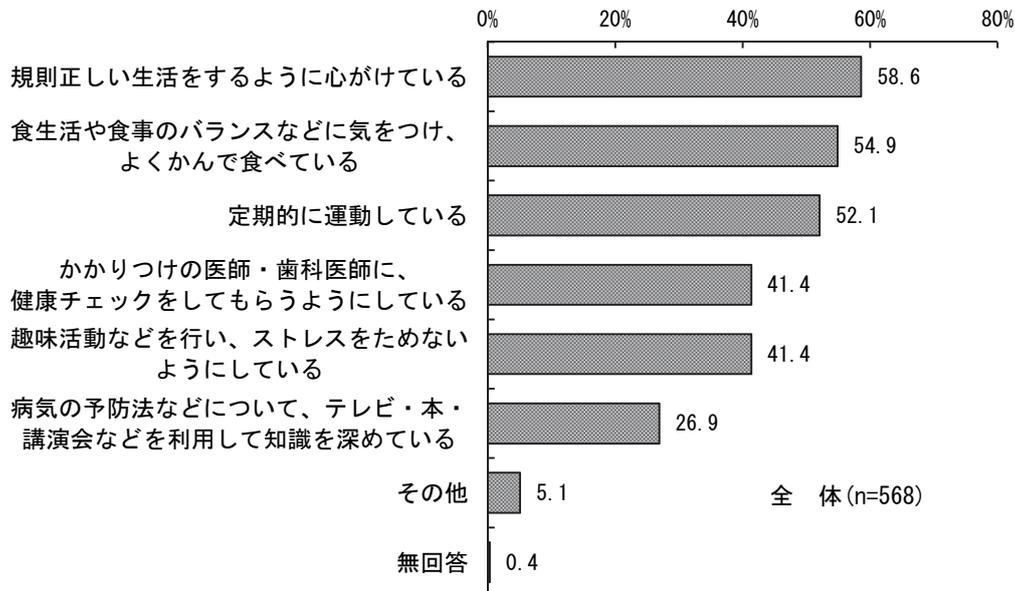
体調を維持するために行っていることの有無は、「ある」が73.3%、「ない」が24.8%となっている。



③ 体調を維持するために行っていること（問27-1）

体調を維持するために行っていることがある人に、その内容をたずねたところ、「規則正しい生活をするように心がけている」が最も多く58.6%、「食生活や食事のバランスなどに気をつけ、よくかんで食べている」（54.9%）、「定期的に運動している」（52.1%）が続いている。

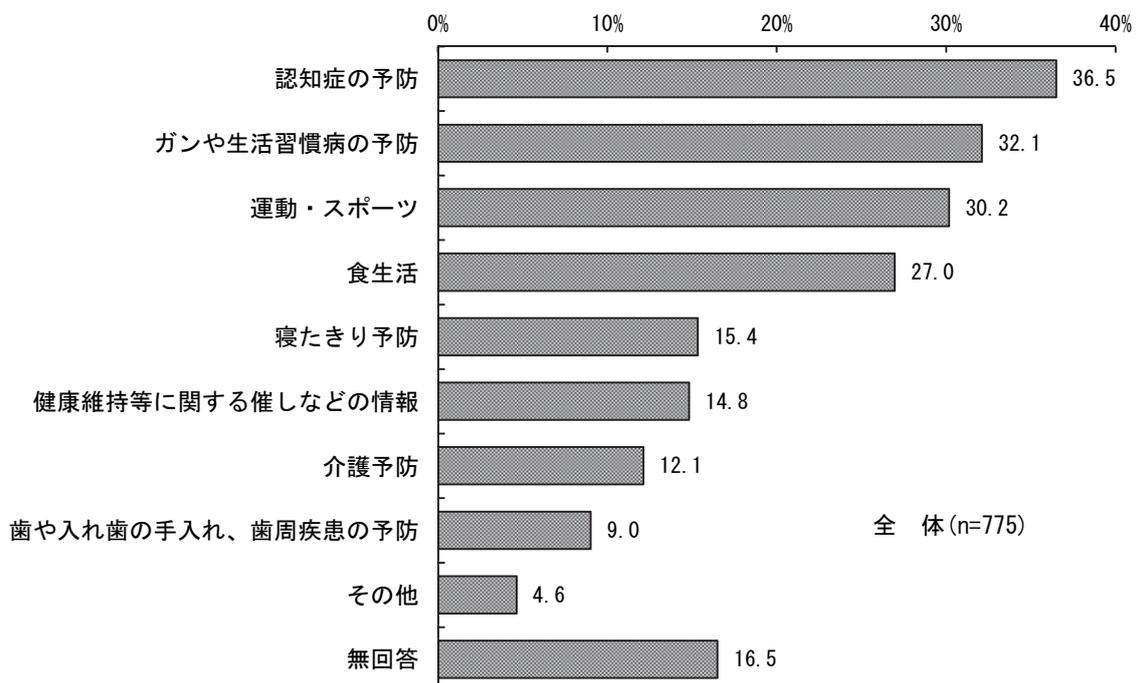
■体調を維持するために行っていること（複数回答）
 <体調を維持するために行っていることがある人>



④ 健康維持等のために知りたい情報（問28）

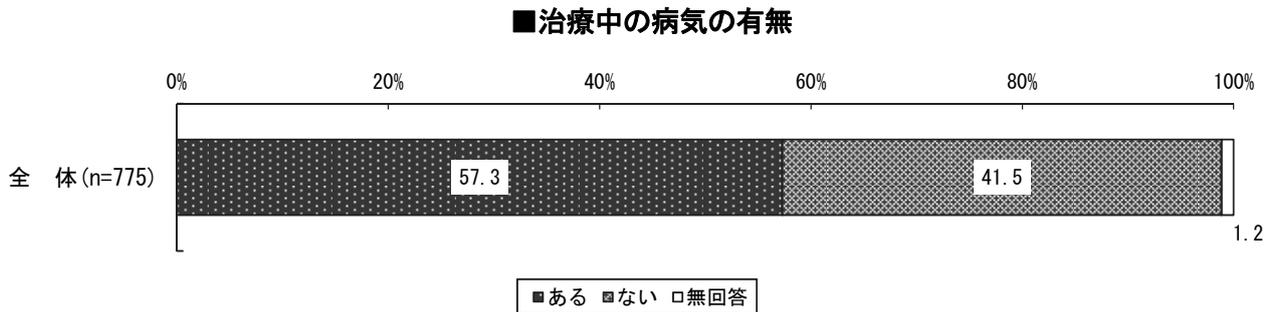
健康維持等のために知りたい情報は、「認知症の予防」が最も多く36.5%、「ガンや生活習慣病の予防」（32.1%）、「運動・スポーツ」（30.2%）が続いている。

■健康維持等のために知りたい情報（複数回答）



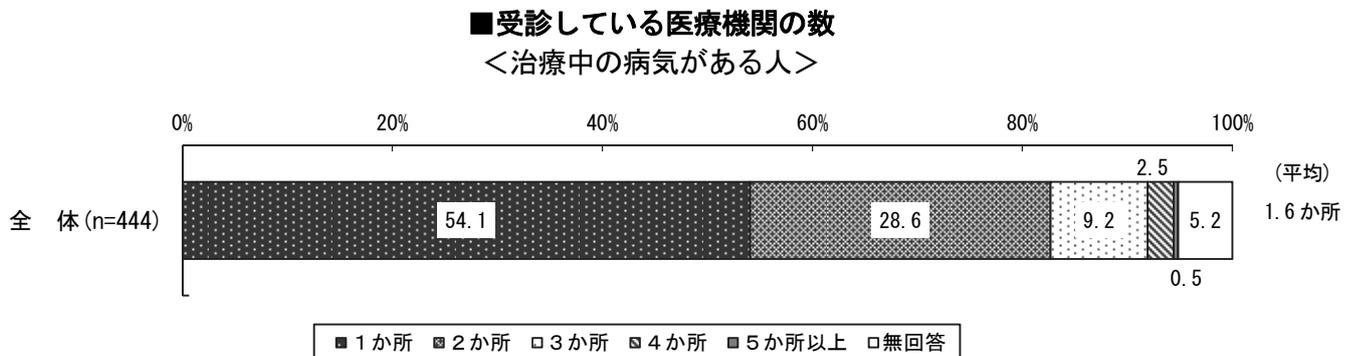
⑤ 治療中の病気の有無（問29）

治療中の病気の有無は、「ある」が57.3%、「ない」が41.5%となっている。



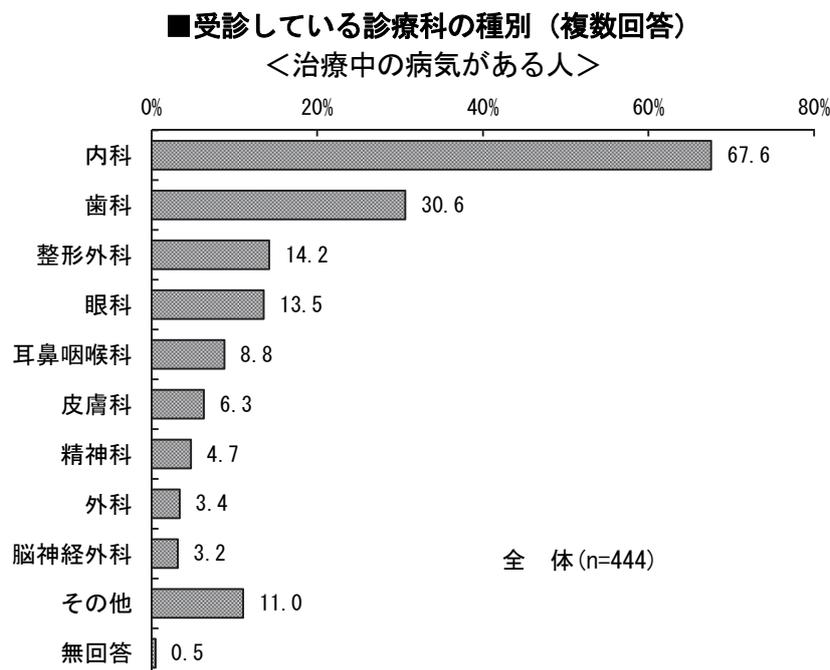
⑥ 受診している医療機関の数（問29-1）

治療中の病気がある人に、定期的を受診している医療機関の数をたずねたところ、「1か所」が最も多く54.1%、「2か所」(28.6%)、「3か所」(9.2%)が続いている。



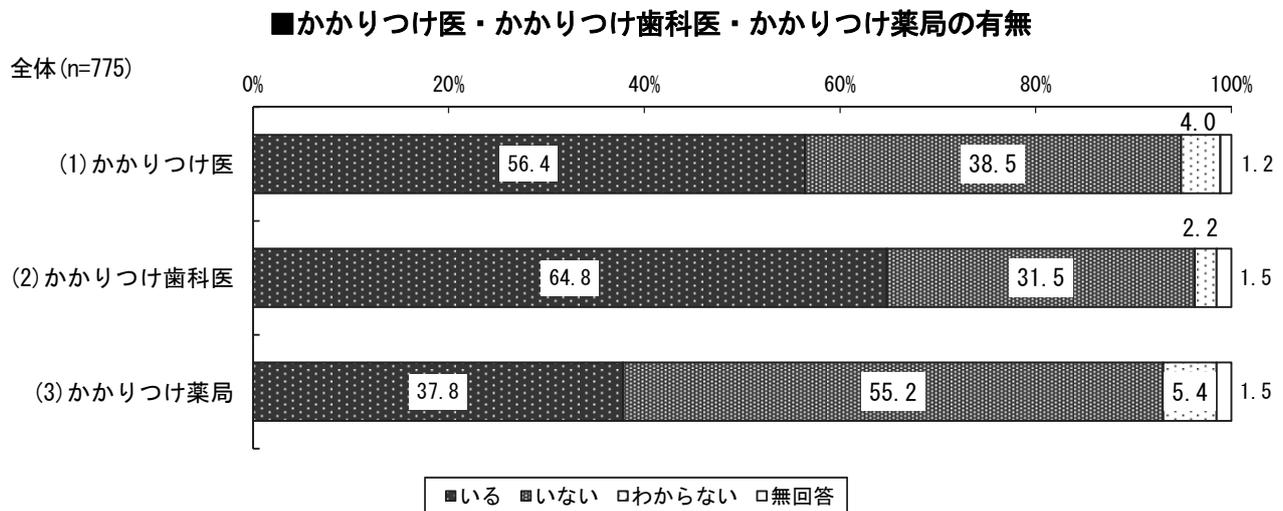
⑦ 受診している診療科（問29-1）

治療中の病気がある人が受診している診療科は、「内科」が最も多く67.6%、「歯科」(30.6%)、「整形外科」(14.2%)、「眼科」(13.5%)が続いている。



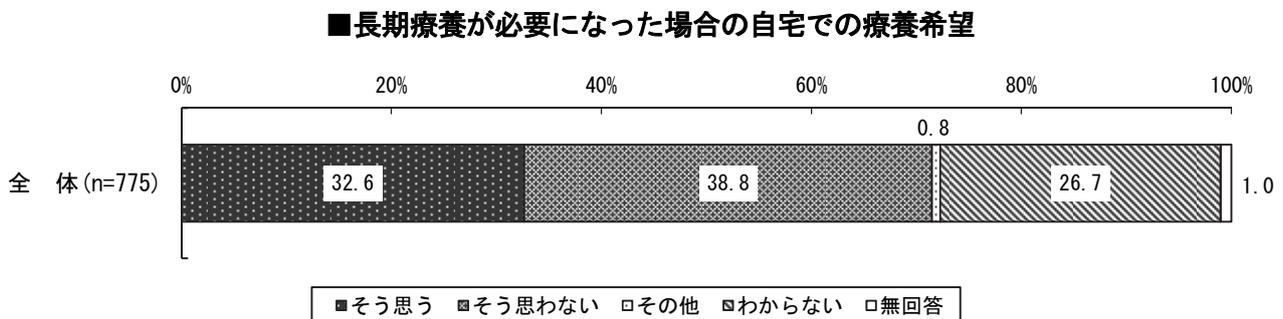
⑧ かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬局の有無（問30）

かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬局の有無について「いる」と答えた割合は、『かかりつけ歯科医』が最も多く64.8%、次いで『かかりつけ医』が56.4%、『かかりつけ薬局』が37.8%である。



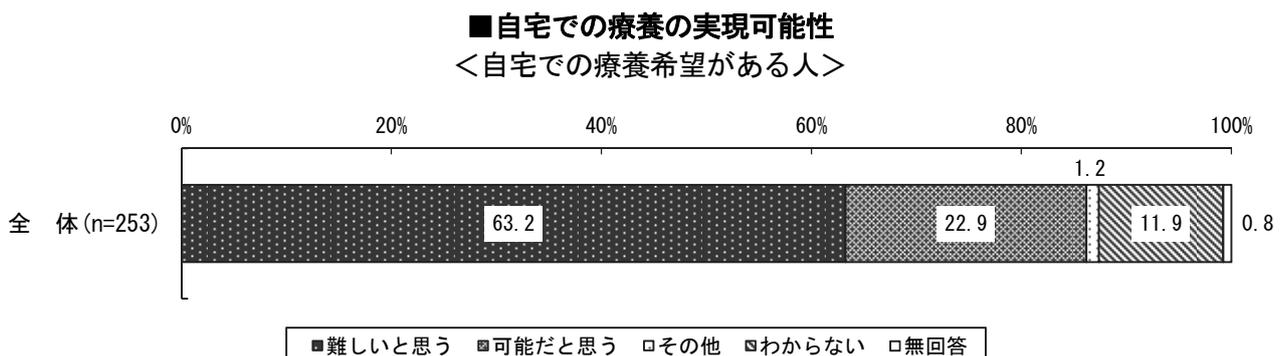
⑨ 長期療養が必要になった場合の自宅での療養希望（問31）

長期療養が必要になった場合の自宅での療養希望は、「そう思う」が32.6%、「そう思わない」が38.8%となっている。



⑩ 自宅での療養の実現可能性（問31-1）

長期療養が必要になった場合の自宅での療養希望がある人に、実現可能性をたずねたところ、「難しいと思う」が63.2%、「可能だと思う」が22.9%となっている。

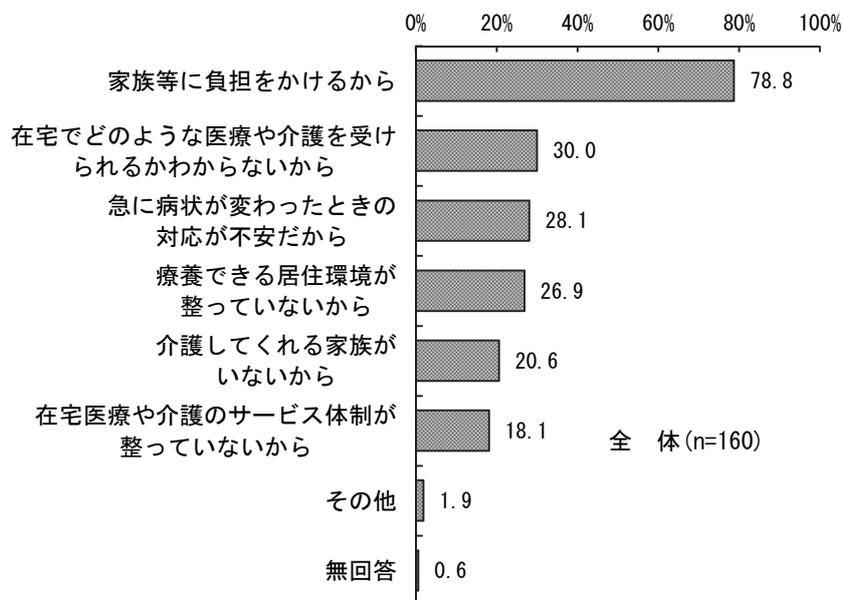


⑪ 自宅での療養の実現が難しいと思う理由（問3 1-2）

長期療養が必要になった場合の自宅での療養希望がある人で実現は「難しいと思う」人に、その理由をたずねたところ、『家族等に負担をかけるから』が最も多く78.8%、『在宅でどのような医療や介護を受けられるかわからないから』（30.0%）が続いている。

■自宅での療養の実現が難しいと思う理由（複数回答（3つまで））

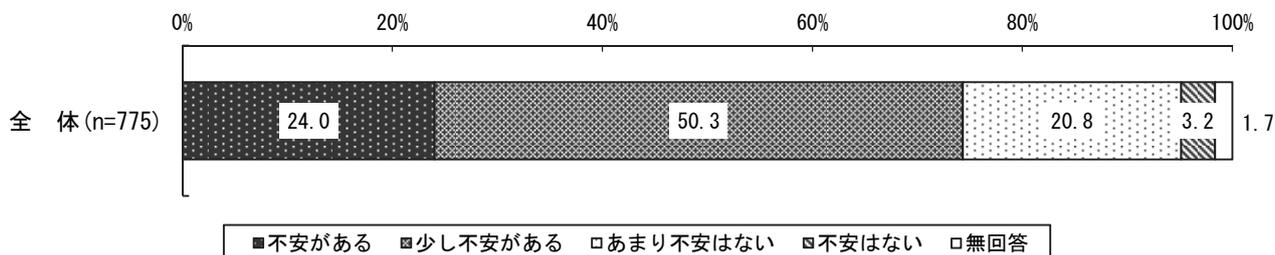
<自宅での療養希望があるが実現は難しいと思う人>



⑫ 将来の健康への不安（問3 2）

将来の健康への不安は、「不安がある」が24.0%、「少し不安がある」が50.3%、「あまり不安はない」が20.8%、「不安はない」が3.2%となっている。

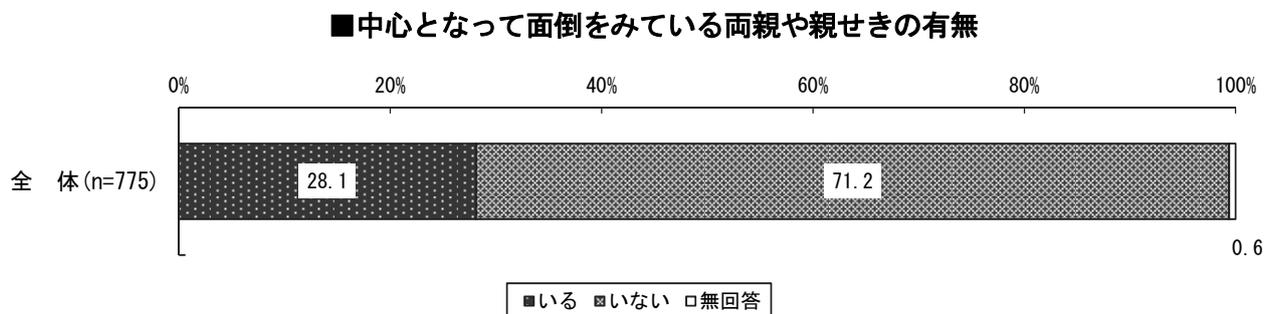
■将来の健康への不安



(6) 介護の経験と介護予防、保健福祉サービス

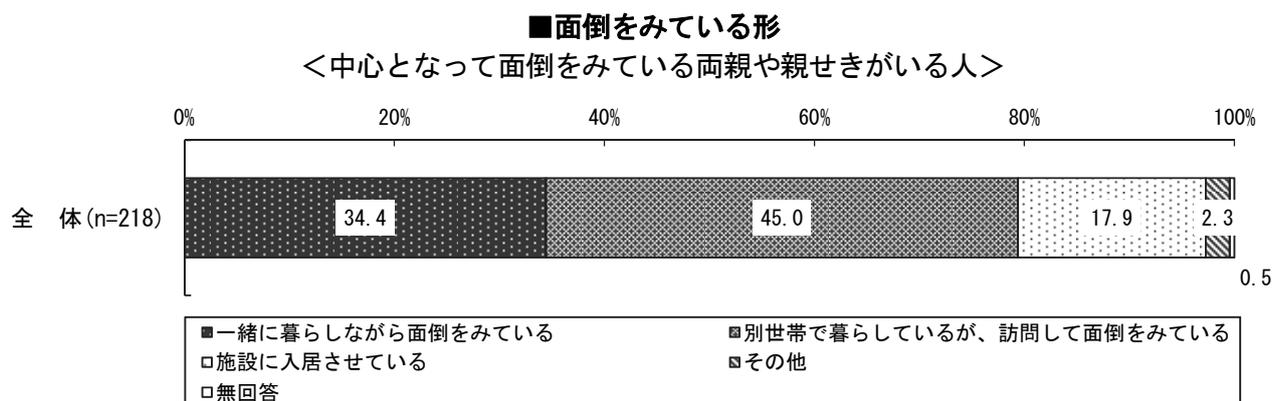
① 中心となって面倒をみている両親や親せきの有無（問33）

中心となって面倒をみている両親や親せきの有無は、「いる」が28.1%、「いない」が71.2%となっている。



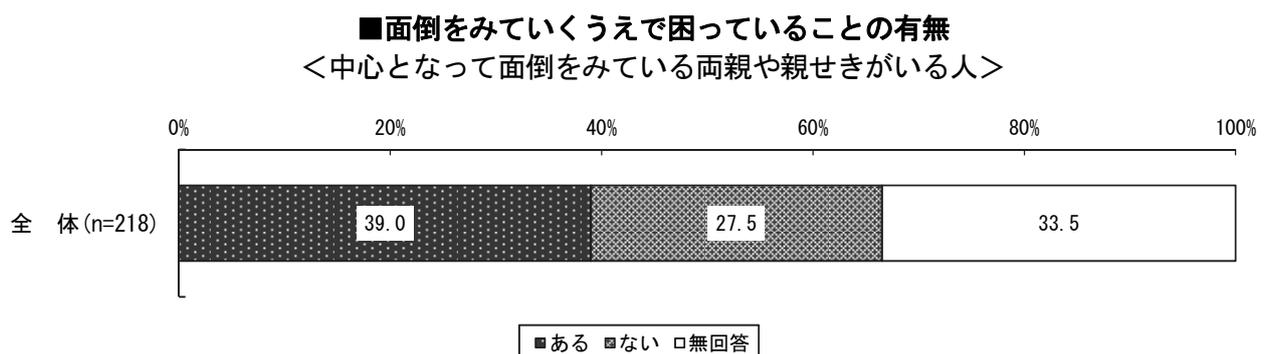
② 面倒をみている形（問33-1）

中心となって面倒をみている両親や親せきがいる人の面倒をみている形は、「一緒に暮らしながら面倒をみている」が34.4%、「別世帯で暮らしているが、訪問して面倒をみている」が45.0%、「施設に入居させている」が17.9%となっている。



③ 面倒をみていくうえで困っていることの有無（問33-2）

中心となって面倒をみている両親や親せきがいる人に、面倒をみていくうえで困っていることの有無をたずねたところ、「ある」が39.0%、「ない」が27.5%となっている。



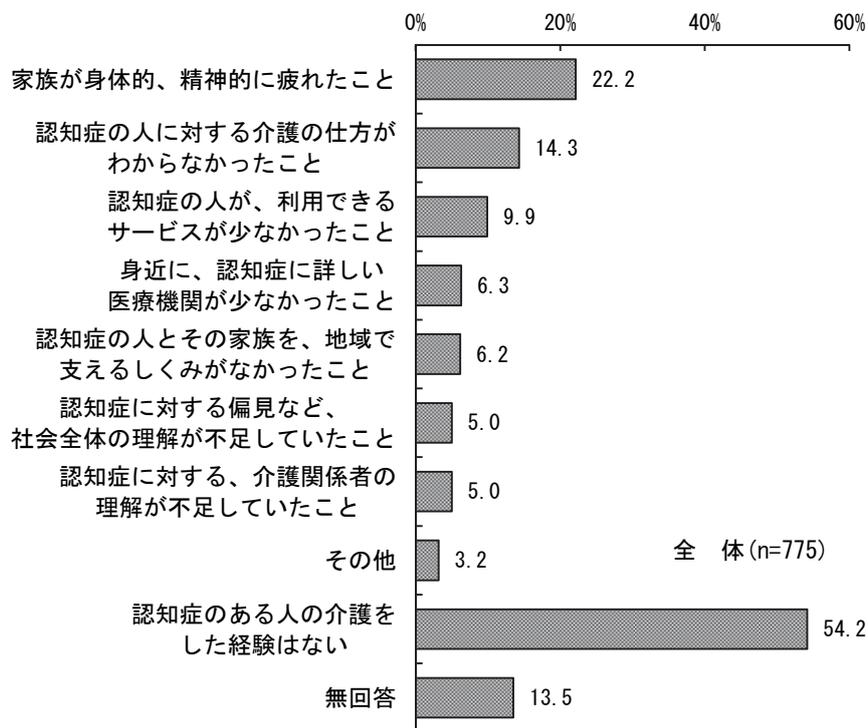
【具体的な内容】

- ・遠距離のため、月1回位の訪問になっている。経済的にも負担があるのは事実。
- ・本人との意思疎通が難しい（アルツハイマー型認知症）。
- ・2階にリビングと風呂場があるので、階段の昇り降りがそろそろ心配。
- ・色々なサービスを受けているが、介護する方のケアがほしい。
- ・ひとり暮らしの親が突然倒れた場合に緊急な対応が取れないので心配である。
- ・親の住んでいる都営住宅にエレベーターがないため、階段の昇り降りに不安。
- ・今より認知症が進んだ時に、どうすれば良いか。
- ・長期的に滞在できない。
- ・介護者が年をとって体力が落ちていくので、特に入浴、移動の介助が大変。
- ・昼間一人になる時があるので心配。
- ・母を介護しているが、父と価値観が合わない。
- ・自分が病気した時に面倒をみてくれる人がいない。すぐに対応してくれる施設がない。
- ・介護者の体調が悪いため、高齢の親の面倒をみる自信がない。

④ 認知症介護で大変だったこと（問34）

認知症介護で大変だったことは、「家族が身体的、精神的に疲れたこと」が最も多く 22.2%、「認知症の人に対する介護の仕方がわからなかったこと」（14.3%）、「認知症の人が、利用できるサービスが少なかったこと」（9.9%）が続いている。

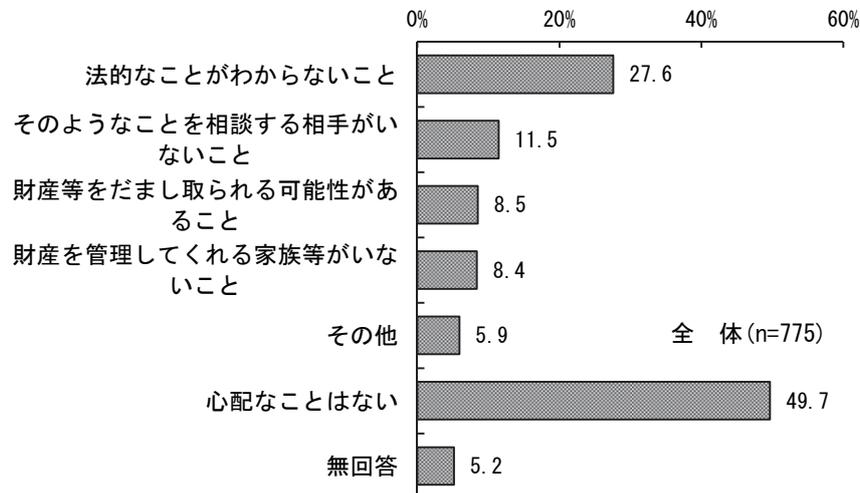
■ 認知症介護で大変だったこと（複数回答）



⑤ 認知症になった場合に、財産管理で心配なこと（問35）

認知症になった場合に、財産管理で心配なことは、「法的なことがわからないこと」が最も多く27.6%、「そのようなことを相談する相手がいないこと」（11.5%）、「財産等をだまし取られる可能性があること」（8.5%）が続いている。

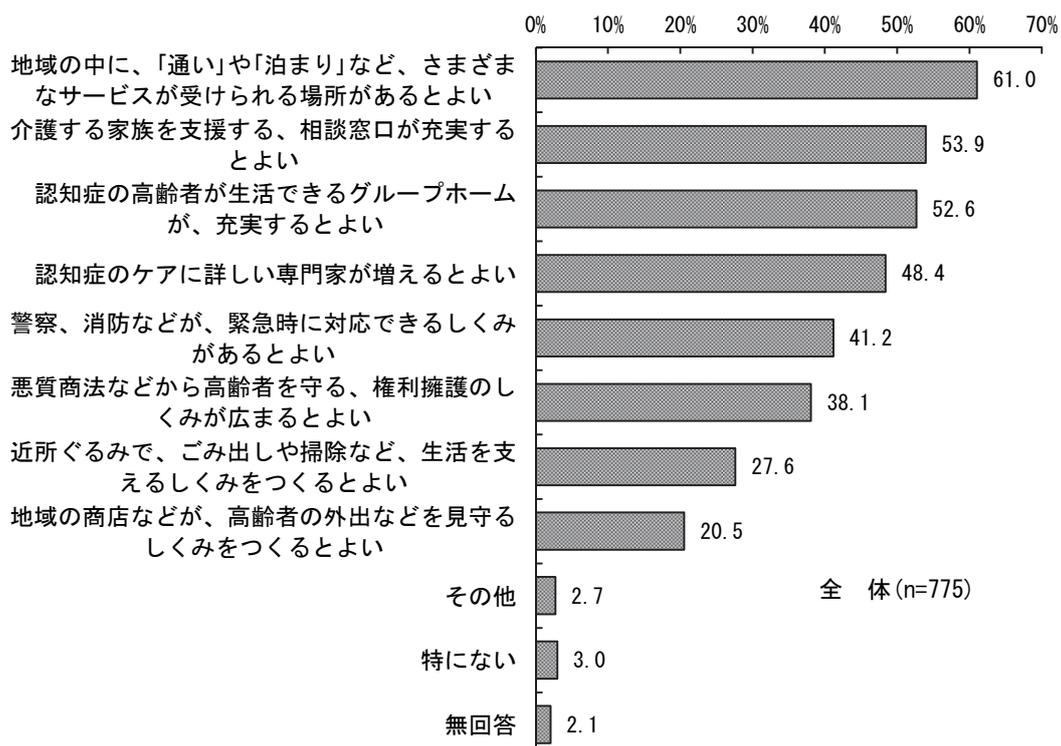
■認知症になった場合に、財産管理で心配なこと（複数回答）



⑥ 認知症になっても暮らしていけるためのまちづくりがあるとよいこと（問36）

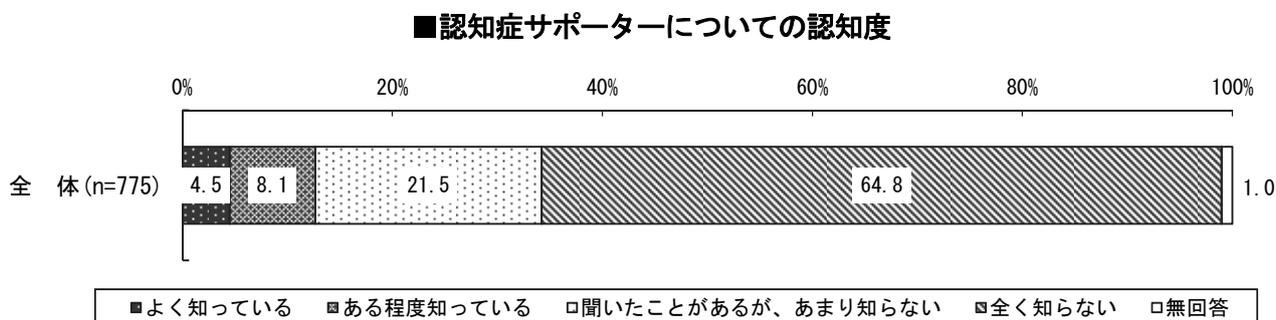
認知症になっても暮らしていけるためのまちづくりがあるとよいことは、「地域の中に、「通い」や「泊まり」など、さまざまなサービスが受けられる場所があるとよい」が最も多く61.0%、「介護する家族を支援する、相談窓口が充実するとよい」（53.9%）、「認知症の高齢者が生活できるグループホームが、充実するとよい」（52.6%）が続いている。

■認知症になっても暮らしていけるためのまちづくりがあるとよいこと（複数回答）



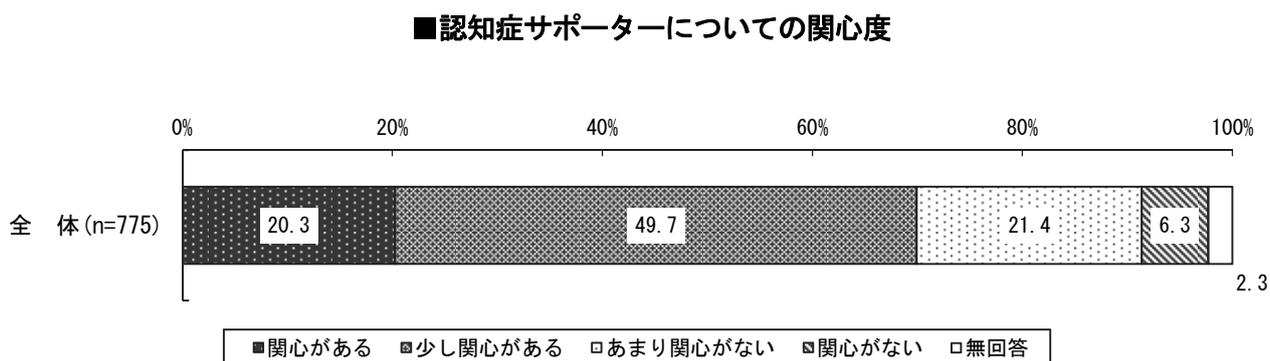
⑦ 認知症サポーターについての認知度（問37）

認知症サポーターについての認知度は、「よく知っている」が4.5%、「ある程度知っている」が8.1%、「聞いたことはあるが、あまり知らない」が21.5%、「全く知らない」が64.8%となっている。



⑧ 認知症サポーターについての関心度（問38）

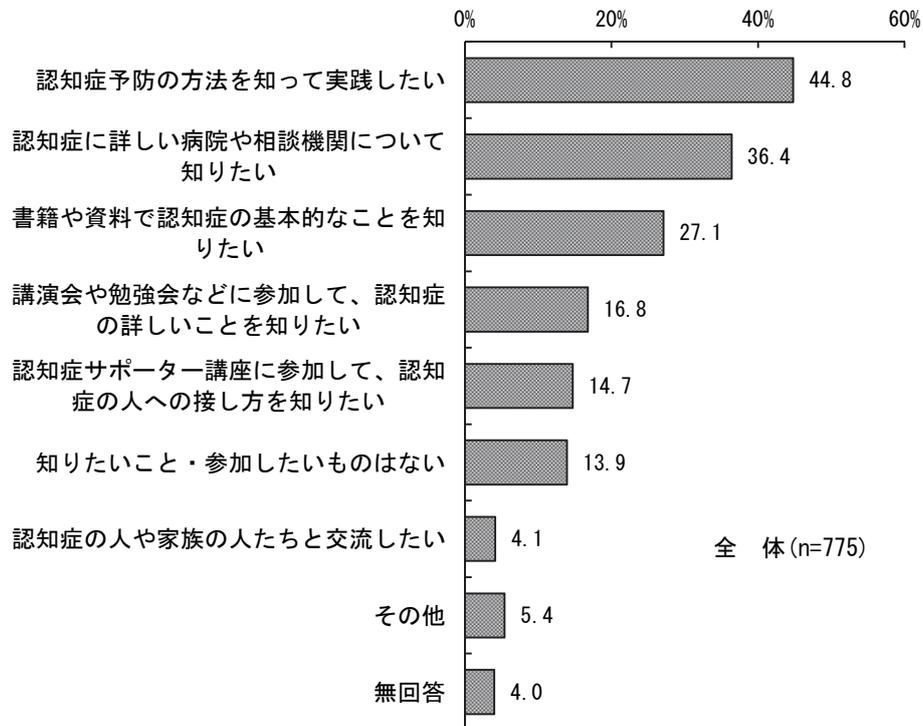
認知症サポーターについての関心度は、「関心がある」が20.3%、「少し関心がある」が49.7%、「あまり関心がない」が21.4%、「関心がない」が6.3%となっている。



⑨ 認知症と認知症予防について知りたいこと、参加したいこと（問39）

認知症と認知症予防について知りたいこと、参加したいことは、「認知症予防の方法を知って実践したい」が最も多く44.8%、「認知症に詳しい病院や相談機関について知りたい」（36.4%）、「書籍や資料で認知症の基本的なことを知りたい」（27.1%）が続いている。

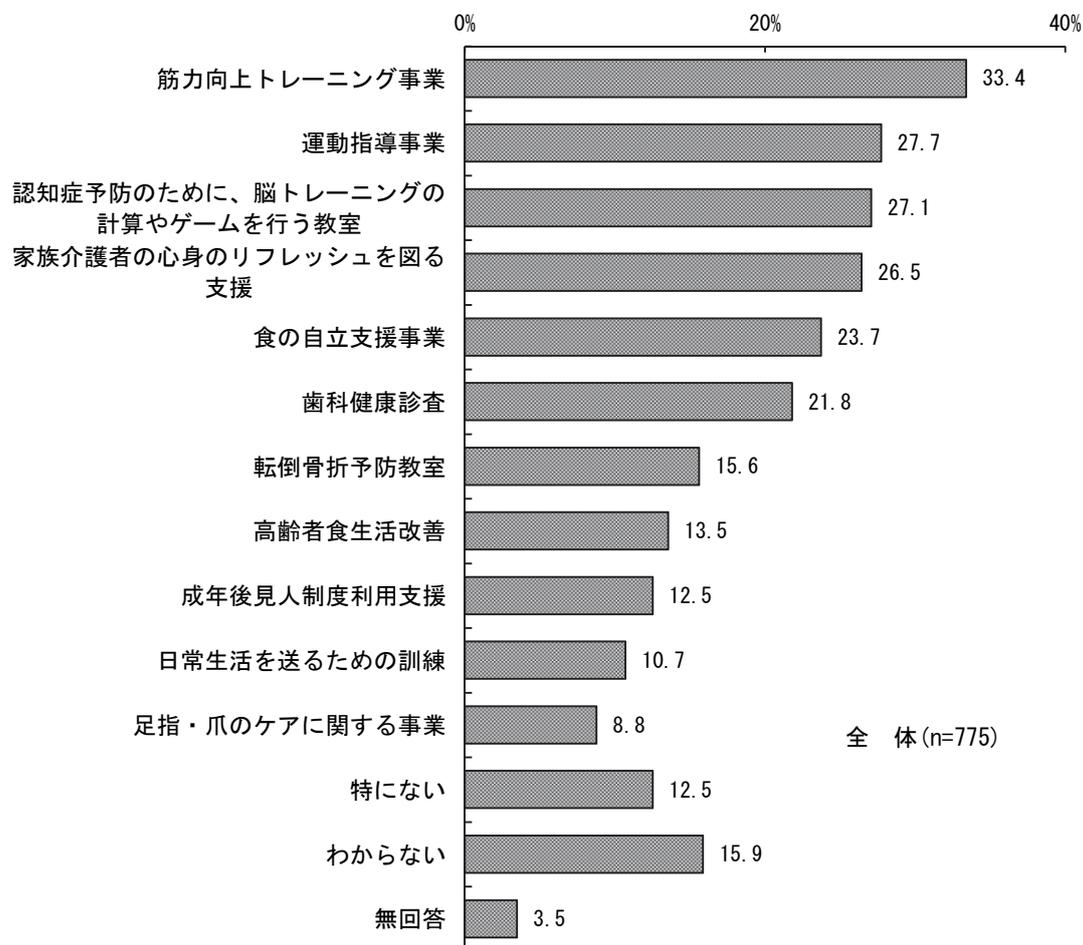
■ 認知症と認知症予防について知りたいこと、参加したいこと（複数回答）



⑩ 今後利用したい介護予防サービス（問40）

今後利用したい介護予防サービスは、「筋力向上トレーニング事業」が最も多く 33.4%、「運動指導事業」（27.7%）、「認知症予防のために、脳トレーニングの計算やゲームを行う教室」（27.1%）、「家族介護者の心身のリフレッシュを図る支援」（26.5%）が続いている。

■今後利用したい介護予防サービス（複数回答）



■今後利用したい介護予防サービス（複数回答）【前回比較】

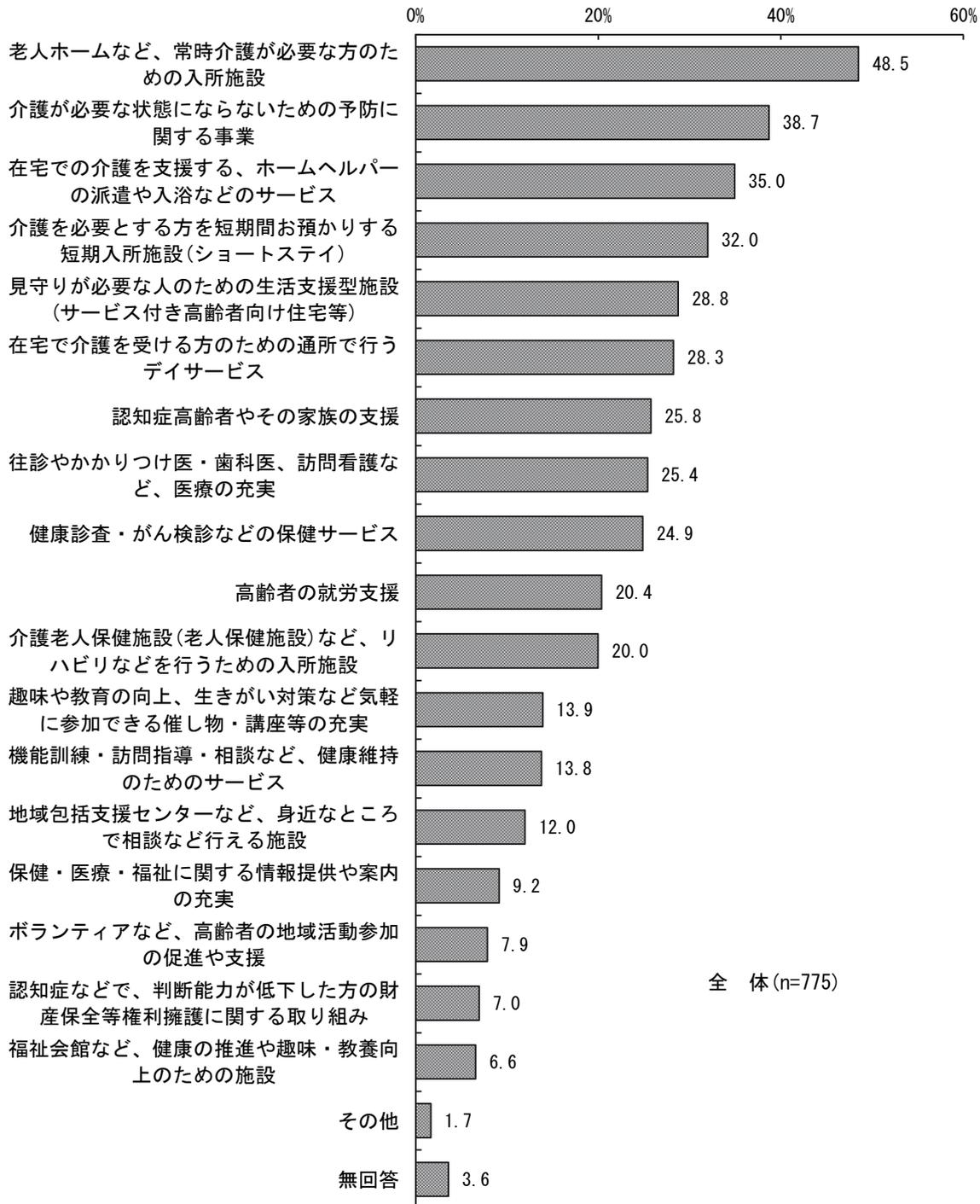
(%)

	筋力向上トレーニング	運動指導事業	認知症予防のため、 脳トレゲームを行う教室	家族介護者の心身の支援 フレックスを関する	食の自立支援事業	歯科健康診査	転倒骨折予防教室
平成25年度調査 (n=775)	33.4	27.7	27.1	26.5	23.7	21.8	15.6
平成22年度調査 (n=910)	33.1	26.8	23.7	25.6	29.2	23.5	13.5
	高齢者食生活改善	成年後見人制度利用支援	日常生活を送るための 訓練	足指・爪のケアに関する 事業	特になし	わからない	無回答
平成25年度調査 (n=775)	13.5	12.5	10.7	8.8	12.5	15.9	3.5
平成22年度調査 (n=910)	14.4	11.2	13.2	8.2	24.4		5.6

⑪ 市が取り組むべき介護保険・保健福祉サービス（問41）

市が取り組むべき介護保険・保健福祉サービスは、「老人ホームなど、常時介護が必要な方のための入所施設」が最も多く48.5%、「介護が必要な状態にならないための予防に関する事業」(38.7%)、「在宅での介護を支援する、ホームヘルパーの派遣や入浴などのサービス」(35.0%)が続いている。

■市が取り組むべき介護保険・保健福祉サービス（複数回答（5つまで））



市が取り組むべき介護保険・保健福祉サービスを平成22年度調査と比較すると、「見守りが必要な人のための生活支援型施設(サービス付き高齢者向け住宅等)」「老人ホームなど、常時介護が必要な方のための入所施設」「機能訓練・訪問指導・相談など、健康維持のためのサービス」の割合が前回調査を上回りそれぞれ13.7ポイント、8.1ポイント、7.6ポイント高くなっている。

■市が取り組むべき介護保険・保健福祉サービス（複数回答（5つまで））【前回比較】

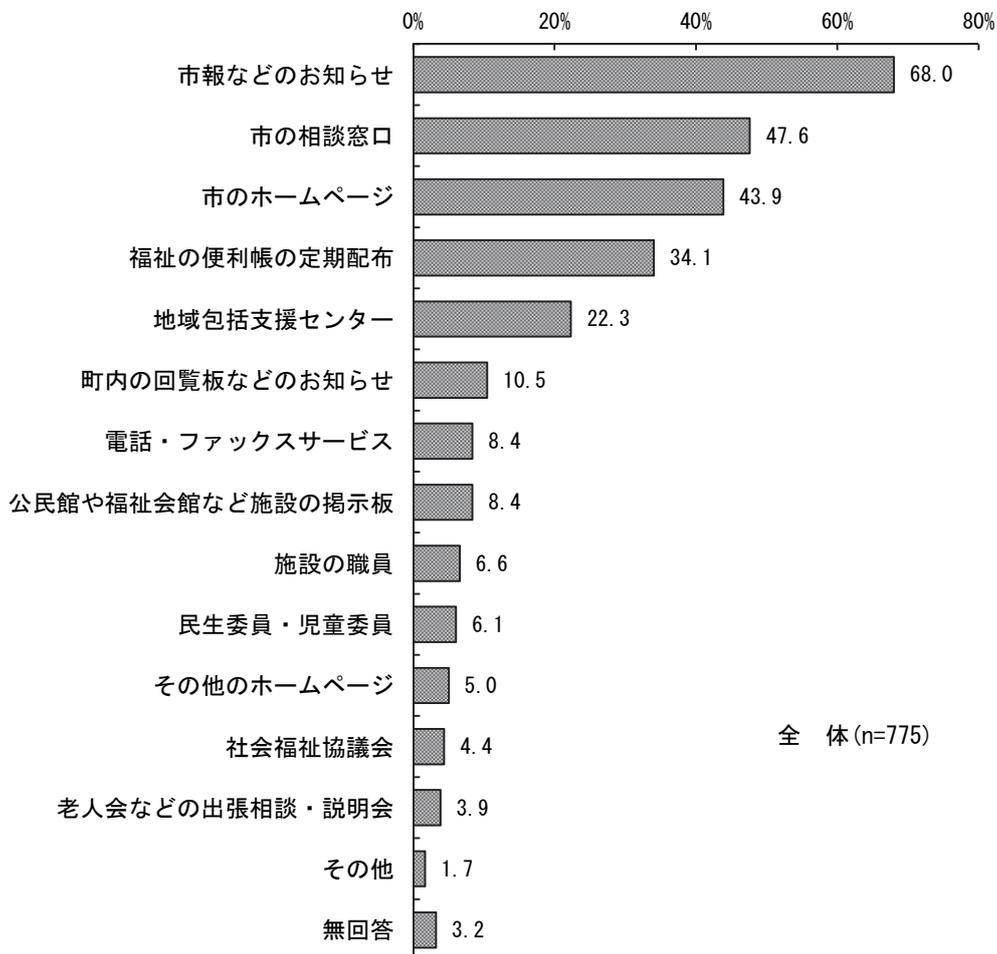
(%)

	要老人ホームなどの入所施設	介護の予防に必要な状態にならないための事業	在宅での介護を支援する、ホームヘルパーの派遣や入浴などのサービス	在宅での介護を短期間お預かりする短期入所施設（ショートステイ）	見守りが必要な人のための生活支援型施設（サービス付き高齢者向け住宅等）	在宅で介護を受ける方のための通所で行うデイサービス	認知症高齢者やその家族の支援	往診やかかりつけ医・歯科医、訪問看護など、医療の充実	健康診断・がん検診などの保健サービス	高齢者の就労支援
平成25年度調査 (n=775)	48.5	38.7	35.0	32.0	28.8	28.3	25.8	25.4	24.9	20.4
平成22年度調査 (n=910)	40.4	38.4	31.6	35.2	15.1	25.6	28.6	26.4	21.0	22.4
	介護老人保健施設（老人保健施設）など、入所施設	趣味や教育の向上、生きがい対策など、気軽に参加できる催し物・講座等の充実	機能訓練・訪問指導・相談など、健康維持のためのサービス	地域包括支援センターなど、身近なところで相談など行える施設	保健・医療・福祉に関する情報提供や案内の充実	ボランティアなど、高齢者の地域活動参加の促進や支援	認知症などで、判断能力が低下する方の財産保全等権利擁護に関する取り組み	福祉会館など、健康の推進や趣味・教養向上のための施設	その他	無回答
平成25年度調査 (n=775)	20.0	13.9	13.8	12.0	9.2	7.9	7.0	6.6	1.7	3.6
平成22年度調査 (n=910)	19.1	11.9	6.2	15.2	10.4	7.7	7.6	7.1	2.2	10.0

⑫ 福祉に関する情報の希望する入手方法（問42）

福祉に関する情報の希望する入手方法は、「市報などのお知らせ」が最も多く 68.0%、「市の相談窓口」（47.6%）、「市のホームページ」（43.9%）が続いている。

■福祉に関する情報の希望する入手方法（複数回答）



福祉に関する情報の希望する入手方法を平成22年度調査と比較すると、上位3項目の「市報などのお知らせ」「市の相談窓口」「市のホームページ」はそれぞれ3.9ポイント、5.5ポイント、10.3ポイント高くなっている。

■福祉に関する情報の希望する入手方法（複数回答）

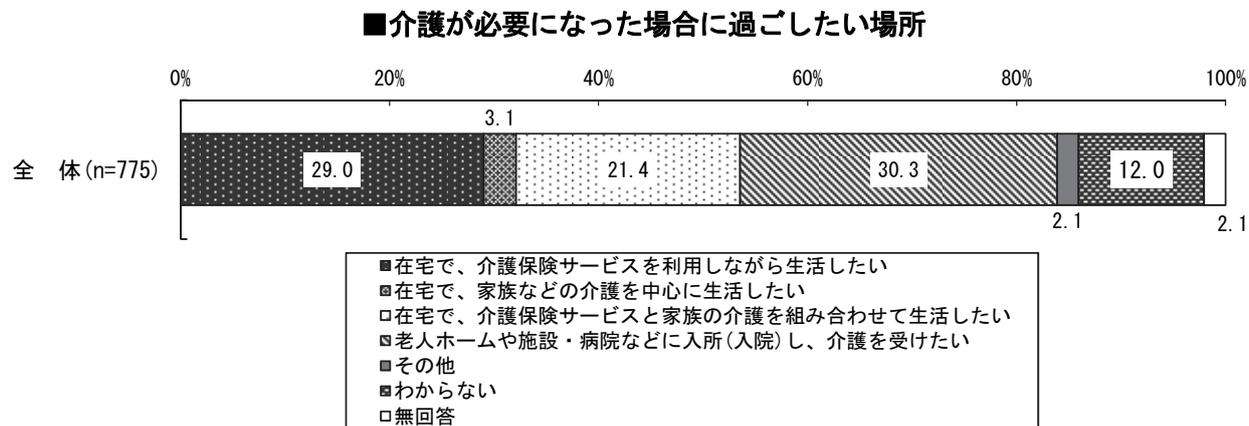
	市報などのお知らせ	市の相談窓口	市のホームページ	福祉の便利帳の定期配布	地域包括支援センター	町内の回覧板などのお知らせ	電話・ファックス	公民館や福祉会館などの施設の掲示板
平成25年度調査 (n=775)	68.0	47.6	43.9	34.1	22.3	10.5	8.4	8.4
平成22年度調査 (n=910)	64.1	42.1	33.6	33.7	18.5	13.6	11.8	9.0

	施設の職員	民生委員・児童委員	その他のホームページ	社会福祉協議会	老人会などの出張相談・説明会	その他	無回答
平成25年度調査 (n=775)	6.6	6.1	5.0	4.4	3.9	1.7	3.2
平成22年度調査 (n=910)	5.1	6.7	3.3	3.7	2.7	1.1	9.1

(7) 介護保険制度

① 介護が必要になった場合に過ごしたい場所（問43）

介護が必要になった場合に過ごしたい場所は、「老人ホームや施設・病院などに入所（入院）し、介護を受けたい」が 30.3%、「在宅で、介護保険サービスを利用しながら生活したい」が 29.0%、「在宅で、介護保険サービスと家族の介護を組み合わせたい生活がしたい」が 21.4%となっている。



介護が必要になった場合に過ごしたい場所を平成 22 年度調査と比較すると、「老人ホームや施設・病院などに入所（入院）し、介護を受けたい」が 12.1 ポイント高くなっている。

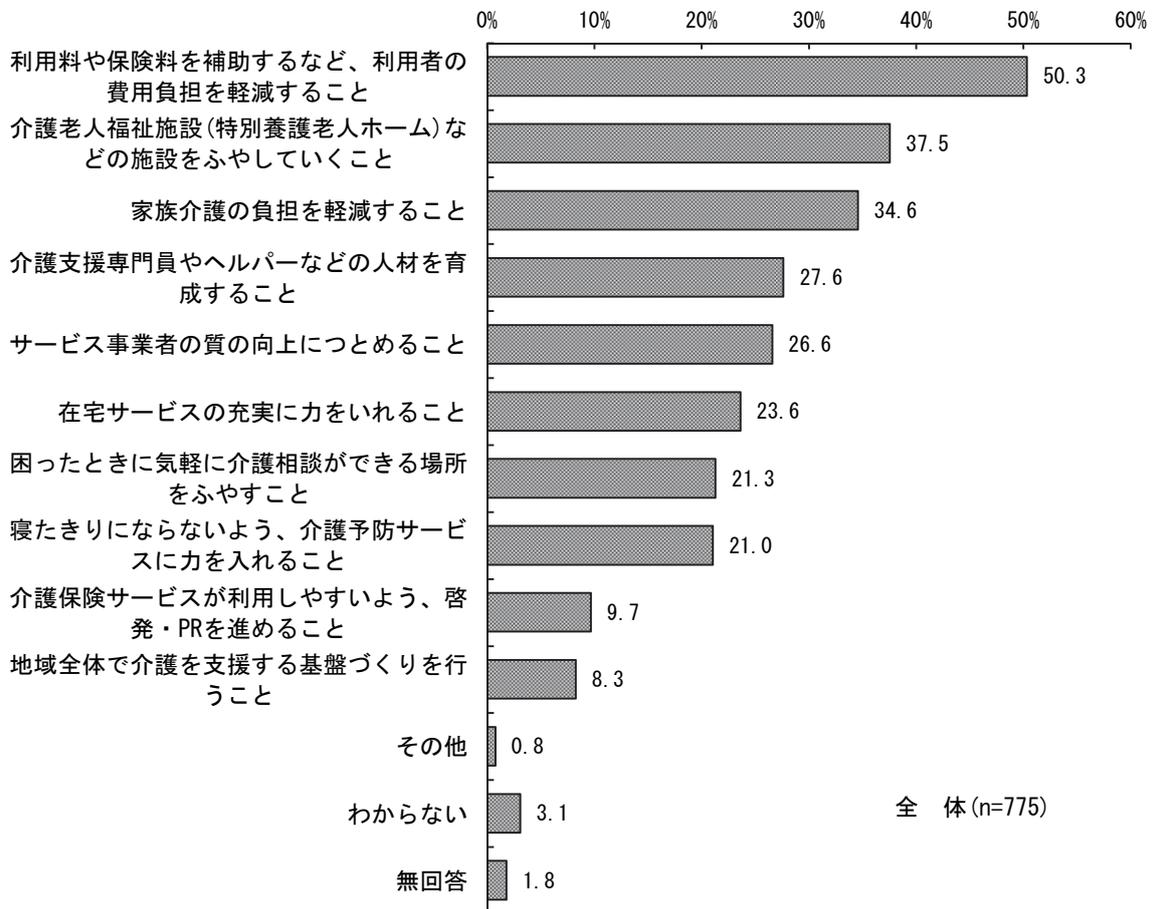
■介護が必要になった場合に過ごしたい場所【前回比較】

	(%)						
	在宅で、介護保険サービスを利用しながら生活したい	在宅で、家族などの介護を中心に生活したい	在宅で、家族の介護を受けた生活がしたい	老人ホームや施設・病院などに入所(入院)し、介護を受けたい	その他	わからない	無回答
平成25年度調査 (n=775)	29.0	3.1	21.4	30.3	2.1	12.0	2.1
平成22年度調査 (n=910)	22.7	5.6	24.1	18.2	2.5	19.6	7.3

② 介護保険制度をよりよくするために市が力を入れるべきこと（問44）

介護保険制度をよりよくするために市が力を入れるべきことは、「利用料や保険料を補助するなど、利用者の費用負担を軽減すること」が最も多く 50.3%、「介護老人福祉施設などの施設をふやしていくこと」（37.5%）、「家族介護の負担を軽減すること」（34.6%）が続いている。

■介護保険制度をよりよくするために市が力を入れるべきこと（複数回答（3つまで））



介護保険制度をよりよくするために市が力を入れるべきことを平成22年度調査と比較すると、「利用料や保険料を補助するなど、利用者の費用負担を軽減すること」が 16.3 ポイント、「介護老人福祉施設などの施設をふやしていくこと」が 7.5 ポイント高くなっている。

■介護保険制度をよりよくするために市が力を入れるべきこと（複数回答（3つまで））【前回比較】

	利用料や保険料を補助するなど、 やしていくこと	介護老人福祉施設などの施設をふ	家族介護の負担を軽減すること	介護支援専門員やヘルパーなどの 人材を育成すること	サービス事業者の質の向上につと めること	在宅サービスの充実に力を入れる こと	困ったときに気軽に介護相談がで きる場所をふやすこと	寝たきりにならないよう、介護予 防サービスに力を入れること	介護保険サービスが利用しやすい よう、啓発・PRを進めること	地域全体で介護を支援する基盤づ くりを行うこと	その他	わからない	無回答
平成25年度調査 (n=775)	50.3	37.5	34.6	27.6	26.6	23.6	21.3	21.0	9.7	8.3	0.8	3.1	1.8
平成22年度調査 (n=910)	34.0	30.0	33.2	28.0	26.2	26.7	22.9	24.7	4.6	11.1	1.9	5.5	7.3

(8) 高齢者保健福祉サービス、介護保険制度への意見・要望（問45）

高齢者保健福祉サービス、介護保険制度について、自由記述形式でうかがい、内容ごとに分類・整理を行った。主な意見は以下のとおりである。

(高齢者の社会参加の促進)

- ・ボランティアで福祉サービスをやってみたいので、市でボランティアを募集してほしい。
- ・我々の年代が介護を必要とする人々に寄り添うことが大切と思うが、実践の場が遠い。
- ・健康な高齢者が活動できる場を提供してほしい。若い方達と比べて力仕事はできなくても知識を役立てることはできる。

(介護予防の推進)

- ・定期的なスポーツ、運動ができる環境、室内で植物を育てられる環境づくりなど、介護が必要な人をつくらない仕組みづくり。
- ・高齢社会になっていく中で、介護予防が重要になってくる。
- ・予防の充実にもっと目を向けて取り組むと介護保険の利用や医療費の削減につながると思う。
- ・食、生活、運動等、人とつながりが保てる場所、講座を低価格、無料で行き、健康寿命を伸ばすことにもっと力を入れてもらいたい。

(介護保険サービスの充実)

- ・フルタイムで仕事を続けられるように、現在のサービスの隙間を埋めるようなきめ細かいサービス提供を希望する。
- ・施設等に入所できなくても、週に2～3日入所できれば介護が長びいても介護者の負担が減りリフレッシュできると思う。ショートステイが充実すれば、介護者の睡眠を確保できる。
- ・近隣の人との助け合いは、それぞれの家の事情等で難しいと思われるため、低料金で利用できる施設やサービスが増えることを望む。

(特養の整備)

- ・特別養護老人ホームを整備してほしい。
- ・特別養護老人ホームの入所待機者を解消してもらいたい。

(高齢者向け住宅の整備)

- ・ひとり暮らし用の市営住宅を作してほしい。収入がないのに民間の家賃を払うのはきびしい。

(認知症への支援)

- ・今後、認知症が増えていくので、認知症にならないための方法を詳しく教えてほしい。
- ・認知症予備軍の人のための体操等を実践する講座を開催してほしい。

(在宅療養体制の充実)

- ・現在、要介護5の母を在宅で介護しているが、眼科の訪問診療が受けられず、大変困っている。
- ・早い時期に在宅医療がスムーズに利用できるよう、支援する体制をしっかりと作してほしい。

(人材の確保と処遇改善)

- ・高齢者が安心できる制度とそれに関わる人材を育成してほしい。
- ・スタッフの育成、待遇向上。

(サービスの質の向上)

- ・介護人材の処遇を改善して、介護のレベルが高くなるようにしてほしい。
- ・事業者やヘルパーの待遇を良くして、やりがいのある仕事として質の高いサービスを提供できるようにしてほしい。

(介護保険制度の適切な運営)

- ・世代間格差をなくす。若い時に保険料を払っているのに、自分はその年齢になってその恩恵が受けられないことにならようにしてほしい。
- ・介護保険制度が始まって、保険料が年々高くなり利用者負担が大きくなるのでは、本来の意味がなくなっていくと思うので、必要な人が利用しやすい制度としてあり続けてほしいと思う。
- ・介護保険料、費用負担を軽減してほしい。

(情報発信の充実)

- ・内容（サービスや制度）がよくわからないので、わかりやすい説明があるといい。
- ・情報はHPをよく見るので、サービスの内容等をきめ細かく提供してほしい。また、常に最新の情報がほしい。
- ・高齢者保健福祉サービスや介護保険サービスを必要とする状態になった時に困らないよう、もっとPRをしてほしい。
- ・高齢者福祉サービスや介護保険制度で受けられる支援サービスは、それ自体よくわかっていない高齢者が多い。

(相談体制の充実)

- ・必要な時に相談できる場。
- ・住んでいる地域には地域包括支援センターが1ヶ所しかない。もっと相談できる場所があれば、いろいろな面で選択することができる。

(経済的負担の軽減)

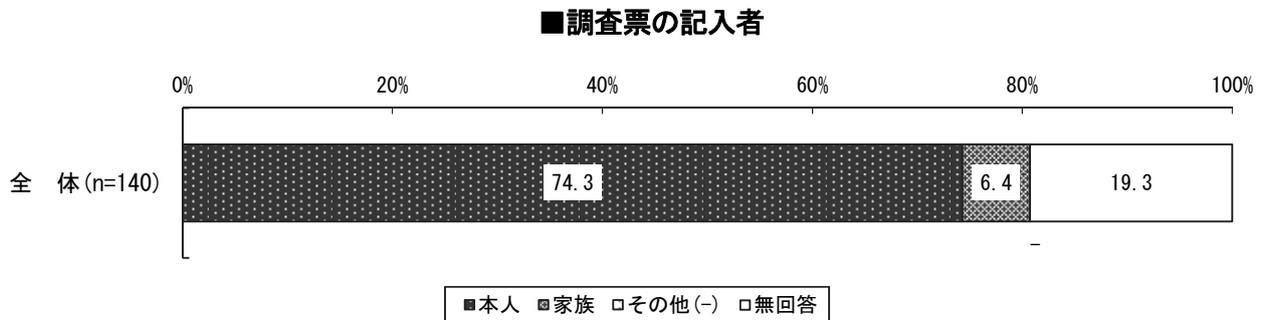
- ・一人ひとりの身体状況に応じて助成を増やし、サービスを受けるための経済的負担を軽くしてほしい。
- ・お金がない高齢者の方達も十分な介護を受けられるようにしてほしい。

3. 二次予防事業対象者調査

(1) 基本属性

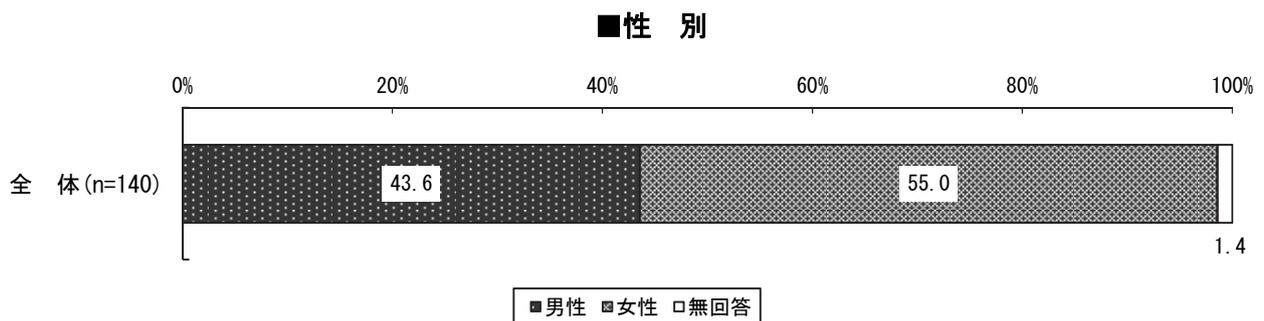
① 調査票の記入者（問1）

調査票の記入者は、「本人」が74.3%、「家族」が6.4%である。



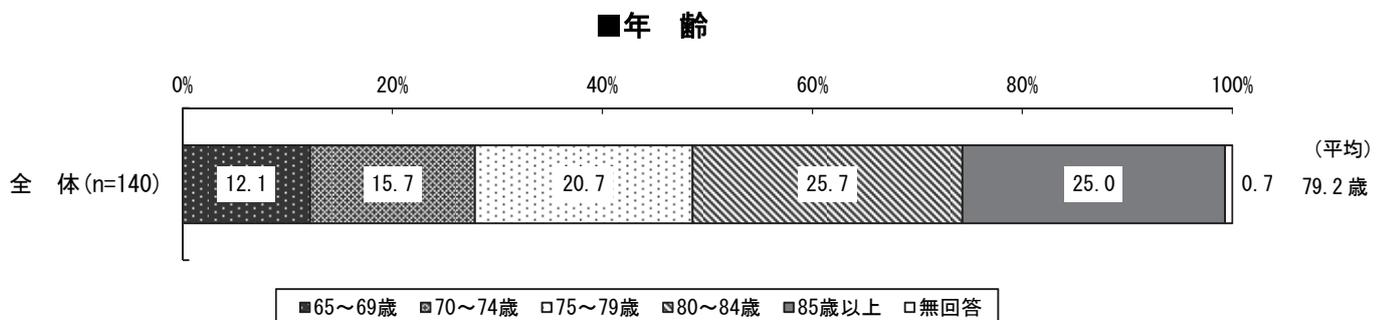
② 性別（問2）

性別は、「男性」が43.6%、「女性」が55.0%となっている。



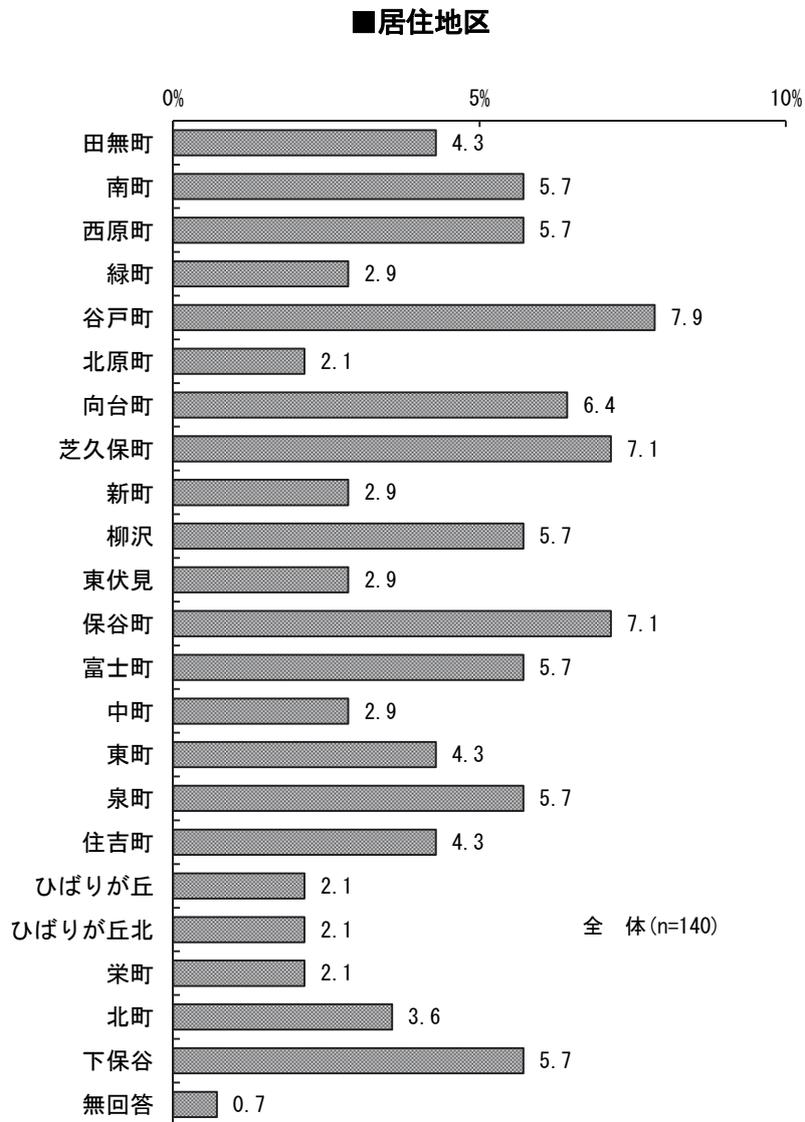
③ 年齢（問3）

年齢は、「80～84歳」が最も多く25.7%、次いで「85歳以上」（25.0%）、「75～79歳」（20.7%）が続いている。



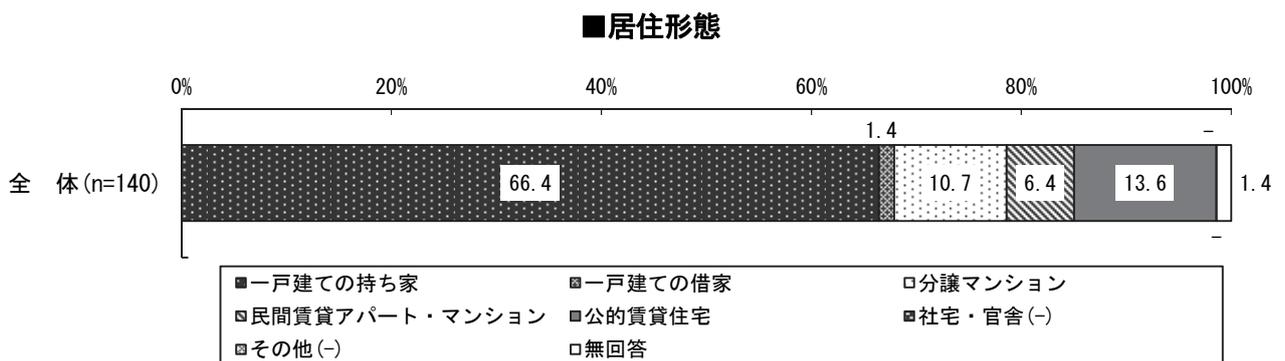
④ 居住地区（問4）

居住地区は、「谷戸町」（7.9%）が最も多く、次いで「芝久保町」「保谷町」（ともに7.1%）が続いている。



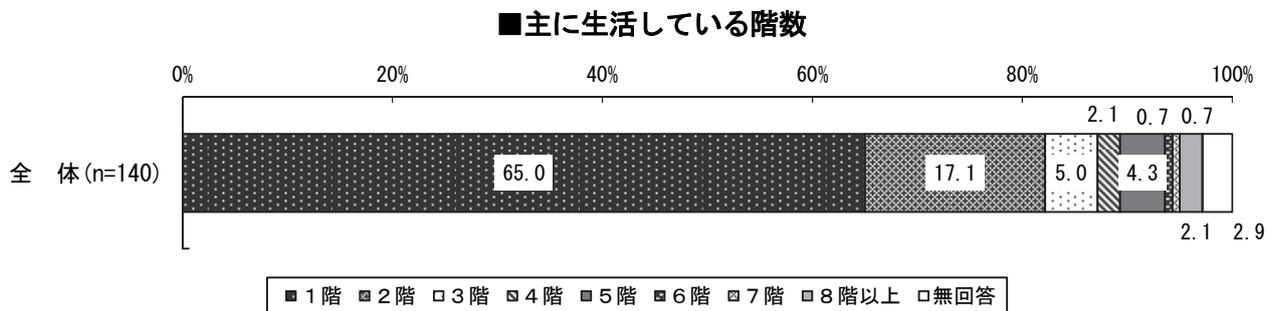
⑤ 居住形態（問5）

居住形態は、「一戸建ての持ち家」が最も多く 66.4%、次いで「公的賃貸住宅」（13.6%）、「分譲マンション」（10.7%）が続いている。



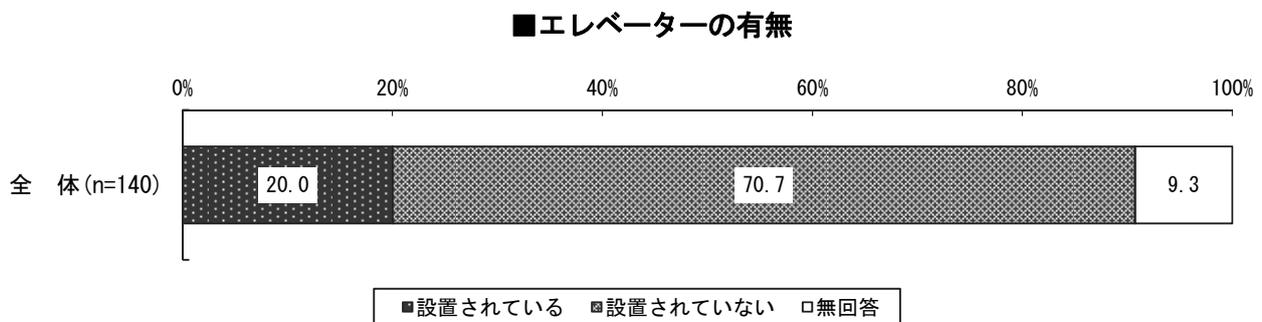
⑥ 主に生活している階数 (問6)

主に生活している階数は、「1階」が最も多く65.0%、「2階」(17.1%)、「3階」(5.0%)が続いている。



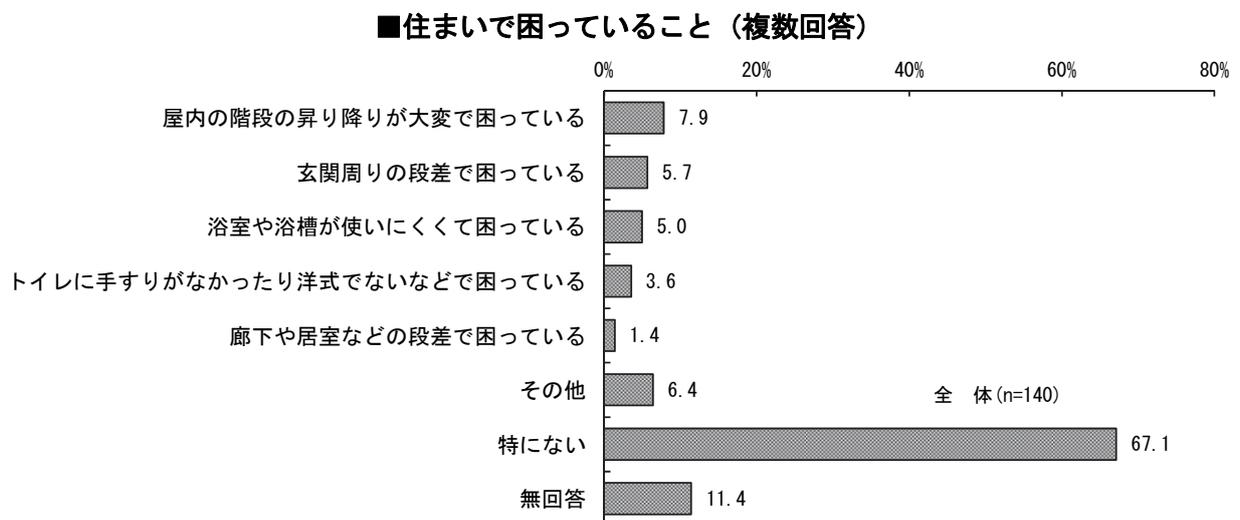
⑦ エレベーターの有無 (問7)

エレベーターの有無は、「設置されている」が20.0%、「設置されていない」が70.7%である。



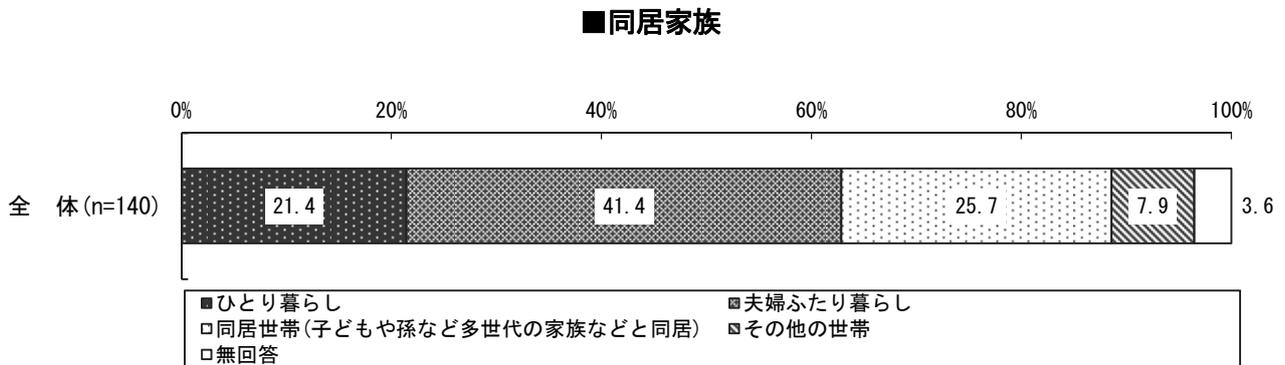
⑧ 住まいで困っていること (問8)

住まいで困っていることは、「屋内の階段の昇り降りが大変で困っている」が最も多く7.9%、「玄関回りの段差で困っている」(5.7%)、「浴室や浴槽が使いにくくて困っている」(5.0%)が続いている。



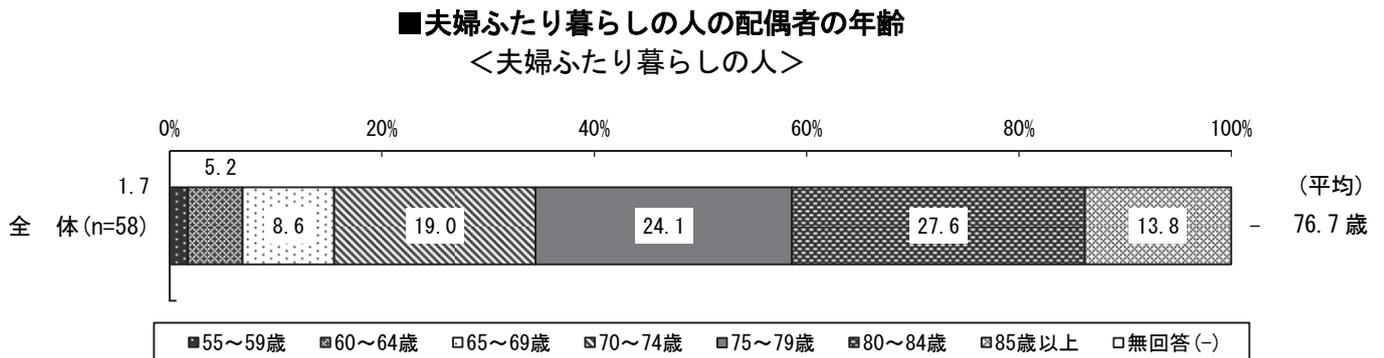
⑨ 同居家族（問9）

同居家族は、「ひとり暮らし」が21.4%、「夫婦ふたり暮らし」が41.4%、「同居世帯（子どもや孫など多世代の家族など同居）」が25.7%、「その他の世帯」が7.9%となっている。



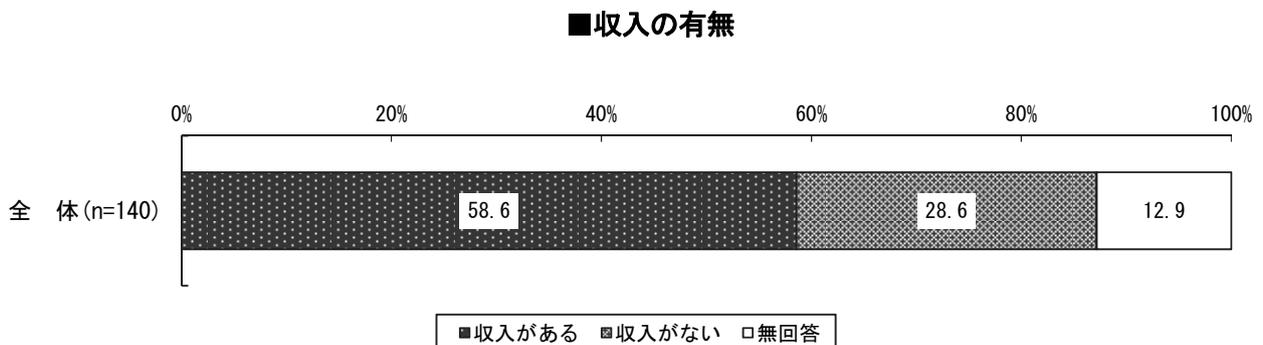
⑩ 夫婦ふたり暮らしの人の配偶者の年齢（問9-1）

夫婦ふたり暮らしの人の配偶者の年齢は、「80～84歳」が27.6%、「75～79歳」が24.1%、「70～74歳」が19.0%となっている。



⑪ 収入の有無（問10）

収入の有無は、「収入がある」が58.6%、「収入がない」が28.6%となっている。



⑫ 年間の世帯収入（問 1 1）

年間の世帯収入は、「120万円以上200万円未満」「200万円以上300万円未満」（ともに20.7%）が最も多く、「60万円以上120万円未満」（16.4%）が続いている。

■年間の世帯収入

全 体 (n=140)	(%)
60万円未満	10.0
60万円以上120万円未満	16.4
120万円以上200万円未満	20.7
200万円以上300万円未満	20.7
300万円以上400万円未満	7.9
400万円以上500万円未満	4.3
500万円以上600万円未満	2.9
600万円以上700万円未満	0.7
700万円以上900万円未満	-
900万円以上1,000万円未満	-
1,000万円以上	1.4
無回答	15.0

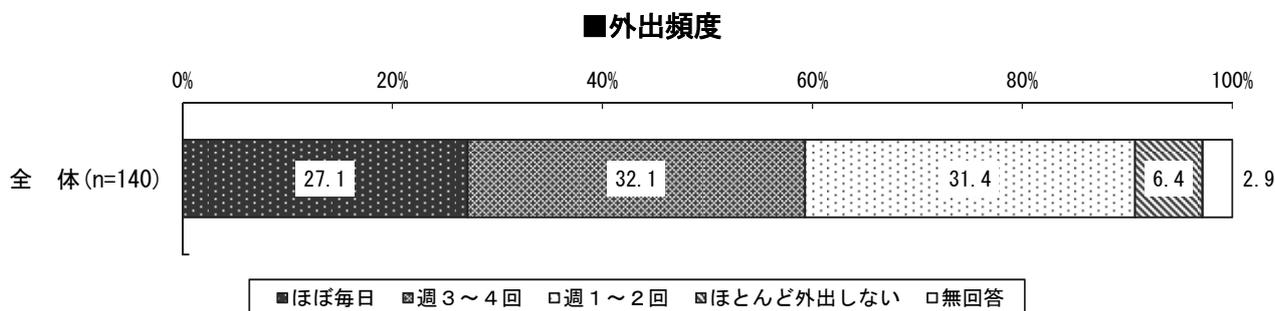
平成22年度調査と比較すると、「60万円未満」「60万円以上120万円未満」がそれぞれ3.0ポイント、7.5ポイント高くなっている。

■年間の世帯収入【前回比較】

	60万円未満	60万円以上120万円未満	120万円以上200万円未満	200万円以上300万円未満	300万円以上400万円未満	400万円以上500万円未満	500万円以上600万円未満	600万円以上700万円未満	700万円以上900万円未満	900万円以上1,000万円未満	1,000万円以上	無回答
平成25年度調査 (n=140)	10.0	16.4	20.7	20.7	7.9	4.3	2.9	0.7	-	-	1.4	15.0
平成22年度調査 (n=158)	7.0	8.9	19.6	26.6	13.9	5.7	3.2	1.9	0.6	0.6	1.3	10.8

⑬ 外出頻度（問12）

外出頻度は、「ほぼ毎日」が27.1%、「週3～4回」が32.1%、「週1～2回」が31.4%、「ほとんど外出しない」が6.4%となっている。



平成22年度調査と比較すると、「ほぼ毎日」が8.3ポイント下がり、「週1～2回」が8.6ポイント高くなっている。

■外出頻度【前回比較】

	(%)				
	ほぼ毎日	週3～4回	週1～2回	ほとんど外出しない	無回答
平成25年度調査 (n=140)	27.1	32.1	31.4	6.4	2.9
平成22年度調査 (n=158)	35.4	29.1	22.8	8.2	4.4

■外出頻度（性・年代別）

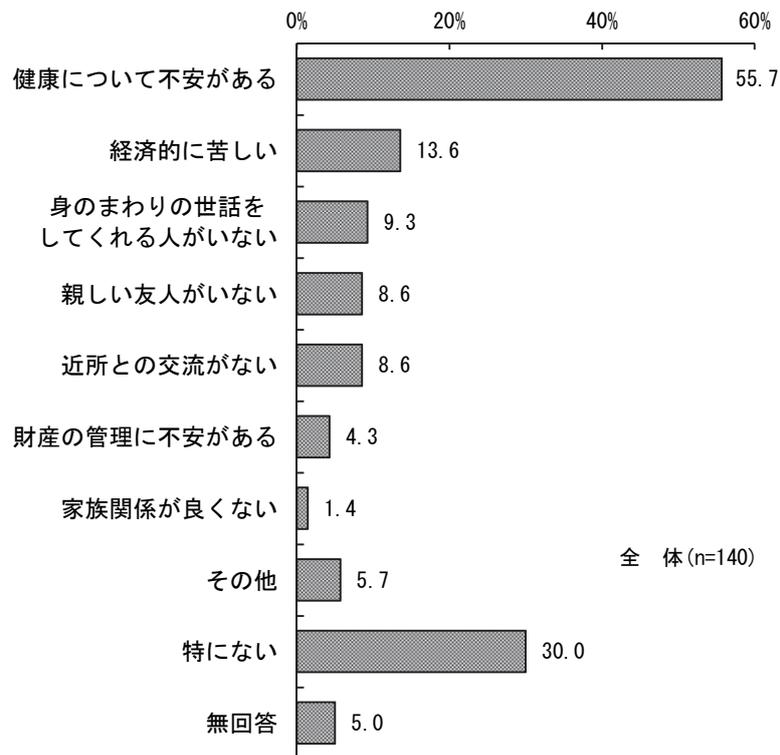
		(%)				
		ほぼ毎日	週3～4回	週1～2回	ほとんど外出しない	無回答
男性	男性 計 (n=61)	32.8	19.7	39.3	6.6	1.6
	65～74歳 (n=20)	35.0	20.0	45.0	-	-
	75～84歳 (n=29)	37.9	20.7	31.0	6.9	3.4
	85歳以上 (n=12)	16.7	16.7	50.0	16.7	-
	無回答 (n=-)	-	-	-	-	-
女性	女性 計 (n=77)	23.4	42.9	26.0	5.2	2.6
	65～74歳 (n=19)	36.8	42.1	15.8	5.3	-
	75～84歳 (n=35)	25.7	51.4	17.1	2.9	2.9
	85歳以上 (n=23)	8.7	30.4	47.8	8.7	4.3
	無回答 (n=-)	-	-	-	-	-

(2) 日ごろの悩みや困ったこと

① 現在の悩みや不安 (問13)

現在の悩みや不安は、「健康について不安がある」が最も多く 55.7%、「経済的に苦しい」(13.6%)、「身のまわりの世話をしてくれる人がいない」(9.3%)が続いている。

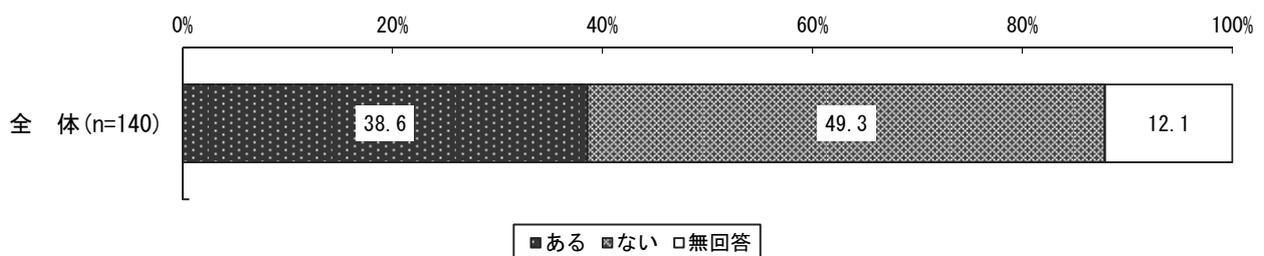
■現在の悩みや不安 (複数回答)



② 日常生活で困っていることの有無 (問14)

日常生活で困っていることの有無は、「ある」が 38.6%、「ない」が 49.3%となっている。

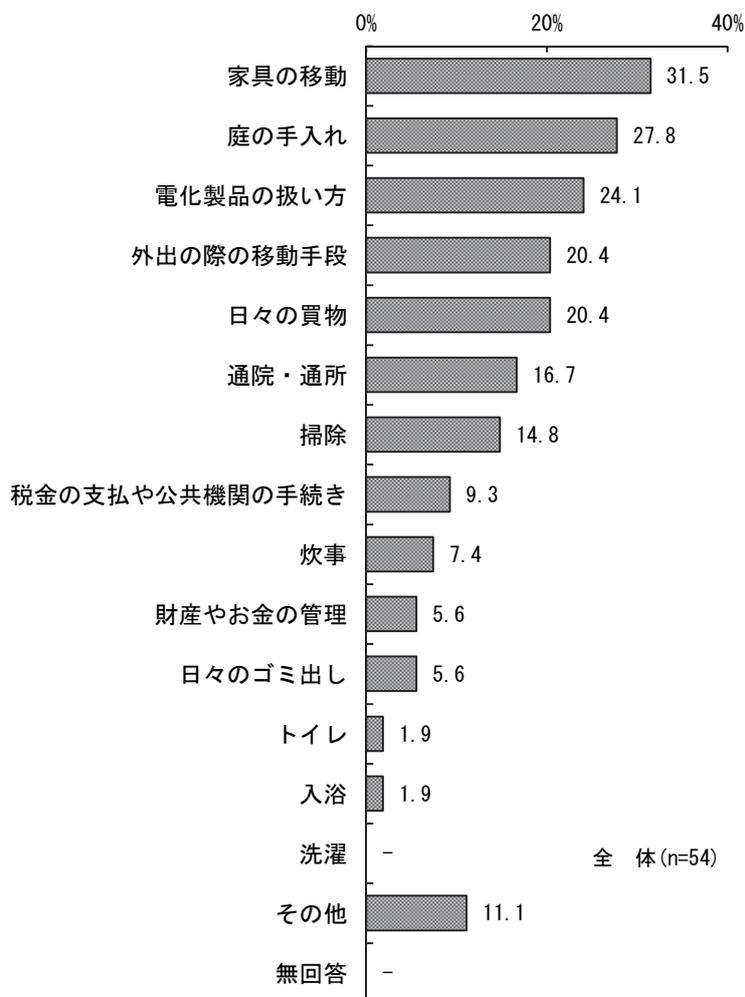
■日常生活で困っていることの有無



③ 困っていること（問14-1）

日常生活で困っていることがあると回答した人に、その内容をたずねたところ、「家具の移動」が最も多く31.5%、「庭の手入れ」（27.8%）、「電化製品の扱い方」（24.1%）が続いている。

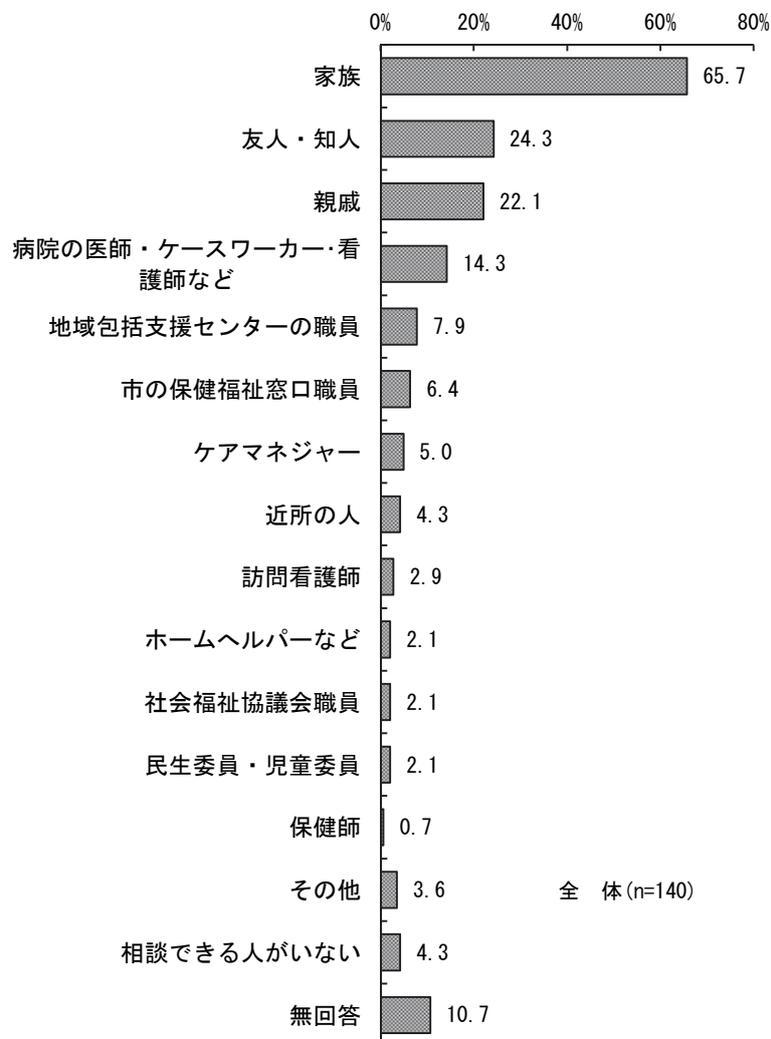
■困っていること（複数回答（3つまで））
 <日常生活で困っていることがある人>



④ 困りごとの相談先（問15）

困りごとの相談先は、「家族」が最も多く65.7%、「友人・知人」（24.3%）、「親戚」（22.1%）が続いている。

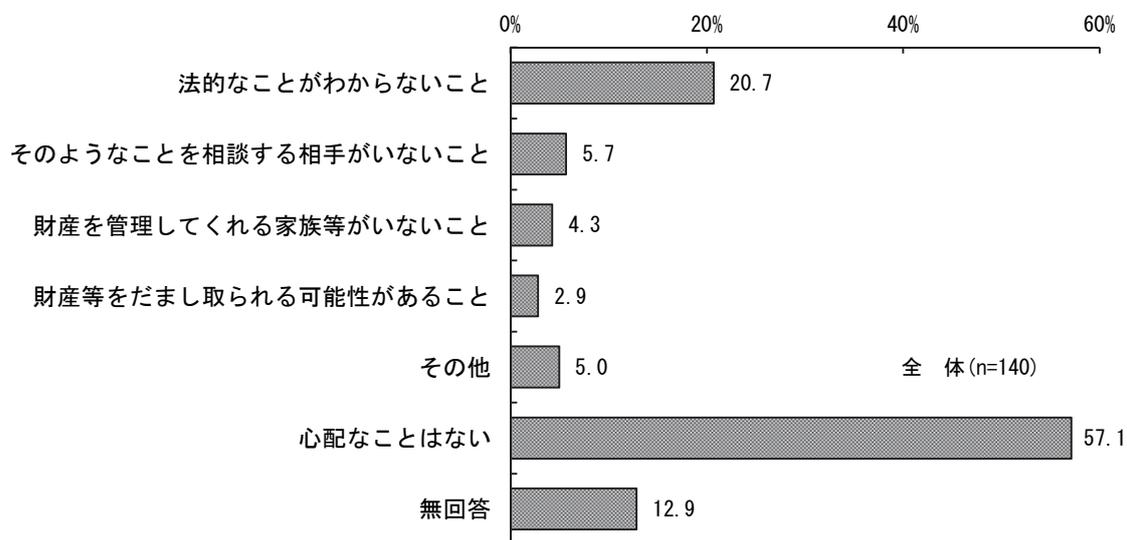
■困りごとの相談先（複数回答）



⑤ 認知症になった場合に、財産管理で心配なこと（問16）

認知症になった場合に、財産管理で心配なことは、「法的なことがわからないこと」が最も多く20.7%、「そのようなことを相談する相手がいないこと」(5.7%)、「財産を管理してくれる家族等がいないこと」(4.3%)が続いている。

■認知症になった場合に、財産管理で心配なこと（複数回答）



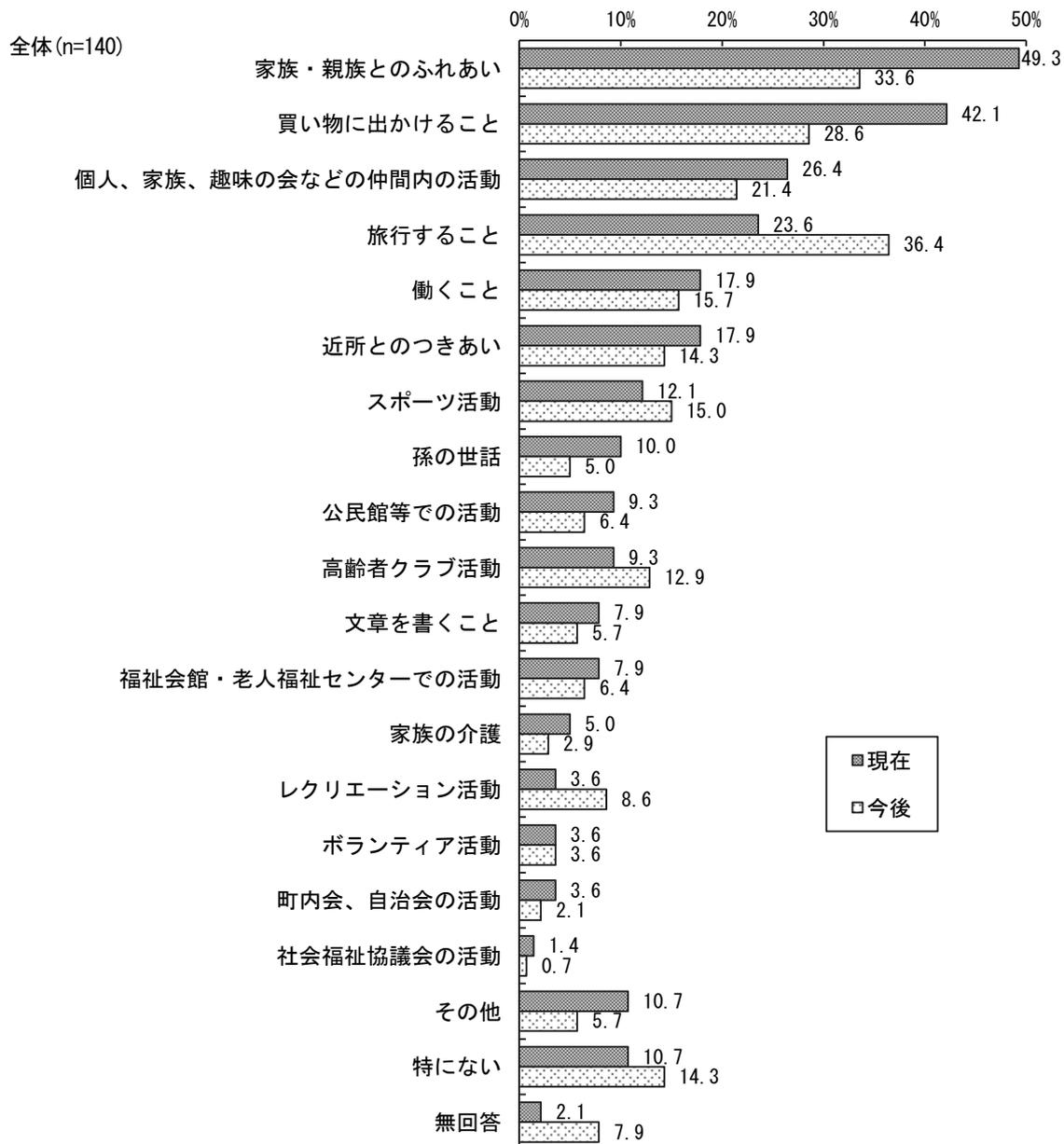
(3) 生きがい

① 継続して行っていること・今後行いたいこと（問17、18）

現在継続して行っていることは、「家族・親族とのふれあい」が最も多く49.3%、「買い物に出かけること」（42.1%）、「個人、家族、趣味の会などの仲間内の活動」（26.4%）が続いている。

今後行いたいことは、「旅行すること」が最も多く36.4%、「家族・親族とのふれあい」（33.6%）、「買い物に出かけること」（28.6%）が続いている。

■継続して行っていること・今後行いたいこと（複数回答）



第2章 各調査の結果

現在継続して行っていることを平成22年度調査と比較してみると、「家族・親族とのふれあい」と「旅行すること」がそれぞれ7.7ポイント、7.4ポイント低くなっている。

■継続して行っていること（複数回答）【前回比較】

	家族・親族とのふれあい	買い物に出かけること	個人、家族、趣味の会などの仲間内の活動	旅行すること	働くこと	近所とのつきあい	スポーツ活動	孫の世話	公民館等での活動	高齢者クラブ活動
平成25年度調査 (n=140)	49.3	42.1	26.4	23.6	17.9	17.9	12.1	10.0	9.3	9.3
平成22年度調査 (n=158)	57.0	44.9	31.6	31.0	15.2	24.1	10.8	12.0	8.9	8.2

	文章を書くこと	福祉会館・老人福祉センターでの活動	家族の介護	レクリエーション活動	ボランティア活動	町内会、自治会の活動	社会福祉協議会の活動	その他	特になし	無回答
平成25年度調査 (n=140)	7.9	7.9	5.0	3.6	3.6	3.6	1.4	10.7	10.7	2.1
平成22年度調査 (n=158)	10.8	13.3	5.7	7.0	8.9	3.8	1.3	20.9	5.7	3.2

平成22年度調査と比較すると、「スポーツ活動」と「高齢者クラブ活動」がそれぞれ7.4ポイント、6.6ポイント高くなっている。

■今後行いたいこと（複数回答）【前回比較】

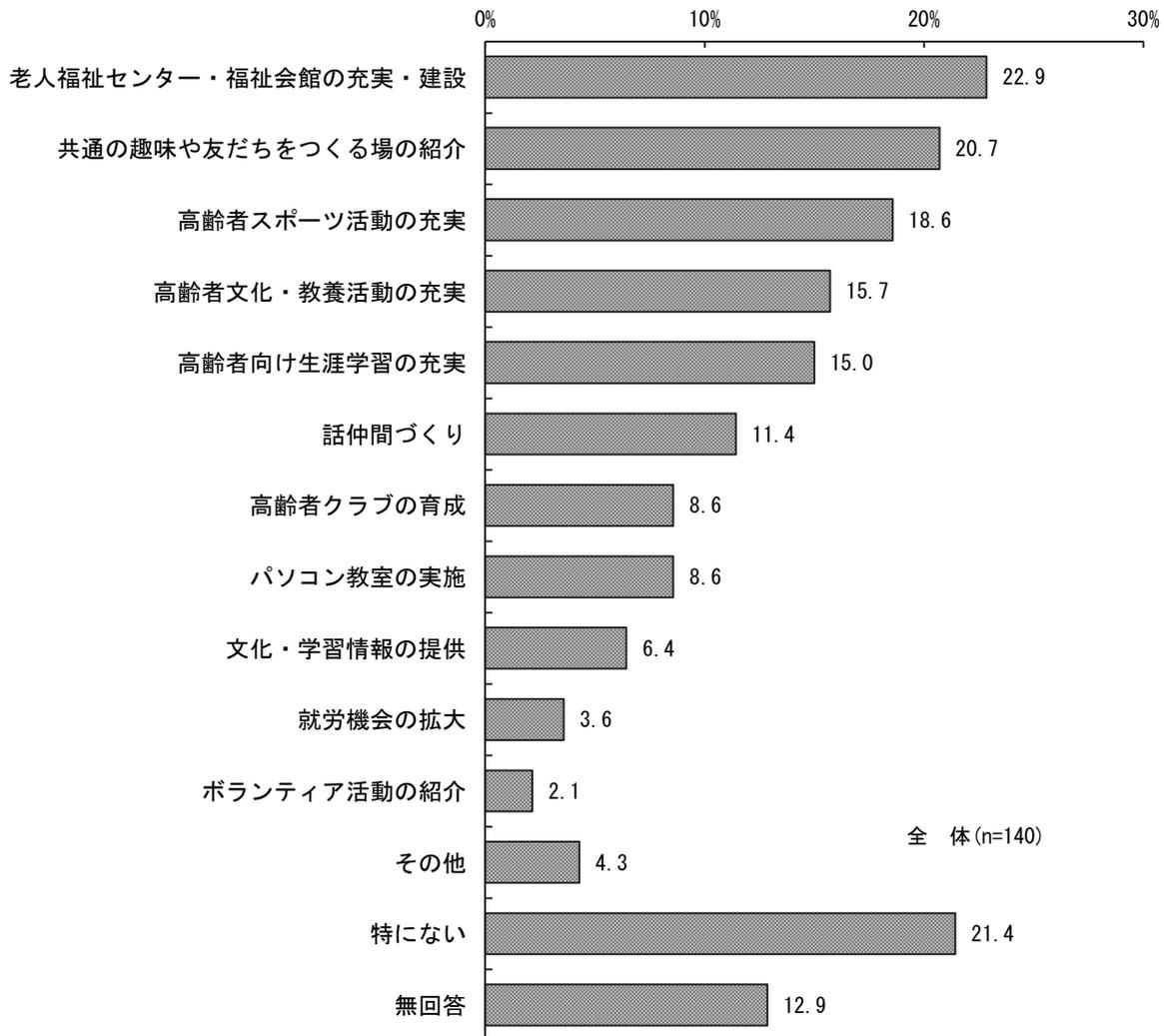
	旅行すること	家族・親族とのふれあい	買い物に出かけること	個人、家族、趣味の会などの仲間内の活動	働くこと	スポーツ活動	近所とのつきあい	高齢者クラブ活動	レクリエーション活動	公民館等での活動
平成25年度調査 (n=140)	36.4	33.6	28.6	21.4	15.7	15.0	14.3	12.9	8.6	6.4
平成22年度調査 (n=158)	37.3	36.1	22.8	23.4	12.0	7.6	14.6	6.3	4.4	5.7

	福祉会館・老人福祉センターでの活動	文章を書くこと	孫の世話	ボランティア活動	家族の介護	町内会、自治会の活動	社会福祉協議会の活動	その他	特になし	無回答
平成25年度調査 (n=140)	6.4	5.7	5.0	3.6	2.9	2.1	0.7	5.7	14.3	7.9
平成22年度調査 (n=158)	10.8	7.6	8.9	8.2	3.8	3.8	1.3	9.5	14.6	8.9

② 高齢者の生きがいがづくりで市に力を入れて欲しいこと（問19）

高齢者の生きがいがづくりで市に力を入れて欲しいことは、「老人福祉センター・福祉会館の充実・建設」（22.9%）に次いで、「共通の趣味や友だちをつくる場の紹介」（20.7%）、「高齢者スポーツ活動の充実」（18.6%）が続いている。

■高齢者の生きがいがづくりで市に力を入れて欲しいこと（複数回答（3つまで））



平成22年度調査と比較すると、「老人福祉センター・福祉会館の充実・建設」と「文化・学習情報の提供」が下がりそれぞれ10.0ポイント、6.9ポイント低くなっている。

■高齢者の生きがいがづくりで市に力を入れて欲しいこと（複数回答（3つまで））【前回比較】

	老人福祉センター・福祉会館の充実・建設	共通の趣味や友だちをつくる場の紹介	高齢者スポーツ活動の充実	高齢者文化・教養活動の充実	高齢者向け生涯学習の充実	話仲間づくり	高齢者クラブの育成	パソコン教室の実施	文化・学習情報の提供	就労機会の拡大	ボランティア活動の紹介	その他	特にない	無回答
平成25年度調査 (n=140)	22.9	20.7	18.6	15.7	15.0	11.4	8.6	8.6	6.4	3.6	2.1	4.3	21.4	12.9
平成22年度調査 (n=158)	32.9	25.9	13.3	18.4	21.5	15.2	11.4	8.9	13.3	3.8	7.0	7.0		20.9

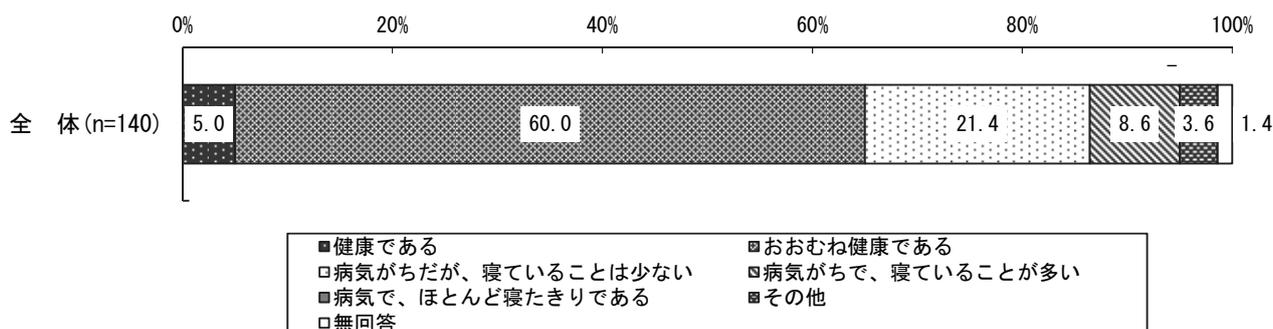
(%)

(4) 健康管理

① 主観的健康感（問20）

主観的健康感は、「健康である」（5.0%）と「おおむね健康である」（60.0%）を合計すると《健康》は65.0%となっている。「病気がちだが、寝ていることは少ない」が21.4%、「病気がちで、寝ていることが多い」が8.6%となっている。

■主観的健康感



性・年代別にみると、《健康》の割合は女性（70.1%）が男性（60.7%）よりもやや高くなっている。年代別では、男性65～74歳（65.0%）と女性75～84歳（74.3%）での《健康》の割合がやや高くなっている。

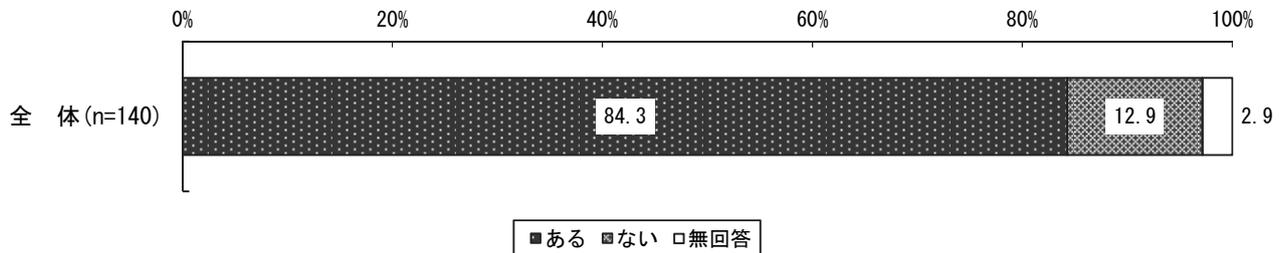
■主観的健康感（性・年代別）

		（%）						
		健康である	おおむね健康である	病気がちだが、寝ていることは少ない	病気がちで、寝ていることが多い	病気がちで、ほとんど寝たきりである	その他	無回答
男性	男性 計 (n=61)	4.9	55.7	19.7	16.4	-	1.6	1.6
	65～74歳 (n=20)	5.0	60.0	10.0	20.0	-	5.0	-
	75～84歳 (n=29)	6.9	51.7	20.7	17.2	-	-	3.4
	85歳以上 (n=12)	-	58.3	33.3	8.3	-	-	-
	無回答 (n= -)	-	-	-	-	-	-	-
女性	女性 計 (n=77)	5.2	64.9	20.8	2.6	-	5.2	1.3
	65～74歳 (n=19)	5.3	63.2	21.1	-	-	10.5	-
	75～84歳 (n=35)	2.9	71.4	20.0	2.9	-	2.9	-
	85歳以上 (n=23)	8.7	56.5	21.7	4.3	-	4.3	4.3
	無回答 (n= -)	-	-	-	-	-	-	-

② 体調を維持するために行っていることの有無（問21）

体調を維持するために行っていることの有無は、「ある」が84.3%、「ない」が12.9%となっている。

■体調を維持するために行っていることの有無



性・年代別にみると、体調を維持するために行っているが「ある」割合は、男性が82.0%、女性が85.7%であり、性別による差は見られない。

■体調を維持するために行っていることの有無（性・年代別）

		（%）		
		ある	ない	無回答
男性	男性 計 (n=61)	82.0	16.4	1.6
	65～74歳 (n=20)	85.0	15.0	-
	75～84歳 (n=29)	75.9	20.7	3.4
	85歳以上 (n=12)	91.7	8.3	-
	無回答 (n= -)	-	-	-
女性	女性 計 (n=77)	85.7	10.4	3.9
	65～74歳 (n=19)	94.7	5.3	-
	75～84歳 (n=35)	88.6	11.4	-
	85歳以上 (n=23)	73.9	13.0	13.0
	無回答 (n= -)	-	-	-

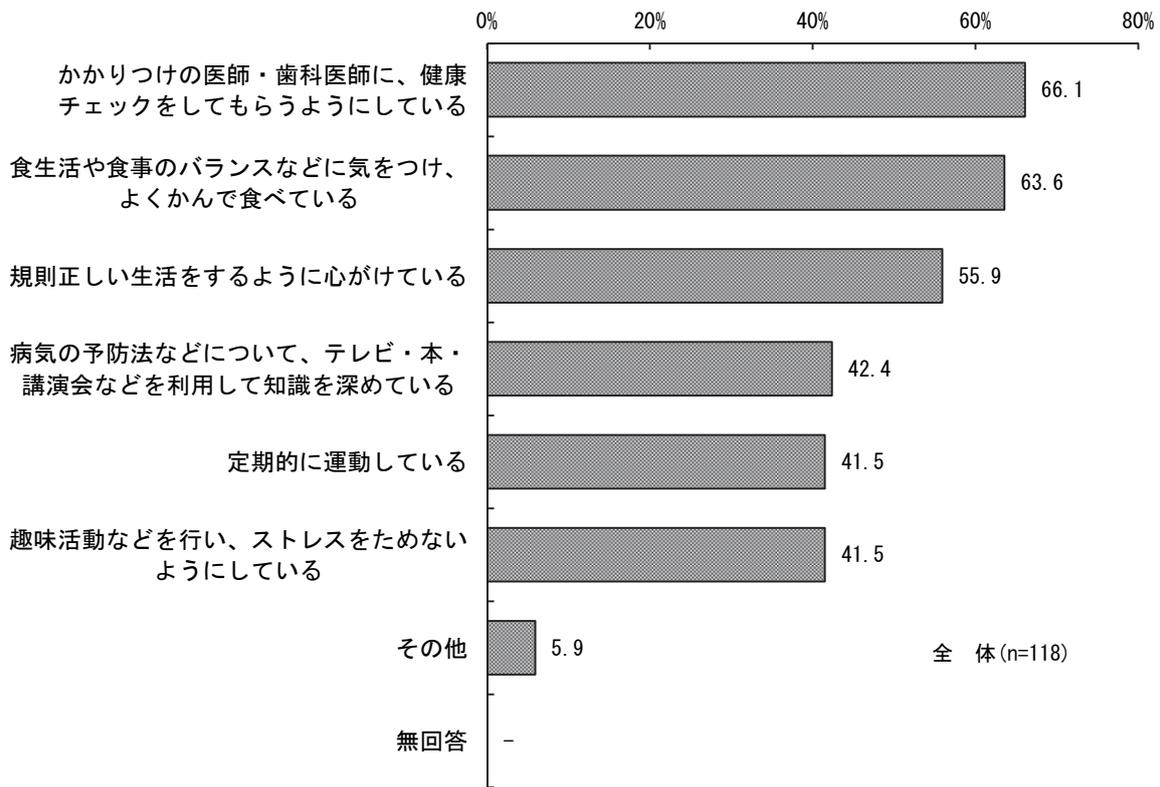
■体調を維持するために行っていることの有無（同居家族別）

		（%）		
		ある	ない	無回答
全 体	(n=140)	84.3	12.9	2.9
ひとり暮らし	(n=30)	80.0	16.7	3.3
夫婦ふたり暮らし	(n=58)	86.2	12.1	1.7
同居世帯	(n=36)	83.3	13.9	2.8
その他の世帯	(n=11)	81.8	9.1	9.1

③ 体調を維持するために行っていること（問21-1）

体調を維持するために行っていることがある人に、その内容をたずねたところ、「かかりつけの医師・歯科医師に、健康チェックをしてもらうようにしている」が最も多く66.1%、「食生活や食事のバランスなどに気をつけ、よくかんで食べている」（63.6%）、「規則正しい生活をするように心がけている」（55.9%）が続いている。

■体調を維持するために行っていること（複数回答）
 <体調を維持するために行っていることがある人>



平成22年度調査と比較すると、「かかりつけの医師・歯科医師に、健康チェックをしてもらうようにしている」が8.5ポイント低くなっている。

■体調を維持するために行っていること（複数回答）【前回比較】

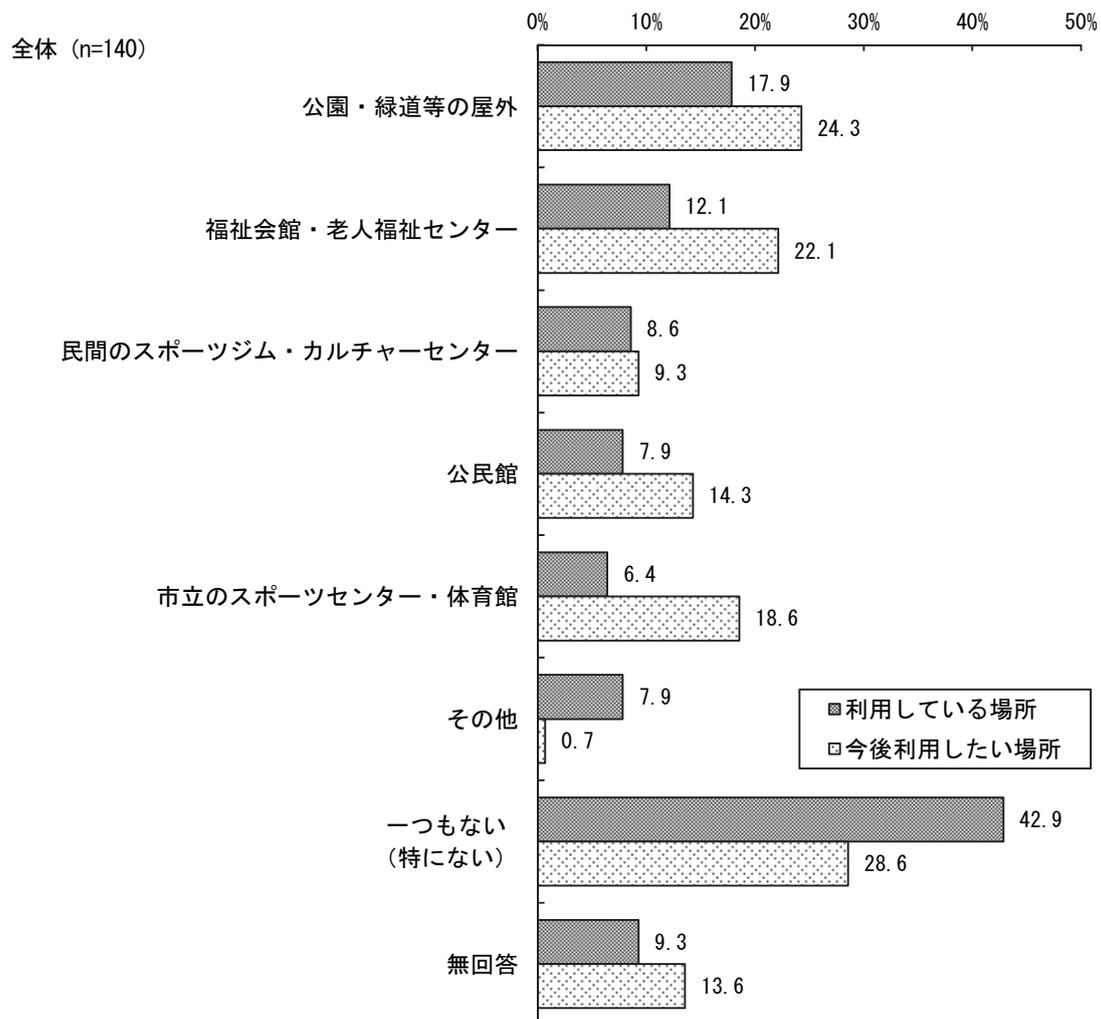
	うにか よ、か う健り に康つ しチけ てエの いるツ ク医師 をし て科 も医 ら師	てに食 い気生 るを活 つや け、食 よのバ らん でス 食な べど	心規 が則 け正 てし い る生 活を する よう に	用テ病 してレ 知の 識予 を防 深法 めを め深 て演 い会 るな をに を利 て、	定期 的に 運動 して いる	ス趣 を味 た活 め動 ない など を行 うに して ス イ レ	そ の 他	無 回 答
平成25年度調査 (n=118)	66.1	63.6	55.9	42.4	41.5	41.5	5.9	-
平成22年度調査 (n=134)	74.6	65.7	57.5	44.8	43.3	40.3	6.0	-

④ 健康維持のために利用している場所と、今後の利用意向（問22）

健康維持のために「利用している場所」は、『公園・緑道等の屋外』が17.9%で最も多く、『福祉会館・老人福祉センター』が12.1%、『民間のスポーツジム・カルチャーセンター』が8.6%で続いている。

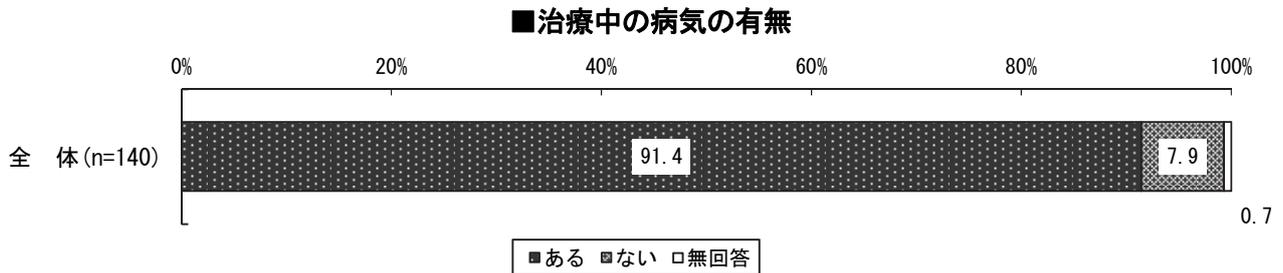
健康維持のために「今後利用したい場所」は、『公園・緑道等の屋外』が24.3%で最も多く、『福祉会館・老人福祉センター』が22.1%、『市立のスポーツセンター・体育館』が18.6%で続いている。

■健康維持のために利用している場所と、今後の利用意向（複数回答）



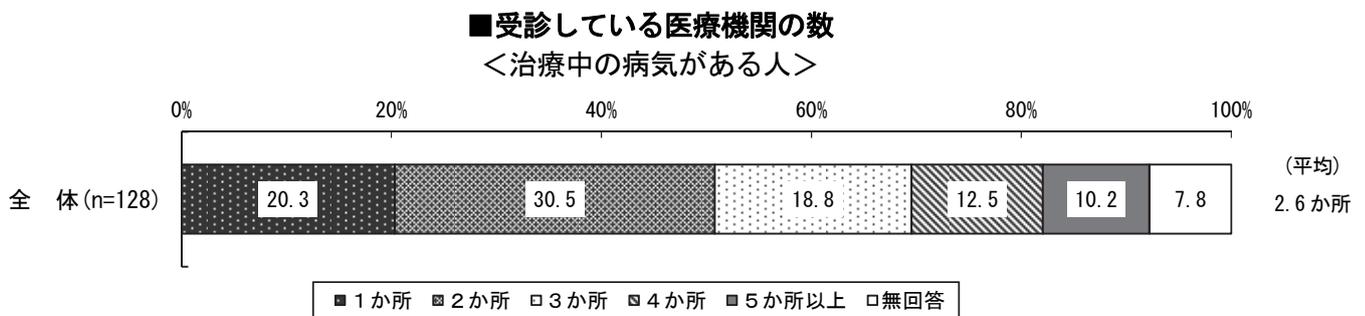
⑤ 治療中の病気の有無（問23）

治療中の病気の有無は、「ある」が91.4%、「ない」が7.9%となっている。



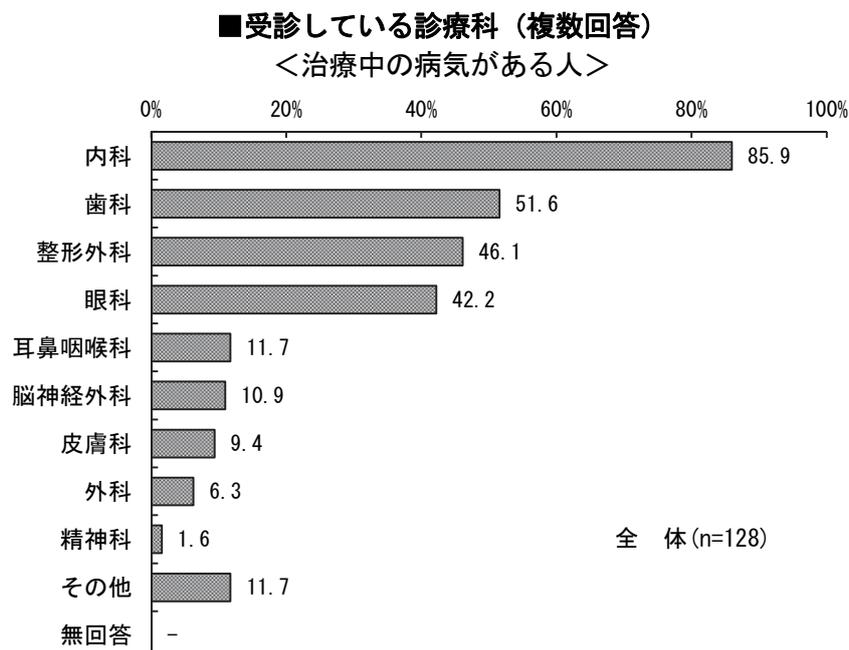
⑥ 受診している医療機関の数（問23-1-1）

治療中の病気がある人に、定期的を受診している医療機関の数をたずねたところ、「2か所」が最も多く30.5%、「1か所」(20.3%)、「3か所」(18.8%)が続いている。



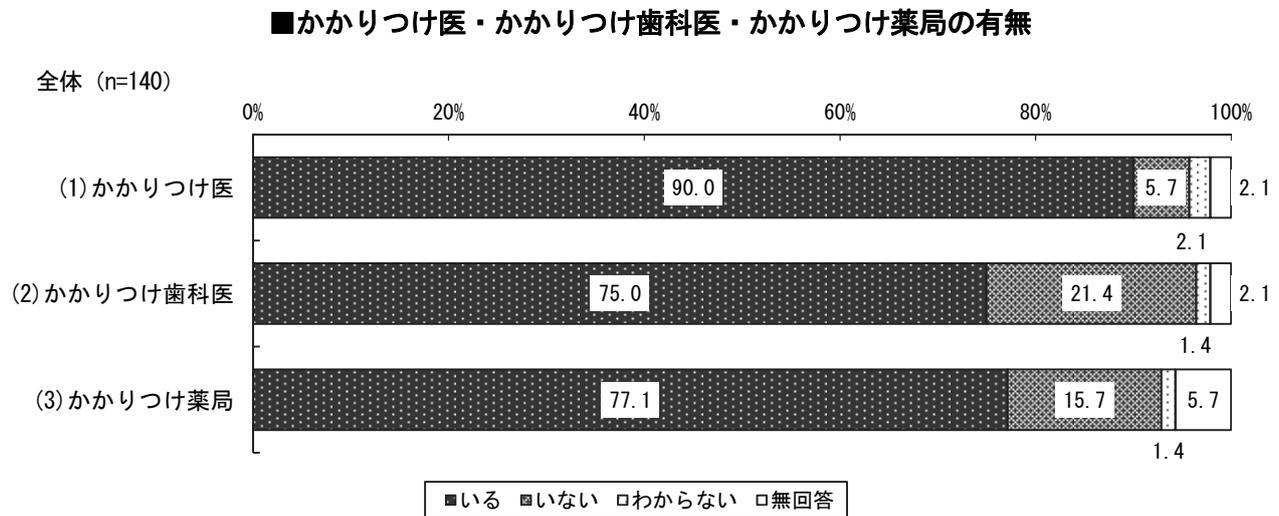
⑦ 受診している診療科（問23-1-2）

治療中の病気がある人が受診している診療科は、「内科」が最も多く85.9%、「歯科」(51.6%)、「整形外科」(46.1%)、「眼科」(42.2%)が続いている。



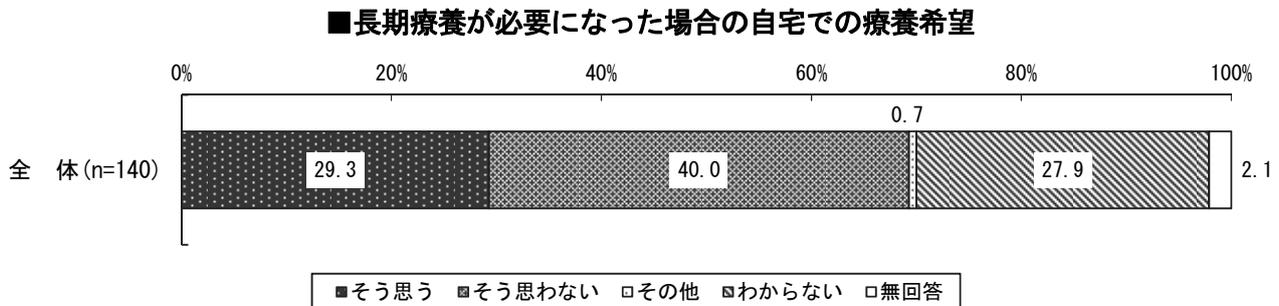
⑧ かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬局の有無（問24）

かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬局の有無について「いる」と答えた割合は、『かかりつけ医』が最も多く90.0%、次いで『かかりつけ歯科医』が75.0%、『かかりつけ薬局』が77.1%である。



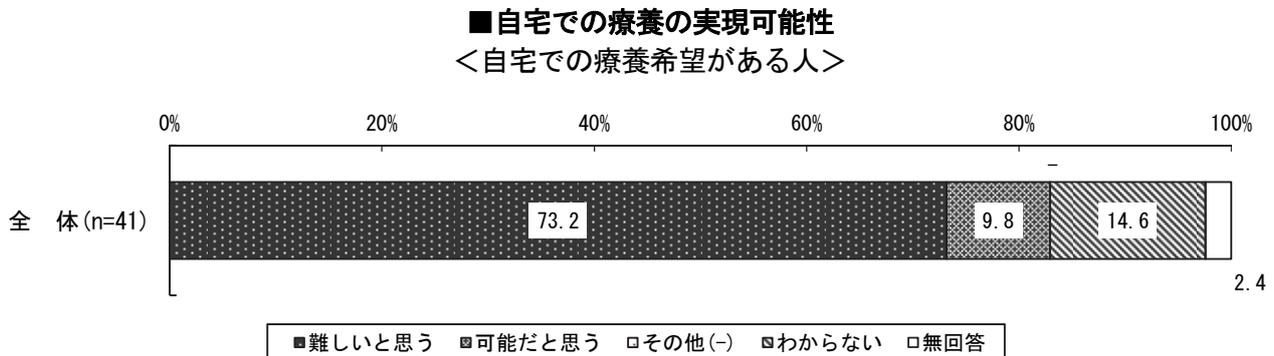
⑨ 長期療養が必要になった場合の自宅での療養希望（問25）

長期療養が必要になった場合の自宅での療養希望は、「そう思う」が29.3%、「そう思わない」が40.0%となっている。



⑩ 自宅での療養の実現可能性（問25-1）

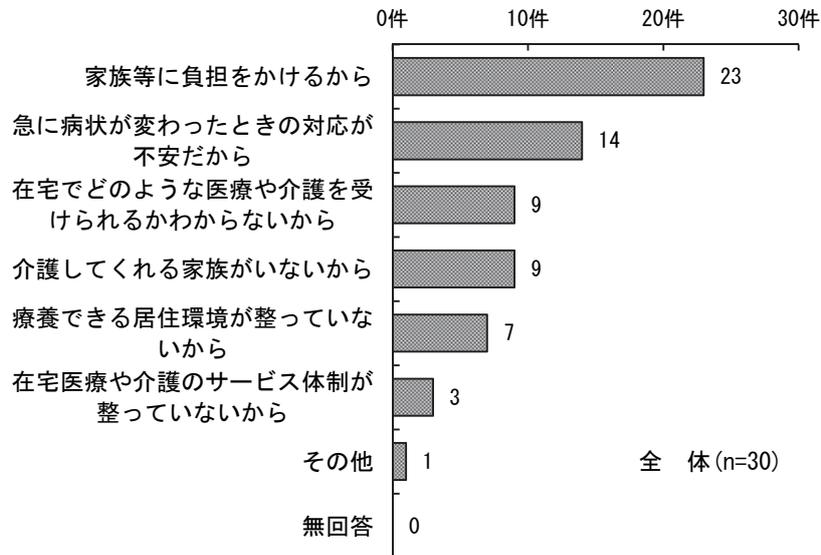
長期療養が必要になった場合の自宅での療養希望がある人に、実現可能性をたずねたところ、「難しいと思う」が73.2%、「可能だと思う」が9.8%となっている。



⑪ 自宅での療養の実現が難しいと思う理由（問25-2）

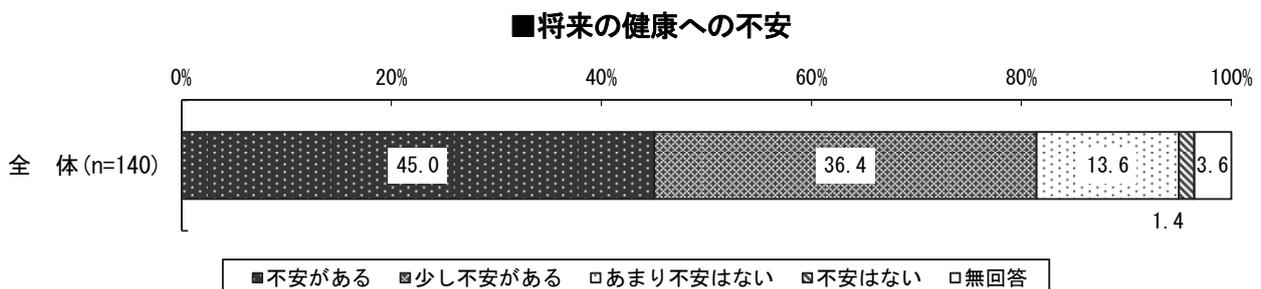
長期療養が必要になった場合の自宅での療養希望がある人で実現は「難しいと思う」人に、その理由をたずねたところ、『家族等に負担をかけるから』が最も多く23件、『急に病状が変わったときの対応が不安だから』（14件）が続いている。

■自宅での療養の実現が難しいと思う理由（複数回答（3つまで））
＜自宅での療養希望があるが実現は難しいと思う人＞



⑫ 将来の健康への不安（問26）

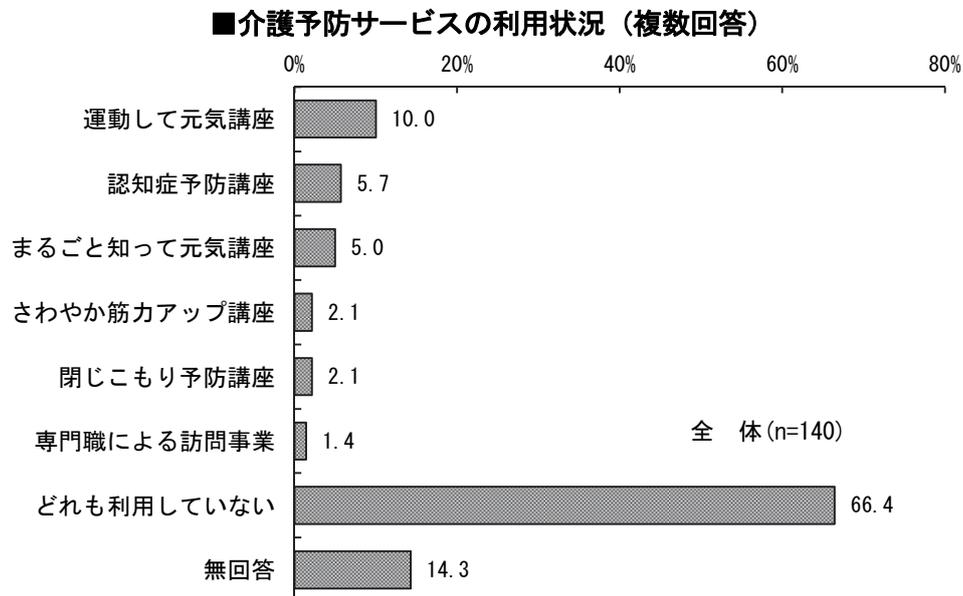
将来の健康への不安は、「不安がある」が45.0%、「少し不安がある」が36.4%、「あまり不安はない」が13.6%、「不安はない」が1.4%となっている。



(5) 介護予防事業の利用、評価、意向

① 介護予防サービスの利用状況（問27）

介護予防サービスの利用状況は、「運動して元気講座」が最も多く 10.0%、「認知症予防講座」(5.7%)、「まるごと知って元気講座」(5.0%)が続いている。



性・年代別にみると、介護予防サービスは女性の利用率が高くなっている。

■介護予防サービスの利用状況（性・年代別：複数回答）

		(%)							
		運動して 元気講 座	認知 症予 防講 座	元 ま る ご と 知 っ て	ア さ わ や か 筋 力 講 座	閉 じ こ も り 予 防 講 座	専 門 職 に よ る 訪 問 事 業	い ど な い も 利 用 し て い な い	無 回 答
男性	男性 計 (n=61)	8.2	1.6	-	-	1.6	-	77.0	13.1
	65～74歳 (n=20)	-	5.0	-	-	5.0	-	90.0	5.0
	75～84歳 (n=29)	10.3	-	-	-	-	-	69.0	20.7
	85歳以上 (n=12)	16.7	-	-	-	-	-	75.0	8.3
	無回答 (n=-)	-	-	-	-	-	-	-	-
女性	女性 計 (n=77)	11.7	9.1	9.1	3.9	2.6	2.6	58.4	14.3
	65～74歳 (n=19)	15.8	21.1	15.8	5.3	5.3	-	52.6	5.3
	75～84歳 (n=35)	11.4	5.7	8.6	5.7	2.9	2.9	62.9	11.4
	85歳以上 (n=23)	8.7	4.3	4.3	-	-	4.3	56.5	26.1
	無回答 (n=-)	-	-	-	-	-	-	-	-

■介護予防サービスの利用状況（同居家族別：複数回答）

(%)

	座運 動して 元気講	認 知症予 防講座	元ま るごと 知って 元気講 座	アさ わやか 筋力 講座	講閉 じこも り予 防	問專 事業 職に よる 訪	いど れも 利用 して	無 回 答
全 体 (n=140)	10.0	5.7	5.0	2.1	2.1	1.4	66.4	14.3
ひとり暮らし (n=30)	6.7	6.7	10.0	6.7	3.3	3.3	63.3	16.7
夫婦ふたり暮らし (n=58)	8.6	3.4	3.4	1.7	1.7	-	77.6	8.6
同居世帯 (n=36)	13.9	2.8	2.8	-	2.8	-	61.1	19.4
その他の世帯 (n=11)	18.2	18.2	9.1	-	-	9.1	54.5	-

■介護予防サービスの利用状況（年間の世帯収入別：複数回答）

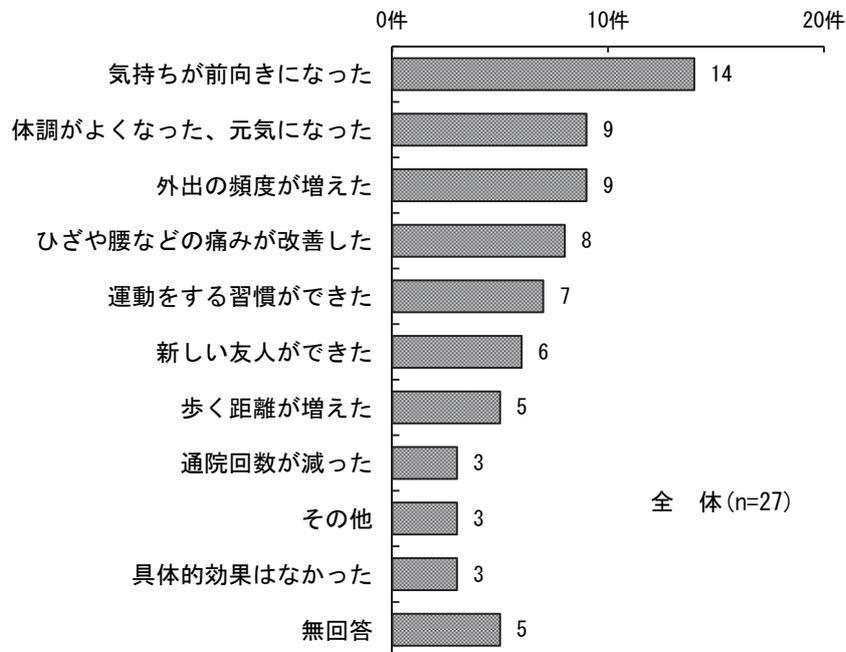
(%)

	座運 動して 元気講	認 知症予 防講座	元ま るごと 知って 元気講 座	アさ わやか 筋力 講座	講閉 じこも り予 防	問專 事業 職に よる 訪	いど れも 利用 して	無 回 答
全 体 (n=140)	10.0	5.7	5.0	2.1	2.1	1.4	66.4	14.3
60万円未満 (n=14)	7.1	14.3	7.1	14.3	-	-	42.9	28.6
60万円以上120万円未満 (n=23)	8.7	13.0	4.3	-	8.7	4.3	65.2	8.7
120万円以上200万円未満 (n=29)	6.9	10.3	6.9	-	3.4	-	72.4	6.9
200万円以上300万円未満 (n=29)	10.3	-	3.4	-	-	3.4	75.9	6.9
300万円以上400万円未満 (n=11)	9.1	-	-	-	-	-	63.6	27.3
400万円以上500万円未満 (n=6)	16.7	-	-	-	-	-	83.3	-
500万円以上600万円未満 (n=4)	-	-	-	-	-	-	100.0	-
600万円以上700万円未満 (n=1)	-	-	-	-	-	-	100.0	-
700万円以上900万円未満 (n=-)	-	-	-	-	-	-	-	-
900万円以上1,000万円未満 (n=-)	-	-	-	-	-	-	-	-
1,000万円以上 (n=2)	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0

② 利用後の生活や気持ちの変化（問27-1）

介護予防サービスを利用した人に、生活や気持ちの変化があったかたずねたところ、「気持ちが前向きになった」が最も多く14件、「体調がよくなった、元気になった」「外出の頻度が増えた」（ともに9件）が続いている。

■利用後の生活や気持ちの変化（複数回答）
 <介護予防サービスを利用した人>



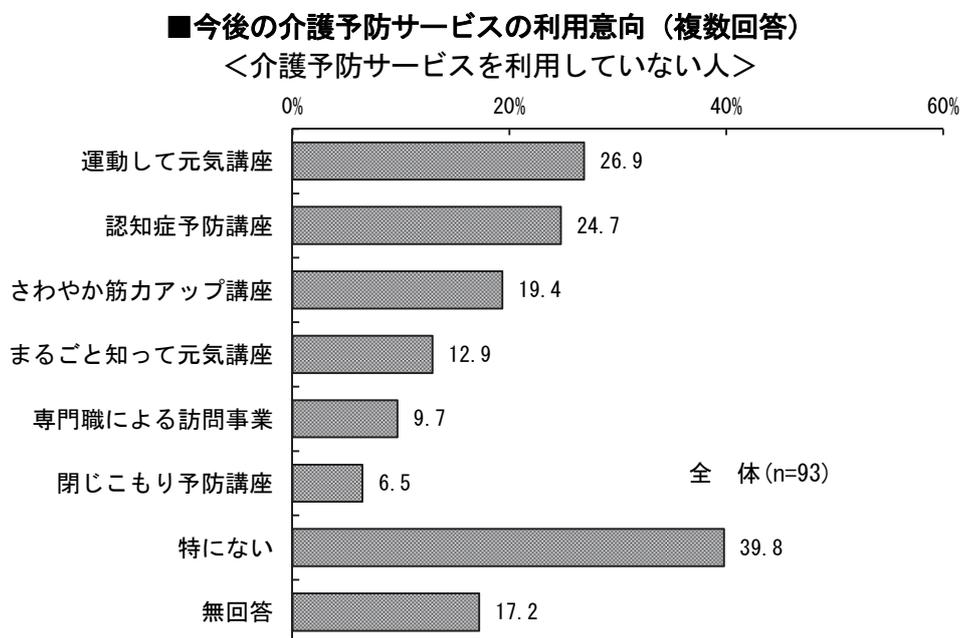
③ 介護予防サービスを利用していない理由（問27-2）

介護予防サービスを利用していない理由について自由記述形式でうかがった。主な意見は以下のとおりである。

- ・遠いから、はなバスの回数が少ないため。
- ・現在はサービスを必要としていない。
- ・会場に行くのが苦痛で、座って講座を受けることが苦痛だから。
- ・いつ・どんな場所で行われているのか、わからない。
- ・運動はあまり好きでない。
- ・自分に適するものがない。
- ・民間のスポーツジムを利用している。

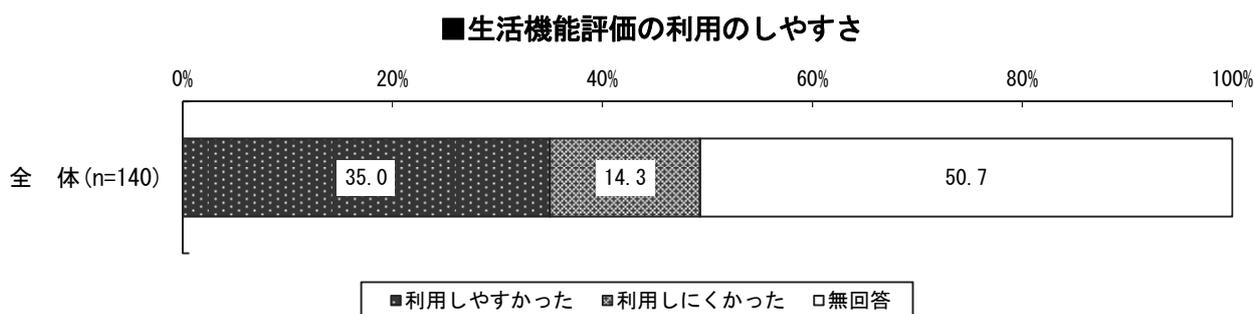
④ 今後の介護予防サービスの利用意向（問27-3）

介護予防サービスを「どれも利用していない」と回答した人に、今後の利用意向をたずねたところ、「運動して元気講座」が最も多く 26.9%、「認知症予防講座」（24.7%）、「さわやか筋力アップ講座」（19.4%）が続いている。



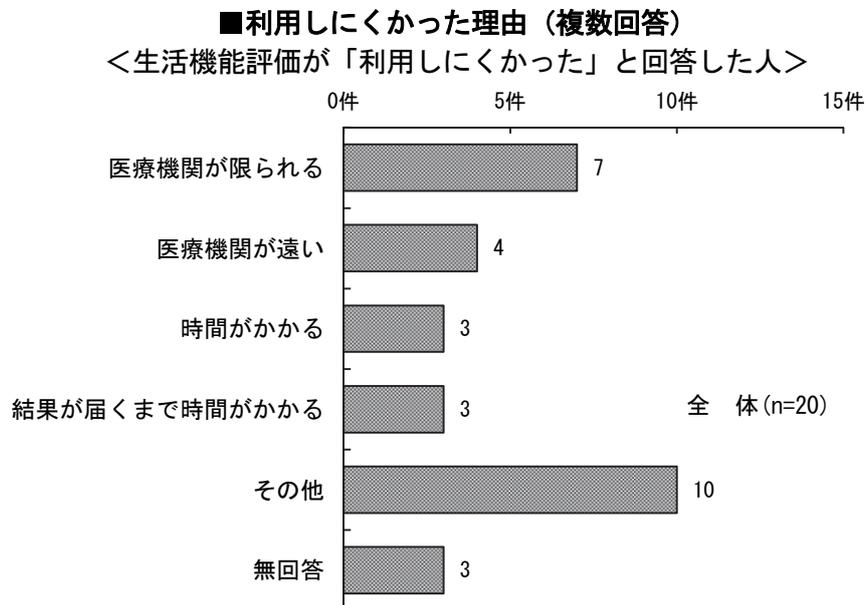
⑤ 生活機能評価の利用のしやすさ（問28）

生活機能評価の利用のしやすさは、「利用しやすかった」が 35.0%、「利用しにくかった」が 14.3% となっている。



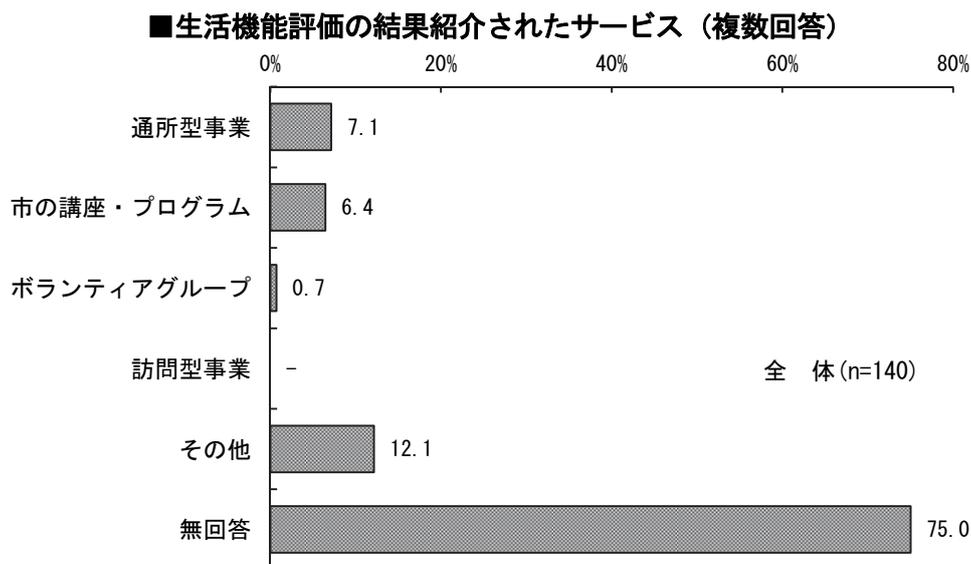
⑥ 利用しにくかった理由（問28-1）

生活機能評価が「利用しにくかった」と回答した20人に、その理由をたずねたところ、「医療機関が限られる」が最も多く7件、「医療機関が遠い」（4件）、「時間がかかる」「結果が届くまで時間がかかる」（ともに3件）が続いている。



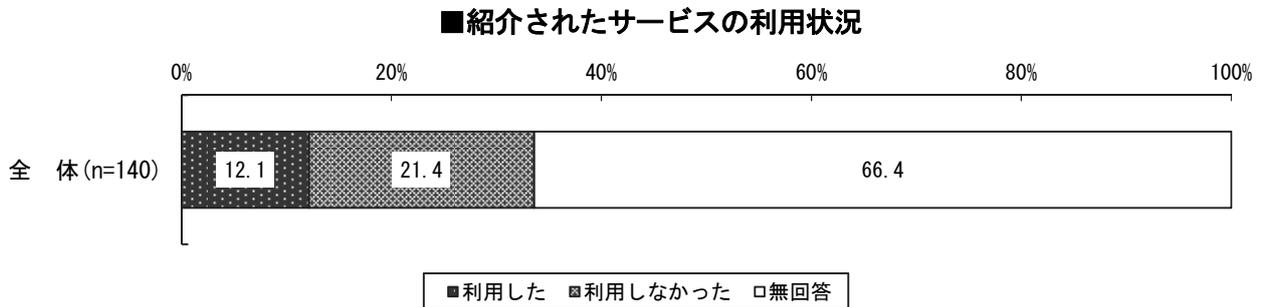
⑦ 生活機能評価の結果紹介されたサービス（問29）

生活機能評価の結果紹介されたサービスは、「通所型事業（運動して元気講座・まるごと知って元気講座）」が最も多く7.1%、「市の講座・プログラム（いきいき介護予防講座）」（6.4%）、「ボランティアグループ」（0.7%）が続いている。



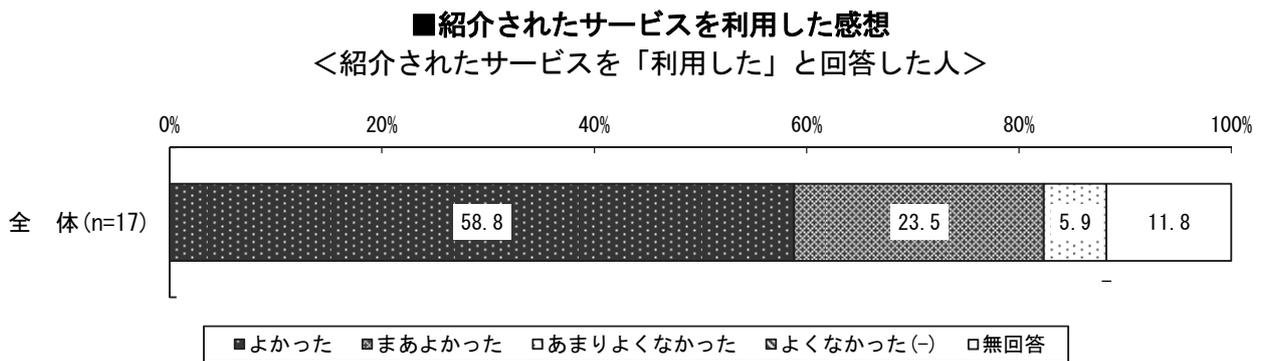
⑧ 紹介されたサービスの利用状況（問30）

紹介されたサービスの利用についてたずねたところ、「利用した」が12.1%、「利用しなかった」が21.4%となっている。



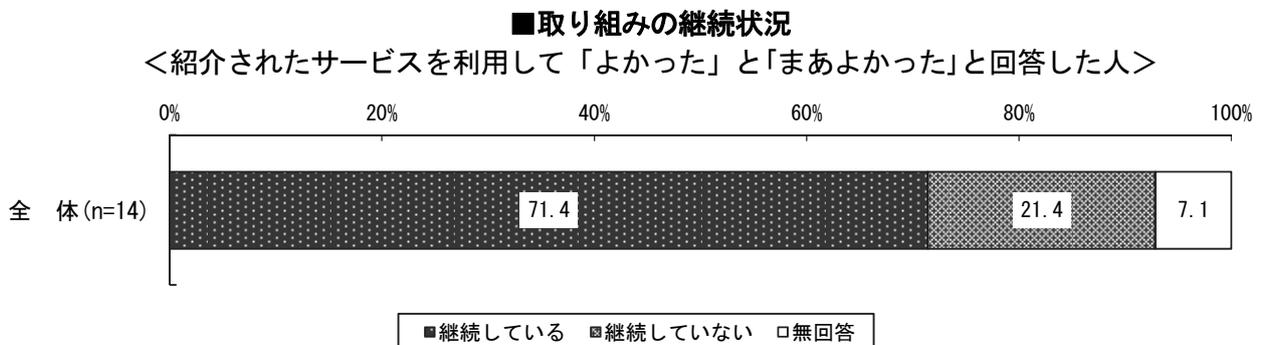
⑨ 紹介されたサービスを利用した感想（問30-1）

紹介されたサービスを「利用した」と回答した17人の評価は、「よかった」（10人（58.8%））と「まあよかった」（4人（23.5%））を合計すると14人（82.3%）となっている。



⑩ 取り組みの継続状況（問30-2）

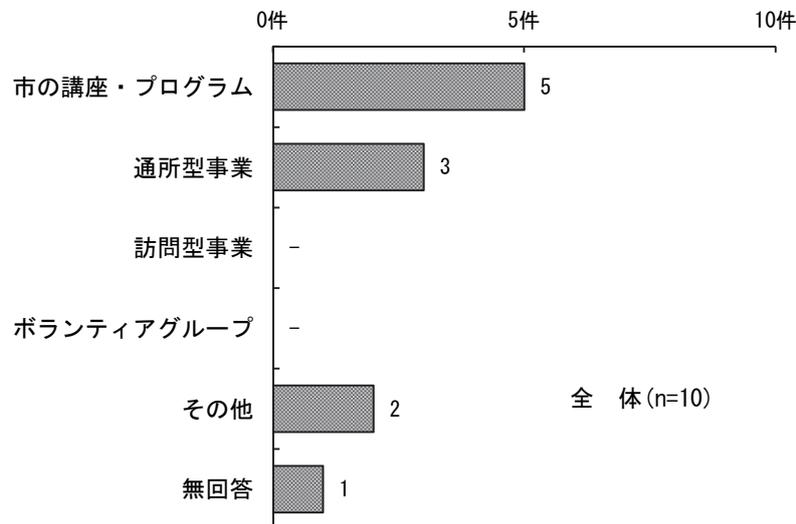
紹介されたサービスを利用して「よかった」と「まあよかった」と回答した14人に、継続状況をたずねたところ、「継続している」が10人（71.4%）となっている。



⑪ 継続している取り組み（問30-2-1）

紹介されたサービスを利用して「継続している」と回答した10人の継続している取り組みは、「市の講座・プログラム（いきいき介護予防講座）」（5件）と「通所型事業（運動して元気講座・まるごと知って元気講座）」（3件）である。

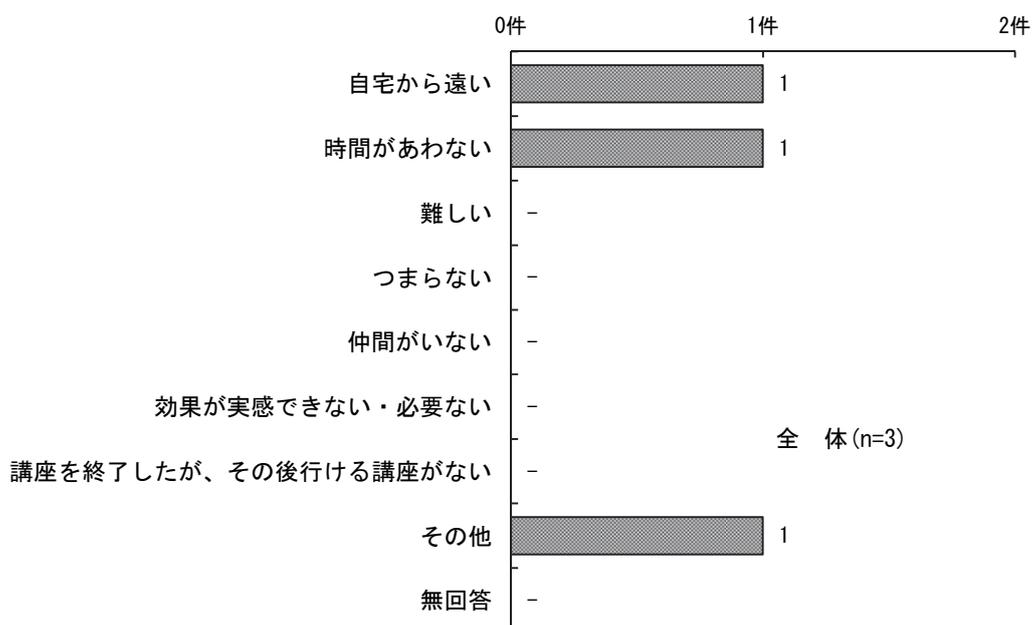
■生活機能評価の結果紹介されたサービス（複数回答）
 <紹介されたサービスを利用して「継続している」と回答した人>



⑫ 継続していない理由（問30-2-2）

紹介されたサービスを利用して「継続していない」と回答した3人の継続していない理由は、「自宅から遠い」「時間があわない」「その他」が挙げられている。

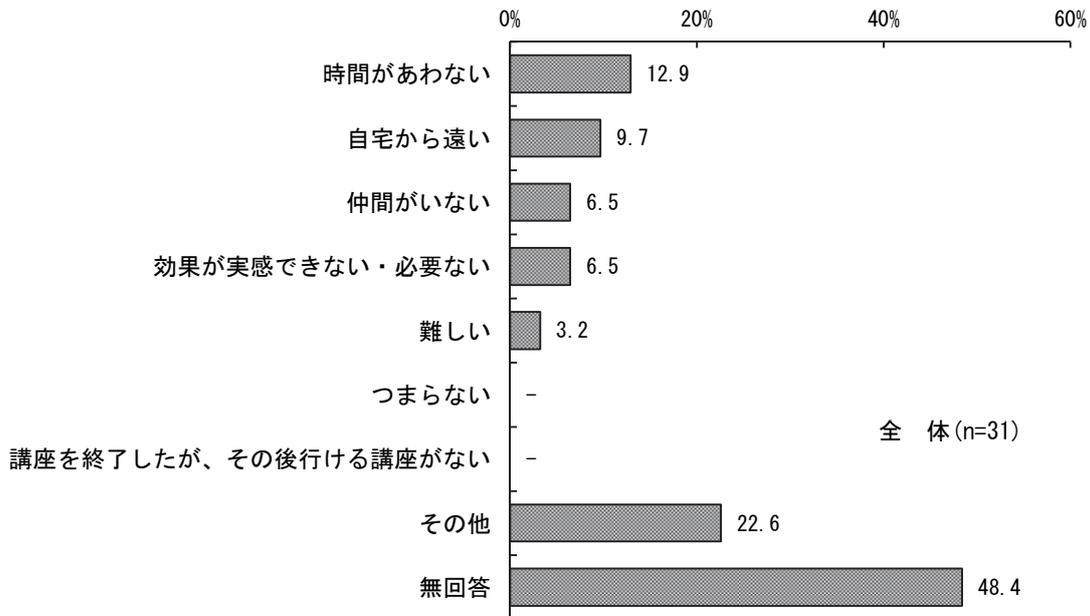
■継続していない理由（複数回答）
 <紹介されたサービスを利用して「継続していない」と回答した人>



⑬ 紹介されたサービスを利用しなかった、利用してよくなかった理由（問30-3）

紹介されたサービスを、「利用しなかった」（問30）、「利用してよくなかった」「利用してあまりよくなかった」（問30付問1）と回答した人に理由をたずねたところ、「時間があわない」が最も多く12.9%、「自宅から遠い」（9.7%）、「仲間がいない」（6.5%）、「効果が実感できない・必要ない」（6.5%）が続いている。

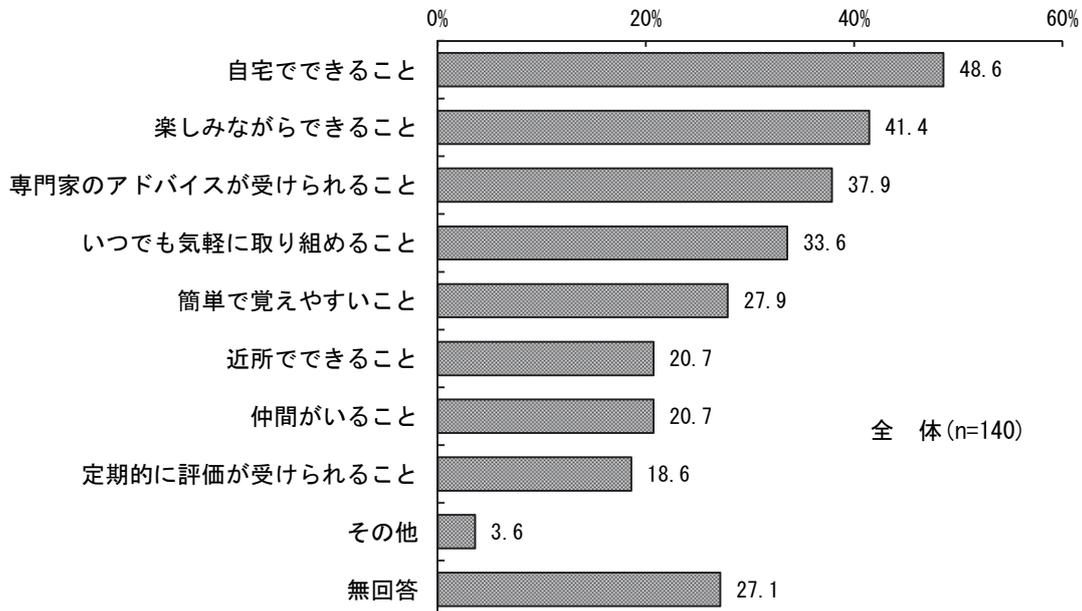
■紹介されたサービスを利用しなかった、利用してよくなかった理由（複数回答）
 <紹介されたサービスを「利用しなかった」、「利用してよくなかった」と回答した人>



⑭ 介護予防に求めること（問31）

介護予防に求めることは、「自宅でできること」が最も多く48.6%、「楽しみながらできること」（41.4%）、「専門家のアドバイスが受けられること」（37.9%）が続いている。

■介護予防に求めること（複数回答）



性別にみると、男性では「自宅でできること」「いつでも気軽に取組めること」の割合が女性より高く、女性では「楽しみながらできること」「専門家のアドバイスが受けられること」の割合が男性を上回っている。

■介護予防に求めること（性・年代別：複数回答）

（%）

		自宅でできること	楽しみながらできること	専門家のアドバイスが受けられること	いつでも気軽に取組めること	簡単に覚えやすいこと	近所でできること	仲間がいること	定期的に評価が受けられること	その他	無回答
男性	男性 計 (n=61)	57.4	34.4	36.1	39.3	23.0	19.7	18.0	16.4	4.9	23.0
	65～74歳 (n=20)	60.0	45.0	30.0	35.0	35.0	25.0	20.0	15.0	5.0	20.0
	75～84歳 (n=29)	62.1	27.6	37.9	41.4	13.8	13.8	17.2	17.2	3.4	20.7
	85歳以上 (n=12)	41.7	33.3	41.7	41.7	25.0	25.0	16.7	16.7	8.3	33.3
	無回答 (n= -)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性	女性 計 (n=77)	41.6	46.8	40.3	29.9	32.5	22.1	22.1	19.5	2.6	29.9
	65～74歳 (n=19)	42.1	78.9	52.6	52.6	36.8	42.1	31.6	26.3	-	10.5
	75～84歳 (n=35)	40.0	40.0	45.7	31.4	37.1	20.0	17.1	25.7	2.9	34.3
	85歳以上 (n=23)	43.5	30.4	21.7	8.7	21.7	8.7	21.7	4.3	4.3	39.1
	無回答 (n= -)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

■介護予防に求めること（同居家族別：複数回答）

（%）

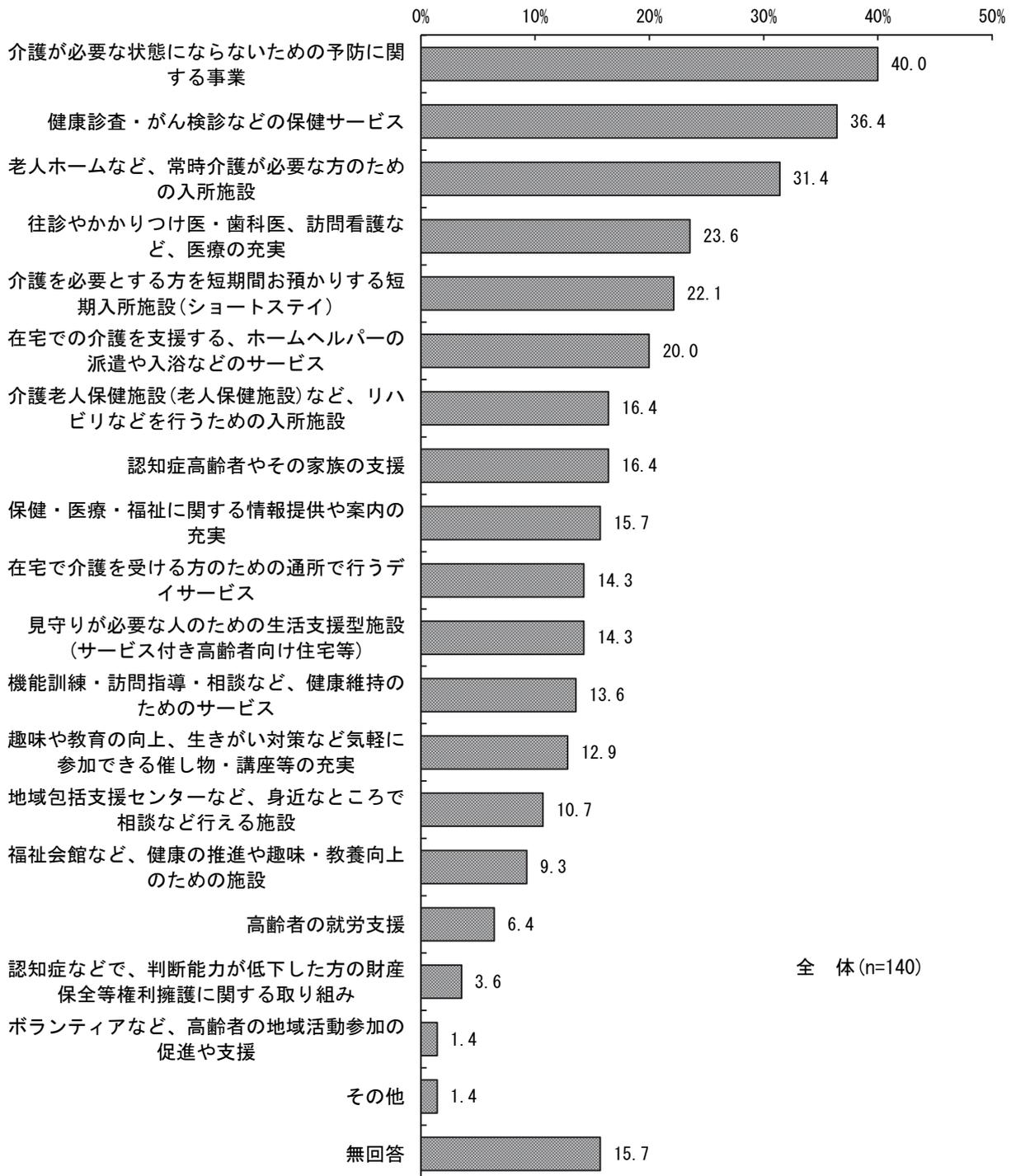
		自宅でできること	楽しみながらできること	専門家のアドバイスが受けられること	いつでも気軽に取組めること	簡単に覚えやすいこと	近所でできること	仲間がいること	定期的に評価が受けられること	その他	無回答
全 体 (n=140)		48.6	41.4	37.9	33.6	27.9	20.7	20.7	18.6	3.6	27.1
ひとり暮らし (n=30)		50.0	43.3	40.0	26.7	30.0	16.7	23.3	26.7	3.3	26.7
夫婦ふたり暮らし (n=58)		46.6	34.5	44.8	39.7	27.6	20.7	15.5	15.5	1.7	27.6
同居世帯 (n=36)		50.0	38.9	19.4	19.4	19.4	22.2	22.2	5.6	8.3	27.8
その他の世帯 (n=11)		54.5	90.9	54.5	63.6	45.5	36.4	27.3	45.5	-	9.1

(6) 市の介護保険・保健福祉サービス

① 市が取り組むべき介護保険・保健福祉サービス（問32）

市が取り組むべき介護保険・保健福祉サービスは、「介護が必要な状態にならないための予防に関する事業」が最も多く40.0%、「健康診査・がん検診などの保健サービス」(36.4%)、「老人ホームなど、常時介護が必要な方のための入所施設」(31.4%)が続いている。

■市が取り組むべき介護保険・保健福祉サービス（複数回答（5つまで））



平成 22 年度調査と比較すると、「健康診査・がん検診などの保健サービス」が 9.2 ポイント高くなり、「介護を必要とする方を短期間お預かりする短期入所施設(ショートステイ)」は 12.1 ポイント低くなっている。

■市が取り組むべき介護保険・保健福祉サービス（複数回答（5つまで））【前回比較】

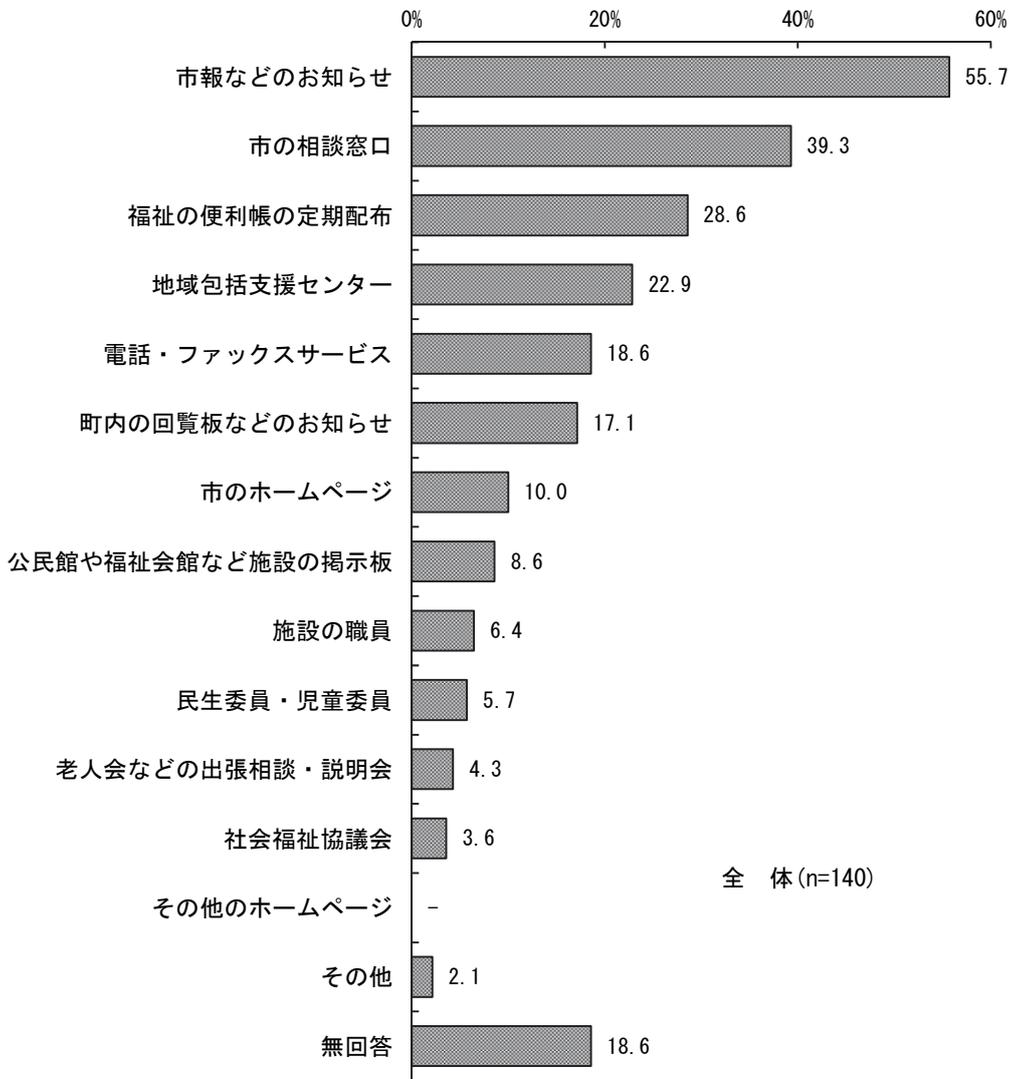
(%)

	介護が 必要な 状態に ならない ための 事業	健康 診査・ がん 検診な どの の	老人 ホーム などの 、常時 介護 施設	が 必要 な 方 の た め の 入 所 施 設	老人 ホーム など、 、常時 介護 施設	充 実 、訪 問 看 護 な ど、 医 療 の 科	往 診 や か かり つけ 医 ・ 歯 科	設 （シ ョ ー ト ス テ イ ）	間 お 預 か り す る 短 期 入 所 施 設	介 護 を 必 要 と す る 方 を 短 期 入 所 施 設	浴 な ど の サ ー ビ ス の 派 遣 や 入 入	在 宅 で の 介 護 を 支 援 す る、 入 入	ど を 行 う た め の 入 所 施 設	健 施 （老 人 保 健 施 設） な ど、 リ ハ ビ リ な 施 設	支 援 認 知 症 高 齢 者 や そ の 家 族 の	情 報 提 供 や 案 内 の 充 実	保 健 ・ 医 療 ・ 福 祉 に 関 す る	ス め の 在 宅 で 介 護 を 受 け る 方 の サ ー ビ ス	
平成25年度調査 (n=140)	40.0	36.4	31.4	23.6	22.1	20.0	16.4	16.4	15.7	14.3									
平成22年度調査 (n=158)	36.1	27.2	36.1	27.8	34.2	27.8	21.5	20.9	14.6	20.9									
	付 き 高 齢 者 向 け 住 宅 等 ）	見 守 り が 必 要 な 人 の た め の サ ー ビ ス	生 活 支 援 型 施 設 （サ ー ビ ス	サ ー ビ ス 、 健 康 維 持 の た め の 相 談	機 能 訓 練 ・ 訪 問 指 導 ・ 相 談	催 し 物 ・ 講 座 等 の 充 実	趣 味 や 教 育 の 向 上、 生 き が い る 策 な ど、 気 軽 に 参 加 で き る	ど ど と 行 え る 施 設	地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー な ど、 身 近 な と こ ろ で 相 談 な い	施 設 や 福 祉 会 館 な ど、 健 康 の 推 進	高 齢 者 の 就 労 支 援	利 便 な 施 設 な ど、 財 産 保 全 等 の 支 援	認 知 症 な ど、 判 断 能 力 が 低 下 し た 方 の 支 援	ポ ラ ン テ ィ ア な ど、 高 齢 者 の 支 援	そ の 他	無 回 答			
平成25年度調査 (n=140)	14.3	13.6	12.9	10.7	9.3	6.4	3.6	1.4	1.4	15.7									
平成22年度調査 (n=158)	12.7	10.1	14.6	17.1	12.0	5.7	8.2	2.5	3.8	12.7									

② 福祉に関する情報の希望する入手方法（問33）

福祉に関する情報の希望する入手方法は、「市報などのお知らせ」が最も多く 55.7%、「市の相談窓口」（39.3%）、「福祉の便利帳の定期配布」（28.6%）が続いている。

■福祉に関する情報の希望する入手方法（複数回答）



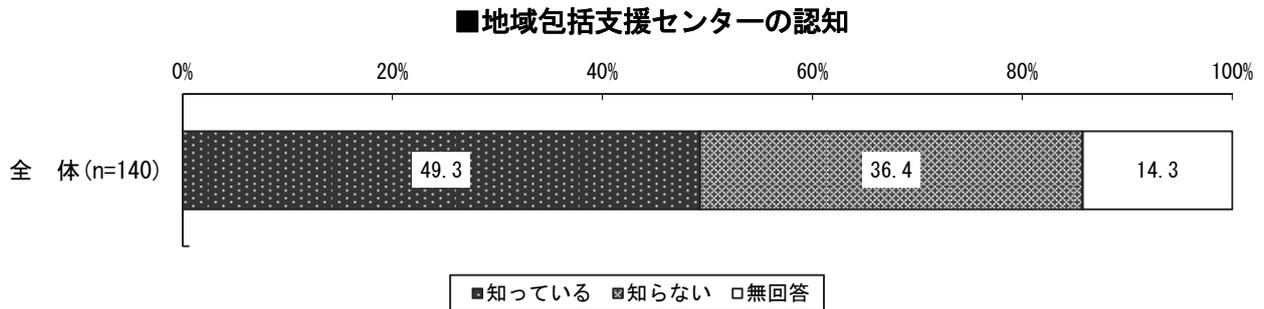
平成22年度調査と比較すると、「福祉の便利帳の定期配布」が13.2ポイント低下している。

■福祉に関する情報の希望する入手方法（複数回答）【前回比較】

	市報などのお知らせ	市の相談窓口	福祉の便利帳の定期配布	地域包括支援センター	電話・ファックスサービス	町内の回覧板などのお知らせ	市のホームページ	公民館や福祉会館など施設の掲示板	施設の職員	民生委員・児童委員	老人会などの出張相談・説明会	社会福祉協議会	その他のホームページ	その他	無回答
平成25年度調査 (n=140)	55.7	39.3	28.6	22.9	18.6	17.1	10.0	8.6	6.4	5.7	4.3	3.6	-	2.1	18.6
平成22年度調査 (n=158)	58.9	40.5	41.8	31.0	14.6	16.5	12.7	11.4	6.3	12.7	6.3	8.2	0.6	1.3	13.3

③ 地域包括支援センターの認知（問34）

地域包括支援センターの認知は、「知っている」が49.3%、「知らない」が36.4%となっている。



性別にみると、「知っている」は、『女性』（61.0%）が『男性』（32.8%）を上回っている。

■地域包括支援センターの認知（性・年代別）

(%)

		知っている	知らない	無回答
男性	男性 計 (n=61)	32.8	52.5	14.8
	65～74歳 (n=20)	15.0	80.0	5.0
	75～84歳 (n=29)	41.4	41.4	17.2
	85歳以上 (n=12)	41.7	33.3	25.0
	無回答 (n=-)	-	-	-
女性	女性 計 (n=77)	61.0	24.7	14.3
	65～74歳 (n=19)	63.2	31.6	5.3
	75～84歳 (n=35)	68.6	17.1	14.3
	85歳以上 (n=23)	47.8	30.4	21.7
	無回答 (n=-)	-	-	-

平成22年度調査と比較すると、「知っている」は、3.7ポイント高くなっている。

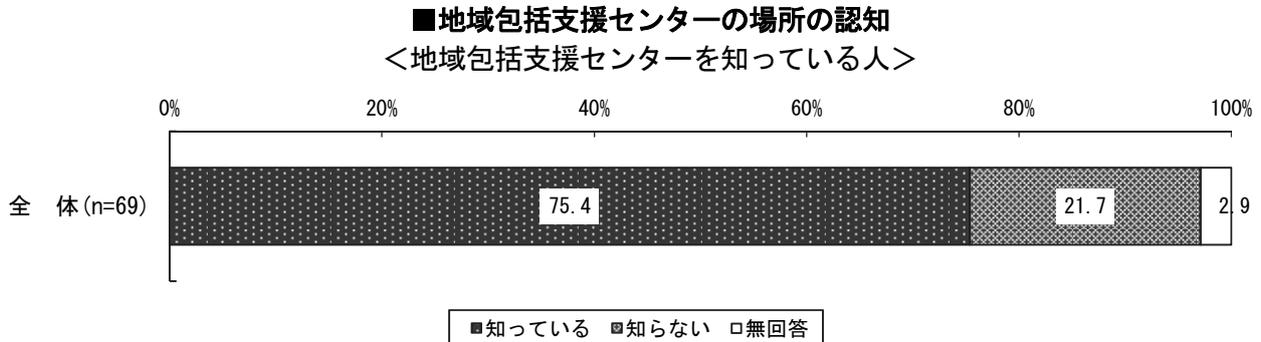
■地域包括支援センターの認知【前回比較】

(%)

	知っている	知らない	無回答
平成25年度調査 (n=140)	49.3	36.4	14.3
平成22年度調査 (n=158)	45.6	38.0	16.5

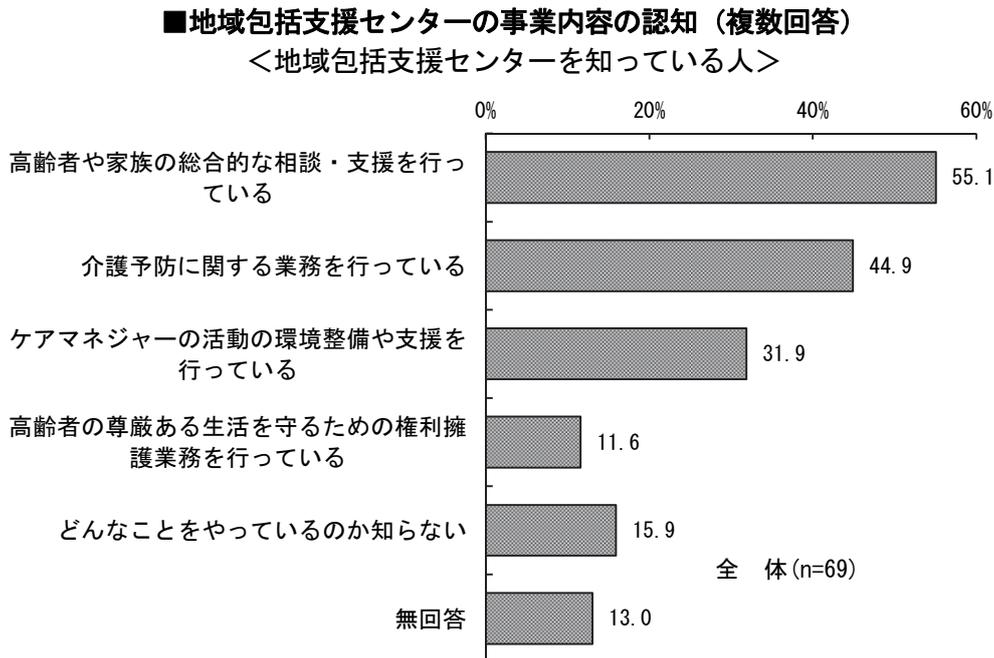
④ 地域包括支援センターの場所の認知（問34-1）

地域包括支援センターを知っている人に、住んでいる地区を担当している地域包括支援センターの場所を知っているかたずねたところ、「知っている」が75.4%、「知らない」が21.7%となっている。



⑤ 地域包括支援センターの事業内容の認知（問34-2）

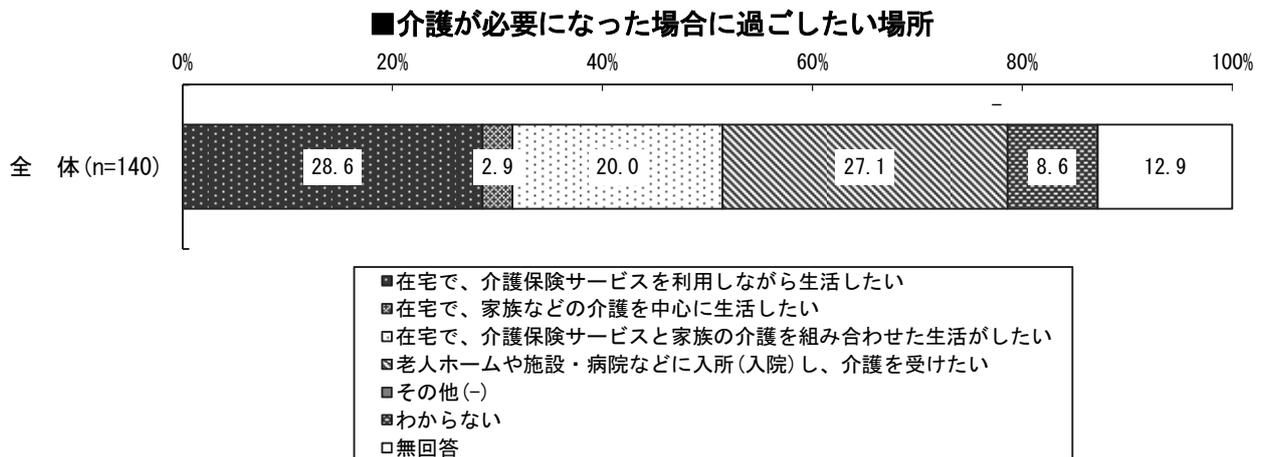
地域包括支援センターを知っている人の地域包括支援センターの知っている事業内容は、「高齢者や家族の総合的な相談・支援を行っている」が最も多く55.1%、「介護予防に関する業務を行っている」(44.9%)、「ケアマネジャーの活動の環境整備や支援を行っている」(31.9%)が続いている。



(7) 介護保険制度

① 介護が必要になった場合に過ごしたい場所（問35）

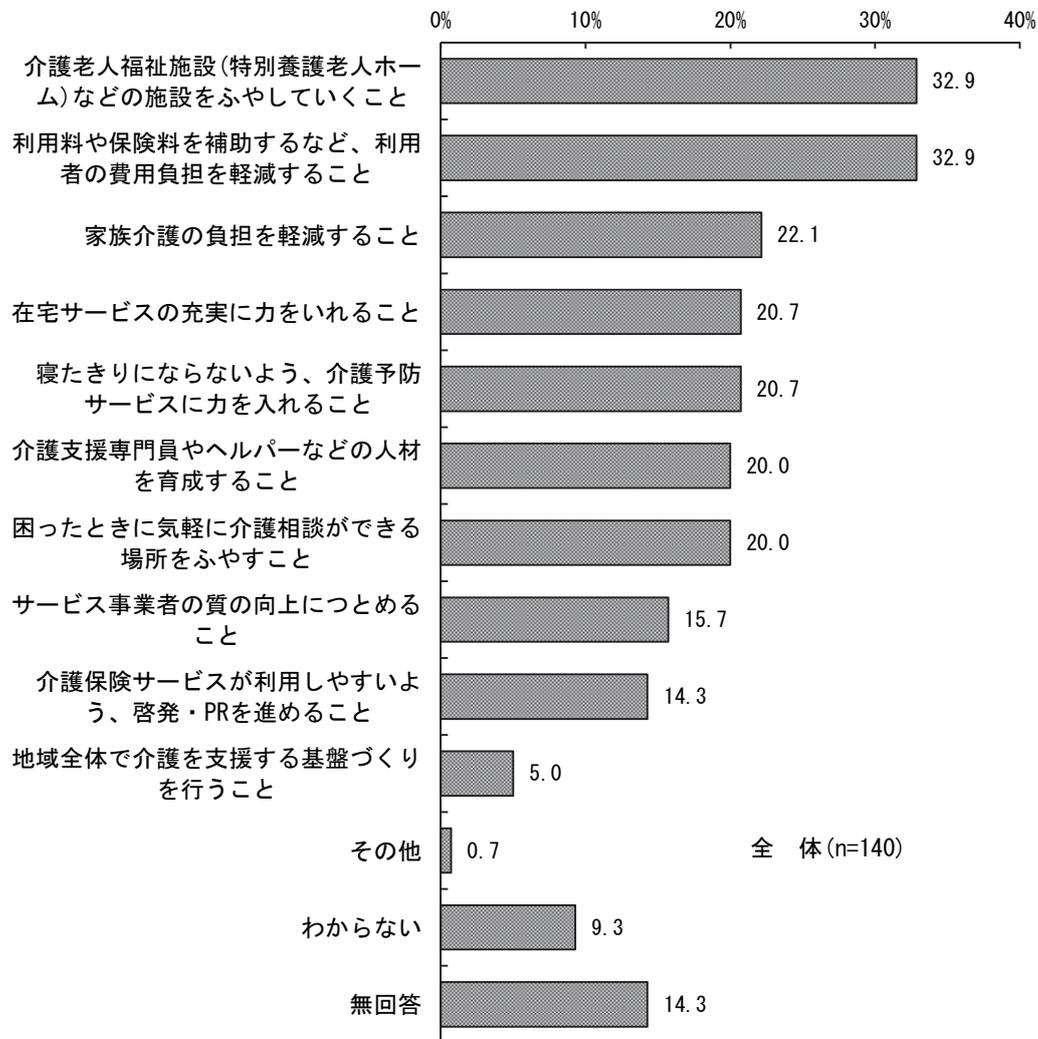
介護が必要になった場合に過ごしたい場所は、「在宅で、介護保険サービスを利用しながら生活したい」が28.6%、「在宅で、介護保険サービスと家族の介護を組み合わせた生活がしたい」が20.0%、「老人ホームや施設・病院などに入所（入院）し、介護を受けたい」が27.1%、「在宅で、家族などの介護を中心に生活したい」が2.9%となっている。



② 介護保険制度をよりよくするために市が力を入れるべきこと（問36）

介護保険制度をよりよくするために市が力を入れるべきことは、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）などの施設をふやしていくこと」「利用料や保険料を補助するなど、利用者の費用負担を軽減すること」がともに最も多く32.9%、「家族介護の負担を軽減すること」（22.1%）が続いている。

■介護保険制度をよりよくするために市が力を入れるべきこと（複数回答（3つまで））



平成 22 年度調査と比較すると、「介護保険サービスが利用しやすいよう、啓発・PR を進めること」が 9.9 ポイント高くなり、「サービス事業者の質の向上につとめること」「困ったときに気軽に介護相談ができる場所をふやすこと」がそれぞれ 12.1 ポイント、9.7 ポイント低くなっている。

■介護保険制度をよりよくするために市が力を入れるべきこと（複数回答（3つまで））【前回比較】

(%)

	を ふ や し し て い く こ と	介 護 老 人 ホ ー ム な ど の 施 設	介 護 老 人 福 祉 施 設 （ 特 別 養 護 施 設 ）	軽 減 す る こ と	な ど の 利 用 者 の 費 用 負 担 を 補 助 す る こ と	利 用 料 や 保 険 料 を 補 助 す る こ と	家 族 介 護 の 負 担 を 軽 減 す る こ と	在 宅 サ ー ビ ス の 充 実 に 力 を い れ る こ と	介 護 予 防 サ ー ビ ス に 力 を い れ る こ と	寝 た き り に な ら な い よ う 、 介 護 予 防 サ ー ビ ス に 力 を い れ る こ と	介 護 支 援 専 門 員 や ヘル パー な ど の 人 材 を 育 成 す る こ と	困 っ た と き に 気 軽 に 介 護 相 談 が で き る 場 所 を ふ や す こ と	サ ー ビ ス 事 業 者 の 質 の 向 上 に つ と め る こ と	介 護 保 険 サ ー ビ ス が 利 用 し や す い よ う 、 啓 発 ・ P R を し よ う に 進 め る こ と	基 盤 づ く り を 行 う こ と	地 域 全 体 で 介 護 を 支 援 す る こ と	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
平成25年度調査 (n=140)	32.9	32.9	22.1	20.7	20.7	20.0	20.0	15.7	14.3	5.0	0.7	9.3	14.3						
平成22年度調査 (n=158)	34.2	35.4	29.1	27.8	26.6	25.3	29.7	27.8	4.4	4.4	1.3	3.2	10.8						

(8) 高齢者保健福祉サービス、介護保険制度への意見・要望（問37）

高齢者保健福祉サービス、介護保険制度について、自由記述形式でうかがい、内容ごとに分類・整理を行った。主な意見は以下のとおりである。

(健康づくりの推進)

- ・できるだけ自立した生活を願い、今後も健康に注意して生きたい。
- ・スポーツ、カルチャーなど指導を受けながら年齢に合った運動を教えて下さるので嬉しく、今後もこの教室があれば是非参加したい。

(介護保険サービスの充実)

- ・サービスの質・量を充実、向上させ、周知を徹底し、自由に参加できるようにしてほしい。
- ・安心して希望する老人が全員介護老人福祉施設に入所できたら、とても嬉しく思う。

(生活支援サービスの充実)

- ・現在は自分のことは自分ででき、外出も自由にできるが、ひとり暮らしなので、急に具合が悪くなった時に、市役所か近くの施設にボタン一つで連絡できる方法があるとよい。

(特養の整備)

- ・今後高齢者が増加するので特別養護老人ホームを増やしてほしい。

(介護保険制度の適切な運営)

- ・介護されていないのに高い介護保険料を支払うのは抵抗感がある。
- ・介護保険のお世話になったことがないが、年々保険料が高くなるのには驚く。

(在宅療養体制の充実)

- ・自宅での介護ができるようにしてもらいたい。

(情報発信の充実)

- ・介護保険制度がどこまでしていただけるのかよくわからない。
- ・情報がかかめていないのでTel、FAX等でおさそいいただければ嬉しい。

(相談体制の充実)

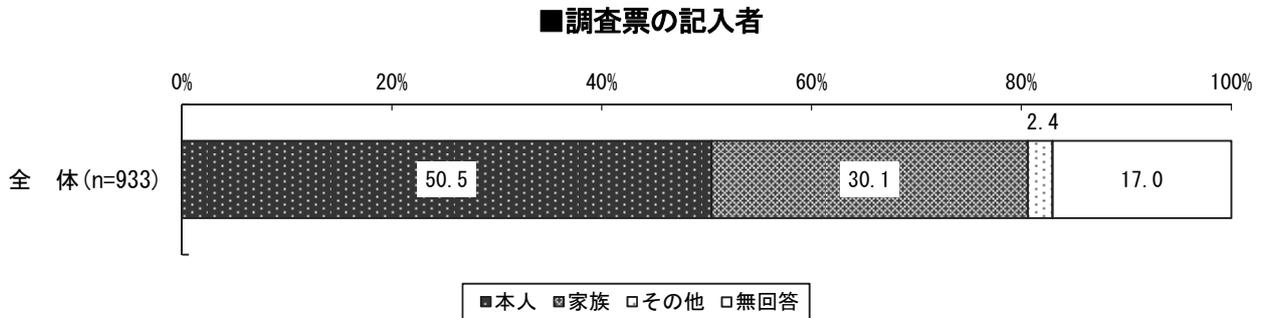
- ・困ったことがあった時、気軽にどんなことでも相談できる場所をもっと多くしてほしい。

4. 介護保険居宅サービス利用者調査

(1) 基本属性

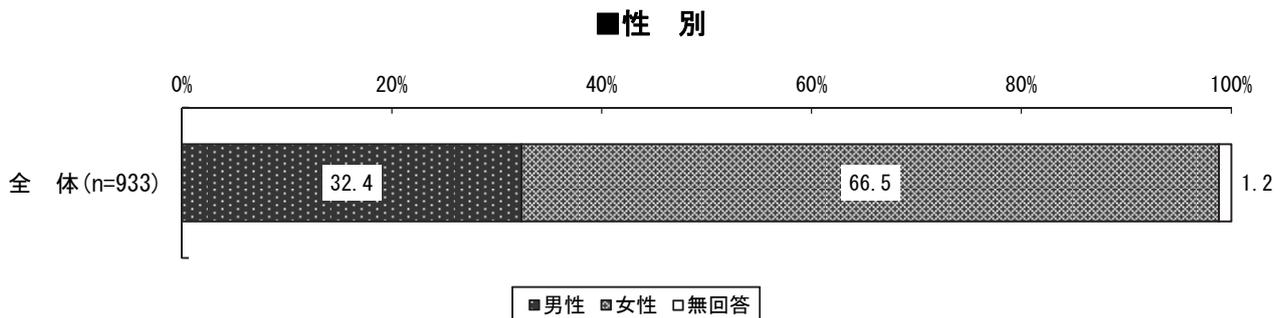
① 調査票の記入者（問1）

調査票の記入者は、「本人」が50.5%、「家族」が30.1%、「その他」が2.4%である。



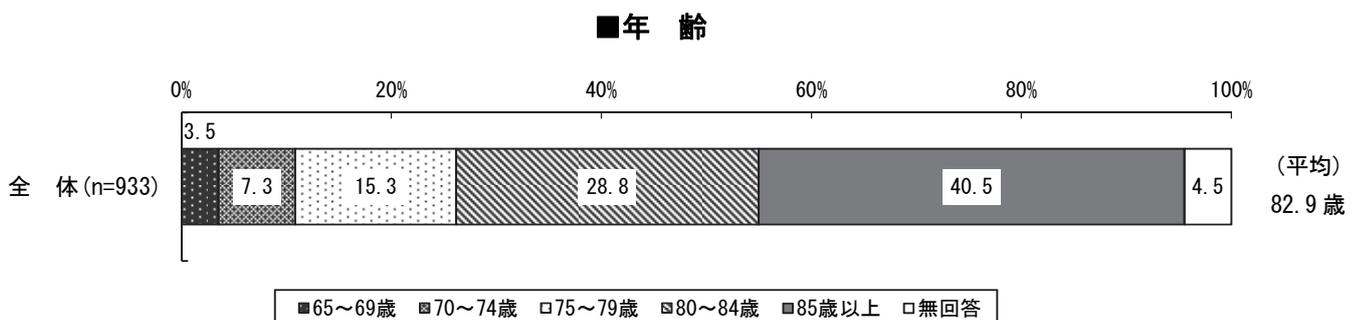
② 性別（問2）

性別は、「男性」が32.4%、「女性」が66.5%となっている。



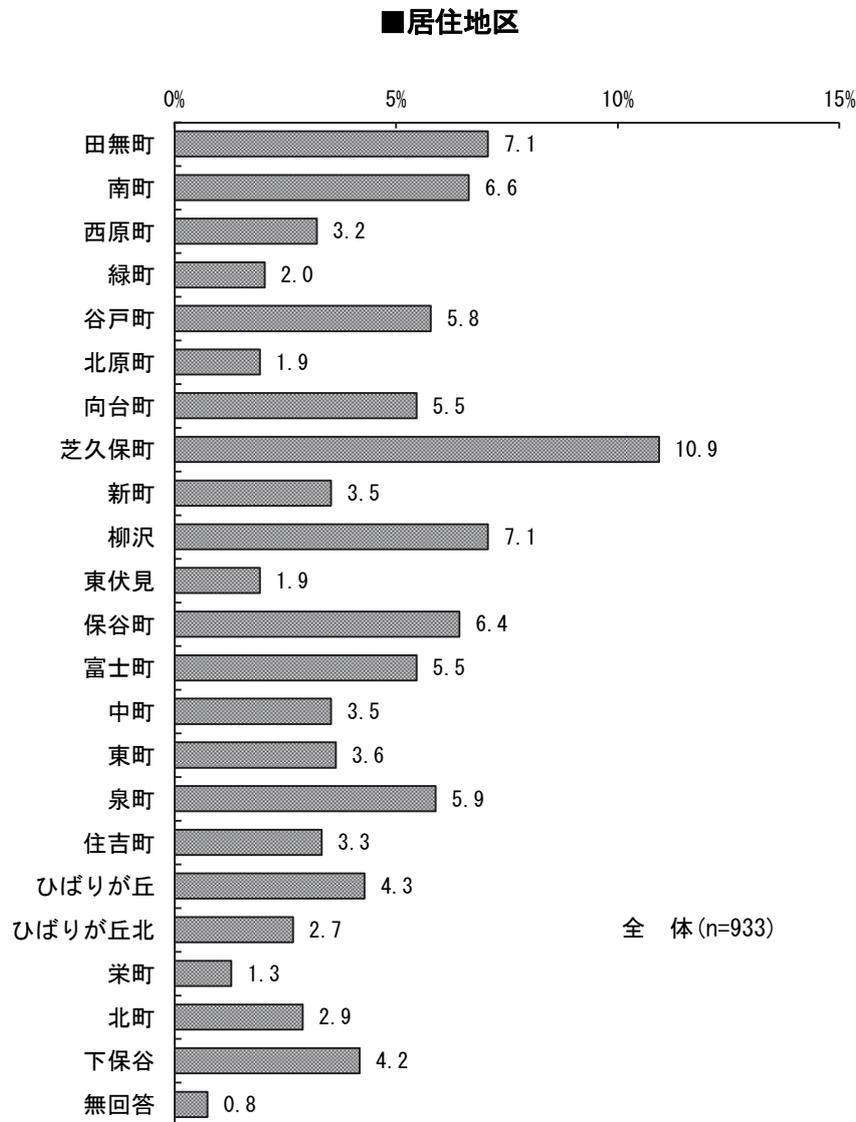
③ 年齢（問3）

年齢は、「85歳以上」が最も多く40.5%、次いで「80～84歳」（28.8%）、「75～79歳」（15.3%）、「70～74歳」（7.3%）が続いている。また、前期高齢者は10.8%、後期高齢者は84.6%である。



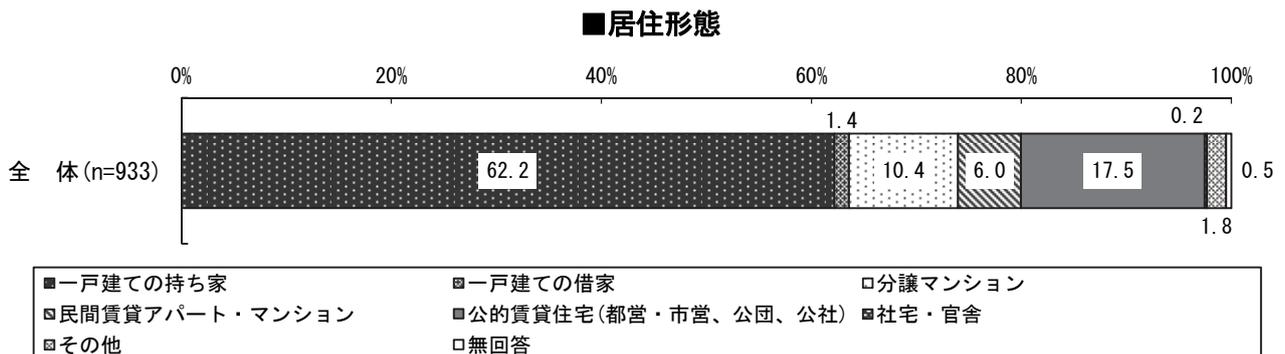
④ 居住地区（問4）

居住地区は、「芝久保町」（10.9%）が最も多く、「田無町」「柳沢」（ともに7.1%）が続いている。



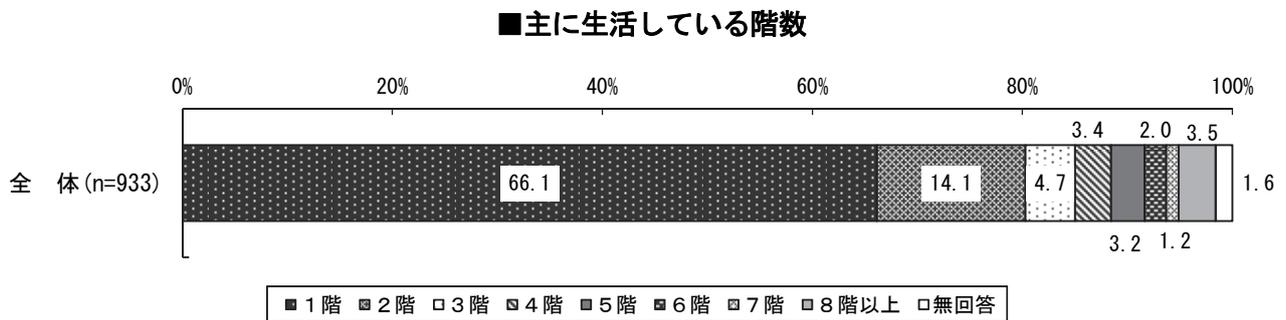
⑤ 居住形態（問5）

居住形態は、「一戸建ての持ち家」が最も多く62.2%、次いで「公的賃貸住宅」（17.5%）、「分譲マンション」（10.4%）が続いている。



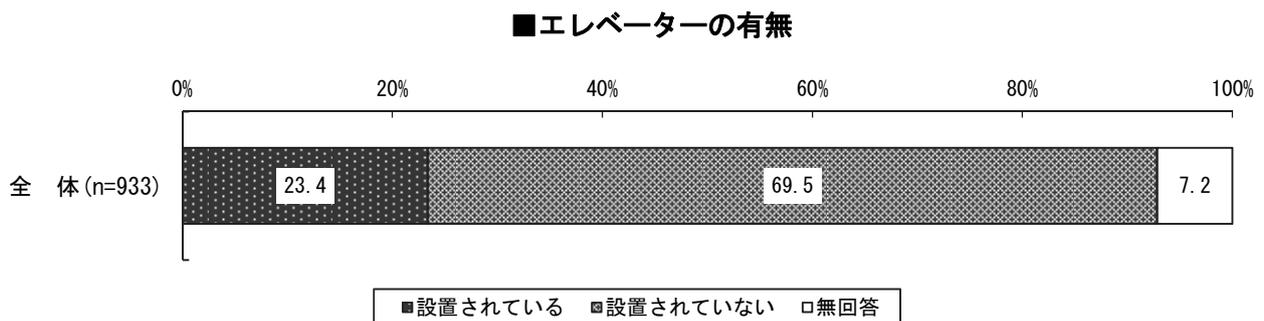
⑥ 主に生活している階数（問6）

主に生活している階数は、「1階」が最も多く66.1%、「2階」(14.1%)、「3階」(4.7%)が続いている。



⑦ エレベーターの有無（問7）

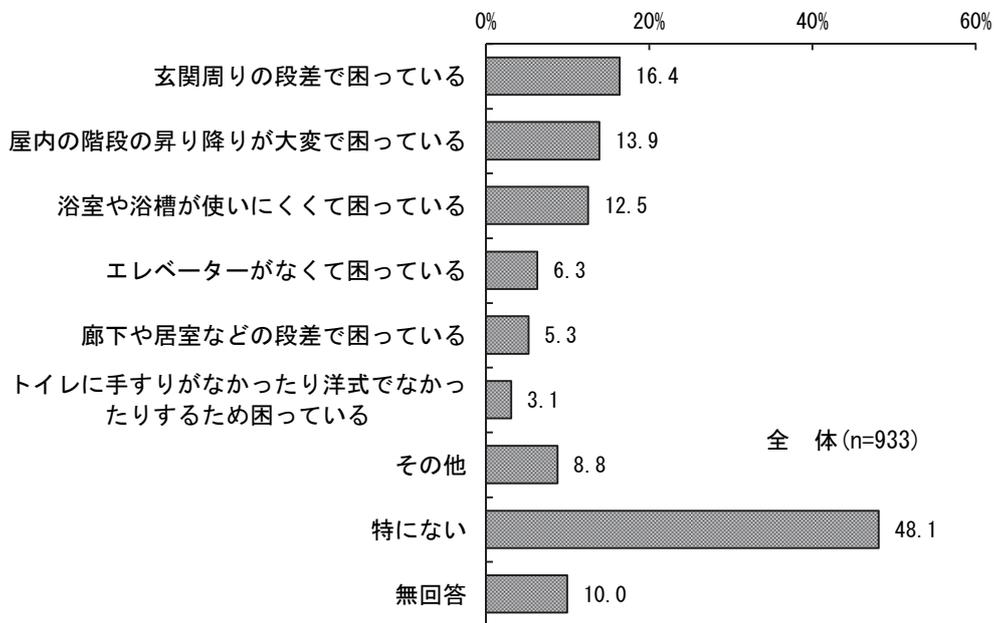
エレベーターの有無は、「設置されている」が23.4%、「設置されていない」が69.5%となっている。



⑧ 住まいで困っていること（問8）

住まいで困っていることは、「玄関周りの段差で困っている」が最も多く 16.4%、「屋内の階段の昇り降りが大変で困っている」（13.9%）、「浴室や浴槽が使いにくくて困っている」（12.5%）が続いている。

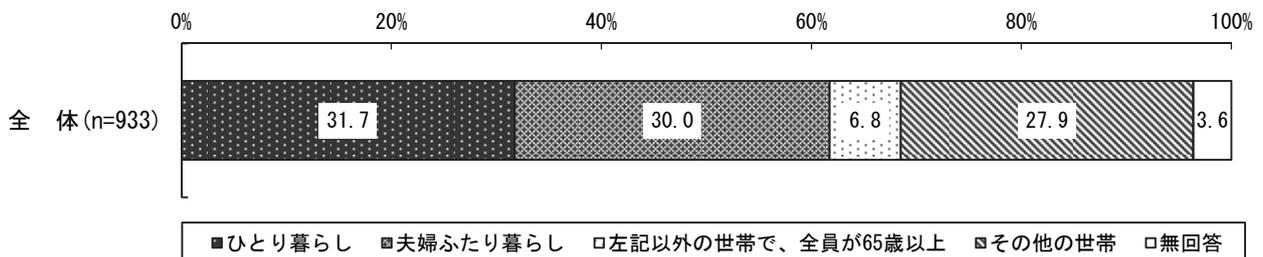
■住まいで困っていること（複数回答）



⑨ 同居家族（問9）

同居家族は、「ひとり暮らし」が 31.7%、「夫婦ふたり暮らし」が 30.0%、「左記以外の世帯で、全員が 65 歳以上」が 6.8%、「その他の世帯」が 27.9%となっている。

■同居家族



平成 22 年度調査と比較すると、「ひとり暮らし」が 7.1 ポイント高くなっている。

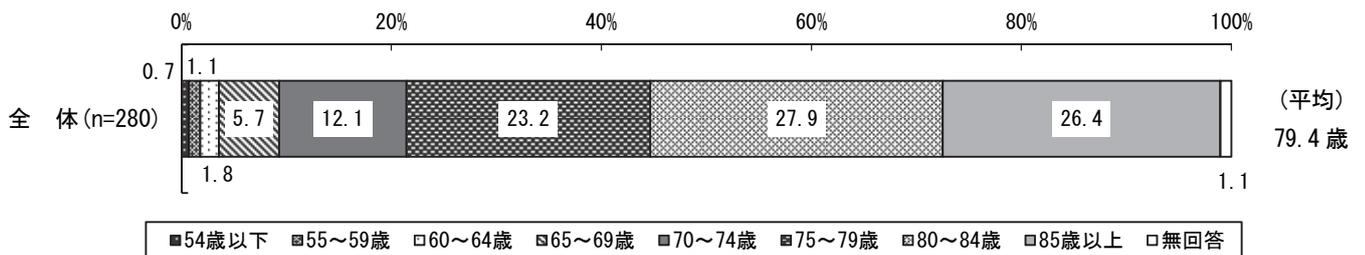
■同居家族【前回比較】

	ひとり暮らし	夫婦ふたり暮らし	全員の65歳以上	その他の世帯	無回答
平成25年度調査 (n=933)	31.7	30.0	6.8	27.9	3.6
平成22年度調査 (n=890)	24.6	29.7	4.9	35.8	4.9

⑩ 夫婦ふたり暮らしの人の配偶者の年齢（問9-1）

夫婦ふたり暮らしの人の配偶者の年齢は、「80～84歳」が 27.9%、「85歳以上」が 26.4%、「75～79歳」が 23.2%となっている。

■夫婦ふたり暮らしの人の配偶者の年齢
＜夫婦ふたり暮らしの人＞



夫婦ふたり暮らしの人の配偶者の年齢を平成 22 年度調査と比較すると、「70～74歳」と「75～79歳」がそれぞれ 6.5 ポイント、7.1 ポイント低くなり、「80～84歳」が 9.0 ポイント高くなっている。平均年齢は、2.2 歳高くなっている。

■夫婦ふたり暮らしの人の配偶者の年齢【前回比較】
＜夫婦ふたり暮らしの人＞

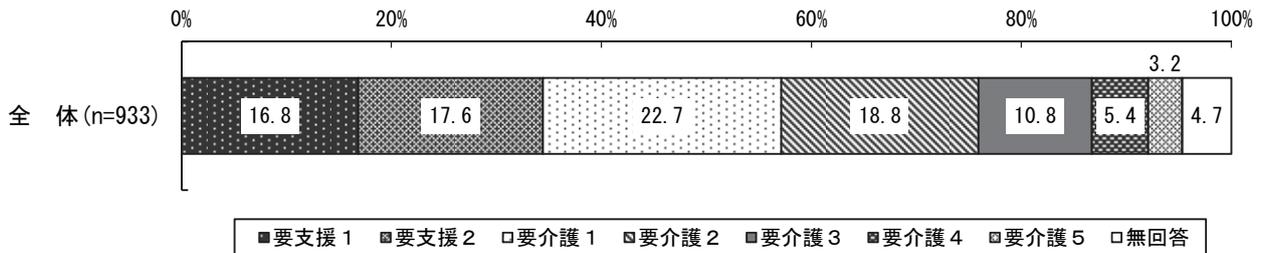
	54歳以下	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	無回答	平均 (歳)
平成25年度調査 (n=280)	0.7	1.1	1.8	5.7	12.1	23.2	27.9	26.4	1.1	79.4
平成22年度調査 (n=264)		6.1		7.6	18.6	30.3	18.9	17.8	0.8	77.2

⑪ 要介護度（問10）

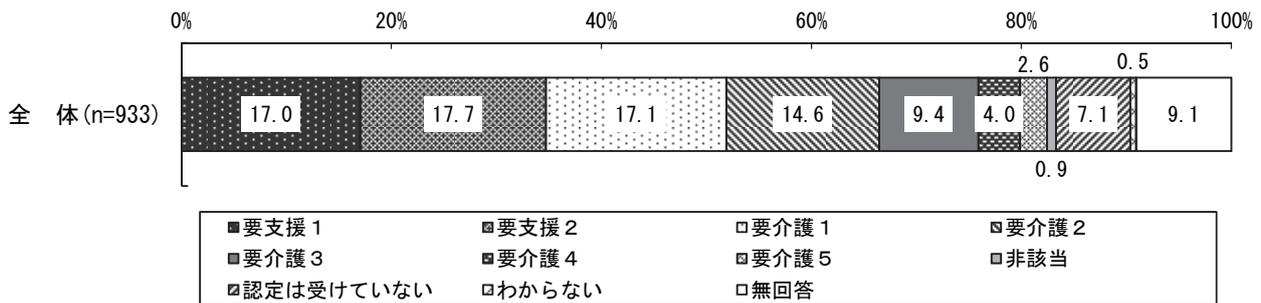
現在の要介護度は、「要介護1」が22.7%と最も多く、「要介護2」（18.8%）、「要支援2」（17.6%）、「要支援1」（16.8%）、「要介護3」（10.8%）、「要介護4」（5.4%）、「要介護5」（3.2%）と続いている。

1年前の要介護度は、「要支援2」が17.7%と最も多く、「要介護1」（17.1%）、「要支援1」（17.0%）、「要介護2」（14.6%）、「要介護3」（9.4%）、「要介護4」（4.0%）、「要介護5」（2.6%）となっている。

■要介護度（平成26年2月現在）



■要介護度（1年前の状況）



平成22年度調査と比較すると要介護度は、「要支援1」と「要支援2」がそれぞれ9.5ポイント、6.1ポイント高くなり、反対に「要介護2」「要介護5」「要介護4」がそれぞれ5.0ポイント、4.6ポイント、4.4ポイント低くなっている。

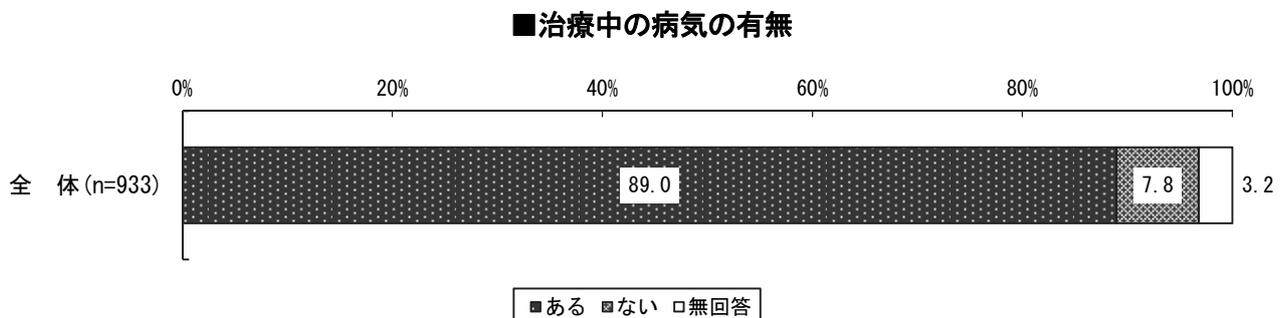
■要介護度（平成26年2月現在）【前回比較】

	（%）							
	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無回答
平成25年度調査 (n=933)	16.8	17.6	22.7	18.8	10.8	5.4	3.2	4.7
平成22年度調査 (n=890)	7.3	11.5	22.0	23.8	12.6	9.8	7.8	5.3

(2) 医療の状況

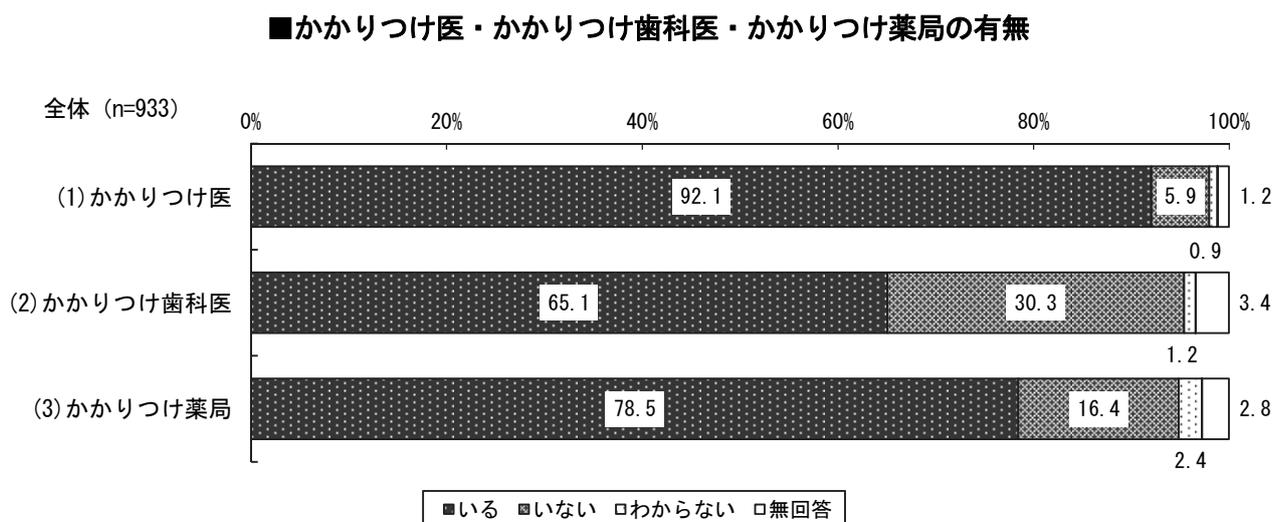
① 治療中の病気の有無（問11）

治療中の病気の有無は、「ある」が89.0%、「ない」が7.8%となっている。



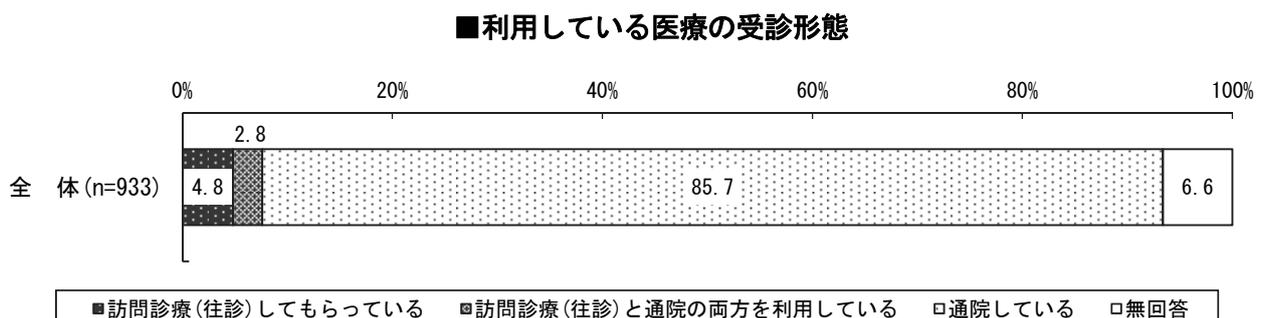
② かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬局の有無（問12）

かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬局の有無について「いる」と答えた割合は、『かかりつけ医』が最も多く92.1%、次いで『かかりつけ薬局』が78.5%、『かかりつけ歯科医』が65.1%である。



③ 利用している医療の受診形態（問13）

利用している医療の受診形態は、「訪問診療（往診）してもらっている」が4.8%、「訪問診療（往診）と通院の両方を利用している」が2.8%、「通院している」が85.7%となっている。

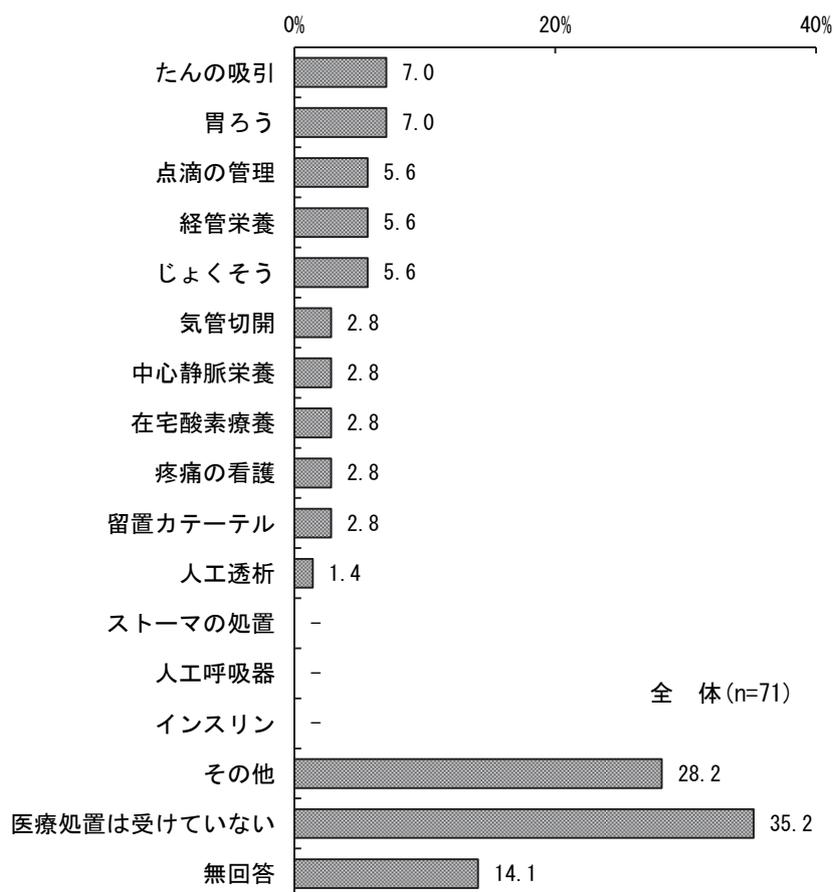


④ 利用している医療サービス（問13-1）

利用している医療サービスの受診形態が、「訪問診療（往診）してもらっている」「訪問診療（往診）と通院の両方を利用している」人に、利用している医療サービスをたずねたところ、『たんの吸引』『胃ろう』がともに最も多く7.0%、次いで『点滴の管理』『経管栄養』『じょくそう』がともに5.6%で続いている。

■利用している医療サービス（複数回答）

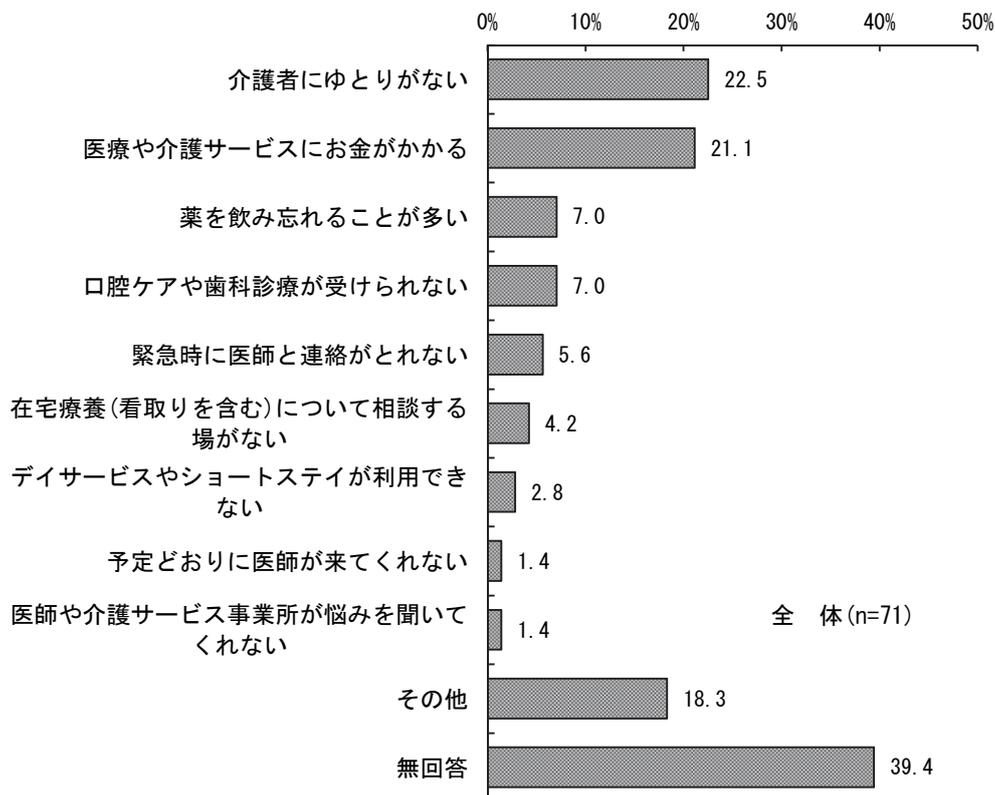
＜「訪問診療（往診）してもらっている」「訪問診療（往診）と通院の両方を利用している」と回答した人＞



⑤ 在宅療養を送る上で困っていること（問13-2）

利用している医療の受診形態が、「訪問診療（往診）してもらっている」「訪問診療（往診）と通院の両方を利用している」と回答した人の在宅療養を送る上で困っていることは、『介護者にゆとりがない』が最も多く22.5%、『医療や介護サービスにお金がかかる』（21.1%）が続いている。

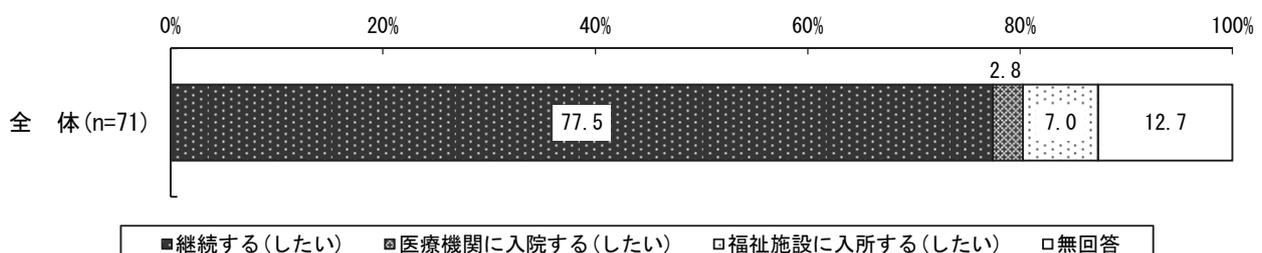
■在宅療養を送る上で困っていること（複数回答）
 <「訪問診療（往診）してもらっている」「訪問診療（往診）と通院の両方を利用している」と回答した人>



⑥ 今後の在宅での療養生活の継続意向（問13-3）

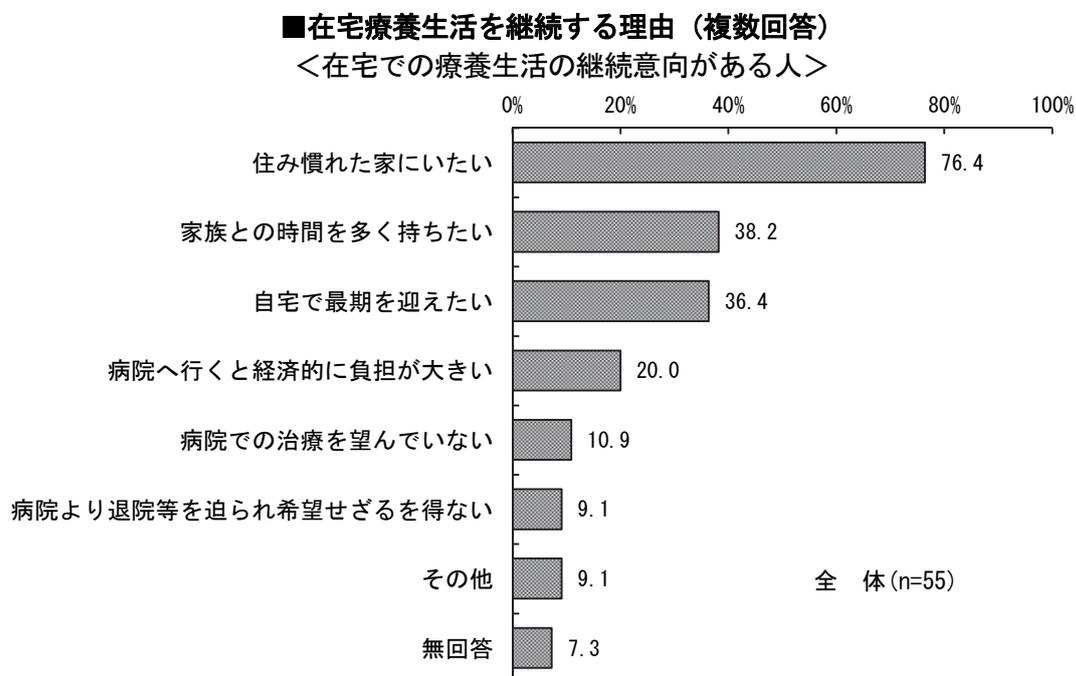
利用している医療の受診形態が、「訪問診療（往診）してもらっている」「訪問診療（往診）と通院の両方を利用している」と回答した人の今後の在宅での療養生活の継続意向は、「継続する（したい）」が77.5%、「医療機関に入院する（したい）」が2.8%、「福祉施設に入所する（したい）」が7.0%となっている。

■今後の在宅での療養生活の継続意向
 <「訪問診療（往診）してもらっている」「訪問診療（往診）と通院の両方を利用している」と回答した人>



⑦ 在宅療養生活を継続する理由（問13-3-1）

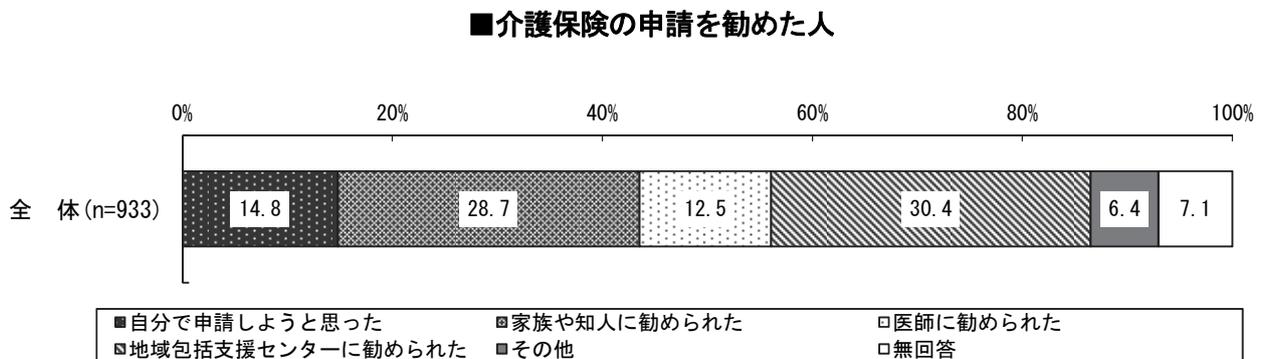
在宅での療養生活の継続意向がある人に、その理由をたずねたところ、「住み慣れた家にいたい」が最も多く76.4%、「家族との時間を多く持ちたい」（38.2%）、「自宅で最期を迎えたい」（36.4%）が続いている。



(3) 介護保険の利用

① 介護保険の申請を勧めた人（問14）

介護保険の申請を勧めた人は、「地域包括支援センターに勧められた」が30.4%と最も多く、次いで「家族や知人に勧められた」が28.7%、「自分で申請しようと思った」が14.8%、「医師に勧められた」が12.5%となっている。



平成22年度調査と比較すると、「地域包括支援センターに勧められた」が9.1ポイント高くなっており、反対に「家族や知人に勧められた」が8.5ポイント低くなっている。

■介護保険の申請を勧めた人【前回比較】

	と自 分 で 申 請 し よ う 思 っ た	ら家 族 や 知 人 に 勧 め ら れ た	医 師 に 勧 め ら れ た	タ地 域 に 包 括 支 援 セ ン タ ー	そ の 他	無 回 答
平成25年度調査 (n=933)	14.8	28.7	12.5	30.4	6.4	7.1
平成22年度調査 (n=890)	13.7	37.2	15.4	21.3	6.3	6.1

② ひと月の介護保険サービスの利用料（問15）

食費を除いたひと月の介護保険サービスの利用料は、「5千円～1万円未満」（13.3%）が最も多く、「2千円～3千円未満」（9.8%）、「1万円～1万5千円未満」（8.5%）が続いている。

■ひと月の介護保険サービスの利用料

全 体 (n=933)	(%)
千円未満	4.7
千円～2千円未満	8.3
2千円～3千円未満	9.8
3千円～4千円未満	4.4
4千円～5千円未満	8.0
5千円～1万円未満	13.3
1万円～1万5千円未満	8.5
1万5千円～2万円未満	6.0
2万円～2万5千円未満	4.3
2万5千円～3万円未満	2.7
3万円以上	5.1
わからない	11.8
無回答	13.2

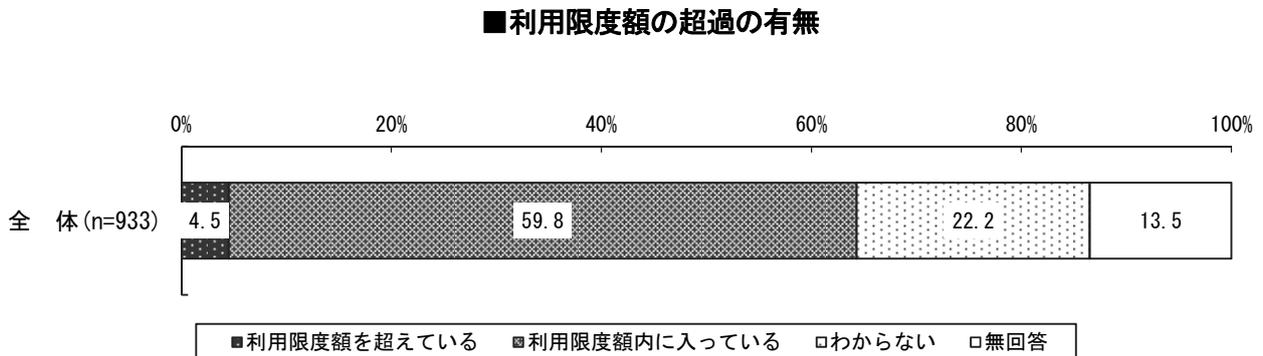
平成22年度調査と比較すると、『5千円未満（合計）』の割合が15.5ポイント高くなっている。

■ひと月の介護保険サービスの利用料【前回比較】

	(%)												
	千円未満	千円～2千円未満	2千円～3千円未満	3千円～4千円未満	4千円～5千円未満	5千円～1万円未満	1万円～1万5千円未満	1万5千円～2万円未満	2万円～2万5千円未満	2万5千円～3万円未満	3万円以上	わからない	無回答
平成25年度調査 (n=933)	4.7	8.3	9.8	4.4	8.0	13.3	8.5	6.0	4.3	2.7	5.1	11.8	13.2
平成22年度調査 (n=890)	3.5	5.6	6.3	4.3		16.3	11.2	10.2	5.8	5.7	7.3	14.2	9.6

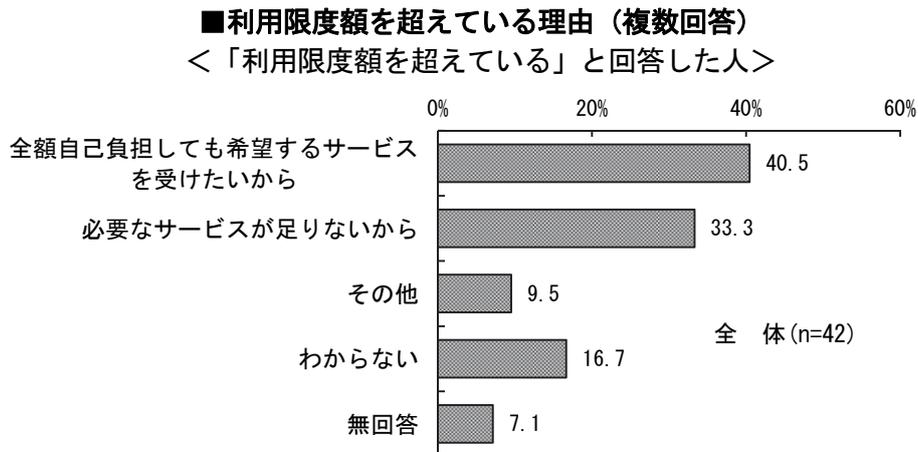
③ 利用限度額の超過の有無（問16）

利用限度額の超過の有無は、「利用限度額を超えている」が4.5%、「利用限度額内に入っている」が59.8%となっている。



④ 利用限度額を超えている理由（問16-1）

「利用限度額を超えている」と回答した人に、その理由をたずねたところ、『全額自己負担しても希望するサービスを受けたいから』が最も多く40.5%、『必要なサービスが足りないから』（33.3%）が続いている。



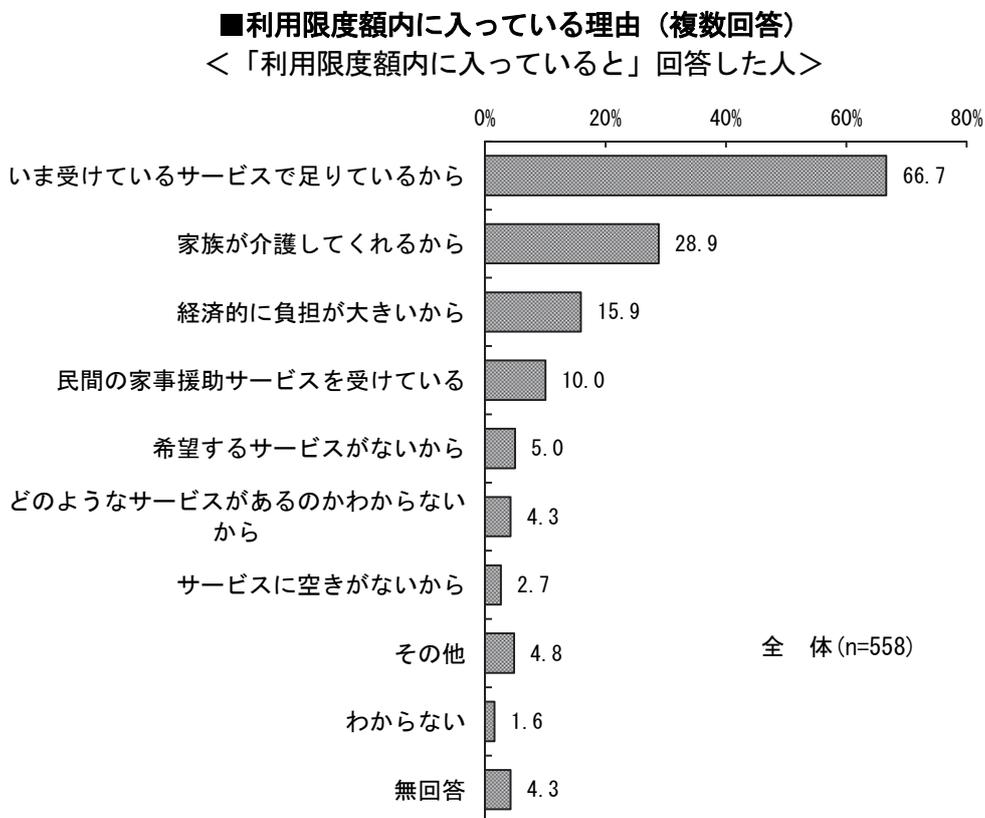
■利用限度額を超えている理由（複数回答）【前回比較】

<「利用限度額を超えている」と回答した人>

	全額自己負担しても希望するサービスを受けたいから	必要なサービスが足りないから	その他	わからない	無回答
平成25年度調査 (n=42)	40.5	33.3	9.5	16.7	7.1
平成22年度調査 (n=60)	38.3	33.3	10.0	20.0	6.7

⑤ 利用限度額内に入っている理由（問16-2）

「利用限度額内に入っている」と回答した人に、その理由をたずねたところ、『いま受けているサービスで足りているから』が最も多く66.7%、『家族が介護してくれるから』（28.9%）、『経済的に負担が大きいから』（15.9%）が続いている。

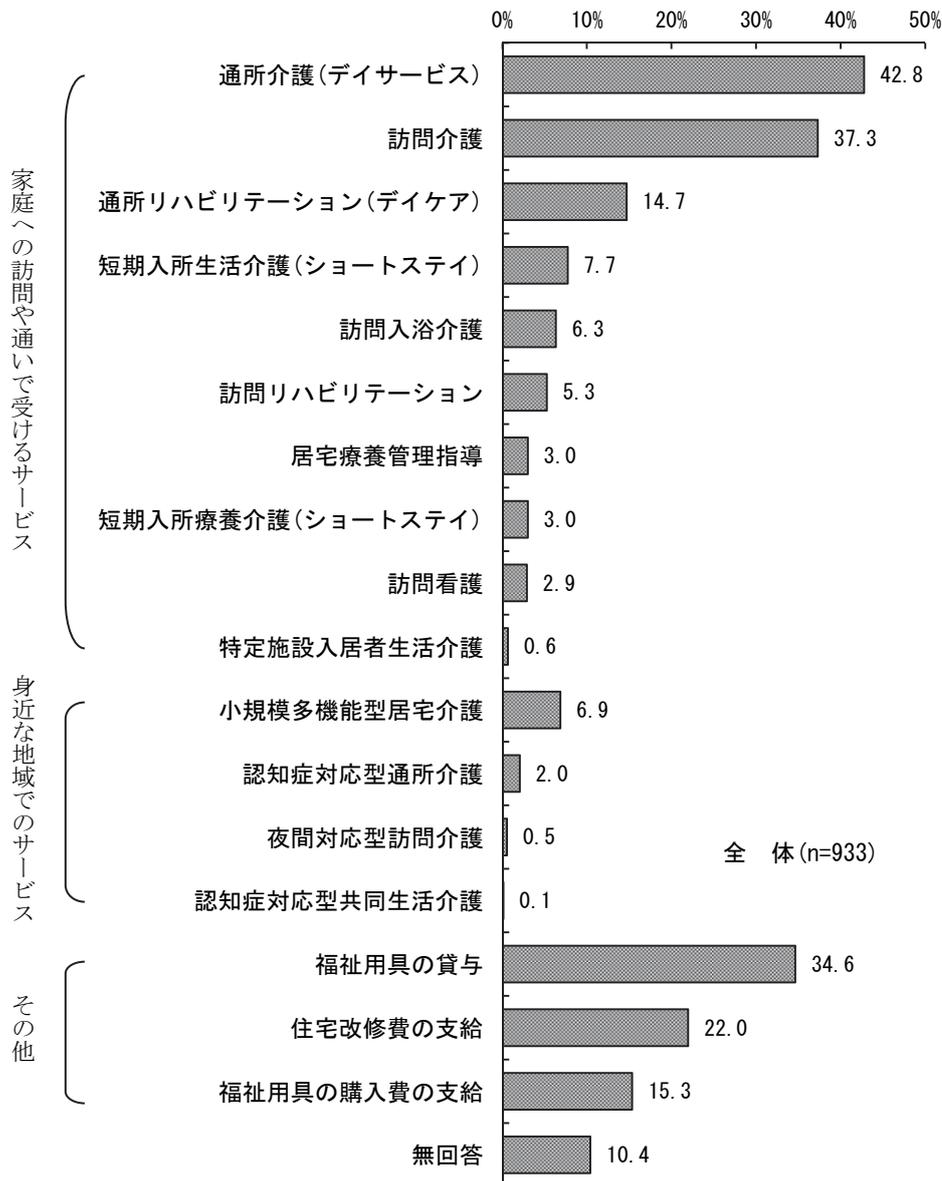


(4) 介護保険サービスの利用

① 利用している介護保険サービス（問17-1）

利用している介護保険サービスは、「通所介護（デイサービス）」が最も多く 42.8%、「訪問介護」（37.3%）、「福祉用具の貸与」（34.6%）が続いている。

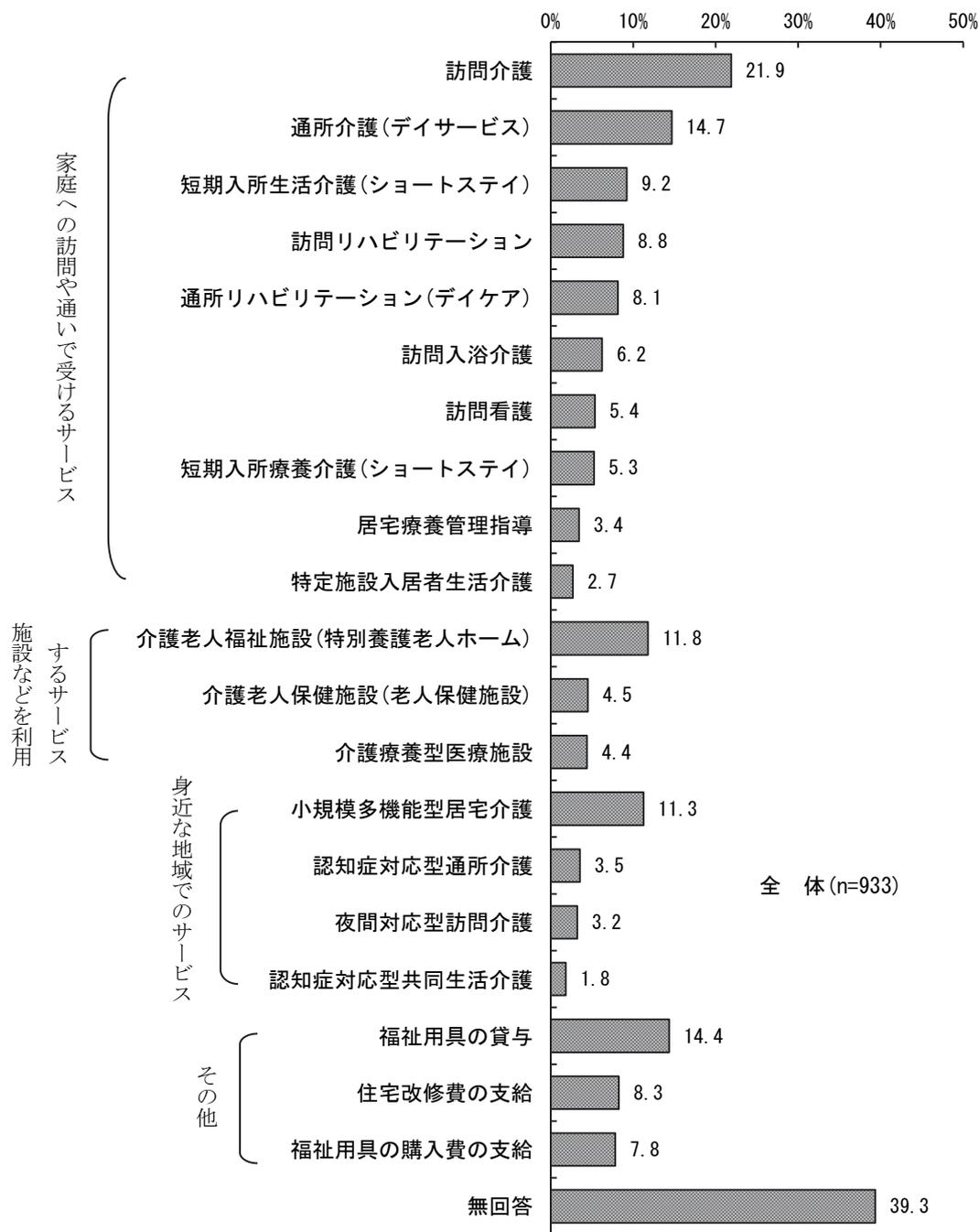
■利用している介護保険サービス（複数回答）



② 介護保険サービスの利用意向（問17-2）

利用意向がある介護保険サービスは、「訪問介護」が最も多く 21.9%、「通所介護（デイサービス）」（14.7%）、「福祉用具の貸与」（14.4%）が続いている。

■介護保険サービスの利用意向（複数回答）

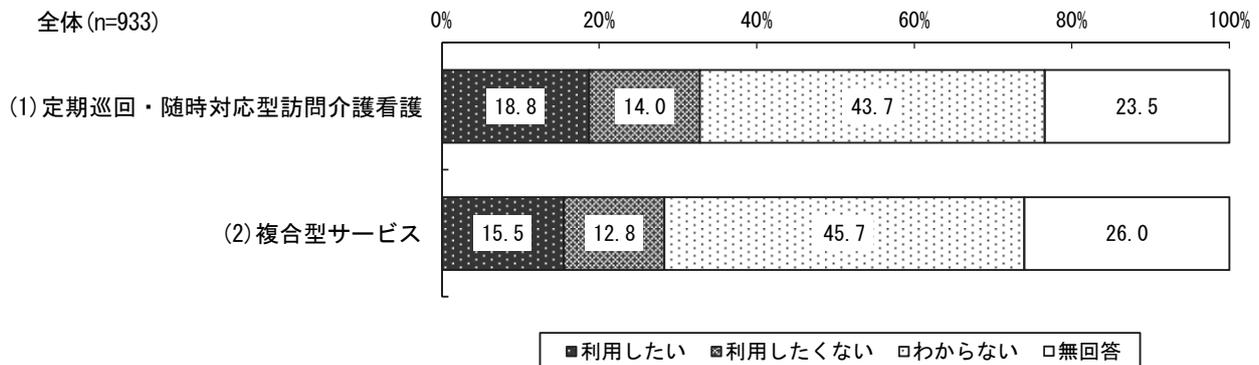


③ 「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」と「複合型サービス」の利用意向（問18）

定期巡回・随時対応型訪問介護看護の利用意向は、「利用したい」が18.8%、「利用したくない」が14.0%となっている。

複合型サービスの利用意向は、「利用したい」が15.5%、「利用したくない」が12.8%となっている。

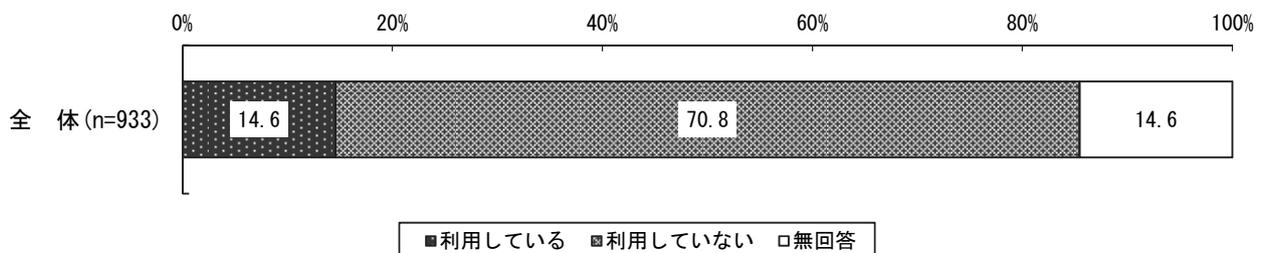
■ 「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」と「複合型サービス」の利用意向



④ 介護保険外のサービスの利用状況（問19）

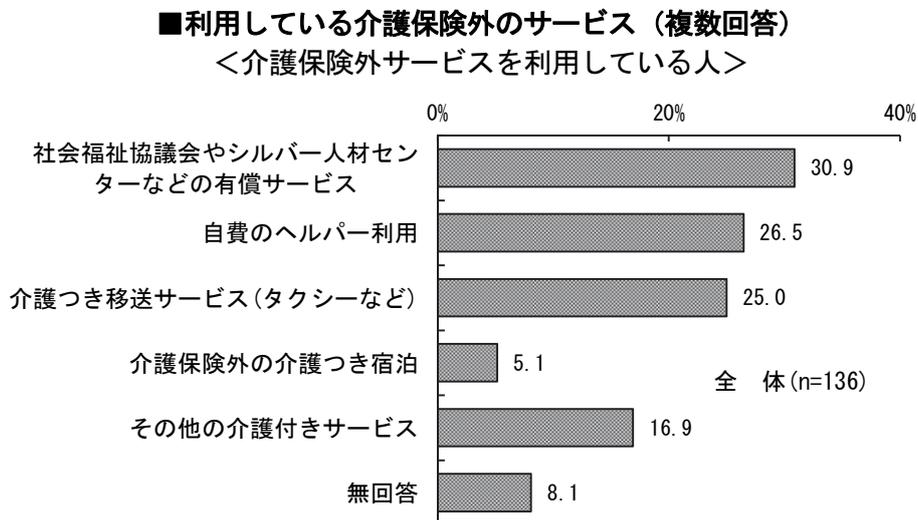
介護保険外のサービスの利用状況は、「利用している」が14.6%、「利用していない」が70.8%となっている。

■ 介護保険外のサービスの利用状況



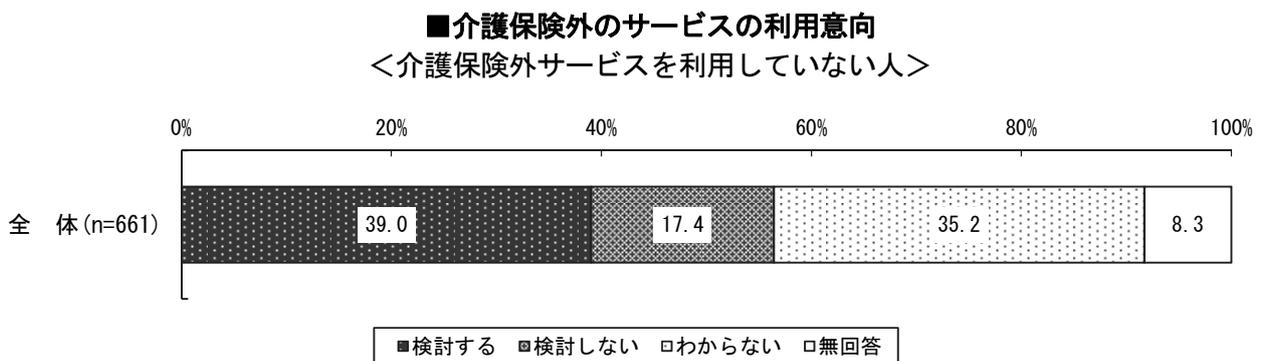
⑤ 利用している介護保険外のサービス（問19-1）

介護保険外のサービスを利用していると回答した人の利用している介護保険外のサービスは、「社会福祉協議会やシルバー人材センターなどの有償サービス」が最も多く30.9%、「自費のヘルパー利用」（26.5%）、「介護つき移送サービス（タクシーなど）」（25.0%）、「介護保険外の介護つき宿泊」（5.1%）が続いている。



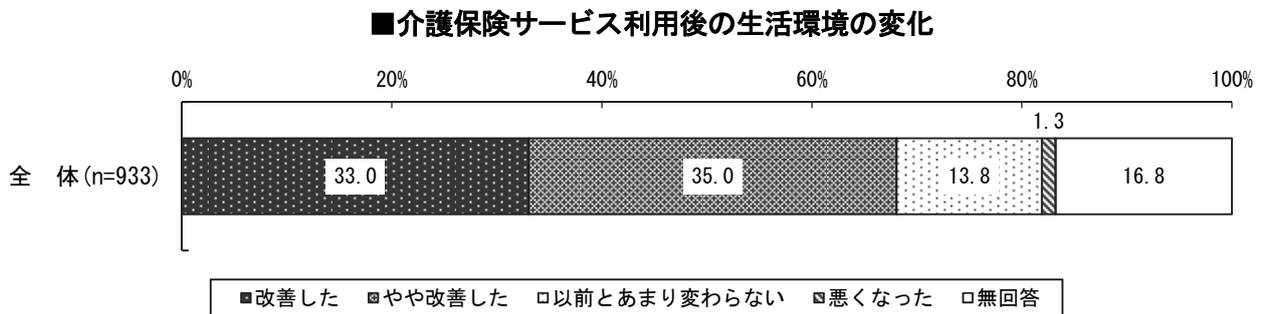
⑥ 介護保険外のサービスの利用意向（問19-2）

介護保険外のサービスを利用していない人に、料金や内容が明確になった場合の介護保険外のサービスの利用意向をたずねたところ、「検討する」が39.0%、「検討しない」が17.4%、「わからない」が35.2%となっている。



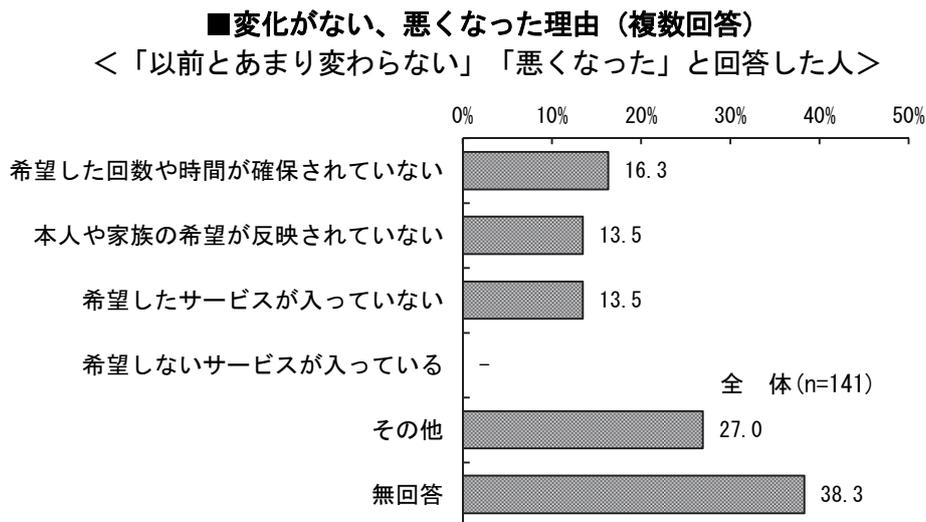
⑦ 介護保険サービス利用後の生活環境の変化（問20）

介護保険サービス利用後の生活環境の変化は、「改善した」が33.0%、「やや改善した」が35.0%、「以前とあまり変わらない」が13.8%、「悪くなった」が1.3%となっている。



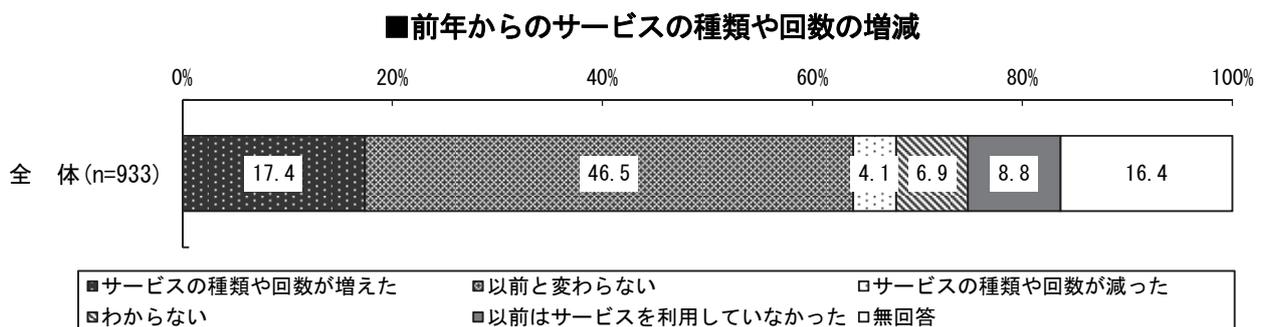
⑧ 変化がない、悪くなった理由（問20-1）

介護保険サービス利用後の生活環境の変化で「以前とあまり変わらない」「悪くなった」と回答した人に、その理由をたずねたところ、『希望した回数や時間が確保されていない』が16.3%、『本人や家族の希望が反映されていない』『希望したサービスが入っていない』がともに13.5%となっている。



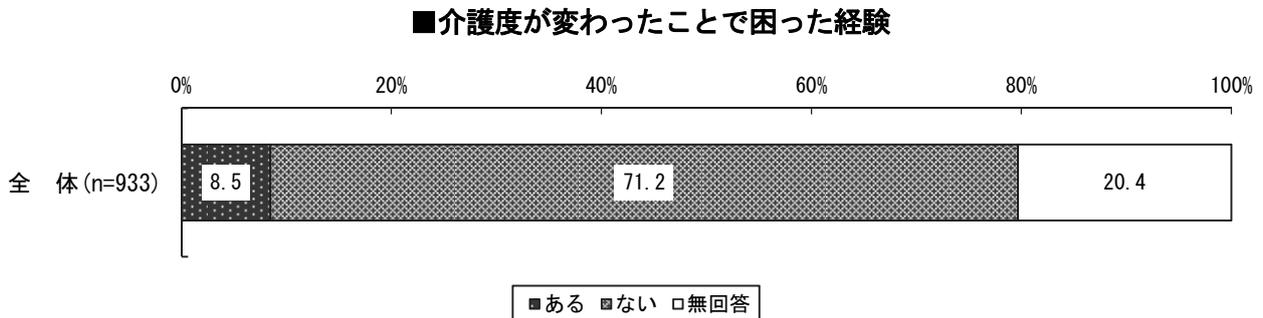
⑨ 前年からのサービスの種類や回数の増減（問21）

前年からのサービスの種類や回数の増減は、「サービスの種類や回数が増えた」が17.4%、「以前と変わらない」が46.5%、「サービスの種類や回数が減った」が4.1%、「以前はサービスを利用していなかった」が8.8%となっている。



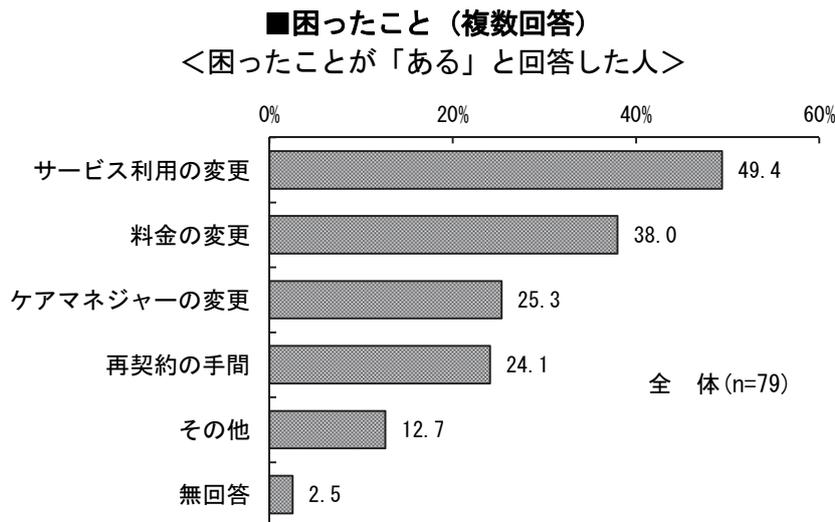
⑩ 介護度が変わったことで困った経験（問22）

介護度が変わった、または変わりそうになったことで困った経験は、「ある」が8.5%、「ない」が71.2%となっている。



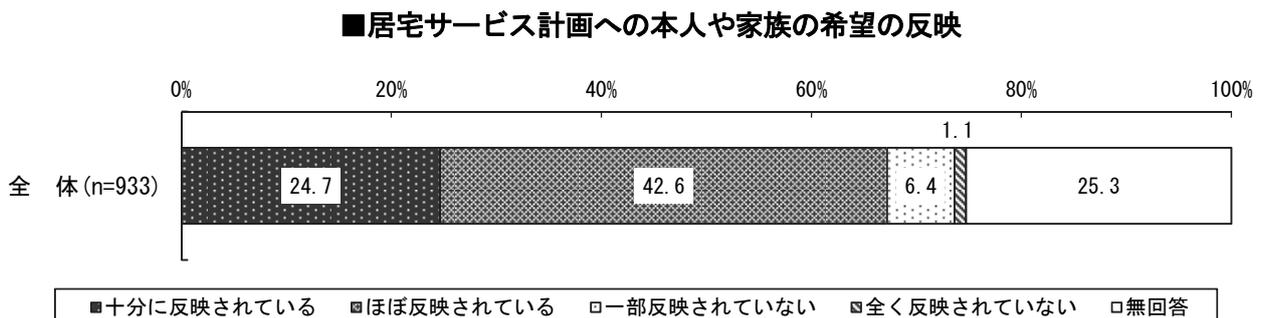
⑪ 困ったこと（問22-1）

介護度が変わった、または変わりそうになったことで困った経験が「ある」と回答した人の困ったことは、『サービス利用の変更』が最も多く49.4%、『料金の変更』（38.0%）、『ケアマネジャーの変更』（25.3%）、『再契約の手間』（24.1%）が続いている。



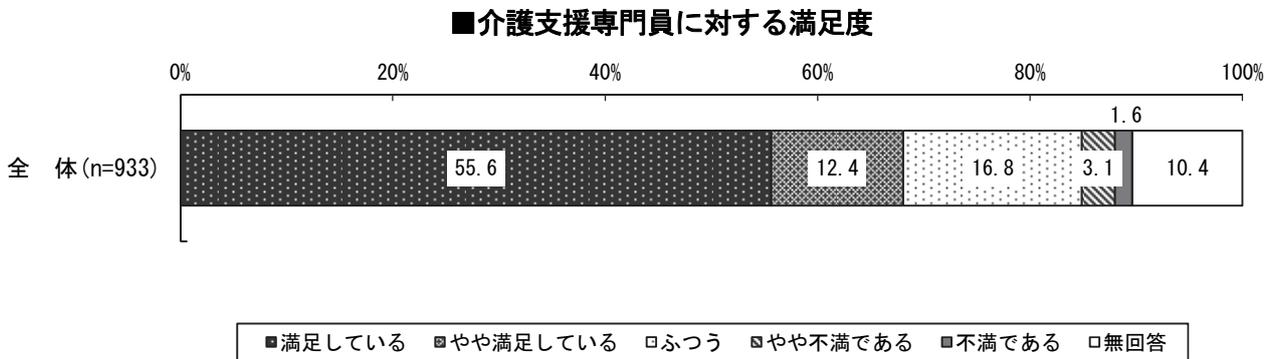
⑫ 居宅サービス計画への本人や家族の希望の反映（問23）

居宅サービス計画への本人や家族の希望の反映は、「十分に反映されている」が24.7%、「ほぼ反映されている」が42.6%、「一部反映されていない」が6.4%、「全く反映されていない」が1.1%となっている。



⑬ 介護支援専門員に対する満足度（問24）

介護支援専門員に対する満足度は、「満足している」（55.6%）と「やや満足している」（12.4%）を合計した《満足》が68.0%、「ふつう」が16.8%、「やや不満である」が3.1%、「不満である」が1.6%となっている。



平成22年度調査と比較すると、《満足》は5.5ポイント低くなっている。

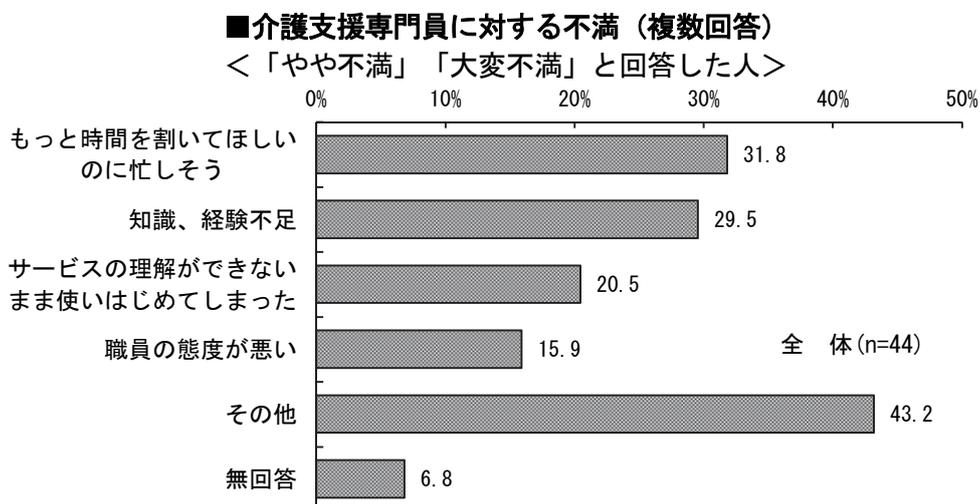
■介護支援専門員に対する満足度【前回比較】

	満足している	やや満足している	ふつう	やや不満である	不満である	無回答
平成25年度調査 (n=933)	55.6	12.4	16.8	3.1	1.6	10.4
平成22年度調査 (n=890)	60.0	13.5	15.1	2.8	0.9	7.8

(%)

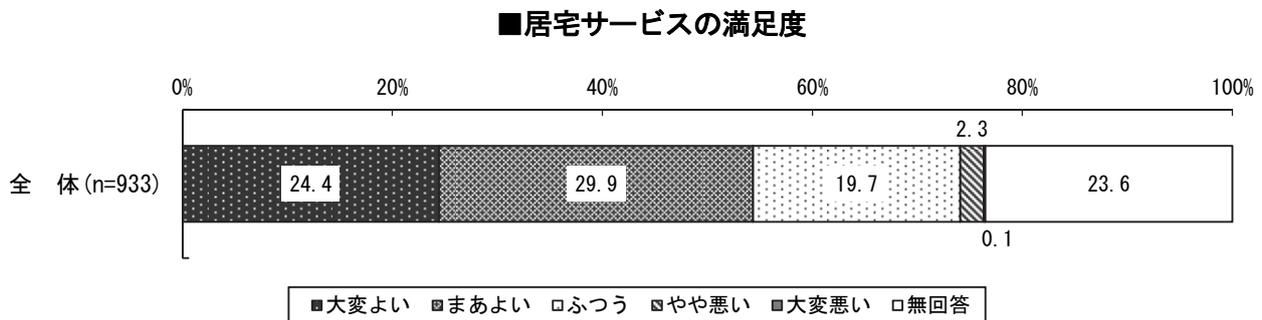
⑭ 介護支援専門員に対する不満（問24-1）

介護支援専門員に対する満足度で「やや不満である」「不満である」と回答した人が不満に感じたことは、『もっと時間を割いてほしいのに忙しそう』が最も多く31.8%、『知識、経験不足』(29.5%)、『サービスの理解ができないまま使いはじめてしまった』(20.5%)が続いている。



⑮ 居宅サービスの満足度（問25）

居宅サービスの満足度は、「大変よい」が24.4%、「まあよい」が29.9%、「ふつう」が19.7%、「やや悪い」が2.3%、「大変悪い」が0.1%となっている。



平成22年度調査と比較すると、「大変よい」と「まあよい」の合計である《満足》は、4.5ポイント低くなっている。

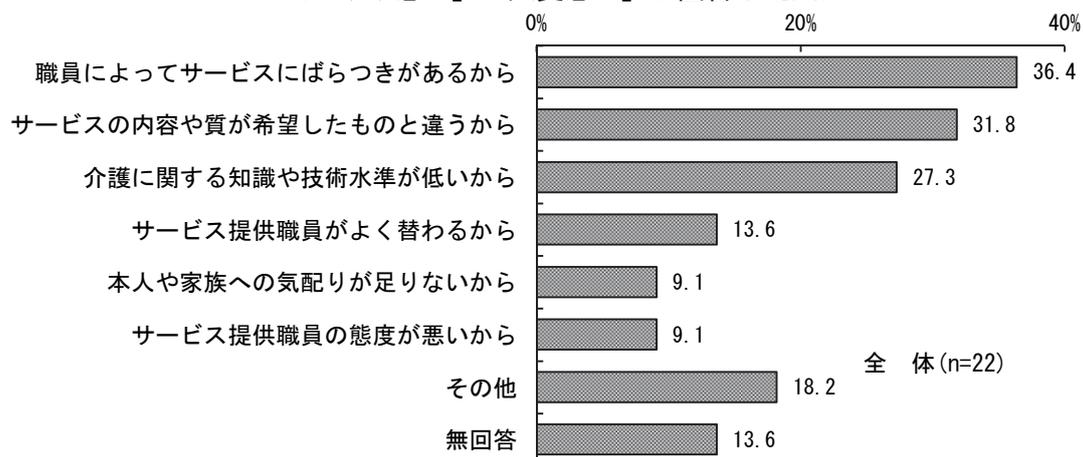
■居宅サービスの満足度【前回比較】

	(%)					
	大変よい	まあよい	ふつう	やや悪い	大変悪い	無回答
平成25年度調査 (n=933)	24.4	29.9	19.7	2.3	0.1	23.6
平成22年度調査 (n=890)	25.5	33.3	21.7	3.1	0.2	16.2

⑯ 居宅サービスを不満に思う理由（問25-1）

居宅サービスの満足度で「やや悪い」「大変悪い」と回答した人に、不満に思う理由をたずねたところ、『職員によってサービスにばらつきがあるから』が最も多く36.4%、『サービスの内容や質が希望したものと違うから』（31.8%）、『介護に関する知識や技術水準が低いから』（27.3%）が続いている。

■居宅サービスを不満に思う理由（複数回答）
 <「やや悪い」「大変悪い」と回答した人>

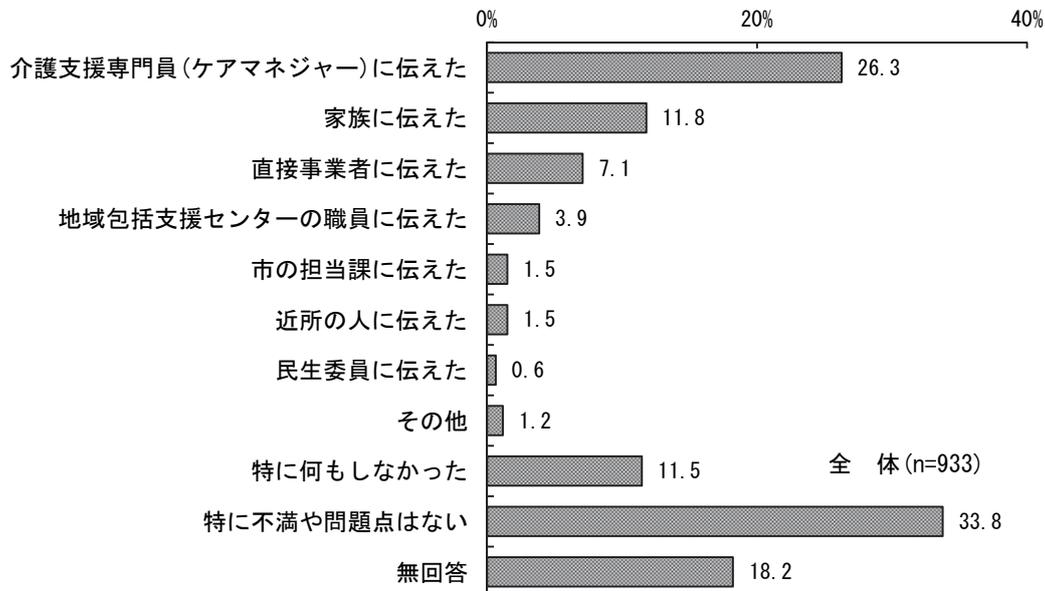


(5) サービスの要望や苦情

① サービスの不満や問題点を伝えた相手（問26）

サービスの不満や問題点を伝えた相手は、「介護支援専門員(ケアマネジャー)に伝えた」が26.3%と最も多く、「家族に伝えた」(11.8%)、「直接事業者に伝えた」が7.1%となっている。一方、「特に不満や問題点はない」は33.8%、「特に何もしなかった」が11.5%となっている。

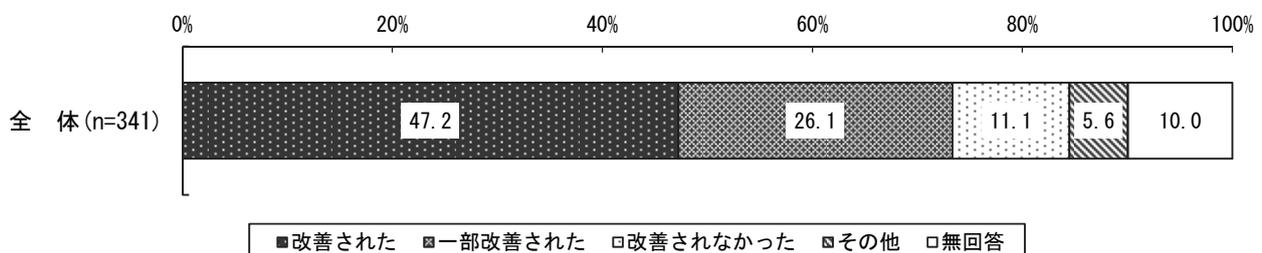
■サービスの不満や問題点を伝えた相手（複数回答）



② 不満や問題点の改善状況（問26-1）

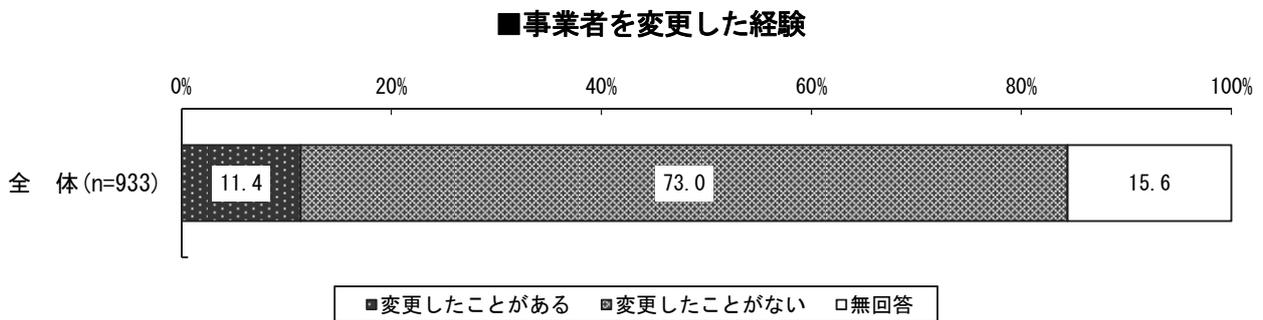
サービスの不満や問題点を伝えた相手を回答した人に、不満や問題点の改善状況をたずねたところ、「改善された」が47.2%、「一部改善された」が26.1%、「改善されなかった」が11.1%となっている。

■不満や問題点の改善状況
 <サービスの不満や問題点を伝えた人>



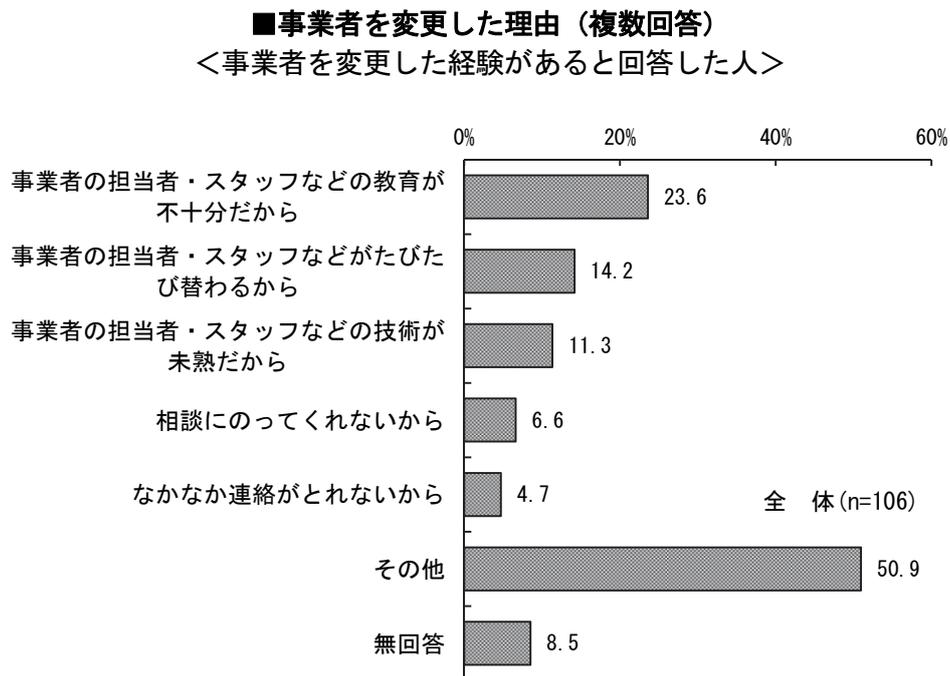
③ 事業者を変更した経験（問27）

事業者を変更した経験は、「変更したことがある」が11.4%、「変更したことがない」が73.0%となっている。



④ 事業者を変更した理由（問27-1）

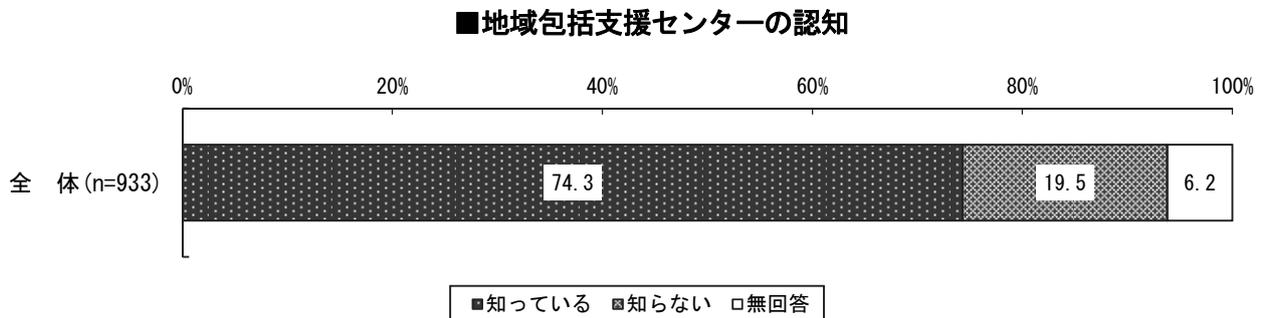
事業者を変更した経験があると回答した人に、変更した理由をたずねたところ、「事業者の担当者・スタッフなどの教育が不十分だから」が最も多く23.6%、「事業者の担当者・スタッフなどがたびたび替わるから」（14.2%）、「事業者の担当者・スタッフなどの技術が未熟だから」（11.3%）が続いている。



(6) 介護保険制度

① 地域包括支援センターの認知（問28）

地域包括支援センターの認知は、「知っている」が74.3%、「知らない」が19.5%となっている。



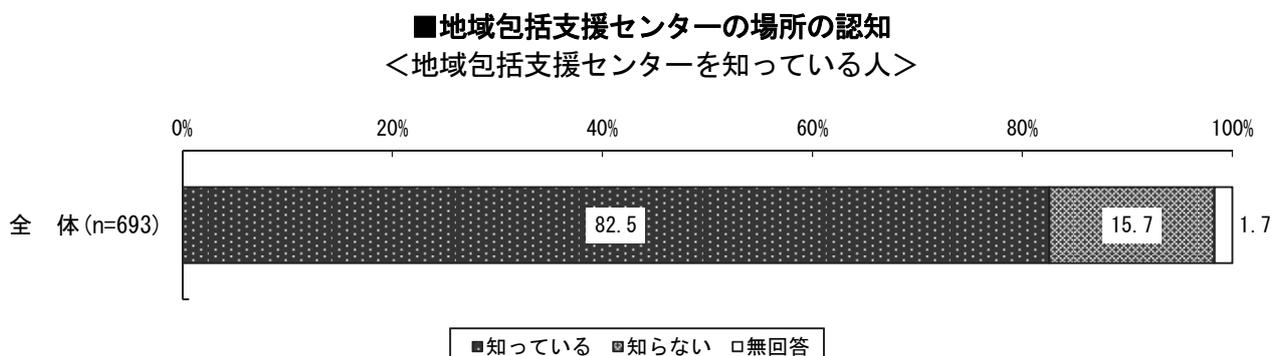
平成22年度調査と比較すると、「知っている」が8.9ポイント高くなっている。

■地域包括支援センターの認知【前回比較】

	(%)		
	知 つ て い る	知 ら な い	無 回 答
平成25年度調査 (n=933)	74.3	19.5	6.2
平成22年度調査 (n=890)	65.4	24.3	10.3

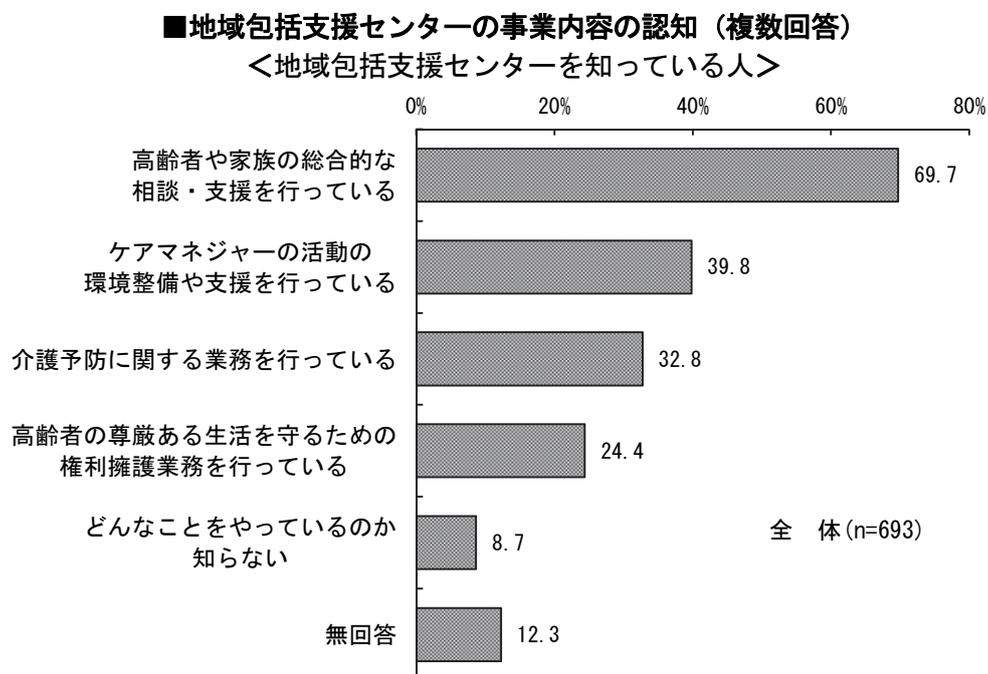
② 地域包括支援センターの場所の認知（問28-1）

地域包括支援センターを知っている人に、住んでいる地区を担当している地域包括支援センターの場所を知っているかたずねたところ、「知っている」が82.5%、「知らない」が15.7%となっている。



③ 地域包括支援センターの事業内容の認知（問28-2）

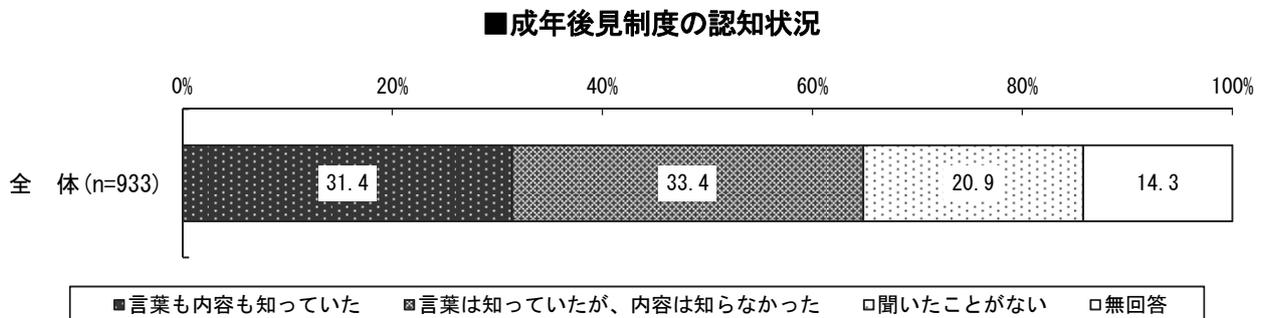
地域包括支援センターを認知している人が知っている地域包括支援センターの事業内容は、「高齢者や家族の総合的な相談・支援を行っている」が最も多く69.7%、「ケアマネジャーの活動の環境整備や支援を行っている」（39.8%）、「介護予防に関する業務を行っている」（32.8%）が続いている。



(7) 権利擁護

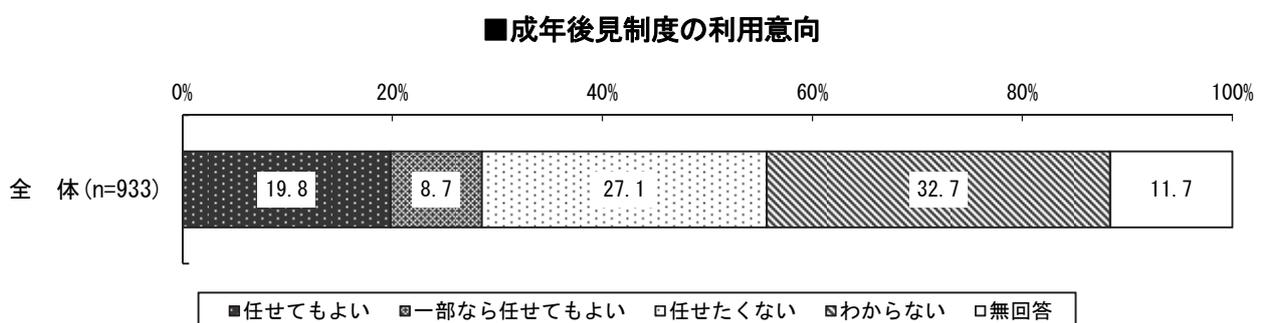
① 成年後見制度の認知状況（問29）

成年後見制度の認知状況は、「言葉も内容も知っていた」が31.4%、「言葉は知っていたが、内容は知らなかった」が33.4%、「聞いたことがない」が20.9%となっている。



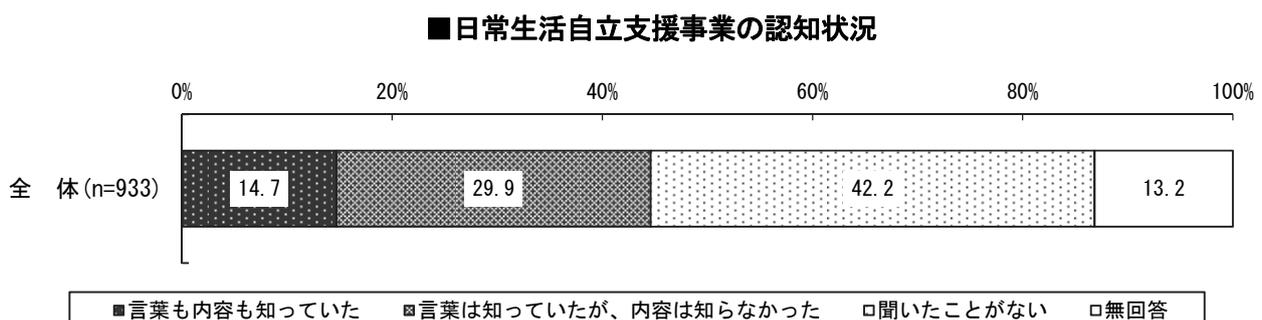
② 成年後見制度の利用意向（問30）

成年後見制度の利用意向は、「任せてもよい」が19.8%、「一部なら任せてもよい」が8.7%、「任せたくない」が27.1%、「わからない」が32.7%となっている。



③ 日常生活自立支援事業の認知状況（問31）

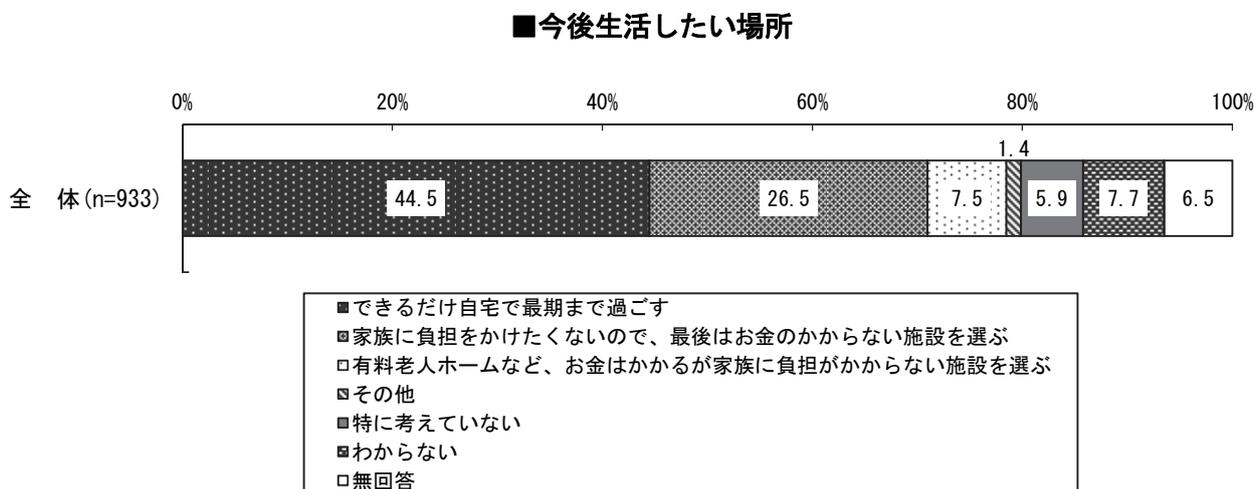
日常生活自立支援事業の認知状況は、「言葉も内容も知っていた」が14.7%、「言葉は知っていたが、内容は知らなかった」が29.9%、「聞いたことがない」が42.2%となっている。



(8) 今後の過ごし方

① 今後生活したい場所（問32）

今後生活したい場所は、「できるだけ自宅で最期まで過ごす」が最も多く 44.5%、「家族に負担をかけたくないので、最後はお金のかからない施設を選ぶ」が 26.5%、「有料老人ホームなど、お金はかかるが家族に負担がかからない施設を選ぶ」が 7.5%となっている。



平成 22 年度調査と比較すると、「家族に負担をかけたくないので、最後はお金のかからない施設を選ぶ」が 5.8 ポイント高くなっている。

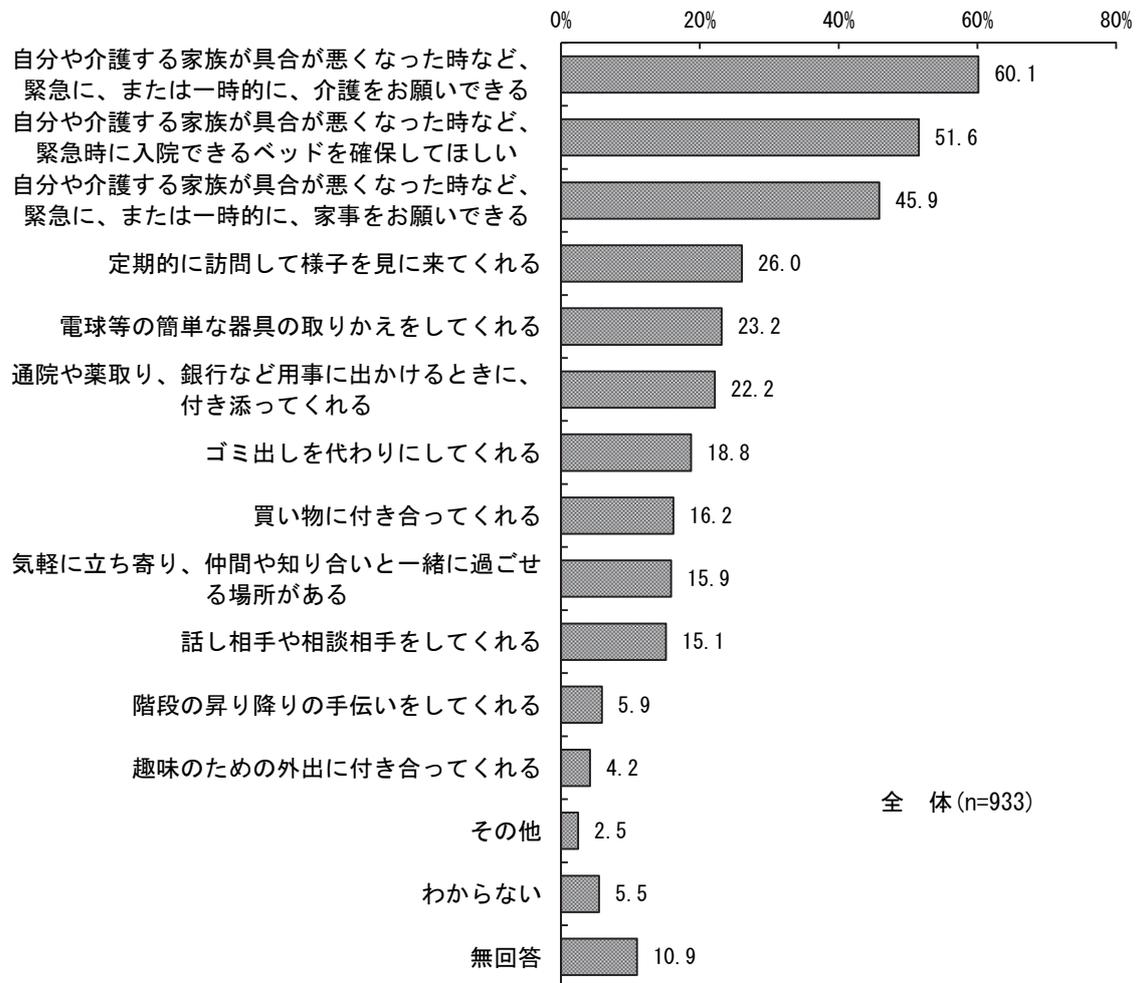
■今後生活したい場所【前回比較】

	(%)						
	できるだけ自宅で最期まで過ごす	施設を最後に選ぶは家族に負担をお金のかかからないの	なか有料老人ホームなど、お金がかかるが家族に負担がかからない施設を選ぶ	その他	特に考えていない	わからない	無回答
平成25年度調査 (n=933)	44.5	26.5	7.5	1.4	5.9	7.7	6.5
平成22年度調査 (n=890)	44.9	20.7	7.8	1.2	6.5	7.1	11.8

② 今後希望するサービスや手助け（問33）

今後希望するサービスや手助けは、「自分や介護する家族が具合が悪くなった時など、緊急に、または一時的に、介護をお願いできる」が最も多く 60.1%、「自分や介護する家族が具合が悪くなった時など、緊急時に入院できるベッドを確保してほしい」（51.6%）、「自分や介護する家族が具合が悪くなった時など、緊急に、または一時的に、家事をお願いできる」（45.9%）が続いている。

■今後希望するサービスや手助け（複数回答）



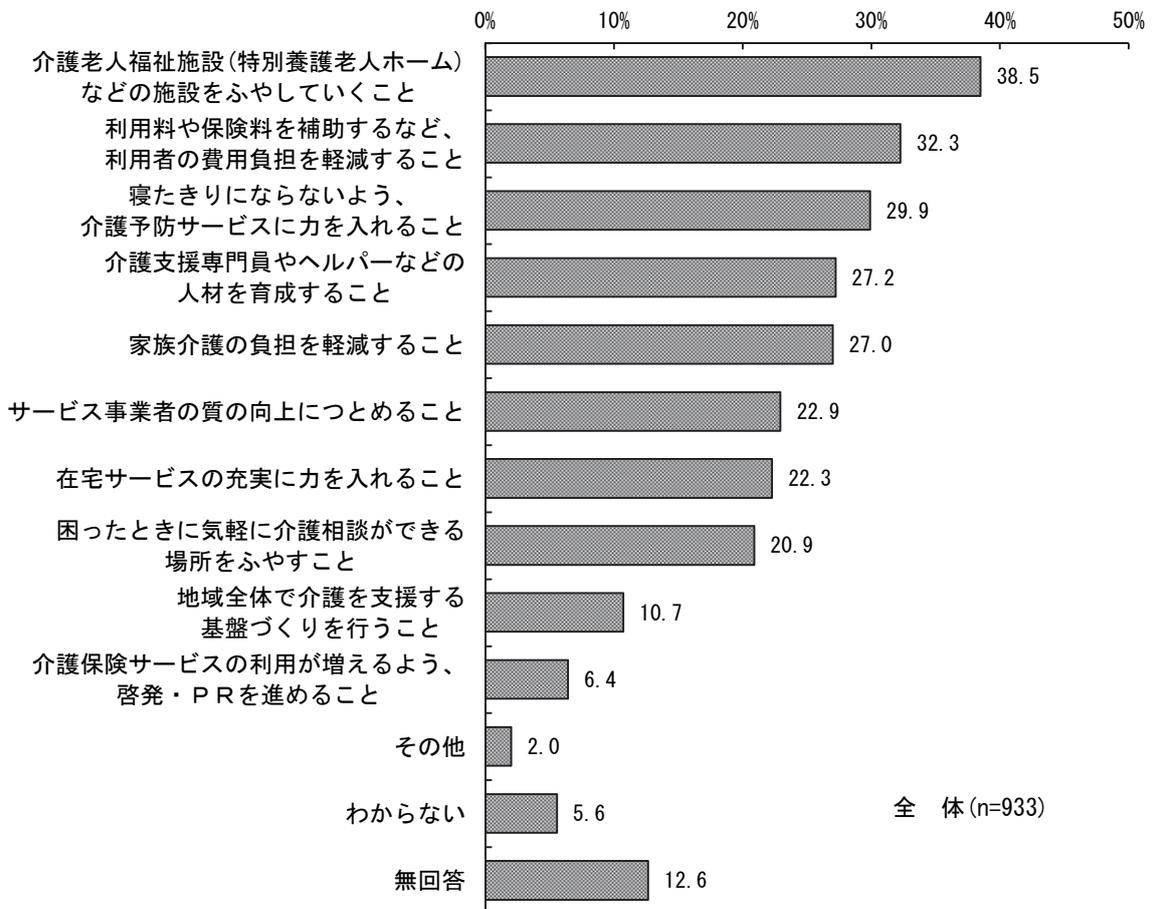
(9) 市への要望

① 介護保険制度をよりよくするために市が力を入れるべきこと (問34)

介護保険制度をよりよくするために市が力を入れるべきことは、「介護老人福祉施設などの施設をふやしていくこと」が最も多く 38.5%、次いで「利用者の費用負担を軽減すること」(32.3%)、「寝たきりにならないよう、介護予防サービスに力を入れること」(29.9%)、「介護支援専門員やヘルパーなどの人材を育成すること」(27.2%)、「家族介護の負担を軽減すること」(27.0%)が続いている。

平成22年度調査と比較すると、「寝たきりにならないよう、介護予防サービスに力を入れること」が6.8ポイント高くなっている。

■介護保険制度をよりよくするために市が力を入れるべきこと (複数回答 (3つまで))



■介護保険制度をよりよくするために市が力を入れるべきこと (複数回答 (3つまで)) 【前回比較】

	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)などの施設をふやしていくこと	利用料や保険料を補助するなど、利用者の費用負担を軽減すること	寝たきりにならないよう、介護予防サービスに力を入れること	介護支援専門員やヘルパーなどの人材を育成すること	家族介護の負担を軽減すること	サービス事業者の質の向上につとめること	在宅サービスの充実に力を入れること	困ったときに気軽に介護相談ができる場所をふやすこと	地域全体で介護を支援する基盤づくりを行うこと	介護保険サービスの利用が増えるよう、啓発・PRを進めること	その他	わからない	無回答
平成25年度調査 (n=933)	38.5	32.3	29.9	27.2	27.0	22.9	22.3	20.9	10.7	6.4	2.0	5.6	12.6
平成22年度調査 (n=890)	36.5	31.9	23.1	27.0	32.7	23.5	24.9	18.3	14.0	5.5	2.6	4.9	16.9

② 高齢者保健福祉サービスや介護保険制度について（問35）

高齢者保健福祉サービス、介護保険制度について、自由記述形式でうかがい、内容ごとに分類・整理を行った。主な意見は以下のとおりである。

（介護予防の推進）

- ・介護保険制度は良いことだが、受ける人が増えると心配である。できるだけ元気でいられる対策が大切である。

（介護保険サービスの充実）

- ・手続き等をもっと楽にできるようにしてほしい。
- ・介護サービスの内容が限られていて、本当にお願ひしたことが頼めない。計画を変更するために手間と時間がかかりすぎる。
- ・介護保険を使っても受けられないサービスが大変多く、また有料で別にお願ひしなければならないことが多い。
- ・家族が病気等になった場合、一時的にショートステイを利用できる施設がほしい。

（特養の整備）

- ・特別養護老人ホームなどの施設を増設していただきたい。
- ・今のところ自立して生活しているが、年金生活者でも入れる低経費の老人ホームを建ててほしい。

（認知症への支援）

- ・軽度認知症の人向けのリハビリ教室を増やし、気軽に参加できるとよい。

（在宅療養体制の充実）

- ・各家庭で行う介護を援助するために、多種多様な援助メニューを充実してほしい。

（介護者への支援）

- ・家族がいても介護は本当に疲れるので、介護している家族をフォローするサービスを増やしてほしい。

（介護保険制度の適切な運営）

- ・介護サービスを無駄に使わないようにしてほしい。

（情報発信の充実）

- ・サービスや制度の内容がわかりにくいので、もう少しわかりやすく知らせてほしい。

（独居老人への支援）

- ・単身シニアへの対策の充実を要望する。

（質の向上）

- ・介護保険に関わる人材を育成してほしい。
- ・介護が必要になった時、ヘルパーの専門教育（例えば病人の取り扱い方やケア等）、また、優しい心遣いなど精神面の教育等をしてほしい。

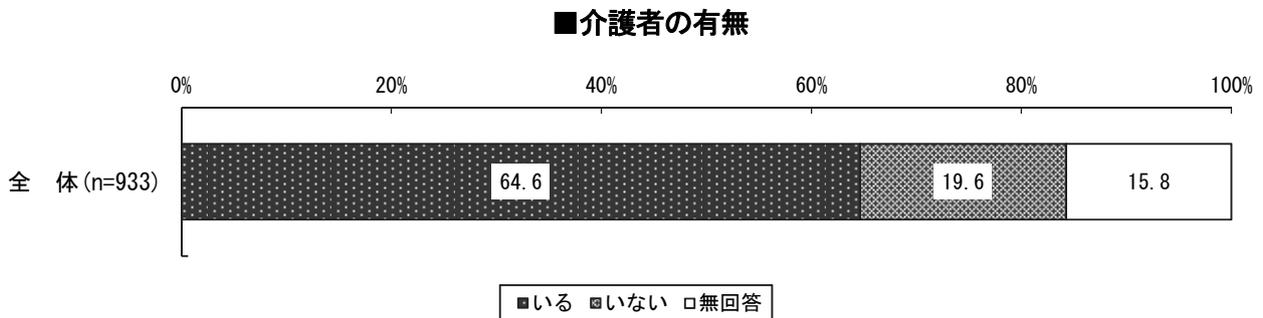
（相談体制の充実）

- ・困った時、気軽に話を聞いてくれる相談員、場所が近場にあれば嬉しい。

(10) 介護者の状況

① 介護者の有無 (問36)

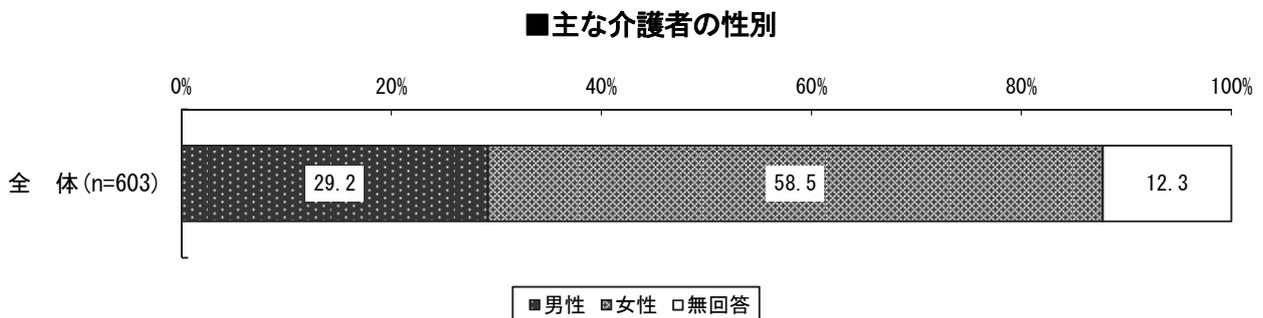
介護者の有無は、「いる」が64.6%、「いない」が19.6%となっている。



※以下問37～50は、問36で介護者が「いる」(603人)と回答した場合、宛名ご本人を介護している人にたずねている。

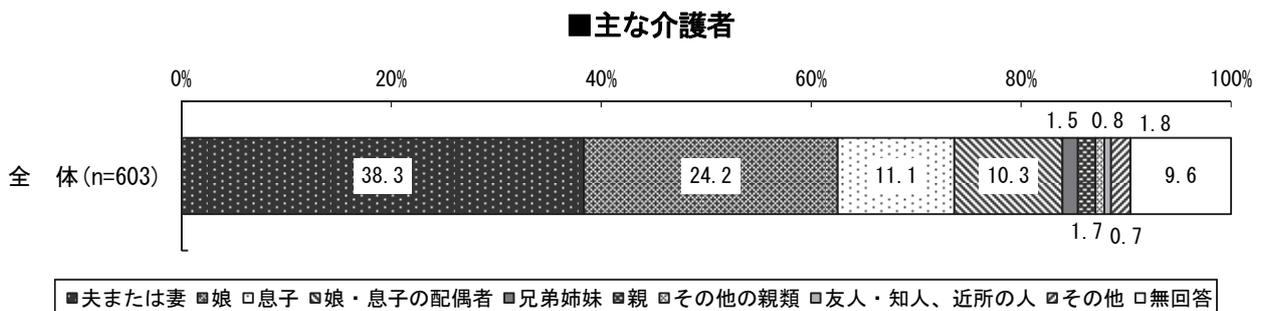
② 主な介護者の性別 (問37)

主な介護者の性別は、「男性」が29.2%、「女性」が58.5%となっている。



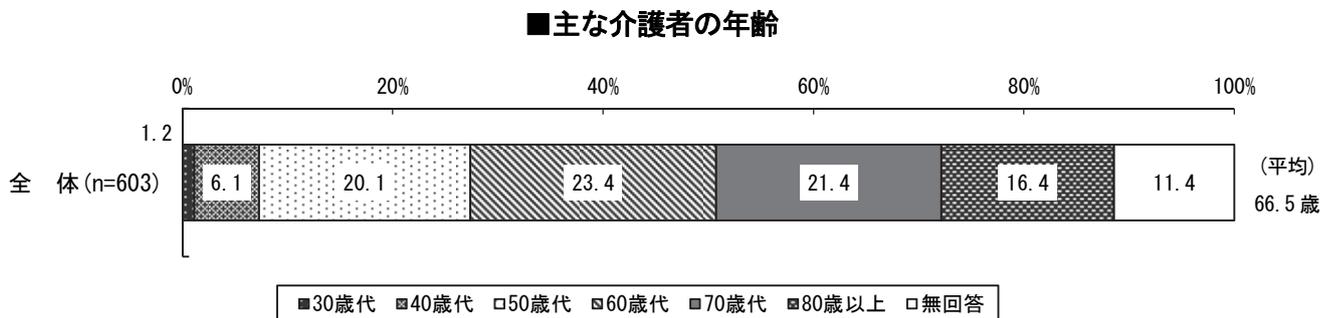
③ 主な介護者 (問38)

主な介護者は、「夫または妻」が38.3%と最も多く、「娘」が24.2%、「息子」が11.1%、「娘・息子の配偶者」が10.3%となっている。



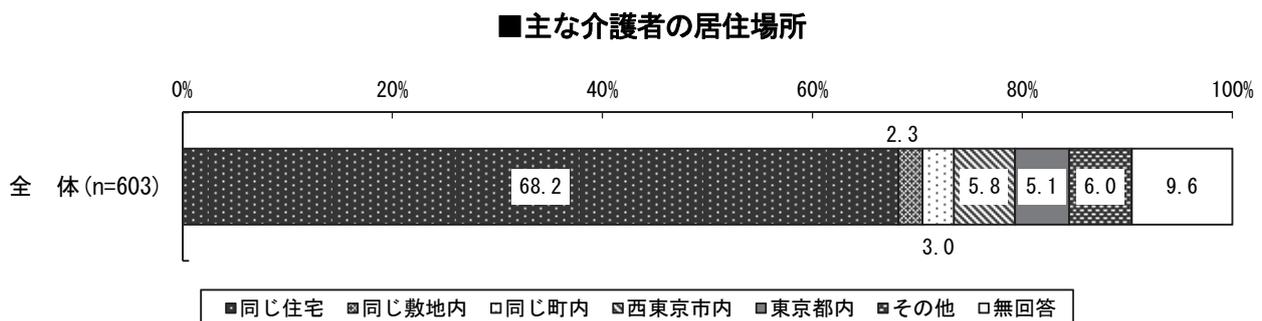
④ 主な介護者の年齢（問39）

主な介護者の年齢は、「60歳代」が23.4%と最も多く、次いで「70歳代」が21.4%、「50歳代」が20.1%、「80歳以上」が16.4%となっている。



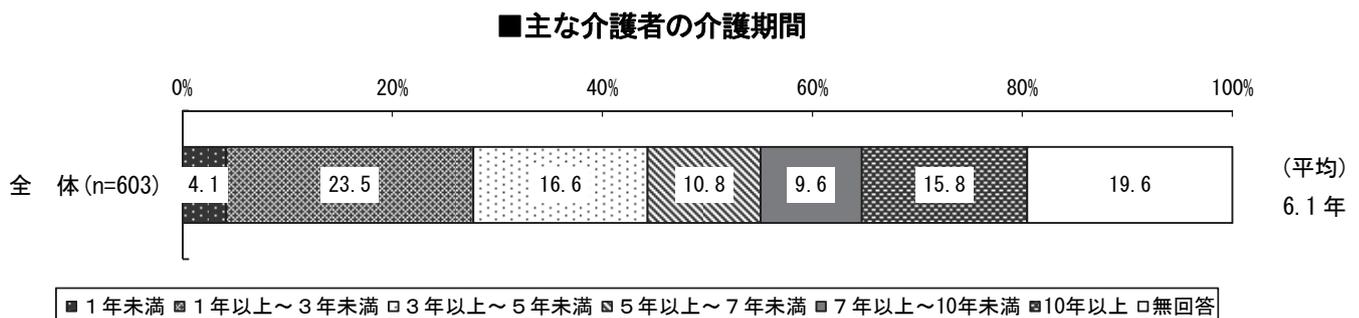
⑤ 主な介護者の居住場所（問40）

主な介護者の居住場所は、「同じ住宅」が最も多く68.2%、「西東京市内」が5.8%、「東京都内」が5.1%となっている。西東京市内合計（「同じ住宅」～「西東京市内」）は79.3%である。



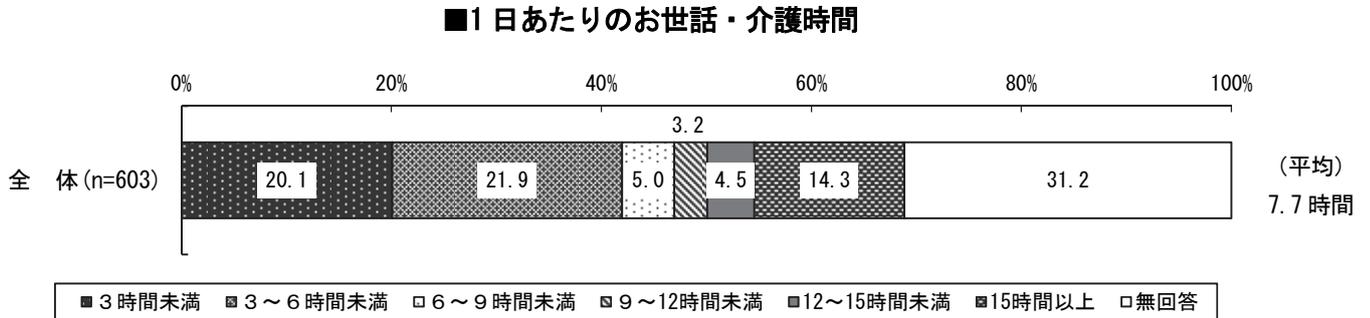
⑥ 主な介護者の介護期間（問41）

主な介護者の介護期間は、「1年以上～3年未満」が23.5%と最も多く、次いで「3年以上～5年未満」が16.6%、「10年以上」が15.8%、「5年以上～7年未満」が10.8%、「7年以上～10年未満」が9.6%、「1年未満」が4.1%と続いている。



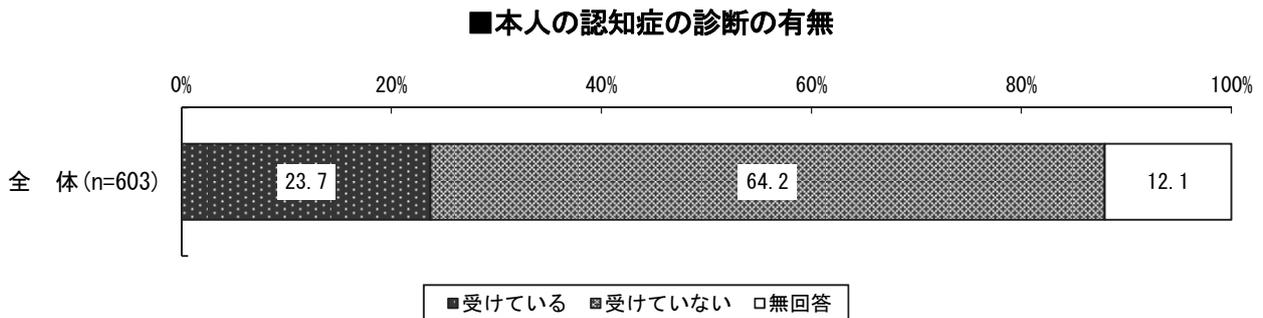
⑦ 1日あたりのお世話・介護時間（問42）

1日あたりのお世話・介護時間は、「3～6時間未満」が21.9%と最も多く、次いで「3時間未満」が20.1%、「15時間以上」が14.3%、「6～9時間未満」が5.0%、「12～15時間未満」が4.5%、「9～12時間未満」が3.2%と続いている。



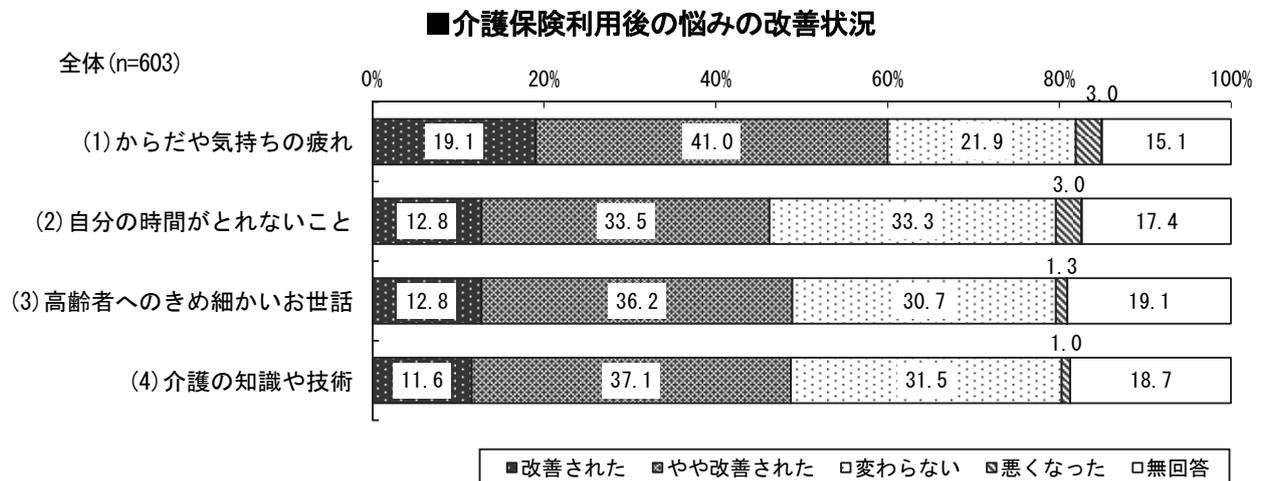
⑧ 本人の認知症の診断の有無（問43）

本人の認知症の診断の有無は、「受けている」が23.7%、「受けていない」が64.2%となっている。



⑨ 介護保険利用後の悩みの改善状況（問44）

介護保険利用後の悩みの改善状況は、「改善された」と「やや改善された」を合計した《改善された》が最も多いのは、『からだや気持ちの疲れ』（60.1%）であり、『高齢者へのきめ細かいお世話』（49.0%）、『介護の知識や技術』（48.7%）、『自分の時間がとれないこと』（46.3%）が続いている。



介護保険利用後の『からだや気持ちの疲れ』の改善状況を性・年代別にみると、《改善された》は、女性（57.9%）に比べて男性（63.9%）の方がやや高い割合となっている。また、男性・女性ともに85歳以上での《改善された》が高く、それぞれ68.0%、62.0%となっている。

**■介護保険利用後の悩みの改善状況 (1)からだや気持ちの疲れ
(要介護者：性・年代別)**

(%)

		改善された	やや改善された	変わらない	悪くなった	無回答
男性	男性 計 (n=208)	19.7	44.2	19.7	5.8	10.6
	65～74歳 (n=25)	20.0	44.0	20.0	8.0	8.0
	75～84歳 (n=97)	15.5	45.4	25.8	7.2	6.2
	85歳以上 (n=78)	23.1	44.9	12.8	3.8	15.4
	無回答 (n=8)	37.5	25.0	12.5	-	25.0
女性	女性 計 (n=387)	18.9	39.0	23.3	1.6	17.3
	65～74歳 (n=36)	16.7	38.9	36.1	2.8	5.6
	75～84歳 (n=146)	20.5	32.9	23.3	2.1	21.2
	85歳以上 (n=192)	17.7	44.3	20.8	0.5	16.7
	無回答 (n=13)	23.1	30.8	23.1	7.7	15.4

介護者の年代別にみると、《改善された》は、『64歳以下』（66.2%）と『65～74歳』（67.2%）が、『75～84歳』（57.8%）『85歳以上』（57.9%）に比べて高くなっている。「改善された」は『65～74歳』（9.9%）が低くなっている。

要支援・要介護度別にみると、《改善された》は、『要介護2』（68.7%）と『要介護5』（68.9%）が高く、『要支援1』（41.2%）と『要支援2』（46.1%）は低くなっている。

**■介護保険利用後の悩みの改善状況 (1)からだや気持ちの疲れ
(介護者：年代別、要介護者：要支援・要介護度別)**

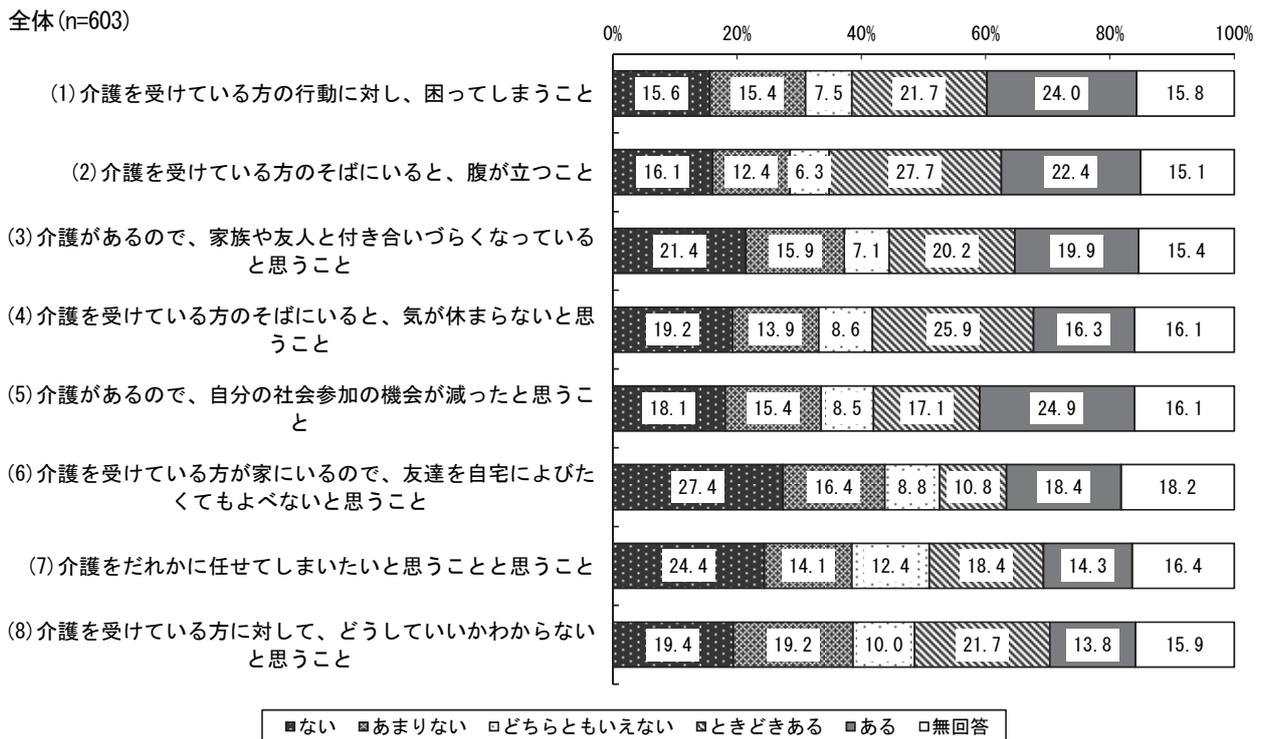
(%)

		改善された	やや改善された	変わらない	悪くなった	無回答
全体 (n=603)		19.1	41.0	21.9	3.0	15.1
の介護 年齢者	64歳以下 (n=237)	21.9	44.3	21.5	2.1	10.1
	65～74歳 (n=131)	9.9	57.3	21.4	2.3	9.2
	75～84歳 (n=128)	24.2	33.6	23.4	7.0	11.7
	85歳以上 (n=38)	23.7	34.2	21.1	2.6	18.4
現 在 の 要 介 護 支 度	要支援1 (n=68)	16.2	25.0	17.6	1.5	39.7
	要支援2 (n=76)	15.8	30.3	31.6	3.9	18.4
	要介護1 (n=127)	19.7	44.9	19.7	3.9	11.8
	要介護2 (n=144)	20.1	48.6	21.5	2.1	7.6
	要介護3 (n=90)	21.1	45.6	22.2	1.1	10.0
	要介護4 (n=47)	10.6	46.8	25.5	4.3	12.8
	要介護5 (n=29)	31.0	37.9	13.8	6.9	10.3

⑩ 介護負担（問45）

介護負担は、「ある」と「ときどきある」を合計した《ある》は、『介護を受けている方のそばにいと、腹が立つこと』が最も多く 50.1%、『介護を受けている方の行動に対し、困ってしまうこと』（45.7%）、『介護を受けている方のそばにいと、気が休まらないと思うこと』（42.2%）、『介護があるので、自分の社会参加の機会が減ったと思うこと』（42.0%）、『介護があるので、家族や友人と付き合いづらくなっていると思うこと』（40.1%）、『介護を受けている方に対して、どうしていいかわからないと思うこと』（35.5%）、『介護をだれかに任せてしまいたいと思うこと』（32.7%）、『介護を受けている方が家にいるので、友達を自宅によびたくてもよべないと思ったこと』（29.2%）が続いている。

■介護負担



⑪ 介護で一番困っていること（問46）

介護で一番困っていることについて、自由記述形式でうかがい、内容ごとに分類・整理を行った。主な意見は以下のとおりである。

（介護を受けている人の行動・症状）

- ・薬の飲み忘れが多い。
- ・黙って外に出るので、どこに行ったかわからず困る。
- ・十分な医療を受けてはいるが、主に心理的な原因で不調を訴える。また徐々に歩行が困難になってきており、気分の落ち込みがひどい時など、明るい話題に転換できない。
- ・認知症のため、食事をしたことを忘れ、食べていないと何回も食べたがる。同じことを何度も繰り返す。
- ・現状を理解できないのに自己主張が強く、思い通りにならないとイライラするのでなだめるのが難しい。

(自分の体調が不安)

- ・年齢的に体力がどこまで続くか心配である。
- ・老人が老人を介護しているので疲れる。

(自分の時間がない)

- ・自分の自由時間が無く、介護に専念するしかない。
- ・自分自身のために使える時間がない。

(精神的に疲れストレスがたまる)

- ・耳が遠いため意思の疎通がスムーズにいかなくなったり、本人が言ったことを言わなかったと否定したり、自分の思い込みで、決めつけたりされることなどで精神的に疲れる。

(外出できない(目が離せない))

- ・一日中、目が離せず、留守が心配である。
- ・本人が家に居る時は全く外出できないので、仕事、用事など全てとりやめて専念しなければならない。

(排泄について)

- ・トイレの使い方、大・小便の排泄の問題。
- ・真夜中のトイレ介助(24時間みるのは不可能なため)。

(サービスの内容について)

- ・デイに行っているが、家族が急に遅く帰宅することや、帰れない時に預かってくれるとよい。

(思うような介護ができない)

- ・仕事があるため、土曜日しか病院に付き添うことができない。平日に具合が悪くなくても我慢させてしまっているような気がする。薬が足りなくなることもある。

(経済的負担)

- ・年金が少なく医療費など経済的な負担がこれから心配である。
- ・介護度が低いので、サービスを多く受けると家計の負担が多い。

(家事が思うようにできない)

- ・電球の取り替えなど、高いところに手が届かない。
- ・歩行がままならないので、買物等がとても辛い。

(移動について)

- ・遠方の病院の付き添い、大学病院等の受け付け、支払い等、機械操作ができないので、付いてまわらなければならない。
- ・介護する側に都合が悪かったり、体調不良の時などに代わって通院に付き添ってもらえるような所がほしい。付き添い不可なら、タクシーの手配だけでもしてもらいたい。

(ケアマネ・ヘルパーに対する不満、要望)

- ・1時間ではヘルパーの時間が足りない。
- ・ヘルパーが若いので、人は良いが気が利かない。買物を頼むと、若い考え方で買ってくるので、量などで困る。

(緊急時の対応)

- ・自分も持病があり介護を受けており、不安を抱えながら介護している。他に頼れる人がいないので、もしものことを考えると不安である。

(施設入所について)

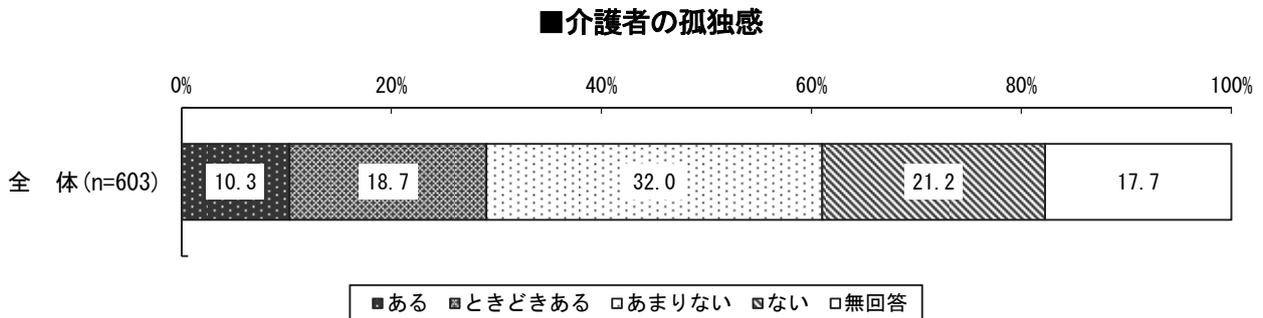
- ・介護者が私一人であり、本人は在宅を希望しているが限界を感じる。施設入所も待機者が多く、なかなか難しい。

(住居について)

- ・住宅にエレベーターがないので、具合が悪くなった時、降りることができなくなるので、手を貸してくれる所があればいいが、いつも不安である。

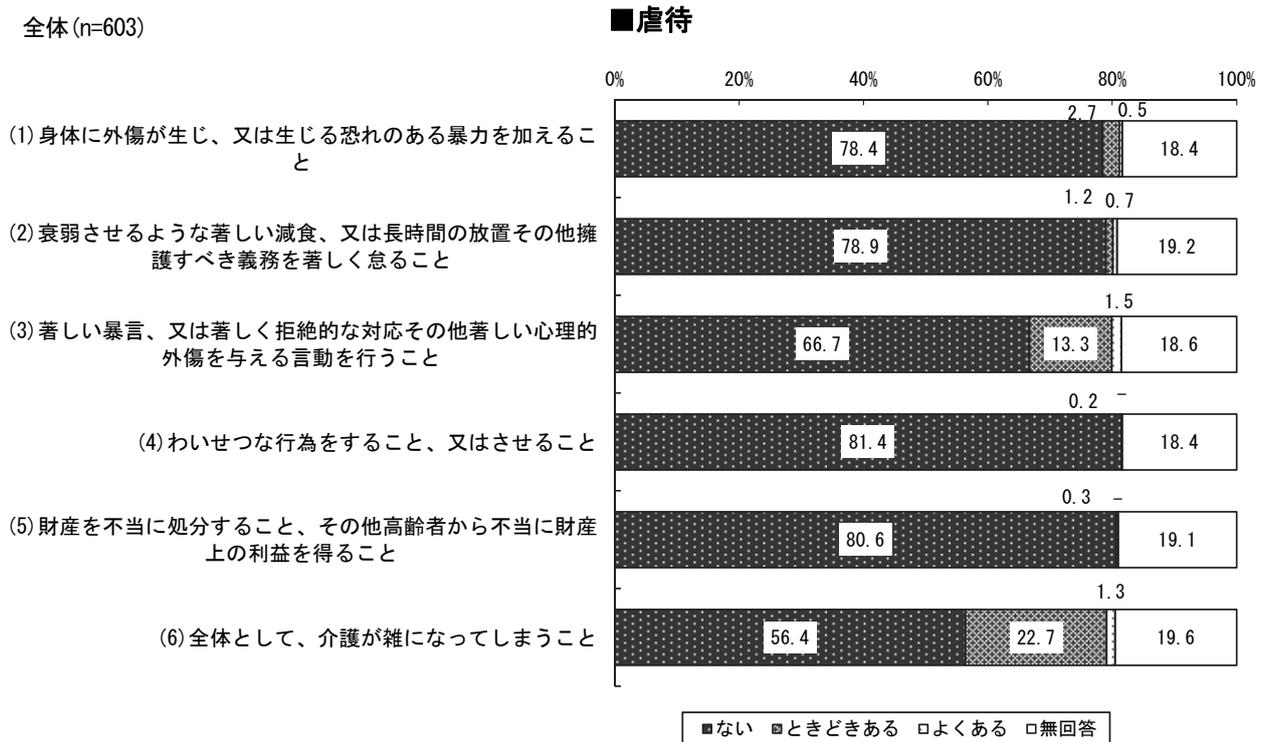
⑫ 介護者の孤独感（問47）

介護者の孤独感は、「ある」と「ときどきある」を合計した《ある》は29.0%であり、「ない」と「あまりない」を合計した《ない》は53.2%となっている。



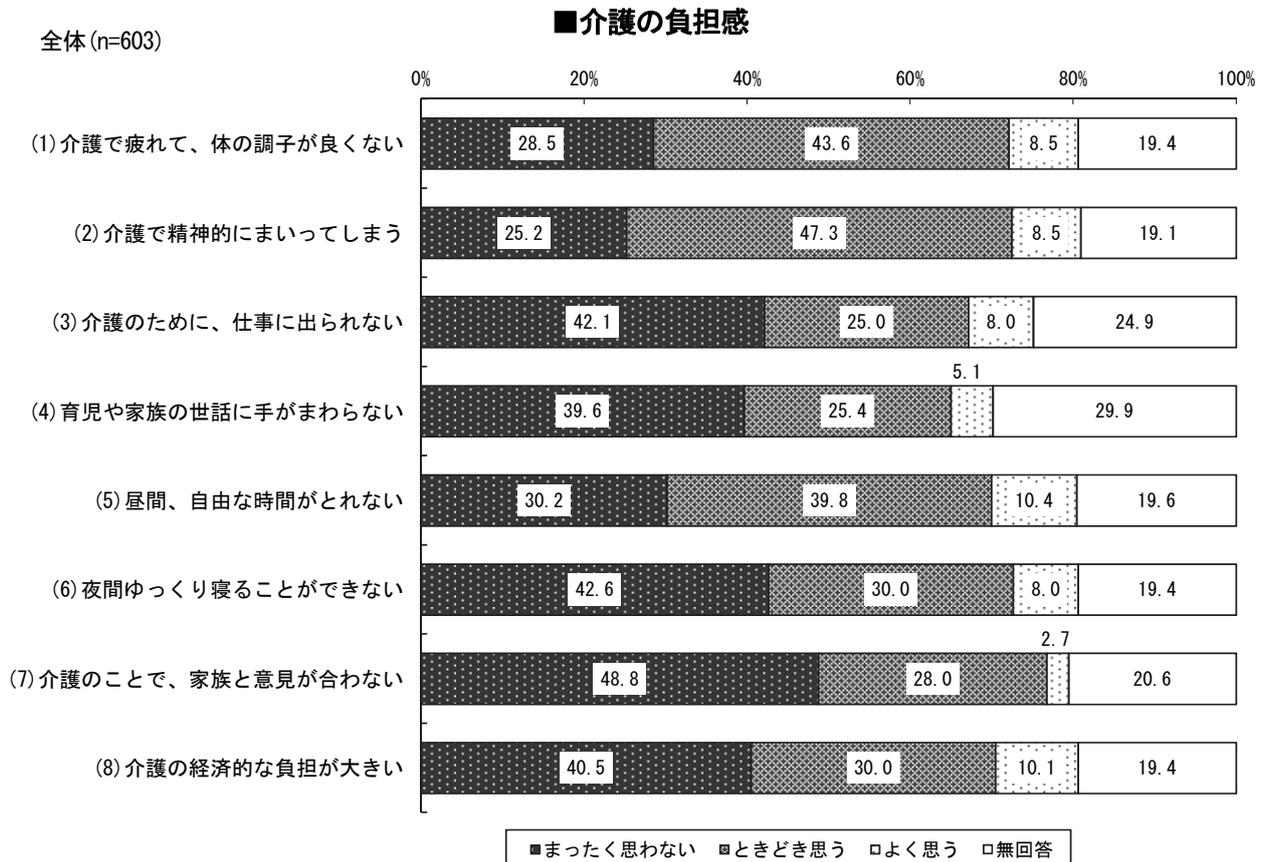
⑬ 虐待（問48）

虐待は、以下の6項目ともに「ない」が最も多いが、「よくある」と「ときどきある」を合計した《ある》に着目すると、『全体として、介護が雑になってしまうこと』が最も多く24.0%、『著しい暴言、又は著しく拒絶的な対応その他著しい心理的外傷を与える言動を行うこと』（14.8%）、『身体に外傷が生じ、又は生じる恐れのある暴力を加えること』（3.2%）が続いている。



⑭ 介護の負担感（問49）

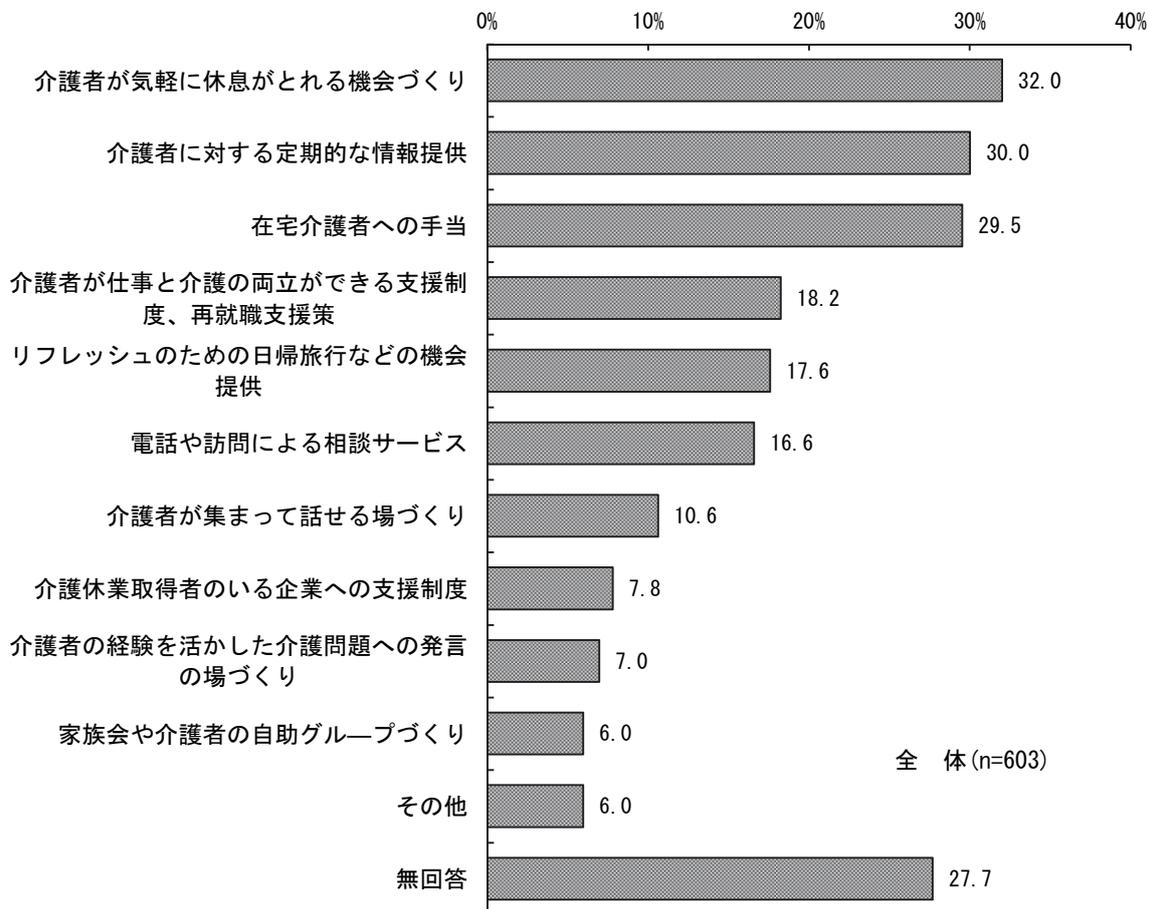
介護の負担感は、「よく思う」と「ときどき思う」を合計した《思う》は、『介護で精神的にまいってしまう』が最も多く55.8%、『介護で疲れて、体の調子が良くない』（52.1%）、『昼間、自由な時間がとれない』（50.2%）、『介護の経済的な負担が大きい』（40.1%）、『夜間ゆっくり寝ることができない』（38.0%）、『介護のために、仕事に出られない』（33.0%）、『介護のことで、家族と意見が合わない』（30.7%）、『育児や家族の世話に手がまわらない』（30.5%）が続いている。



⑮ 介護者の支援策で必要なもの（問50）

介護者の支援策として必要なものは、「介護者が気軽に休息がとれる機会づくり」が最も多く32.0%、次いで「介護者に対する定期的な情報提供」（30.0%）、「在宅介護者への手当」（29.5%）が続いている。

■介護者の支援策で必要なもの（複数回答）

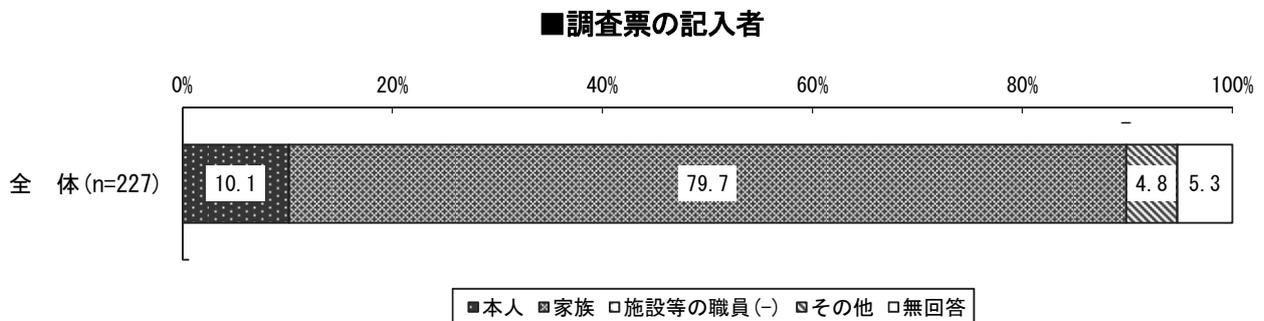


5. 介護保険施設サービス利用者調査

(1) 基本属性

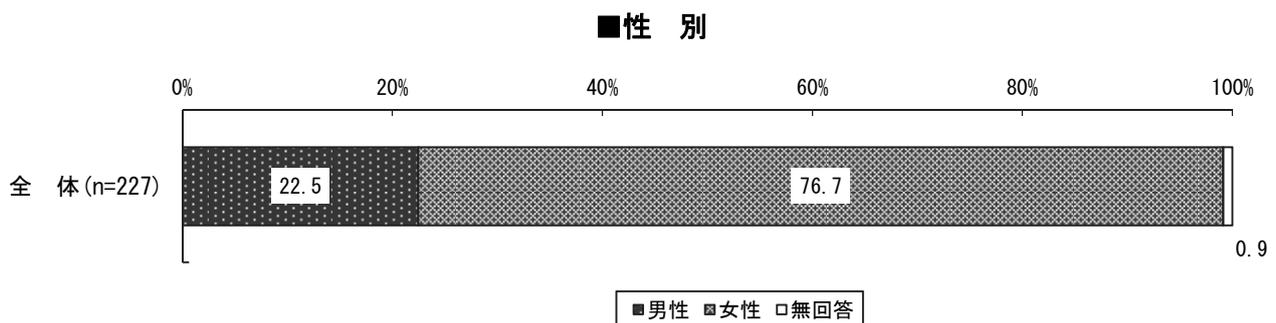
① 記入者（問1）

調査票の記入者は、「本人」が10.1%、「家族」が79.7%、「その他」が4.8%である。



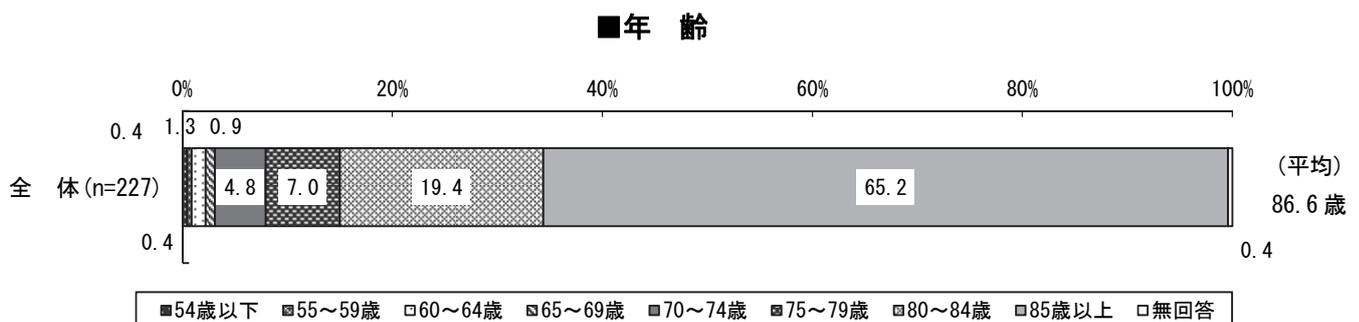
② 性別（問2）

性別は、「男性」が22.5%、「女性」が76.7%となっている。



③ 年齢（問3）

年齢は、「85歳以上」が最も多く65.2%、次いで「80～84歳」（19.4%）、「75～79歳」（7.0%）、「70～74歳」（4.8%）が続いている。また、前期高齢者は5.7%、後期高齢者は91.6%である。

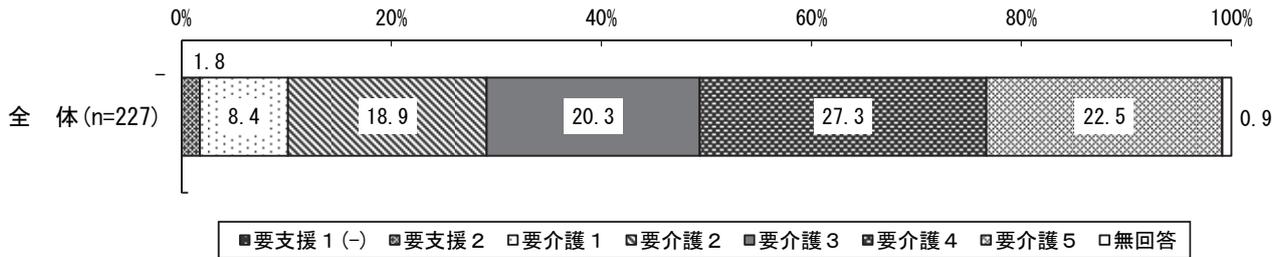


④ 要介護度（問4）

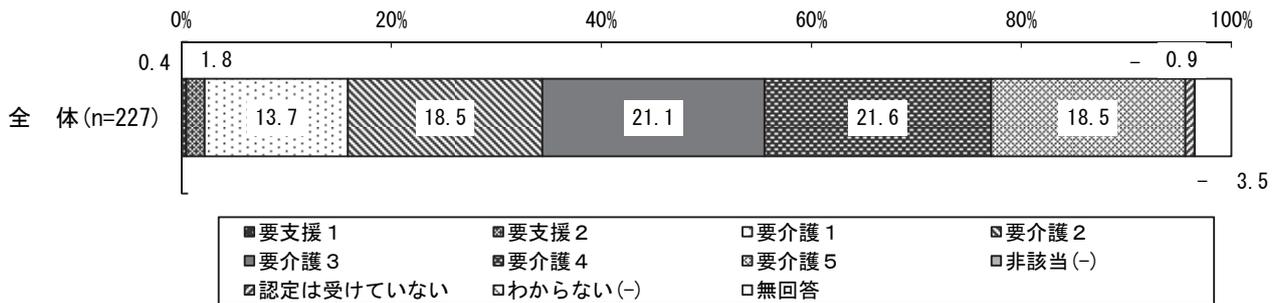
現在の要介護度は、「要介護4」が27.3%と最も多く、「要介護5」(22.5%)、「要介護3」(20.3%)、「要介護2」(18.9%)、「要介護1」(8.4%)、「要支援2」(1.8%)と続いている。

1年前の要介護度は、「要介護4」が21.6%と最も多く、「要介護3」(21.1%)、「要介護5」(18.5%)、「要介護2」(18.5%)、「要介護1」(13.7%)、「要支援2」(1.8%)、「要支援1」(0.4%)となっている。

■要介護度（平成26年2月現在）



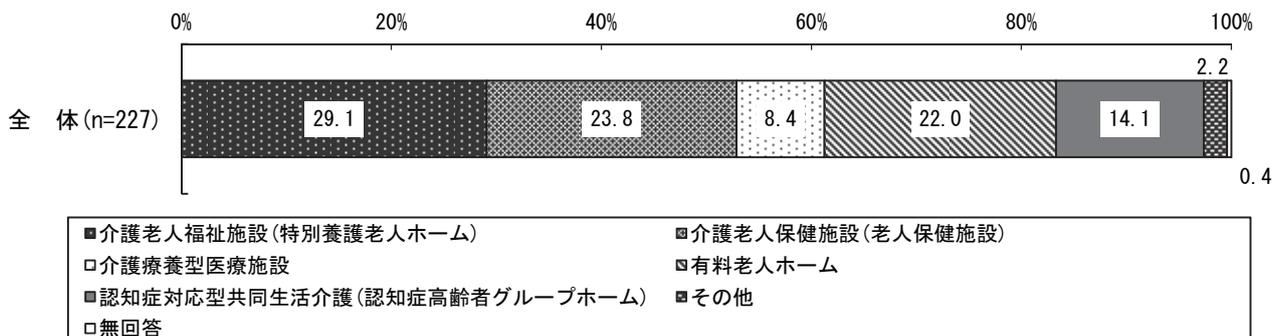
■要介護度（1年前の状況）



⑤ 入所施設の種類（問5）

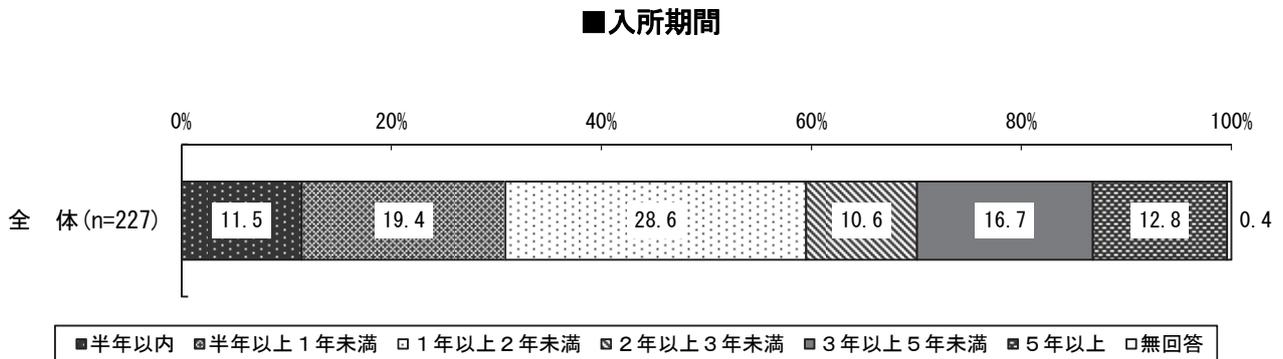
入所施設の種類は、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が最も多く29.1%、「介護老人保健施設（老人保健施設）」(23.8%)、「有料老人ホーム」(22.0%)、「認知症対応型共同生活介護（認知症高齢者グループホーム）」(14.1%)が続いている。

■入所施設の種類



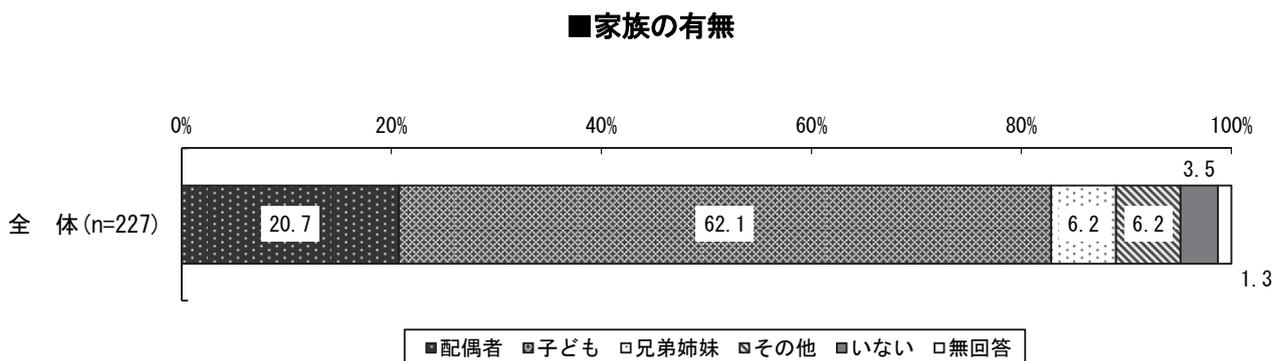
⑥ 入所期間（問6）

入所期間は、「1年以上2年未満」が最も多く28.6%、次いで「半年以上1年未満」（19.4%）、「3年以上5年未満」（16.7%）、「5年以上」（12.8%）と続いている。



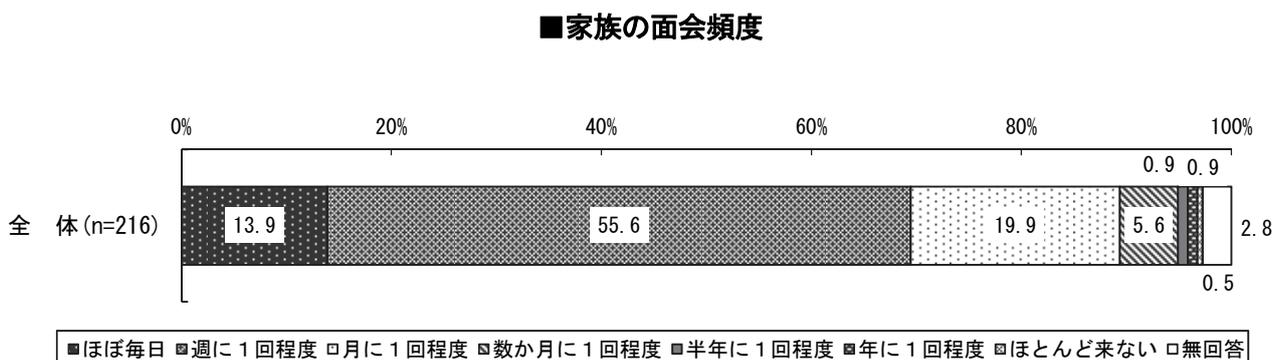
⑦ 家族の有無（問7）

家族の有無は、「子ども」が最も多く62.1%、次いで「配偶者」（20.7%）、「兄弟姉妹」（6.2%）が続いている。また、家族が「いない」が3.5%である。



⑧ 家族の面会頻度（問7-1）

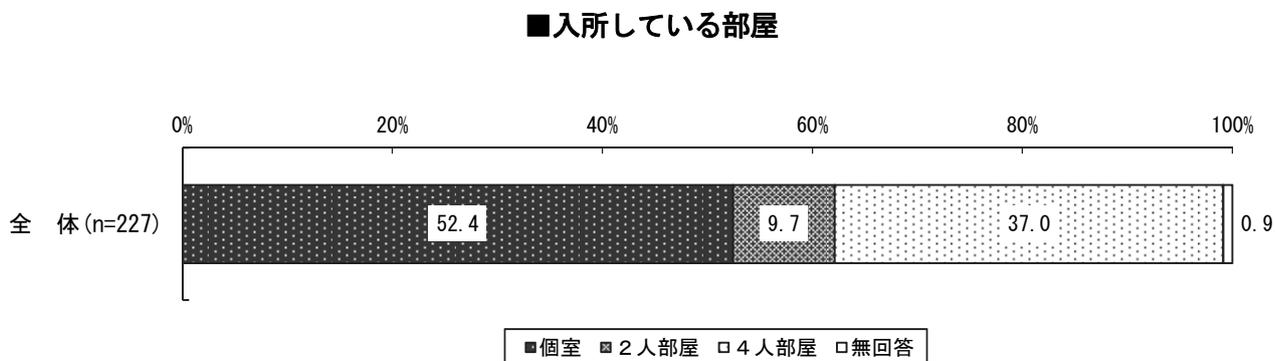
家族の面会頻度は、「週に1回程度」が最も多く55.6%、次いで「月に1回程度」（19.9%）、「ほぼ毎日」（13.9%）が続いている。



(2) 施設サービスの利用

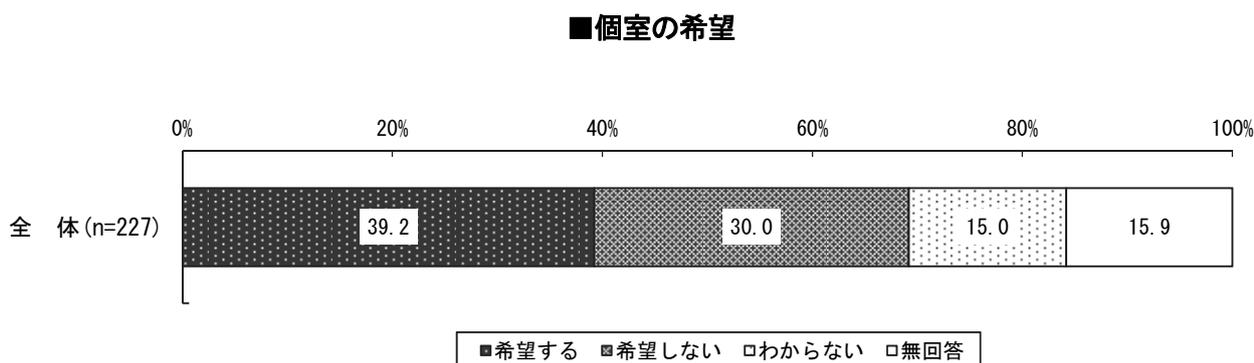
① 入所している部屋 (問8)

入所している部屋は、「個室」が最も多く 52.4%、次いで「4人部屋」(37.0%)、「2人部屋」(9.7%)が続いている。



② 個室の希望 (問9)

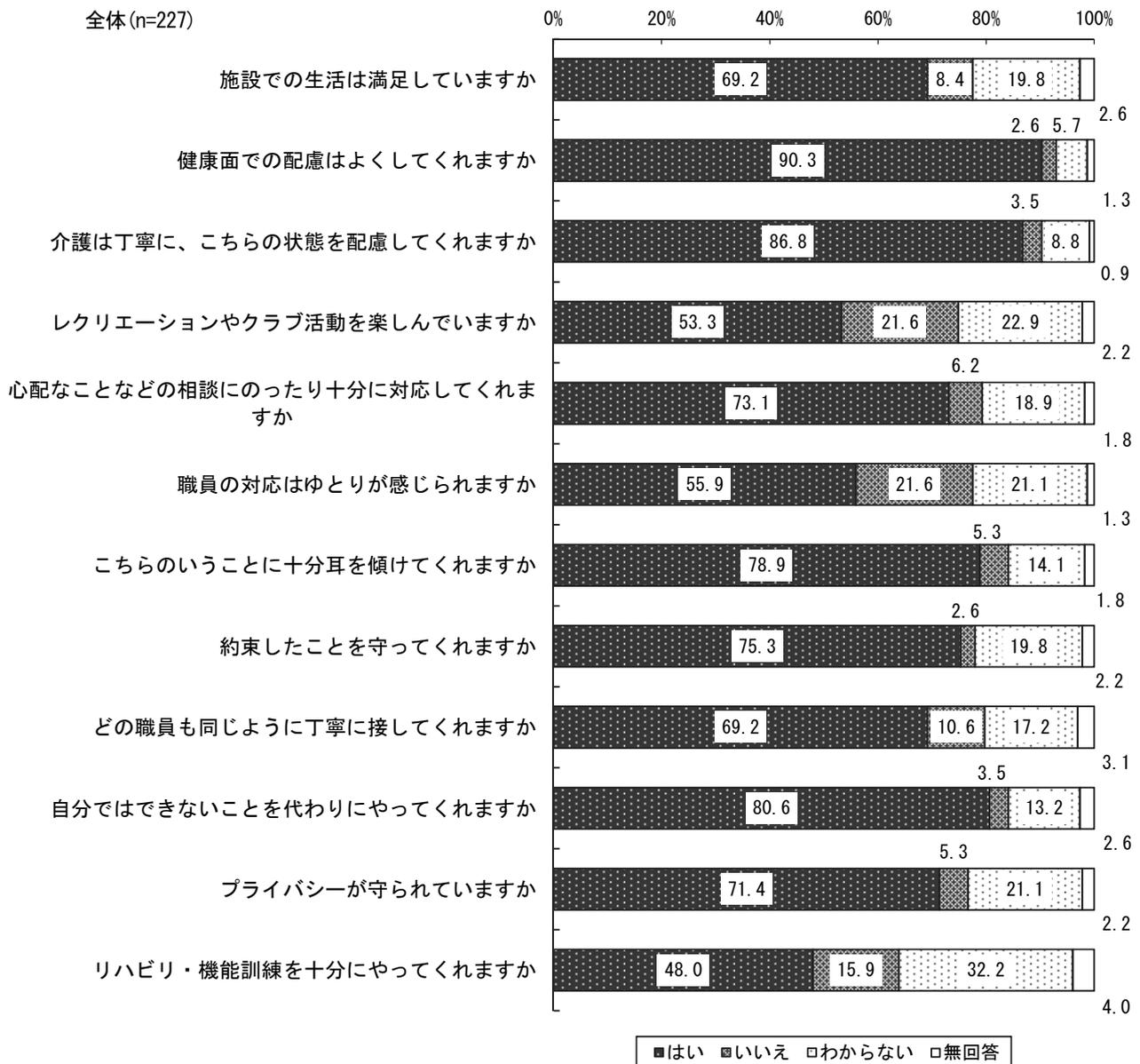
個室の希望は、「希望する」が 39.2%、「希望しない」が 30.0%である。



③ 入所している施設の評価（問10）

入所している施設の評価は、「はい」の割合は『健康面での配慮はよくしてくれますか』が最も多く90.3%、『介護は丁寧に、こちらの状態を配慮してくれますか』（86.8%）、『自分ではできないことを代わりにやってくれますか』（80.6%）、『こちらのいうことに十分耳を傾けてくれますか』（78.9%）、『約束したことを守ってくれますか』（75.3%）、『心配なことなどの相談にのったり十分に対応してくれますか』（73.1%）、『プライバシーが守られていますか』（71.4%）、『施設での生活は満足していますか』（69.2%）、『どの職員も同じように丁寧に接してくれますか』（ともに69.2%）が続いている。

■入所している施設の評価



第2章 各調査の結果

平成22年度調査と比較すると、「はい」の割合は12項目すべてで高くなっている。特に、『プライバシーが守られている』『こちらのいうことに十分耳を傾けてくれる』『介護は丁寧に、こちらの状態を配慮してくれる』が15.2ポイント以上高くなっている。

■入所している施設の評価【前回比較】

※「はい」の割合

(%)

	施設での生活は満足している	健康面での配慮はよくしてくれる	介護は丁寧に、こちらの状態を配慮してくれる	レクリエーションやクラブ活動を楽しんでいる	心配なことなどの相談にのったり十分にに対応してくれる	職員の対応はゆとりが感じられる	傾けてくれる	こちらのいうことに十分耳を傾けてくれる	約束したことを守ってくれる	どの職員も同じように丁寧に接してくれる	自分ではできないことを代わりにやってくれる	プライバシーが守られている	やりハビリ・機能訓練を十分にやってくれる
平成25年度調査 (n=227)	69.2	90.3	86.8	53.3	73.1	55.9	78.9	75.3	69.2	80.6	71.4	48.0	
平成22年度調査 (n=278)	61.5	76.3	71.6	39.6	59.7	48.2	62.2	62.9	57.6	67.6	52.9	43.9	

入所施設別にみると、「はい」の割合は介護老人福祉施設では『レクリエーションやクラブ活動を楽しんでいる』(37.9%)が、介護老人保健施設では『健康面での配慮はよくしてくれる』(79.6%)、『心配なことなどの相談にのったり十分にに対応してくれる』(57.4%)、『自分ではできないことを代わりにやってくれる』(68.5%)が全体よりも10ポイント以上低くなっている。認知症対応型共同生活介護は、『レクリエーションやクラブ活動を楽しんでいる』(81.3%)、『心配なことなどの相談にのったり十分にに対応してくれる』(87.5%)、『どの職員も同じように丁寧に接してくれる』(84.4%)、『自分ではできないことを代わりにやってくれる』(93.8%)、『プライバシーが守られている』(84.4%)の5項目で全体よりも10ポイント以上高くなっている。

■入所している施設の評価（施設別）

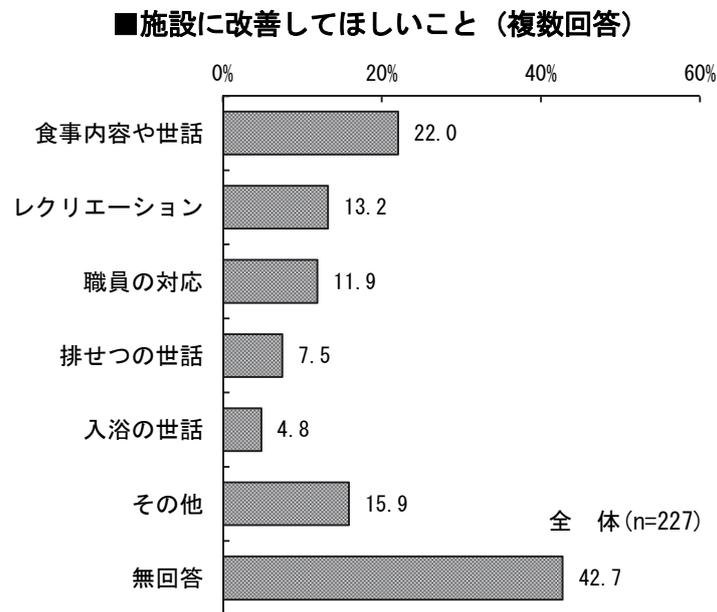
※「はい」の割合

(%)

	施設での生活は満足している	健康面での配慮はよくしてくれる	介護は丁寧に、こちらの状態を配慮してくれる	レクリエーションやクラブ活動を楽しんでいる	心配なことなどの相談にのったり十分にに対応してくれる	職員の対応はゆとりが感じられる	傾けてくれる	こちらのいうことに十分耳を傾けてくれる	約束したことを守ってくれる	どの職員も同じように丁寧に接してくれる	自分ではできないことを代わりにやってくれる	プライバシーが守られている	やりハビリ・機能訓練を十分にやってくれる
全 体 (n=227)	69.2	90.3	86.8	53.3	73.1	55.9	78.9	75.3	69.2	80.6	71.4	48.0	
施設別	介護老人福祉施設 (n= 66)	74.2	93.9	87.9	37.9	81.8	54.5	81.8	71.2	68.2	78.8	78.8	51.5
	介護老人保健施設 (n= 54)	63.0	79.6	81.5	61.1	57.4	46.3	70.4	72.2	61.1	68.5	59.3	48.1
	介護療養型医療施設 (n= 19)	57.9	84.2	84.2	31.6	73.7	73.7	73.7	78.9	63.2	73.7	63.2	68.4
	有料老人ホーム (n= 50)	66.0	94.0	88.0	54.0	68.0	58.0	80.0	76.0	72.0	90.0	68.0	36.0
	認知症対応型共同生活介護 (n= 32)	78.1	100.0	93.8	81.3	87.5	59.4	87.5	84.4	84.4	93.8	84.4	46.9

④ 施設に改善してほしいこと（問11）

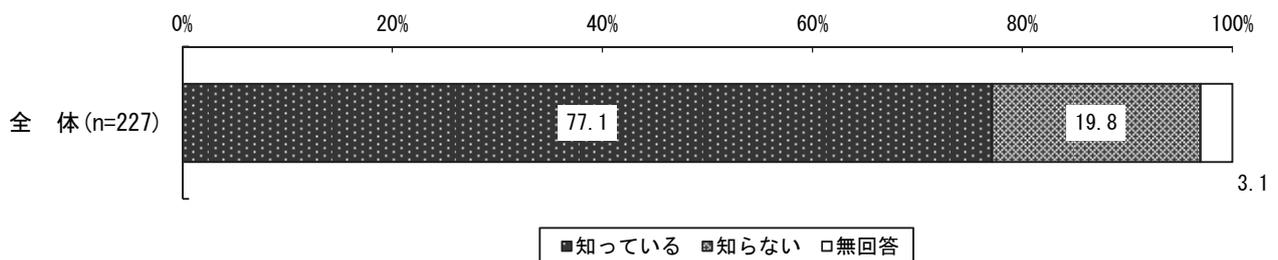
施設に改善してほしいことは、「食事内容や世話」が最も多く 22.0%、「レクリエーション」(13.2%)、「職員の対応」(11.9%)、「排せつの世話」(7.5%)が続いている。



⑤ 施設を利用する際に作成した施設サービス計画（ケアプラン）の認知（問12）

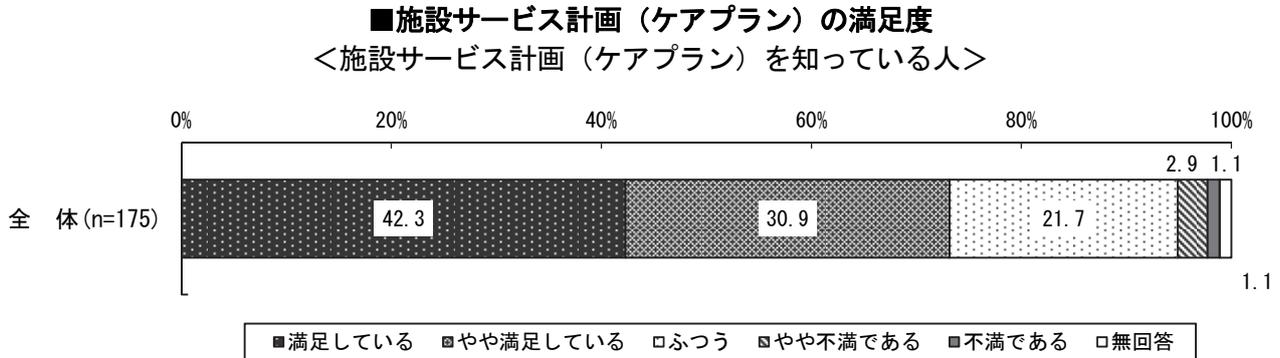
施設を利用する際に作成した施設サービス計画（ケアプラン）の認知は、「知っている」が 77.1%、「知らない」が 19.8%となっている。

■施設を利用する際に作成した施設サービス計画（ケアプラン）の認知



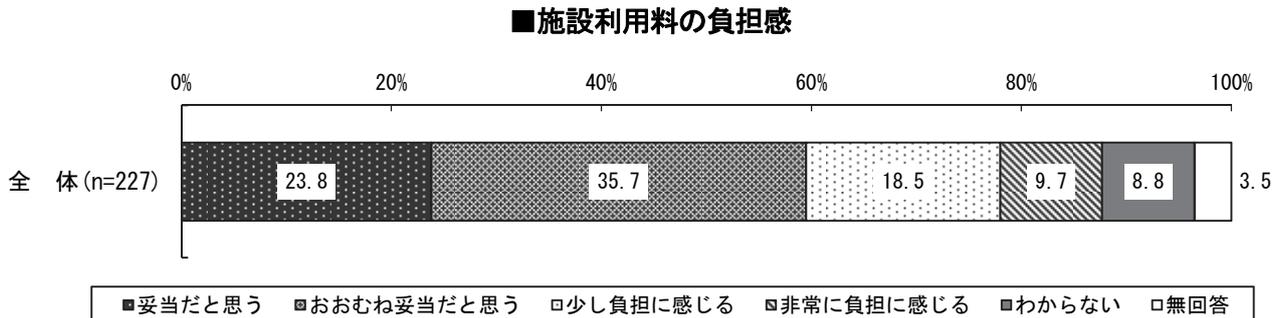
⑥ 施設サービス計画（ケアプラン）の満足度（問12-1）

施設サービス計画（ケアプラン）を知っている人の満足度は、「満足している」が42.3%、「やや満足している」が30.9%、「ふつう」が21.7%、「やや不満である」が2.9%、「不満である」が1.1%となっている。



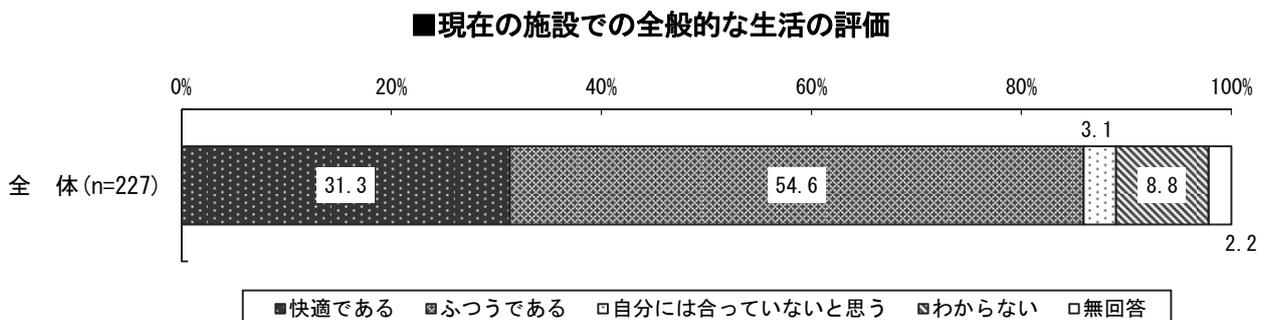
⑦ 施設利用料の負担感（問13）

施設利用料の負担感は、「妥当だと思う」が23.8%、「おおむね妥当だと思う」が35.7%、「少し負担に感じる」が18.5%、「非常に負担に感じる」が9.7%となっている。



⑧ 現在の施設での全般的な生活の評価（問14）

現在の施設での全般的な生活の評価は、「快適である」が31.3%、「ふつうである」が54.6%、「自分には合っていないと思う」が3.1%となっている。

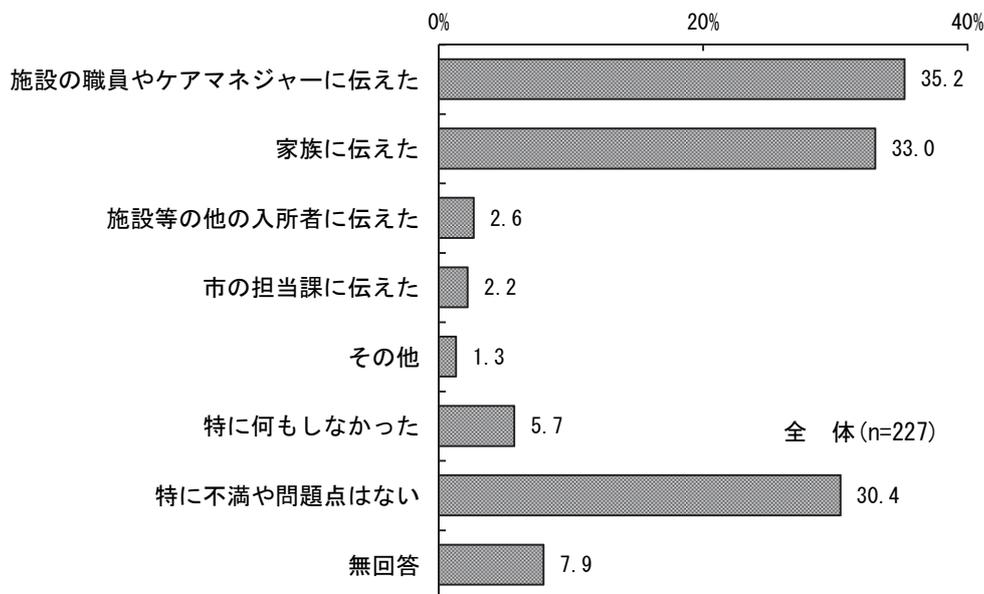


(3) サービスの要望や苦情

① サービスの不満や問題点を伝えた相手（問15）

サービスの不満や問題点を伝えた相手は、「施設の職員やケアマネジャーに伝えた」が35.2%と最も多く、「家族に伝えた」が33.0%となっている。一方、「特に不満や問題点はない」は30.4%、「特に何もしなかった」が5.7%となっている。

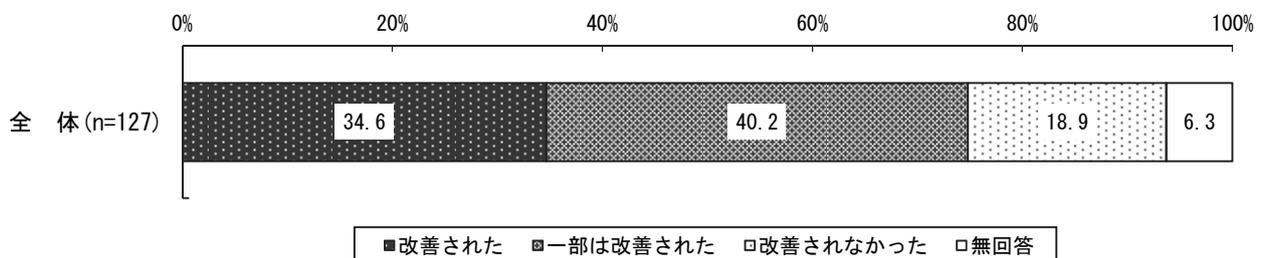
■サービスの不満や問題点を伝えた相手（複数回答）



② 不満や問題点の改善状況（問15-1）

サービスの不満や問題点を伝えた相手を回答した人に、不満や問題点の改善状況をたずねたところ、「改善された」が34.6%、「一部は改善された」が40.2%、「改善されなかった」が18.9%となっている。

■不満や問題点の改善状況
 <サービスの不満や問題点を伝えた人>

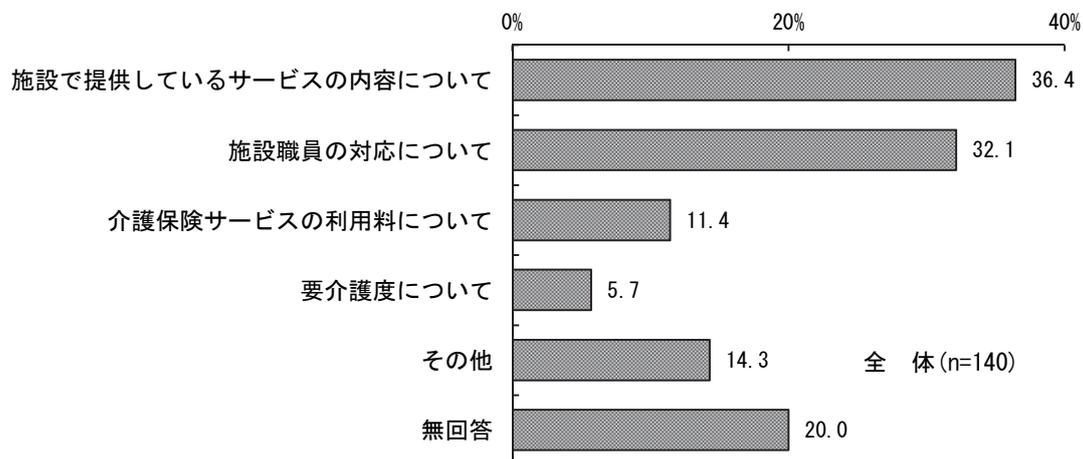


③ 不満や問題点の具体的内容（問15-2）

サービスの不満や問題点を伝えた人に、不満や問題点の具体的内容をたずねたところ、「施設で提供しているサービスの内容について」が最も多く36.4%、「施設職員の対応について」（32.1%）、「介護保険サービスの利用料について」（11.4%）が続いている。

■不満や問題点の具体的内容（複数回答）

＜サービスの不満や問題点を伝えた人＞

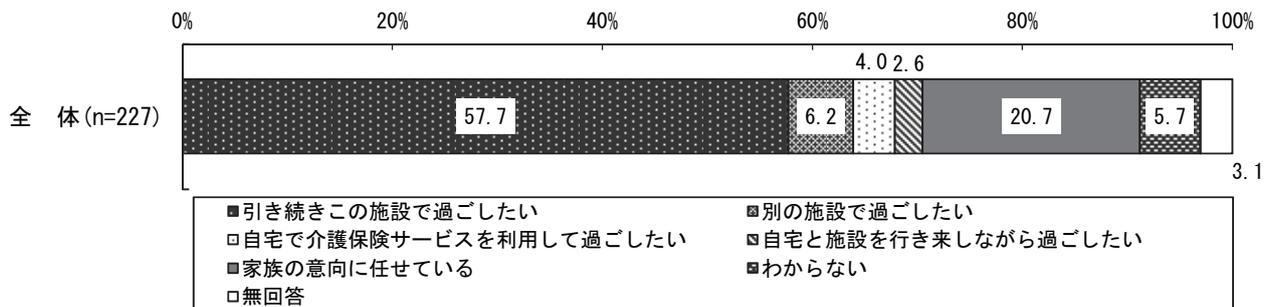


(4) 今後の過ごし方

① 今後生活したい場所（問16）

今後生活したい場所は、「引き続きこの施設で過ごしたい」が57.7%、「別の施設で過ごしたい」が6.2%、「自宅で介護保険サービスを利用して過ごしたい」が4.0%、「自宅と施設を行き来しながら過ごしたい」が2.6%、「家族の意向に任せている」が20.7%となっている。

■今後生活したい場所



平成22年度調査と比較すると、「引き続きこの施設で過ごしたい」が8.4ポイント高くなっている。

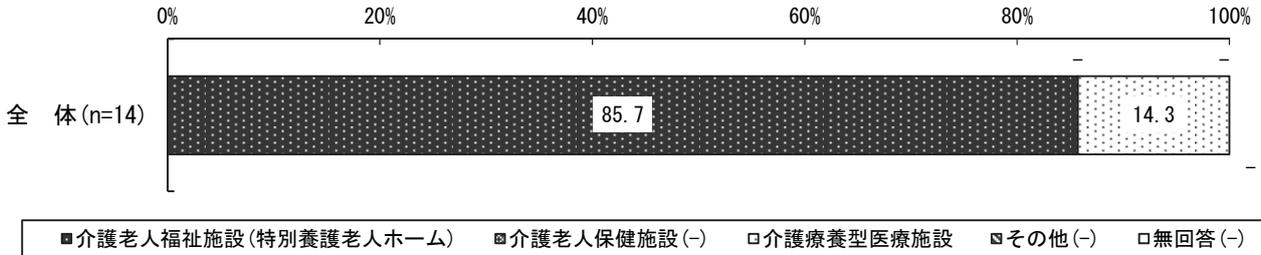
■今後生活したい場所【前回比較】

	(%)						
	引き続きこの施設で過ごしたい	別の施設で過ごしたい	自宅で介護保険サービスを利用して過ごしたい	自宅と施設を行き来しながら過ごしたい	家族の意向に任せている	わからない	無回答
平成25年度調査 (n=227)	57.7	6.2	4.0	2.6	20.7	5.7	3.1
平成22年度調査 (n=278)	49.3	8.3	4.7	2.9	13.3	7.2	14.4

② 今後は別の施設で過ごしたい人が希望する施設の種類の種類（問16-1）

今後、別の施設で過ごしたいと回答した人が希望する施設の種類の種類は、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が最も多く85.7%、「介護療養型医療施設」（14.3%）が続いている。一方、「介護老人保健施設（老人保健施設）」は皆無となっている。

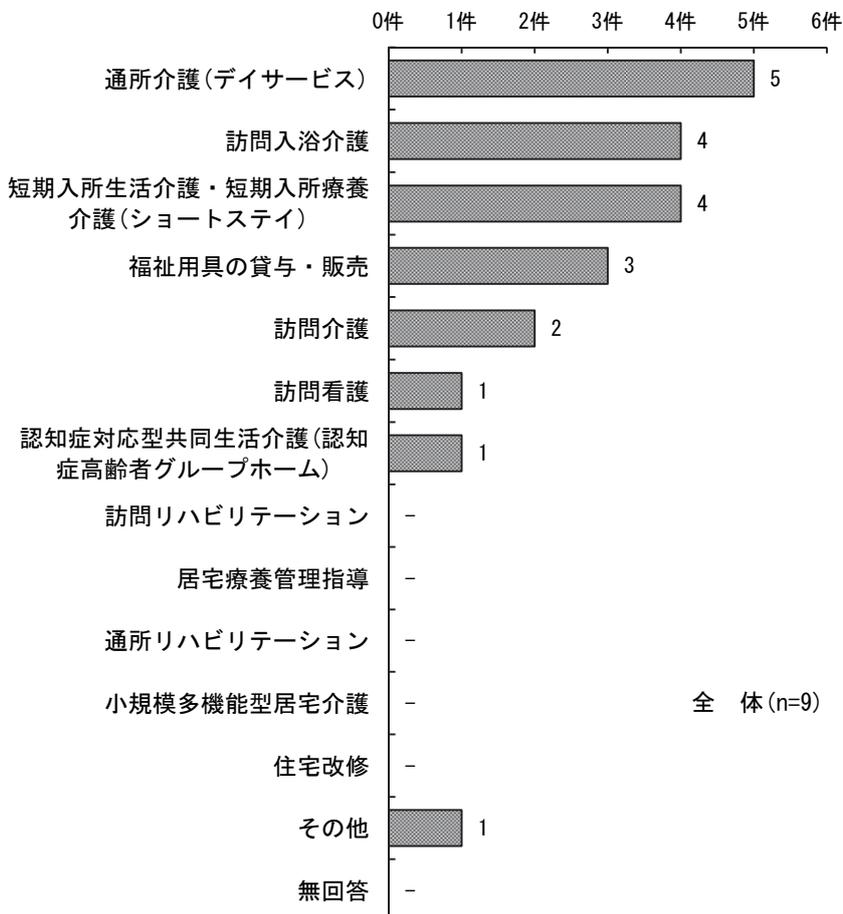
■今後は別の施設で過ごしたい人が希望する施設の種類の種類
 <今後、別の施設で過ごしたいと回答した人>



③ 今後は自宅で過ごしたい人が希望する介護保険サービスの種類（問16-2）

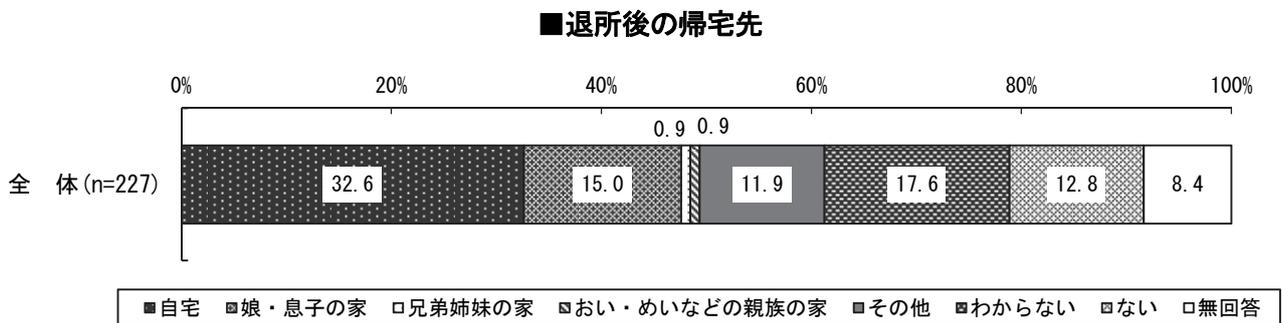
今後、自宅で介護保険サービスを利用して過ごしたいと回答した人の希望する介護保険サービスは、「通所介護（デイサービス）」が最も多く5件、「訪問入浴介護」「短期入所生活介護・短期入所療養介護（ショートステイ）」（ともに4件）が続いている。

■今後は自宅で過ごしたい人が希望する介護保険サービスの種類（複数回答）
 <今後、自宅で介護保険サービスを利用して過ごしたいと回答した人>



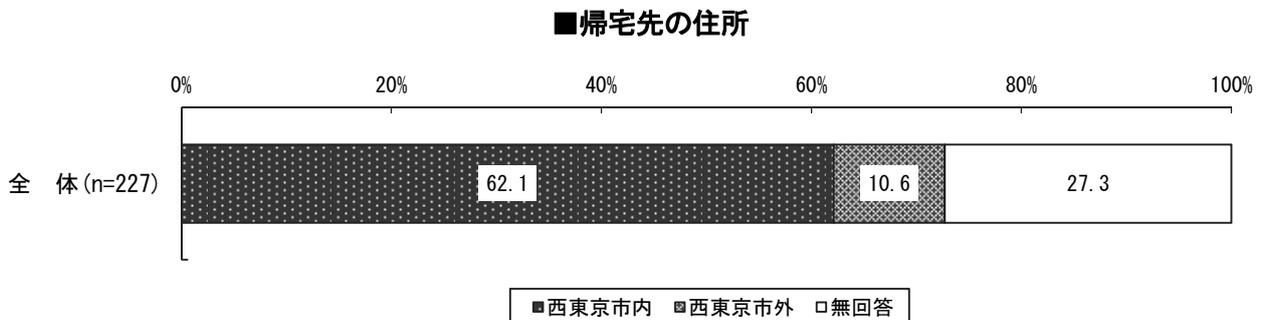
④ 退所後の帰宅先（問17）

退所後の帰宅先は、「自宅」が32.6%と最も多く、次いで「娘・息子の家」が15.0%となっている。一方、「わからない」が17.6%、「ない」が12.8%となっている。



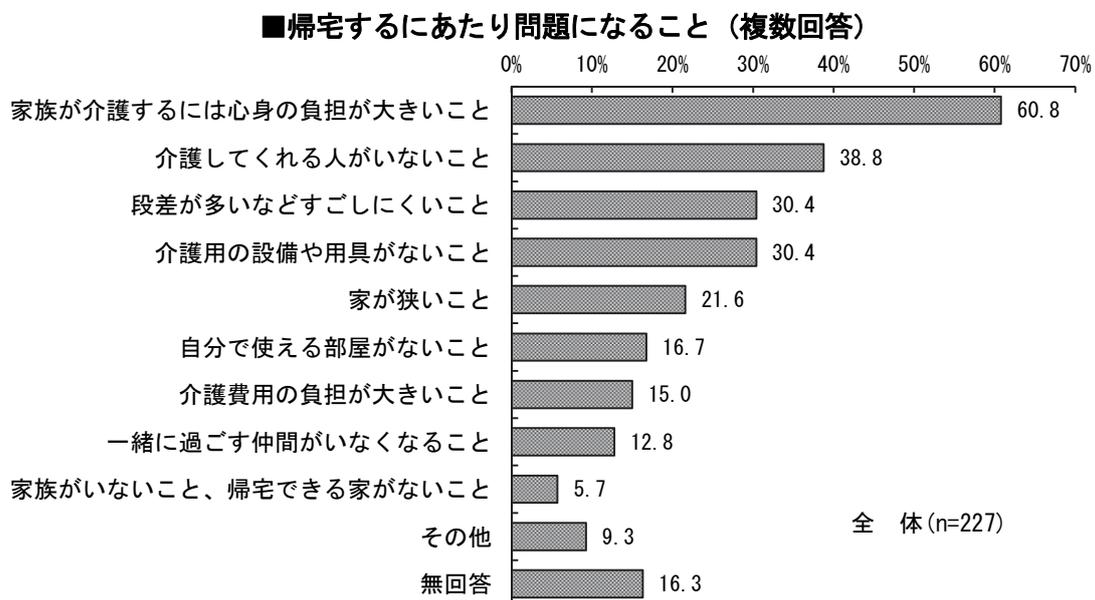
⑤ 帰宅先の住所（問18）

帰宅先の住所は、「西東京市内」が62.1%、「西東京市外」が10.6%となっている。



⑥ 帰宅するにあたり問題になること（問19）

帰宅するにあたって問題になることは、「家族が介護するには心身の負担が大きいこと」が最も多く60.8%、「介護してくれる人がいないこと」(38.8%)、「段差が多いなどすごしにくいこと」「介護用の設備や用具がないこと」(ともに30.4%)が続いている。

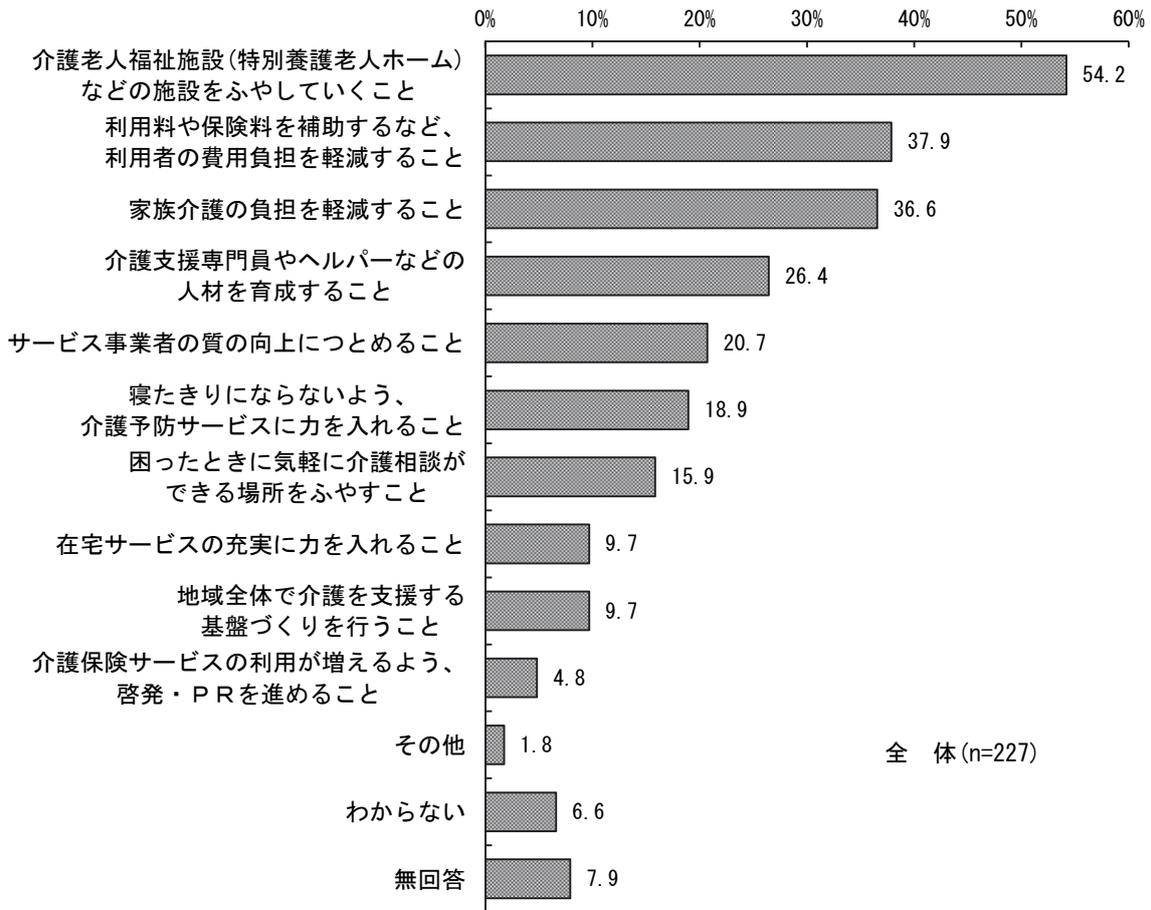


(5) 市への要望

① 介護保険制度をよりよくするために市が力を入れるべきこと (問20)

介護保険制度をよりよくするために市が力を入れるべきことは、「介護老人福祉施設などの施設をふやしていくこと」が最も多く 54.2%、次いで「利用者の費用負担を軽減すること」(37.9%)、「家族介護の負担を軽減すること」(36.6%)、「介護支援専門員やヘルパーなどの人材を育成すること」(26.4%)、「サービス事業者の質の向上につとめること」(20.7%)が続いている。

■介護保険制度をよりよくするために市が力を入れるべきこと (複数回答 (3つまで))



平成22年度調査と比較すると、「利用者の費用負担を軽減すること」が7.3ポイント、「介護支援専門員やヘルパーなどの人材を育成すること」が6.3ポイント高くなっている。

■介護保険制度をよりよくするために市が力を入れるべきこと (複数回答 (3つまで)) 【前回比較】

	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)などの施設をふやしていくこと	利用料や保険料を補助するなど、利用者の費用負担を軽減すること	家族介護の負担を軽減すること	介護支援専門員やヘルパーなどの人材を育成すること	サービス事業者の質の向上につとめること	寝たきりにならないよう、介護予防サービスに力を入れること	困ったときに気軽に介護相談ができる場所をふやすこと	在宅サービスの充実に力を入れること	地域全体で介護を支援する基盤づくりを行うこと	介護保険サービスの利用が増えるよう、啓発・PRを進めること	その他	わからない	無回答
平成25年度調査 (n=227)	54.2	37.9	36.6	26.4	20.7	18.9	15.9	9.7	9.7	4.8	1.8	6.6	7.9
平成22年度調査 (n=278)	55.4	30.6	34.2	20.1	16.2	15.1	16.5	8.6	14.0	3.2	1.8	5.8	20.5

② 高齢者保健福祉サービス、介護保険制度への意見・要望（問21）

高齢者保健福祉サービス、介護保険制度について、自由記述形式でうかがい、内容ごとに分類・整理を行った。主な意見は以下のとおりである。

（介護予防の推進）

- ・寝たきり予防や健康維持のため、身近なところで軽体操や集まれる場所があったら良い。
- ・介護保険を申請する以前の高齢者のための介護予防にも力を入れていただきたい。

（介護保険サービスの充実）

- ・介護保険料は年金から天引きされるが、施設に入りたい時は満員で入れない、3か月経過したので出してくれなど、サービス面で不満がある。
- ・サービス内容が具体的に説明されると良い。
- ・訪問看護の利用料が高額なため、自己負担が払えないと利用できない。
- ・今後、施設を退所した場合、配偶者の在宅介護ではリスクが多いこと。また、長女が他県に居住しているが、介護が困難であることから、長期の高齢者福祉サービスや介護保険サービスを活用したいと望む。

（施設サービスの充実）

- ・介護施設が少なすぎて入所があまりにも困難。
- ・気がねなく生活ができるよう、介護保険施設を増やしてほしい。
- ・入所者の健康状態によって運動、趣味（音楽、物づくり、人形劇、朗読）など、豊かな1日を過ごせるような施設で良いと思う。
- ・年金の金額に応じて施設の料金が決まっていて、月々18万ぐらいかかるので家族の負担が大きく大変。
- ・特養を何年待っても入所できないので何とかしてほしい。
- ・個室の金額が高いのか、多床室に入りたくても、順番待ちでなかなか入れない。空いている個室を改修して多床室を増やしてほしい。
- ・市民が自分のまちで十分な介護を受けられず、遠い他県まで施設を探して入所しなければならないことはとても悲しい。早く自分のまちの施設に入所できるようにしてほしい。
- ・特別養護老人ホームに申し込んで3年になる。要介護4なのに入れない。いつになったら入れるのか、いつ介護老人保健施設を出されるのか不安である。家族も、本人も、この不安が精神的に辛い。
- ・介護士の負担をできるかぎり軽減できるよう、施設や機具（器具）の改善も必要かと思う。

（人材の確保と処遇改善）

- ・有能なケアマネや職員を育ててほしいことと特養での人手不足を解消してほしい。
- ・介護職員の待遇を改善してほしい。それが、ひいてはサービスの向上につながる。
- ・介護人材の絶対数が足りない。
- ・訪問介護事業者に質の低いヘルパーが多い。
- ・スタッフの人達が辞めてしまうのは、その仕事に対する賃金があまりにも低いからである。一生懸命仕事をしている人達の頑張る力を削がないよう処遇を改善してほしい。
- ・職員数を最低限にして運営しているから、手がまわらず危険な時がある。賃金の問題や人数を増やさなければ、なかなか問題は解決しない気がする。

（介護保険制度の適切な運営）

- ・今後の高齢化の進行に対応するためには、重度の要介護者をより重点的にサポートするよう、制度を見直すべきと思う（要支援、軽度認定者は、地域における自助、共助（互助）の仕組み）。
- ・少しでも費用負担を軽減できる介護保険制度を考えてほしい。
- ・平成27年度より自己負担が2割。預貯金や資産があると施設入所の減免が受けられないようになるという法改正には絶対反対。この減免がなくなると特養や老健が、民間の老人ホームとあまり変わらなくなり、収入のない高齢者にとっては入所できなくなる。
- ・年金生活にとって保険料が上がっていくのは生活に響く。

(情報発信の充実)

- ・特養の申込をしても各施設の情報がかくわからない。各施設の状況を市で把握し地域包括支援センターで即答できるようにしてほしい。

(相談体制の充実)

- ・施設での事故(骨折など)の対応や責任の所在などについて、相談できる窓口を設置してほしい。

(高齢者を地域で支えるまちづくり)

- ・一人暮らしの高齢者が、できるだけ外に出られるように声かけする人を増やし、孤独から守ってあげられたら良い。

(質の向上)

- ・ある程度マニュアルどおりの介護サービスになることは仕方ないが、一人ひとりの状態に応じたきめ細かいサービスをしてほしい。
- ・母が利用している老人施設に満足しているが、寝たきりや認知症にならないよう、運動や文化活動の場を創設してほしい。
- ・ヘルパー等はギリギリの人数で働いているので、利用者には十分手をかけられないのではないかと思う。

(経済的負担の軽減)

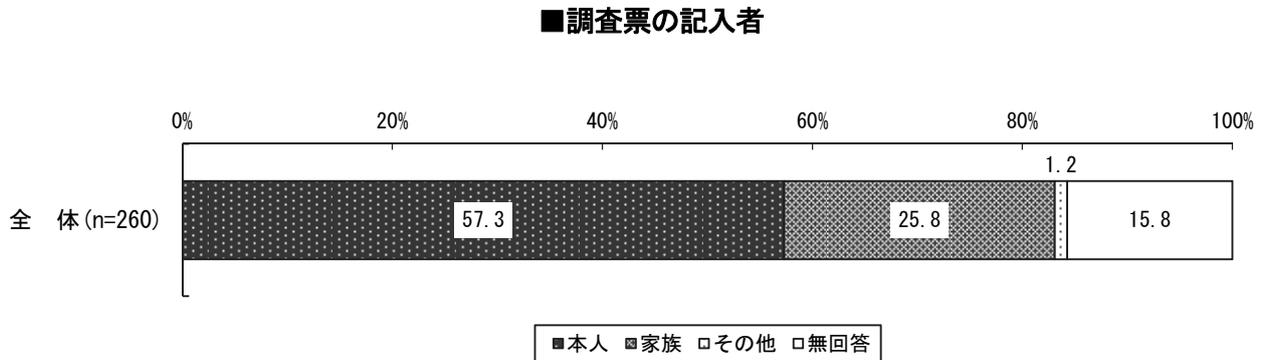
- ・利用者の負担を減らしてほしい。

6. 介護保険サービス未利用者調査

(1) 基本属性

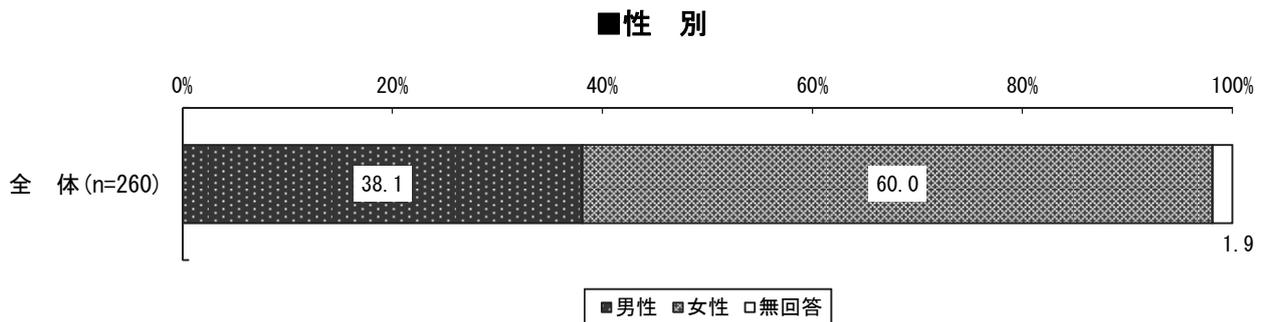
① 調査票の記入者（問1）

調査票の記入者は、「本人」が57.3%、「家族」が25.8%、「その他」が1.2%である。



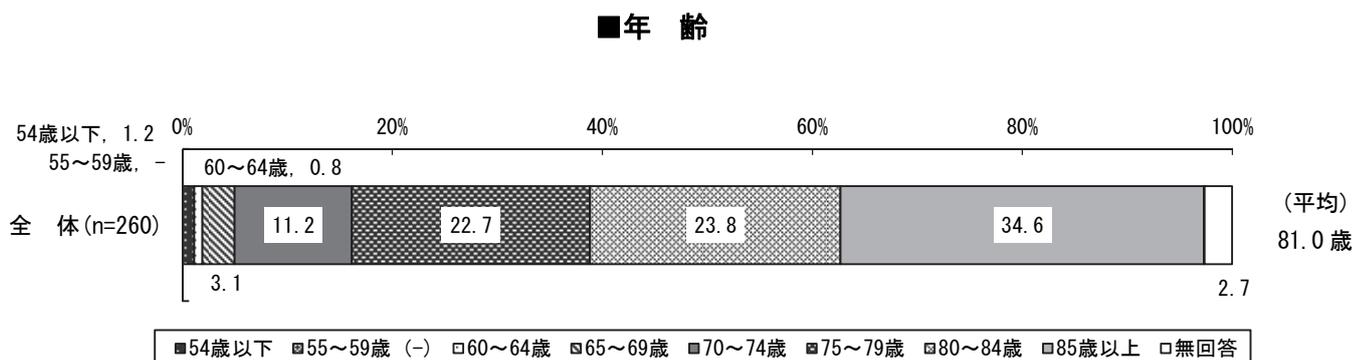
② 性別（問2）

性別は、「男性」が38.1%、「女性」が60.0%となっている。



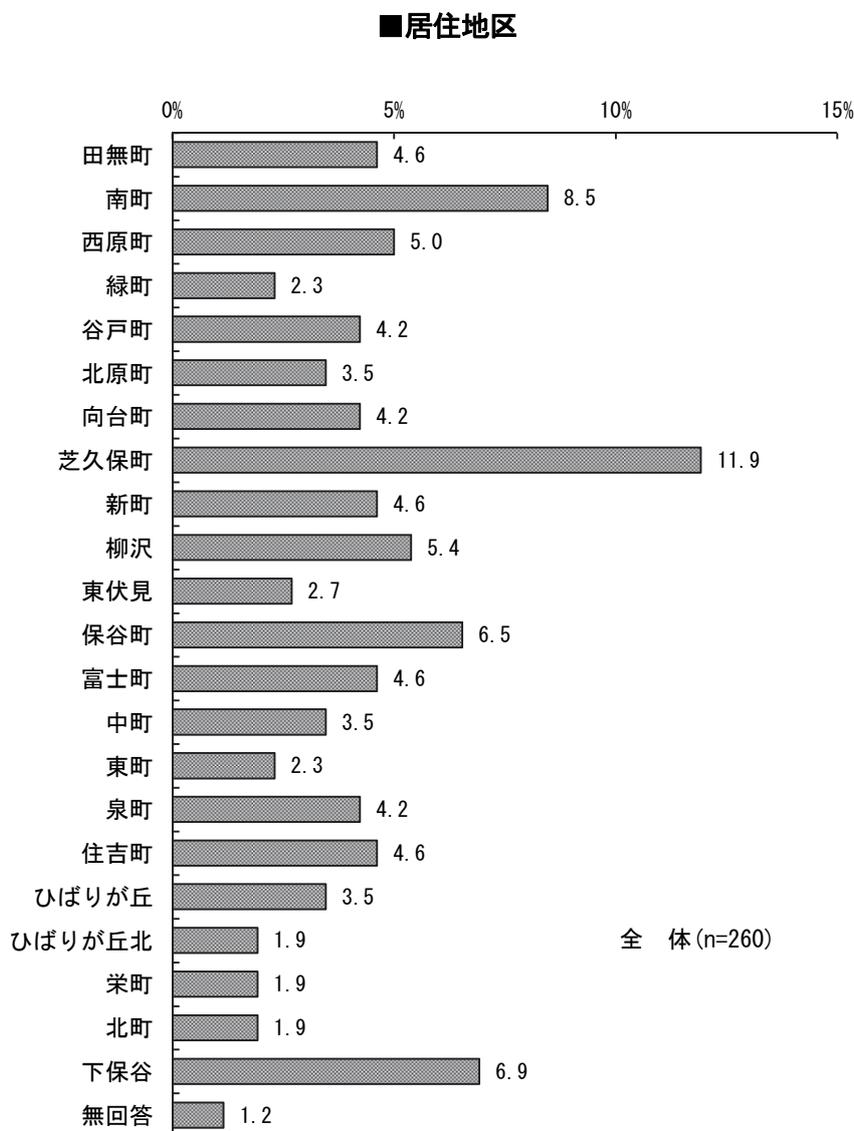
③ 年齢（問3）

年齢は、「85歳以上」が最も多く34.6%、次いで「80～84歳」（23.8%）、「75～79歳」（22.7%）が続いている。また、前期高齢者は14.3%、後期高齢者は81.1%である。



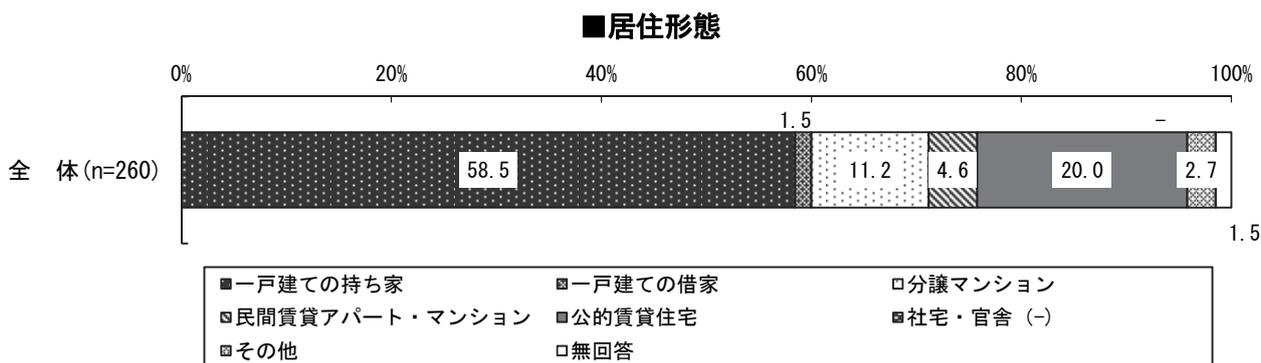
④ 居住地区（問4）

居住地区は、「芝久保町」（11.9%）が最も多く、次いで「南町」（8.5%）、「下保谷」（6.9%）、「保谷町」（6.5%）が続いている。



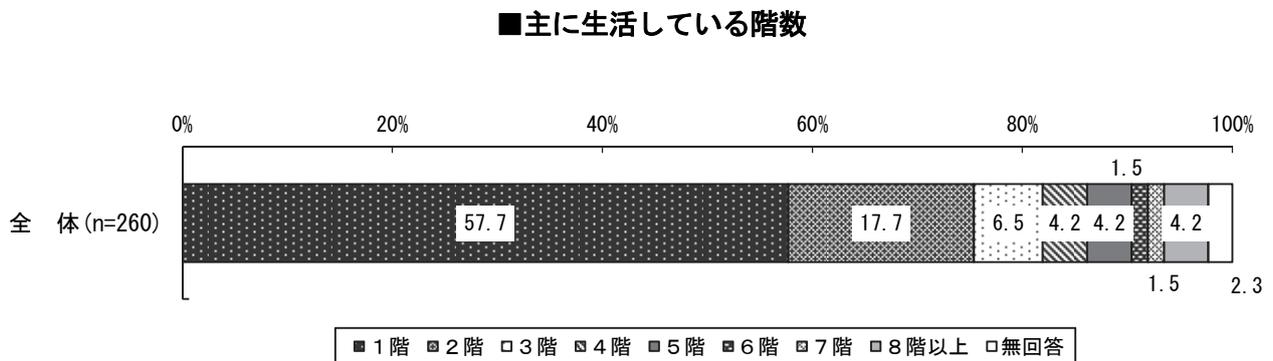
⑤ 居住形態（問5）

居住形態は、「一戸建ての持ち家」が最も多く 58.5%、次いで「公的賃貸住宅」（20.0%）、「分譲マンション」（11.2%）が続いている。



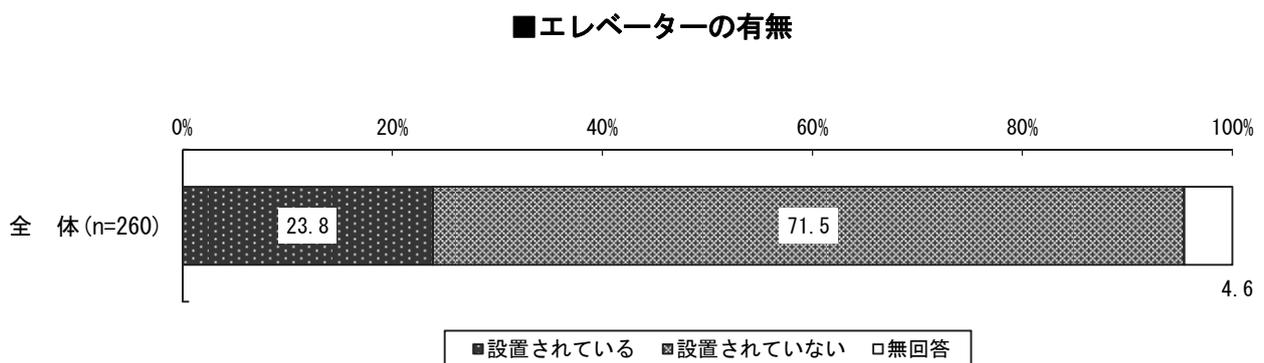
⑥ 主に生活している階数（問6）

主に生活している階数は、「1階」が最も多く57.7%、「2階」(17.7%)、「3階」(6.5%)が続いている。



⑦ エレベーターの有無（問7）

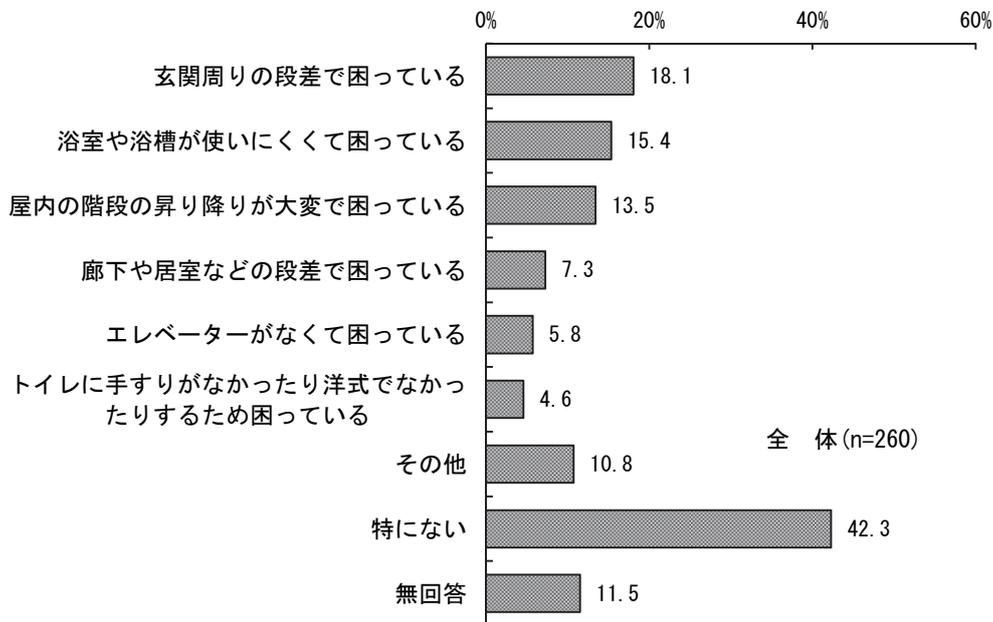
エレベーターの有無は、「設置されている」が23.8%、「設置されていない」が71.5%となっている。



⑧ 住まいで困っていること（問8）

住まいで困っていることは、「玄関周りの段差で困っている」が最も多く 18.1%、「浴室や浴槽が使いにくくて困っている」（15.4%）、「屋内の階段の昇り降りが大変で困っている」（13.5%）が続いている。

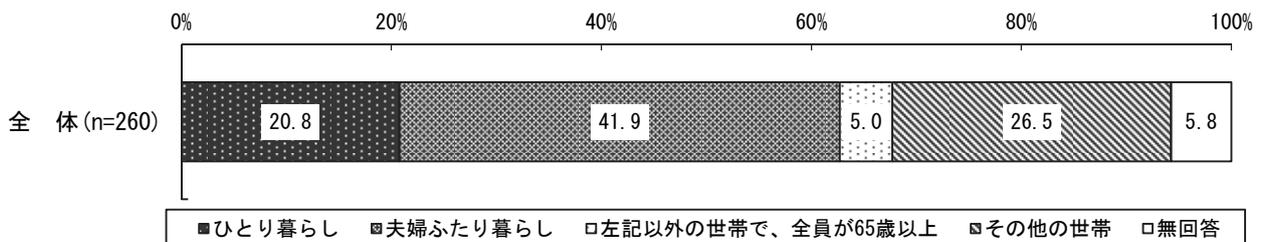
■住まいで困っていること（複数回答）



⑨ 同居家族（問9）

同居家族は、「ひとり暮らし」が 20.8%、「夫婦ふたり暮らし」が 41.9%、「左記以外の世帯で全員が 65 歳以上」が 5.0%、「その他の世帯」が 26.5%となっている。

■同居家族



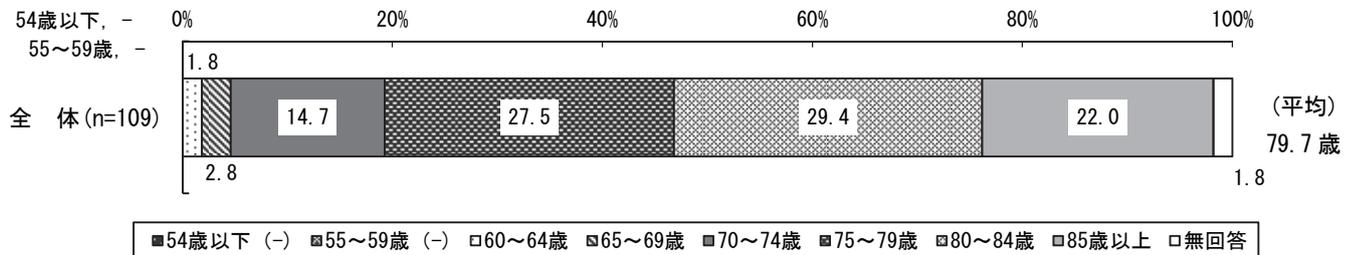
■同居家族【前回比較】

	ひとり暮らし	夫婦ふたり暮らし	全員の65歳以上	その他の世帯	無回答
平成25年度調査 (n=260)	20.8	41.9	5.0	26.5	5.8
平成22年度調査 (n=307)	22.1	42.0	2.3	28.7	4.9

⑩ 夫婦ふたり暮らしの人の配偶者の年齢（問9-1）

夫婦ふたり暮らしの人の配偶者の年齢は、「80～84歳」が29.4%、「75～79歳」が27.5%、「85歳以上」が22.0%となっている。

■夫婦ふたり暮らしの人の配偶者の年齢
 <夫婦ふたり暮らしの人>



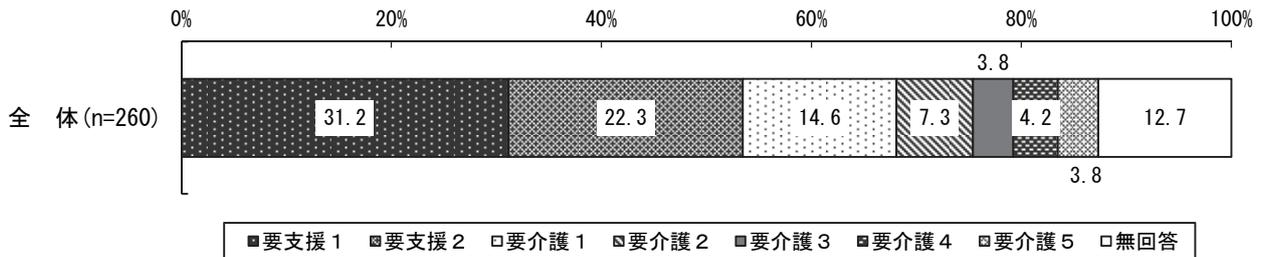
(2) 要介護認定と介護保険サービス

① 要介護度（問10）

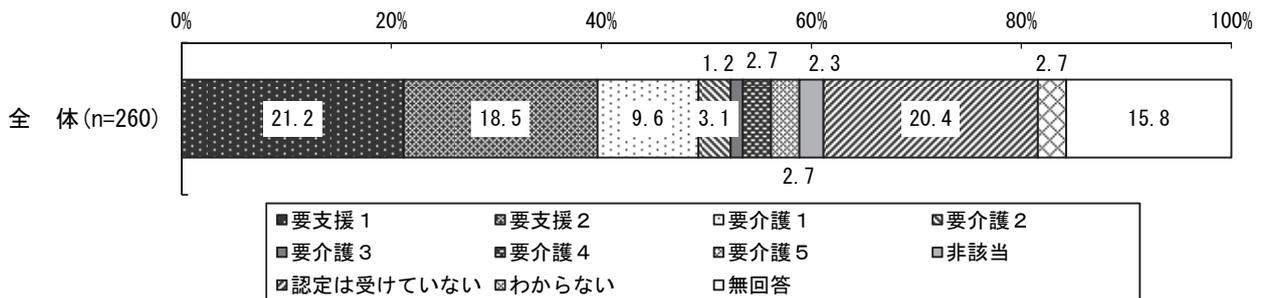
現在の要介護度は、「要支援1」が31.2%と最も多く、「要支援2」(22.3%)、「要介護1」(14.6%)、「要介護2」(7.3%)、「要介護4」(4.2%)、「要介護3」「要介護5」(ともに3.8%)が続いている。

1年前の要介護度は、「要支援1」が21.2%と最も多く、「要支援2」(18.5%)、「要介護1」(9.6%)、「要介護2」(3.1%)、「要介護4」「要介護5」(ともに2.7%)、「要介護3」(1.2%)となっている。また、「認定は受けていない」が20.4%となっている。

■要介護度（平成26年2月現在）



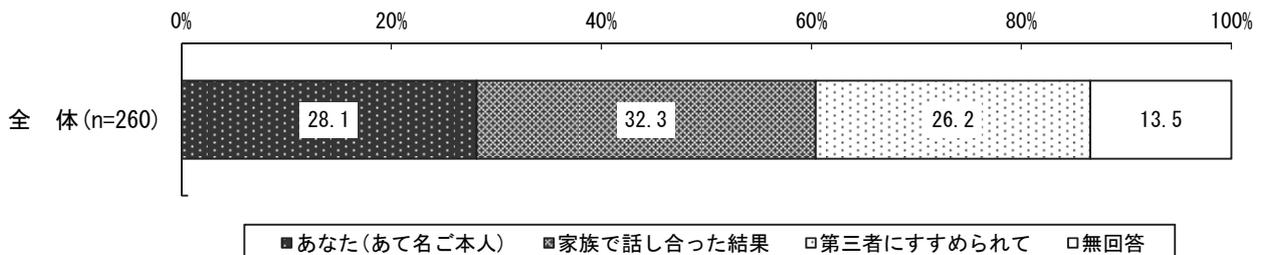
■要介護度（1年前の状況）



② 要介護認定の申請（問11）

要介護認定の申請は、「家族で話し合った結果」が32.3%と最も多く、次いで「本人」が28.1%、「第三者にすすめられて」が26.2%となっている。

■要介護認定の申請



③ 「要介護認定」を申請した理由（問12）

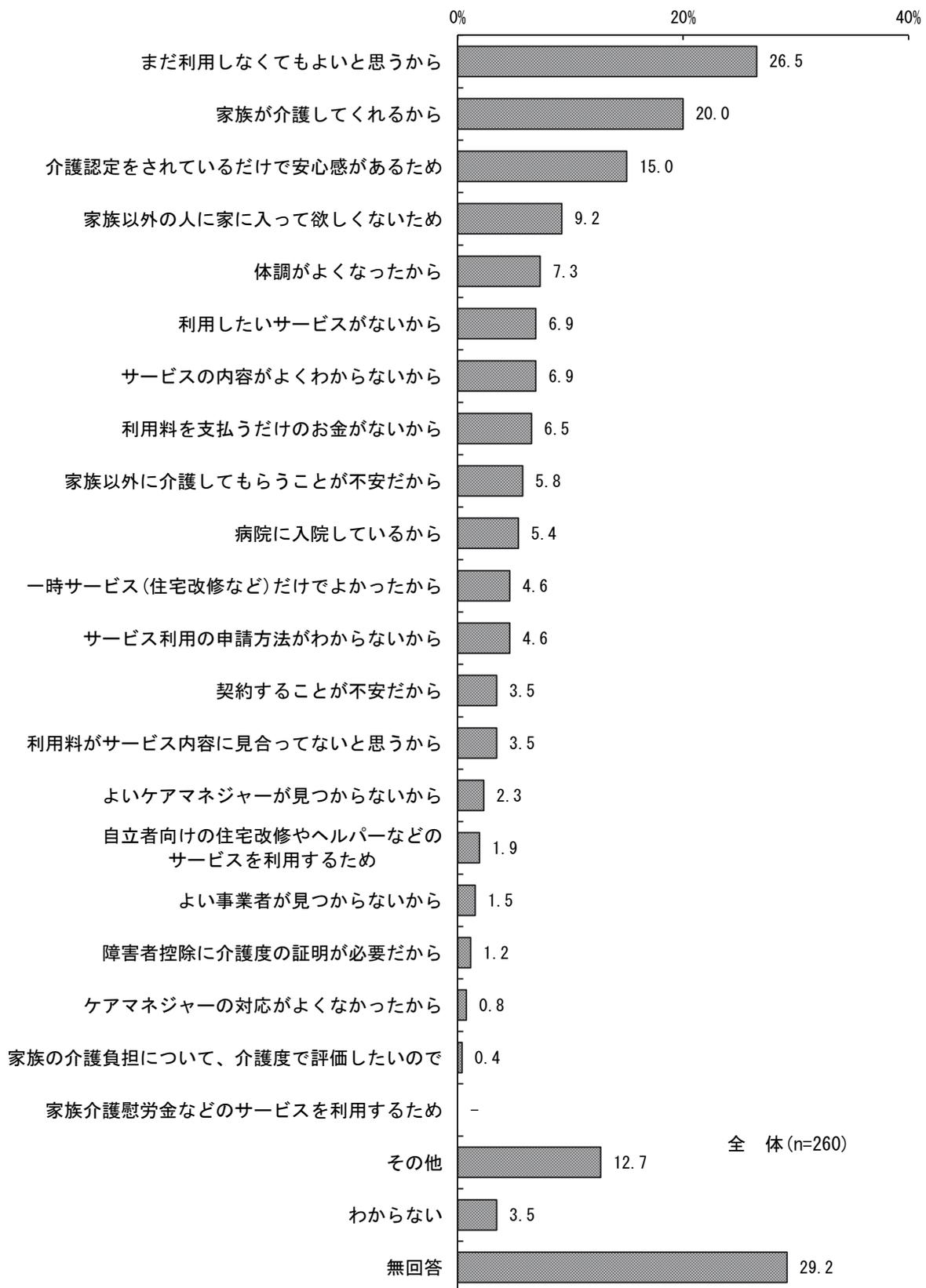
介護保険の「要介護認定」を申請された理由をたずねた。主な意見は以下のとおりである。

- ・ 介護が必要になった時のため。
- ・ 高齢となったため。
- ・ 生活に支障があつて困つたため。
- ・ 一人で家事ができないため。
- ・ すべてのことで配偶者の手をかけることが多いため。
- ・ 家族だけの介護が大変であることと、支援が受けられるため。
- ・ 同居長男の仕事で留守になる時のため。
- ・ 特養に入所手続きをするため。
- ・ 歩行困難のため。
- ・ 医師のすすめによる。
- ・ 病気による入院のため。
- ・ 認知症のため。

④ 介護保険サービスを利用していない理由（問13）

介護保険サービスを利用していない理由は、「まだ利用しなくてもよいと思うから」が最も多く26.5%、「家族が介護してくれるから」（20.0%）、「介護認定をされているだけで安心感があるため」（15.0%）、「家族以外の人に家に入って欲しくないため」（9.2%）が続いている。

■介護保険サービスを利用していない理由（複数回答）



6. 介護保険サービス未利用者調査

要支援・要介護度別にみると、要支援1、要支援2と要介護1では「まだ利用しなくてもよいと思うから」が最も多くなっている。要支援1は「まだ利用しなくてもよいと思うから」(25.9%)に次いで「要介護認定されているだけで安心感があるため」(23.5%)が多い。要支援2は「まだ利用しなくてもよいと思うから」(37.9%)に次いで「家族が介護してくれるから」(34.5%)が続いている。要介護1は要支援2と同様で「まだ利用しなくてもよいと思うから」(31.6%)に次いで「家族が介護してくれるから」(28.9%)が多くなっている。要介護2の理由は「家族が介護してくれるから」が最も多く26.3%、次いで「家族以外の人に家に入って欲しくないため」(21.1%)が続いている。要介護4は「家族が介護してくれるから」が36.4%で最も多く、「まだ利用しなくてもよいと思うから」「サービスの内容がよくわからないから」「サービス利用の申請方法がわからないから」がともに27.3%で続いている。

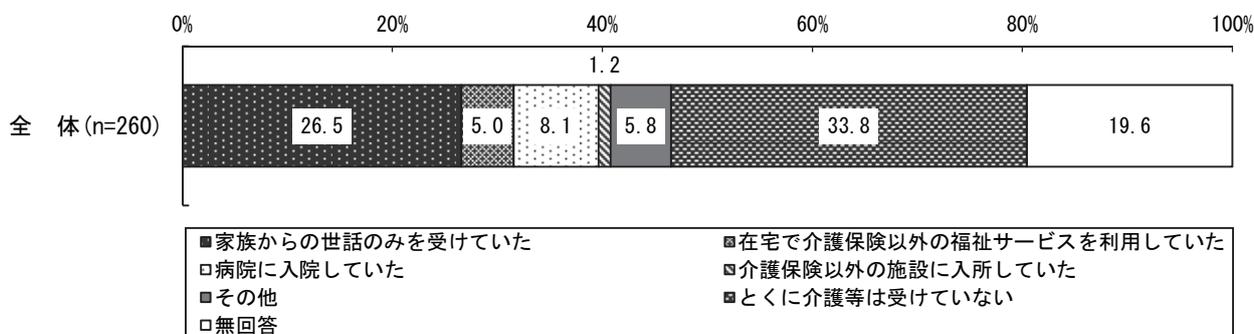
■介護保険サービスを利用していない理由（要支援・要介護度別：複数回答）

		(%)												
		まだ利用しなくてもよいと思うから	家族が介護してくれるから	で介護認定をされているだけで安心感があるため	欲家族以外の人に家に入って	体調がよくなったから	から利用したいサービスがない	らサービスの内容がよくわか	がないから	が利用料を支払うだけのお金	ことが不安だから	病院に入院しているから	ど一時サービス（住宅改修な	わサービス利用の申請方法が
要支援・要介護度	要支援1 (n= 81)	25.9	11.1	23.5	7.4	9.9	9.9	7.4	2.5	6.2	-	4.9	1.2	
	要支援2 (n= 58)	37.9	34.5	17.2	12.1	10.3	5.2	6.9	8.6	5.2	1.7	8.6	6.9	
	要介護1 (n= 38)	31.6	28.9	10.5	5.3	2.6	10.5	5.3	10.5	5.3	5.3	5.3	5.3	
	要介護2 (n= 19)	10.5	26.3	15.8	21.1	10.5	5.3	-	5.3	10.5	5.3	-	-	
	要介護3 (n= 10)	10.0	-	-	-	-	-	10.0	-	-	40.0	-	10.0	
	要介護4 (n= 11)	27.3	36.4	-	9.1	9.1	-	27.3	18.2	9.1	-	-	27.3	
	要介護5 (n= 10)	-	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	-	-	10.0	40.0	-	10.0	
		契約することが不安だから	合利用料がサービス内容に見	からないケアマネジャーが見	用するなどのサービスを利用	自立者向けの住宅改修や	からよい事業者が見つからない	が障害者控除に介護度の証明	くケアマネジャーの対応がよ	介家族の介護負担について	家族介護慰労金などのサ	その他	わからない	無回答
要支援・要介護度	要支援1 (n= 81)	3.7	2.5	2.5	6.2	3.7	-	-	1.2	-	14.8	4.9	28.4	
	要支援2 (n= 58)	1.7	3.4	-	-	-	-	-	-	-	17.2	3.4	15.5	
	要介護1 (n= 38)	7.9	-	5.3	-	2.6	-	2.6	-	-	5.3	5.3	23.7	
	要介護2 (n= 19)	-	5.3	5.3	-	-	5.3	-	-	-	21.1	-	36.8	
	要介護3 (n= 10)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	
	要介護4 (n= 11)	9.1	18.2	-	-	-	-	9.1	-	-	18.2	9.1	27.3	
	要介護5 (n= 10)	-	10.0	-	-	-	-	-	-	-	10.0	-	30.0	

⑤ 介護等の状況（問14）

介護等の状況は、「とくに介護等は受けていない」が33.8%と最も多く、次いで「家族からの世話のみを受けていた」が26.5%、「病院に入院していた」が8.1%、「在宅で介護保険以外の福祉サービスを利用して」が5.0%となっている。

■介護等の状況



平成22年度調査と比較すると、「家族からの世話のみを受けていた」が9.0ポイント低くなっており、「病院に入院していた」が4.8ポイント高くなっている。

■介護等の状況【前回比較】

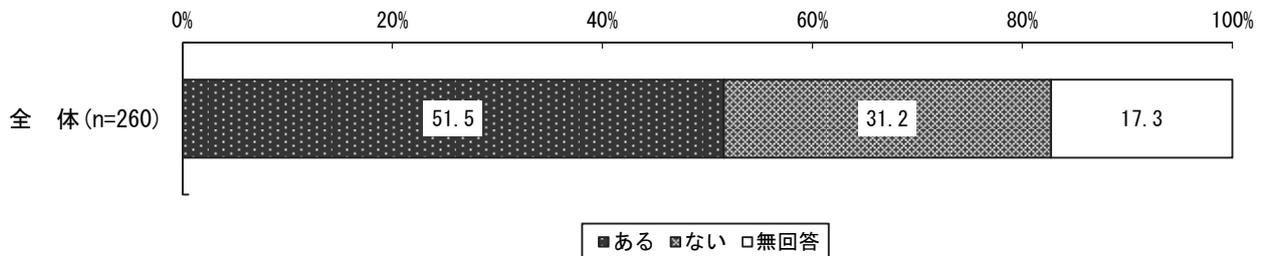
	家族からの世話のみを受けていた	在宅で介護保険以外の福祉サービスを利用して	病院に入院していた	介護保険以外の施設に入所していた	その他	とくに介護等は受けていない	無回答
平成25年度調査 (n=260)	26.5	5.0	8.1	1.2	5.8	33.8	19.6
平成22年度調査 (n=307)	35.5	2.3	3.3	0.7	8.1	32.2	17.9

(3) 日ごろの悩みや困ったこと

① 日常生活で困っていることの有無（問15）

日常生活で困っていることの有無は、「ある」が51.5%、「ない」が31.2%となっている。

■日常生活で困っていることの有無

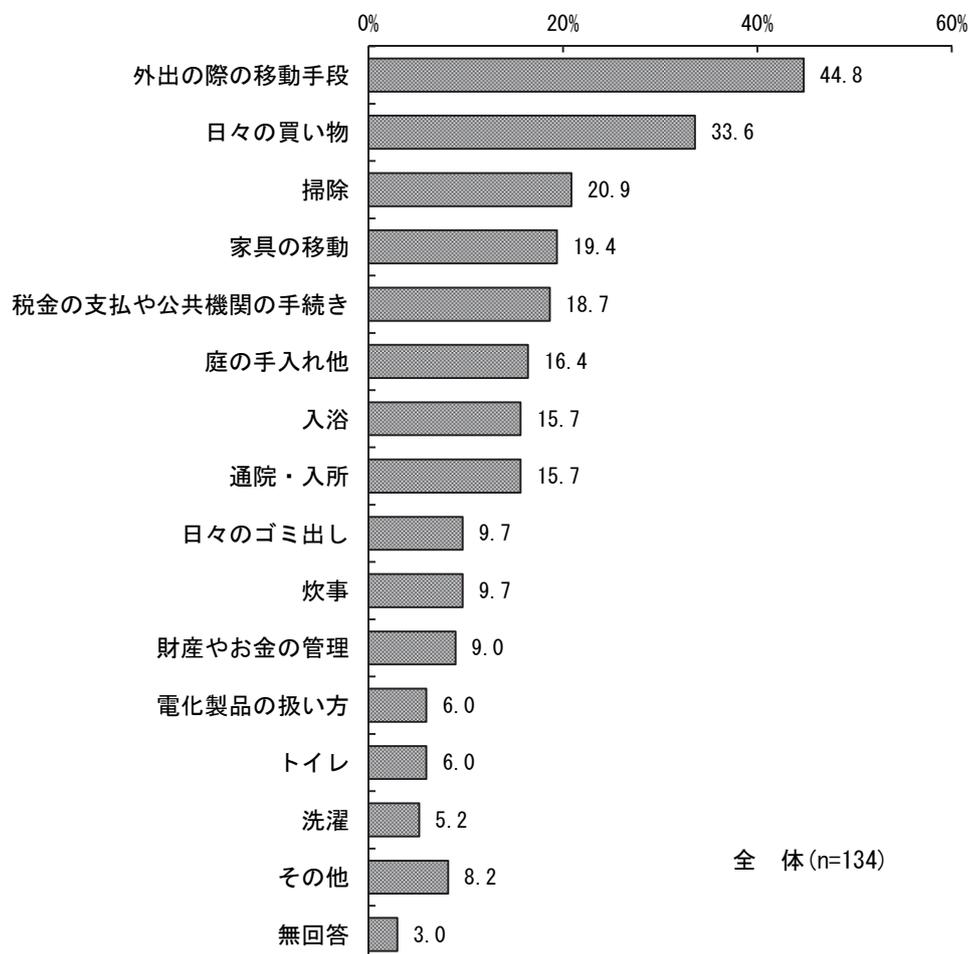


② 困っていること（問15-1）

日常生活で困っていることがあると回答した人に、その内容をたずねたところ、「外出の際の移動手段」が最も多く44.8%、「日々の買い物」（33.6%）、「掃除」（20.9%）が続いている。

■困っていること（複数回答（3つまで））

<日常生活で困っていることが「ある」と回答した人>

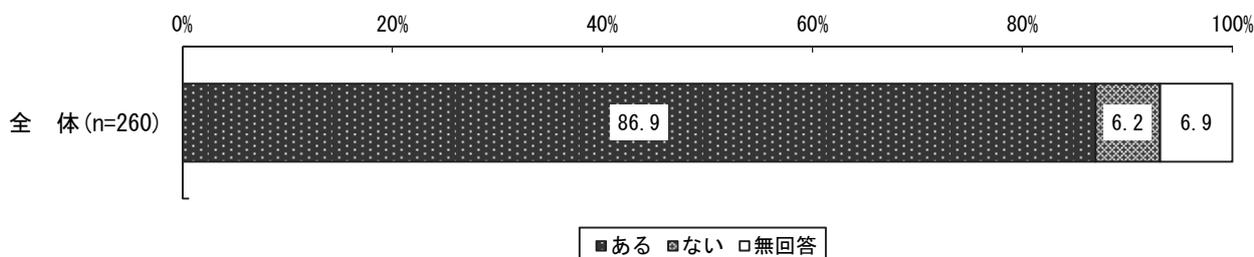


(4) 医療の状況

① 治療中の病気の有無 (問16)

治療中の病気の有無は、「ある」が86.9%、「ない」が6.2%となっている。

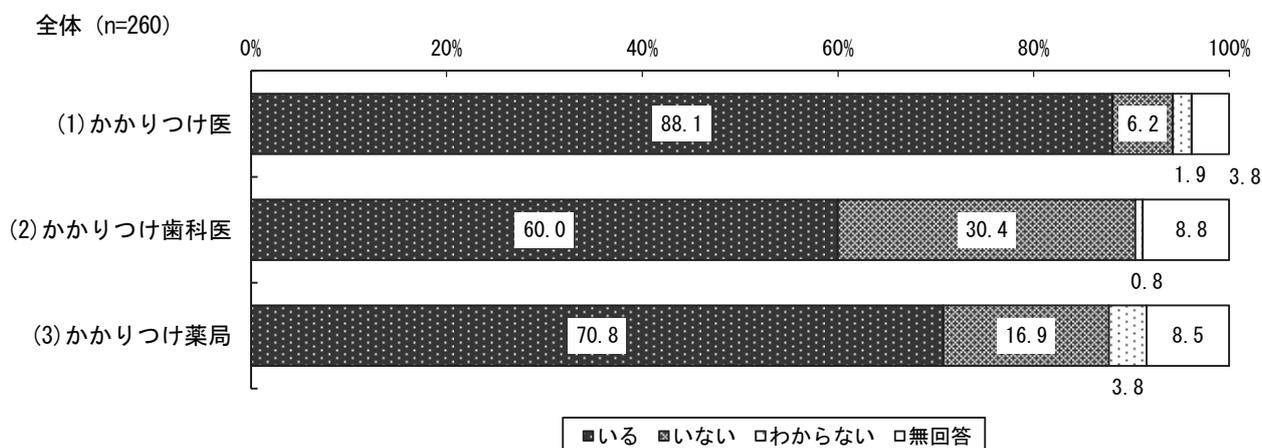
■治療中の病気の有無



② かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬局の有無 (問17)

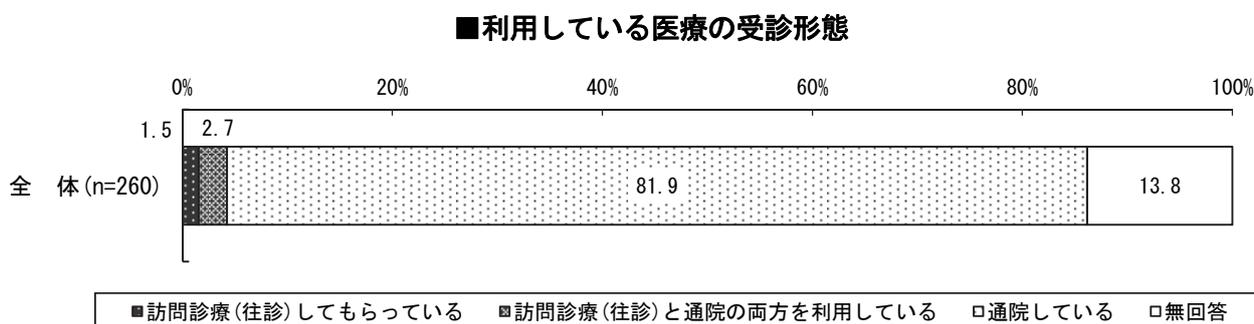
かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬局の有無について「いる」と答えた割合は、『かかりつけ医』が最も多く88.1%、次いで『かかりつけ薬局』が70.8%、『かかりつけ歯科医』が60.0%である。

■かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬局の有無



③ 利用している医療の受診形態（問18）

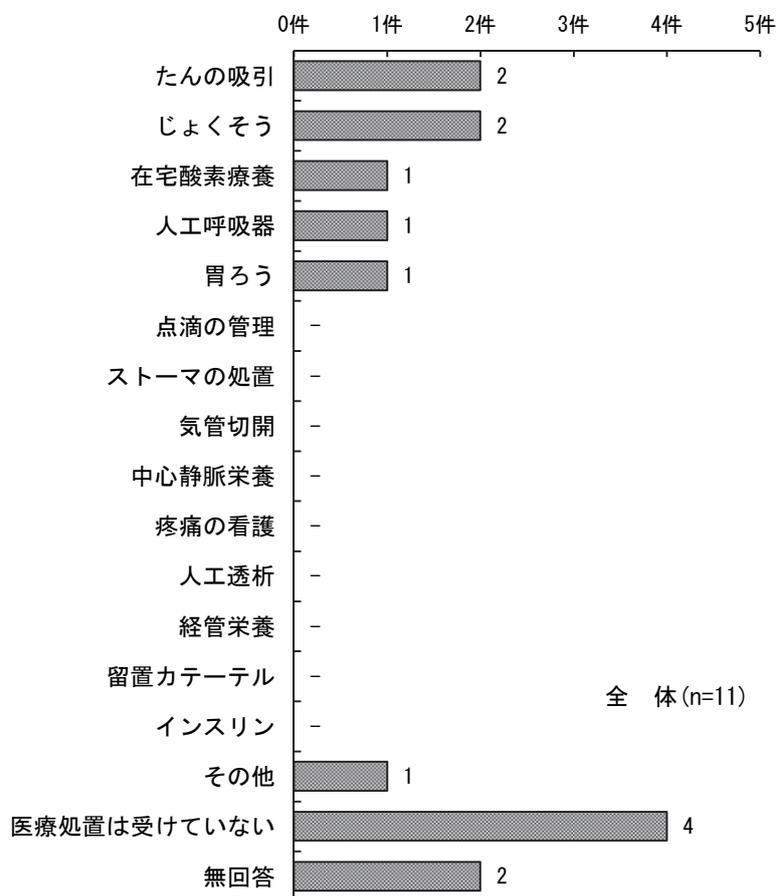
利用している医療の受診形態は、「訪問診療（往診）してもらっている」が1.5%、「訪問診療（往診）と通院の両方を利用している」が2.7%、「通院している」が81.9%となっている。



④ 利用している医療サービス（問18-1）

利用している医療の受診形態が、「訪問診療（往診）してもらっている」「訪問診療（往診）と通院の両方を利用している」人に、利用している医療サービスをたずねたところ、『たんの吸引』『じょくそう』（ともに2件）が最も多く、『在宅酸素療養』『人工呼吸器』『胃ろう』（ともに1件）が続いている。

■利用している医療サービス（複数回答）
 <「訪問診療（往診）してもらっている」「訪問診療（往診）と通院の両方を利用している」と回答した人>

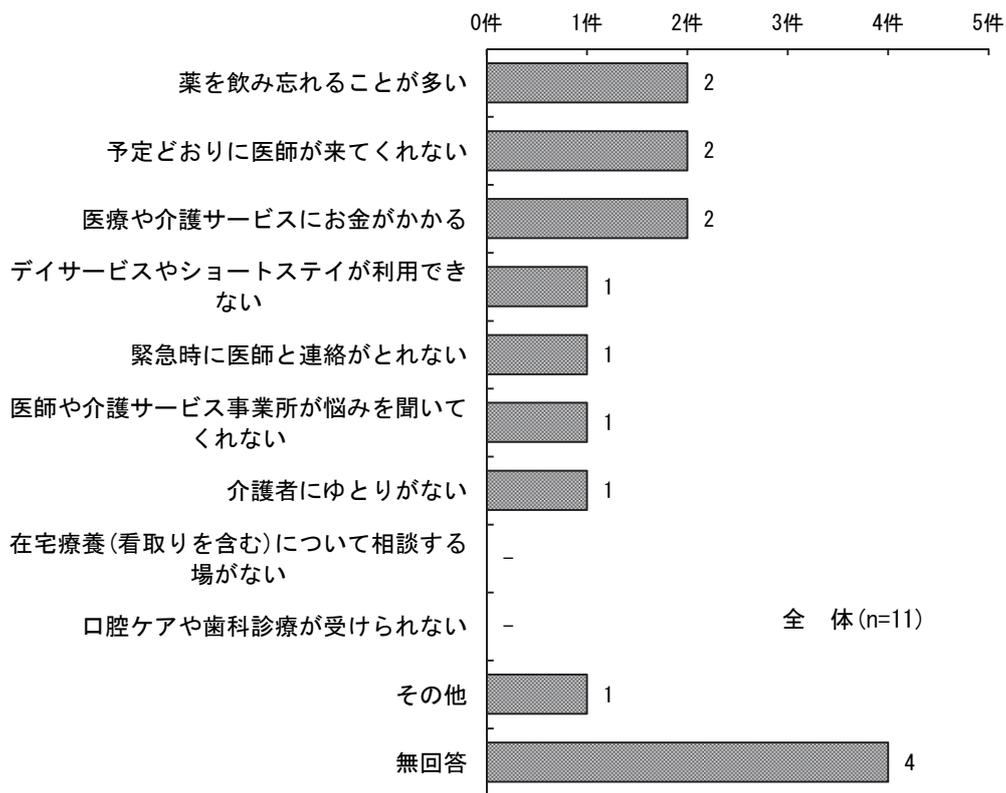


⑤ 在宅療養を送るうえで困っていること（問18-2）

利用している医療の受診形態が、「訪問診療（往診）してもらっている」「訪問診療（往診）と通院の両方を利用している」人に、在宅療養を送るうえで困っていることをたずねたところ、『薬を飲み忘れることが多い』『予定どおりに医師が来てくれない』『医療や介護サービスにお金がかかる』（ともに2件）が最も多く、『デイサービスやショートステイが利用できない』『緊急時に医師と連絡がとれない』『医師や介護サービス事業所が悩みを聞いてくれない』『介護者にゆとりがない』（ともに1件）が続いている。

■在宅療養を送るうえで困っていること（複数回答）

＜「訪問診療（往診）してもらっている」「訪問診療（往診）と通院の両方を利用している」と回答した人＞

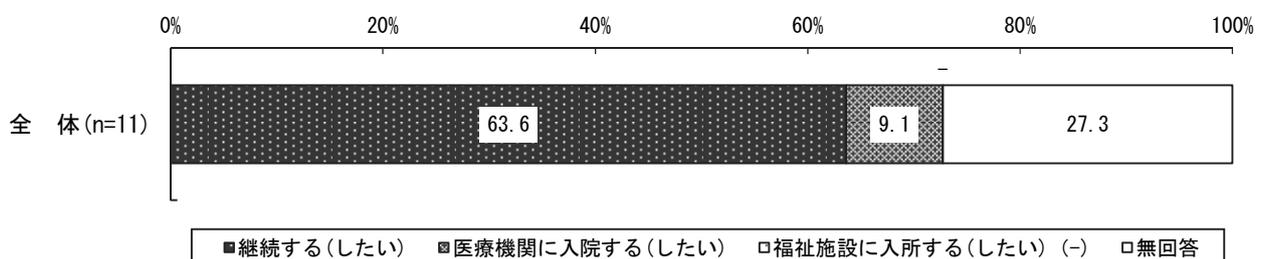


⑥ 今後の在宅での療養生活の継続意向（問18-3）

利用している医療の受診形態が、「訪問診療（往診）してもらっている」「訪問診療（往診）と通院の両方を利用している」人に、今後の在宅での療養生活の継続意向をたずねたところ、『継続する（したい）』が7人（63.6%）、『医療機関に入院する（したい）』が1人（9.1%）、『福祉施設に入所する（したい）』が皆無となっている。

■今後の在宅での療養生活の継続意向

＜「訪問診療（往診）してもらっている」「訪問診療（往診）と通院の両方を利用している」と回答した人＞

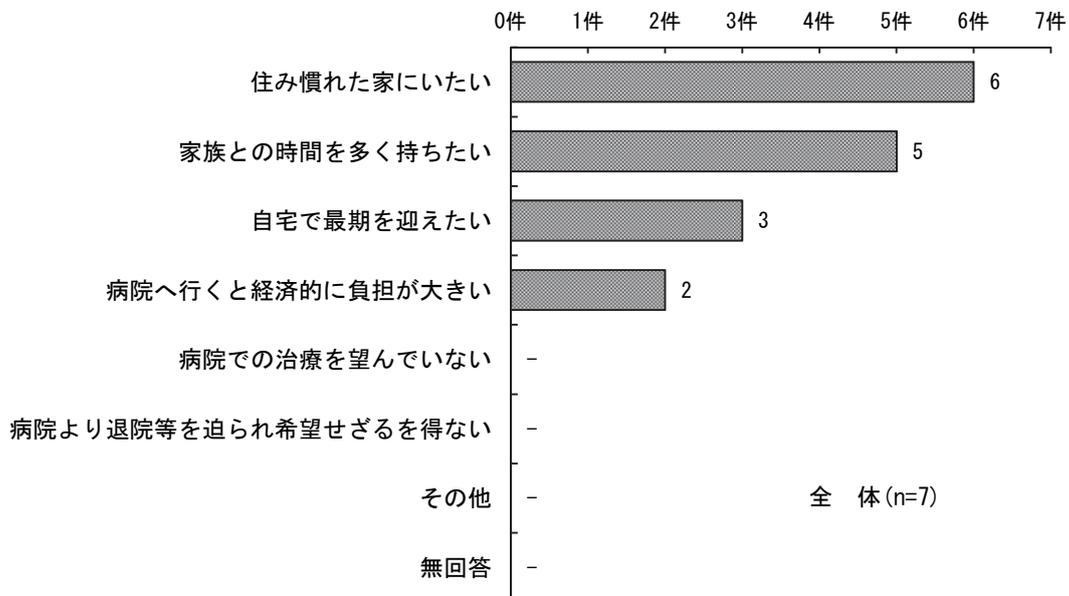


⑦ 在宅療養生活を継続する理由（問18-3-1）

在宅での療養生活の継続意向がある人に、その理由をたずねたところ、「住み慣れた家にいたい」が最も多く6件、「家族との時間を多く持ちたい」（5件）、「自宅で最期を迎えたい」（3件）が続いている。

■在宅療養生活を継続する理由（複数回答）

<在宅での療養生活の継続意向がある人>

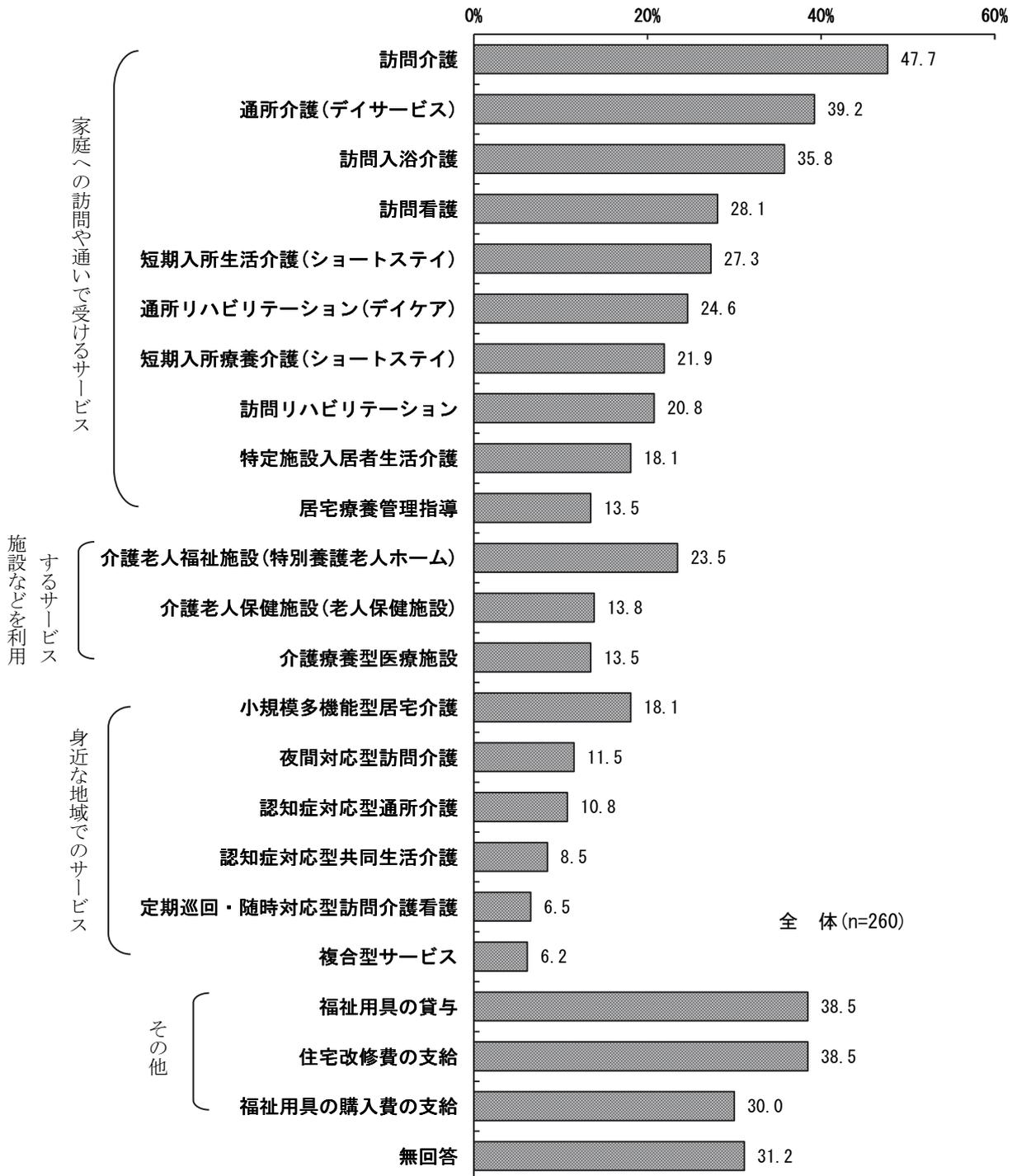


(5) 介護保険サービスの利用

① 介護保険サービスの認知状況（問19-1）

内容を知っている介護保険サービスは、「訪問介護」が最も多く47.7%、「通所介護（デイサービス）」（39.2%）、「福祉用具の貸与」「住宅改修費の支給」（ともに38.5%）が続いている。

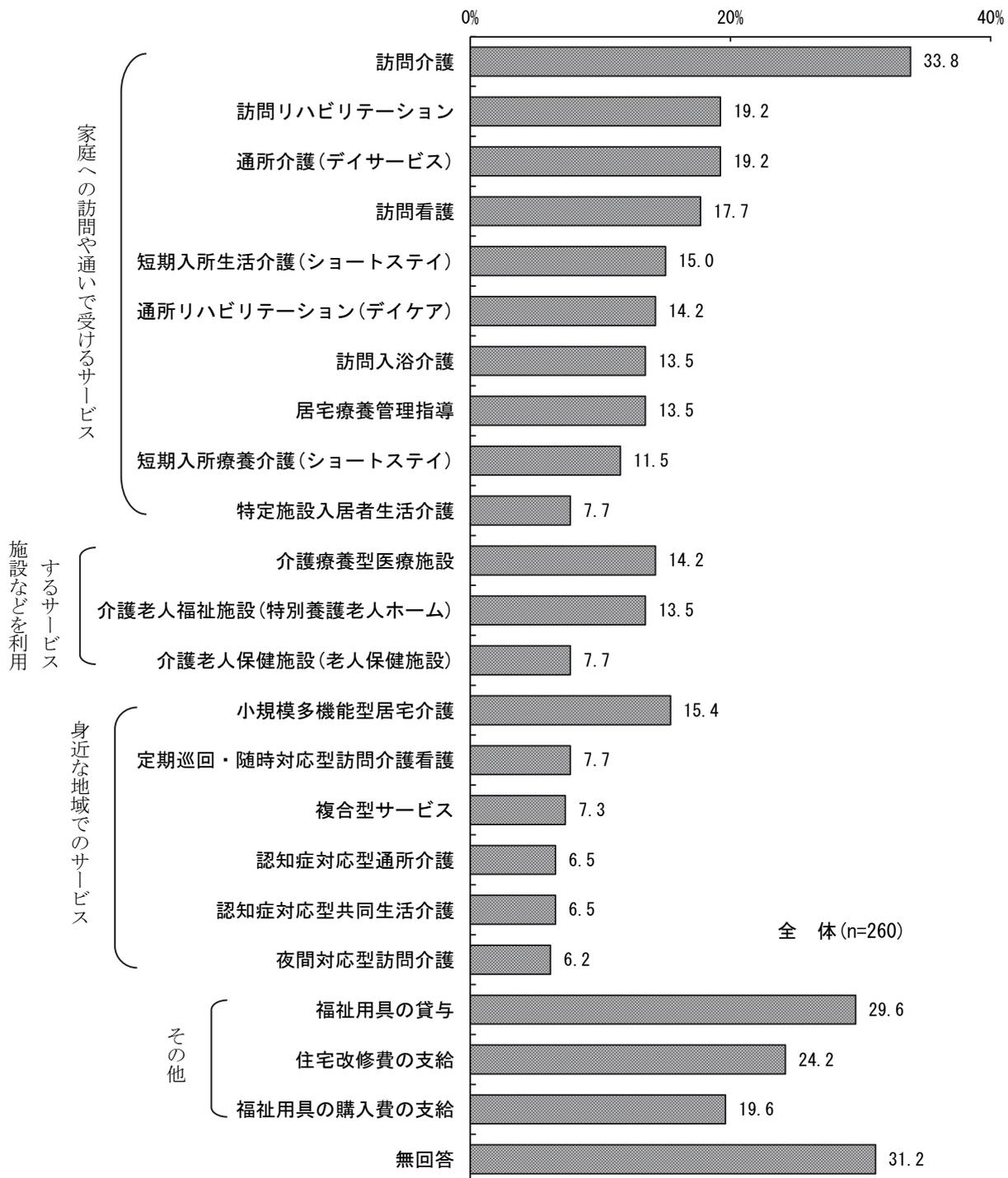
■介護保険サービスの認知状況（複数回答）



② 介護保険サービスの利用意向（問19-2）

利用意向がある介護保険サービスは、「訪問介護」が最も多く 33.8%、「福祉用具の貸与」(29.6%)、「住宅改修費の支給」(24.2%)が続いている。

■介護保険サービスの利用意向（複数回答）

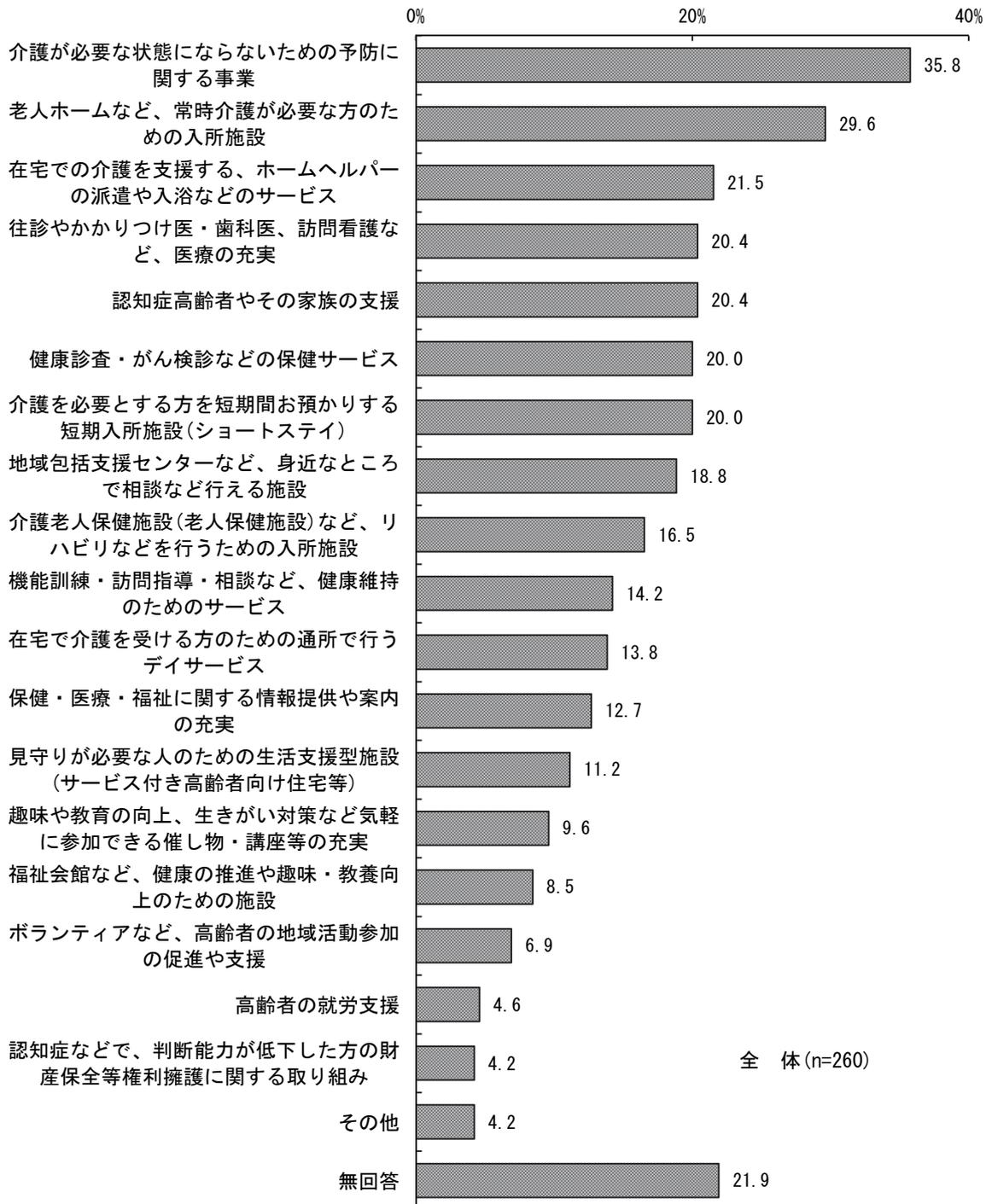


(6) 市の介護保険・保健福祉サービス

① 市が取り組むべき介護保険・保健福祉サービス（問20）

市が取り組むべき介護保険・保健福祉サービスは、「介護が必要な状態にならないための予防に関する事業」が最も多く 35.8%、「老人ホームなど、常時介護が必要な方のための入所施設」(29.6%)、「在宅での介護を支援する、ホームヘルパーの派遣や入浴などのサービス」(21.5%)が続いている。

■市が取り組むべき介護保険・保健福祉サービス（複数回答（5つまで））



平成22年度調査と比較すると、「介護が必要な状態にならないための予防に関する事業」が7.1ポイント、「機能訓練・訪問指導・相談など、健康維持のためのサービス」が5.7ポイント高くなっている。一方、「介護を必要とする方を短期間お預かりする短期入所施設」が9.3ポイント、「往診やかかりつけ医・歯科医、訪問看護など、医療の充実」が6.6ポイント低くなっている。

■市が取り組むべき介護保険・保健福祉サービス（複数回答（5つまで））【前回比較】

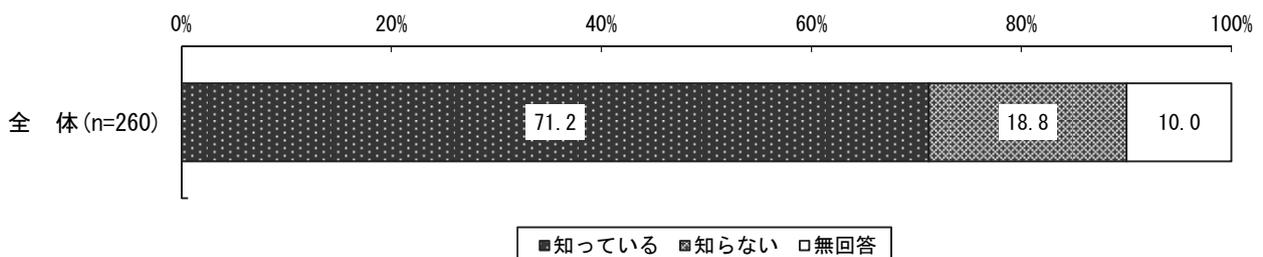
	介護が必要な状態にならないための予防に関する事業	老人ホームなど、常時介護が必要な方のための入所施設	在宅での介護を支援する、ホームヘルパーの派遣や入浴などのサービス	往診やかかりつけ医・歯科医、訪問看護など、医療の充実	認知症高齢者やその家族の支援	健康診査・がん検診などの保健サービス	介護を必要とする方を短期間お預かりする短期入所施設	地域包括支援センターなど、身近なところで相談など行える施設	介護老人保健施設など、リハビリなどを行うための入所施設	機能訓練・訪問指導・相談など、健康維持のためのサービス
平成25年度調査 (n=260)	35.8	29.6	21.5	20.4	20.4	20.0	20.0	18.8	16.5	14.2
平成22年度調査 (n=307)	28.7	30.0	24.4	27.0	23.8	15.3	29.3	22.5	16.0	8.5

	在宅で介護を受ける方のため通所で行うサービス	保健・医療・福祉に関する情報提供や案内の充実	見守りが必要な人のための生活支援型施設	物策など気軽に参加できる催し	趣味や教育の向上、生きがい	福祉会館など、健康の推進や趣味・教養向上のための施設	ボランティアなど、高齢者の地域活動参加の促進や支援	高齢者の就労支援	認知症などで、判断能力が低下した方の財産保全等権利擁護に関する取り組み	その他	無回答
平成25年度調査 (n=260)	13.8	12.7	11.2	9.6	8.5	6.9	4.6	4.2	4.2	21.9	
平成22年度調査 (n=307)	16.3	14.0	9.1	11.4	7.2	6.5	2.9	9.4	2.0	24.1	

② 地域包括支援センターの認知（問21）

地域包括支援センターの認知は、「知っている」が71.2%、「知らない」が18.8%となっている。

■地域包括支援センターの認知



平成22年度調査と比較すると、地域包括支援センターの認知は、8.0ポイント高くなっている。

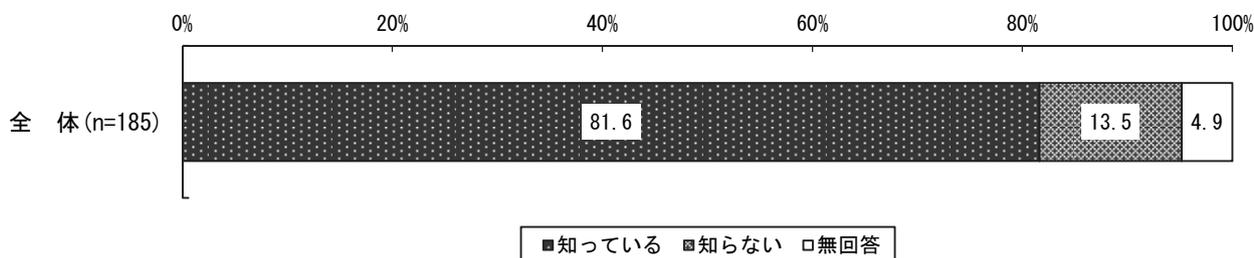
■地域包括支援センターの認知【前回比較】

	(%)		
	知っている	知らない	無回答
平成25年度調査 (n=260)	71.2	18.8	10.0
平成22年度調査 (n=307)	63.2	18.6	18.2

③ 地域包括支援センターの場所の認知（問21-1）

地域包括支援センターを知っている人に、住んでいる地区を担当している地域包括支援センターの場所を知っているかたずねたところ、「知っている」が81.6%、「知らない」が13.5%となっている。

■地域包括支援センターの場所の認知
 <地域包括支援センターを知っている人>

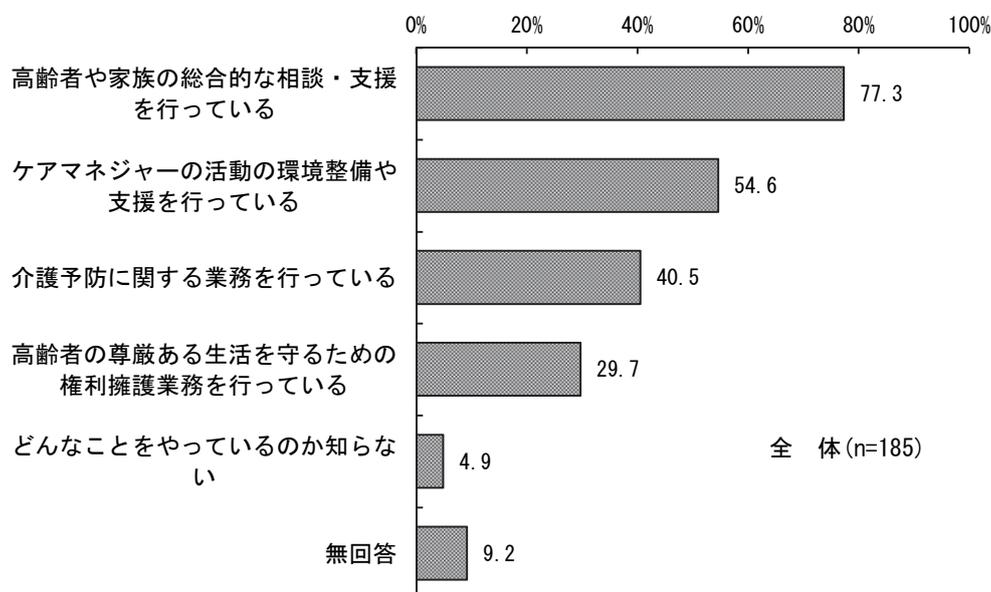


④ 地域包括支援センターの事業内容の認知（問21-2）

地域包括支援センターを認知している人の知っている地域包括支援センターの事業内容は、「高齢者や家族の総合的な相談・支援を行っている」が最も多く77.3%、「ケアマネジャーの活動の環境整備や支援を行っている」（54.6%）、「介護予防に関する業務を行っている」（40.5%）が続いている。

■地域包括支援センターの事業内容の認知（複数回答）

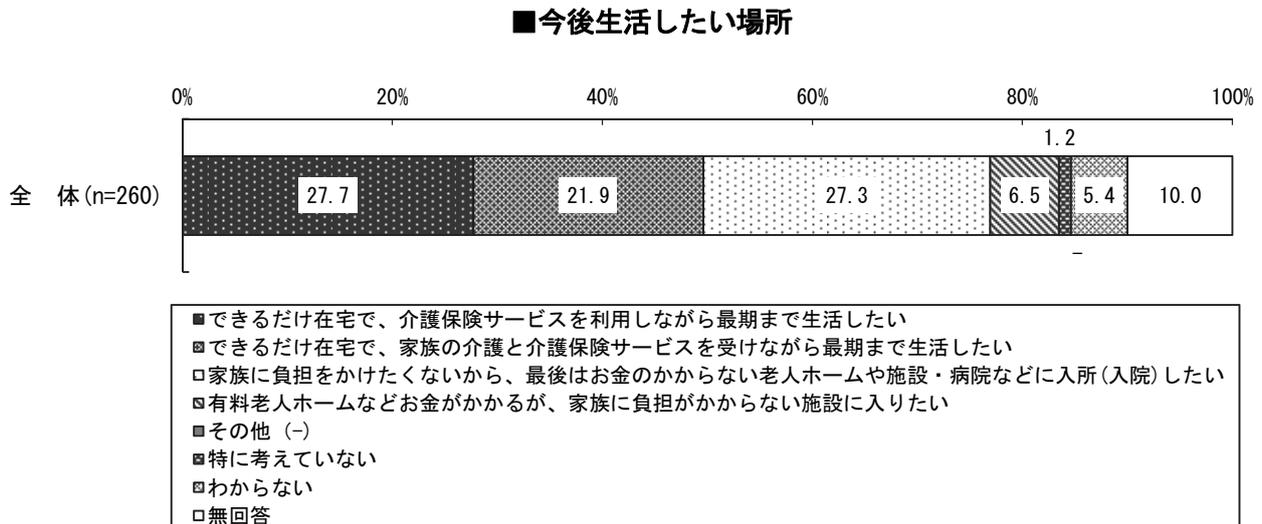
<地域包括支援センターを知っている人>



(7) 今後の過ごし方

① 今後生活したい場所 (問22)

今後生活したい場所は、「在宅で、介護保険サービスを利用しながら最期まで生活したい」が27.7%、「家族に負担をかけたくないから、最後はお金のかからない老人ホームや施設・病院などに入所(入院)したい」が27.3%、「在宅で、家族の介護と介護保険サービスを受けながら最期まで生活したい」が21.9%となっている。



平成22年度調査と比較すると、「家族に負担をかけたくないから、最後はお金のかからない老人ホームや施設・病院などに入所(入院)したい」が6.8ポイント高くなっている。

■今後生活したい場所【前回比較】

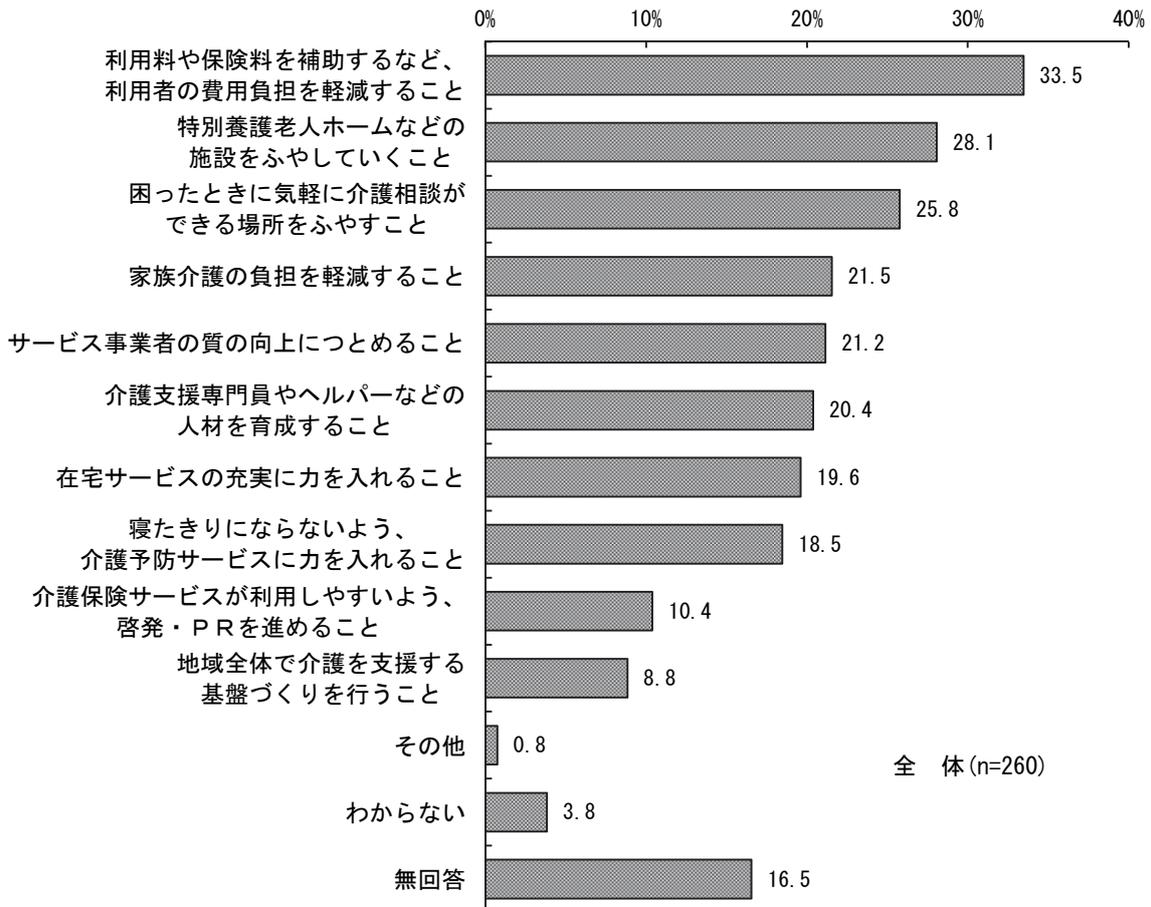
	(%)							
	できるだけ在宅で、介護保険サービスを利用しながら最期まで生活したい	できるだけ在宅で、家族の介護と介護保険サービスを受けながら最期まで生活したい	家族に負担をかけたくないから、最後はお金のかからない老人ホームや施設・病院などに入所(入院)したい	有料老人ホームなどお金がかかるが、家族に負担がかからない施設に入りたい	その他	特に考えていない	わからない	無回答
平成25年度調査 (n=260)	27.7	21.9	27.3	6.5	-	1.2	5.4	10.0
平成22年度調査 (n=307)	27.0	24.4	20.5	4.9	1.3	4.9	3.9	13.0

(8) 市への要望

① 介護保険制度をよりよくするために市が力を入れるべきこと (問23)

介護保険制度をよりよくするために市が力を入れるべきことは、「利用者の費用負担を軽減すること」が最も多く 33.5%、次いで「特別養護老人ホームなどの施設をふやしていくこと」(28.1%)、「困ったときに気軽に介護相談ができる場所をふやすこと」(25.8%)、「家族介護の負担を軽減すること」(21.5%)が続いている。

■介護保険制度をよりよくするために市が力を入れるべきこと (複数回答 (3つまで))



平成 22 年度調査と比較すると、「利用者の費用負担を軽減すること」と「介護保険サービスが利用しやすいよう、啓発・PRを進めること」がそれぞれ 5.5 ポイント、5.2 ポイント高くなり、「家族介護の負担を軽減すること」が 8.1 ポイント低くなっている。

■介護保険制度をよりよくするために市が力を入れるべきこと (複数回答 (3つまで)) 【前回比較】

	利用料や保険料を補助するなど、利用者の費用負担を軽減すること	ふやしていきこと 特別養護老人ホームなどの施設を	困ったときに気軽に介護相談がで きる場所をふやすこと	家族介護の負担を軽減すること	サービス事業者の質の向上につと めること	介護支援専門員やヘルパーなど の人材を育成すること	在宅サービスの充実に力を入れる こと	寝たきりにならないよう、介護予 防サービスに力を入れること	介護保険サービスが利用しやすい よう、啓発・PRを進めること	地域全体で介護を支援する基盤づ くりを行うこと	その他	わからない	無回答
平成25年度調査 (n=260)	33.5	28.1	25.8	21.5	21.2	20.4	19.6	18.5	10.4	8.8	0.8	3.8	16.5
平成22年度調査 (n=307)	28.0	29.6	24.8	29.6	16.6	18.2	19.9	22.1	5.2	9.8	0.7	2.6	20.8

② 高齢者保健福祉サービス、介護保険制度への意見・要望（問24）

高齢者保健福祉サービス、介護保険制度について、自由記述形式でうかがい、内容ごとに分類・整理を行った。主な意見は以下のとおりである。

（活動・交流の場の整備）

- ・地域のどこかにちょっと立ち寄って話ができる所や、外に出て季節の空気を吸える所があるとよい。保谷駅にちょっと腰かける椅子があると助かる。なるべく足が動く間は、自然を感じたい。

（介護予防の推進）

- ・老人の体力増強に取り組んでほしい。

（介護保険サービスの充実）

- ・全てにおいて不足していると感じる。ヘルパーの作業時間が短かすぎるためお願いできることが少ない。歩けないのでタクシーの回数券か割引制度があればいい。老人ホームも高い。

（特養の整備）

- ・特養を増やしてほしい。待ち人数が多すぎる。

（人材の確保と処遇改善）

- ・私自身がいざ利用するとき、安心して入れる施設があるかどうか不安である。看護や介護の人員費はいつまでたっても一向に改善されない。介護職を志望しても生活ができずにやめる方が多いと聞く。安心して介護を受けられ、安心して職業として成り立つようにしてほしい。

（介護保険制度の適切な運営）

- ・介護保険制度を守り抜くには、次世代に健全なものにして受け渡さなければならない。

（情報発信の充実）

- ・保険制度が変わりすぎてよくわからなくなってしまう。

（見守りの充実）

- ・できるだけ自分の力で生きていきたいと思うので、認知症にならない方法や、時々訪問してもらって様子をみてもらいたい。

（質の向上）

- ・家族に迷惑をかけないようにヘルパーなどの人材を育成してほしい。

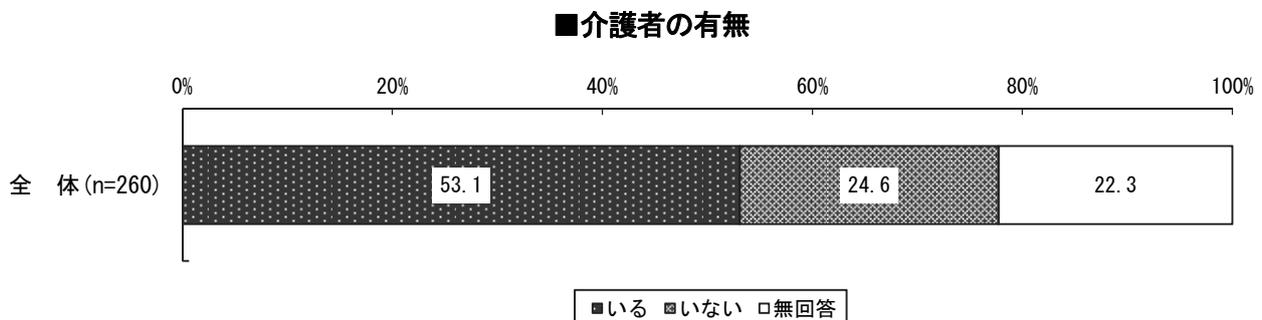
（経済的負担の軽減）

- ・一人暮らしのため、お金のかからない老人ホーム等に入所したい。
- ・福祉サービスがあることは知っているが、現実には収入が年金だけの場合、利用には無理がある。

(9) 介護者の状況

① 介護者の有無 (問25)

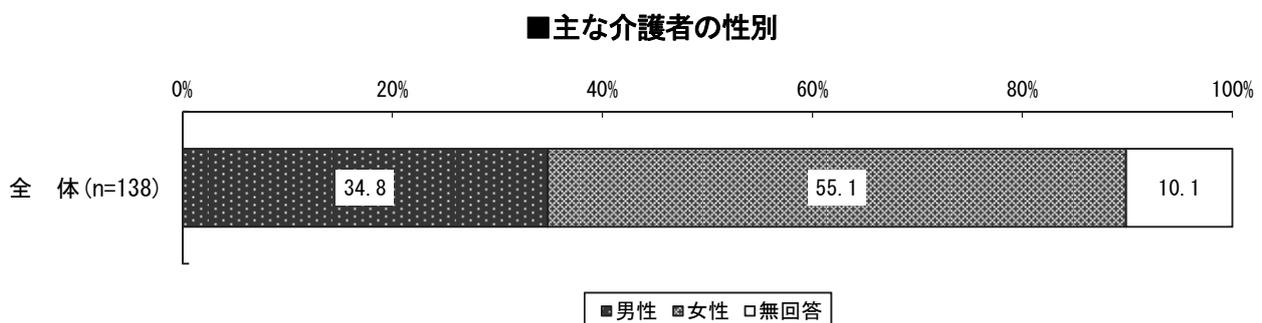
介護者の有無は、「いる」が53.1%であり、「いない」が24.6%となっている。



※以下問26～37は、問25で介護者が「いる」(138人)と回答した場合、宛名ご本人を介護している人にたずねている。

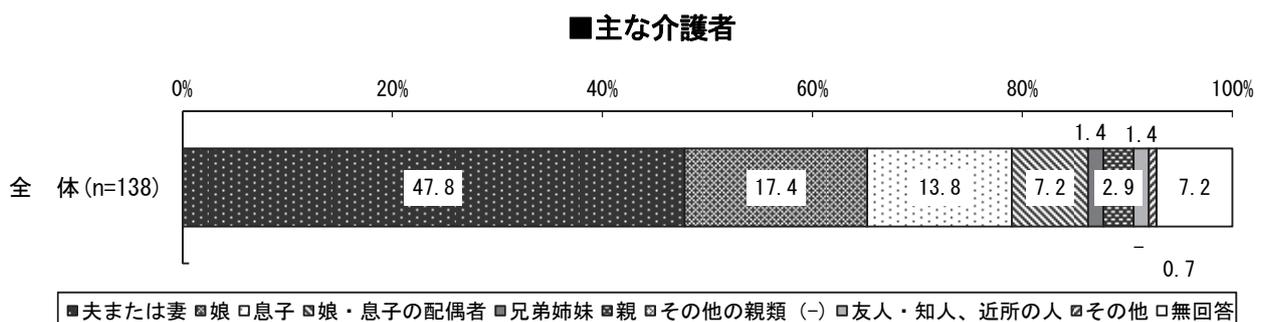
② 主な介護者の性別 (問26)

主な介護者の性別は、「男性」が34.8%、「女性」が55.1%となっている。



③ 主な介護者 (問27)

主な介護者は、「夫または妻」が47.8%と最も多く、「娘」が17.4%、「息子」が13.8%、「娘・息子の配偶者」が7.2%となっている。



平成22年度調査と比較すると、「夫または妻」が8.3ポイント高くなっている。一方、「娘」が5.3ポイント低くなっている。

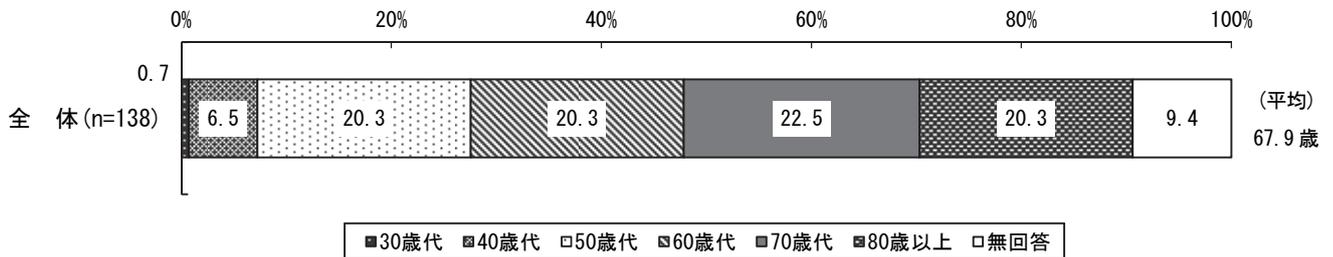
■主な介護者【前年比較】

	夫または妻	娘	息子	娘・息子の配偶者	兄弟姉妹	親	その他の親類	友人・知人、近所の人	その他	無回答
平成25年度調査 (n=138)	47.8	17.4	13.8	7.2	1.4	2.9	-	1.4	0.7	7.2
平成22年度調査 (n=185)	39.5	22.7	10.8	7.0	0.5	1.1	0.5	1.6	16.2	

④ 主な介護者の年齢（問28）

主な介護者の年齢は、「70歳代」が22.5%と最も多く、次いで「50歳代」「60歳代」「80歳以上」がともに20.3%となっている。

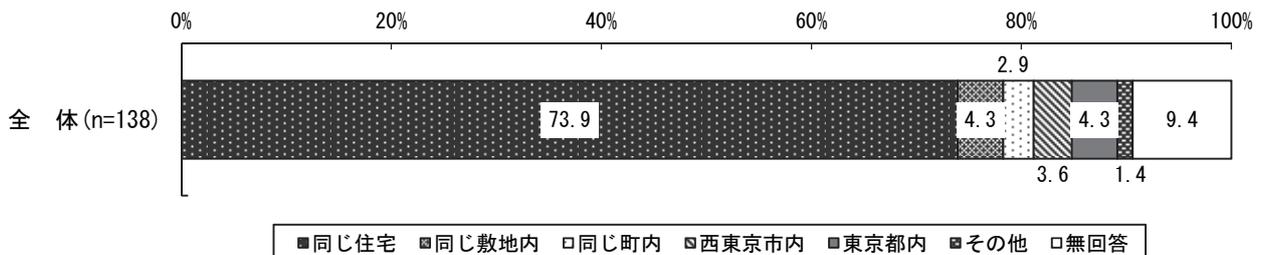
■主な介護者の年齢



⑤ 主な介護者の居住場所（問29）

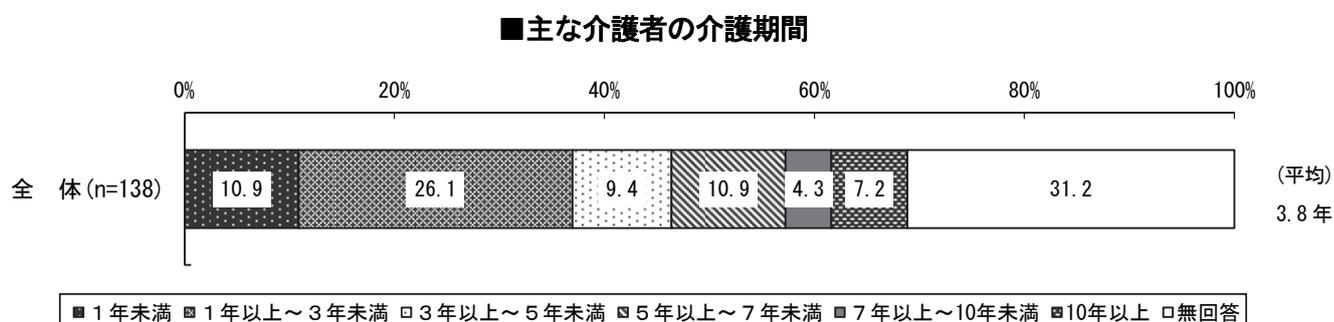
主な介護者の居住場所は、「同じ住宅」が73.9%と最も多く、「同じ敷地内」と「東京都内」が4.3%となっている。

■主な介護者の居住場所



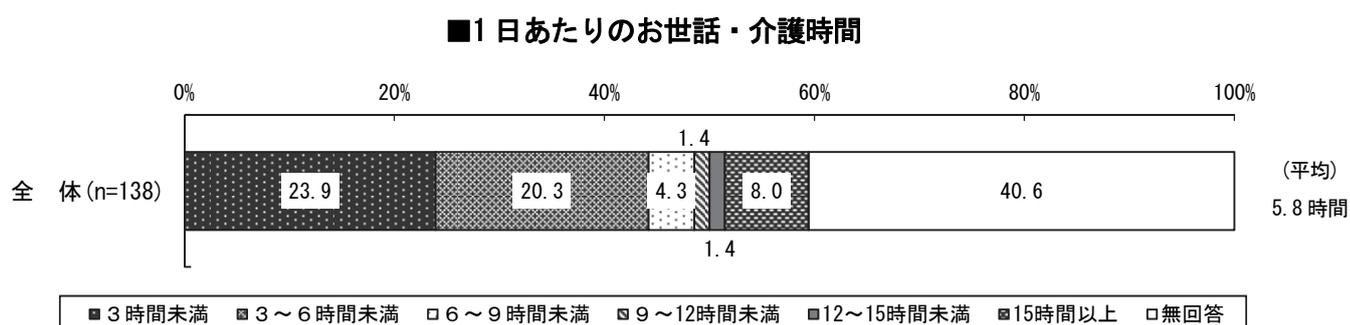
⑥ 主な介護者の介護期間（問30）

主な介護者の介護期間は、「1年以上～3年未満」が26.1%と最も多く、次いで「1年未満」「5年以上～7年未満」がともに10.9%、「3年以上～5年未満」が9.4%、「10年以上」が7.2%、「7年以上～10年未満」が4.3%と続いている。



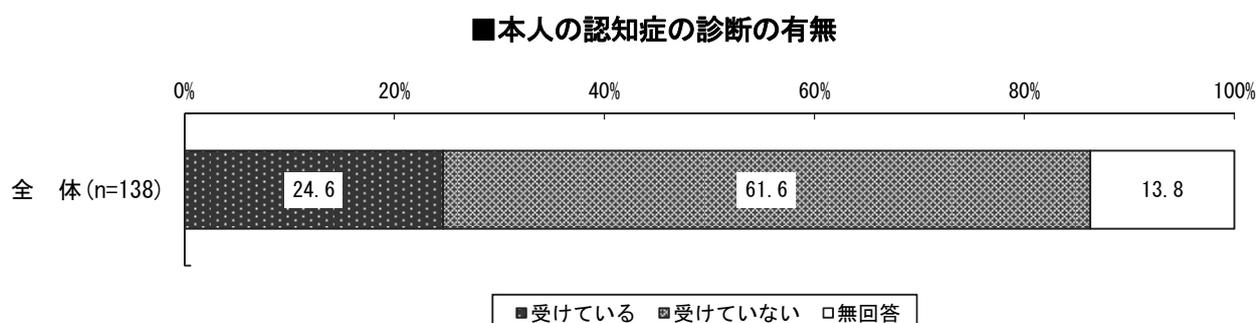
⑦ 1日あたりのお世話・介護時間（問31）

1日あたりのお世話・介護時間は、「3時間未満」が23.9%と最も多く、次いで「3～6時間未満」が20.3%、「15時間以上」が8.0%、「6～9時間未満」が4.3%、「9～12時間未満」と「12～15時間未満」が1.4%と続いている。



⑧ 本人の認知症の診断の有無（問32）

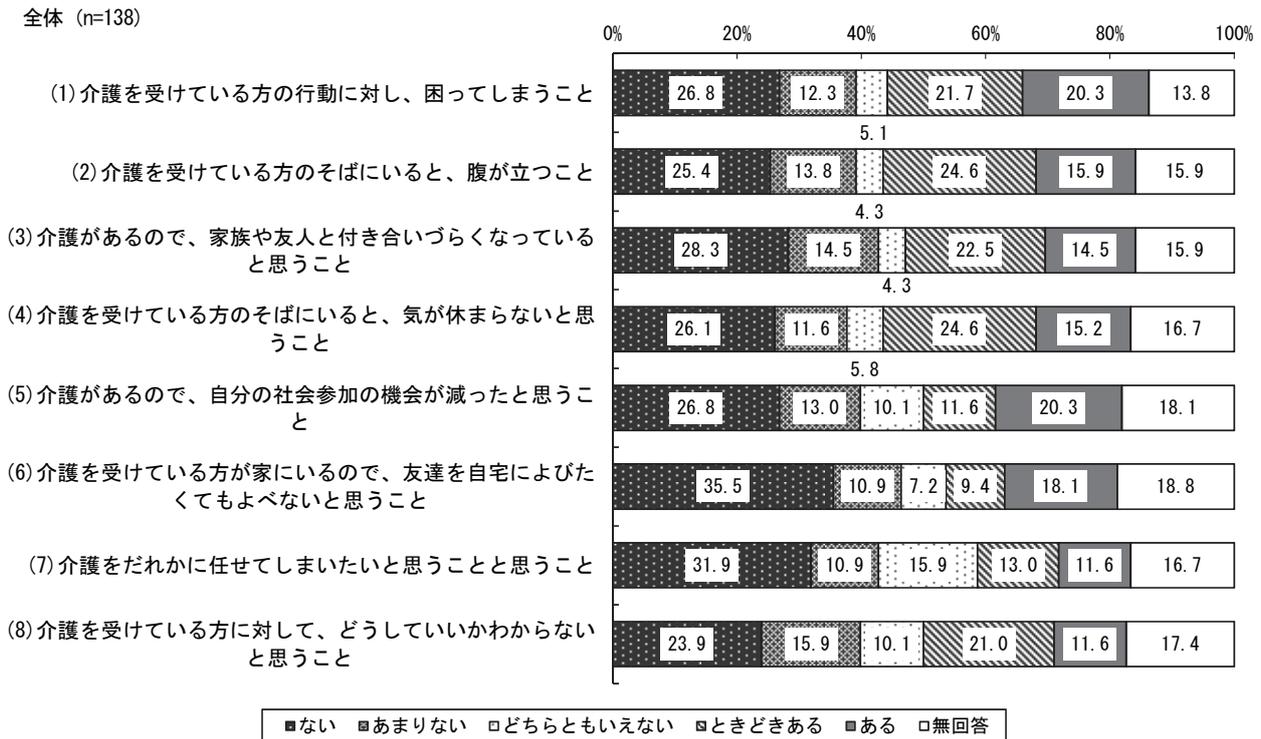
本人の認知症の診断の有無は、「受けている」が24.6%、「受けていない」が61.6%となっている。



⑨ 介護負担（問33）

介護負担は、「ある」と「ときどきある」を合計した《ある》は、『介護を受けている方の行動に対し、困ってしまうこと』が最も多く 42.0%、『介護を受けている方のそばにいて、腹が立つこと』（40.5%）、『介護を受けている方のそばにいて、気が休まらないと思うこと』（39.8%）、『介護があるので、家族や友人と付き合いづらくなっていると思うこと』（37.0%）、『介護を受けている方に対して、どうしていいかわからないと思うこと』（32.6%）、『介護があるので、自分の社会参加の機会が減ったと思うこと』（31.9%）、『介護を受けている方が家にいるので、友達を自宅によびたくてもよべないと思ったこと』（27.5%）、『介護をだれかに任せてしまいたいと思うこと』（24.6%）が続いている。

■介護負担



⑩ 介護で一番困っていること（問34）

介護で一番困っていることについて、自由記述形式でうかがい、内容ごとに分類・整理を行った。主な意見は以下のとおりである。

（介護を受けている人の行動・症状）

- ・頑固で自分の意思をとおそうとする。
- ・ささいな声で怒り、手をあげてくることがある。
- ・本人の身の回りの片付けをすることを嫌がる。

（自分の時間がない）

- ・自分のやりたいことができない。

（自分の体調が不安）

- ・毎日 24 時間の介護で、このままでは共倒れになる。
- ・私 1 人で介護がやり切れなくなった時にどうするかが心配である。

（外出できない（目が離せない））

- ・一人にして外出ができない。

(移動について)

- ・通院の際の交通手段がない。

(肉体的に疲れる、睡眠不足)

- ・夜間に数回トイレに起きるので、目が覚めてしまう。

(精神的に疲れストレスがたまる)

- ・同じ話の繰り返しや暗い話、辛い話などを全部は聞けない。途中でイライラしたり、胃や頭が痛くなったりする。

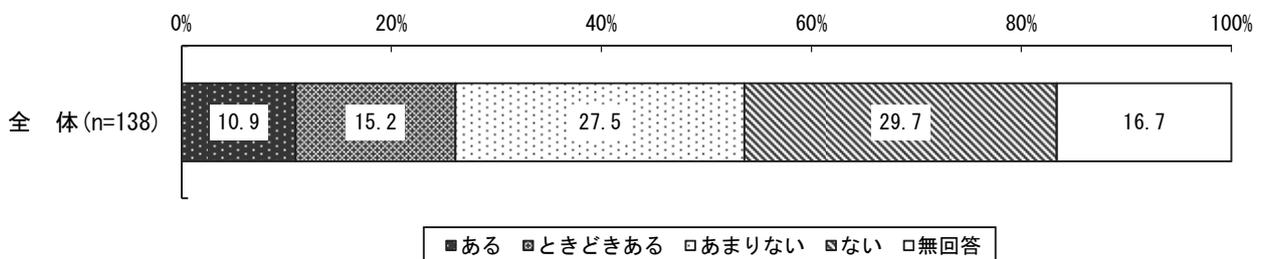
(直接介護していない人(親族・医師など)による誤解・理解不足)

- ・介護付有料老人ホームに入居している。毎日通い、いる間の面倒を見ているが、施設との意見・思いのくい違いがあり悩んでいる。

⑪ 介護者の孤独感 (問35)

介護者の孤独感は、「ある」と「ときどきある」を合計した《ある》は26.1%、「ない」と「あまりない」を合計した《ない》は57.2%となっている。

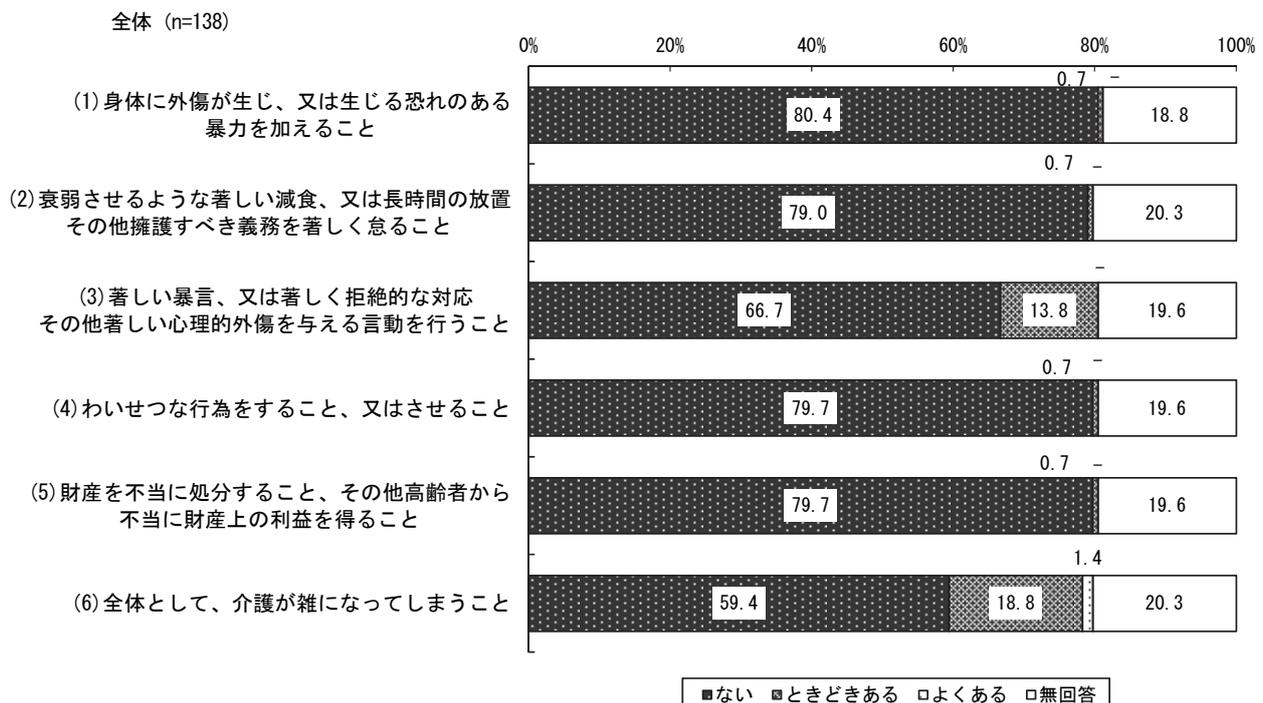
■介護者の孤独感



⑫ 虐待 (問36)

虐待は、以下の6項目とも「ない」が最も多いが、「よくある」と「ときどきある」を合計した《ある》に着目すると、『全体として、介護が雑になってしまうこと』が最も多く20.2%、『著しい暴言、又は著しく拒絶的な対応その他著しい心理的外傷を与える言動を行うこと』(13.8%)が続いている。

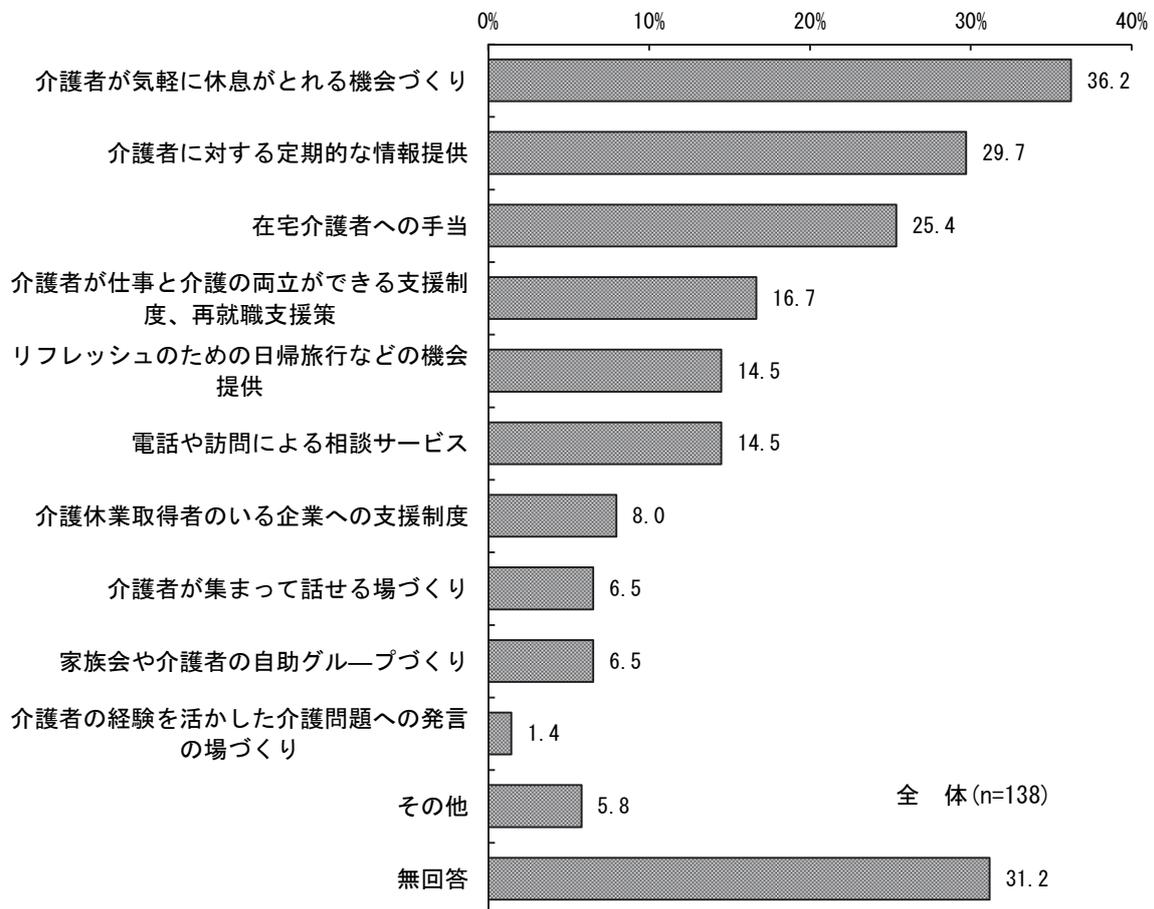
■虐待



⑬ 介護者の支援策で必要なこと（問37）

介護者の支援策として必要なことは、「介護者が気軽に休息がとれる機会づくり」が最も多く36.2%、次いで「介護者に対する定期的な情報提供」（29.7%）、「在宅介護者への手当」（25.4%）が続いている。

■介護者の支援策で必要なこと（複数回答）



平成22年度調査と比較すると、「介護者が集まって話せる場づくり」が8.6ポイント、「介護者の経験を活かした介護問題への発言の場づくり」が7.2ポイント低くなっている。

■介護者の支援策で必要なこと（複数回答）【前回比較】

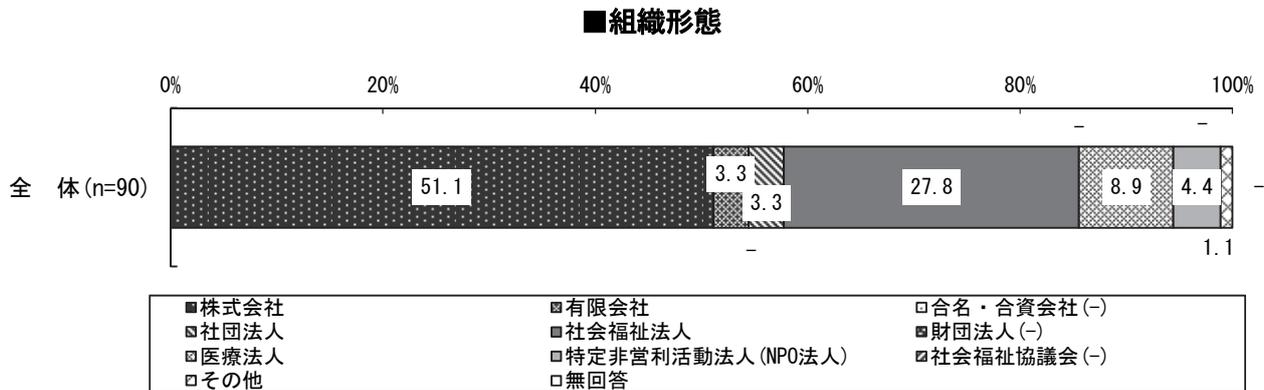
	と介護者が気軽に休息が	な介護者に対する定期的	在宅介護者への手当	度両立ができる仕事と介護の	供日帰旅行などの機会提供	サ電話や訪問による相談	企介護休業取得者のいる	る介護者が集まって話せる	グ家族会や介護者の自助	場た介護者の経験を活かした	その他	無回答
平成25年度調査 (n=138)	36.2	29.7	25.4	16.7	14.5	14.5	8.0	6.5	6.5	1.4	5.8	31.2
平成22年度調査 (n=185)	37.8	26.5	27.0	15.7	19.5	20.0	7.6	15.1	4.9	8.6	3.2	32.4

7. 介護保険サービス事業者調査

(1) 基本属性

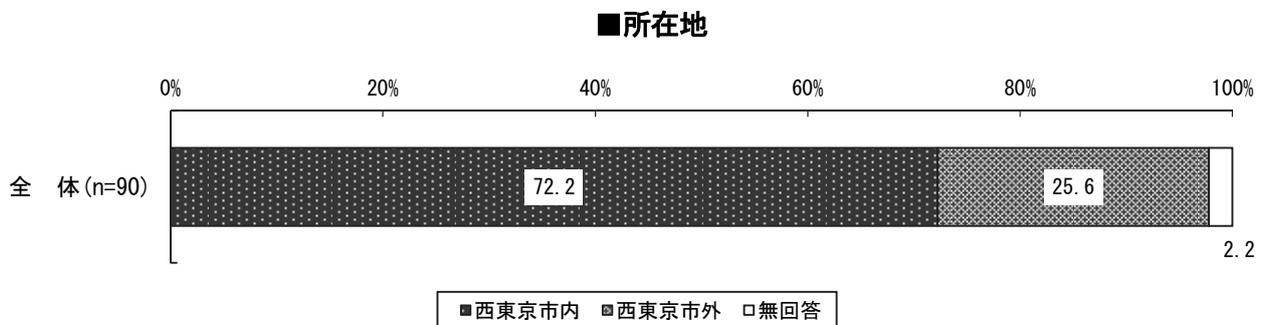
① 組織形態（問1）

組織形態は、「株式会社」が最も多く51.1%、次いで「社会福祉法人」（27.8%）、「医療法人」（8.9%）が続いている。



② 所在地（問2）

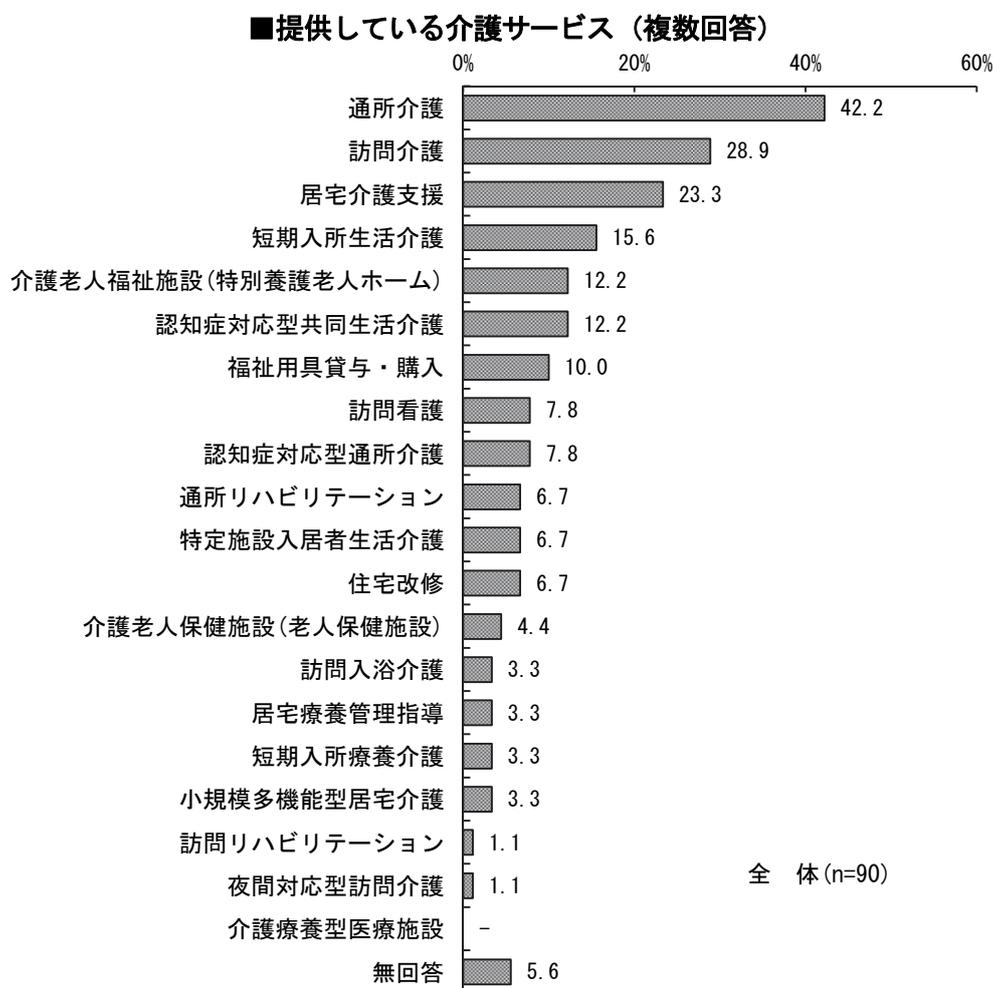
所在地は、「西東京市内」が72.2%、「西東京市外」が25.6%である。



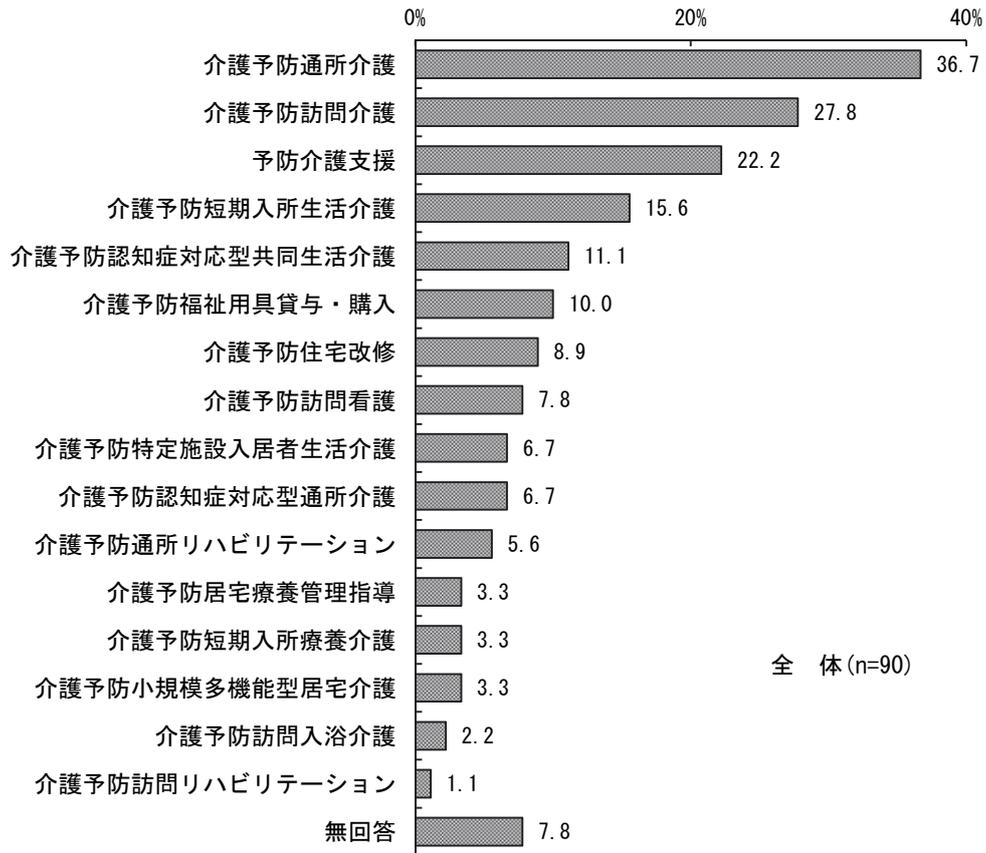
③ 提供しているサービス（問3）

提供している介護サービスは、「通所介護」が最も多く42.2%、次いで「訪問介護」（28.9%）、「居宅介護支援」（23.3%）、「短期入所生活介護」（15.6%）が続いている。

提供している予防サービスは、「介護予防通所介護」が最も多く36.7%、次いで「介護予防訪問介護」（27.8%）、「予防介護支援」（22.2%）、「介護予防短期入所生活介護」（15.6%）が続いている。



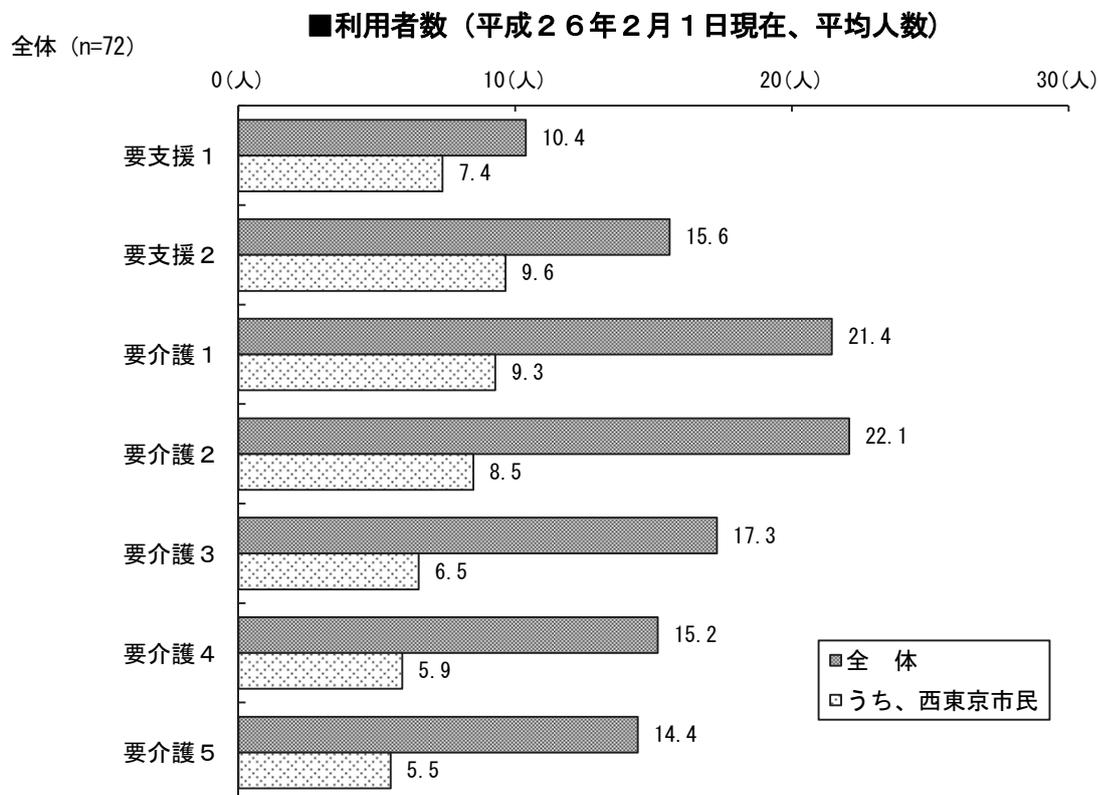
■提供している予防サービス（複数回答）



④ 利用者数（問4）

要介護度別の利用者総数（平均人数）は、「要介護2」が最も多く22.1人、次いで「要介護1」（21.4人）、「要介護3」（17.3人）が続いている。

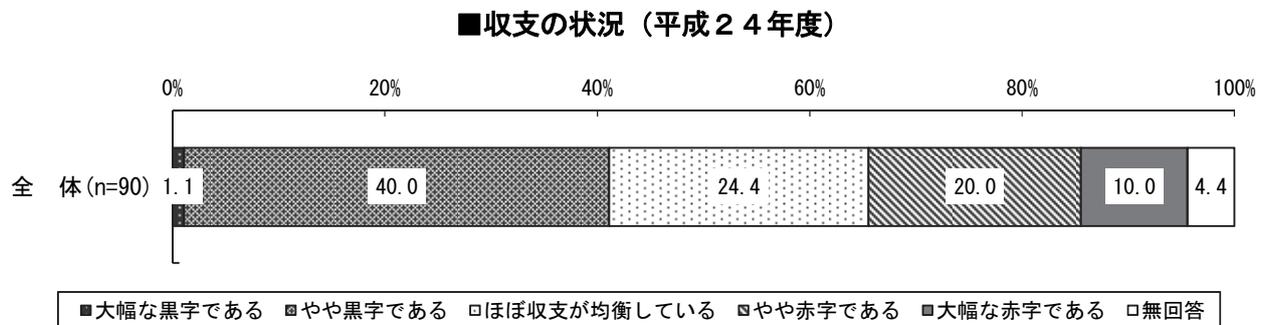
うち、西東京市民の要介護度別の利用者総数（平均人数）は、「要支援2」が最も多く9.6人、次いで「要介護1」（9.3人）、「要介護2」（8.5人）が続いている。



(2) 収支の状況

① 収支の状況（平成24年度）（問5）

平成24年度の介護事業収支は、「やや黒字である」が最も多く40.0%、「ほぼ収支が均衡している」（24.4%）が続いている。「大幅な黒字である」と「やや黒字である」の合計は41.1%、「やや赤字である」と「大幅な赤字である」の合計は30.0%となっている。



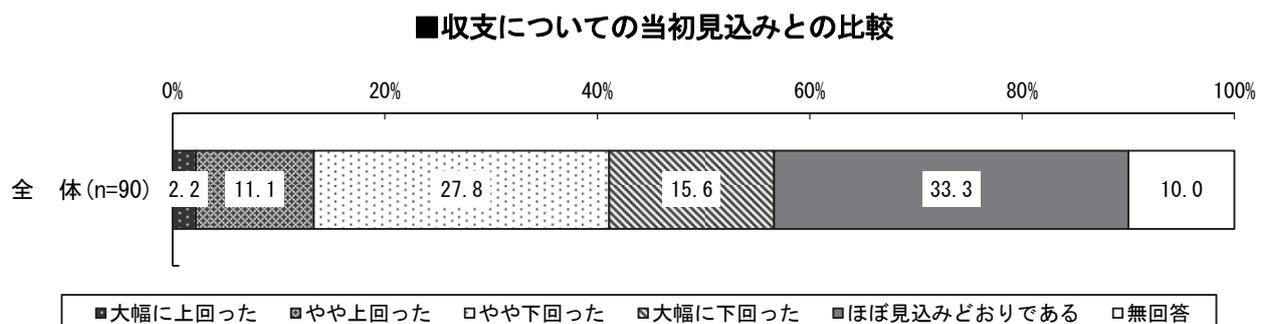
平成22年度調査と比較すると、「ほぼ収支が均衡している」が10.3ポイント減少し、「やや赤字である」が7.8ポイント増加している。

■収支の状況【前回比較】

	(%)					
	大幅な黒字である	やや黒字である	ほぼ収支が均衡している	やや赤字である	大幅な赤字である	無回答
平成25年度調査 (n=90)	1.1	40.0	24.4	20.0	10.0	4.4
平成22年度調査 (n=98)	-	39.8	34.7	12.2	11.2	2.0

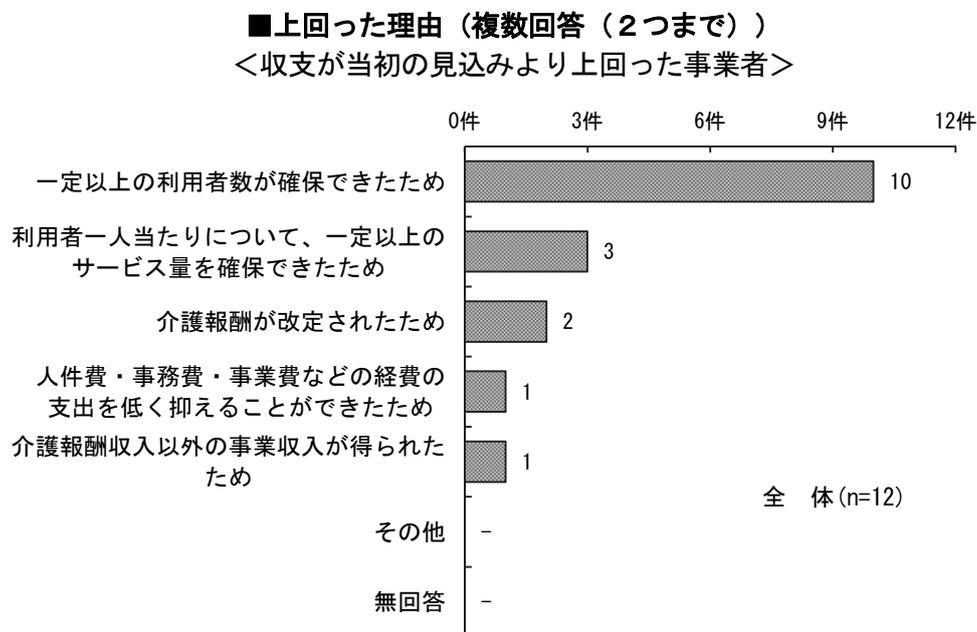
② 収支についての当初見込みとの比較（問6）

収支についての当初見込みとの比較は、「ほぼ見込みどおり」が最も多く33.3%、次いで「やや下回った」（27.8%）が続いている。「大幅に上回った」と「やや上回った」の合計は13.3%、「やや下回った」と「大幅に下回った」の合計は43.4%となっている。



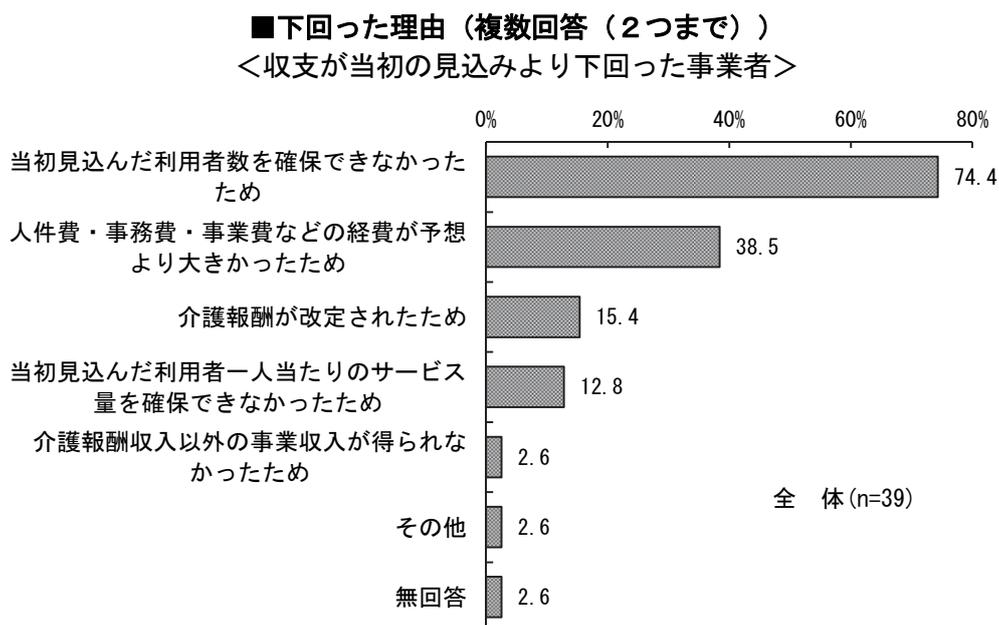
③ 上回った理由（問6-1）

収支について、当初見込みから「大幅に上回った」と「やや上回った」と回答した事業者の上回った理由は、『一定以上の利用者数が確保できたため』が最も多く10件、次いで『利用者一人当たりについて、一定以上のサービス量を確保できたため』（3件）、『介護報酬が改定されたため』（2件）が続いている。



④ 下回った理由（問6-2）

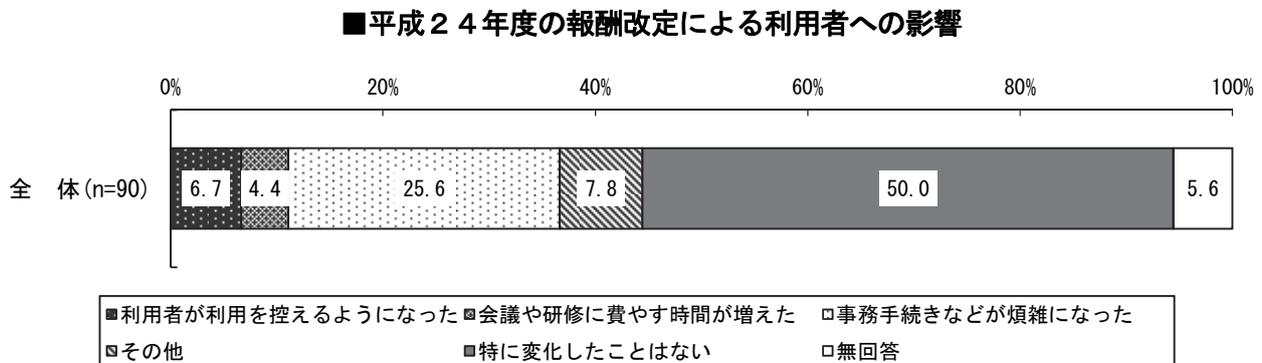
収支について、当初見込みから「大幅に下回った」と「やや下回った」と回答した事業者の下回った理由は、『当初見込んだ利用者数を確保できなかったため』が最も多く74.4%、次いで『人件費・事務費・事業費などの経費が予想より大きかったため』（38.5%）、『介護報酬が改定されたため』（15.4%）が続いている。



(3) 事業運営

① 平成24年度の報酬改定による利用者への影響（問7）

平成24年度の報酬改定による利用者への影響は、「特に変化したことはない」が最も多く50.0%、次いで「事務手続きなどが煩雑になった」（25.6%）が続いている。



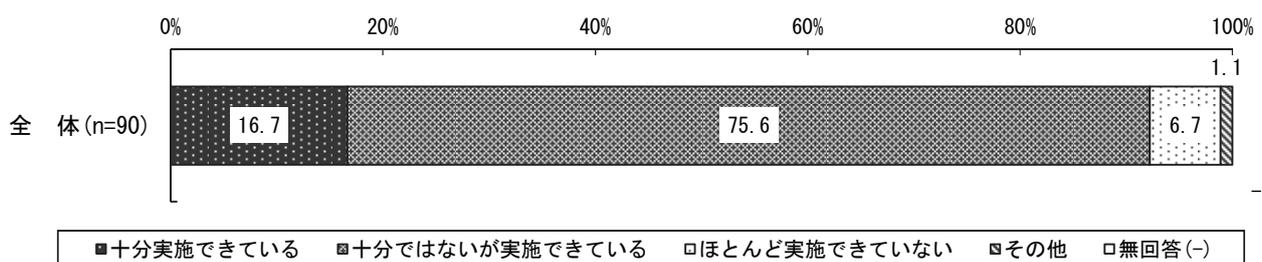
② 職員のキャリア支援（問8）

職員のキャリア支援は、事業所内での講習会・研修については、「十分ではないが実施できている」が最も多く75.6%、「十分実施できている」（16.7%）、「ほとんど実施できていない」（6.7%）となっている。

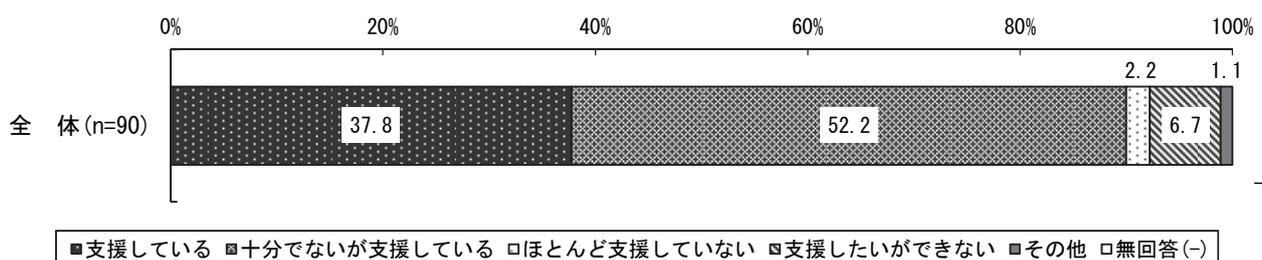
外部の研修や事例検討、勉強会については、「十分ではないが支援している」が最も多く52.2%、次いで「支援している」（37.8%）、「支援したいができない」（6.7%）、「ほとんど支援していない」（2.2%）となっている。

■職員のキャリア支援

(1) 事業所内での講習会・研修



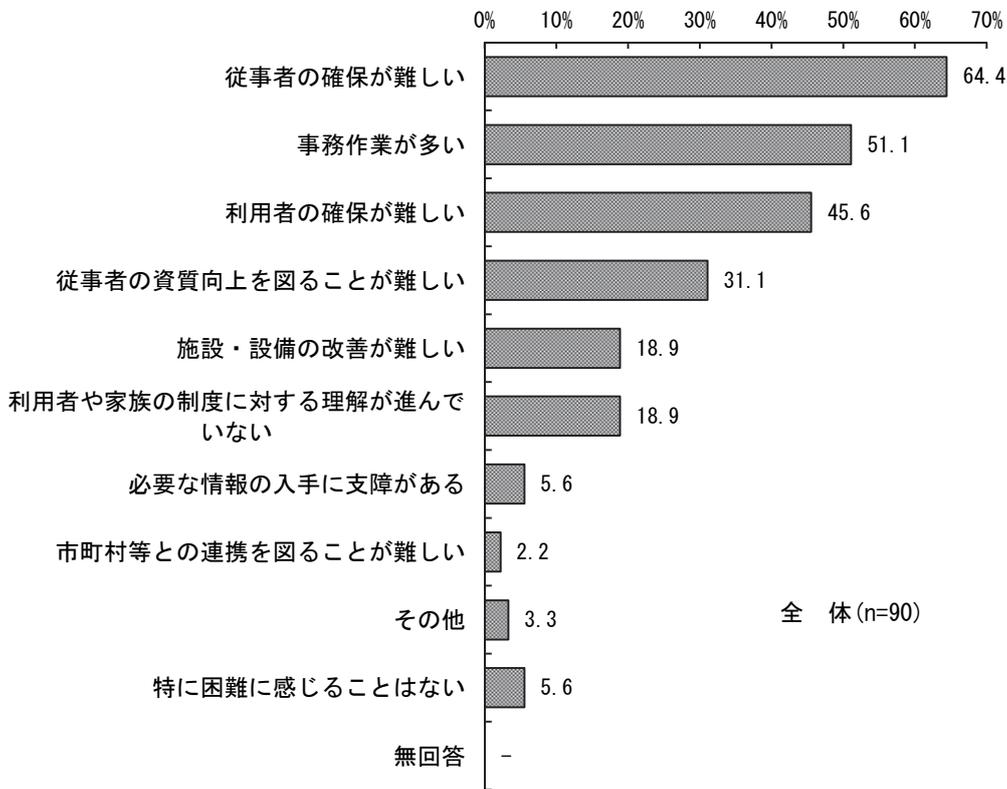
(2) 外部の研修や事例検討、勉強会



③ 円滑な事業運営を進めていくうえで困難に感じていること（問9）

円滑な事業運営を進めていくうえで困難に感じていることは、「従事者の確保が難しい」が最も多く64.4%、次いで「事務作業が多い」（51.1%）、「利用者の確保が難しい」（45.6%）、「従事者の資質向上を図ることが難しい」（31.1%）が続いている。

■円滑な事業運営を進めていくうえで困難に感じていること（複数回答）



平成22年度調査と比較すると、「従事者の確保が難しい」が14.4ポイント高くなっている。反対に、「事務作業が多い」が10.1ポイント低くなっている。

■円滑な事業運営を進めていくうえで困難に感じていること（複数回答）【前回比較】

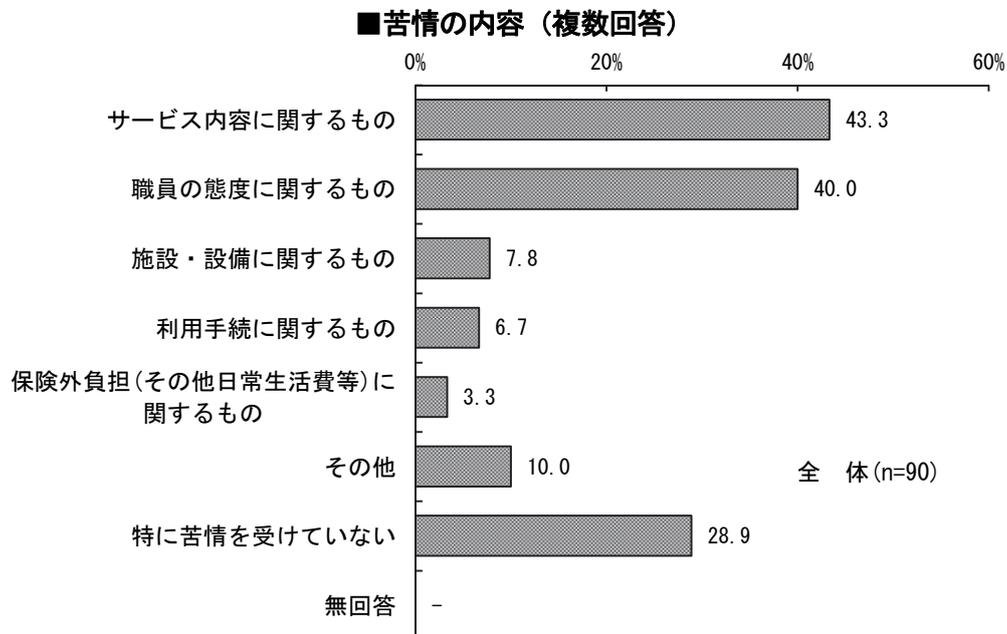
	従事者の確保が難しい	事務作業が多い	利用者の確保が難しい	従事者の資質向上を図ることが難しい	施設・設備の改善が難しい	利用者や家族の制度に対する理解が進んでいない	必要な情報の入手に支障がある	市町村等との連携を図ることが難しい	その他	特に困難に感じることはない	無回答
平成25年度調査 (n=90)	64.4	51.1	45.6	31.1	18.9	18.9	5.6	2.2	3.3	5.6	-
平成22年度調査 (n=98)	50.0	61.2	38.8	29.6	16.3	17.3	6.1	6.1	4.1	1.0	4.1

(%)

(4) 苦情の内容

① 苦情の内容（問10）

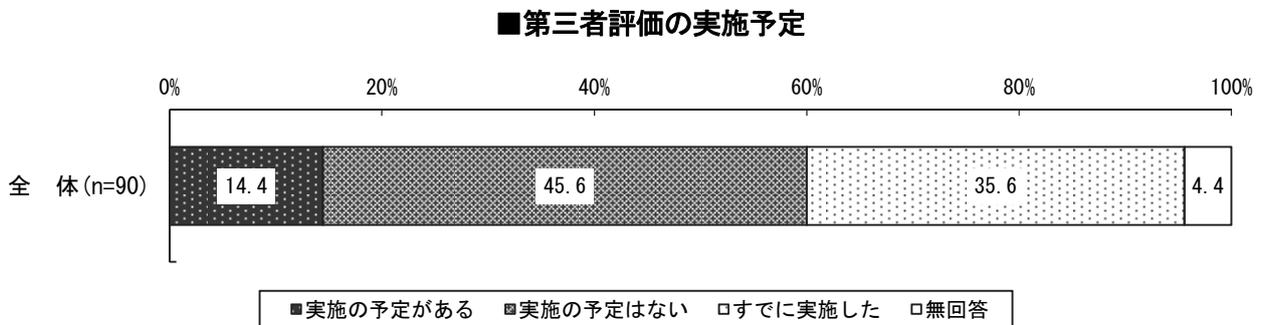
苦情の内容は、「サービス内容に関するもの」が最も多く43.3%、次いで「職員の態度に関するもの」（40.0%）である。「特に苦情を受けていない」が28.9%となっている。



(5) サービスの質の向上

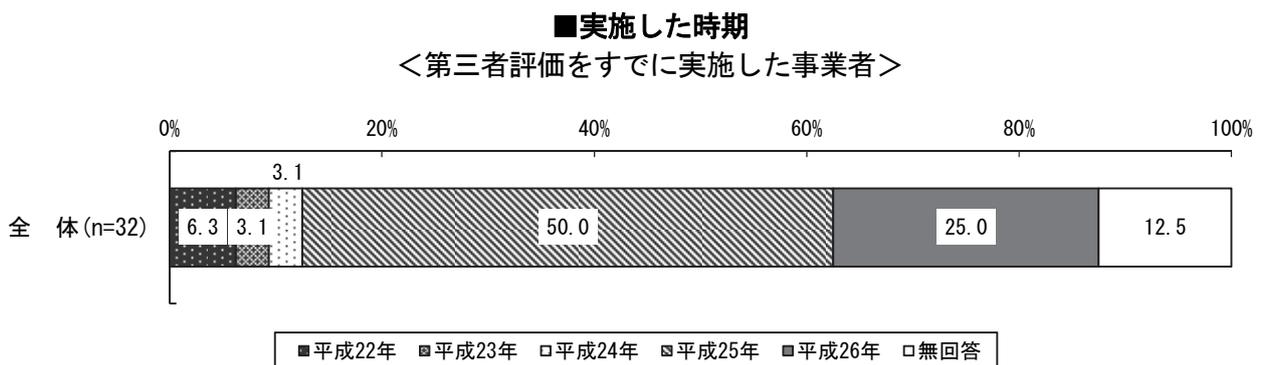
① 第三者評価の実施予定（問11）

第三者評価の実施予定は、「実施の予定がある」が14.4%、「実施の予定はない」が45.6%、「すでに実施した」は35.6%である。



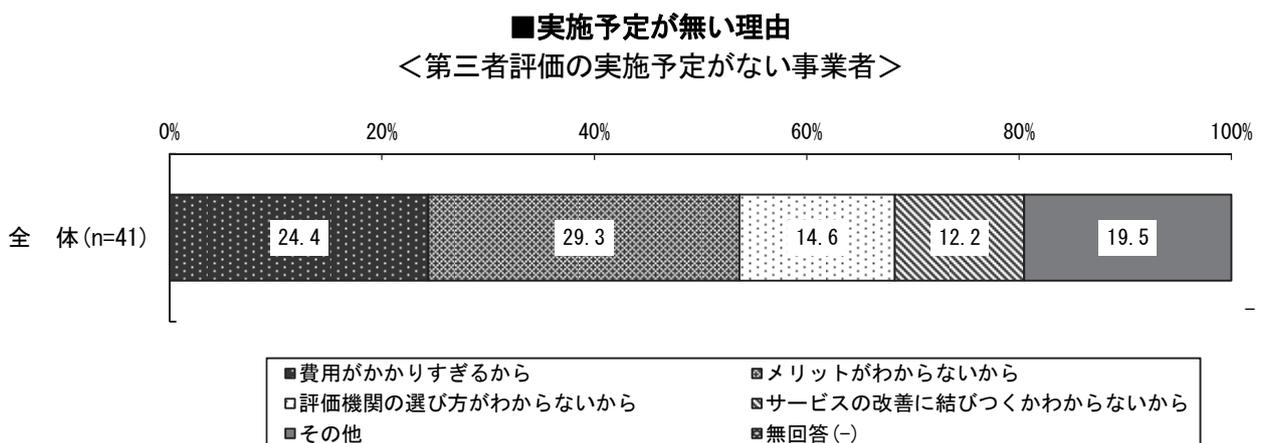
② 実施した時期（問11-1）

第三者評価をすでに実施した事業者には、実施時期をたずねた。実施時期は、「平成25年」が最も多く50.0%、次いで「平成26年」が25.0%となっている。



③ 実施予定が無い理由（問11-2）

第三者評価の実施予定がない事業者には、その理由をたずねた。「メリットがわからないから」が最も多く29.3%、次いで「費用がかかりすぎるから」(24.4%)、「評価機関の選び方がわからないから」(14.6%)が続いている。

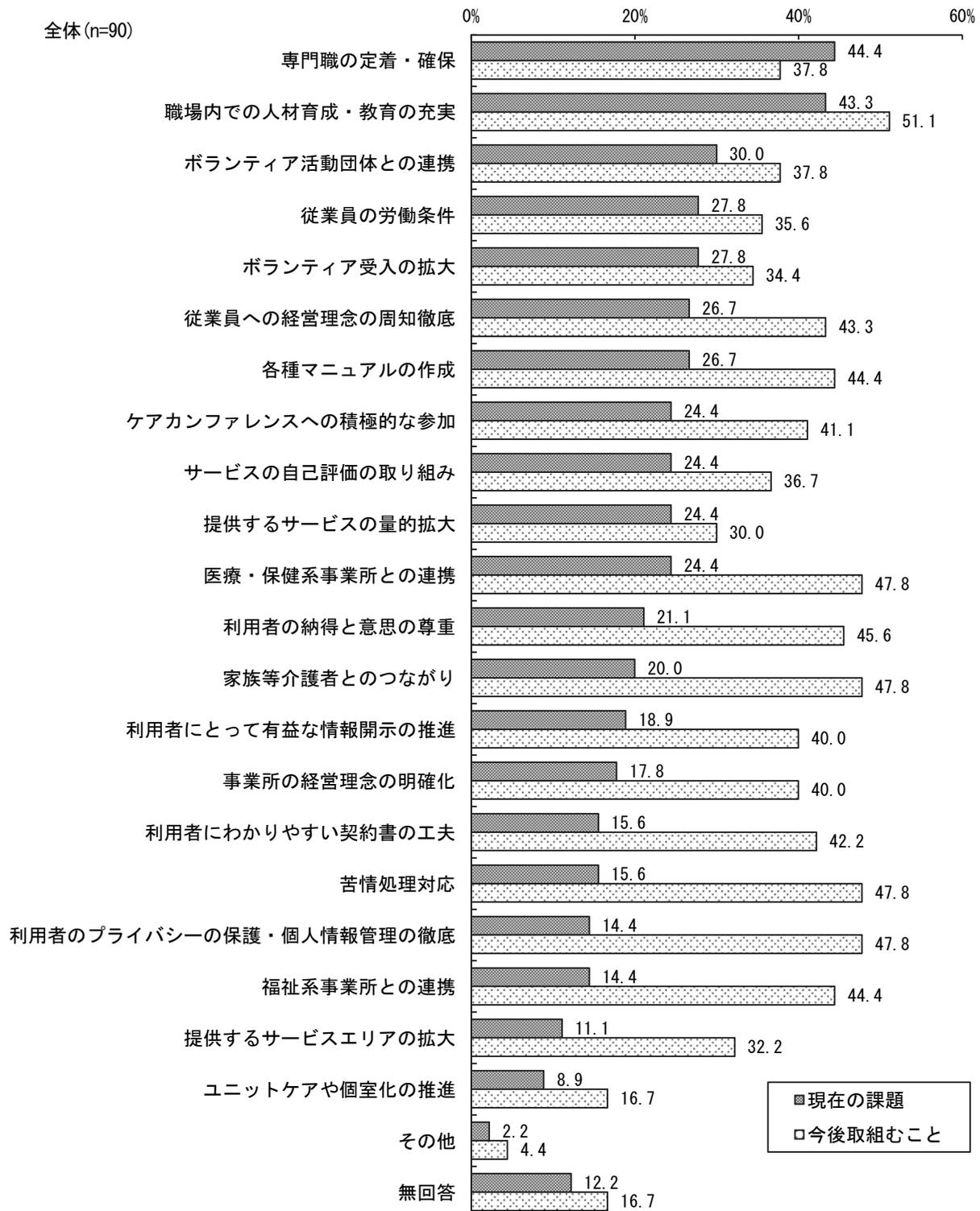


④ 事業所で課題としてあげられること・今後取り組むこと（続けること）（問12）

課題としてあげられることは、「専門職の定着・確保」が最も多く44.4%、「職場内での人材育成・教育の充実」（43.3%）、「ボランティア活動団体との連携」（30.0%）が続いている。

今後取り組むことは、「職場内での人材育成・教育の充実」が最も多く51.1%、「医療・保健系事業所との連携」「家族等介護者とのつながり」「苦情処理対応」「利用者のプライバシーの保護・個人情報管理の徹底」（ともに47.8%）が続いている。

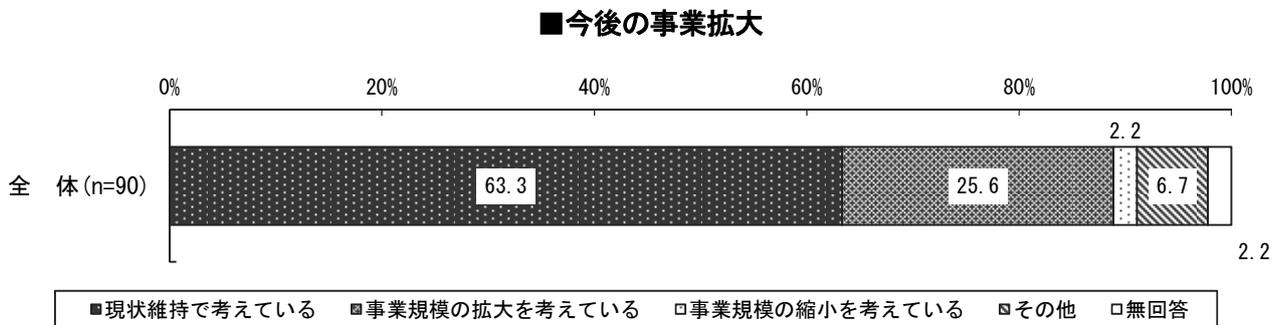
■課題としてあげられること・今後取り組むこと（複数回答）



(6) 今後の運営方針

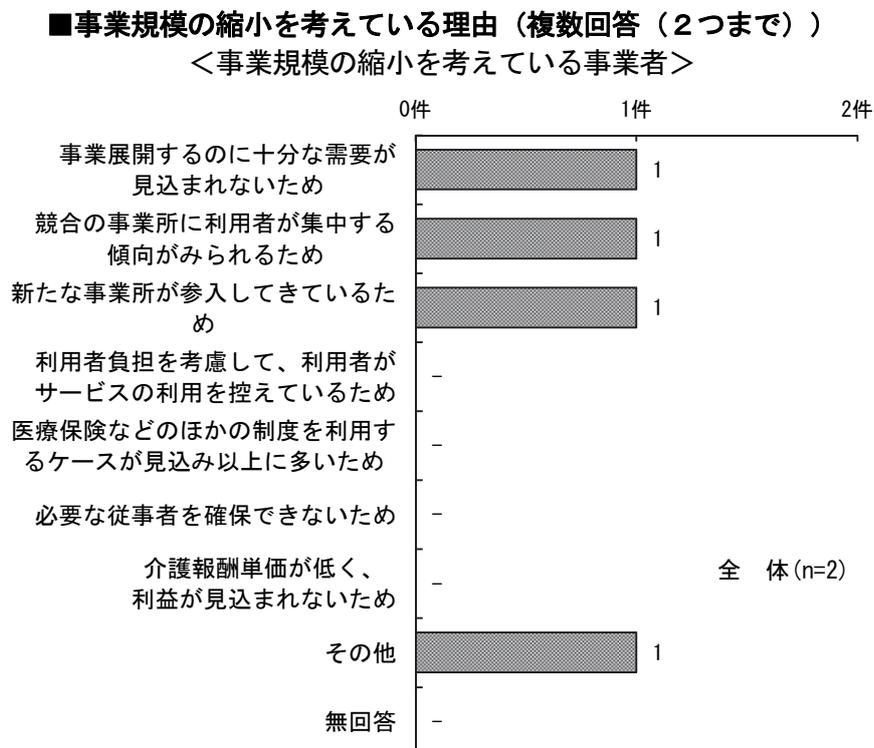
① 今後の事業拡大 (問13)

今後の事業拡大については、「現状維持で考えている」が最も多く63.3%、次いで「事業規模の拡大を考えている」(25.6%)が続いている。



② 事業規模の縮小を考えている理由 (問13-1)

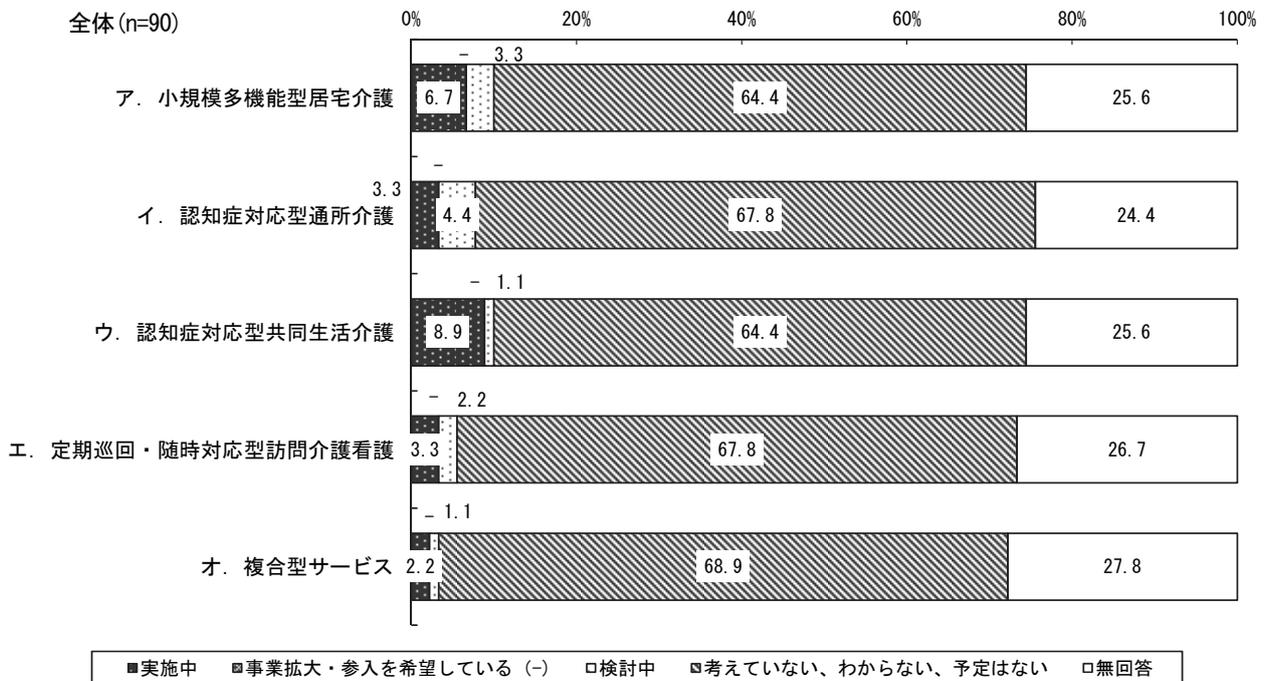
事業規模の縮小を考えている事業者の理由は、「事業展開するのに十分な需要が見込まれないため」「競合の事業所に利用者が集中する傾向がみられるため」「新たな事業所が参入してきているため」が挙げられている。



③ 地域密着型サービスの事業拡大や新規参入意向（問14）

地域密着型サービスの事業拡大や新規参入意向は、以下の5事業とも「考えていない、わからない、予定はない」が最も多く6割を超えている。また、「事業拡大・参入を希望している」と回答した事業者はいなかった。「実施中」は、『認知症対応型共同生活介護』が最も多く8.9%、次いで『小規模多機能型居宅介護』（6.7%）となっている。

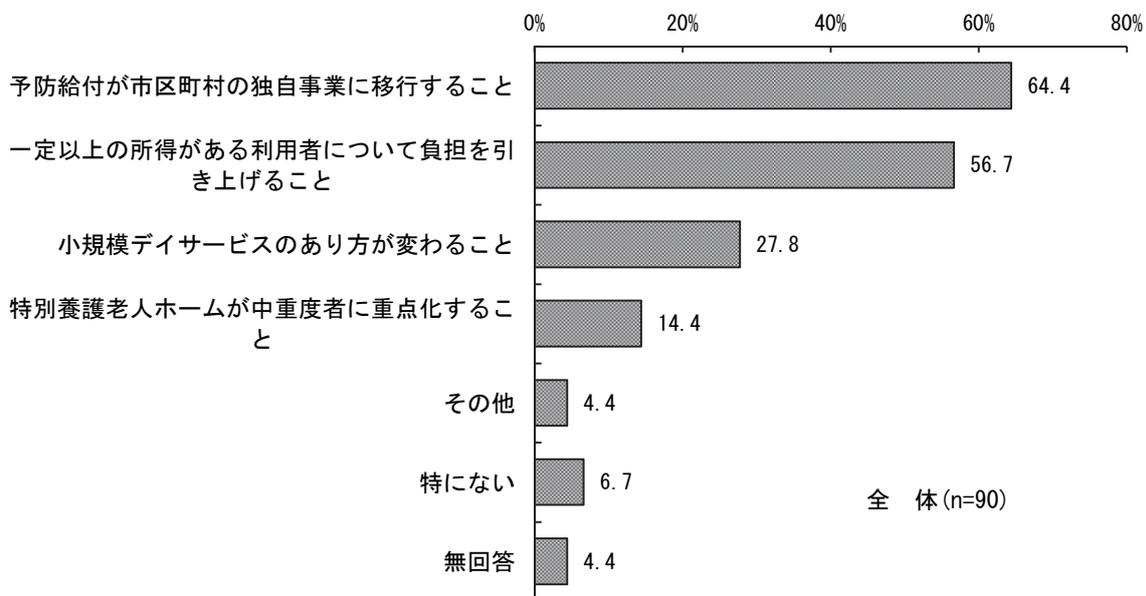
■地域密着型サービスの事業拡大や新規参入



④ 平成27年度の介護保険制度の改正による経営への影響予想（問15）

平成27年度の介護保険制度の改正により経営に影響があると予想される事項は、「予防給付が市区町村の独自事業に移行すること」が最も多く64.4%、次いで「一定以上の所得がある利用者について負担を引き上げること」（56.7%）、「小規模デイサービスのあり方が変わること」（27.8%）、「特別養護老人ホームが中重度者に重点化すること」（14.4%）が続いている。

■平成27年度の介護保険制度の改正による経営への影響予想（複数回答）

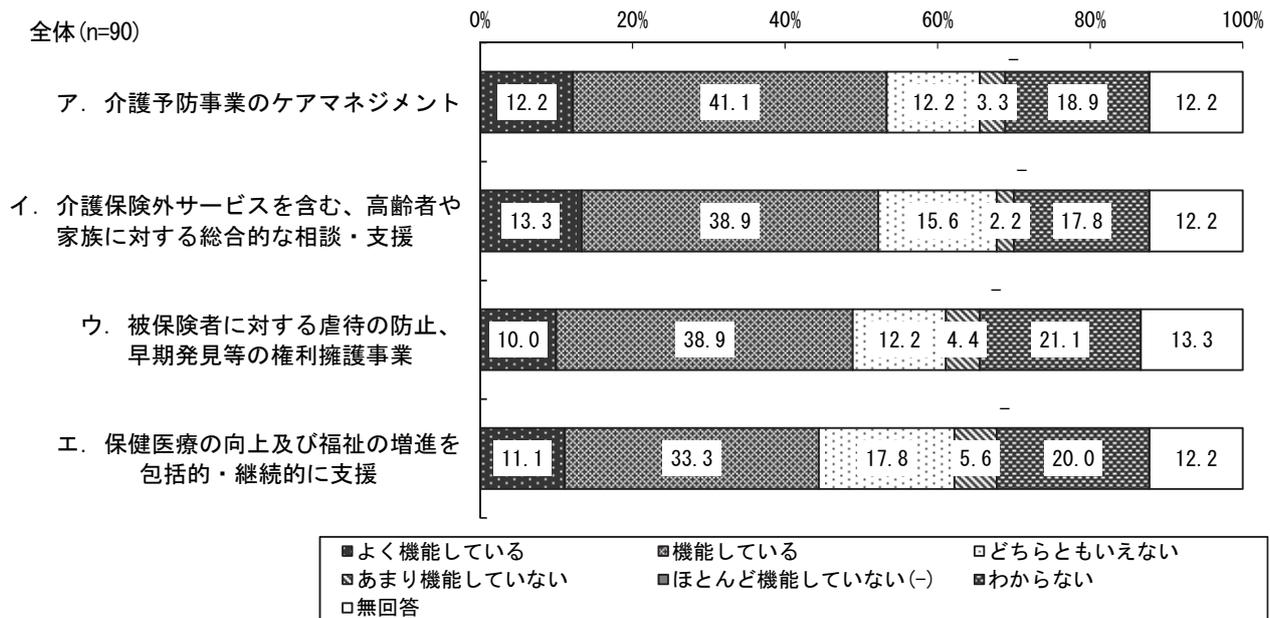


(7) 地域包括支援センター

① 地域包括支援センターの機能に対する評価 (問16)

地域包括支援センターの4つの機能に対する評価は、「よく機能している」と「機能している」の合計《機能している》は、『介護予防事業のケアマネジメント』が最も多く53.3%、次いで『介護保険外サービスを含む、高齢者や家族に対する総合的な相談・支援』(52.2%)、『被保険者に対する虐待の防止、早期発見等の権利擁護事業』(48.9%)、『保健医療の向上及び福祉の増進を包括的・継続的に支援』(44.4%)が続いている。

■地域包括支援センターの機能に対する評価



平成22年度調査と比較すると、「よく機能している」と「機能している」の合計《機能している》は、4項目とも大幅に上昇している

■地域包括支援センターの機能に対する評価《機能している》【前回比較】

	(%)			
	介護予防事業のケアマネジメント	介護する高齢者や家族に対する総合的な相談・支援	権利擁護事業の早期発見等の虐待防止	保健医療の向上及び福祉の増進を包括的・継続的に支援
平成25年度調査 (n=90)	53.3	52.2	48.9	44.4
平成22年度調査 (n=98)	37.8	37.8	28.6	21.5

② 回答の理由、要望（問16-1）

地域包括支援センターの4つの役割について、回答の理由や意見・要望を自由記述形式でうかがい、内容ごとに分類・整理を行った。主な意見は以下のとおりである。

（地域包括支援センター及び職員の資質向上）

- ・地域包括支援センターごとに対応やケアマネの質に差がある。
- ・地域包括支援センターの職員はいつも忙しく、多くの困難ケースに充分対応できない状況にあるように思う。
- ・介護保険、保険外のサービスの説明や情報提供を強化してほしい。

（地域包括支援センターの機能強化）

- ・土・日・祝に開いてると相談しやすい。
- ・地域包括支援センターで、研修を定期的に計画し発信してほしい。

（地域包括支援センターとの連携強化）

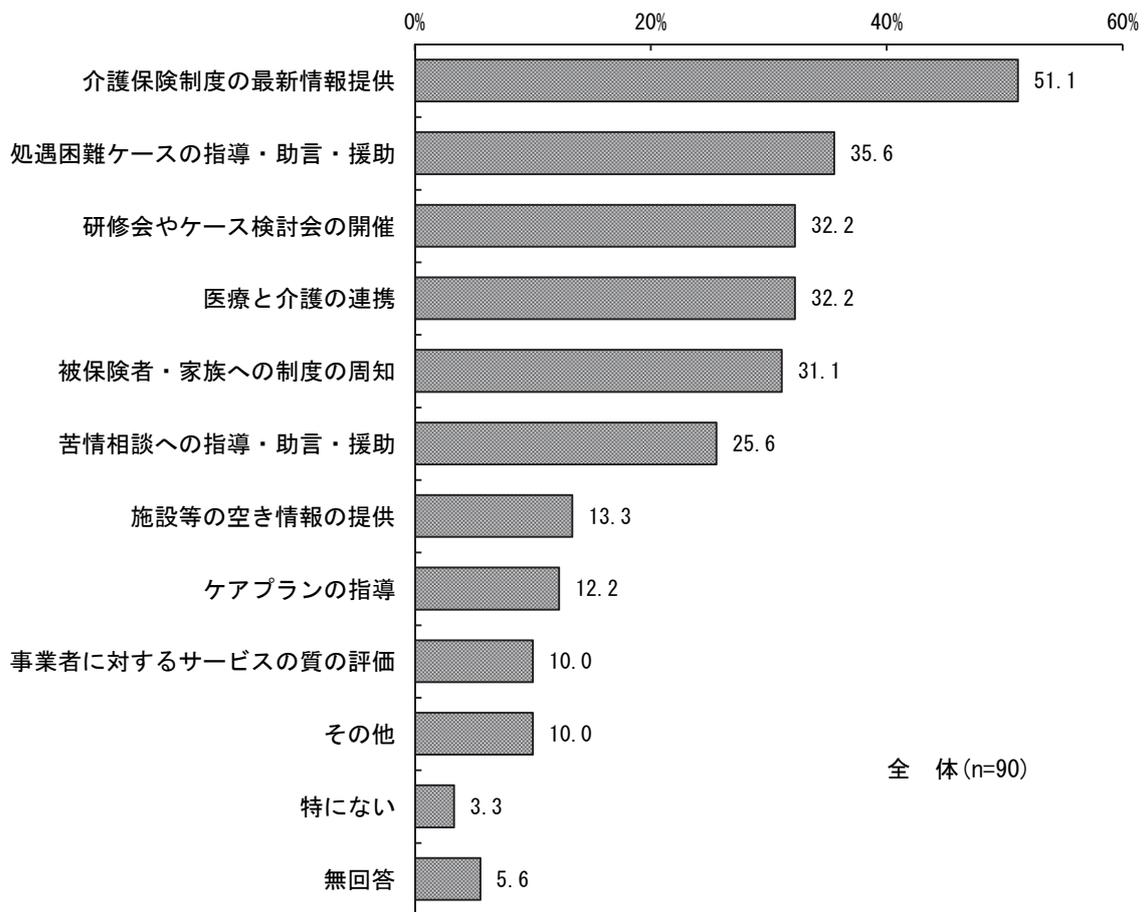
- ・地域包括支援センターとの連携をうまくとっていききたい。

(8) 市への要望

① 事業者として西東京市に望むこと（問17）

事業者として西東京市に望むことは、「介護保険制度の最新情報提供」が最も多く 51.1%、次いで「処遇困難ケースの指導・助言・援助」（35.6%）、「研修会やケース検討会の開催」「医療と介護の連携」（ともに 32.2%）、「被保険者・家族への制度の周知」（31.1%）が続いている。

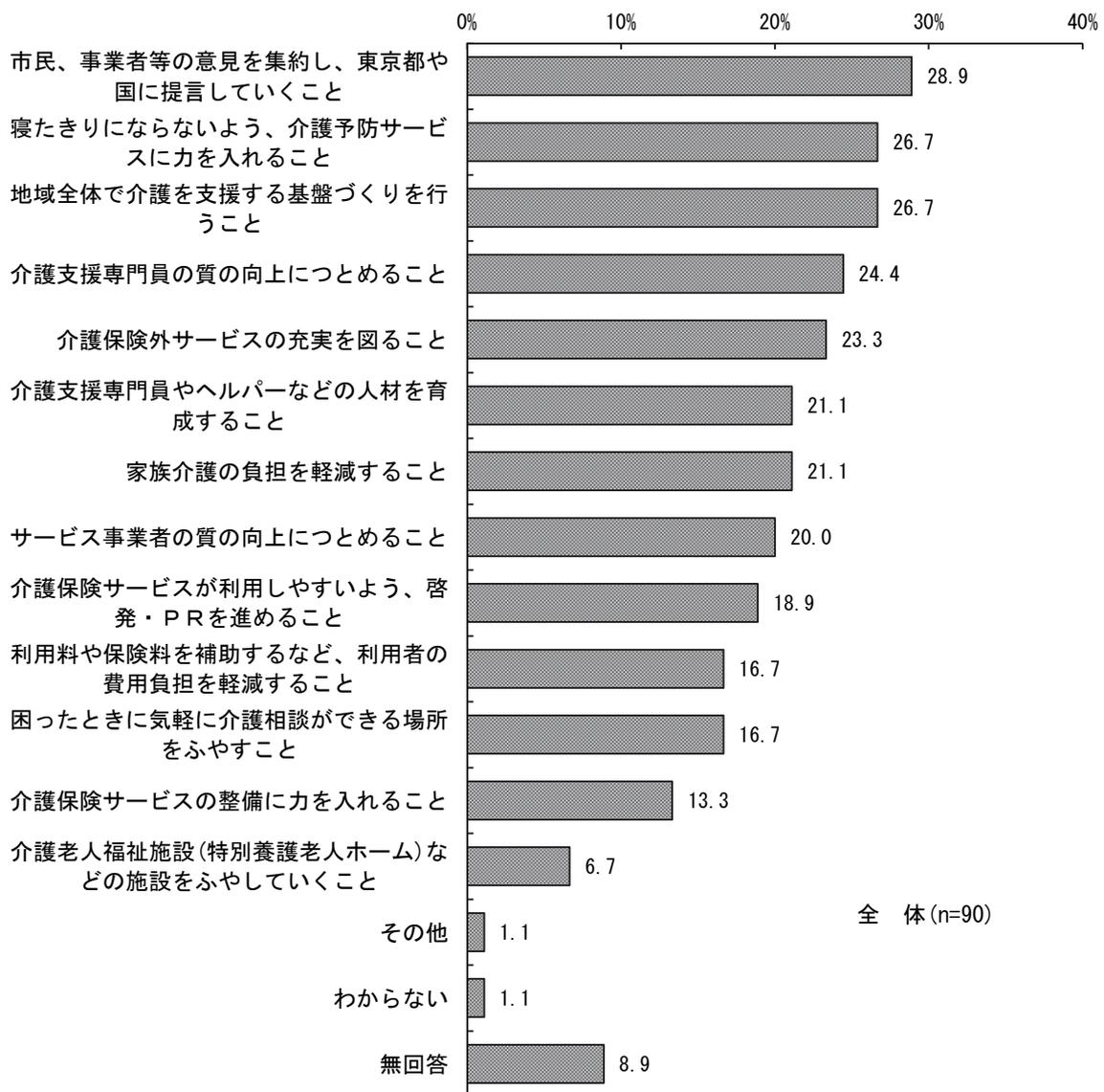
■事業者として西東京市に望むこと（複数回答（3つまで））



② 介護保険制度をよりよくするために市が力を入れるべきこと（問18）

介護保険制度をよりよくするために市が力を入れるべきことは、「市民、事業者等の意見を集約し、東京都や国に提言していくこと」が最も多く 28.9%、「寝たきりにならないよう、介護予防サービスに力を入れること」「地域全体で介護を支援する基盤づくりを行うこと」（ともに 26.7%）、「介護支援専門員の質の向上につとめること」（24.4%）が続いている。

■介護保険制度をよりよくするために市が力を入れるべきこと（複数回答（3つまで））



平成22年度調査と比較すると、「介護保険サービスが利用しやすいよう、啓発・PRを進めること」「寝たきりにならないよう、介護予防サービスに力を入れること」が上昇し、それぞれ10.7ポイント、9.4ポイント高くなっている。一方、「地域全体で介護を支援する基盤づくりを行うこと」が8.0ポイント低下している。

■介護保険制度をよりよくするために市が力を入れるべきこと（複数回答（3つまで））【前回比較】

	言集市 約民、 してし、 いく事 こと業 者等 やの 国意 見を 提を	う、寝 力をた 入介き れる護 こと予 と防に サーならない ビスよ に	る地 基域 盤全 づく体 くりで りを介 行護を う支 こと援 す	上介 につ護 と支 め援 る専 こと門 の員 質の 向	実介 を護 図保 る險 こと外 サー ビス の充	るパ 介護 事支 業援 の専 の門 人員 材や を育 成ヘル す	る家 族介 護の 負 担を 軽減 す	上サ ービ ス事 業 者 の 質 の 向
平成25年度調査 (n=90)	28.9	26.7	26.7	24.4	23.3	21.1	21.1	20.0
平成22年度調査 (n=98)	32.7	17.3	34.7	20.4	19.4	19.4	15.3	22.4
	Rし介 や護 進保 めず險 るいサ ことー 、ビ 啓ス 発が ・利 用	担る を料 を軽など 減減、 す利保 ること險 者の料 のを 費用補助 負す	す相 こと談 がた でき るに 場気 所軽 を介 ふや護	に介 力護 を入保 れる險 ことサ ービ スの 整備	施養介 設護老 を老人 ふ人福 やホ社 しし施 ていム くな設 こと（ 特別	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
平成25年度調査 (n=90)	18.9	16.7	16.7	13.3	6.7	1.1	1.1	8.9
平成22年度調査 (n=98)	8.2	16.3	21.4	14.3	8.2	0.0	2.0	6.1

③ 介護保険事業への意見・要望（問19）

介護保険事業について、意見・要望を自由記述形式でうかがい、内容ごとに分類・整理を行った。主な意見は以下のとおりである。

（サービスへの支援）

- ・グループホーム入居者に、保険外のサービスとして市独自の福祉用具レンタルの補助があると助かる。
- ・地域密着の基盤整備について、現在のグループホームユニット+小規模多機能という条件を緩和してほしい。
- ・サービス事業所や居宅介護支援事業に対しての指導等を期待する。

（情報提供の充実）

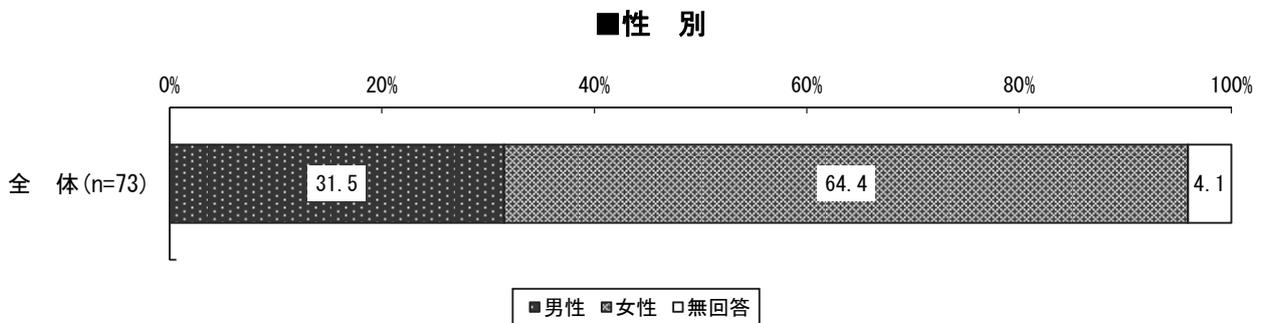
- ・小規模多機能型居宅介護の事業所が増えていくので、連携をはかることや情報提供の推進に力を入れてほしい。
- ・要支援1、2が市町村の事業となることについて、早期の情報提供や計画への意見聴取などをしてほしい。
- ・2015年の改正について、決まっている部分を早めに事業所へ知らせしてほしい。

8. 介護支援専門員調査

(1) 基本属性

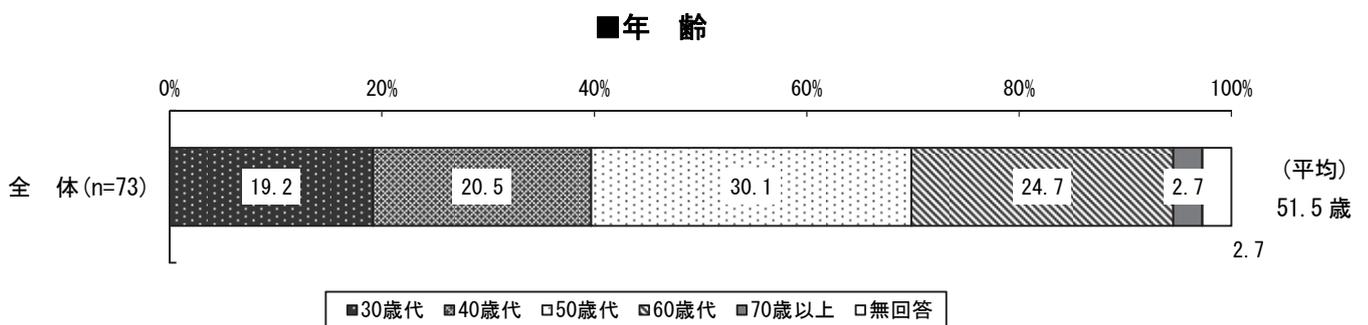
① 性別（問1）

性別は、「男性」が31.5%、「女性」が64.4%となっている。



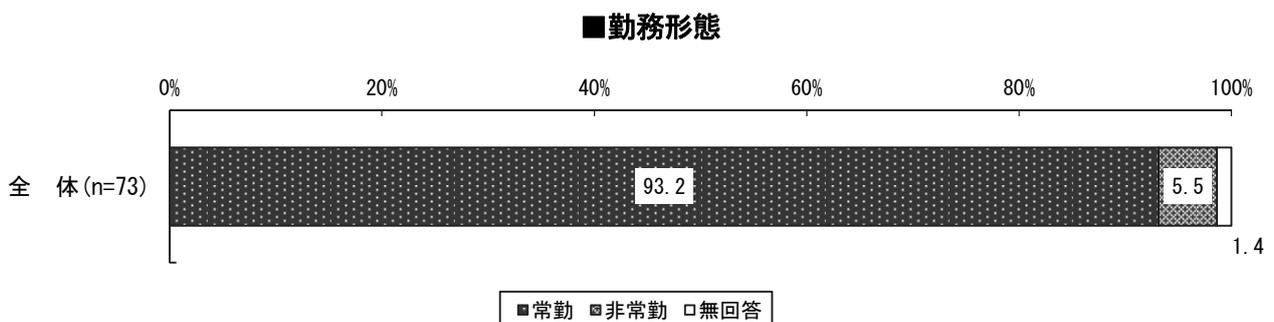
② 年齢（問2）

年齢は、「50歳代」が最も多く30.1%、次いで「60歳代」（24.7%）、「40歳代」（20.5%）が続いている。



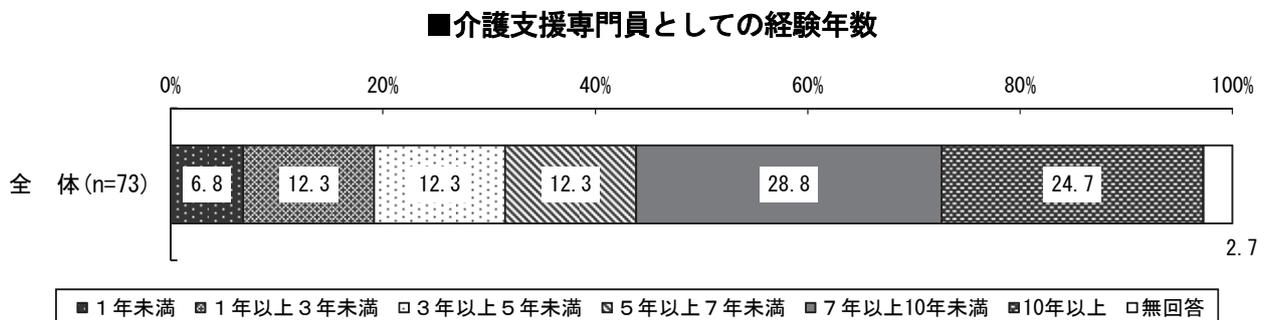
③ 勤務形態（問3）

勤務形態は、「常勤」が93.2%、「非常勤」が5.5%となっている。



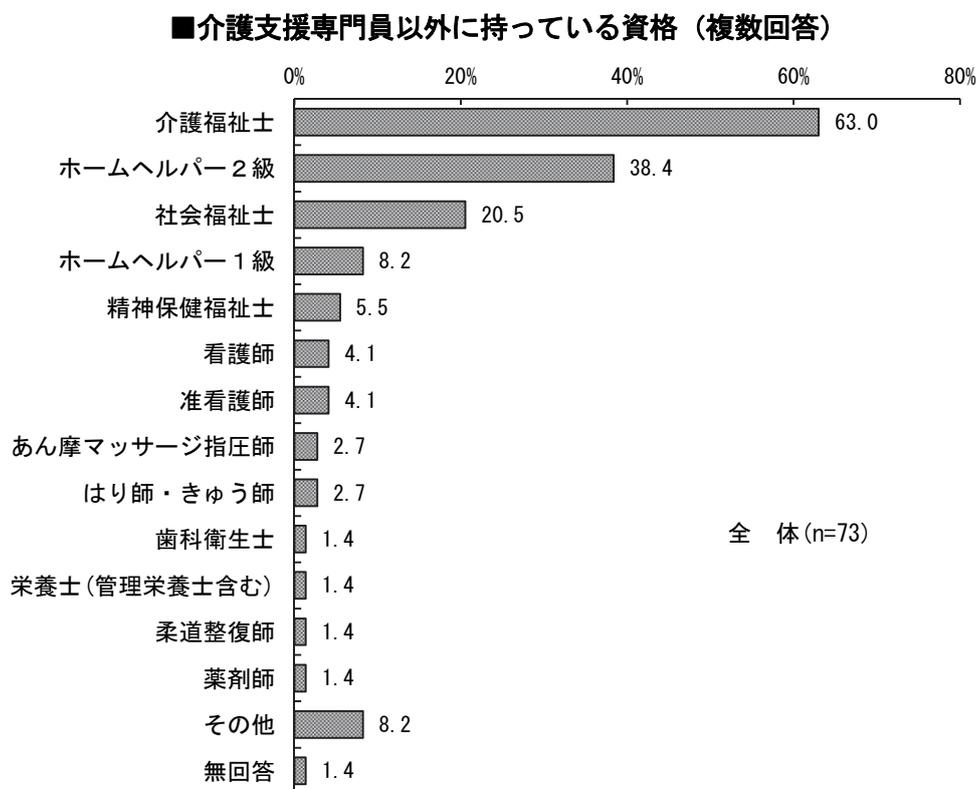
④ 介護支援専門員としての経験年数（問4）

介護支援専門員としての経験年数は、「7年以上10年未満」が28.8%と最も多く、「10年以上」が24.7%、「1年以上3年未満」「3年以上5年未満」「5年以上7年未満」がともに12.3%となっている。



⑤ 介護支援専門員以外に持っている資格（問5）

介護支援専門員以外に持っている資格は、「介護福祉士」が最も多く63.0%、次いで「ホームヘルパー2級」（38.4%）、「社会福祉士」（20.5%）が続いている。

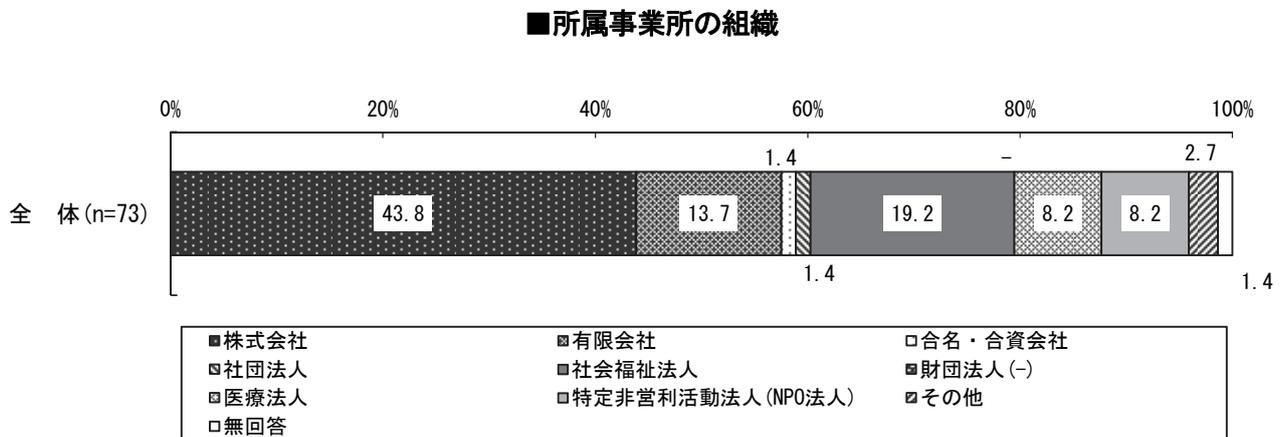


(注) 「医師」「歯科医師」「保健師」「理学療法士」「作業療法士」「介護職員初任者」は、回答者が皆無であったことからグラフ表記していない。

(2) 所属事業所について

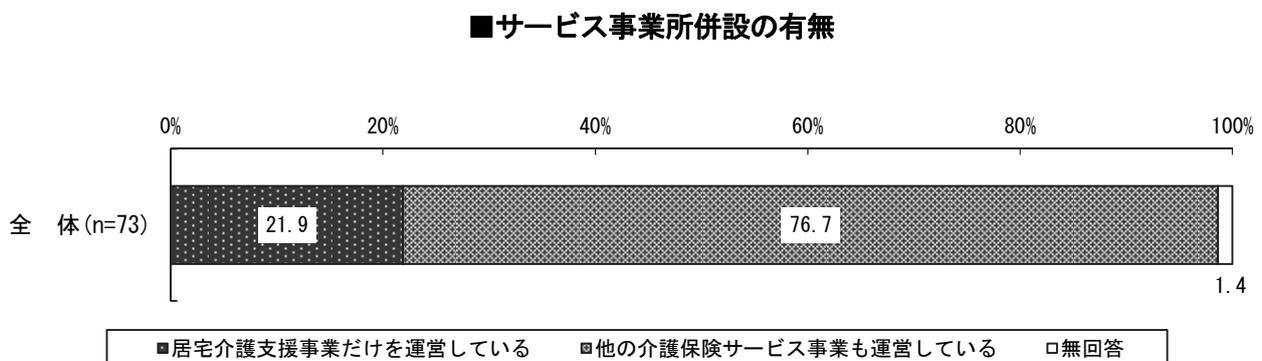
① 所属事業所の組織（問6）

所属事業所の組織形態は、「株式会社」が最も多く43.8%、「社会福祉法人」（19.2%）、「有限会社」（13.7%）が続いている。



② サービス事業所併設の有無（問7）

サービス事業所併設の有無は、「他の介護保険サービス事業も運営している」が76.7%、「居宅介護支援事業だけを運営している」が21.9%である。

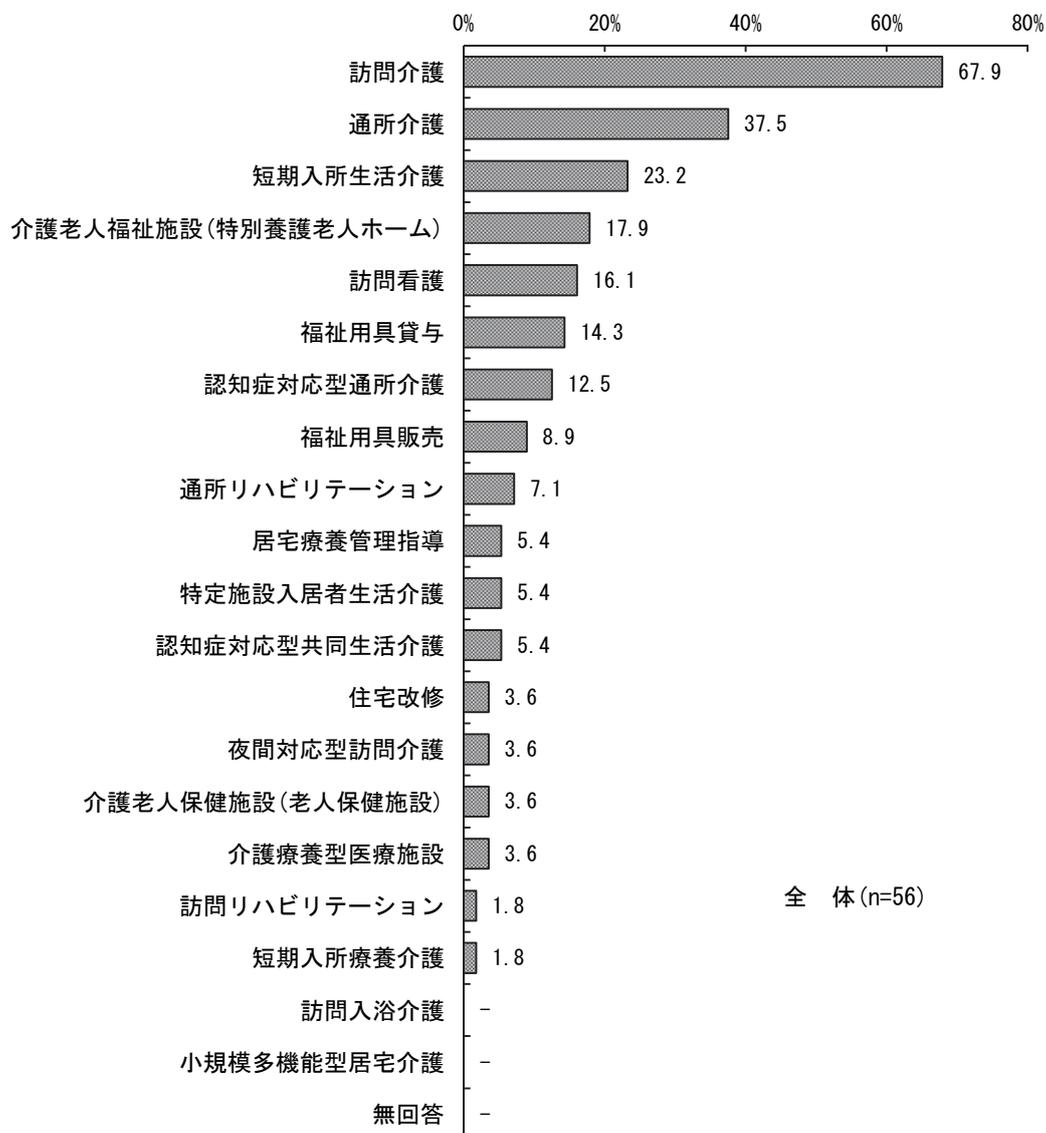


③ 併設事業所の介護保険サービス事業の内容（問7-1）

併設事業所の介護保険サービス事業の内容は、「訪問介護」が最も多く67.9%、次いで「通所介護」（37.5%）、「短期入所生活介護」（23.2%）が続いている。

■併設事業所の介護保険サービス事業の内容（複数回答）

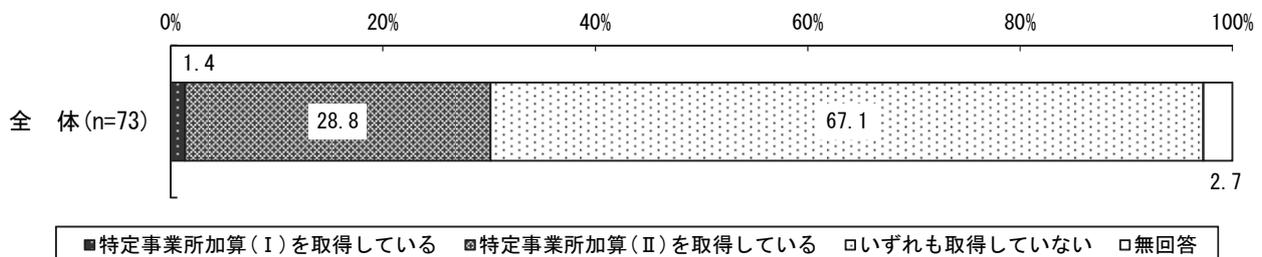
<勤務先が併設の介護保険サービス事業を運営している事業所に勤務する介護支援専門員>



④ 特定事業所加算の取得状況（問8）

特定事業所加算の取得状況は、「いずれも取得していない」が最も多く67.1%、「特定事業所加算（Ⅰ）を取得している」（1.4%）、「特定事業所加算（Ⅱ）を取得している」が28.8%となっている。

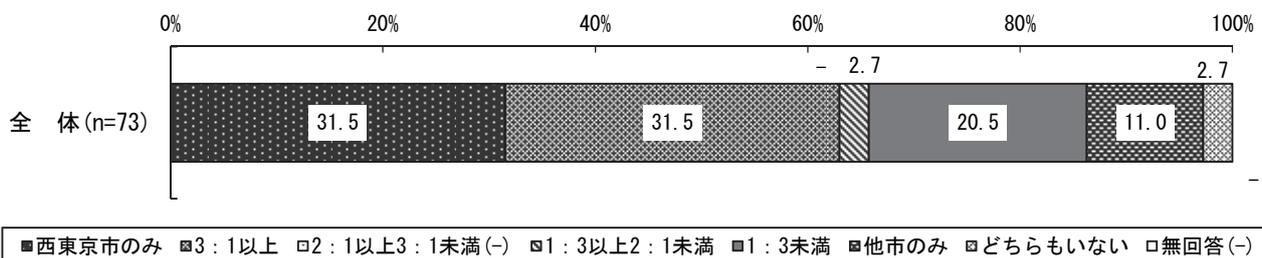
■ 特定事業所加算の取得状況



⑤ 西東京市の利用者の割合（問9）

西東京市の利用者の割合は、「西東京市のみ」「3:1以上」が最も多くともに31.5%、次いで「1:3未満」（20.5%）、「他市のみ」（11.0%）が続いている。

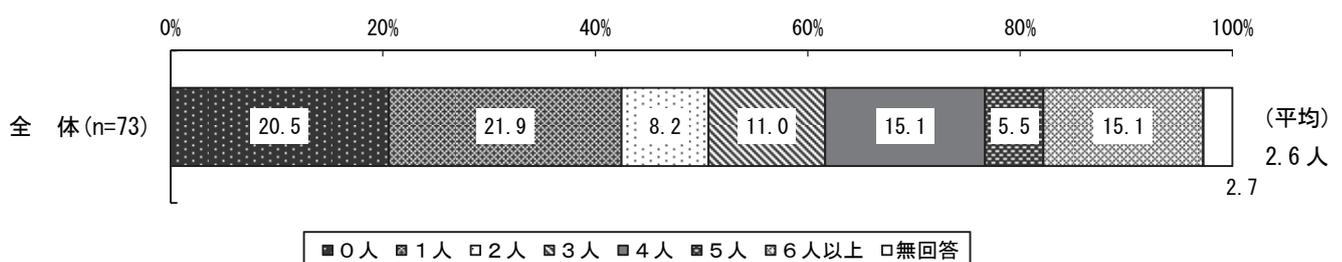
■ 西東京市の利用者の割合



⑥ 事業所内での西東京市を中心に活動している介護支援専門員の数（問10）

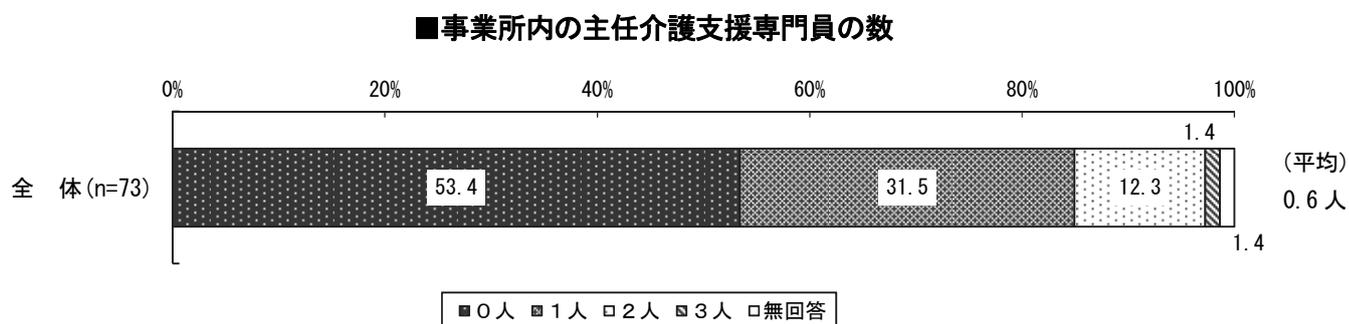
事業所内での西東京市を中心に活動している介護支援専門員の数は、「1人」が最も多く21.9%、次いで「0人」（20.5%）、「4人」「6人以上」（ともに15.1%）が続き、平均は2.6人となっている。

■ 事業所内での西東京市を中心に活動している介護支援専門員の数



⑦ 事業所内の主任介護支援専門員の数（問11）

事業所内の主任介護支援専門員の数は、「0人」が最も多く53.4%、次いで「1人」（31.5%）、「2人」（12.3%）が続き、平均は0.6人となっている。

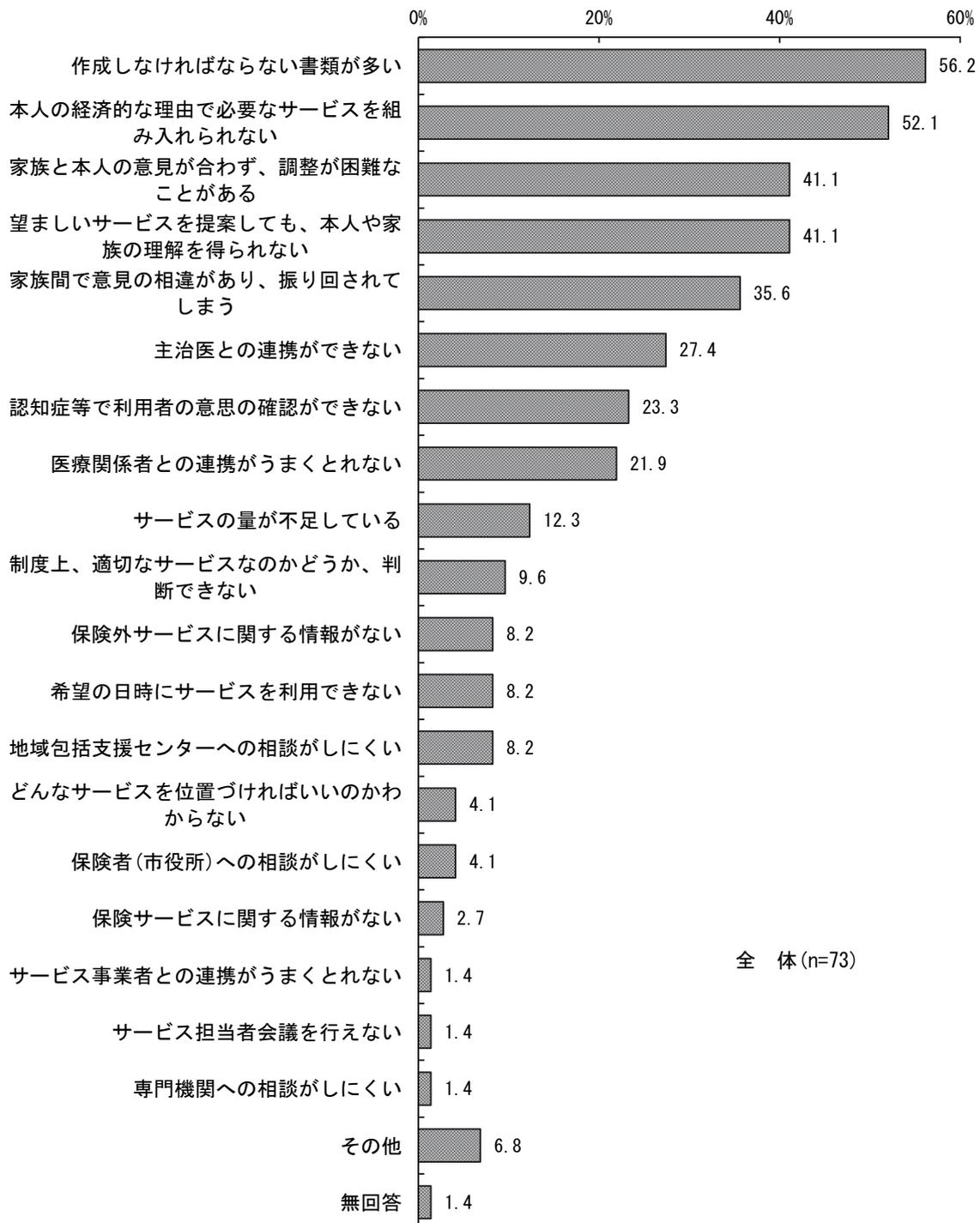


(3) ケアマネジメントについて

① ケアマネジメントする上で困難を感じること（問12）

ケアマネジメントする上で困難を感じることは、「作成しなければならない書類が多い」が最も多く56.2%、次いで「本人の経済的な理由で必要なサービスを組み入れられない」（52.1%）、「家族と本人の意見が合わず、調整が困難なことがある」「望ましいサービスを提案しても、本人や家族の理解を得られない」（ともに41.1%）が続いている。

■ケアマネジメントする上で困難を感じること（複数回答）



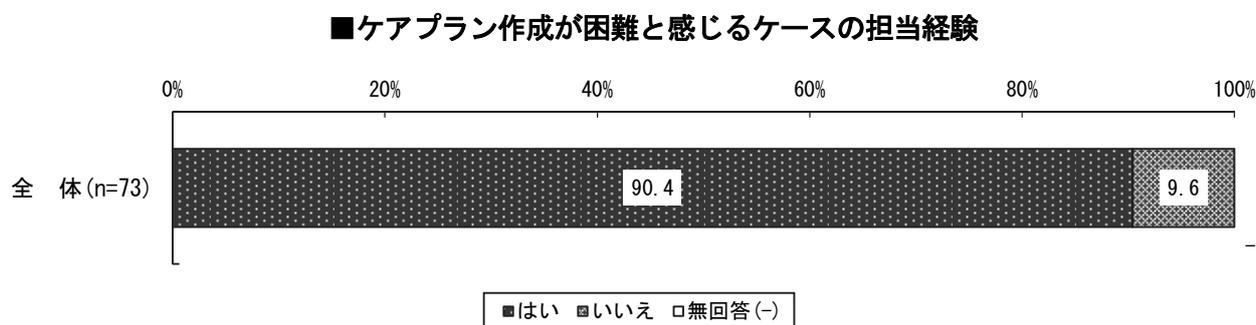
② 相談がしにくい理由（問12-1）

ケアマネジメントをする上で「専門機関・保険者（市役所）・地域包括支援センターへの相談がしにくい」と回答した理由について自由記述形式でうかがった。主な意見は以下のとおりである。

- ・その場の即答がない。資料を作成してからの説明なので時間がかかる。
- ・多くの情報（書式）を求められ、説明するが話を聞くのみで対策がない。
- ・地域包括支援センターにより対応が違って、相談しにくい地域包括支援センターもある。

③ ケアプラン作成が困難と感じるケースの担当経験（問13）

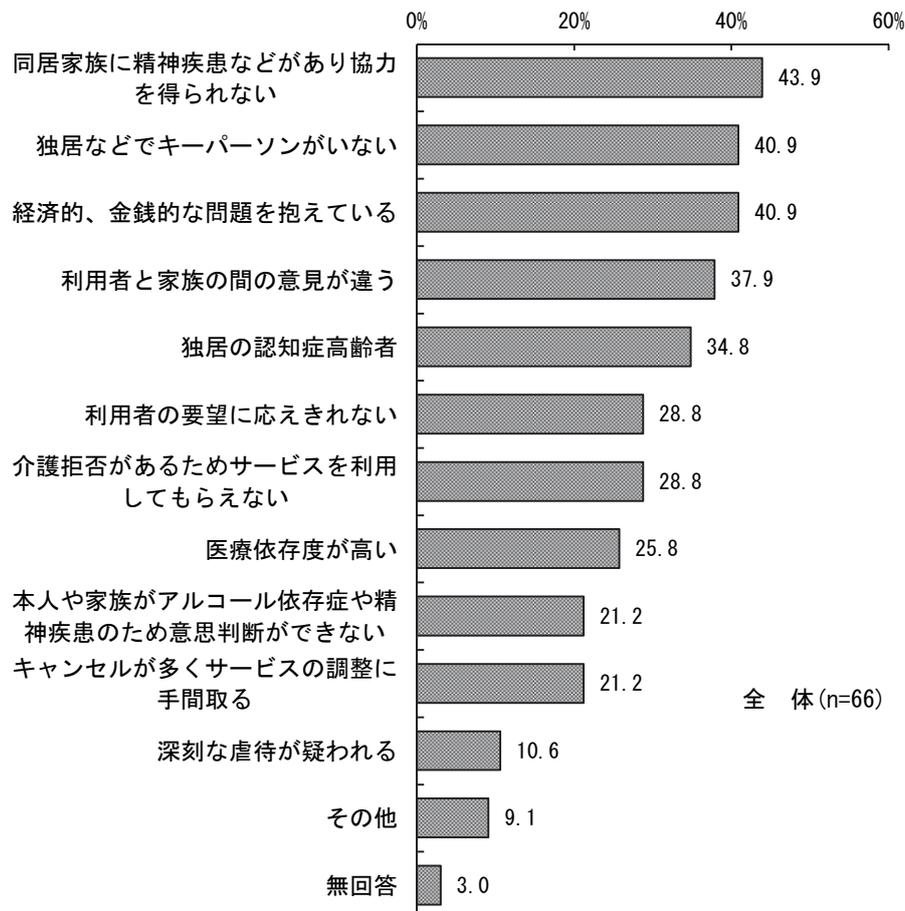
ケアプラン作成が困難と感じるケースの担当経験は、「はい（ある）」が90.4%、「いいえ（ない）」が9.6%となっている。



④ ケアプラン作成が困難と感じるケースの内容（問13-1）

ケアプラン作成が困難と感じるケースの担当経験がある人に、ケースの内容をたずねた。「同居家族に精神疾患などがあり協力を得られない」が最も多く43.9%、次いで「独居などでキーパーソンがない」「経済的、金銭的な問題を抱えている」（ともに40.9%）、「利用者と家族の間の意見が違う」（37.9%）、「独居の認知症高齢者」（34.8%）が続いている。

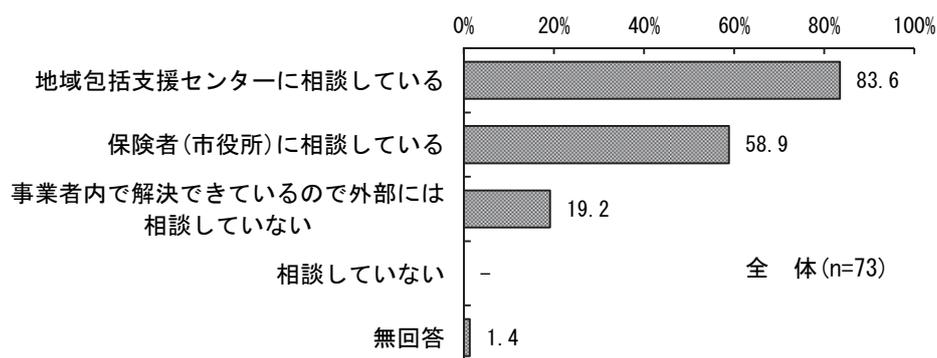
■ケアプラン作成が困難と感じるケースの内容（複数回答）
 <ケアプラン作成が困難と感じるケースの担当経験がある人>



⑤ 困難と感じるケースの対応方法（問14）

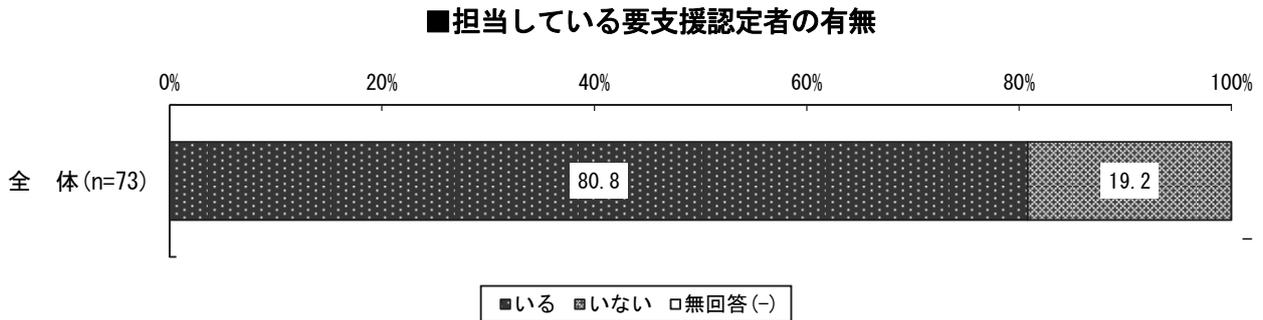
困難と感じるケースの対応方法は、「地域包括支援センターに相談している」が最も多く83.6%、次いで「保険者（市役所）に相談している」（58.9%）、「事業者内で解決できているので外部には相談していない」（19.2%）が続いている。

■困難と感じるケースの対応方法（複数回答）



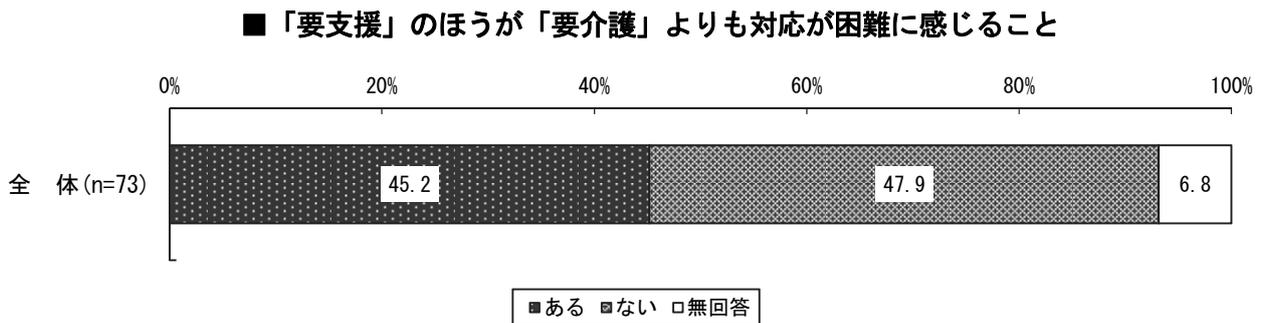
⑥ 担当している要支援認定者の有無（問15）

担当している要支援認定者の有無は、「いる」が80.8%、「いない」が19.2%となっている。



⑦ 「要支援」のほうが「要介護」よりも対応が困難に感じることの有無（問16）

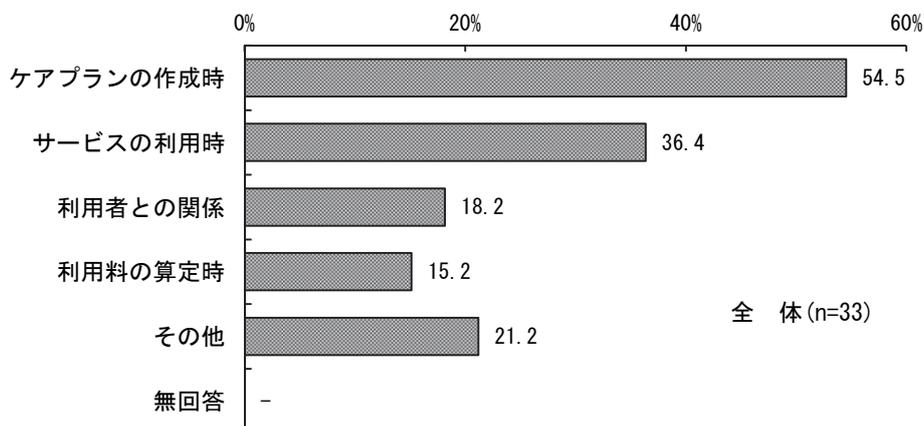
「要支援」のほうが「要介護」よりも対応が困難に感じることの有無は、「ある」が45.2%、「ない」が47.9%である。



⑧ 「要支援」が困難だと感じたとき（問16-1）

「要支援」のほうが「要介護」よりも対応が困難に感じた人に、どのようなときに感じたのかをたずねた。「ケアプランの作成時」が最も多く54.5%、次いで「サービスの利用時」（36.4%）、「利用者との関係」（18.2%）、「利用料の算定時」（15.2%）が続いている。

■「要支援」が困難だと感じたとき（複数回答）
 <「要支援」のほうが「要介護」よりも対応が困難に感じたことがある人>

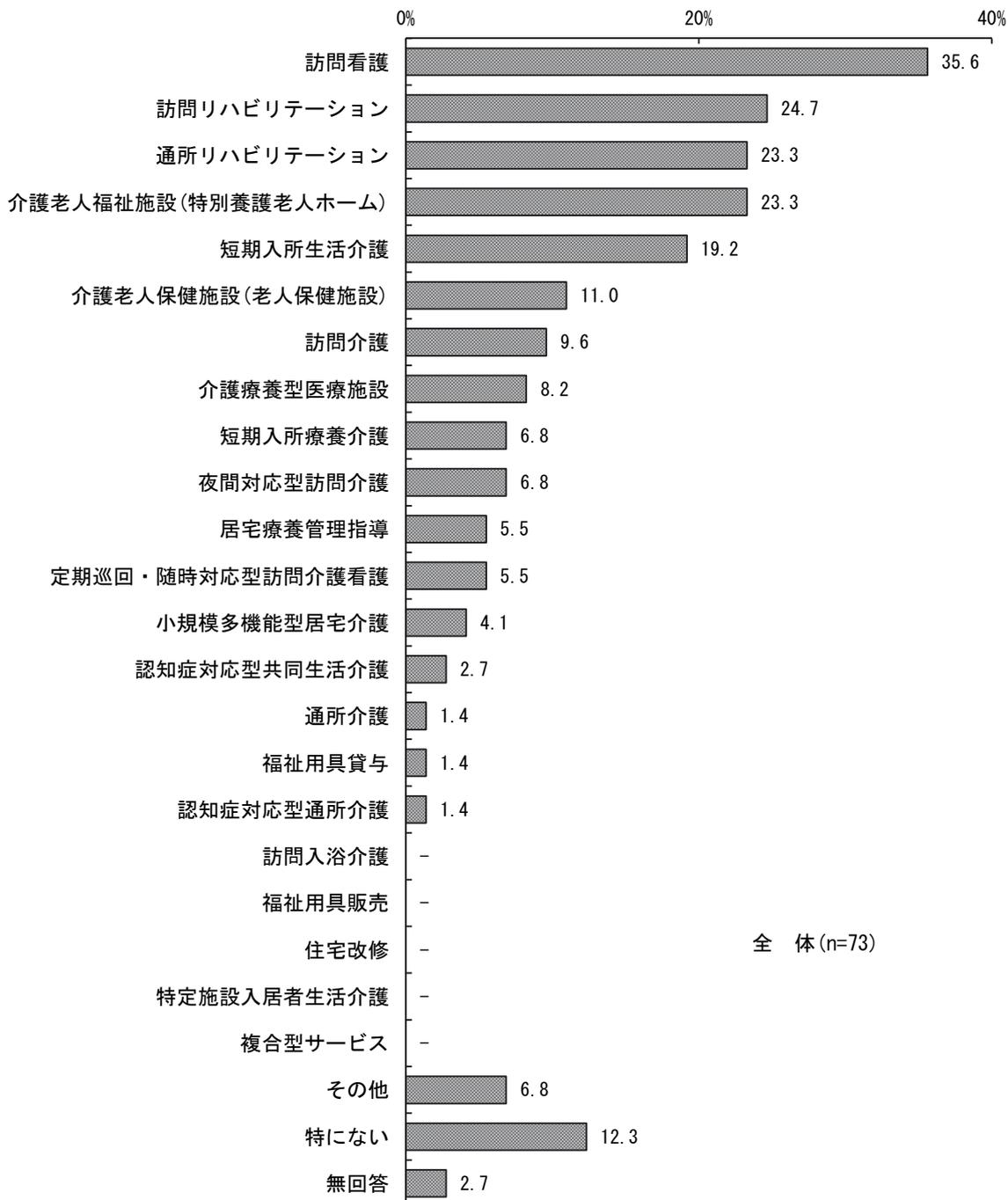


⑨ ケアプラン作成時に不足していて困ったサービス（問17）

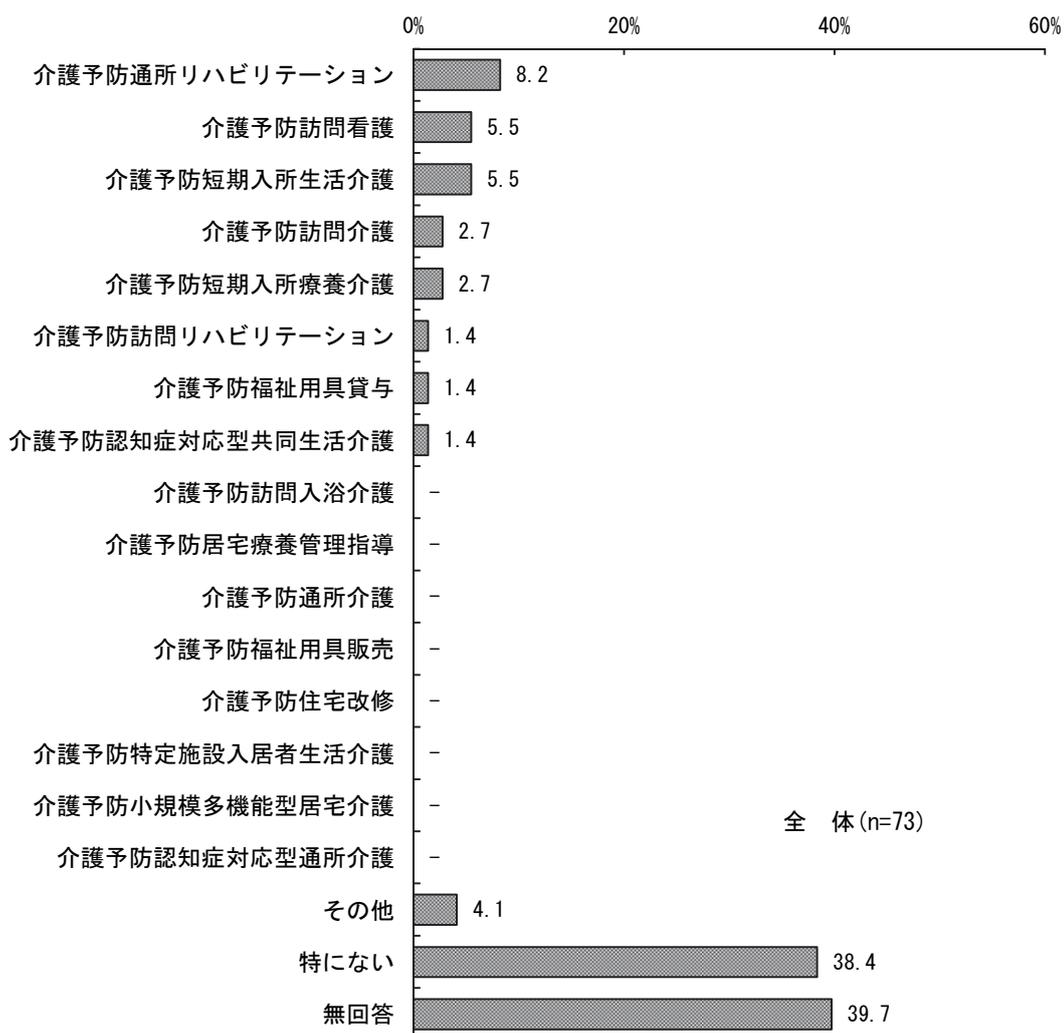
ケアプラン作成時に不足していて困った介護給付サービスは、「訪問看護」が最も多く 35.6%、次いで「訪問リハビリテーション」（24.7%）、「通所リハビリテーション」「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」（ともに 23.3%）が続いている。

予防給付サービスは、「介護予防通所リハビリテーション」が最も多く 8.2%、次いで「介護予防訪問看護」「介護予防短期入所生活介護」（ともに 5.5%）が続いている。

■ケアプラン作成時に不足していて困ったサービス：介護給付サービス（複数回答（2つまで））



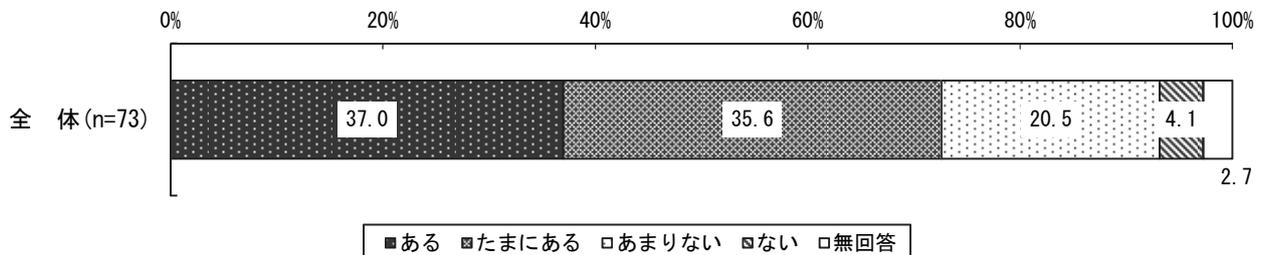
■ケアプラン作成時に不足していて困ったサービス：予防給付サービス（複数回答（2つまで））



⑩ 支給限度額の幅を広げる必要性を感じたことの有無（問18）

支給限度額の幅を広げる必要性を感じたことは、「ある」（37.0%）と「たまにある」（35.6%）の合計が72.6%と7割を超えている。

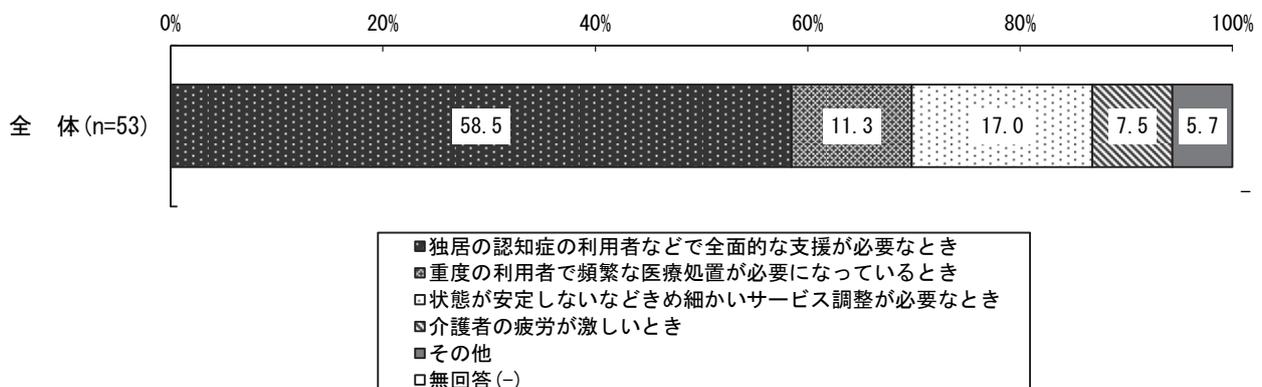
■支給限度額の幅を広げる必要性を感じたことの有無



⑪ 支給限度額の幅を広げる必要性を感じる時（問18-1）

支給限度額の幅を広げる必要性を感じたことがある人に、主にどのようなときに感じるかをたずねた。最も多かったのは、「独居の認知症の利用者などで全面的な支援が必要なとき」が58.5%、次いで「状態が安定しないなどきめ細かいサービス調整が必要なとき」（17.0%）、「重度の利用者で頻繁な医療処置が必要になっているとき」（11.3%）が続いている。

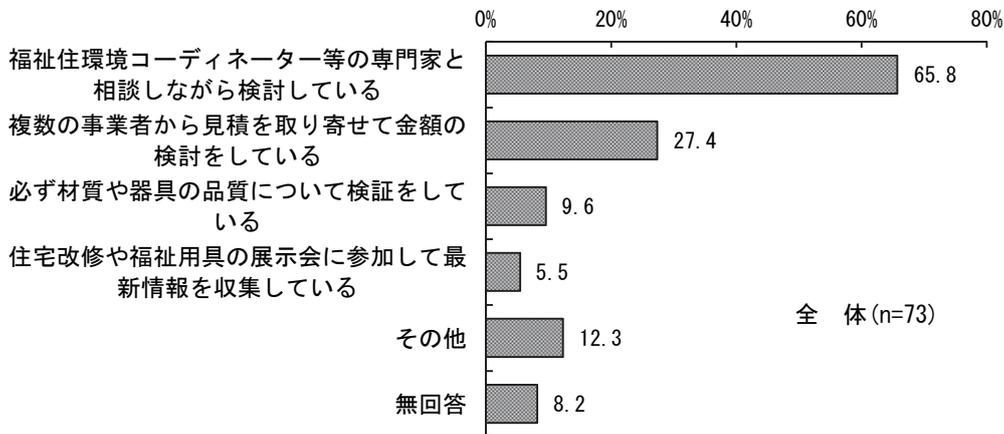
■支給限度額の幅を広げる必要性を感じる時
 <支給限度額の幅を広げる必要性を感じたことがある人>



⑫ 住宅改修事業者を選ぶ際の行動（問19）

住宅改修事業者を選ぶ際の行動は、「福祉住環境コーディネーター等の専門家と相談しながら検討している」が最も多く65.8%、次いで「複数の事業者から見積を取り寄せて金額の検討をしている」(27.4%)、「必ず材質や器具の品質について検証をしている」(9.6%)が続いている。

■住宅改修事業者を選ぶ際の行動（複数回答）

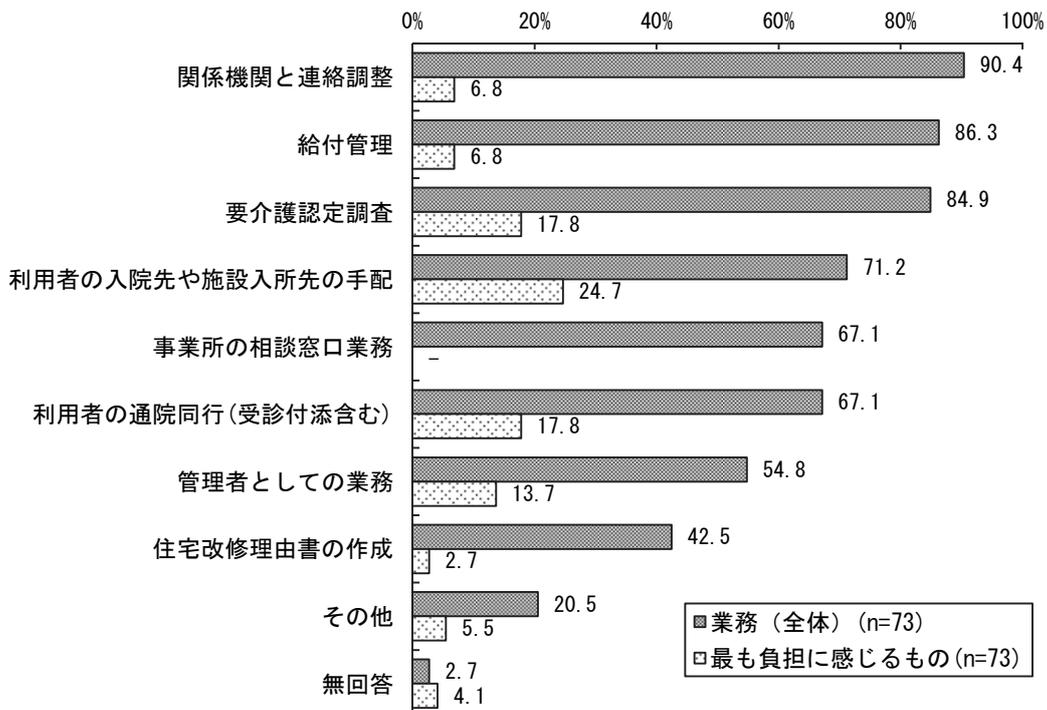


⑬ ケアプランの作成以外の業務と業務で最も負担に感じること（問20、21）

ケアプランの作成以外で行う業務は、「関係機関と連絡調整」(90.4%)が最も多く、次いで「給付管理」(86.3%)、「要介護認定調査」(84.9%)が続いている。

業務で最も負担に感じることは、「利用者の入院先や施設入所先の手配」(24.7%)が最も多く、次いで「要介護認定調査」「利用者の通院同行」(ともに17.8%)が続いている。

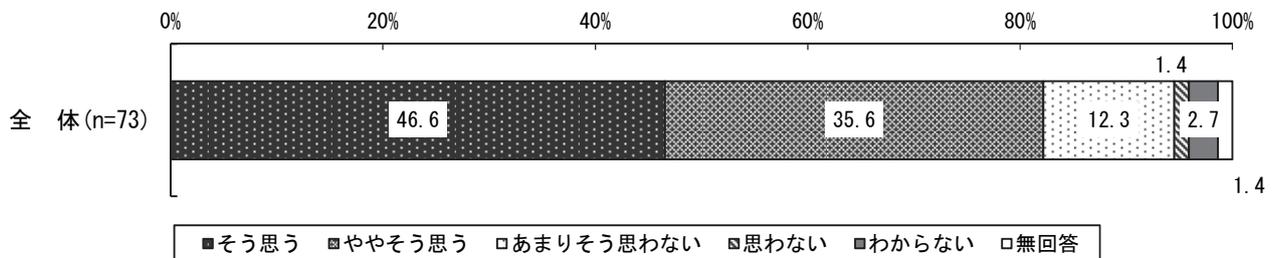
■ケアプランの作成以外の業務と業務で最も負担に感じること（複数回答）



⑭ 地域包括支援センターの評価（問22）

地域包括支援センターの評価視点として、自身の仕事に役立っていると思うかをたずねた。「そう思う」（46.6%）と「ややそう思う」（35.6%）の合計は、82.2%と8割を超えている。一方、「あまりそう思わない」（12.3%）と「思わない」（1.4%）の合計は、13.7%となっている。

■地域包括支援センターの評価



平成22年度調査と比較すると、「そう思う」が10.9ポイント高くなり、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた《そう思う》は、12.2ポイント上昇している。また、「あまりそう思わない」は、4.8ポイントの減少となっている。

■地域包括支援センターの評価【前回比較】

	(%)					
	そう 思う	や や そう 思う	わ あ ま り そ う 思 う	思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答
平成25年度調査 (n=73)	46.6	35.6	12.3	1.4	2.7	1.4
平成22年度調査 (n=70)	35.7	34.3	17.1	1.4	10.0	1.4

⑮ 地域包括支援センターが役立っていると思わない理由（問22-1）

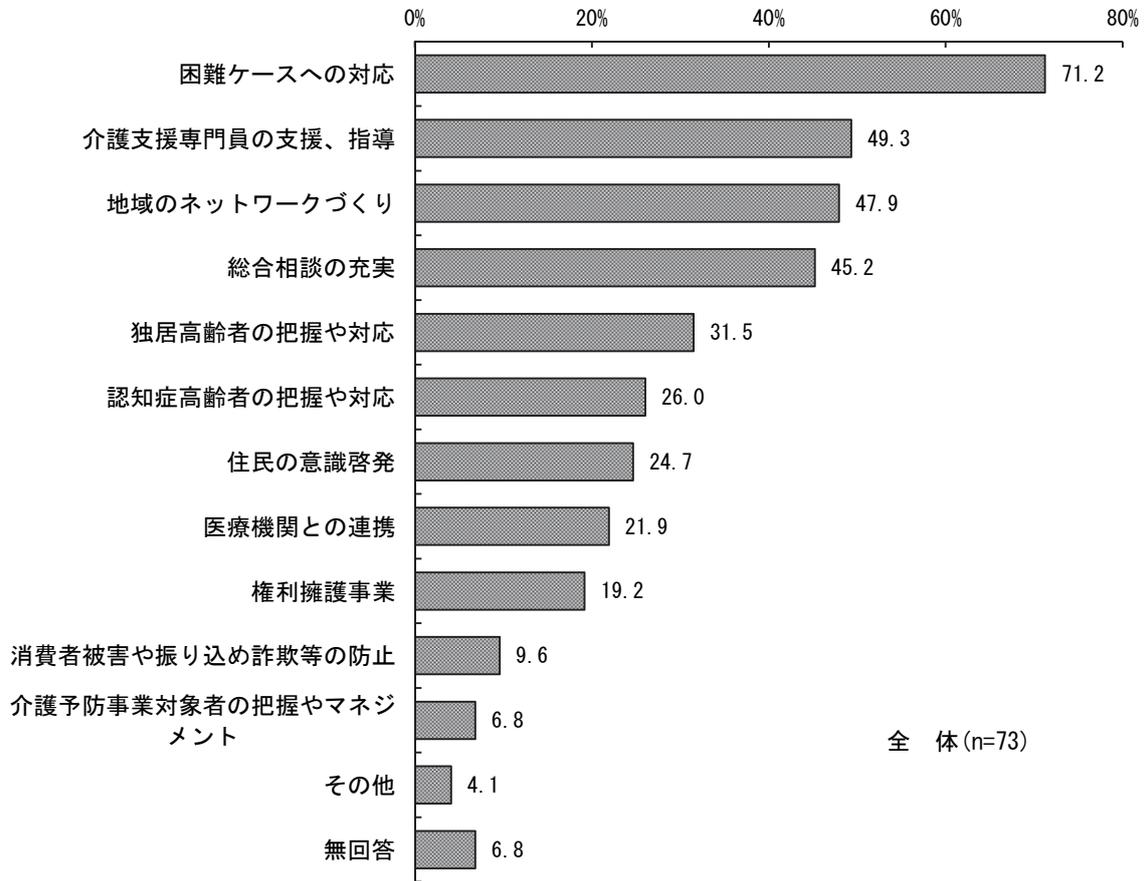
地域包括支援センターが役立っていると思わない理由について、自由記述形式でうかがった。主な意見は以下のとおりである。

- ・相談したが、思うような対応が得られなかった。
- ・相談したことに対して具体的な解決策を与えてくれない。

⑩ 地域包括支援センターに期待すること（問23）

今後地域包括支援センターに期待することは、「困難ケースへの対応」（71.2%）が最も多く、次いで「介護支援専門員の支援、指導」（49.3%）、「地域のネットワークづくり」（47.9%）、「総合相談の充実」（45.2%）が続いている。

■地域包括支援センターに期待すること（複数回答）



平成22年度調査と比較すると、「介護支援専門員の支援、指導」と「地域のネットワークづくり」への期待が高まりそれぞれ7.9ポイント、5.0ポイント高くなっている。一方、「独居高齢者の把握」が19.9ポイント、「認知症高齢者の把握や対応」が14.0ポイント、「介護予防事業対象者の把握やマネジメント」が13.2ポイント低下している。

■地域包括支援センターに期待すること（複数回答）【前回比較】

	困難ケースへの対応	介護支援専門員の支援、指導	地域のネットワークづくり	総合相談の充実	独居高齢者の把握や対応	認知症高齢者の把握や対応	住民の意識啓発	医療機関との連携	権利擁護事業	消費者被害や振り込め詐欺等の防止	介護予防事業対象者の把握やマネジメント	その他	無回答
平成25年度調査 (n=73)	71.2	49.3	47.9	45.2	31.5	26.0	24.7	21.9	19.2	9.6	6.8	4.1	6.8
平成22年度調査 (n=70)	78.6	41.4	42.9	47.1	51.4	40.0	28.6	24.3	20.0	17.1	20.0	7.1	1.4

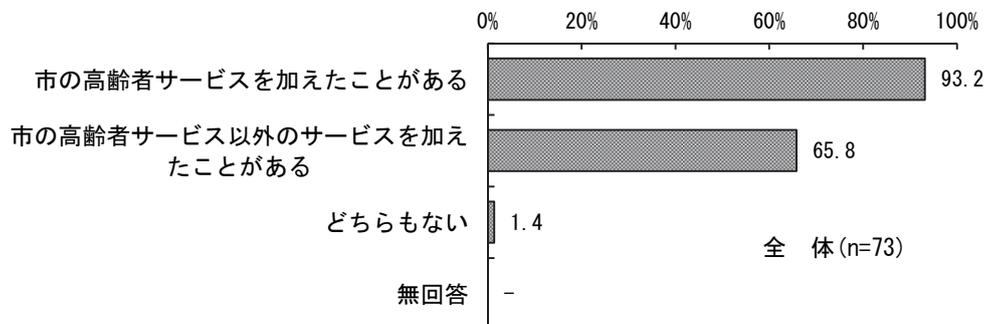
(%)

(4) 介護保険外サービス

① ケアプランへの介護保険外サービスの追加経験（問24）

ケアプランへの介護保険外サービスの追加経験は、「市の高齢者サービスを加えたことがある」が93.2%、「市の高齢者サービス以外のサービスを加えたことがある」が65.8%である。

■ケアプランへの介護保険外サービスの追加経験（複数回答）

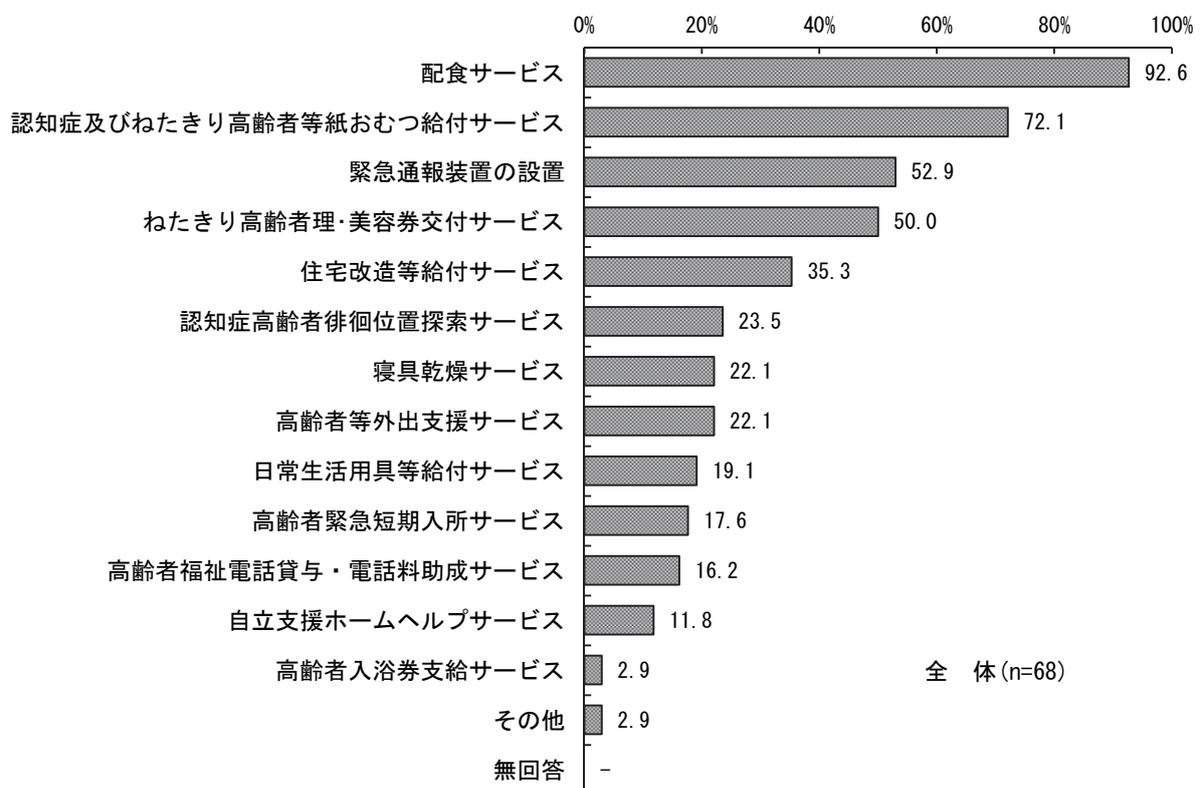


② 追加した経験がある市の高齢者サービスの内容（問24-1）

ケアプランに市の高齢者サービスを加えたことがある人に、サービスの内容をたずねた。「配食サービス」が最も多く92.6%、次いで「認知症及びねたきり高齢者等紙おむつ給付サービス」(72.1%)、「緊急通報装置の設置」(52.9%)が続いている。

■市の高齢者サービスの内容（複数回答）

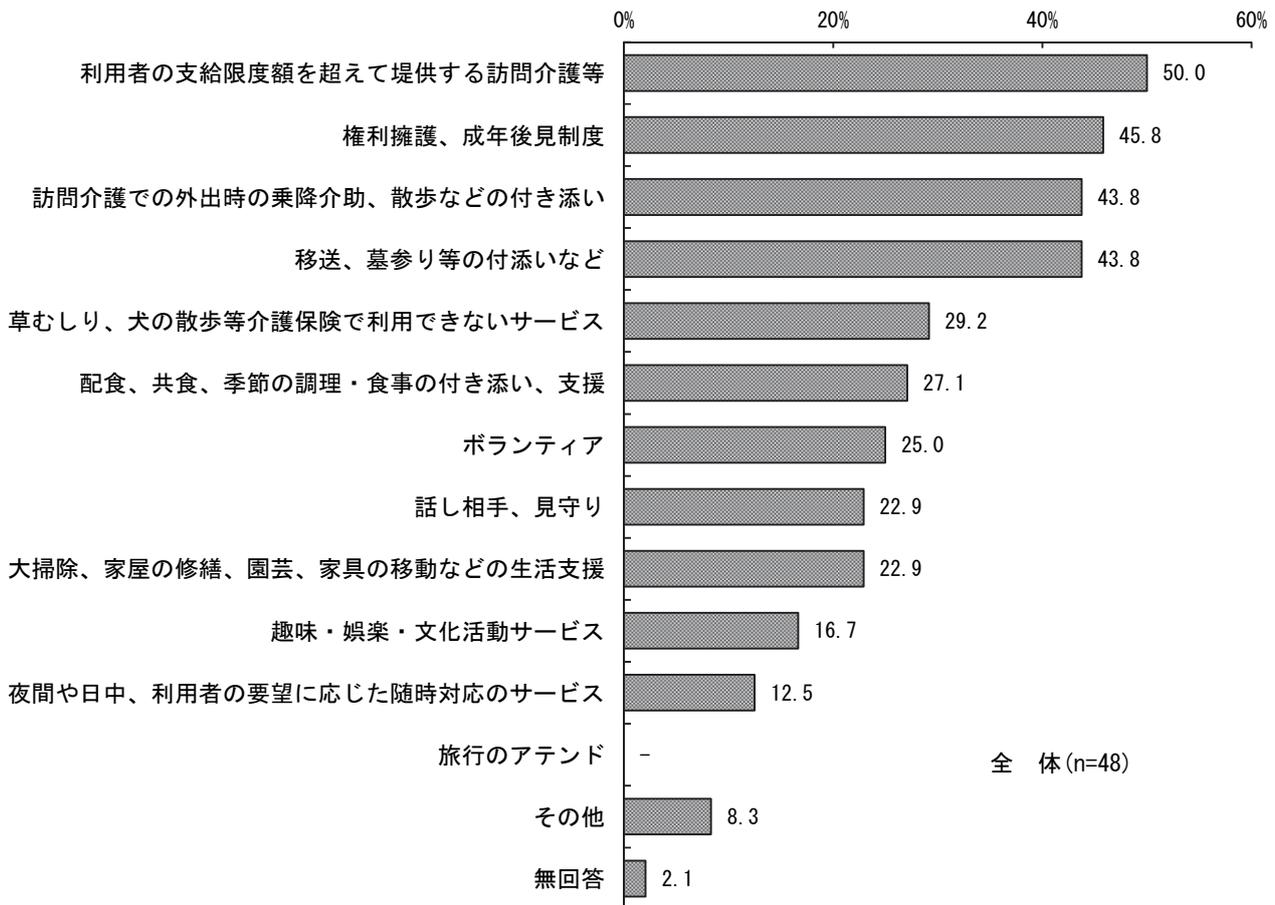
＜ケアプランに市の高齢者サービスを加えたことがある人＞



③ 追加した経験がある市の高齢者サービス以外のサービスの内容（問24-2）

ケアプランに市の高齢者サービス以外のサービスを加えたことがある人に、サービスの内容をたずねた。「利用者の支給限度額を超えて提供する訪問介護等」が最も多く50.0%、次いで「権利擁護、成年後見制度」（45.8%）、「訪問介護での外出時の乗降介助、散歩などの付き添い」「移送、墓参り等の付添いなど」（ともに43.8%）が続いている。

■市の高齢者サービス以外のサービスの内容（複数回答）
 <ケアプランに市の高齢者サービス以外のサービスを加えたことがある人>

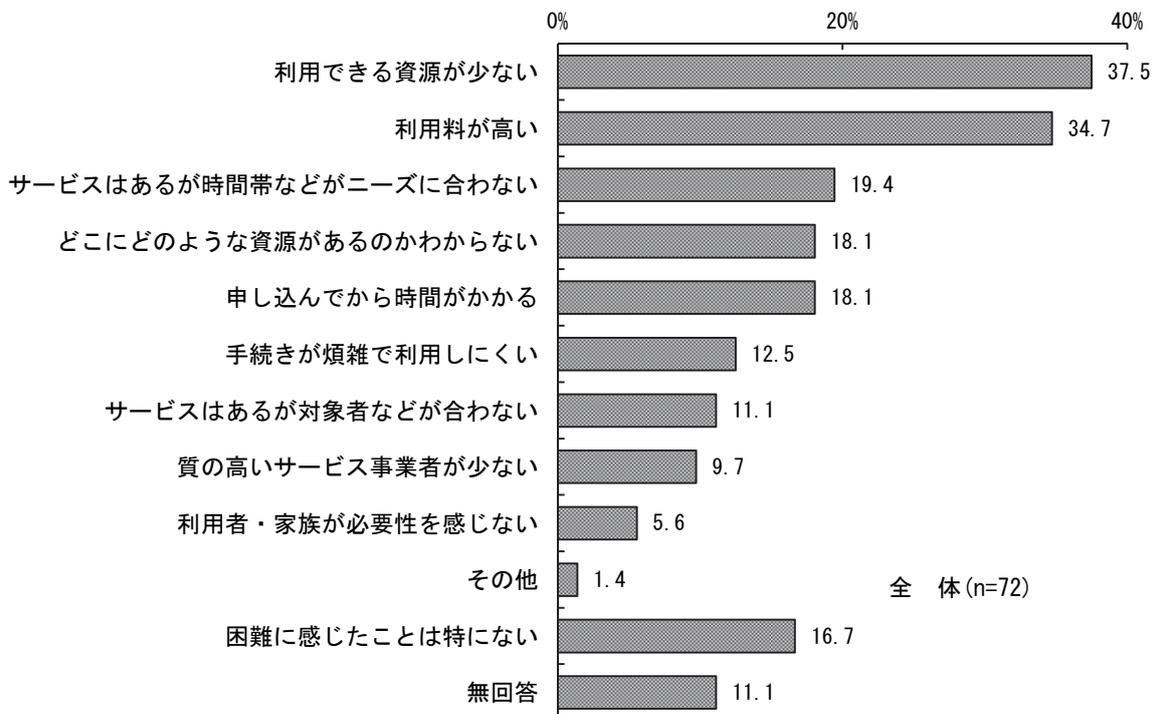


④ 保険外サービスを加えるにあたって困難に感じたこと（問24-3）

介護保険外サービスを加えたことがある人に、困難に感じたことをたずねた。「利用できる資源が少ない」が最も多く37.5%、次いで「利用料が高い」（34.7%）、「サービスはあるが時間帯などがニーズに合わない」（19.4%）が続いている。

■保険外サービスを加えるにあたって困難に感じたこと（複数回答）

＜ケアプランに介護保険外サービスを加えたことがある人＞

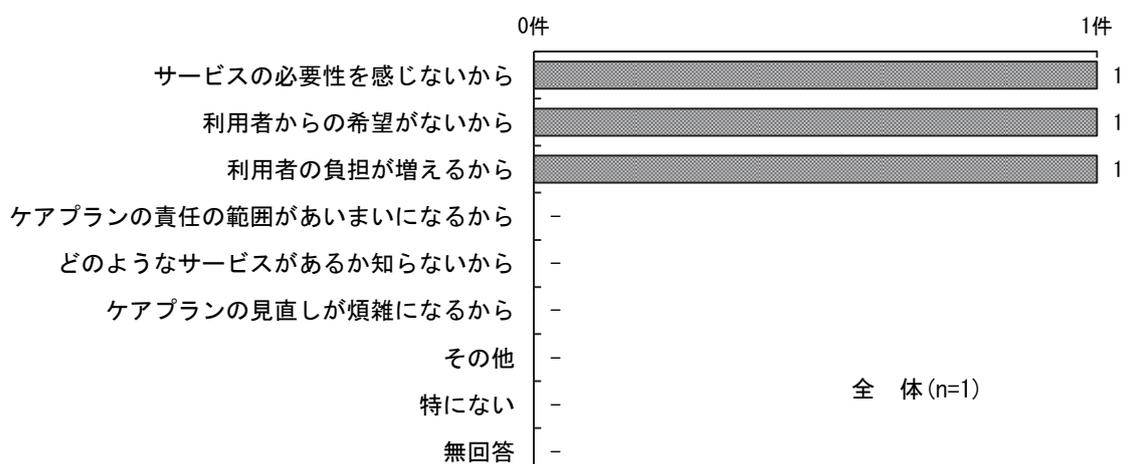


⑤ 保険外サービスを加えたことがない理由（問24-4）

介護保険外サービスを加えたことがない人に、その理由をたずねた。理由は、「サービスの必要性を感じないから」、「利用者からの希望がないから」、「利用者の負担が増えるから」の3点となっている。

■保険外サービスを加えたことがない理由（複数回答）

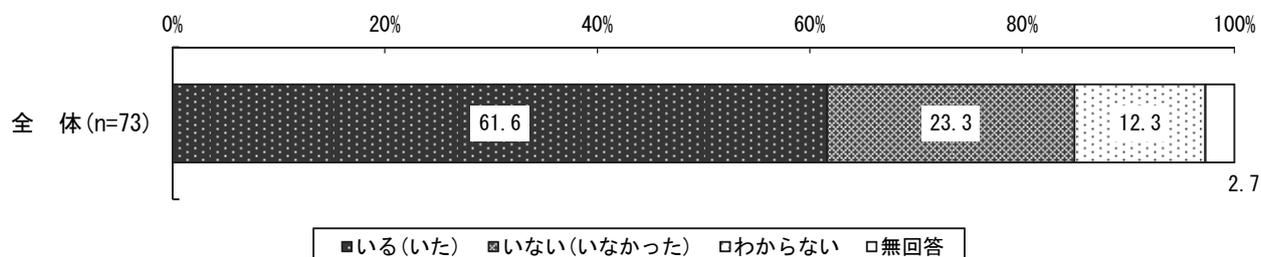
＜ケアプランに介護保険外サービスを加えたことがない人＞



⑥ 近隣の居住者の支援を受けている利用者の有無（問25）

近隣の居住者の支援を受けている（受けていた）利用者は、「いる（いた）」が61.6%、「いない（いなかった）」が23.3%である。

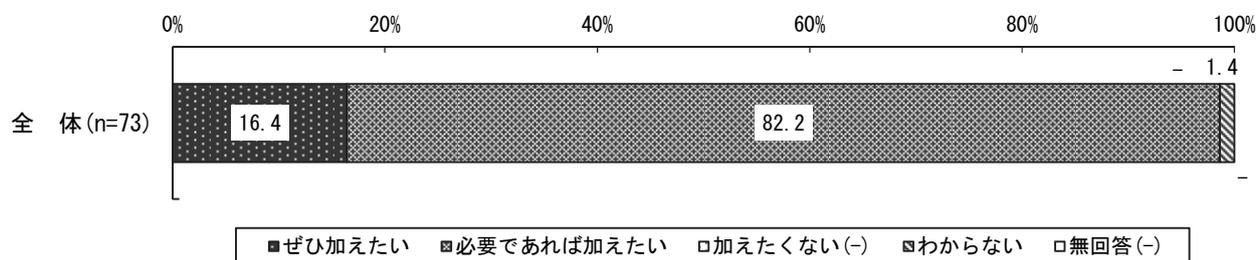
■近隣の居住者の支援を受けている利用者の有無



⑦ 今後の介護保険外サービスのケアプランへの追加意向（問26）

今後の介護保険外サービスのケアプランへの追加意向は、「ぜひ加えたい」が16.4%、「必要であれば加えたい」が82.2%、「わからない」が1.4%となっている。

■今後の介護保険外サービスのケアプランへの追加意向



⑧ 介護保険外サービス充実のために必要なこと（問27）

介護保険外サービス充実のために必要なことについて、自由記述形式でうかがい、内容ごとに分類・整理を行った。主な意見は以下のとおりである。

（介護予防の推進）

- ・利用者自身も介護を受けないで良いように、予防策を早目に講じること。

（住民、地域との連携）

- ・地域との関わり、コミュニティ作り。
- ・地域住民への啓発。
- ・住民（民生委員等）との連携を図る。
- ・地域住民のボランティアネットワークの充実。
- ・事業としてのサービスの拡充も必要だが、地域住民の意識を高め、互いに関わり合いを持てるような関係づくりが必要。

（情報提供の整備・発信）

- ・制限があり必要な所にサービスがいかない。
- ・サービスの情報をもっと周知すること。

（ニーズの把握及びサービスの開発）

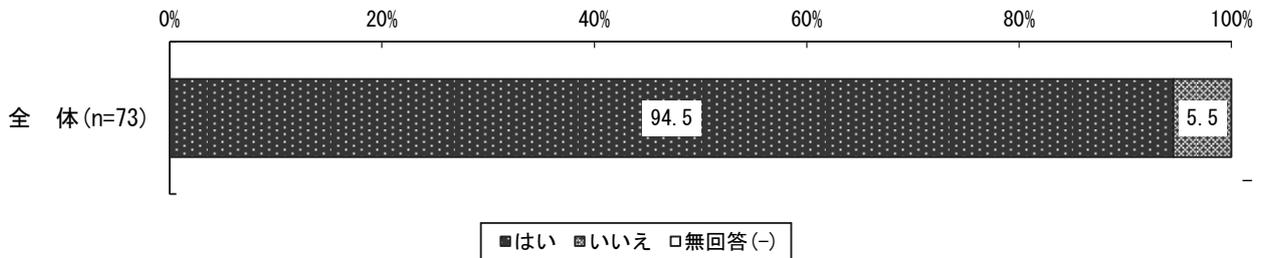
- ・利用者が持つニーズを把握し、要介護度（生活形態）に応じたサービスを確保するための予算を拡充させていくこと。
- ・利用者の要望に合ったサービスの開発。

(5) スキルアップ

① この1年の研修や講習会への参加（問28）

この1年の研修や講習会への参加は、「はい」が94.5%、「いいえ」が5.5%である。

■この1年の研修や講習会への参加

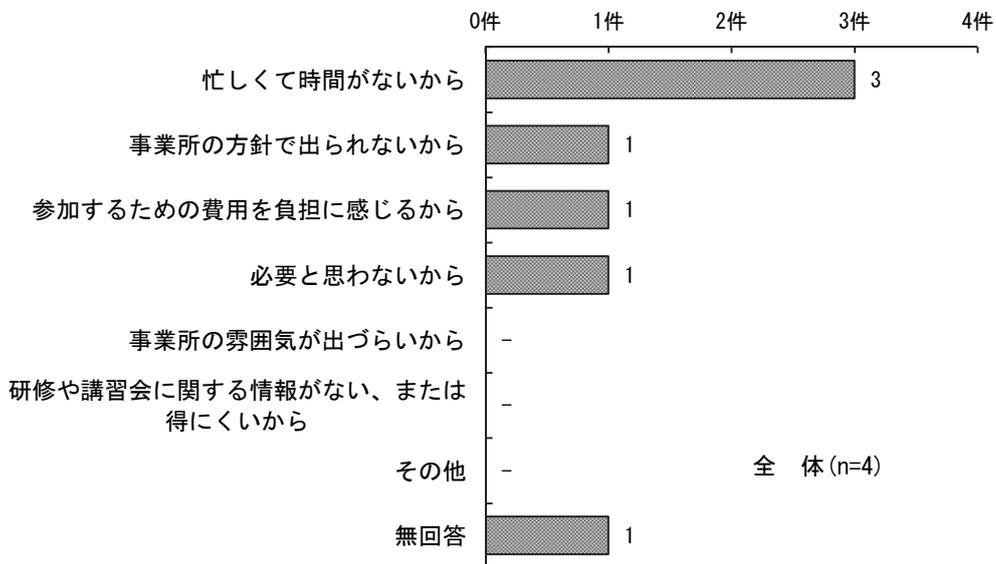


② 研修や講習会に参加しなかった理由（問28-1）

この1年で研修や講習会に参加しなかった人に、その理由をたずねた。「忙しくて時間がないから」（3件）が最も多く、次いで「事業所の方針で出られないから」「参加するための費用を負担に感じるから」「必要と思わないから」（ともに1件）となっている。

■研修や講習会に参加しなかった理由（複数回答）

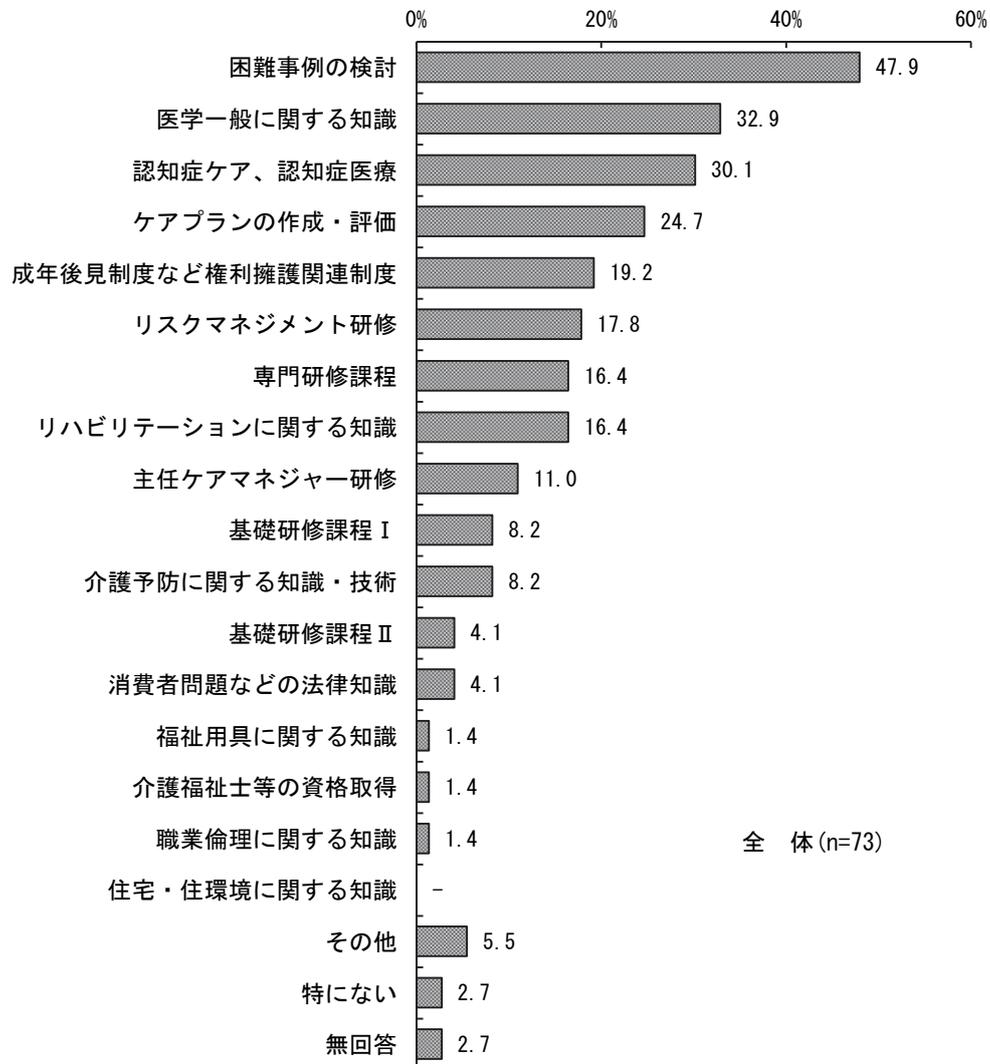
＜この1年に研修や講習会への参加がなかった人＞



③ 今後参加したいと思う研修や講習会（問29）

今後参加したいと思う研修や講習会は、「困難事例の検討」が最も多く47.9%、次いで「医学一般に関する知識」（32.9%）、「認知症ケア、認知症医療」（30.1%）が続いている。

■今後参加したいと思う研修や講習会（複数回答（3つまで））

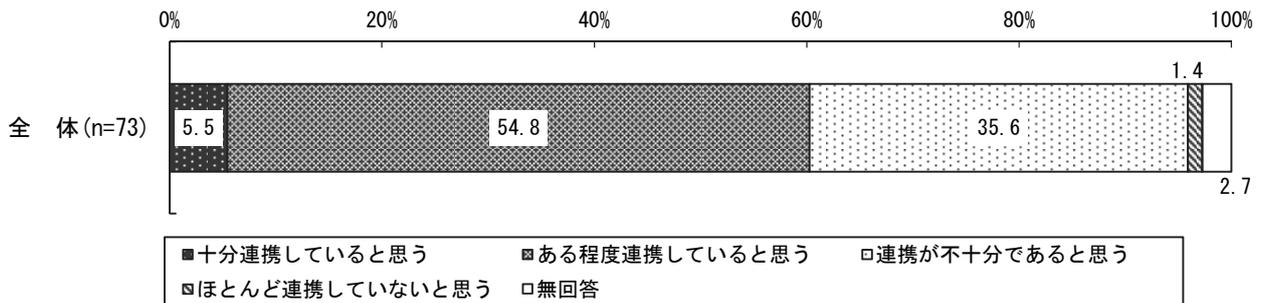


(6) 医療と介護の連携の状況

① 在宅療養中の高齢者に対する医療と介護の連携の評価（問30）

サービス担当者会議等を通じた在宅療養中の高齢者に対する医療と介護の連携の評価は、「十分連携していると思う」（5.5%）と「ある程度連携していると思う」（54.8%）の合計は、60.3%である。一方、「連携が不十分であると思う」（35.6%）と「ほとんど連携していないと思う」（1.4%）の合計は、37.0%となっている。

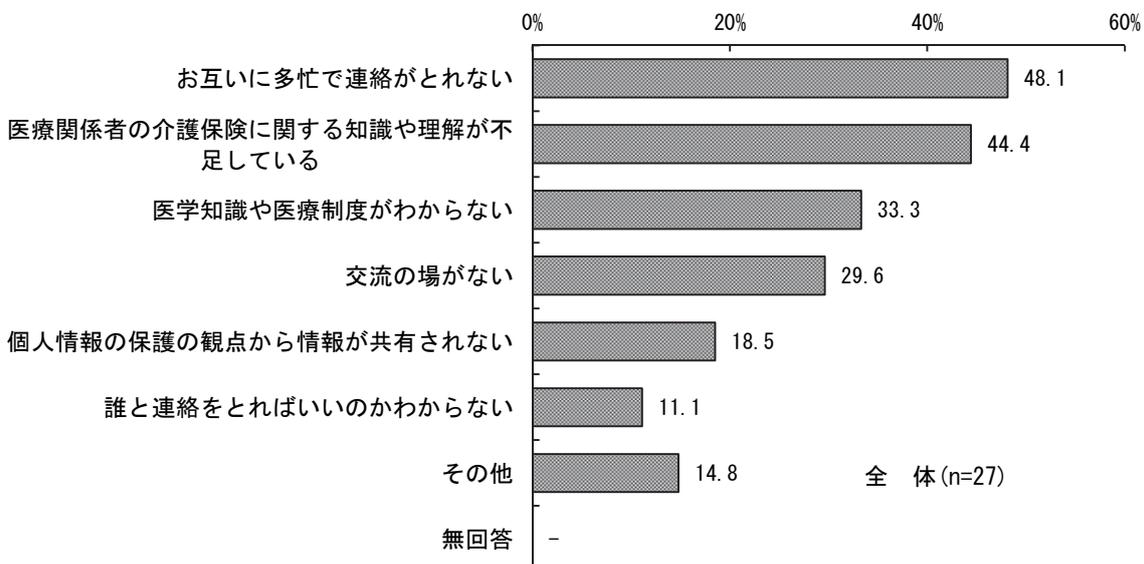
■在宅療養中の高齢者に対する医療と介護の連携の評価



② 連携が不十分であると思う理由（問30-1）

サービス担当者会議等を通じた在宅療養中の高齢者に対する医療と介護の連携について、ほとんど連携していない（不十分だ）と思うと回答した人に、その理由をたずねた。「お互いに多忙で連絡がとれない」が最も多く48.1%、次いで「医療関係者の介護保険に関する知識や理解が不足している」（44.4%）、「医学知識や医療制度がわからない」（33.3%）、「交流の場がない」（29.6%）が続いている。

■連携が不十分であると思う理由（複数回答（3つまで））
 <ほとんど連携していない（不十分だ）と回答した人>



③ 情報の共有化を進めるための方法（問31）

情報の共有化を進めるための方法について、自由記述形式でうかがい、内容ごとに分類・整理を行った。主な意見は以下のとおりである。

（情報の周知）

- ・ケアマネ側のアセスメントしている情報をしっかりと伝える。

（医療関係者との連携強化）

- ・医療関係者に積極的にサービス担当者会議に出席して貰うよう働きかける。
- ・主治医との連絡を密に取る。
- ・交流会や勉強会で関係を作っていく。
- ・主治医に在宅介護を継続するために、連携の必要性をより理解してほしい。

（信頼関係の構築）

- ・お互いの専門性を認めあい、同じ高さで話しあうこと。
- ・医療、福祉のチームとして共有できることの大事さの周知を共に図る。

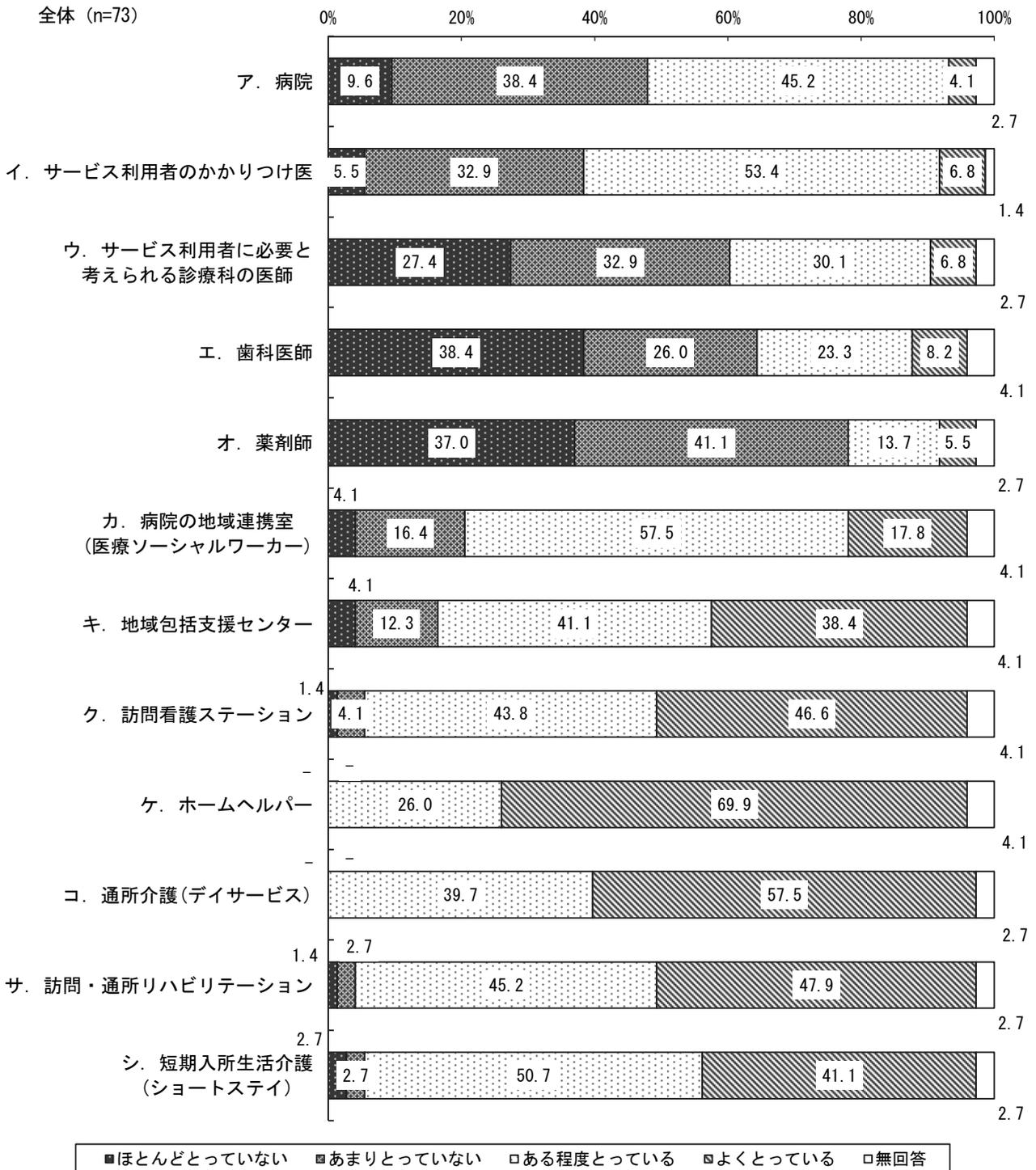
（連携のための仕組みの構築）

- ・パソコン上で電子カルテ等を共有できるシステムがあると良い。
- ・相互連絡情報のやりとりができるフォーマットの構築。
- ・医療と介護の連携シートの西東京市の様式を作成する。
- ・お互いに知りたい情報に違いがあることを理解した上で、共通シートを活用することができれば良い。
- ・医療施設の相談員（ソーシャルワーカー）とケアマネジャーの定期会合。
- ・連絡ツールの統一化、お互いの理解と認識が必要。

④ サービス利用者の情報の関係機関、職種への連絡状況（問32）

サービス利用者の情報の関係機関、職種への連絡状況は、「よくとっている」が多いのは、『ホームヘルパー』（69.9%）が最も多く、『通所介護（デイサービス）』（57.5%）が続く。「よくとっている」と「ある程度とっている」の合計の《とっている》は、『訪問看護ステーション』（90.4%）、『ホームヘルパー』（95.9%）、『通所介護（デイサービス）』（97.2%）、『訪問・通所リハビリテーション』（93.1%）、『短期入所生活介護（ショートステイ）』（91.8%）が多く、9割を超えている。

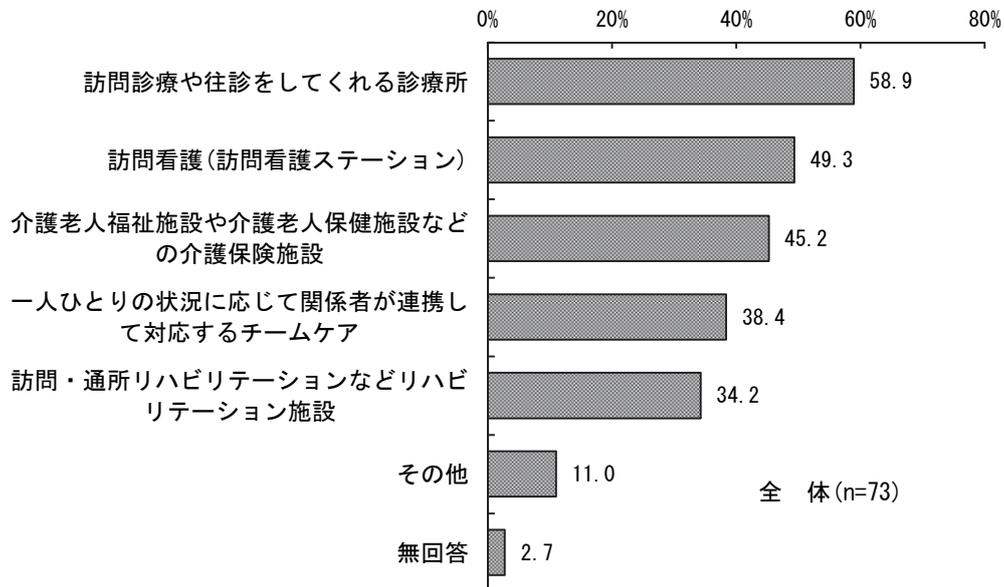
■サービス利用者の情報の関係機関・職種への連絡状況



⑤ 高齢者の在宅療養を進めていくうえで不足している機能（問33）

高齢者の在宅療養を進めていく上で不足している機能は、「訪問診療や往診をしてくれる診療所」（58.9%）が最も多く、次いで「訪問看護（訪問看護ステーション）」（49.3%）、「介護老人福祉施設や介護老人保健施設などの介護保険施設」（45.2%）が続いている。

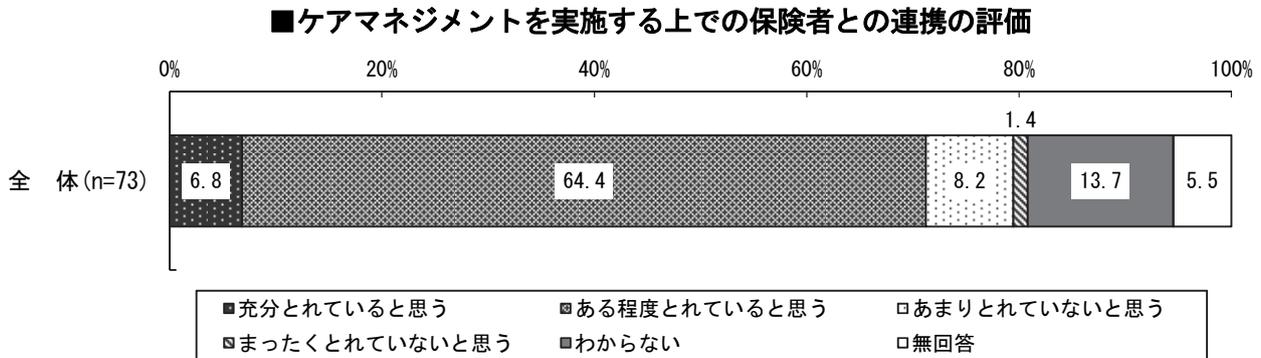
■高齢者の在宅療養を進めていくうえで不足している機能（複数回答）



(7) 保険者に対する意見と期待

① ケアマネジメントを実施する上での保険者との連携の評価（問34）

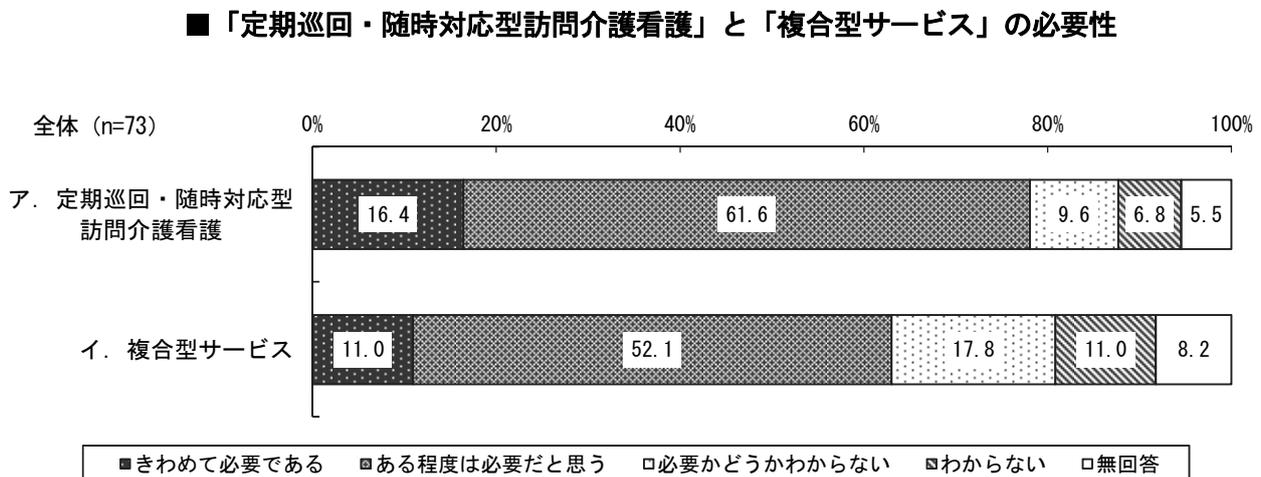
ケアマネジメントを実施する上での保険者との連携の評価は、「充分とれていると思う」が6.8%、「ある程度とれていると思う」が64.4%、「あまりとれていないと思う」が8.2%、「まったくとれていないと思う」が1.4%、「わからない」が13.7%となっている。



② 「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」と「複合型サービス」の必要性（問35）

定期巡回・随時対応型訪問介護看護の必要性は、「きわめて必要である」が16.4%、「ある程度は必要だと思う」が61.6%となっており、合計では78.0%が『必要』と回答している。

複合型サービスの必要性は、「きわめて必要である」が11.0%、「ある程度は必要だと思う」が52.1%となっており、合計では63.1%が『必要』と回答している。



③ 西東京市でとくに必要なサービスとその理由（問36）

西東京市でとくに必要なサービスとその理由について、自由記述形式でうかがい、内容ごとに分類・整理を行った。主な意見は以下のとおりである。

（地域での支えあいの強化）

- ・地域で余力のある人達が、近所の高齢者を支え合う、ささえあい協力員の強化

（気軽に集まれる場、活動の場の整備）

- ・いつでも顔を出せるサロン
- ・高齢者が自発的にサークル活動を行う場所が不足している。

（サービスの充実）

- ・認知症の方への見守りサービス
- ・移送サービスの充実。通院等でタクシー代や付き添いで家族の負担になっていることが非常に多い。
- ・夕方からのデイサービス
- ・小規模多機能型居宅介護
- ・介護保険では対象にならない見守りサービス
- ・介護予防サービスの充実
- ・特養入所の待機者が多いので、施設数を増やしてほしい。
- ・通所リハビリテーション、訪問看護、訪問診療、ショートステイ

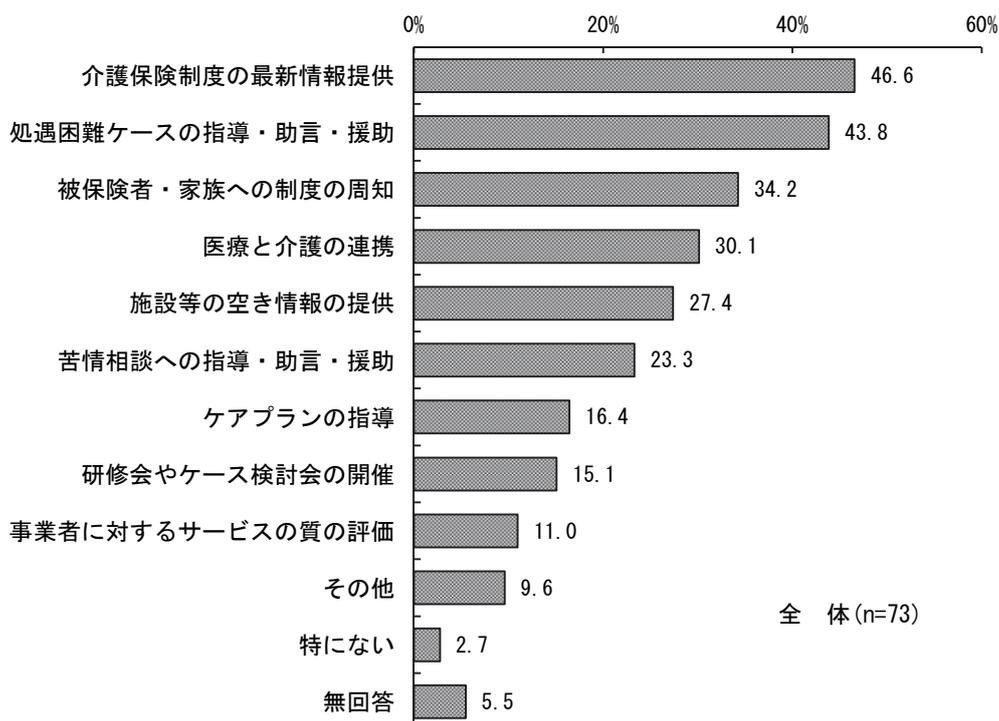
（情報発信の充実）

- ・ボランティアをしてみたい高齢者への情報の発信

④ 介護支援専門員として西東京市に望むこと（問37）

介護支援専門員として西東京市に望むことは、「介護保険制度の最新情報提供」が最も多く46.6%、次いで「処遇困難ケースの指導・助言・援助」（43.8%）、「被保険者・家族への制度の周知」（34.2%）、「医療と介護の連携」（30.1%）、「施設等の空き情報の提供」（27.4%）が続いている。

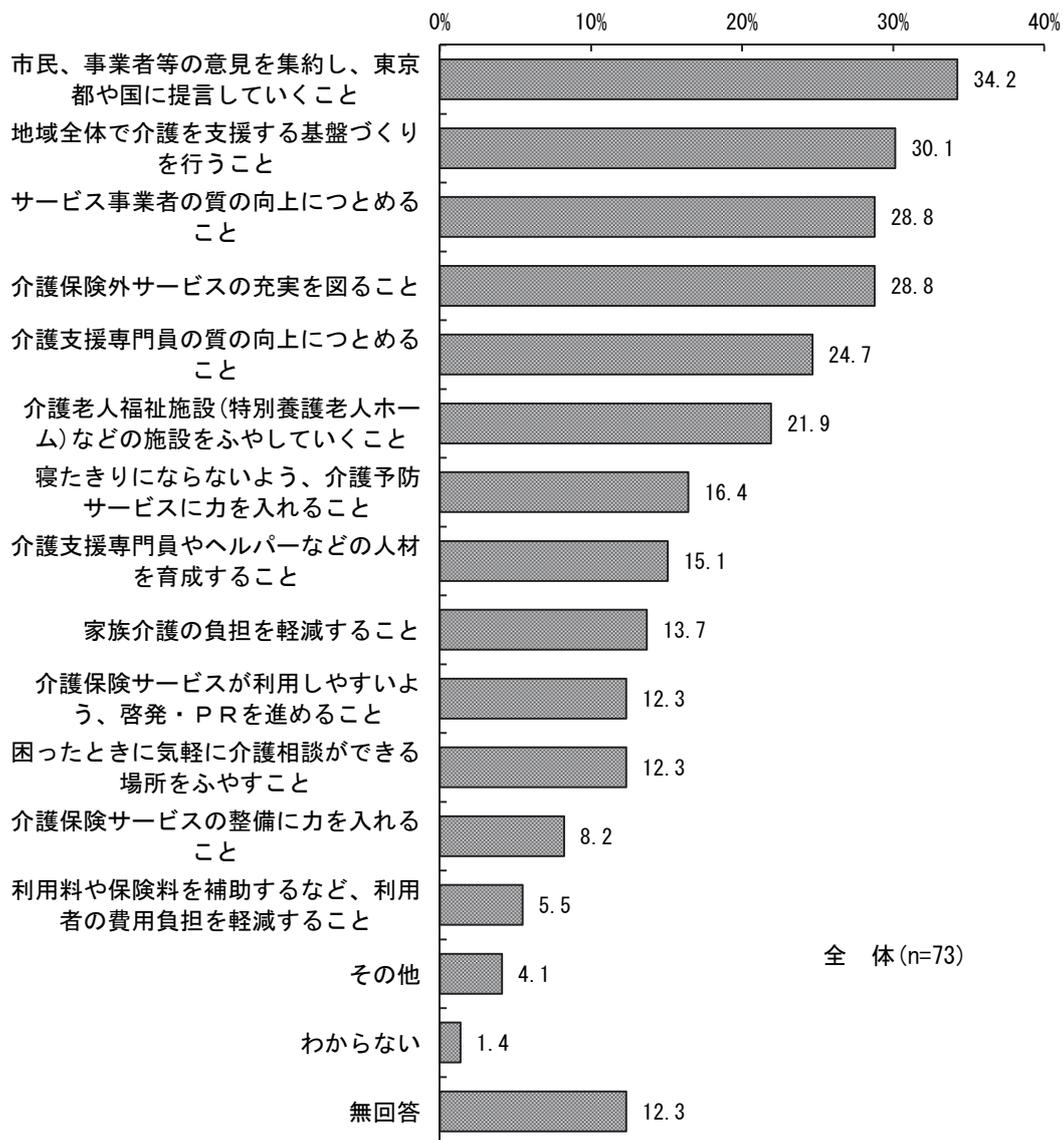
■介護支援専門員として西東京市に望むこと（複数回答（3つまで））



⑤ 介護保険制度をよりよくするために市が力を入れるべきこと（問38）

介護保険制度をよりよくするために市が力を入れるべきことは、「市民、事業者等の意見を集約し、東京都や国に提言していくこと」が最も多く 34.2%、「地域全体で介護を支援する基盤づくりを行うこと」（30.1%）、「サービス事業者の質の向上につとめること」「介護保険外サービスの充実を図ること」（ともに 28.8%）が続いている。

■介護保険制度をよりよくするために市が力を入れるべきこと（複数回答（3つまで））



平成22年度調査と比較すると、「寝たきりにならないよう、介護予防サービスに力を入れること」と「サービス事業者の質の向上につとめること」が上昇しそれぞれ10.7ポイント、10.2ポイント高くなっている。一方、「介護老人福祉施設などの施設をふやしていくこと」「困ったときに気軽に介護相談ができる場所をふやすこと」が減少しそれぞれ18.1ポイント、10.6ポイント低下している。

■介護保険制度をよりよくするために市が力を入れるべきこと（複数回答（3つまで））【前回比較】

	言集市 してし、 いく東 こと京 と都 やの 国 に 見 提を	る地 基域 盤全 づく り介 を行 う支 援と す	上サ ービ スと め事 業 者 の 質 の 向	実介 を護 図保 る險 外サ ービ スの 充	上介 に護 つ支 と援 め専 め門 事員 業の の 質 の 向	施介 設護 を老 ふ人 や福 して祉 いて施 いく設 ことな どの	力う を入 入介 れる護 こと予 防サ ービ スよ に	るバ ー介 こと護 支 援 の 専 門 員 や 育 成 ル す	(%)
平成25年度調査 (n=73)	34.2	30.1	28.8	28.8	24.7	21.9	16.4	15.1	
平成22年度調査 (n=70)	38.6	30.0	18.6	24.3	20.0	40.0	5.7	17.1	
	る家 こ族 と介 護 の 負 担 を 軽 減 す	Rし や介 進護 め保 る險 ようサ 、ー 啓ビ 発ス ・が 利 用	す相 こと談 がた でき るに 場所 を介 ふや 護	に介 力護 を入 れる こと の 整 備	担る をな 軽料 減等 す、 利保 用險 者料 のを 費用 助 負す	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答	
平成25年度調査 (n=73)	13.7	12.3	12.3	8.2	5.5	4.1	1.4	12.3	
平成22年度調査 (n=70)	17.1	2.9	22.9	10.0	14.3	1.4	-	-	

⑥ 介護保険事業への意見・要望（問39）

介護保険事業への意見・要望について、自由記述形式でうかがい、内容ごとに分類・整理を行った。主な意見は以下のとおりである。

（施設サービスの充実）

- ・小規模多機能や、ショートの利用が簡易にできる施設を作ってほしい。

（保険外サービスの充実）

- ・介護保険が限界に近づいている。インフォーマルサービスなど充実を図らないと大変なことになる。

（連携強化）

- ・ケアマネジメントを実施する上で障害、生活保護との連携は不可欠だと思われるが情報の共有や役所内の連携が不十分だと感じるところがあるので改善してほしい。

（介護保険制度の周知、理解促進）

- ・利用者の立場になって初めて介護保険のことがわかる利用者・家族が多く、説明に時間がかかる。制度が周知されると、望ましい生活をするためにどんなサービスが利用できるか、考えられる様になるのではないかな。

（情報提供の充実）

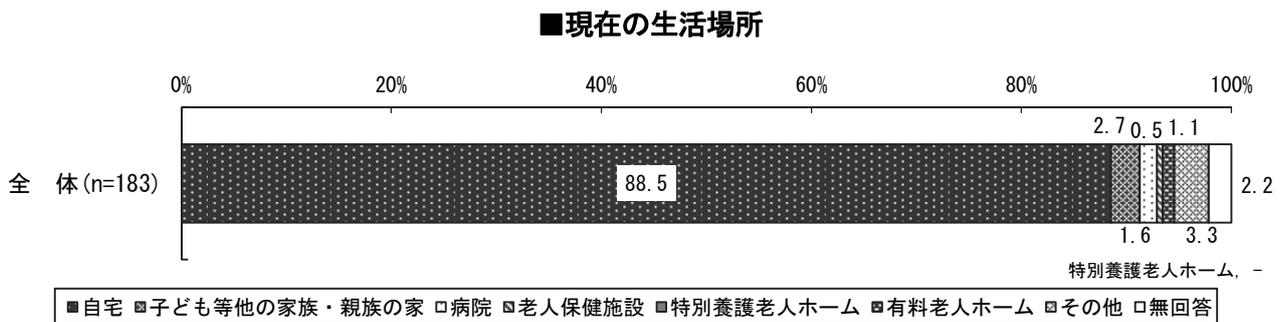
- ・事業者ガイドブックをもっと見やすくしてほしい。
- ・パソコンを使う利用者、介護者もふえていることから、介護保険サービス事業者情報を検索できるシステムをつくり、場所や業種から空き情報までわかるようにしてほしい。

9. 在宅医療と介護に関する調査

(1) 基本属性

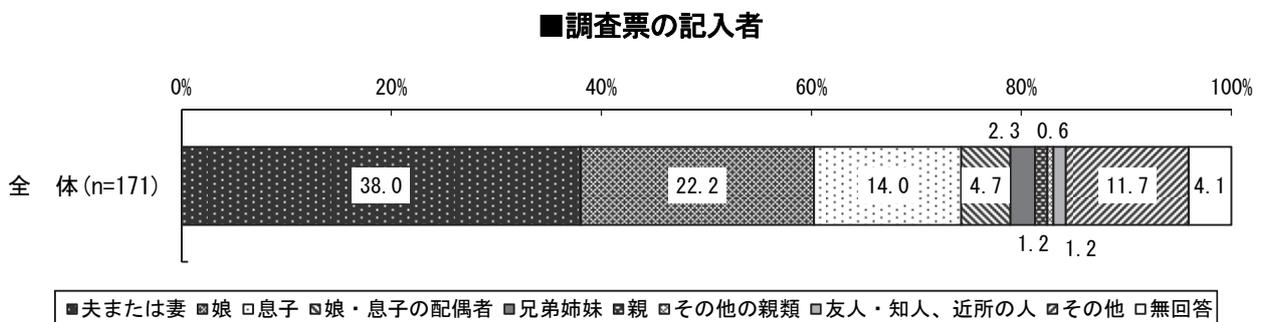
① 現在の生活場所（問1）

現在の生活場所は、「自宅」が最も多く 88.5%、次いで「子ども等他の家族・親族の家」（2.7%）、「病院」（1.6%）、「有料老人ホーム」（1.1%）、「老人保健施設」（0.5%）が続いている。「特別養護老人ホーム」の入所者はいなかった。



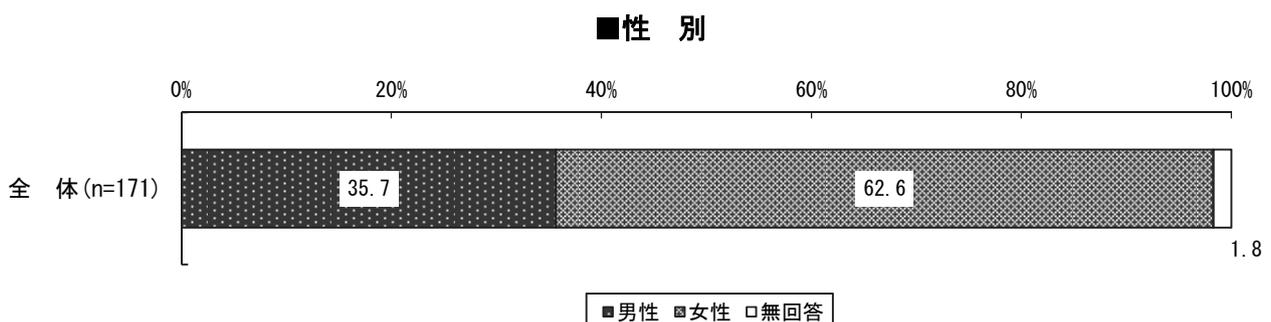
② 調査票の記入者（問2）

調査票の記入者は、「夫または妻」が最も多く 38.0%、次いで「娘」（22.2%）、「息子」（14.0%）が続いている。



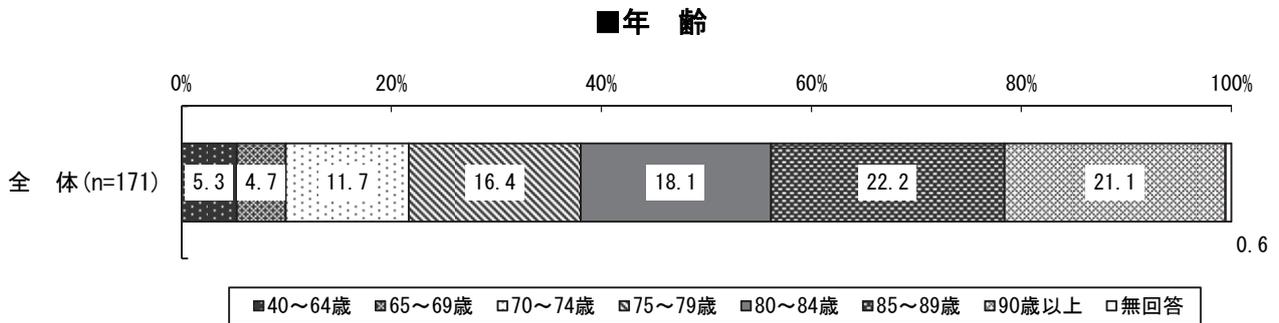
③ 性別（問3）

性別は、「男性」が 35.7%、「女性」が 62.6%となっている。



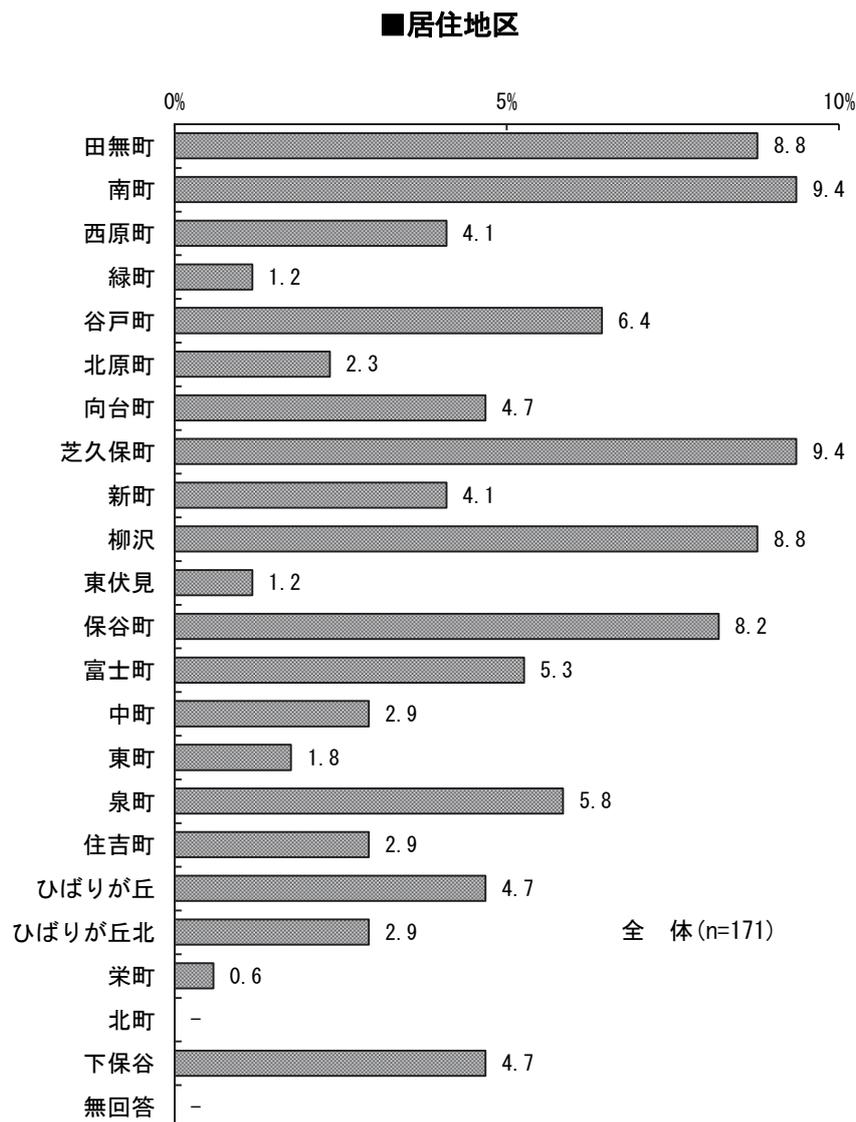
④ 年齢（問4）

年齢は、「85～89歳」が最も多く22.2%、次いで「90歳以上」（21.1%）、「80～84歳」（18.1%）が続いている。また、65歳未満は5.3%、前期高齢者は16.4%、後期高齢者は77.8%である。



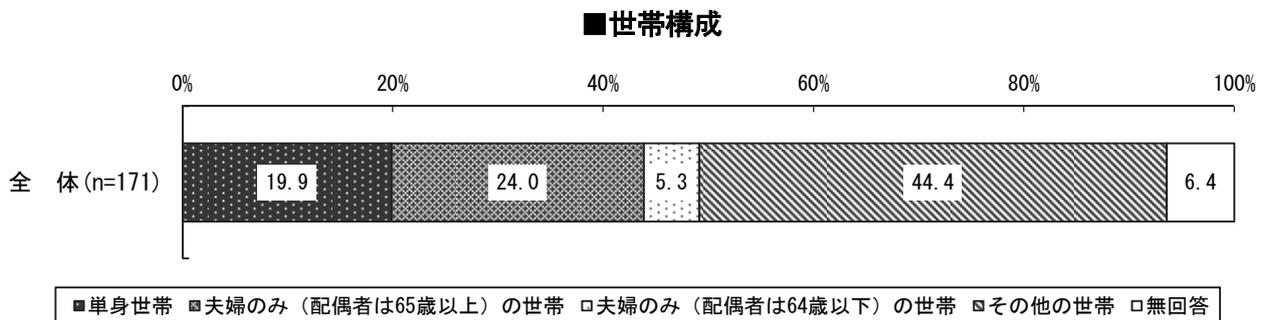
⑤ 居住地区（問5）

居住地は、「南町」「芝久保町」（ともに9.4%）が最も多く、「田無町」「柳沢」（ともに8.8%）、「保谷町」（8.2%）が続いている。



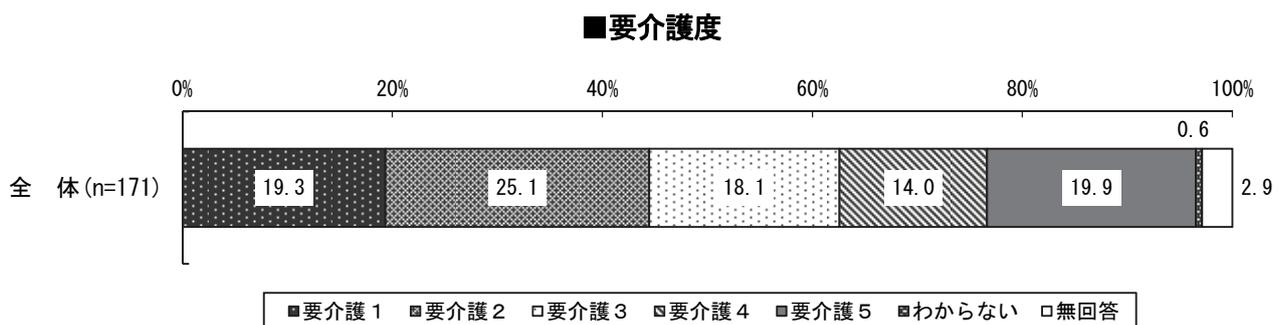
⑥ 世帯構成（問6）

世帯構成は、「その他の世帯」が最も多く44.4%、次いで「夫婦のみ（配偶者は65歳以上）の世帯」（24.0%）、「単身（ひとりぐらし）世帯」（19.9%）が続いている。



⑦ 要介護度（問7）

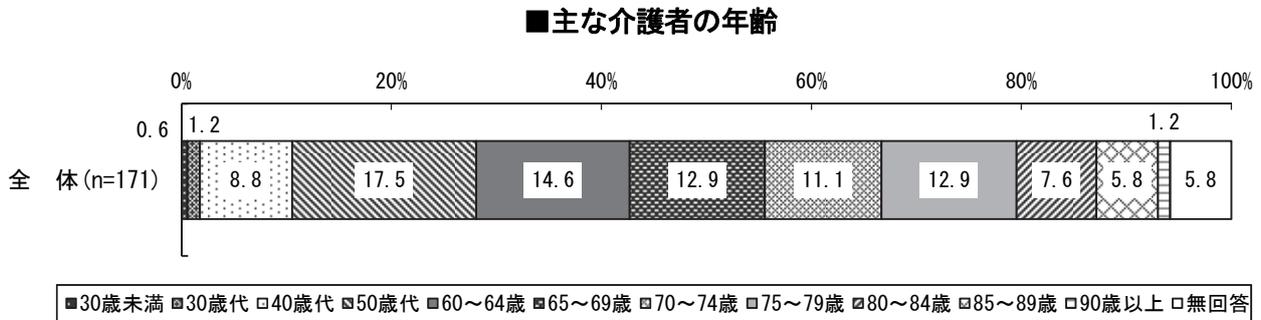
調査対象者の要介護度は、「要介護2」が最も多く25.1%、次いで「要介護5」（19.9%）、「要介護1」（19.3%）が続いている。



(2) 主な介護者の状況

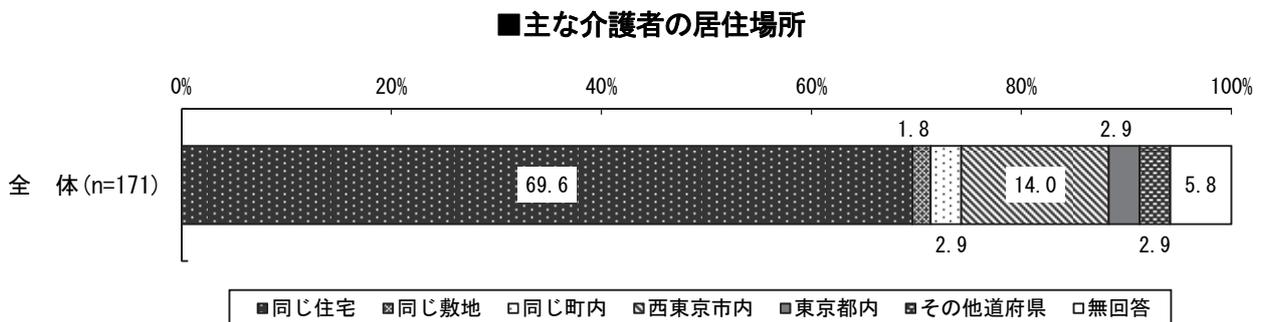
① 主な介護者の年齢（問8）

主な介護者の年齢は、「50歳代」が最も多く17.5%、次いで「60～64歳」（14.6%）、「65～69歳」「75～79歳」（ともに12.9%）が続いている。また、65歳未満が42.7%、65～74歳が24.0%、75歳以上が27.5%となっている。



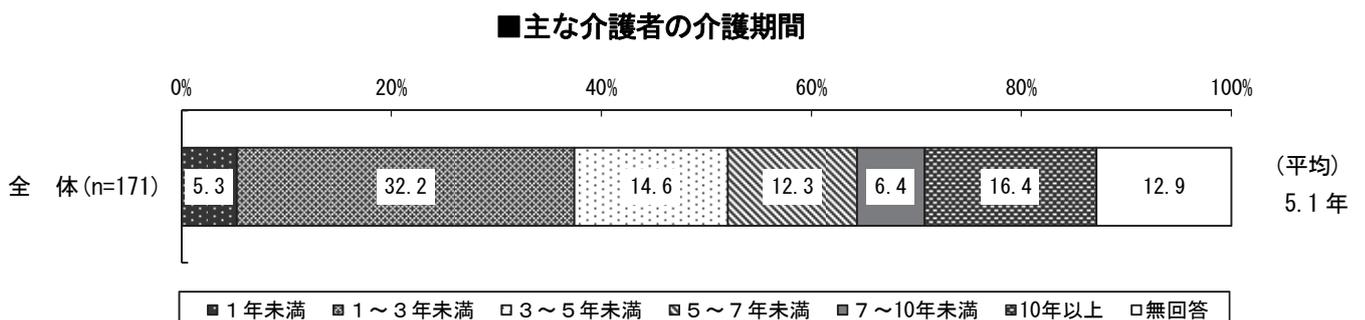
② 主な介護者の居住場所（問9）

主な介護者の居住場所は、「同じ住宅」が最も多く69.6%、「同じ敷地」（1.8%）、「同じ町内」（2.9%）、「西東京市内」（14.0%）も含めると、「市内」（88.3%）がほぼ9割となっている。



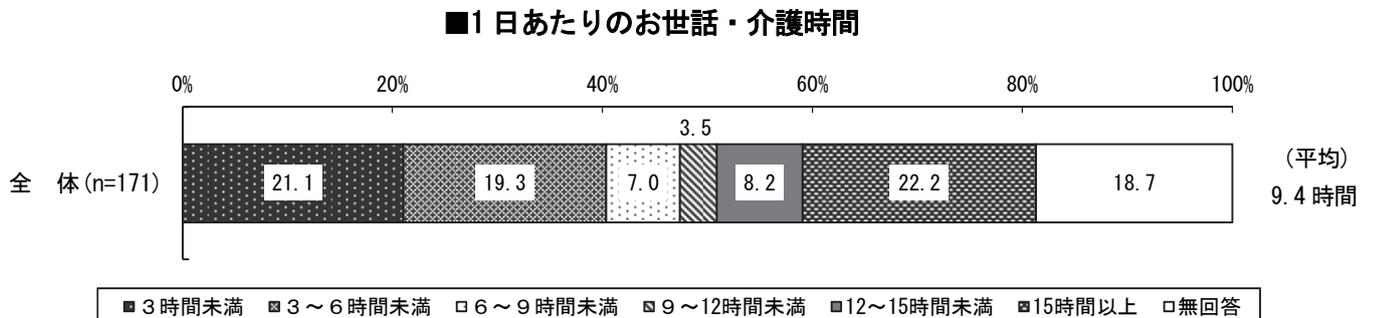
③ 主な介護者の介護期間（問10）

主な介護者の介護期間は、「1～3年未満」が32.2%と最も多く、次いで「10年以上」が16.4%、「3～5年未満」が14.6%、「5～7年未満」が12.3%、「7～10年未満」が6.4%、「1年未満」が5.3%と続いている。



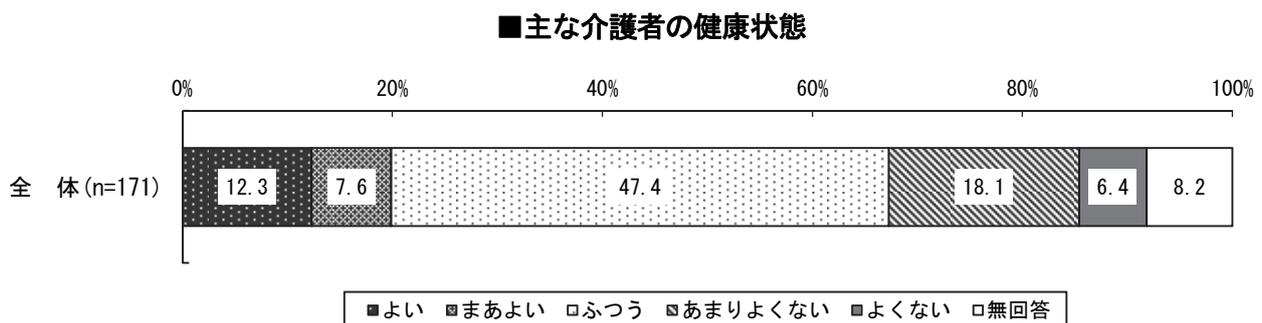
④ 1日あたりのお世話・介護時間（問11）

1日あたりのお世話・介護時間は、「15時間以上」が22.2%と最も多く、次いで「3時間未満」が21.1%、「3～6時間未満」が19.3%、「12～15時間未満」が8.2%、「6～9時間未満」が7.0%、「9～12時間未満」が3.5%と続いている。



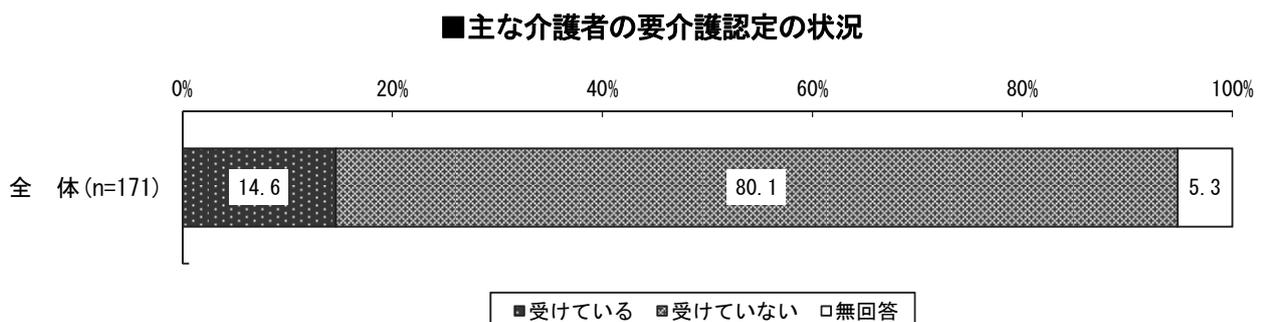
⑤ 主な介護者の健康状態（問12）

主な介護者の健康状態は、「よい」（12.3%）と「まあよい」（7.6%）を合わせた《よい》が19.9%、「ふつう」が47.4%、「あまりよくない」（18.1%）と「よくない」（6.4%）を合わせた《よくない》が24.5%となっている。



⑥ 主な介護者の要介護認定の状況（問13）

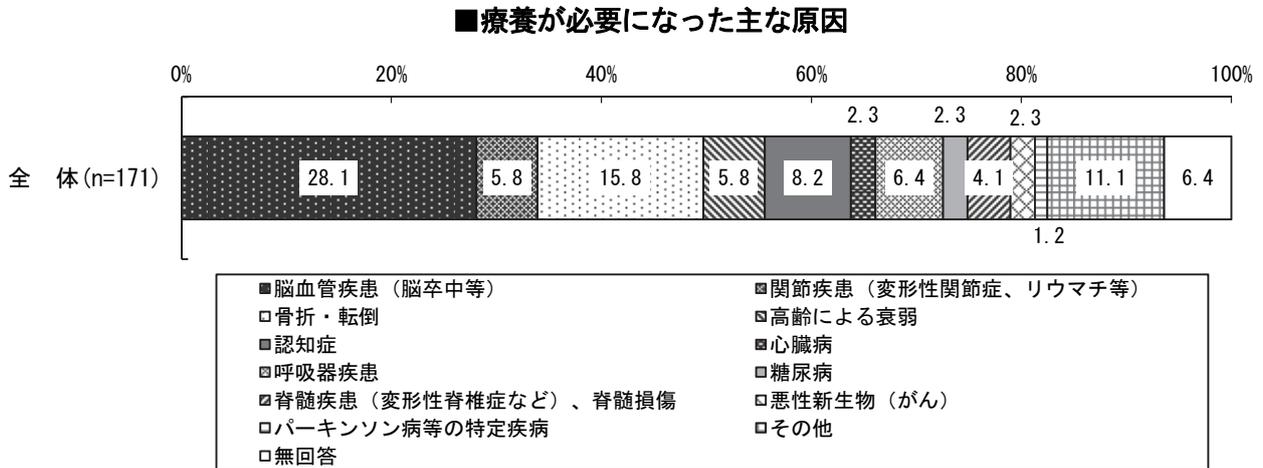
主な介護者の要介護認定の状況は、「受けている」が14.6%、「受けていない」が80.1%となっている。



(3) 在宅療養生活について

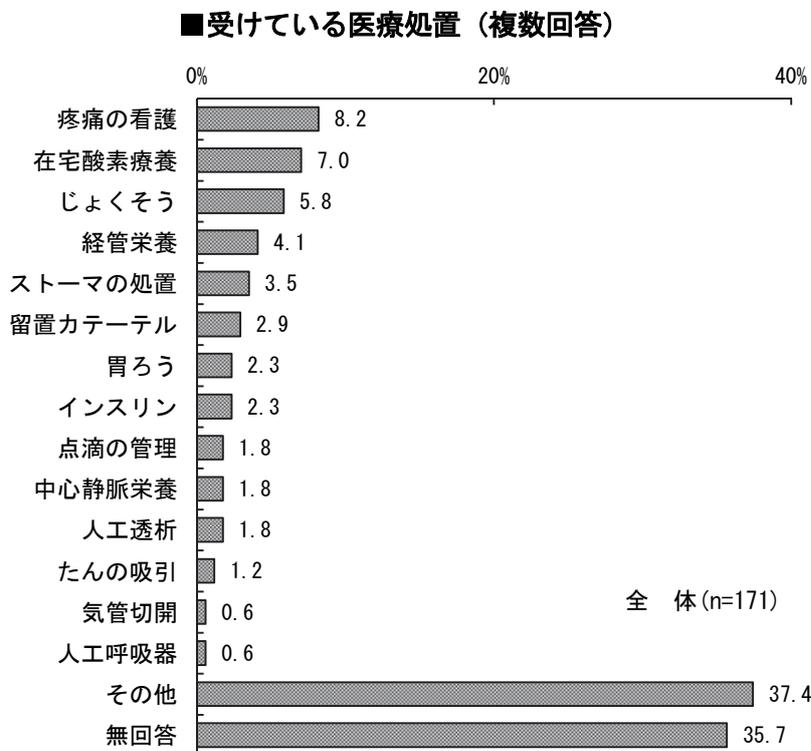
① 療養が必要になった主な原因 (問14)

療養が必要になった主な原因は、「脳血管疾患（脳卒中等）」が最も多く 28.1%、次いで「骨折・転倒」（15.8%）、「認知症」（8.2%）が続いている。



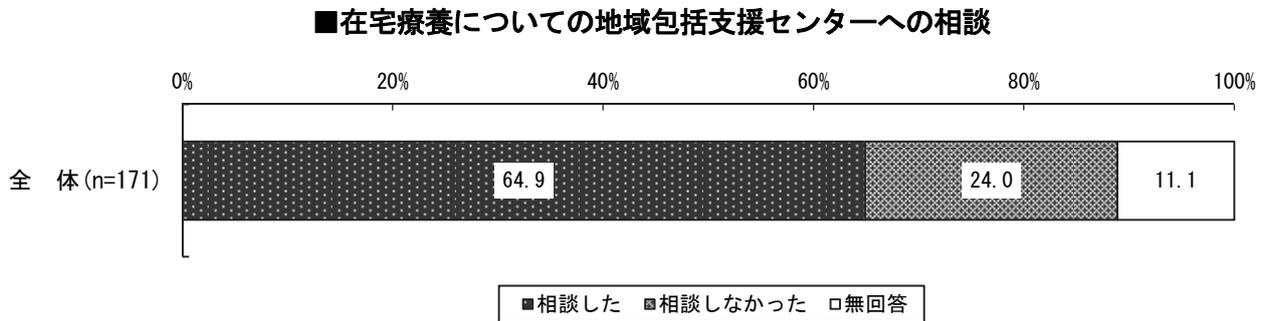
② 受けている医療処置 (問15)

受けている医療処置は、「疼痛の看護」が最も多く 8.2%、次いで「在宅酸素療養」（7.0%）、「じょくそう」（5.8%）、「経管栄養」（4.1%）、「ストーマの処置」（3.5%）が続いている。



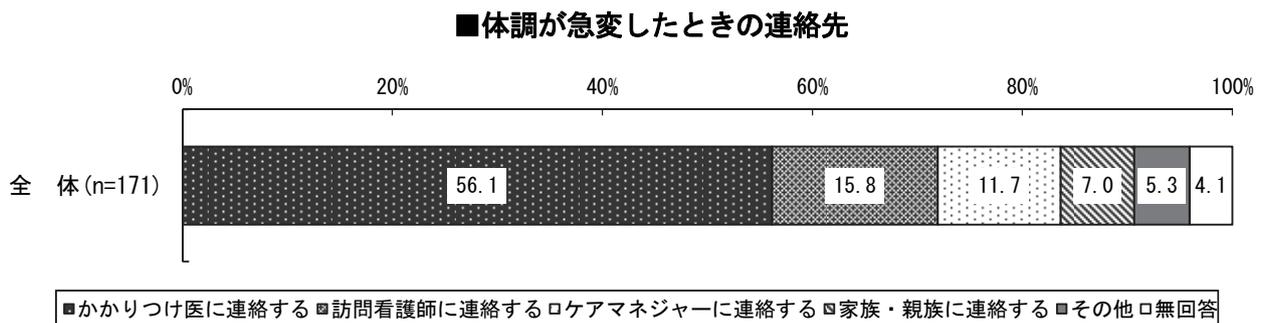
③ 在宅療養についての地域包括支援センターへの相談の有無（問16）

在宅療養についての地域包括支援センターへの相談は、「相談した」が64.9%、「相談しなかった」が24.0%となっている。



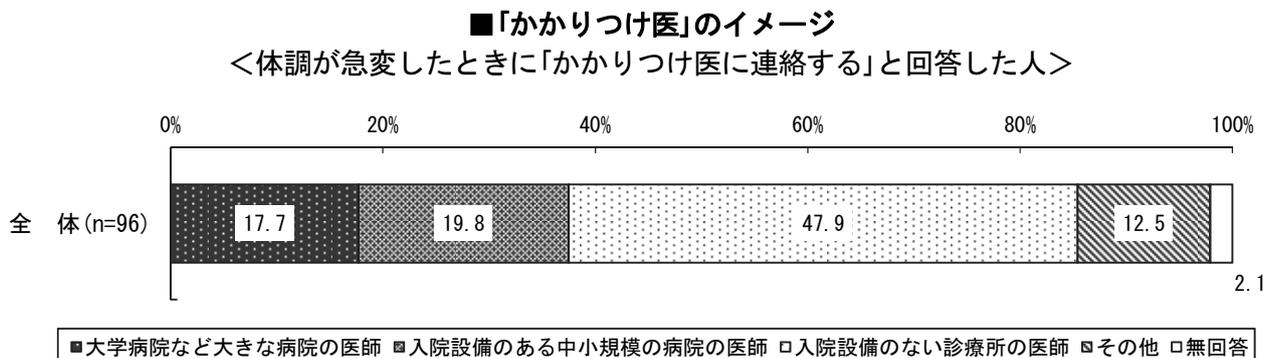
④ 体調が急変したときの連絡先（問17）

体調が急変したときの連絡先は、「かかりつけ医に連絡する」が56.1%、「訪問看護師に連絡する」が15.8%、「ケアマネジャーに連絡する」が11.7%となっている。



⑤ 「かかりつけ医」のイメージ（問17-1）

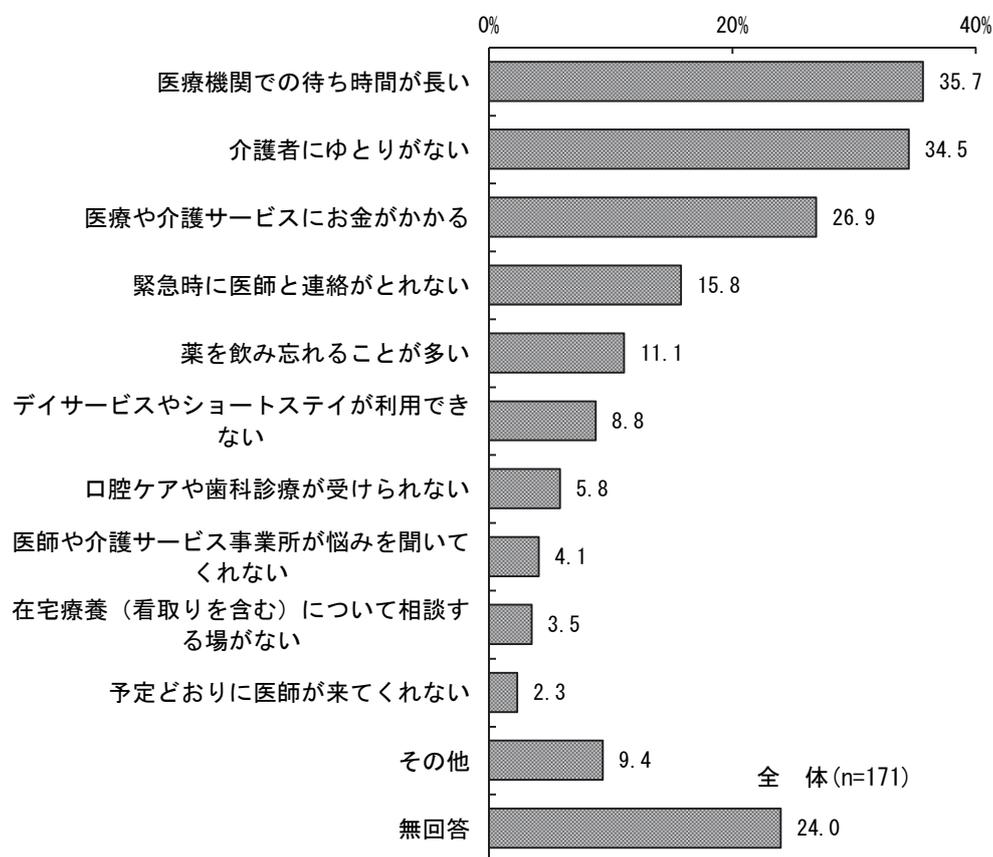
体調が急変したときに「かかりつけ医に連絡する」と回答した人の「かかりつけ医」のイメージは、『入院設備のない診療所の医師』が最も多く47.9%、『入院設備のある中小規模の病院の医師』(19.8%)、『大学病院など大きな病院の医師』(17.7%)が続いている。



⑥ 在宅療養を送る上で困っていること（問18）

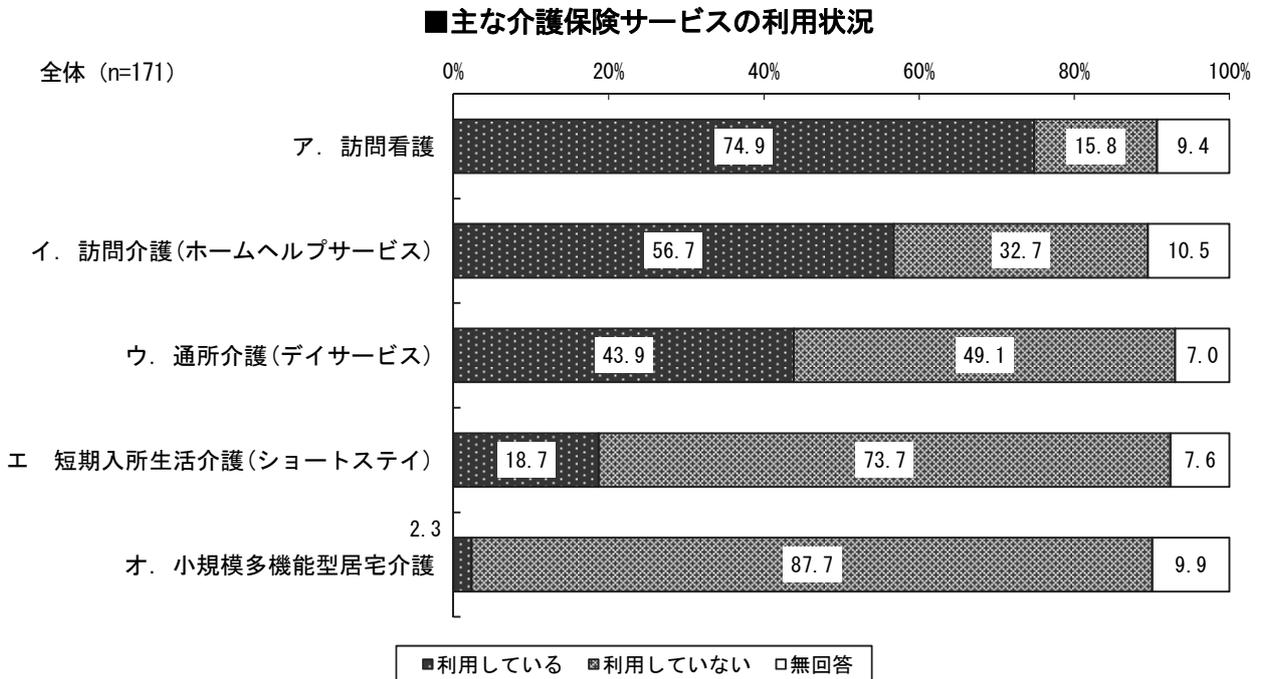
在宅療養を送る上で困っていることは、「医療機関での待ち時間が長い」が最も多く 35.7%、次いで「介護者にゆとりがない」（34.5%）、「医療や介護サービスにお金がかかる」（26.9%）が続いている。

■在宅療養を送る上で困っていること（複数回答）



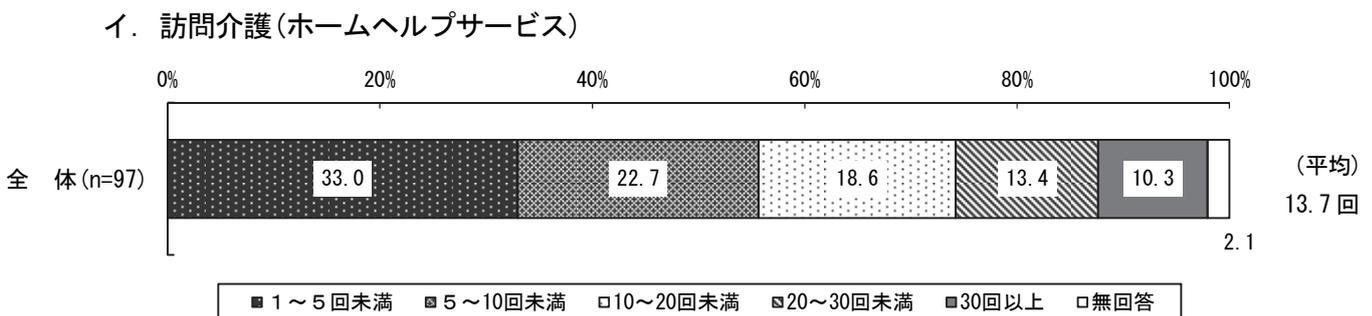
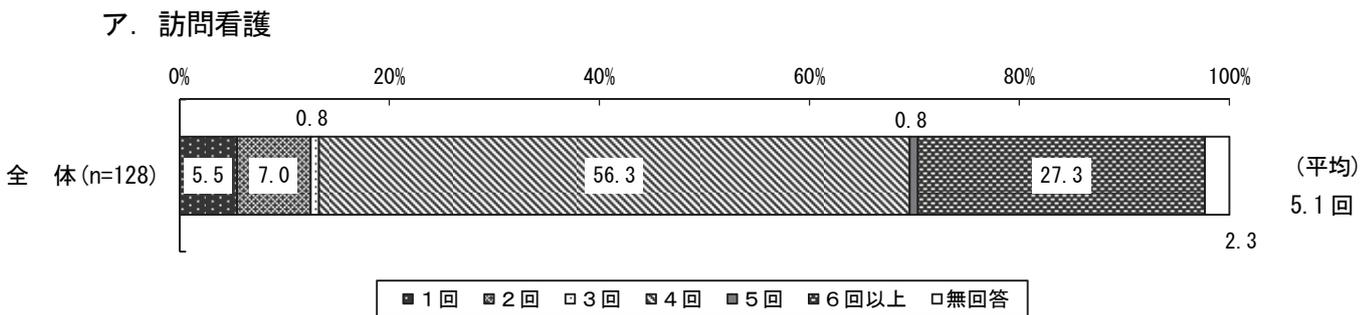
⑦ 主な介護保険サービスの利用状況と利用していない理由（問19）

主な介護保険サービスの利用は、「訪問看護」が最も多く74.9%、次いで「訪問介護」が56.7%、「通所介護」が43.9%、「短期入所生活介護」が18.7%、「小規模多機能型居宅介護」が2.3%となっている。

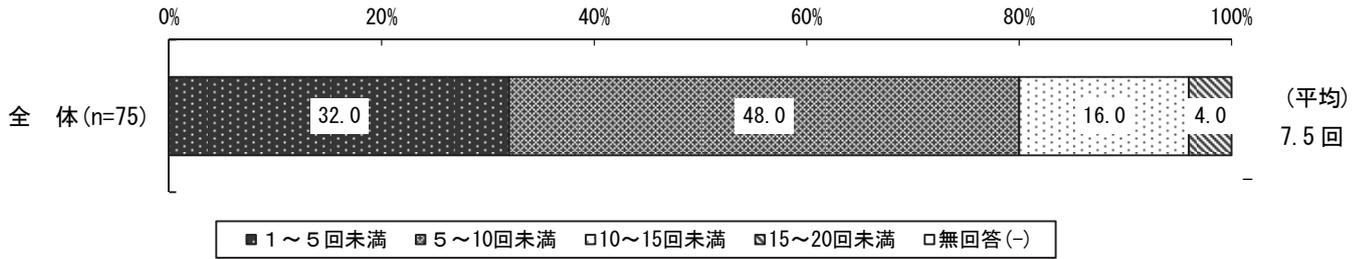


主な介護保険サービスを「利用している」と回答した人の1か月あたりの利用回数は、訪問看護は『4回』(56.3%)、訪問介護は『1～5回未満』(33.0%)、通所介護が『5～10回未満』(48.0%)、短期入所生活介護が『1回』(65.6%)、小規模多機能型居宅介護が『4回』(50.0%)が最も多く、平均はそれぞれ5.1回、13.7回、7.5回、2.4回、6.5回となっている。

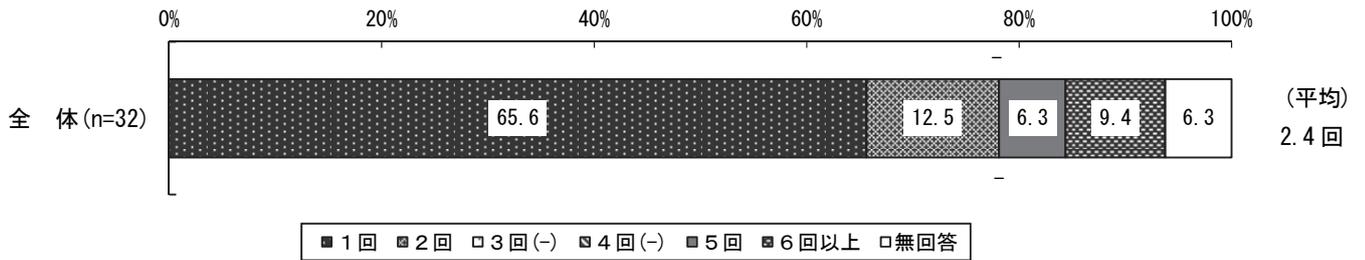
■1か月あたり主な介護保険サービスの利用回数
 <主な介護保険サービスを「利用している」と回答した人>



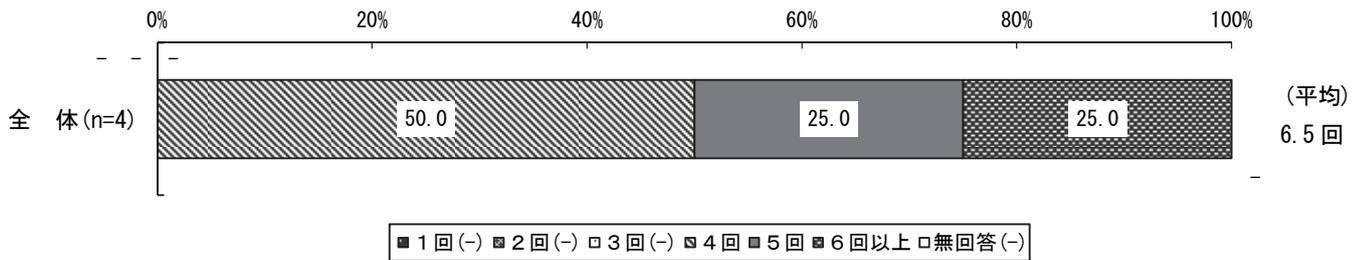
ウ. 通所介護(デイサービス)



エ. 短期入所生活介護(ショートステイ)

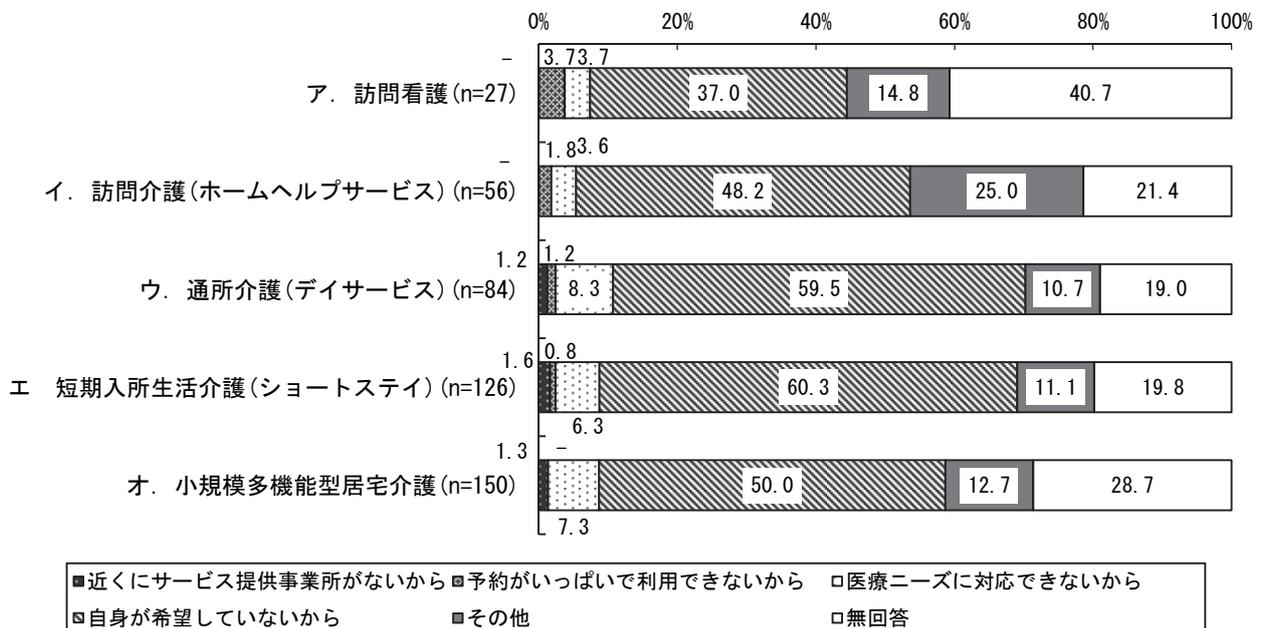


オ. 小規模多機能型居宅介護



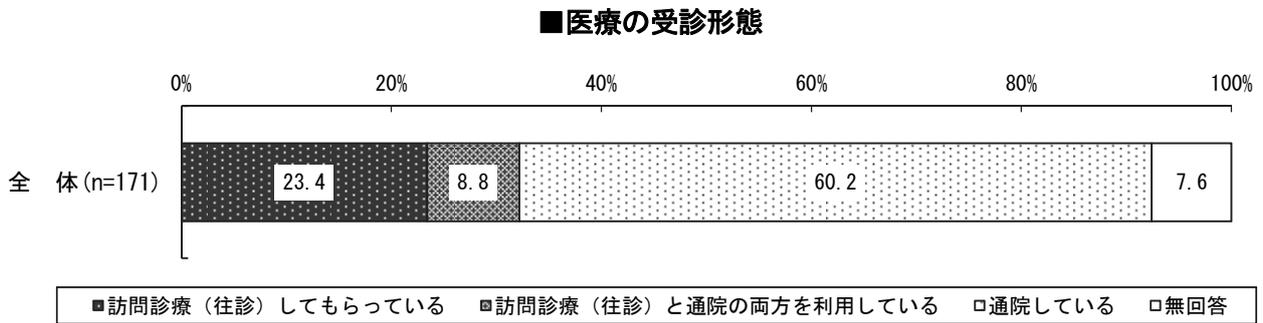
主な介護保険サービスの利用状況で「利用していない」と回答した人の利用していない理由は、いずれのサービスも『自身が希望していないから』が多い。

■主な介護保険サービスを利用していない理由
 <主な介護保険サービスを「利用していない」と回答した人>



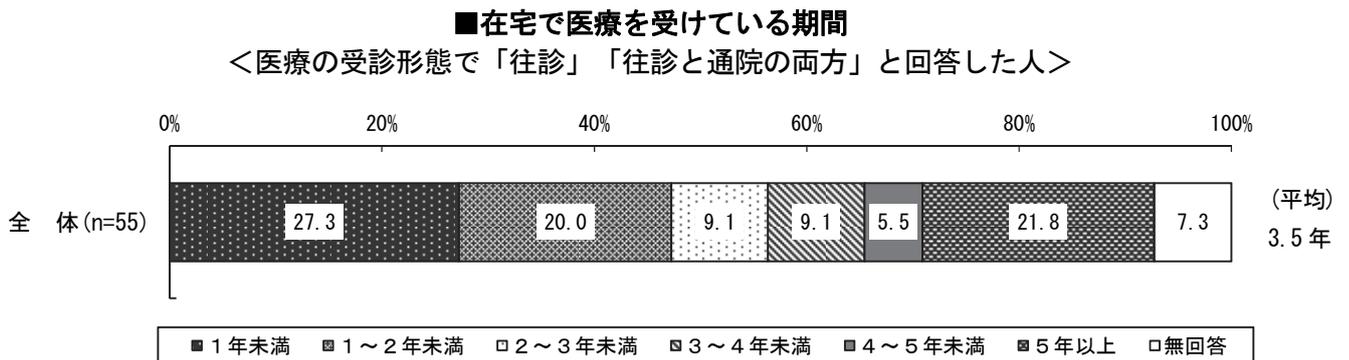
⑧ 医療の受診形態（問20）

医療の受診形態は、「訪問診療（往診）してもらっている」が23.4%、「訪問診療（往診）と通院の両方を利用している」が8.8%、「通院している」が60.2%となっている。



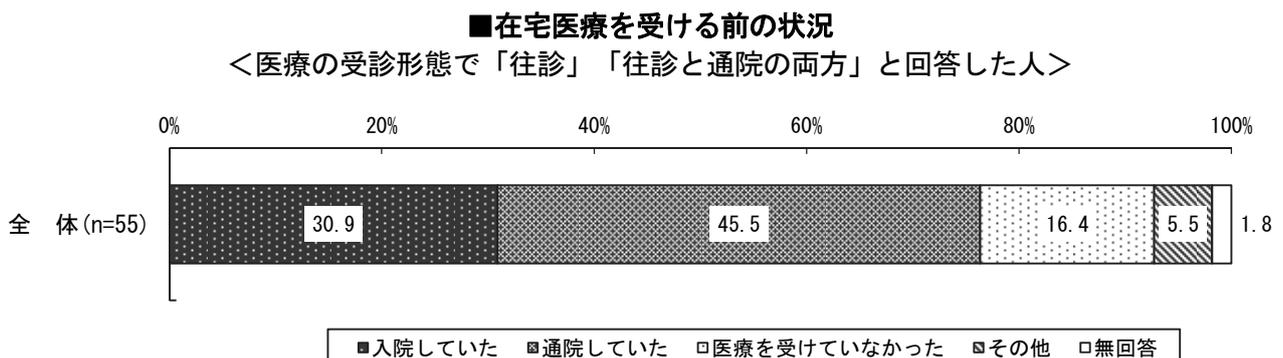
⑨ 在宅で医療を受けている期間（問21）

医療の受診形態で「訪問診療（往診）してもらっている」「訪問診療（往診）と通院の両方を利用している」と回答した人の在宅で医療を受けている期間は、『1年未満』が最も多く27.3%、次いで『5年以上』（21.8%）、『1～2年未満』（20.0%）が多く2割を超えている。



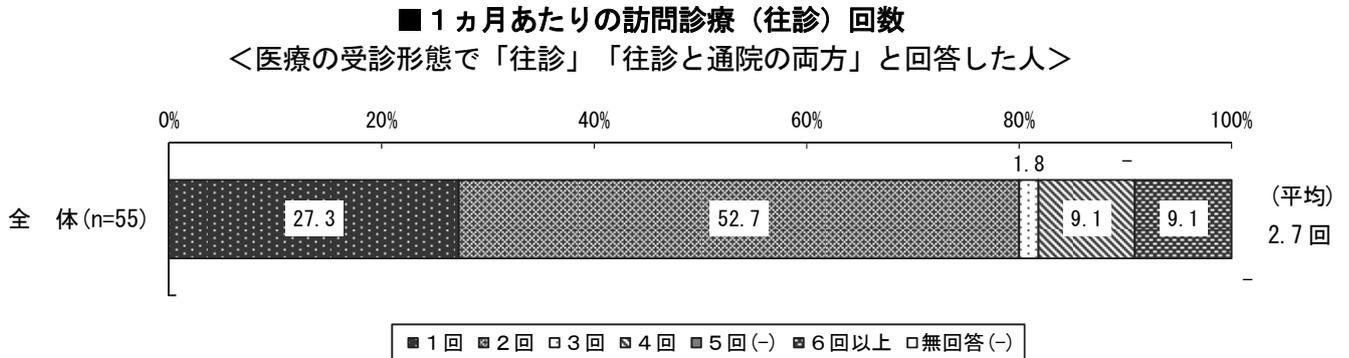
⑩ 在宅医療を受ける前の状況（問22）

医療の受診形態で「訪問診療（往診）してもらっている」「訪問診療（往診）と通院の両方を利用している」と回答した人の在宅医療を受ける前の状況は、『通院していた』が最も多く45.5%、次いで『入院していた』が30.9%となっている。



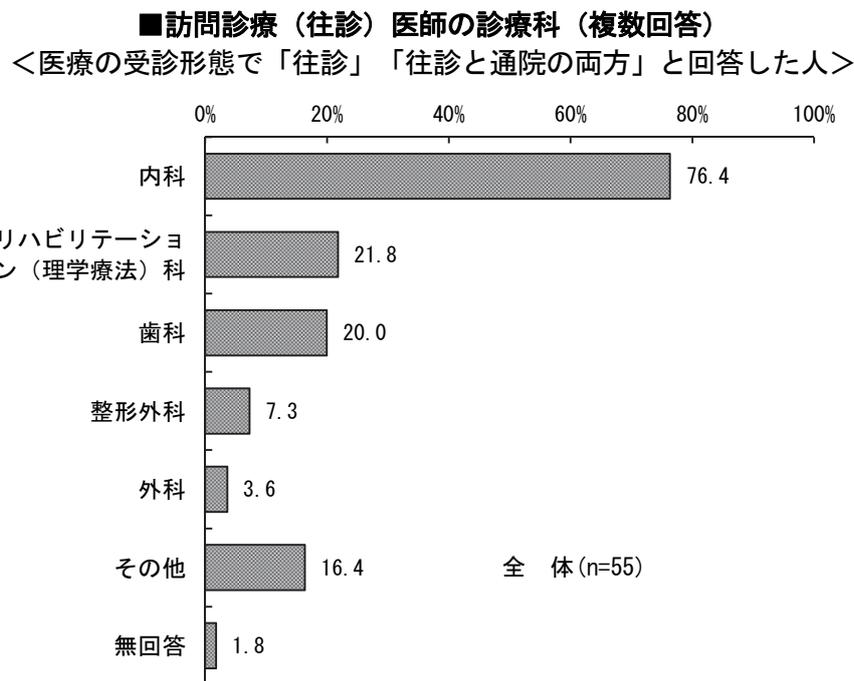
⑪ 1か月あたりの訪問診療（往診）回数（問23）

医療の受診形態で「往診」「往診と通院の両方」と回答した人の1か月あたりの訪問診療（往診）回数は、「2回」が最も多く52.7%、次いで「1回」（27.3%）、『4回』『6回以上』（ともに9.1%）が続いており、平均2.7回となっている。



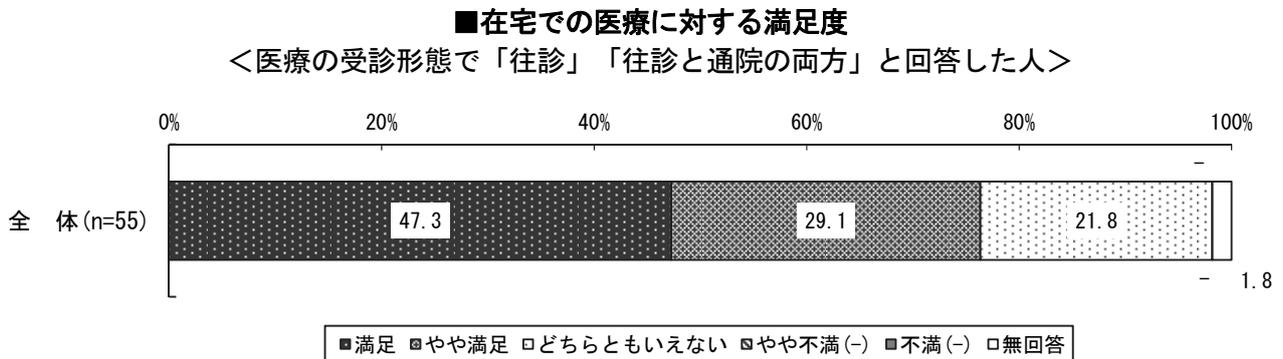
⑫ 訪問診療（往診）医師の診療科（問24）

医療の受診形態で「往診」「往診と通院の両方」と回答した人の訪問診療（往診）の診療科は、『内科』が最も多く76.4%、次いで『リハビリテーション（理学療法）科』（21.8%）、『歯科』（20.0%）が続いている。



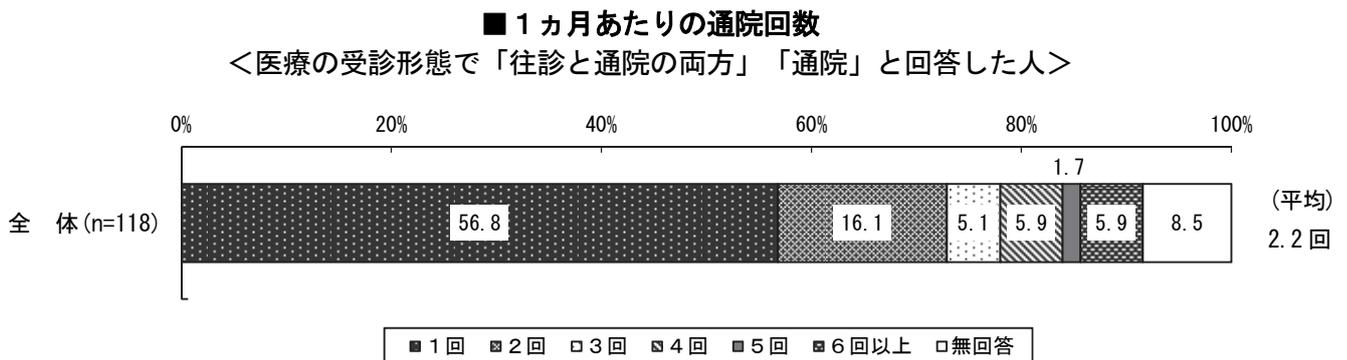
⑬ 在宅での医療に対する満足度（問25）

医療の受診形態で「往診」「往診と通院の両方」と回答した人の在宅での医療の満足度は、『満足』（47.3%）と『やや満足』（29.1%）を合わせた《満足》は76.4%となっている。



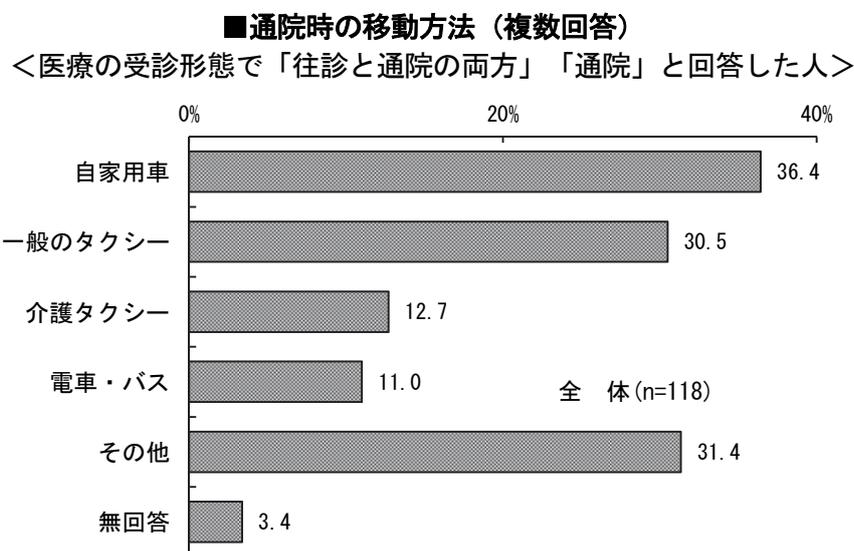
⑭ 1か月あたりの通院回数（問26）

医療の受診形態で「往診と通院の両方」「通院」と回答した人の1か月あたりの通院回数は、『1回』が最も多く56.8%、『2回』（16.1%）も含めると、月に1～2回が約7割を占めており、平均は2.2回となっている。



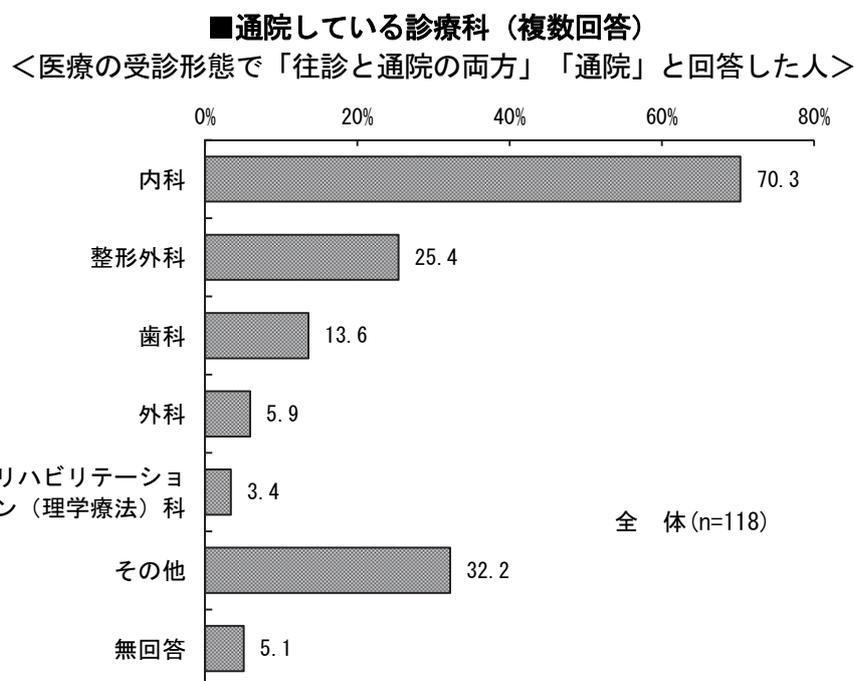
⑮ 通院時の移動方法（問27）

医療の受診形態で「往診と通院の両方」「通院」と回答した人の通院方法は、『自家用車』が最も多く36.4%、次いで『一般のタクシー』（30.5%）、『介護タクシー』（12.7%）、『電車・バス』（11.0%）が続いている。



⑯ 通院している診療科（問28）

医療の受診形態で「往診と通院の両方」「通院」と回答した人の通院している診療科は、『内科』が最も多く70.3%、次いで『整形外科』（25.4%）、『歯科』（13.6%）が続いている。

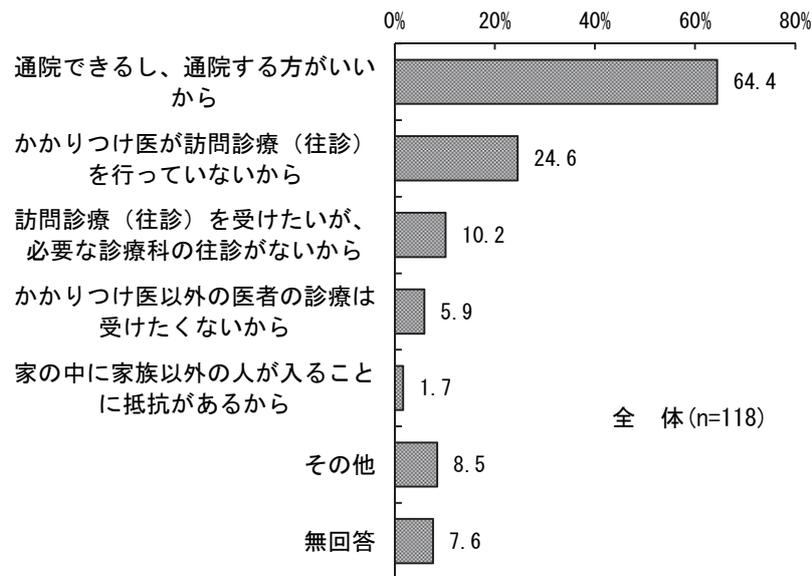


⑰ 通院している理由（問29）

医療の受診形態で「往診と通院の両方」「通院」と回答した人の通院している理由は、『通院できるし、通院をする方がいいから』が最も多く64.4%となっているものの、『かかりつけ医が訪問診療（往診）を行っていないから』（24.6%）、『訪問診療（往診）を受けたいが、必要な診療科の往診がないから』（10.2%）、『かかりつけ医以外の医者の診療は受けたくないから』（5.9%）が続いている。

■通院している理由（複数回答）

<医療の受診形態で「往診と通院の両方」「通院」と回答した人>

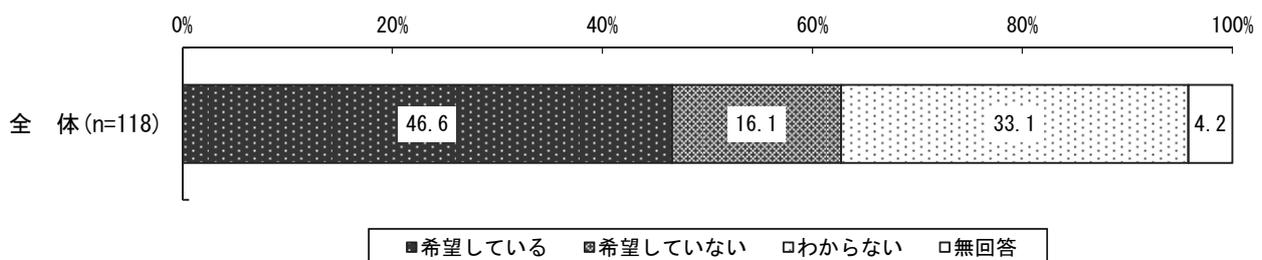


⑱ 今後の在宅での医療の利用希望（問30）

医療の受診形態で「往診と通院の両方」「通院」と回答した人の今後の在宅での医療の利用希望は、『希望している』が46.6%、『希望していない』が16.1%となっている。

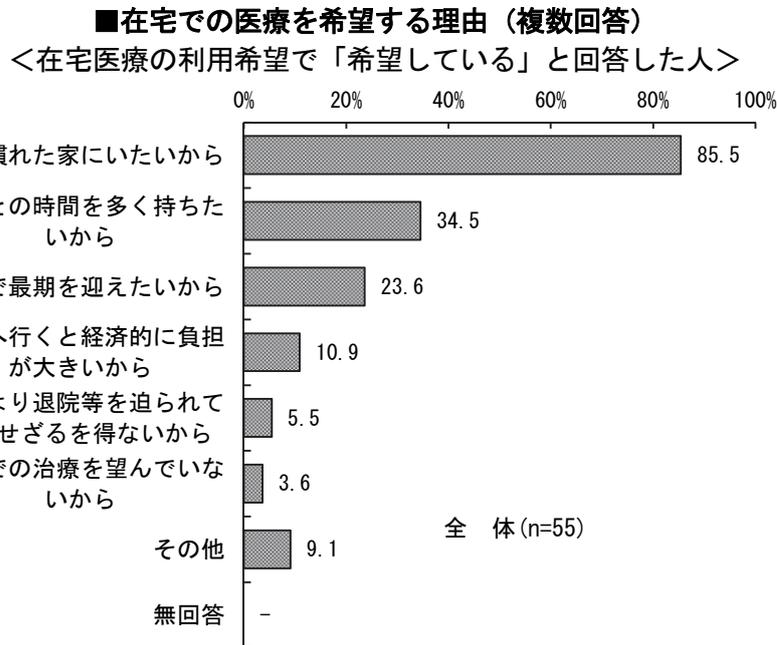
■今後の在宅での医療の利用希望

<医療の受診形態で「往診と通院の両方」「通院」と回答した人>



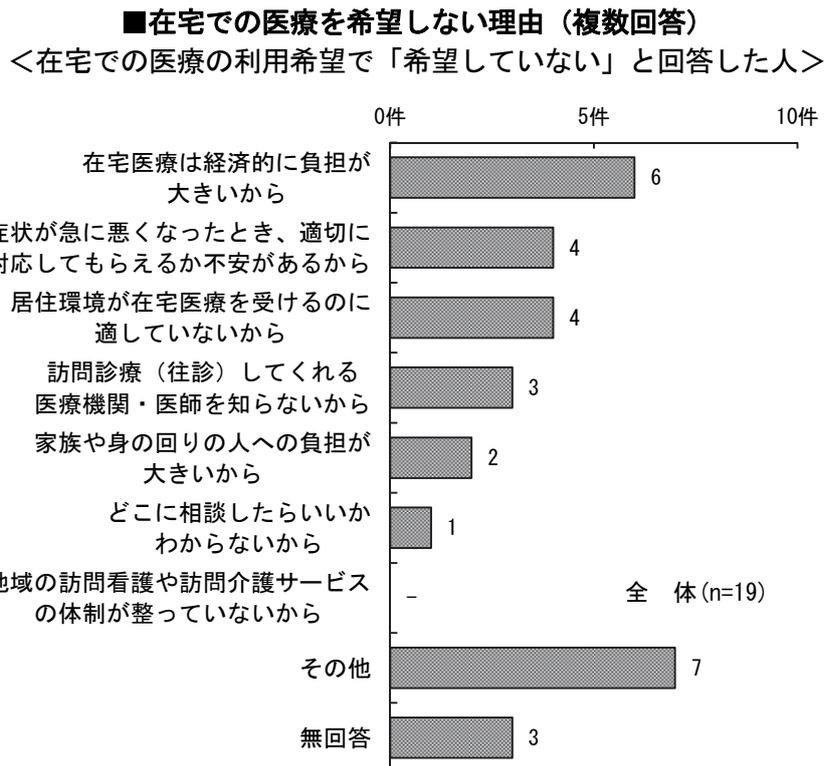
⑱ 在宅での医療を希望する理由（問30-1）

今後の在宅での医療の利用を「希望している」と回答した人の希望する理由は、『住み慣れた家にいたいから』が最も多く85.5%、次いで『家族との時間を多く持ちたいから』（34.5%）、『自宅で最期を迎えたいから』（23.6%）が続いている。



⑳ 在宅での医療を希望しない理由（問30-2）

在宅での医療の利用希望で「希望していない」と回答した人の在宅での医療を希望しない理由は、『在宅医療は経済的に負担が大きいから』が最も多く6件、次いで『症状が急に悪くなったとき、適切に対応してもらえないか不安があるから』『居住環境が在宅医療を受けるのに適していないから』（ともに4件）、『訪問診療（往診）してくれる医療機関・医師を知らないから』（3件）が続いている。

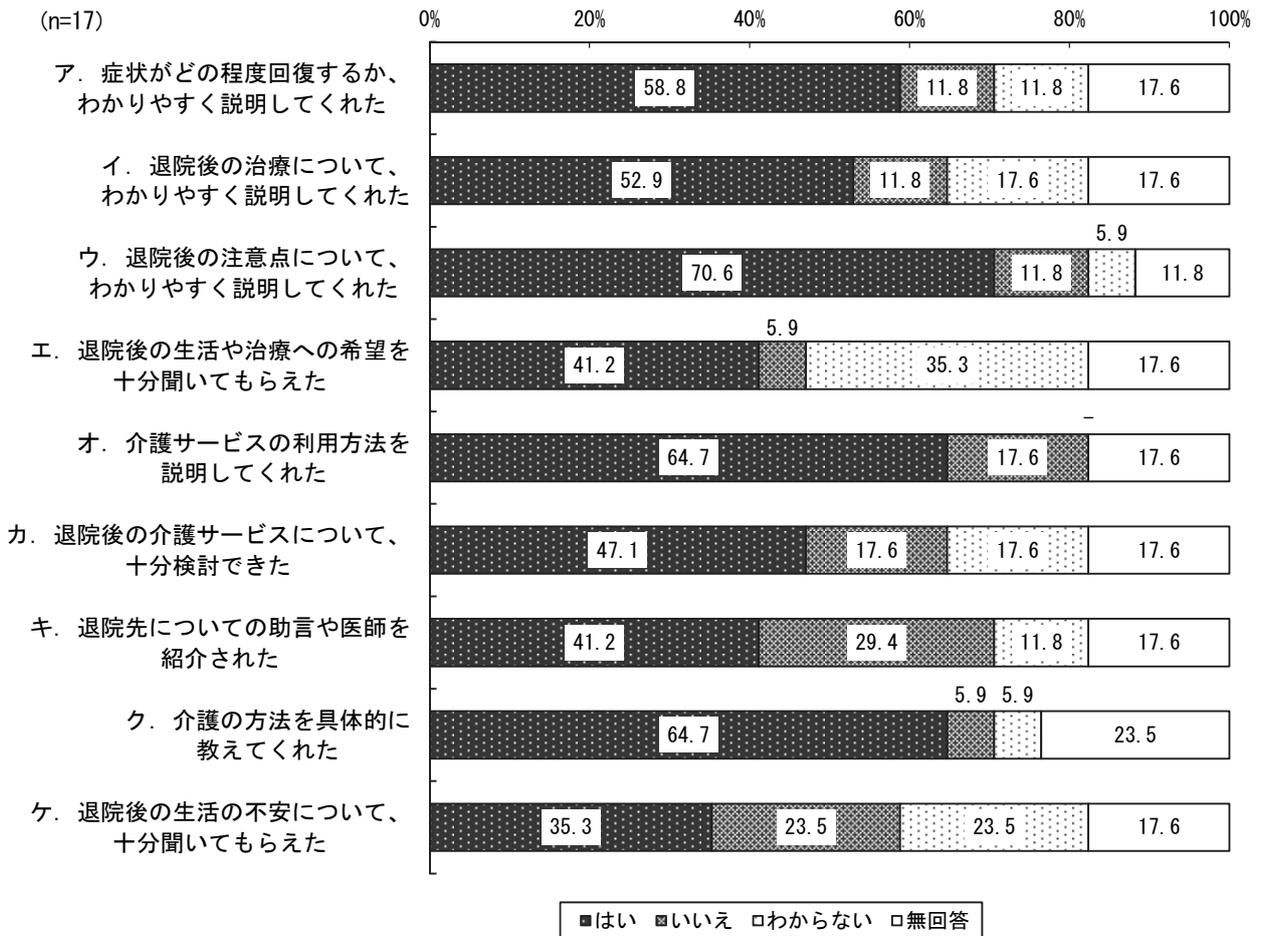


(4) 退院支援

① 入院先病院からの退院支援の援助の有無 (問3 1)

在宅での医療を受ける前に「入院していた」と回答した人(問2 2)で入院先の病院からの退院支援の援助があった項目(「はい」と回答した人)が最も多いのは、『退院後の注意点について、わかりやすく説明してくれた』(70.6%)、次いで『介護サービスの利用方法を説明してくれた』『介護の方法を具体的に教えてくれた』(ともに64.7%)である。

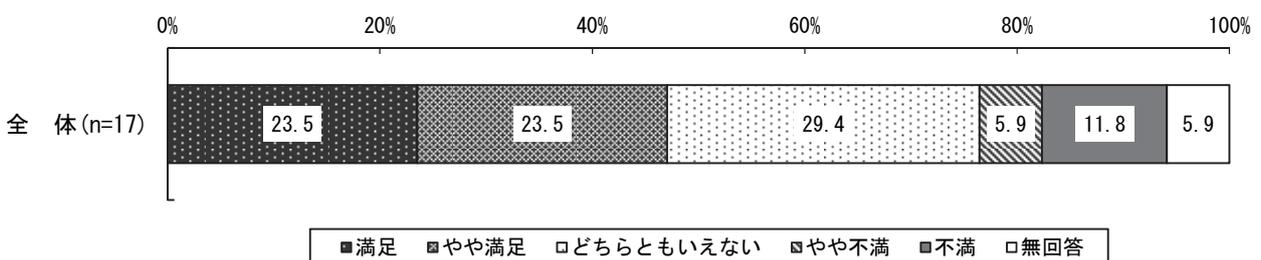
■入院先病院からの退院支援の援助の有無
 <在宅での医療を受ける前に「入院していた」と回答した人>



② 退院支援の援助に対する満足度 (問3 2)

在宅での医療を受ける前に「入院していた」と回答した人(問2 2)の退院支援の援助の満足度は、「満足」と「やや満足」(ともに4人:23.5%)を合わせた《満足》が8人(47.0%)となっている。

■退院支援の援助に対する満足度
 <在宅での医療を受ける前に「入院していた」と回答した人>

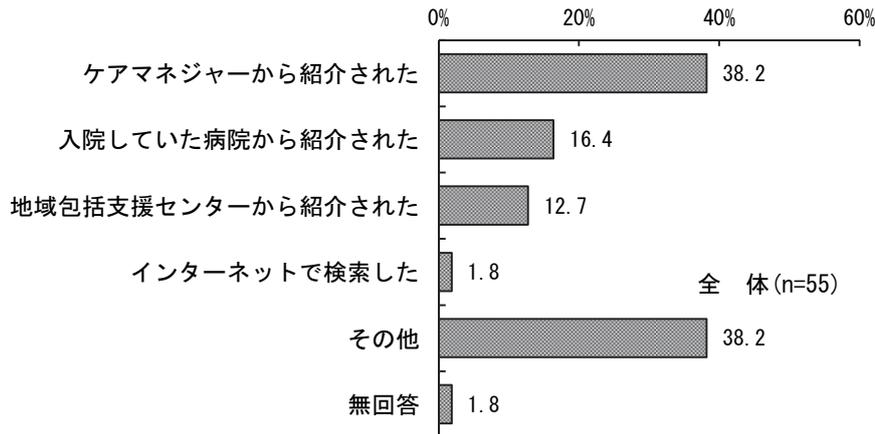


(5) 訪問診療（往診）医療機関について

① 医療機関をどのように見つけたか（問33）

医療の受診形態で「往診と通院の両方」「通院」と回答した人が訪問診療（往診）医療機関を見つけた方法は、『ケアマネジャーから紹介された』が最も多く38.2%、『入院していた病院から紹介された』が16.4%、『地域包括支援センターから紹介された』が12.7%となっている。

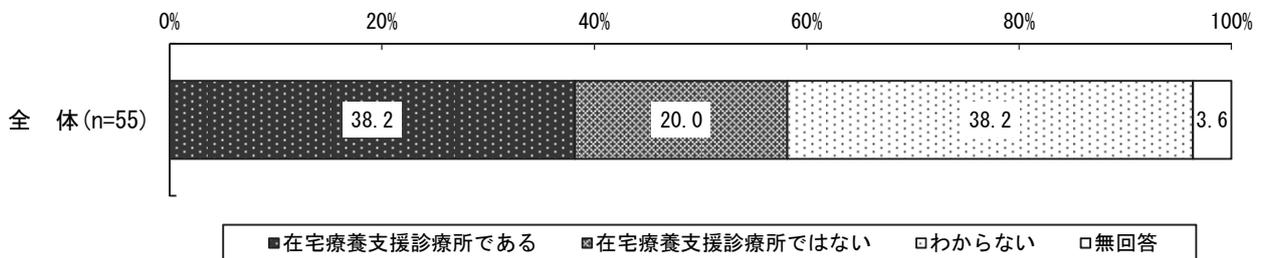
■医療機関をどのように見つけたか（複数回答）
 <医療の受診形態で「往診と通院の両方」「通院」と回答した人>



② 医療機関は在宅療養支援診療所か（問34）

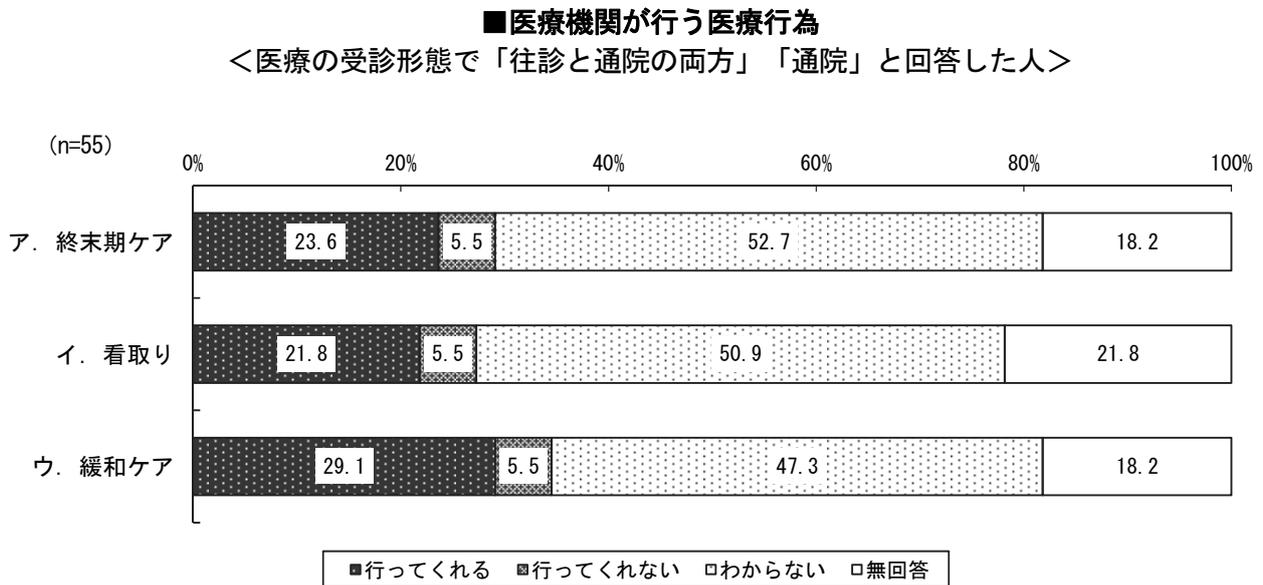
医療の受診形態で「往診と通院の両方」「通院」と回答した人が訪問診療（往診）医療機関を見つけた現在の訪問診療（往診）医療機関は、『在宅療養支援診療所である』が38.2%、『在宅療養支援診療所ではない』が20.0%、『わからない』が38.2%となっている。

■医療機関は在宅療養支援診療所か
 <医療の受診形態で「往診と通院の両方」「通院」と回答した人>



③ 医療機関が行う医療行為（問35）

現在の訪問診療（往診）医療機関が行ってくれる医療行為は、『緩和ケア』が最も多く29.1%、次いで『終末期ケア』が23.6%、『看取り』が21.8%となっている。

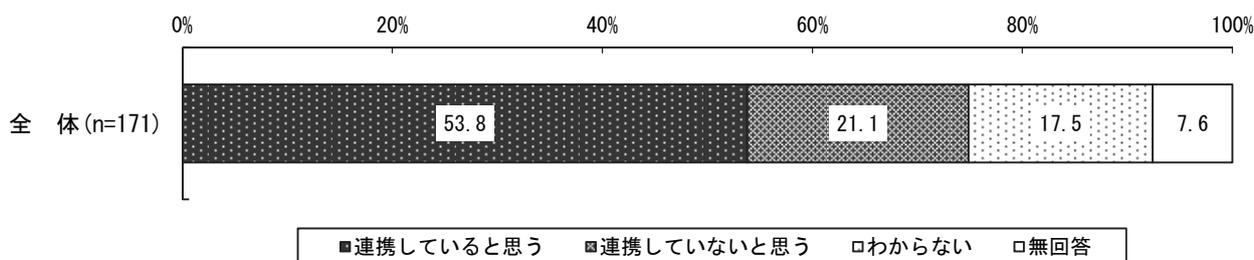


(6) 医療と介護の連携について

① 医療機関と介護サービス事業者の連携の状況（問36）

医療機関と介護サービス事業者の連携の状況は、「連携していると思う」が53.8%、「連携していないと思う」が21.1%、「わからない」が17.5%となっている。

■医療機関と介護サービス事業者の連携の状況

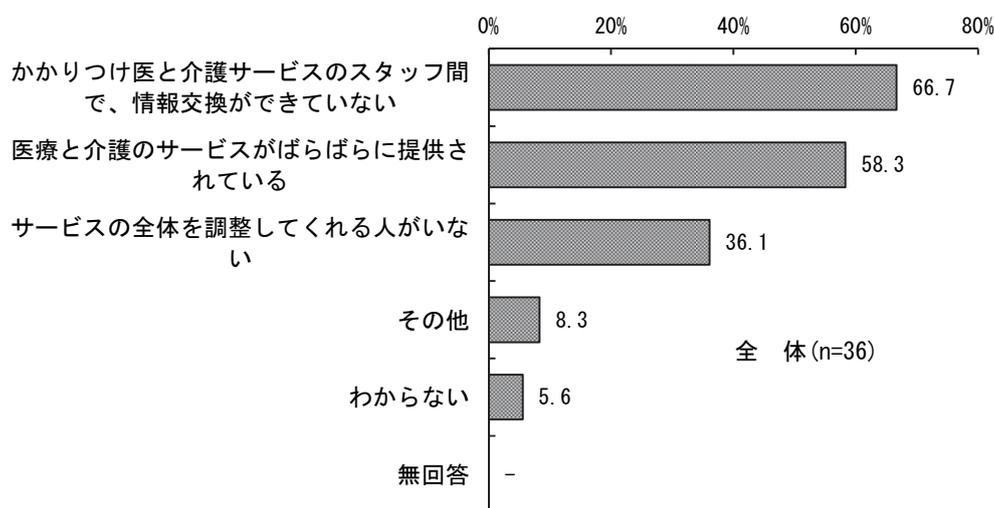


② 医療機関と介護サービス事業者が連携していないと思う理由（問36-1）

医療機関と介護サービス事業者の連携の状況で「連携していないと思う」と回答した人が連携していないと思う理由は、『かかりつけ医と介護サービスのスタッフ間で、情報交換ができていない』が最も多く66.7%、次いで『医療と介護のサービスがばらばらに提供されている』（58.3%）、『サービスの全体を調整してくれる人がいない』（36.1%）が続いている。

■医療機関と介護サービス事業者が連携していないと思う理由（複数回答）

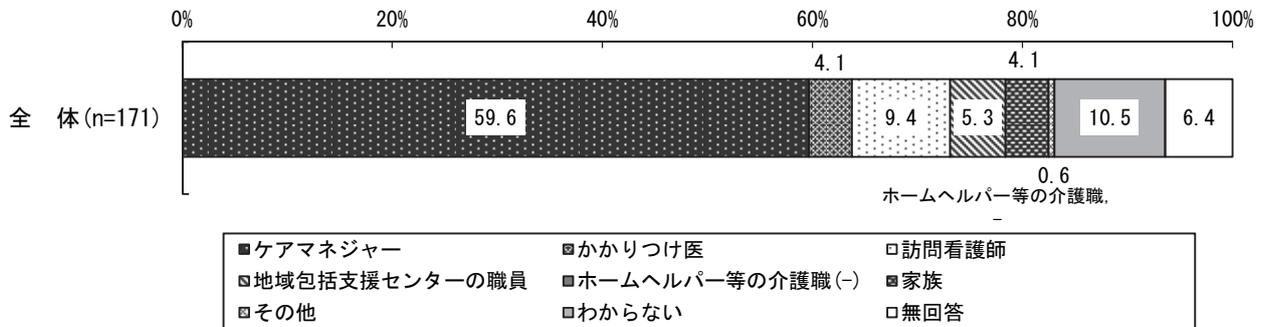
<「連携していないと思う」と回答した人>



③ 医療機関と介護サービス事業者の連携を図るため中心になるべき人（問37）

医療機関と介護サービス事業者の連携を図るため中心になるべき人は、「ケアマネジャー」が最も多く59.6%、次いで「訪問看護師」（9.4%）、「地域包括支援センターの職員」（5.3%）が続いている。

■医療機関と介護サービス事業者の連携を図るため中心になるべき人

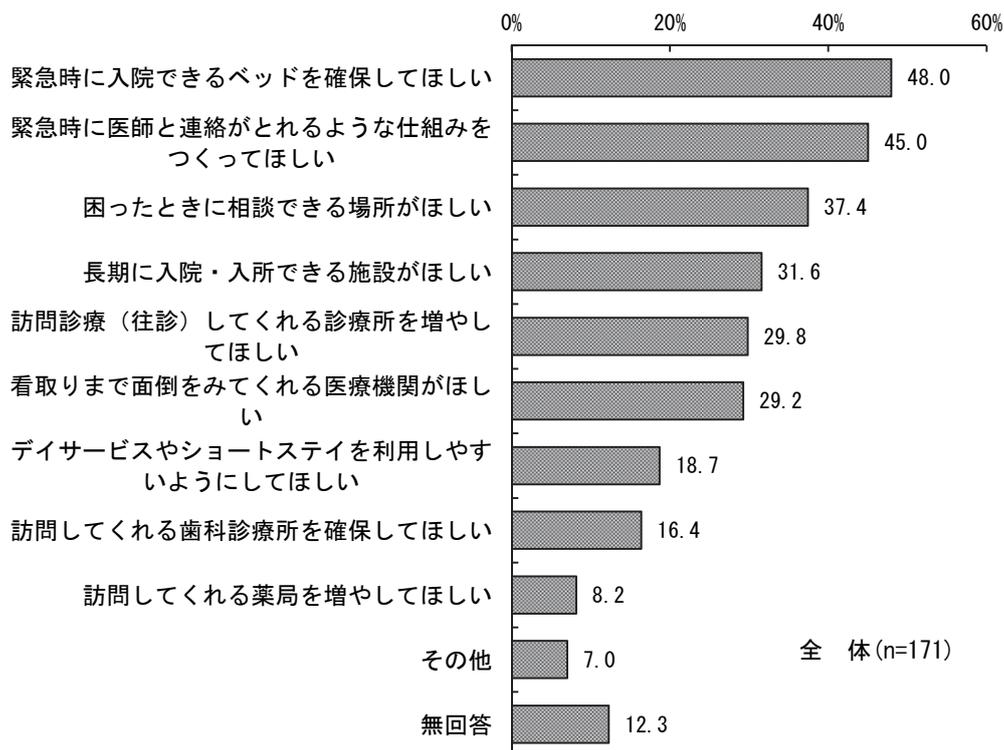


(7) 今後の療養生活について

① 在宅での療養生活を継続するために希望すること（問38）

在宅での療養生活を継続するために希望することは、「緊急時に入院できるベッドを確保してほしい」が最も多く 48.0%、次いで「緊急時に医師と連絡がとれるような仕組みをつくってほしい」（45.0%）、「困ったときに相談できる場所がほしい」（37.4%）、「長期に入院・入所できる施設がほしい」（31.6%）、「訪問診療（往診）してくれる診療所を増やしてほしい」（29.8%）、「看取りまで面倒をみてくれる医療機関がほしい」（29.2%）が続いている。

■在宅での療養生活を継続するために希望すること（複数回答）



在宅での療養生活を継続するために希望することを要介護度別にみると、「緊急時に入院できるベッドを確保してほしい」は、要介護5が最も高く67.6%で要介護度が高くなるほど希望する割合が高くなる。要介護1は「長期に入院・入所できる施設が欲しい」（42.4%）が高く、全体を10.8ポイント上回る。要介護2は「訪問診療（往診）してくれる診療所を増やして欲しい」（37.2%）がやや高く、全体を7.4ポイント上回っている。要介護3は「訪問してくれる歯科診療所を確保して欲しい」が25.8%で全体より9.4ポイント高くなっている。要介護4は「緊急時に入院できるベッドを確保してほしい」（58.3%）、「緊急時に医師と連絡がとれるような仕組みをつくってほしい」（54.2%）、「困ったときに相談できる場所がほしい」（45.8%）の割合が全体を上回りそれぞれ10.3ポイント、9.2ポイント、8.4ポイント高くなっている。要介護5は「緊急時に入院できるベッドを確保してほしい」が最も高く67.6%、「デイサービスやショートステイを利用しやすいようにしてほしい」（35.3%）も全体を大きく上回りそれぞれ19.6ポイント、16.6ポイント高くなっている。

■在宅での療養生活を継続するために希望すること（要介護度別：複数回答）

		(%)										
		ド緊急時に入院できるベッド	くれる緊急時に医師と連絡がつく	場所がほしいに相談できる	施設長期に入院・入所できる	訪問診療（往診）を増やしてほく	見る取りまで面倒をみてく	うステイサービシヨト	所訪問してくれる歯科診療	や訪問してほくれる薬局を増	その他	無回答
全 体 (n=171)		48.0	45.0	37.4	31.6	29.8	29.2	18.7	16.4	8.2	7.0	12.3
要介護度	要介護1 (n= 33)	33.3	42.4	30.3	42.4	24.2	30.3	18.2	12.1	9.1	12.1	18.2
	要介護2 (n= 43)	39.5	41.9	32.6	20.9	37.2	27.9	9.3	16.3	7.0	9.3	14.0
	要介護3 (n= 31)	45.2	48.4	35.5	29.0	19.4	22.6	9.7	25.8	6.5	-	19.4
	要介護4 (n= 24)	58.3	54.2	45.8	37.5	33.3	33.3	16.7	4.2	4.2	-	8.3
	要介護5 (n= 34)	67.6	38.2	41.2	35.3	32.4	29.4	35.3	23.5	14.7	11.8	2.9

介護者の年代別にみると、「緊急時に入院できるベッドを確保してほしい」は、75～84歳が最も高く57.1%、次いで65～74歳が53.7%でやや高くなっている。64歳以下は「緊急時に医師と連絡がとれるような仕組みをつくってほしい」（53.4%）がやや高く、全体を8.4ポイント上回っている。75～84歳は、「緊急時に入院できるベッドを確保してほしい」に次いで「長期に入院・入所できる施設が欲しい」（45.7%）が高く、全体を14.1ポイント上回る。

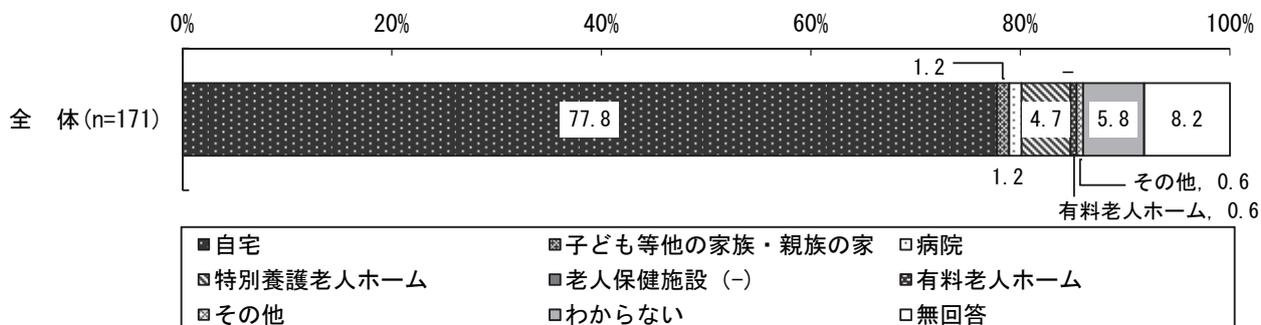
■在宅での療養生活を継続するために希望すること（介護者の年代別：複数回答）

		(%)										
		ド緊急時に入院できるベッド	くれる緊急時に医師と連絡がつく	場所がほしいに相談できる	施設長期に入院・入所できる	訪問診療（往診）を増やしてほく	見る取りまで面倒をみてく	うステイサービシヨト	所訪問してくれる歯科診療	や訪問してほくれる薬局を増	その他	無回答
全 体 (n=171)		48.0	45.0	37.4	31.6	29.8	29.2	18.7	16.4	8.2	7.0	12.3
介護者の年代	64歳以下 (n= 73)	47.9	53.4	42.5	31.5	35.6	28.8	19.2	15.1	6.8	8.2	8.2
	65～74歳 (n= 41)	53.7	36.6	36.6	29.3	24.4	29.3	17.1	19.5	7.3	9.8	19.5
	75～84歳 (n= 35)	57.1	45.7	40.0	45.7	31.4	37.1	20.0	14.3	11.4	-	2.9
	85歳以上 (n= 12)	25.0	33.3	8.3	16.7	8.3	16.7	8.3	33.3	16.7	16.7	8.3

② 今後希望する療養生活の場所（問39）

今後希望する療養生活の場所は、「自宅」が最も多く77.8%、次いで「特別養護老人ホーム」（4.7%）、「子ども等他の家族・親族の家」「病院」（ともに1.2%）が続いている。

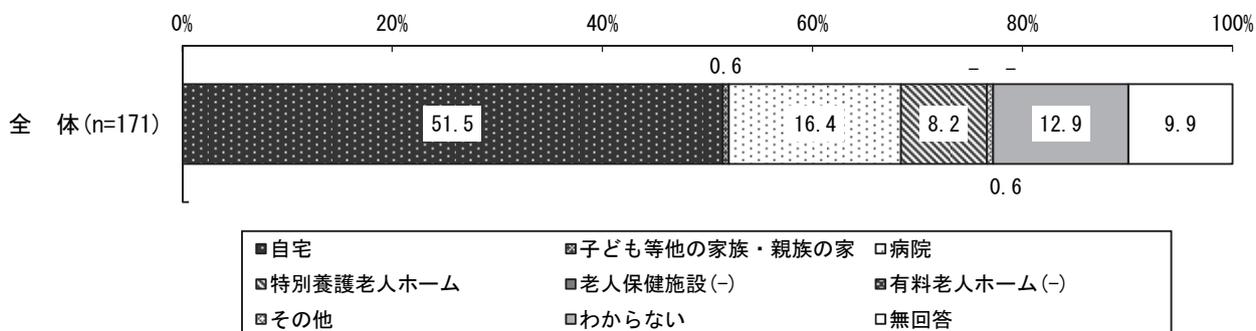
■今後希望する療養生活の場所



③ 希望する最期を迎えたい場所（問40）

希望する最期を迎えたい場所は、「自宅」が最も多く51.5%、次いで「病院」（16.4%）、「特別養護老人ホーム」（8.2%）が続いている。

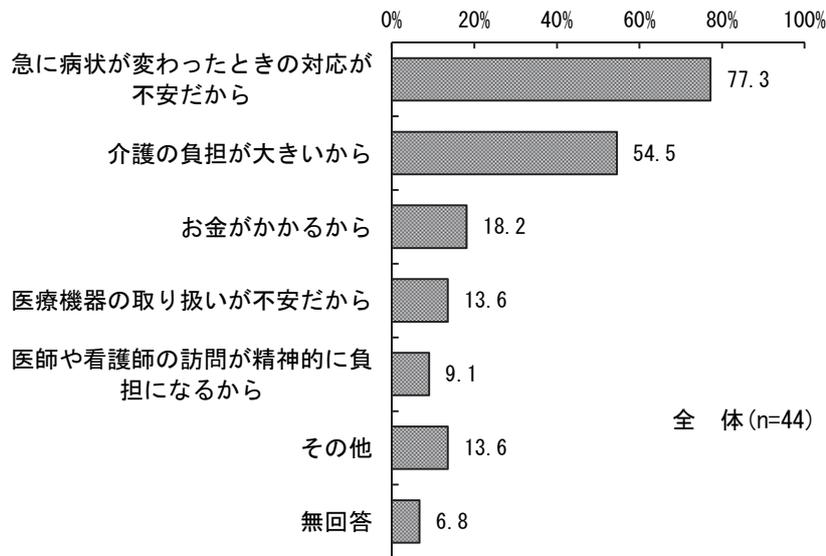
■希望する最期を迎えたい場所



④ 自宅で最期を迎えられない理由（問40-1）

希望する最期を迎えたい場所が「自宅」以外と回答した人の自宅で最期を迎えられない理由は、『急に病状が変わったときの対応が不安だから』が最も多く77.3%、次いで『介護の負担が大きいため』(54.5%)、『お金がかかるから』(18.2%)、『医療機器の取り扱いが不安だから』(13.6%)、『医師や看護師の訪問が精神的に負担になるから』(9.1%)が続いている。

■ 自宅で最期を迎えられない理由（複数回答）
 <希望する最期を迎えたい場所が「自宅」以外と回答した人>

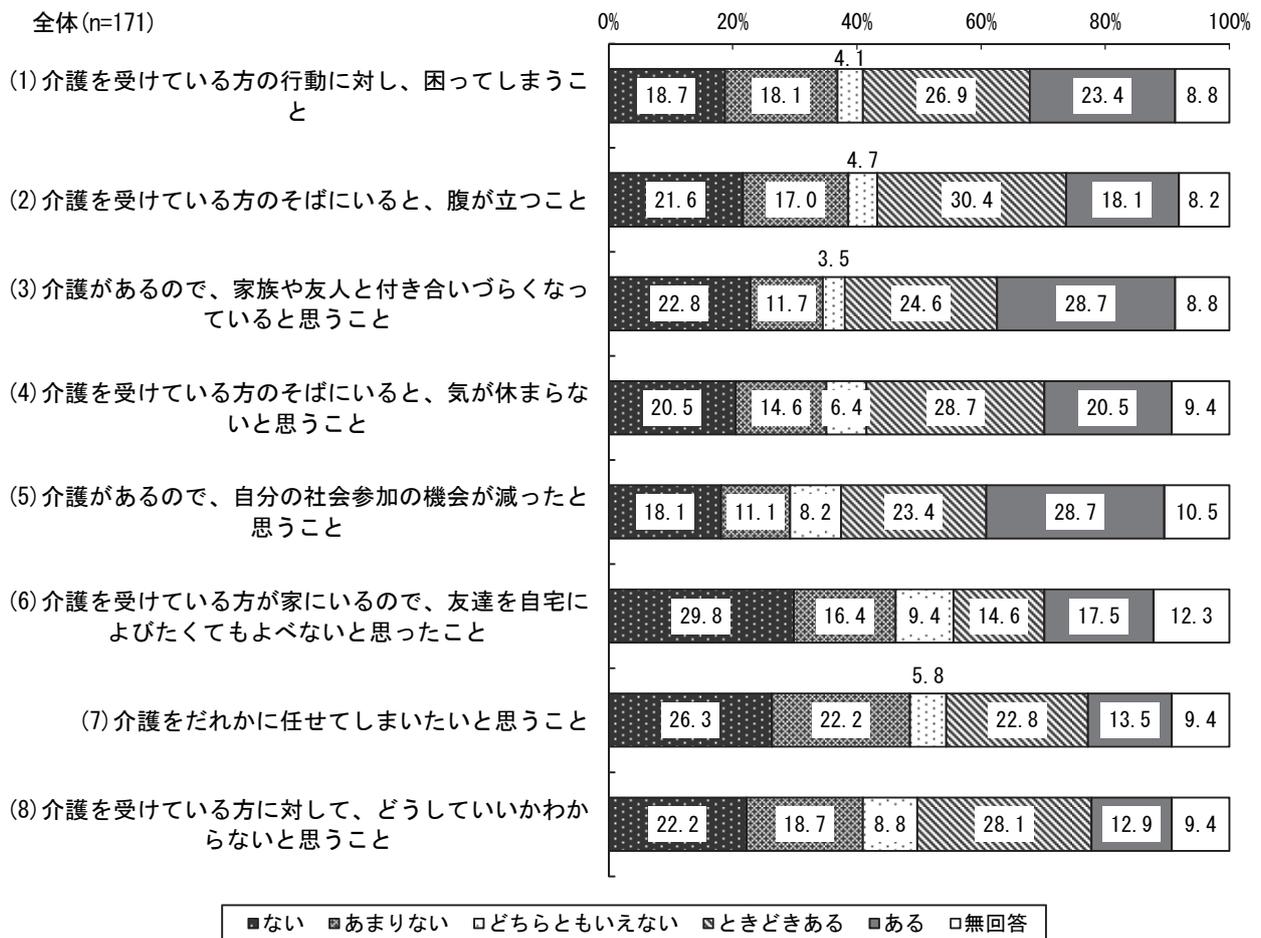


(8) 介護の負担感 (問 4 1)

①介護負担の状況

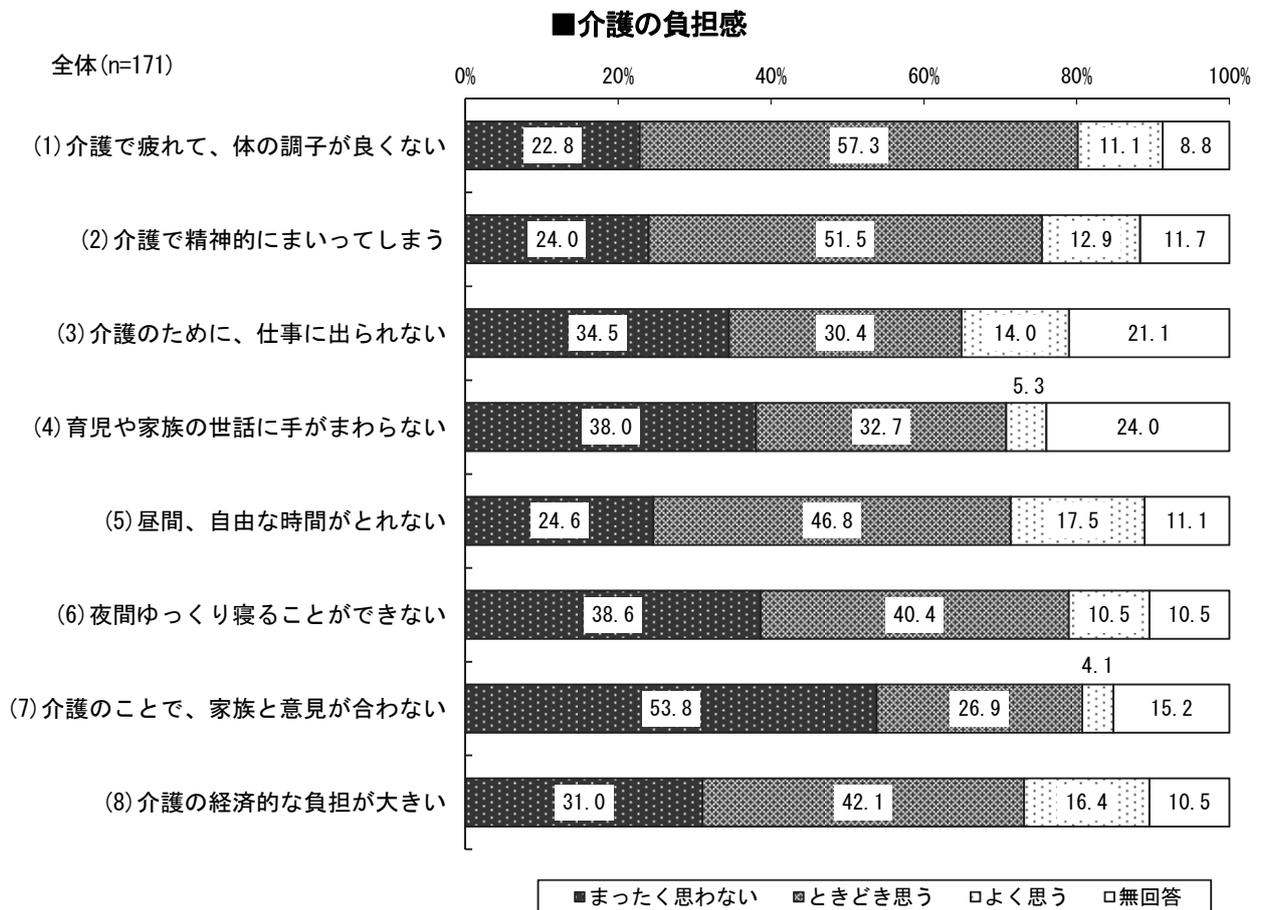
介護負担は、「ある」と「ときどきある」を合計した《ある》は、『介護があるので、家族や友人と付き合いづらくなっていると思うこと』が最も多く 53.3%、『介護があるので、自分の社会参加の機会が減ったと思うこと』(52.1%)、『介護を受けている方の行動に対し、困ってしまうこと』(50.3%)、『介護を受けている方のそばにいと、気が休まらないと思うこと』(49.2%)、『介護を受けている方のそばにいと、腹が立つこと』(48.5%)、『介護を受けている方に対して、どうしていいかわからないと思うこと』(41.0%)、『介護をだれかに任せてしまいたいと思うこと』(36.3%)、『介護を受けている方が家にいるので、友達を自宅によびたくてもよべないと思ったこと』(32.1%)が続いている。

■介護負担の状況



② 介護の負担感（問42）

介護の負担感は、「よく思う」と「ときどき思う」を合計した《思う》は、『介護で疲れて、体の調子が良くない』が最も多く68.4%、『介護で精神的にまいってしまう』（64.4%）、『昼間、自由な時間がとれない』（64.3%）、『介護の経済的な負担が大きい』（58.5%）、『夜間ゆっくり寝ることができない』（50.9%）、『介護のために、仕事に出られない』（44.4%）、『育児や家族の世話に手がまわらない』（38.0%）、『介護のことで、家族と意見が合わない』（31.0%）が続いている。



(9) 医療や介護サービスへの意見・要望（問43）

医療や介護サービスについて、自由記述形式でうかがい、内容ごとに分類・整理を行った。主な意見は以下のとおりである。

(介護保険サービスの充実)

- ・本人の気持ちや考えを傾聴したサービスがあるとよい。高齢者は、家族と同居していても孤独である。
- ・ショートステイやデイサービスをもっと利用しやすくしてほしい。
- ・介護サービス事業者のサービス内容の制限があり、必要なサービスが受けられない（電球の取替え、網戸の清掃等）。
- ・ヘルパーさんの介護時間を増やしてほしい。
- ・同居家族がいても様々な理由でひとり住まいと変わらない生活の時に、受けるサービスが増すとありがたい。

(介護者の状況に合わせた施設入所の仕組み)

- ・介護者の症状がだんだん悪くなってくると、家で介護をするのは大変である。特養老人ホームに迅速に入れるような仕組みにしてほしい。
- ・在宅介護生活が12年近くであり、家族（息子夫婦）の負担が重くなっているため、特養施設入居あっせんを行ってほしい。このままでは老老介護生活で共倒れになってしまう。
- ・自分一人で他に家族がないため、自分で介護ができなくなった時に入所できる施設がほしい。
- ・介護者の体調が悪化した時に入所や入院につながるようにしてほしい。

(介護者への支援)

- ・訪問マッサージなど介護をしている人にも、サービスを創設しリフレッシュさせてほしい。

(相談体制の充実)

- ・休日に心配事を相談する所がない。
- ・困ったときに相談できる窓口が身近にあり、そのことが周知されれば、安心感が広がる。
- ・24時間介護について電話相談、あるいは介護サービスの手配、指示を行う窓口の設置。

(相談・交流の場の確保)

- ・ケアマネに本音で話ができない。同じ立場の人との交流や話を聞いてもらう機会がほしい。
- ・話を聞いてくれる所がほしい。
- ・地域包括支援センターの方等が、時々訪問したりして、本人や家族の話を聞いてほしい。

(認知症への支援)

- ・認知症に関する医療機関が近くになく相談をするところがない。
- ・たまに認知症による混乱により大きな声を出したりすることがあるので、一時的に過ごせる場所があると助かる。

(医療面の支援の充実)

- ・緊急時に入院できる病院の確保。
- ・往診をしてもらえる病院名を知りたい。

(事業者の質の向上)

- ・介護サービス事業者（特にホームヘルパー）の資質の向上と安定について指導と監督の徹底。

(経済的負担の軽減)

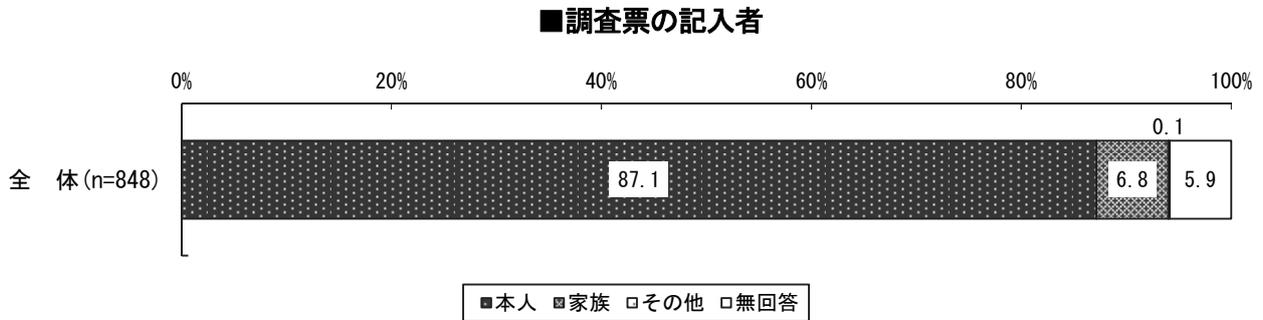
- ・家では収入がないため、少しでも安く介護が受けられると助かる。

10. 日常生活圏域ニーズ調査

(1) 基本属性

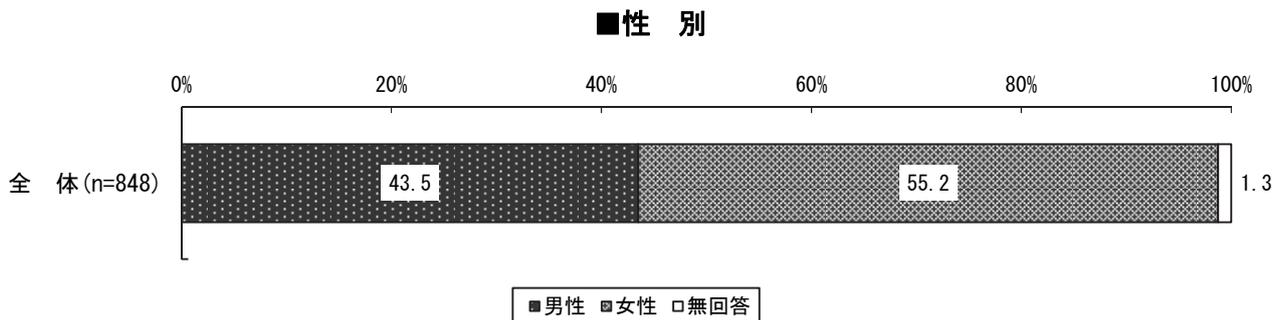
① 調査票の記入者

調査票の記入者は、「本人」が87.1%、「家族」が6.8%となっている。



② 性別

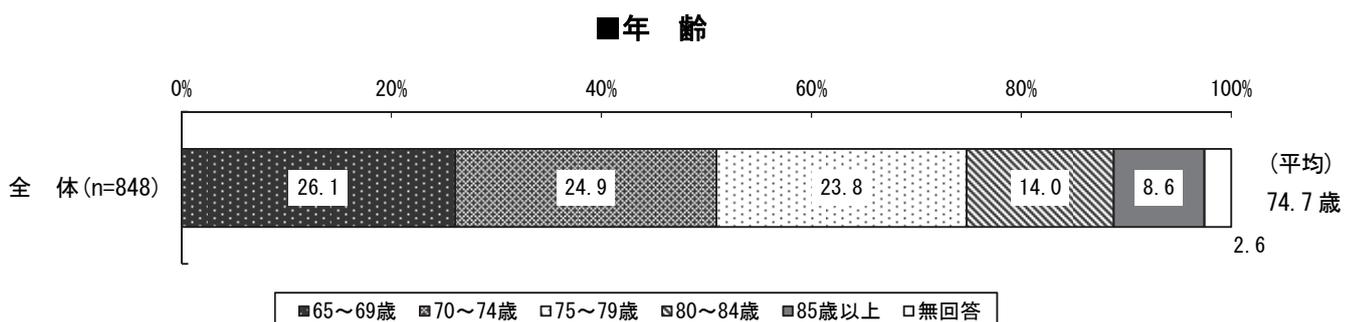
性別は、男性が43.5%、女性が55.2%となっている。



③ 年齢

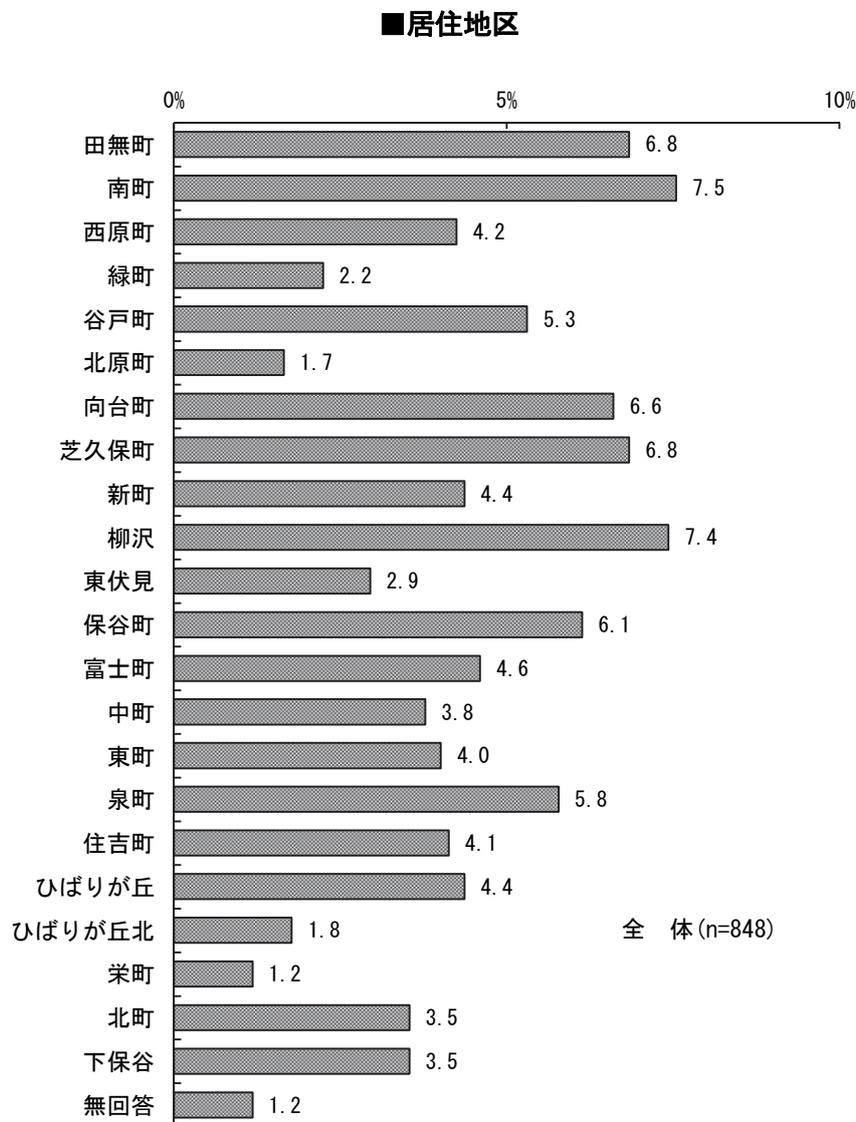
年齢は、「65～69歳」が26.1%で最も多く、次いで「70～74歳」が24.9%、「75～79歳」が23.8%、「80～84歳」が14.0%、「85歳以上」が8.6%となっている。

また、年齢を「65歳～74歳」「75歳～84歳」「85歳以上」の3区分とすると、65～74歳が51.0%、75～84歳が37.8%、85歳以上が8.6%となっている。



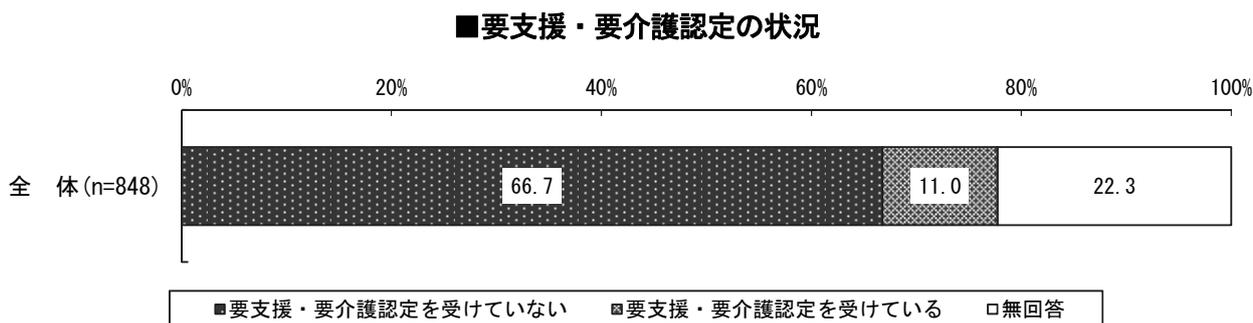
④ 居住地区

居住地は、「南町」が最も多く7.5%、「柳沢」(7.4%)、「田無町」「芝久保町」(ともに6.8%)、「向台町」(6.6%)が続いている。



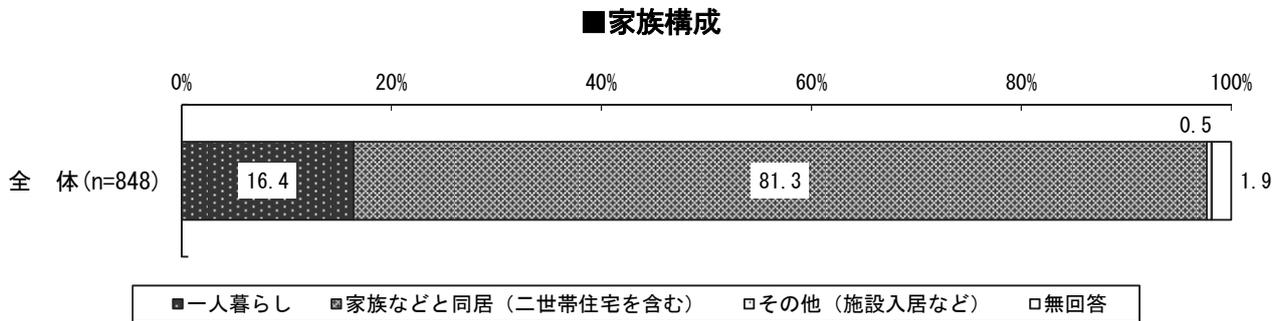
⑤ 要支援・要介護認定の状況

要支援・要介護認定の状況は、「要支援・要介護認定を受けていない」が66.7%、「要支援・要介護認定を受けている」が11.0%となっている。

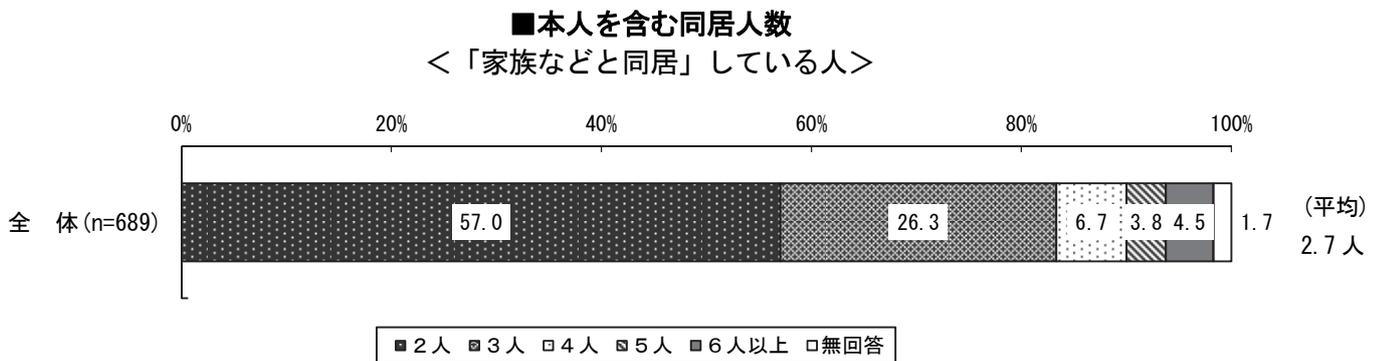


⑥ 家族構成（問1）

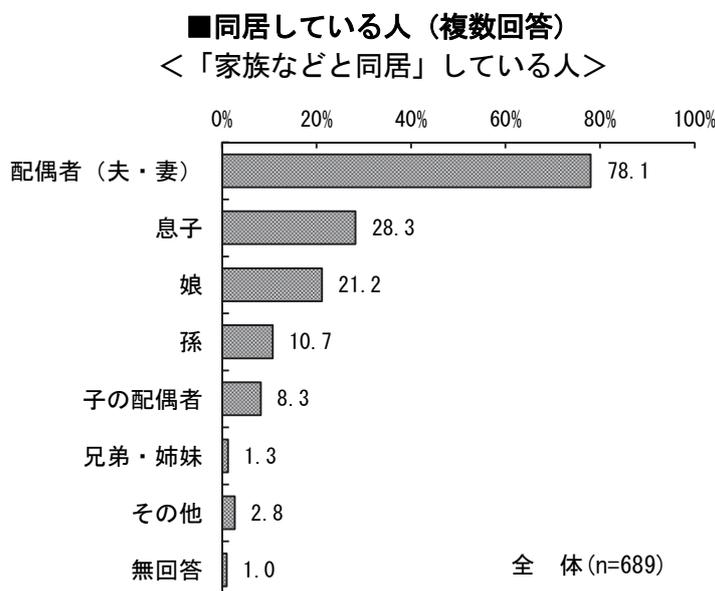
家族構成は、「一人暮らし」が16.4%、「家族などと同居（二世帯住宅を含む）」が81.3%となっている。



「家族などと同居」していると回答した人の家族の人数は、『2人』が最も多く57.0%で、次いで『3人』が26.3%、『4人』が6.7%となっており、平均は、2.7人である。

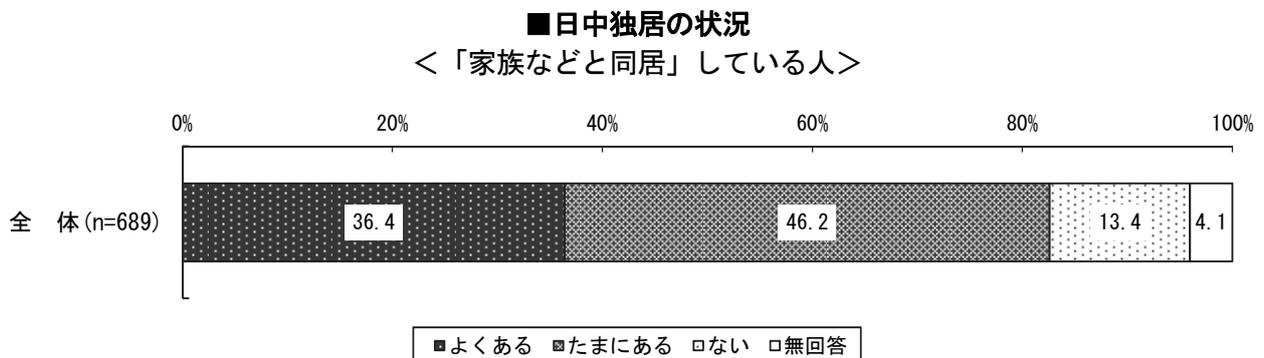


「家族などと同居」していると回答した人の同居している家族は、『配偶者』が78.1%で最も多く、次いで『息子』が28.3%、『娘』が21.2%となっている。



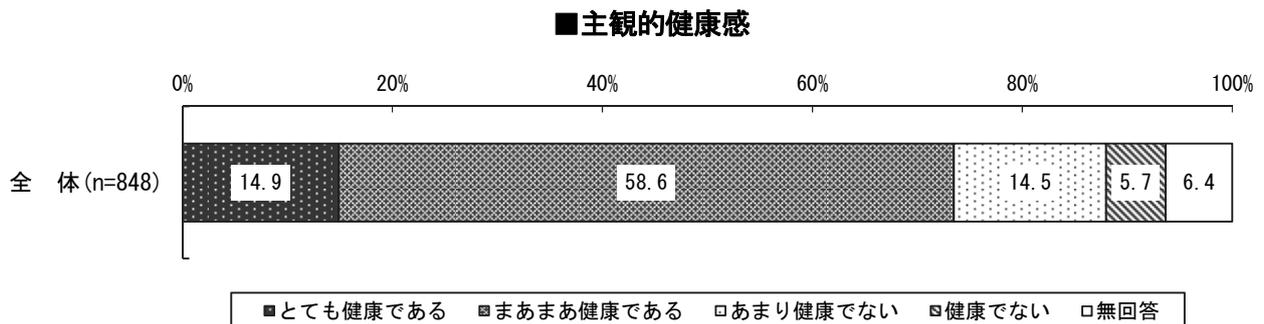
⑦ 日中独居の状況（問1-2）

「家族などと同居」していると回答した人の日中独居の状況は、「よくある」と「たまにある」を合わせた“ある”が82.6%となっている。



⑧ 主観的健康感（問8-1）

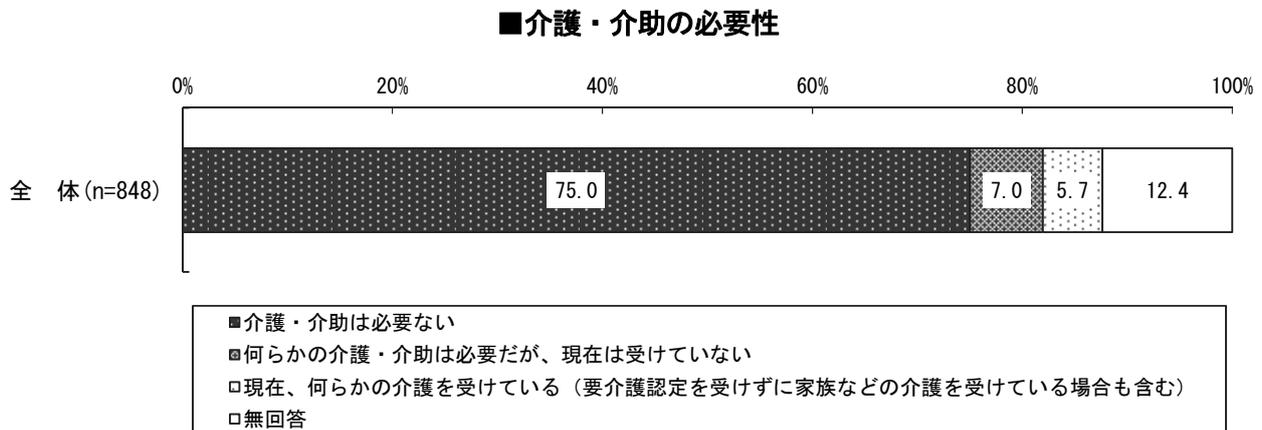
主観的健康感は、「とても健康である」（14.9%）と「まあまあ健康である」（58.6%）を合計すると《健康》は73.5%となっている。「あまり健康でない」が14.5%、「健康でない」が5.7%となっている。



(2) 介護・介助の状況

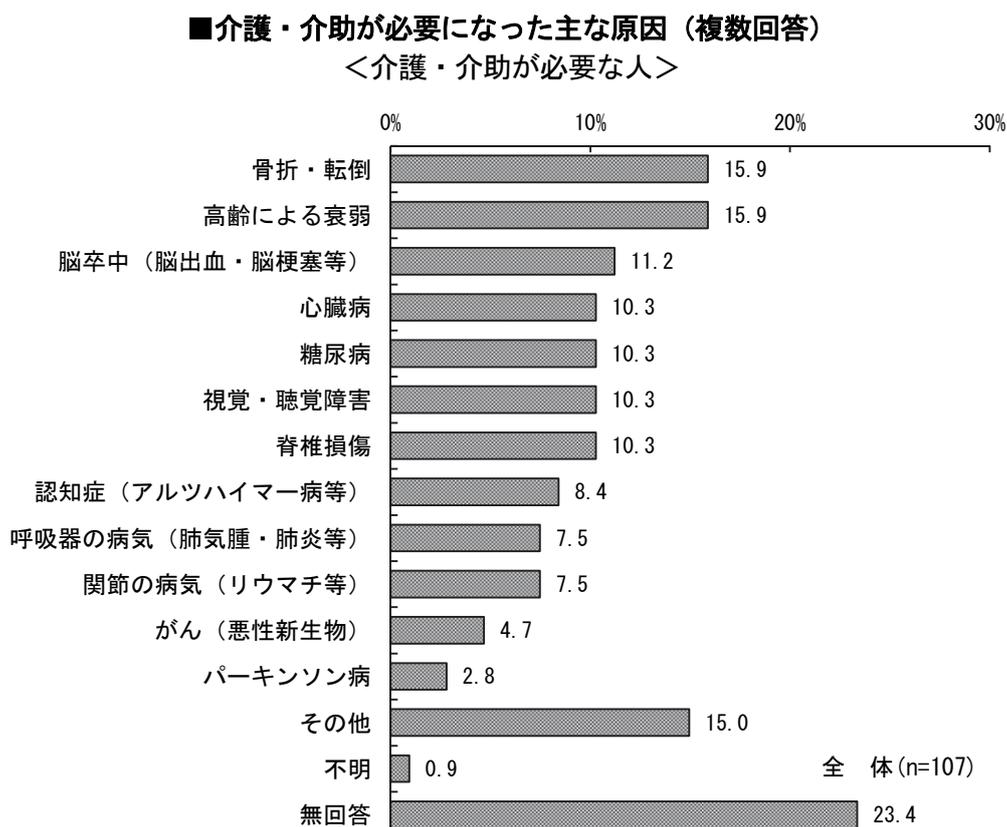
① 介護・介助の必要性 (問2)

介護・介助の必要性は、「介護・介助は必要ない」が75.0%で、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」と「現在、何らかの介護を受けている（要介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」を合わせた《介護・介助が必要である》と回答した人（12.7%）を大きく上回っている。



② 介護・介助が必要になった主な原因 (問2-1)

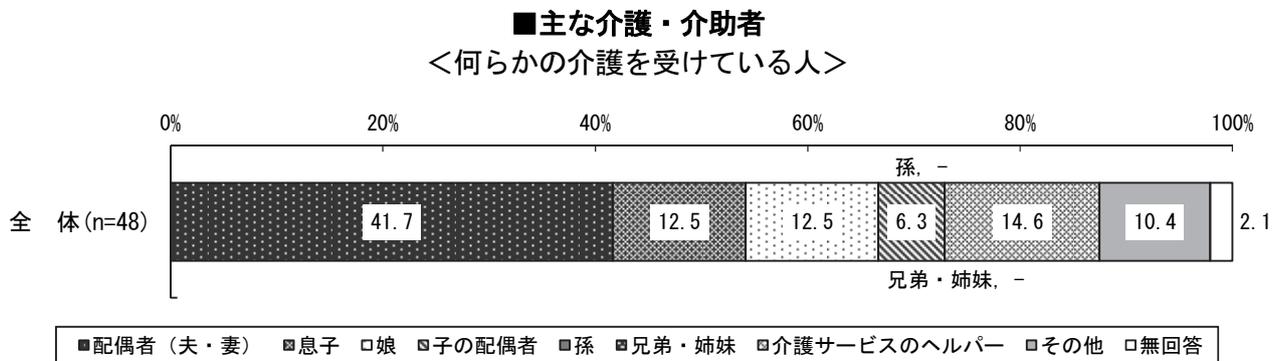
「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護を受けている」と回答した人に、介護・介助が必要になった主な原因は、『骨折・転倒』『高齢による衰弱』がともに15.9%で最も多く、次いで『脳卒中（脳出血・脳梗塞等）』が11.2%、『心臓病』『糖尿病』『視覚・聴覚障害』『脊椎損傷』がともに10.3%、『認知症（アルツハイマー病等）』が8.4%となっている。



③ 主な介護・介助者（問2-2）

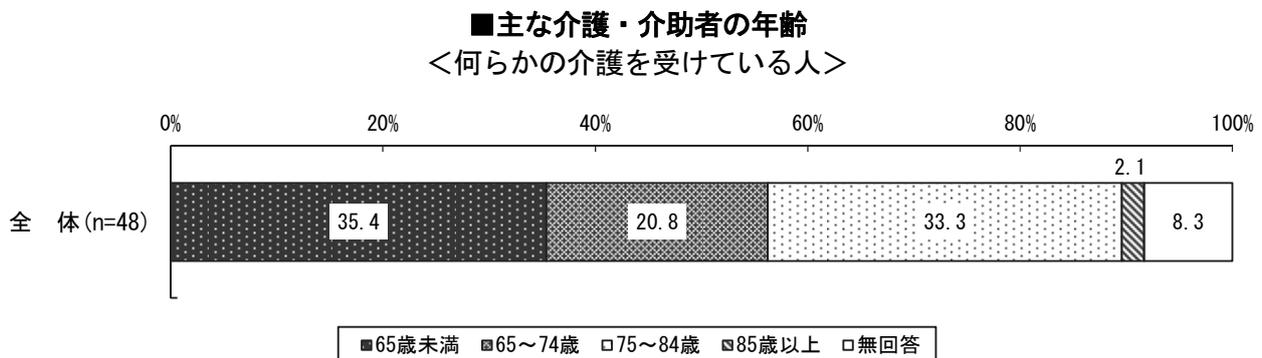
ア. 主な介護・介助者

「現在、何らかの介護を受けている」と回答した人の主な介護・介助者は、「配偶者（夫・妻）」が41.7%で最も多く、次いで「介護サービスのヘルパー」が14.6%、「娘」「息子」がともに12.5%、「子の配偶者」が6.3%となっている。



イ. 主な介護・介助者の年齢

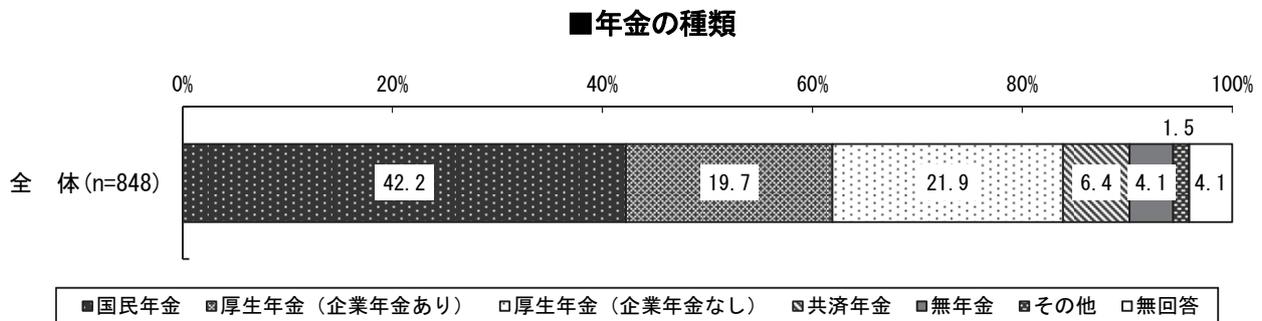
「現在、何らかの介護を受けている」と回答した人の主な介護・介助者の年齢は、「65歳未満」が35.4%で最も多く、次いで「75～84歳」が33.3%、「65～74歳」が20.8%、「85歳以上」が2.1%となっている。



(3) 生活の状況

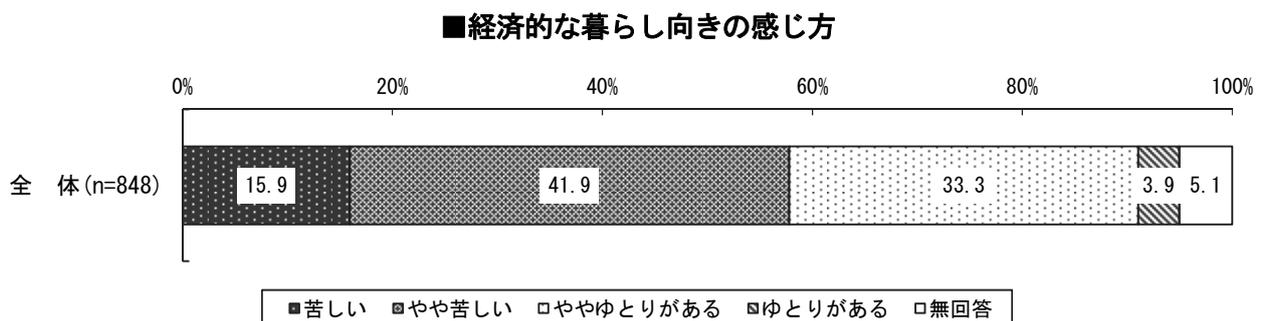
① 年金の種類 (問3)

年金の種類は、「国民年金」が42.2%で最も多く、次いで「厚生年金（企業年金なし）」が21.9%、「厚生年金（企業年金あり）」が19.7%の順となっており、「無年金」も4.1%となっている。



② 経済的な暮らし向きを感じ方 (問4)

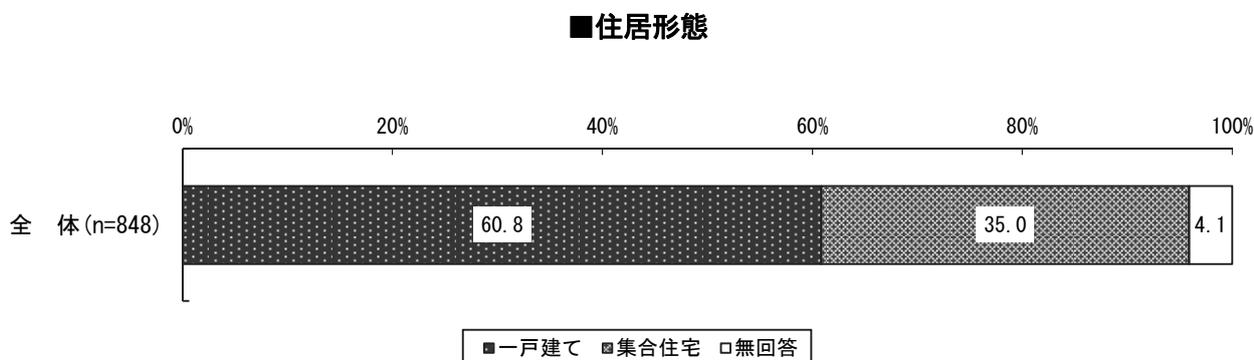
経済的な暮らし向きを感じ方は、「苦しい」と「やや苦しい」を合わせた《苦しい》が57.8%、「ややゆとりがある」と「ゆとりがある」を合わせた《ゆとりがある》が37.2%となっている。



(4) 住まい

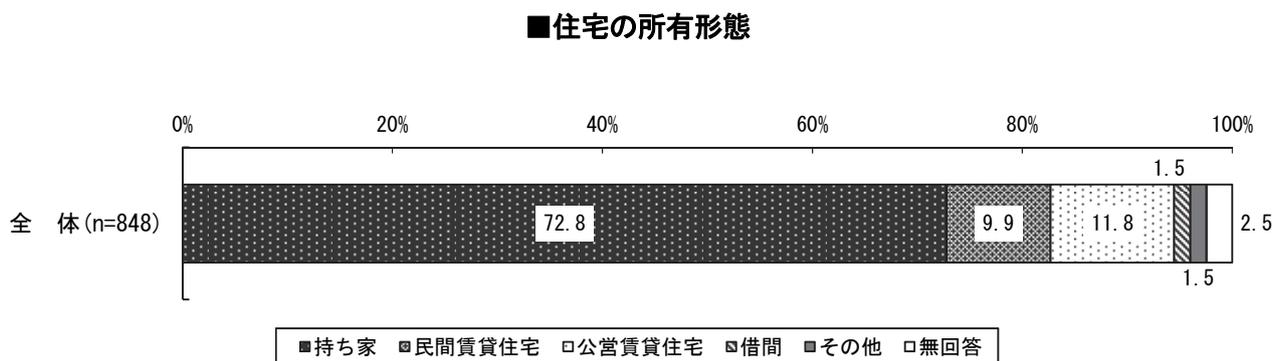
① 住居形態 (問5)

住居形態は、「一戸建て」が60.8%、「集合住宅」が35.0%となっている。



② 住宅の所有形態 (問6)

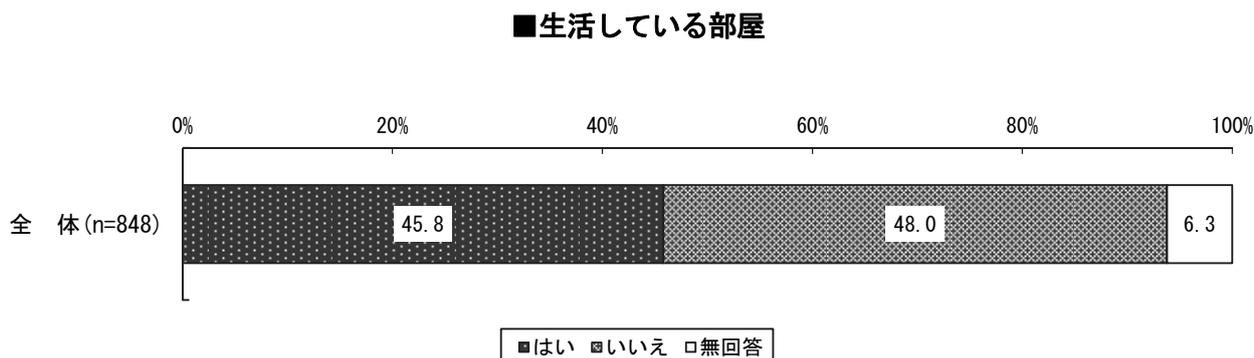
住宅の所有形態は、「持ち家」が72.8%で最も多く、次いで「公営賃貸住宅 (区・都営、都市機構、公社等)」が11.8%、「民間賃貸住宅」が9.9%となっている。



③ 生活している部屋 (問7)

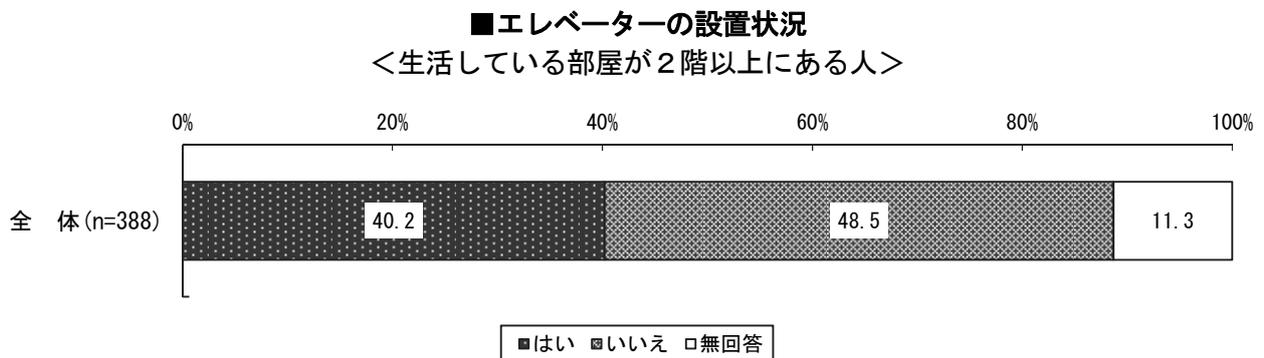
生活している部屋が2階以上にある人は、45.8%となっている。

※質問文「あなたが主に生活している部屋は2階以上にありますか」



④ エレベーターの設置状況（問7-1）

生活している部屋が2階以上にあると回答した人のエレベーターの設置状況は、40.2%となっている。



(5) 生活機能について

二次予防事業対象者の把握事業に用いる基本チェックリスト（次頁表の25項目）により、「運動器」、「閉じこもり予防」、「栄養」、「口腔」、「認知症予防」、「うつ予防」、「虚弱」に関しての傾向が認められる人（該当者）の割合を算出したほか、「二次予防事業対象者」の割合も算出した。各項目と評価の基となる基本チェックリストとの関係、評価方法は次頁のとおりである。

また、基本チェックリストによる運動器の機能評価に加え、「転倒のリスク」についても別に評価ができるよう設問を設けている。評価の基となった設問及びその配点は324頁のとおりである。スコアの評価としては、6点以上でリスクありとしている。

また、認知機能の障害程度の指標として有用とされるCPS（Cognitive Performance Scale）に準じた設問を用いて、「0（障害無し）～6（最重度）」の7段階で認知機能の障害程度の割合を算出した。該当設問及び認知機能障害程度算出のためのフローチャートは324頁のとおりである。なお、認知症の行動・心理症状がみられるのは3以上といわれている。

以上の集計は、厚生労働省老健局より提供されている『生活支援ソフト（2013.12改修版）』を用いて行い、性別の回答があった837人を対象としている。

＜二次予防判定：各項目と基本チェックリスト＞

項目	問番号	設問と該当する選択肢	
虚弱	第6-問1	バスや電車、又は自家用車を使って一人で外出していますか 「できるけれどしていない」「できない」	
	第6-問2	日用品の買物をしていますか 「できるけれどしていない」「できない」	
	第6-問5	預貯金の出し入れをしていますか 「できるけれどしていない」「できない」	
	第7-問5	友人の家を訪ねていますか 「いいえ」	
	第7-問6	家族や友人の相談にのっていますか 「いいえ」	
	運動器	第2-問1	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか 「いいえ」
		第2-問2	いすに座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか 「いいえ」
		第2-問3	15分くらい続けて歩いていますか 「いいえ」
		第3-問1	この1年間に転んだことがありますか 「はい」
		第3-問2	転倒に対する不安は大きいですか 「はい」
	栄養	第4-問1	6ヵ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか 「はい」
		第4-問2	身長()cm 体重()kg (BMI =) BMI < 18.5 [BMI = 体重(kg) ÷ 身長(m) ÷ 身長(m)]
	口腔	第4-問3	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか 「はい」
		第4-問4	お茶や汁物等でむせることがありますか 「はい」
		第4-問5	口の渇きが気になりますか 「はい」
	閉じこもり予防	第2-問5	週に1回以上は外出していますか 「いいえ」
		第2-問6	昨年と比べて外出の回数が減っていますか 「はい」
	認知症予防	第5-問1	周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるとされますか 「はい」
		第5-問2	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか 「いいえ」
		第5-問3	今日が何月何日かわからないときがありますか 「はい」
うつ予防	第8-問8	(ここ2週間) 毎日の生活に充実感がない 「はい」	
	第8-問9	(ここ2週間) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった 「はい」	
	第8-問10	(ここ2週間) 以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる 「はい」	
	第8-問11	(ここ2週間) 自分が役に立つ人間だと思えない 「はい」	
	第8-問12	(ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする 「はい」	

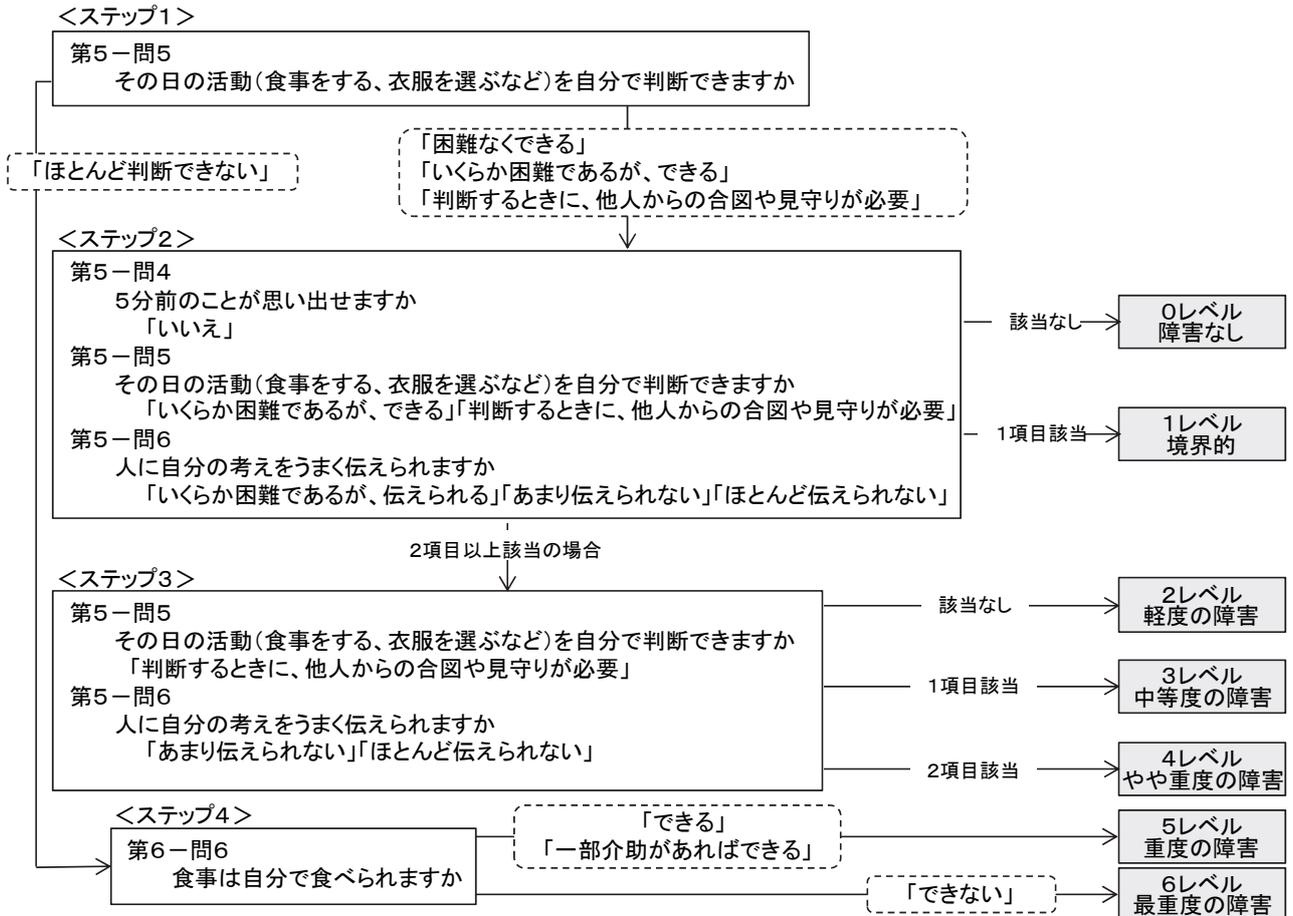
＜二次予防判定：評価方法 ～該当・リスクありの判断基準～＞

- ・「運動器」：3問以上該当する選択肢が回答された場合
- ・「閉じこもり予防」：該当する選択肢が回答された場合
- ・「栄養」：全てで該当する選択肢が回答された場合
- ・「口腔」：2問以上該当する選択肢が回答された場合
- ・「認知症予防」：いずれかで該当する選択肢が回答された場合
- ・「うつ予防」：2問以上該当する選択肢が回答された場合
- ・「虚弱」：20問中、10問以上該当する選択肢が回答された場合

<転倒リスク>

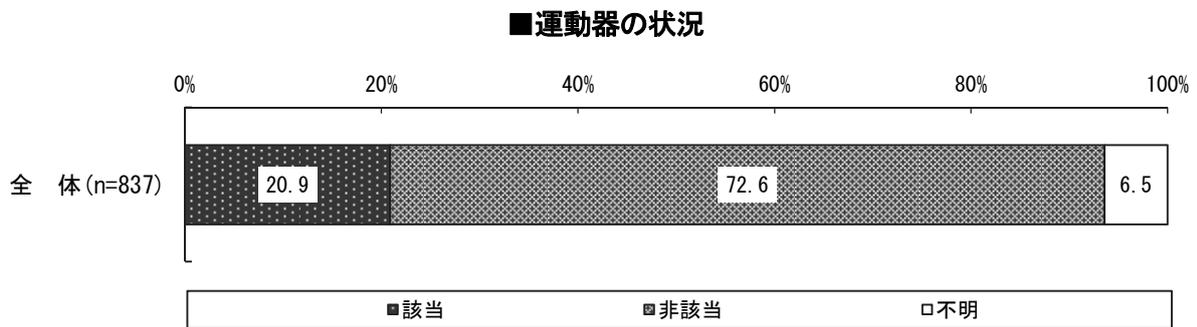
問番号	設問	配点と選択肢
第3-問1	この1年間に転んだことがありますか	5点：「はい」、0点：「いいえ」
第3-問3	背中が丸くなってきましたか	2点：「はい」、0点：「いいえ」
第3-問4	以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか	2点：「はい」、0点：「いいえ」
第3-問5	杖を使っていますか	2点：「はい」、0点：「いいえ」
第8-問3	現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいますか	2点：「5種類以上」、 0点：「1～4種類」「飲んでいない」

<認知機能の障害程度（CPS）算出のためのフローチャート>

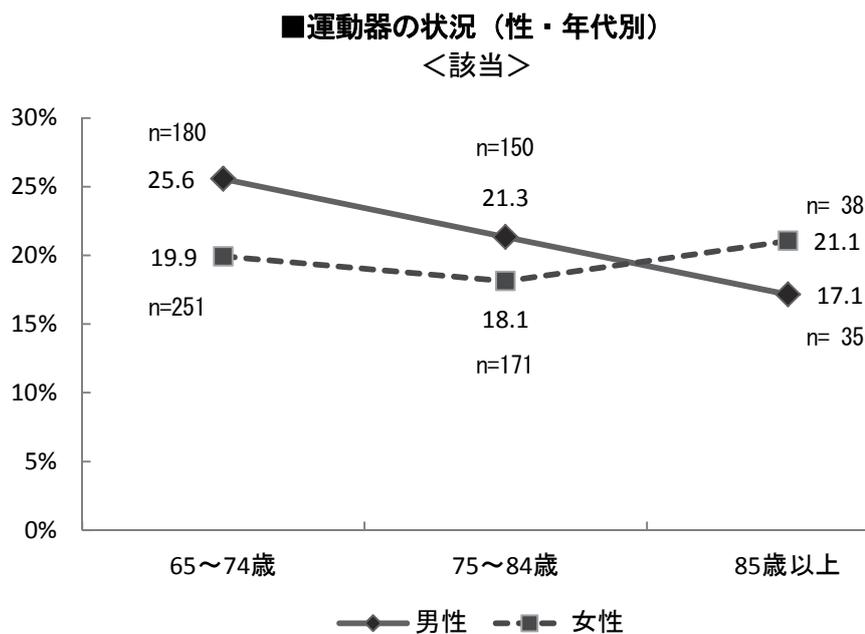


① 運動器の状況

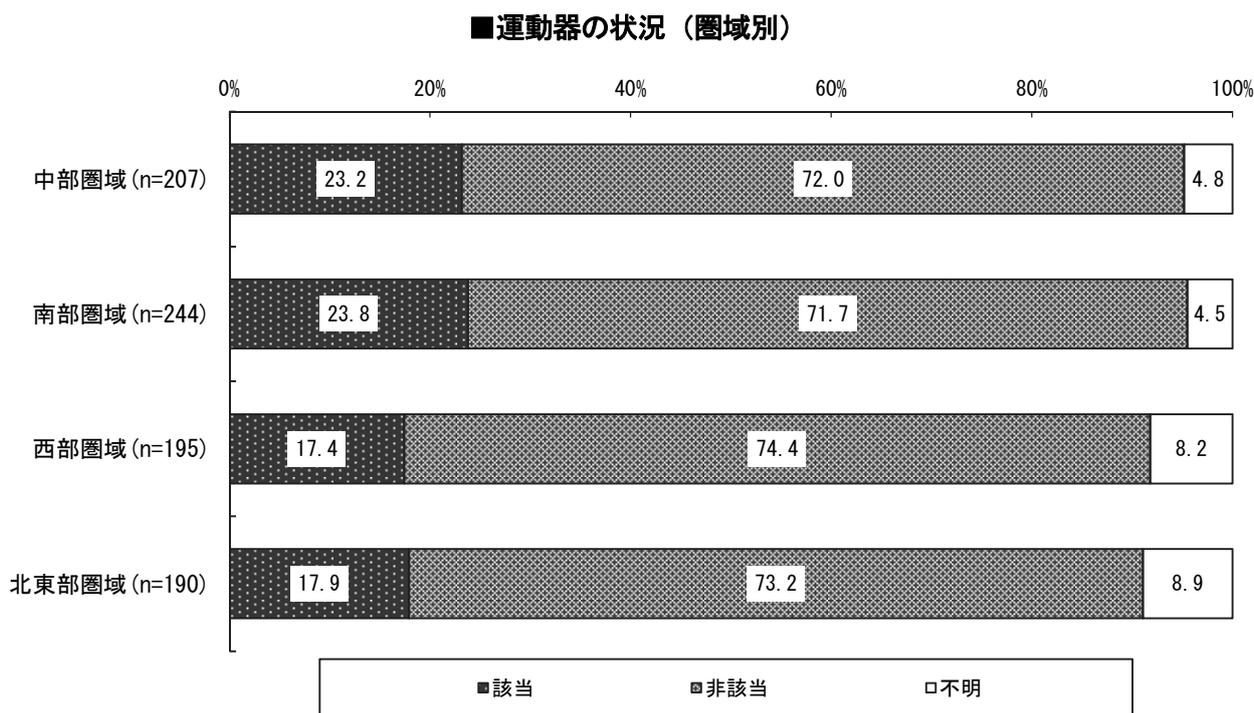
基本チェックリストの該当設問を用いて、運動器の状況をみると、傾向が認められる人（該当）は20.9%となっている。



運動器の状況を性・年代別にみると、傾向が認められる人（該当）は男性では年齢が低いほど多くなり、65～84歳までは女性を上回っている。

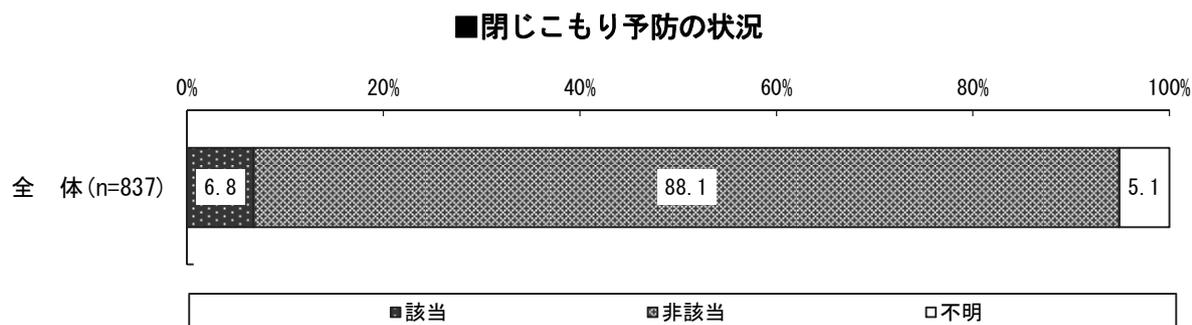


運動器の状況を圏域別にみると、傾向が認められる人（該当）は『中部圏域』（23.2%）、『南部圏域』（23.8%）がやや多くなっている。

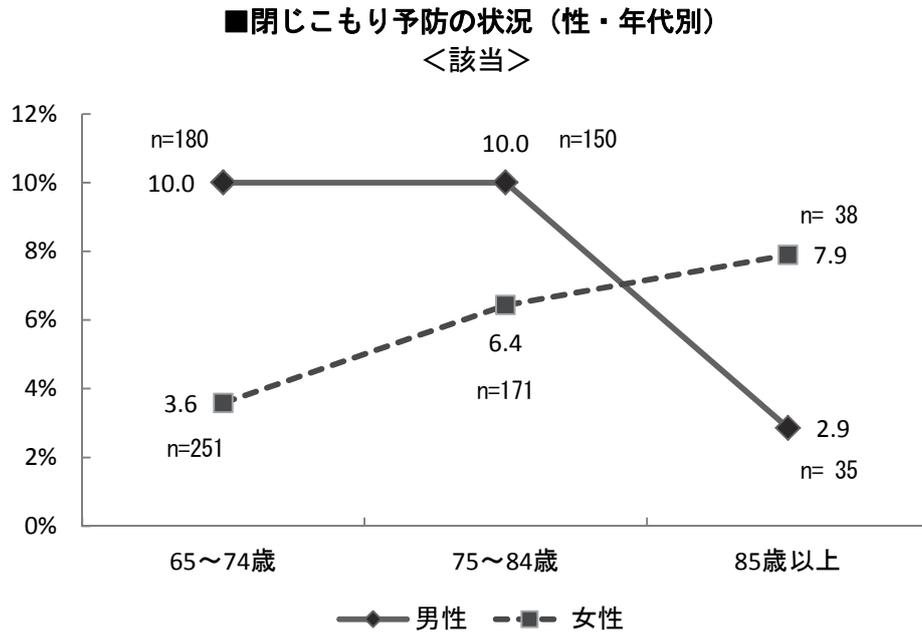


② 閉じこもり予防の状況

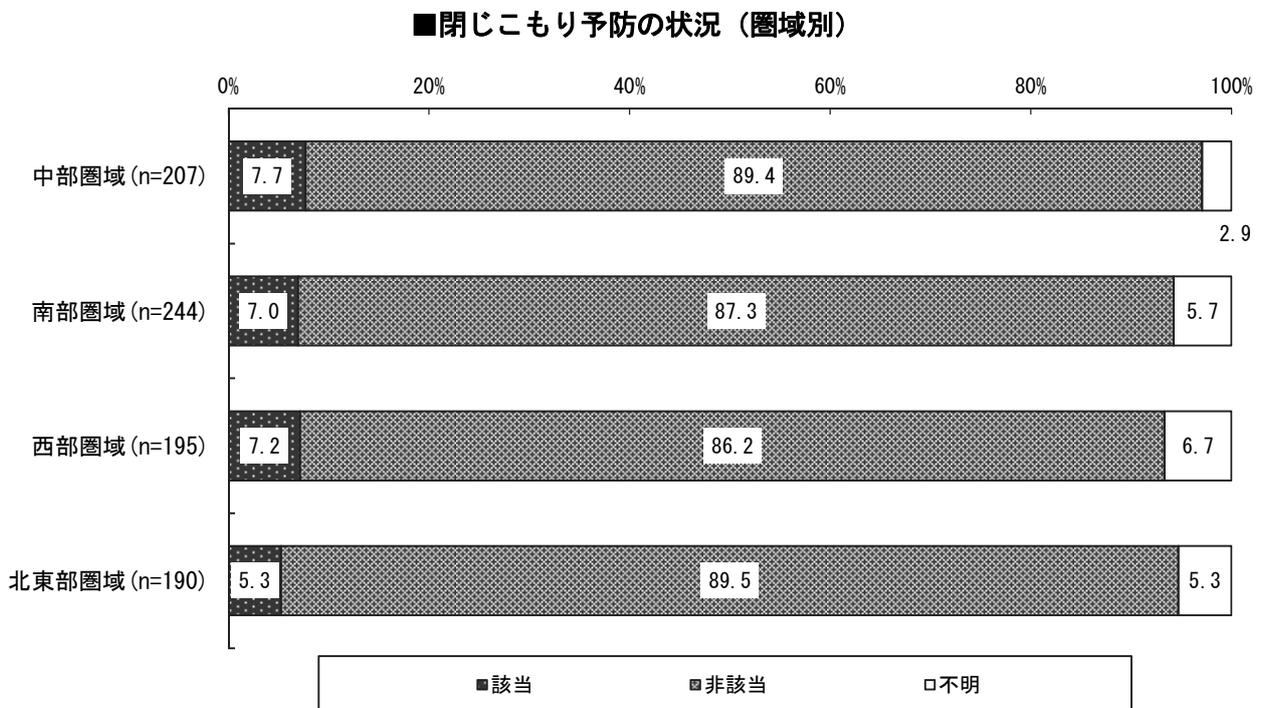
基本チェックリストの該当設問を用いて、閉じこもり予防の状況をみると、傾向が認められる人（該当）は6.8%となっている。



閉じこもり予防の状況を性・年代別にみると、傾向が認められる人（該当）は「男性 65～74 歳」「男性 75～84 歳」（ともに 10.0%）が高い。女性は年齢が上がるほど傾向が認められる人（該当）が増える傾向がうかがえる。

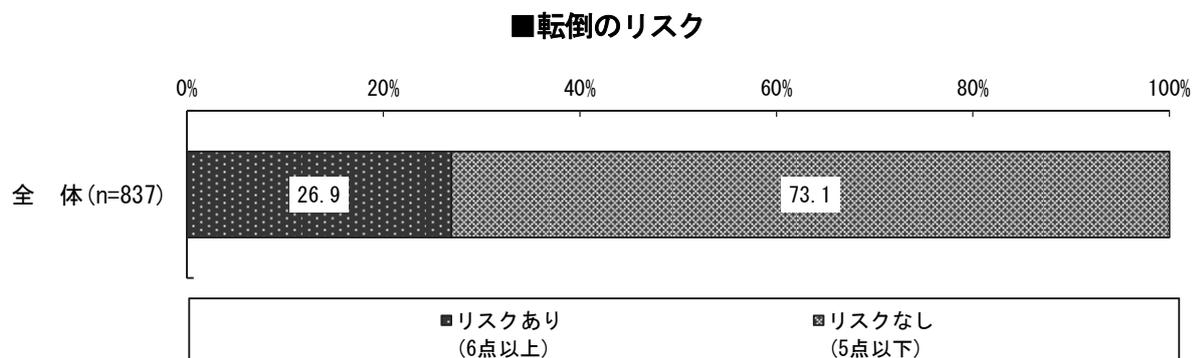


閉じこもり予防の状況を圏域別にみると、傾向が認められる人（該当）の割合に圏域による差はみられない。

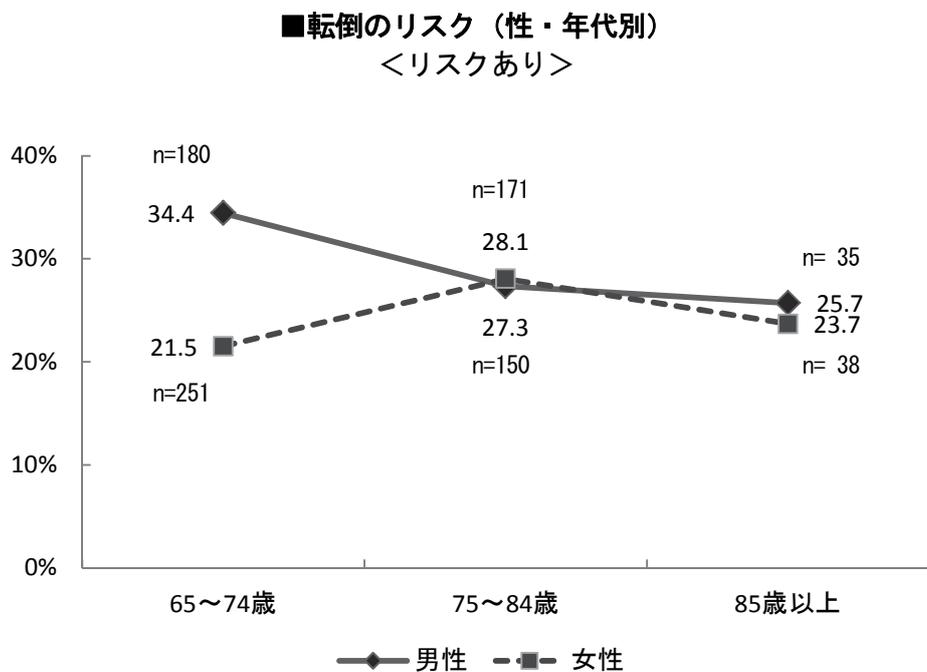


③ 転倒のリスク

基本チェックリストの該当設問等を用いて、転倒のリスクをみると、傾向が認められる人（リスクあり）は26.9%となっている。

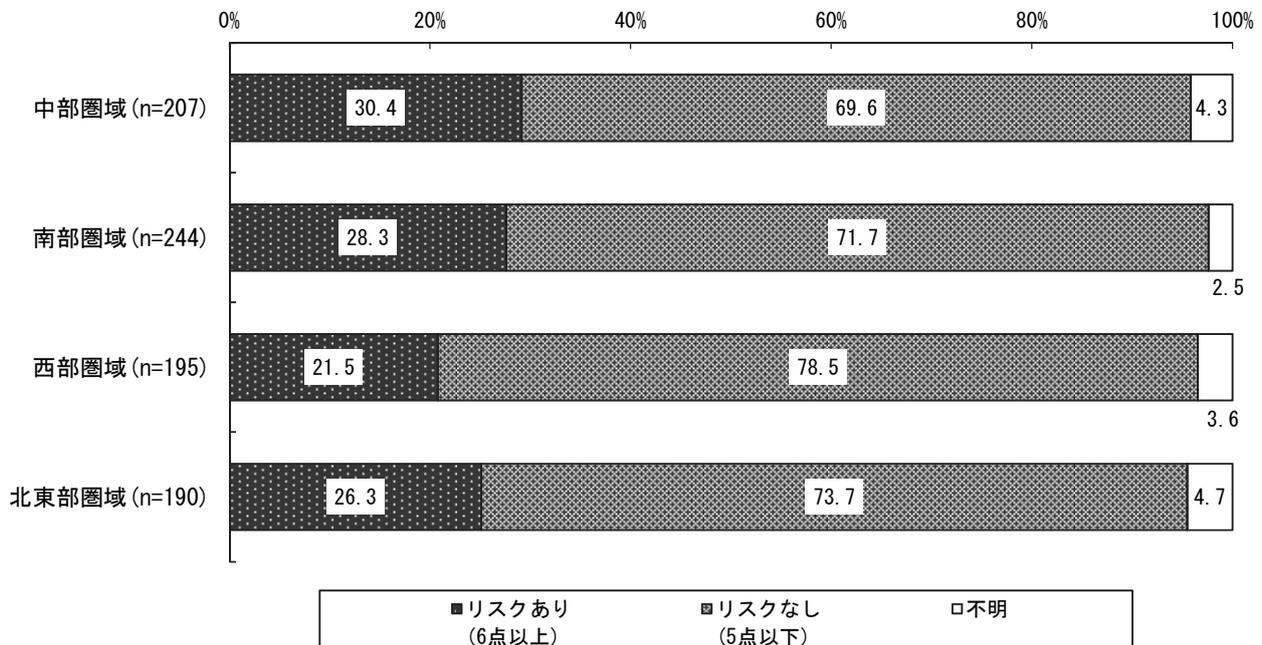


転倒のリスクを性・年代別にみると、傾向が認められる人（リスクあり）は「男性 65～74 歳」が最も高く 34.4%となっている。



転倒のリスクを圏域別にみると、傾向が認められる人(リスクあり)は『中部圏域』が最も多く 30.4%、『南部圏域』が 28.3%、『北東部圏域』が 26.3%、『西部圏域』が 21.5%となっている。最も高い『中部圏域』と『西部圏域』の差は、8.9ポイントとなっている。

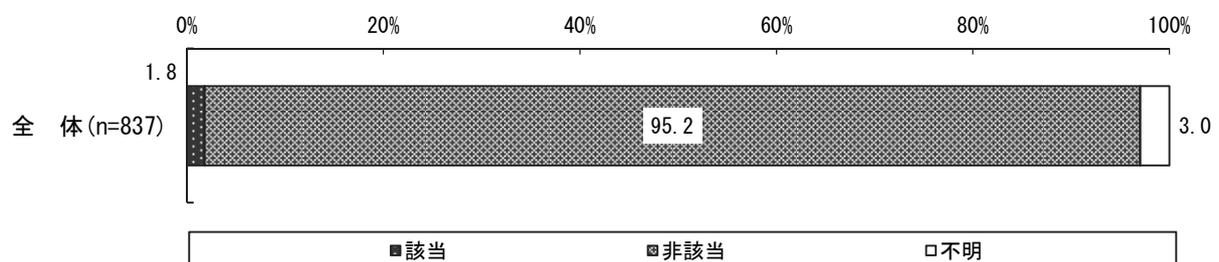
■転倒のリスク（圏域別）



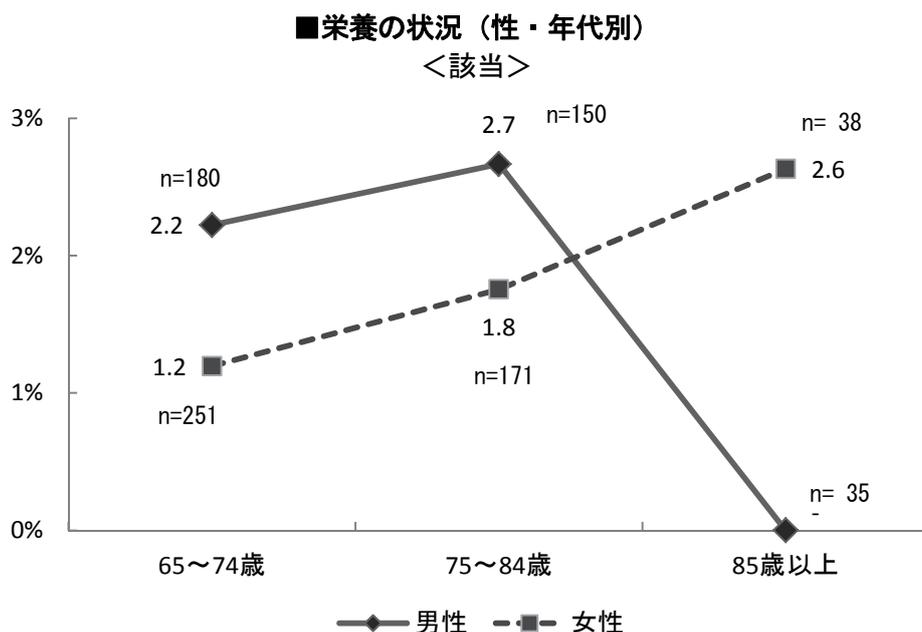
④ 栄養の状況

基本チェックリストの該当設問を用いて、栄養の状況をみると、傾向が認められる人(該当)は 1.8%となっている。

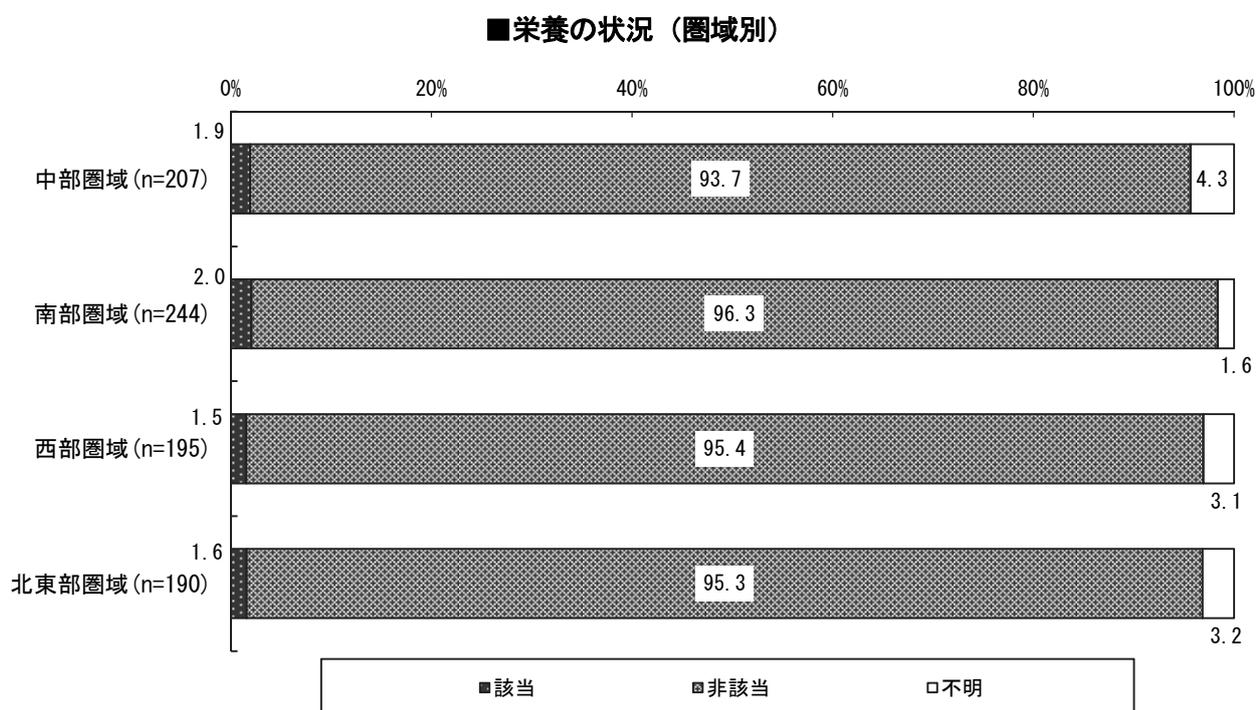
■栄養の状況



栄養の状況を性・年代別にみると、傾向が認められる人（該当）は男性では「75～84歳」、女性では「85歳以上」が最も高い割合となっている。

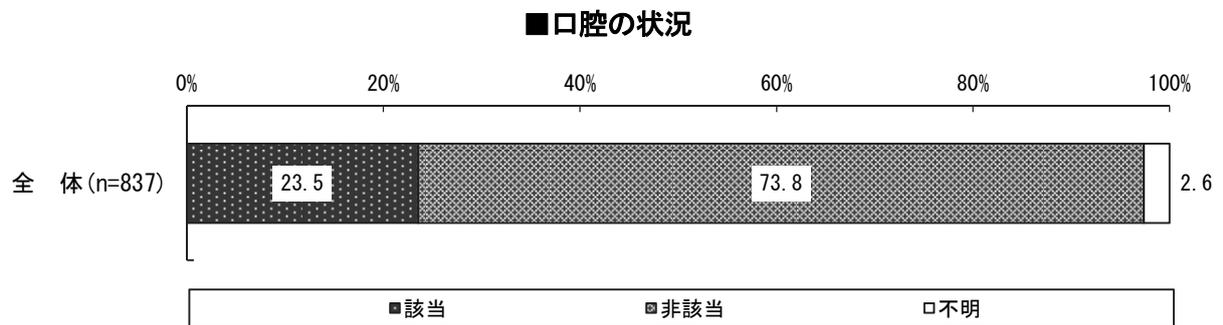


栄養の状況を圏域別にみると、傾向が認められる人（該当）の割合に差はみられない。

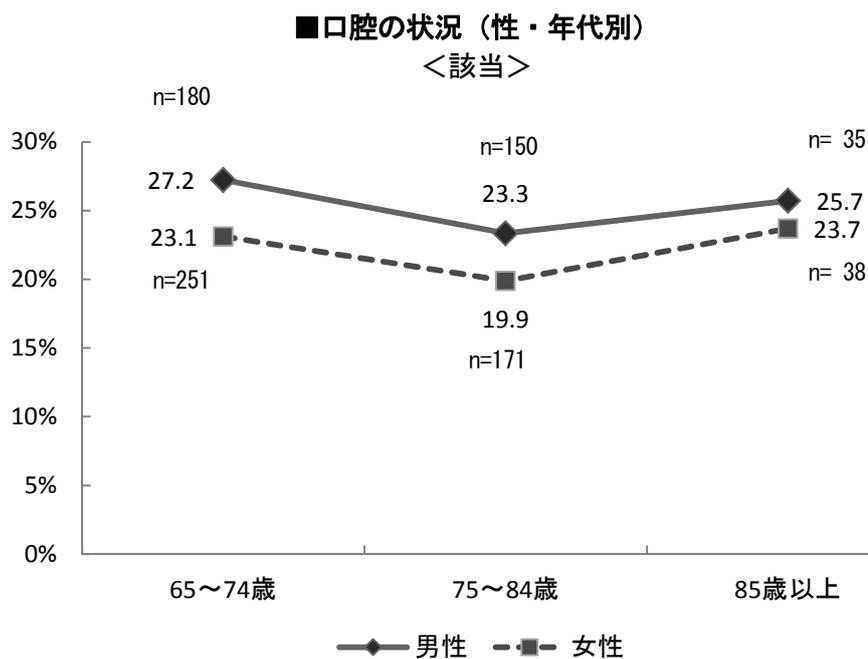


⑤ 口腔の状況

基本チェックリストの該当設問を用いて、口腔の状況をみると、傾向が認められる人（該当）は23.5%となっている。

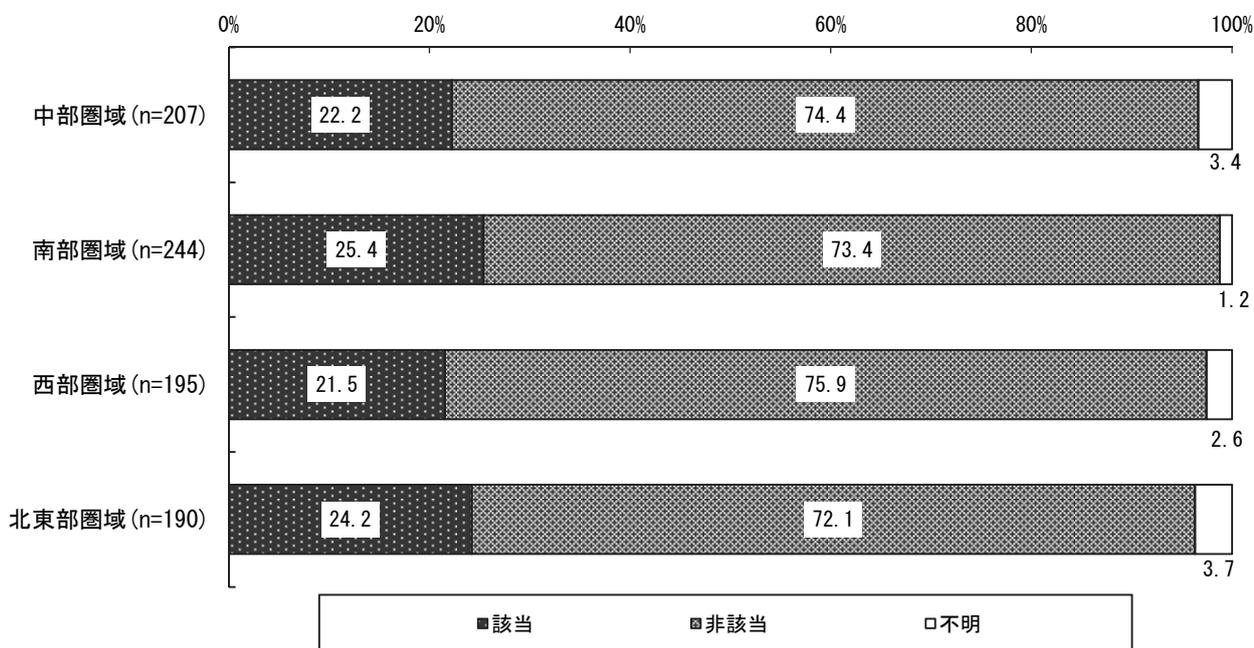


口腔の状況を性・年代別にみると、男女ともに「75～84歳」での傾向が認められる人（該当）が最も少なく、男性は「65～74歳」が27.2%、女性は「85歳以上」が23.7%で最も高くなっている。



口腔の状況を圏域別にみると、傾向が認められる人（該当）は『南部圏域』が 25.4%で最も多く、『北東部圏域』が 24.2%、『中部圏域』が 22.2%、『西部圏域』が 21.5%となっている。

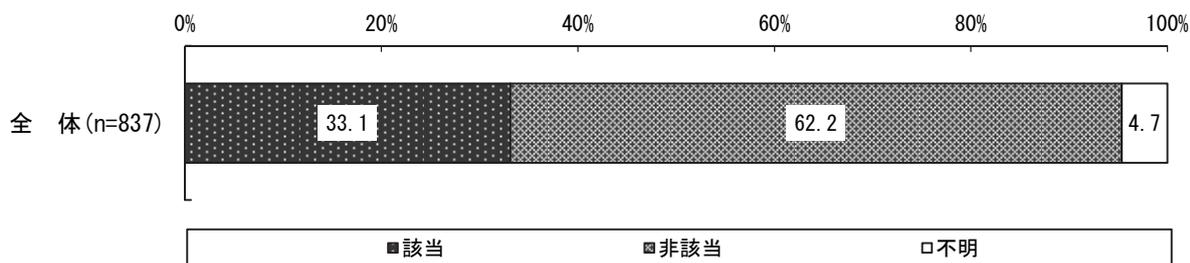
■ 口腔の状況（圏域別）



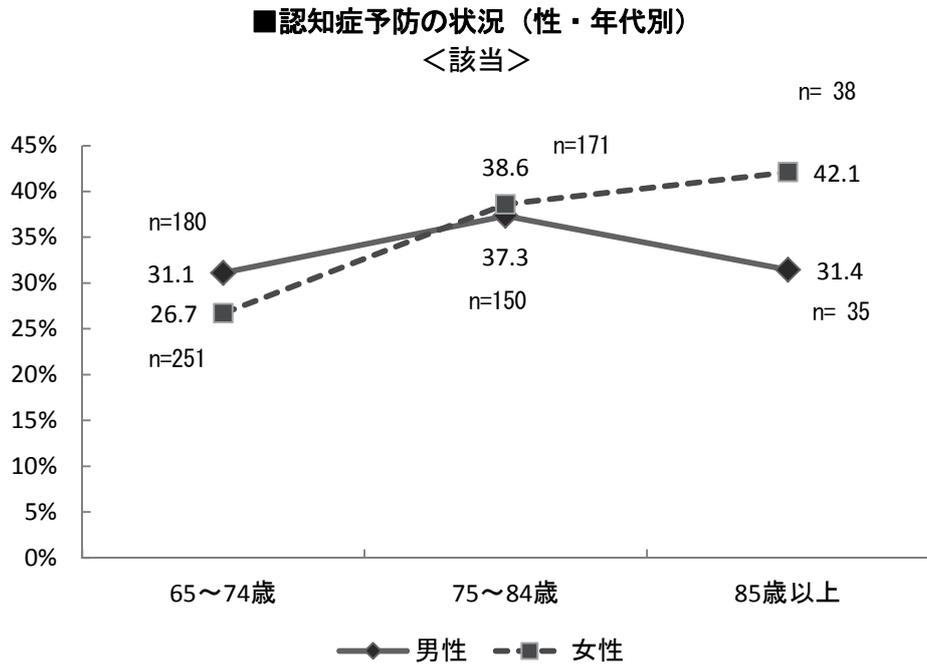
⑥ 認知症予防の状況

基本チェックリストの該当設問を用いて、認知症予防の状況をみると、傾向が認められる人（該当）は 33.1%となっている。

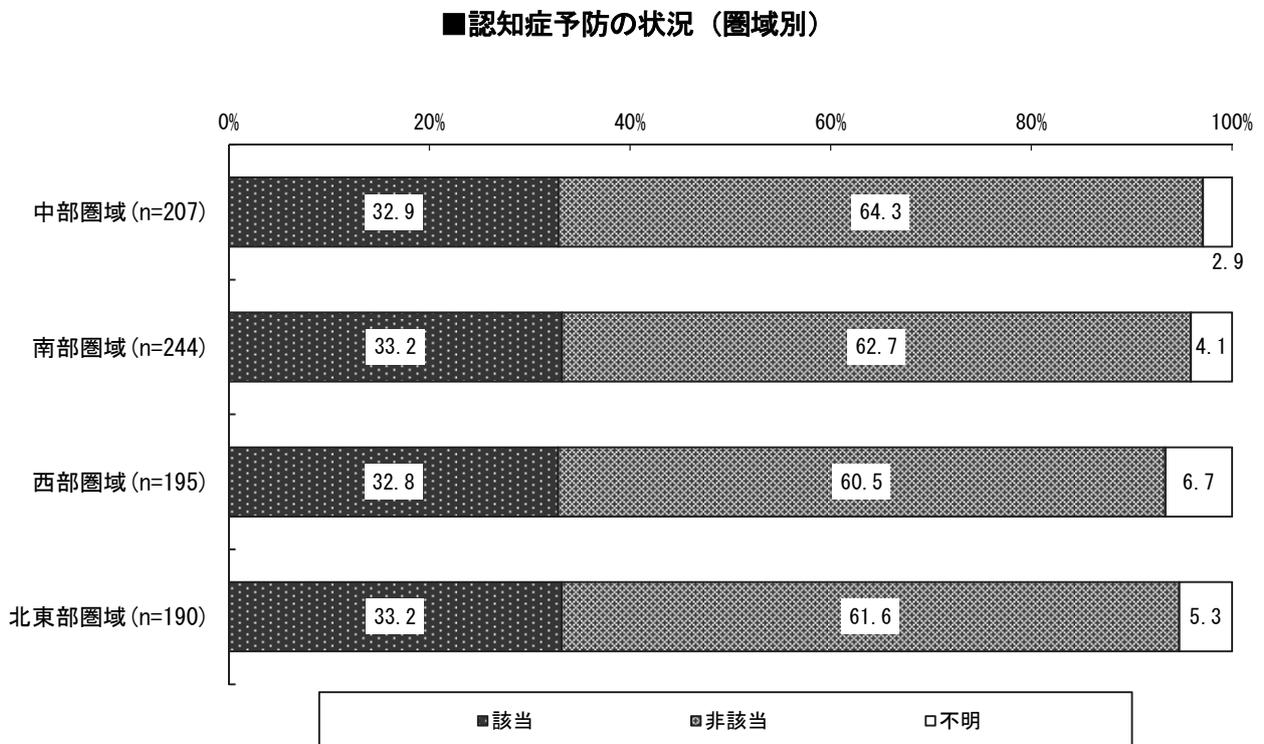
■ 認知症予防の状況



認知症予防の状況を性・年代別にみると、傾向が認められる人（該当）は男性では「75～84歳」、女性では「85歳以上」が最も高くなっている。また、女性は年齢が上がるほど傾向が認められる人（該当）の割合が高くなっている。

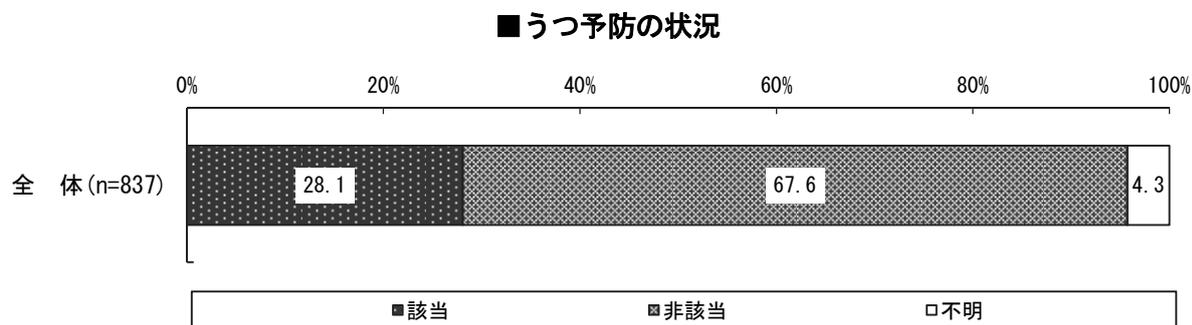


認知症予防の状況を圏域別にみると、傾向が認められる人（該当）は各圏域ともに3割弱で圏域による差はみられない。

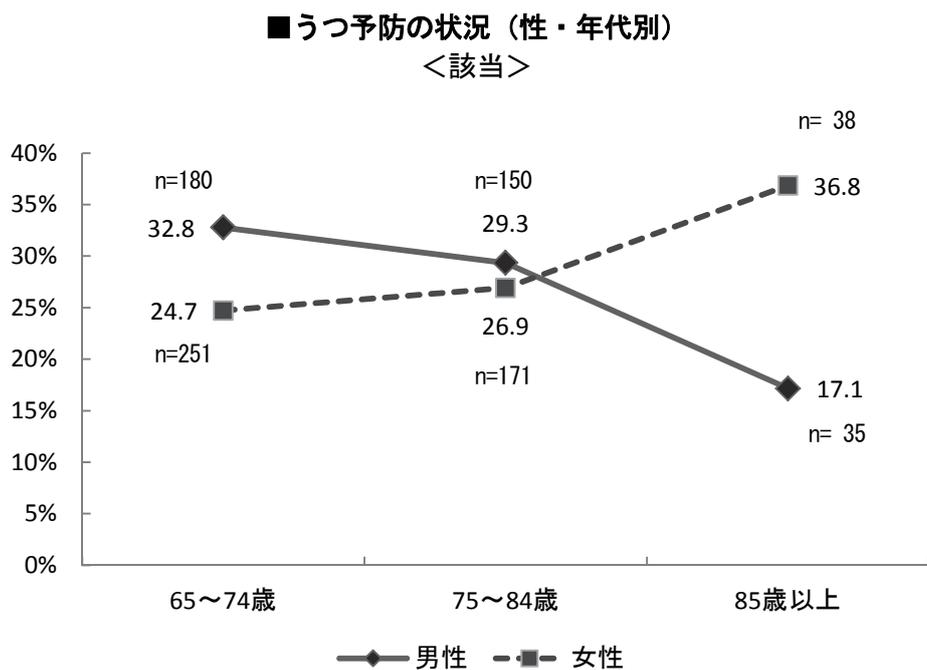


⑦ うつ予防の状況

基本チェックリストの該当設問を用いて、うつ予防の状況を見ると、傾向が認められる人（該当）は28.1%となっている。

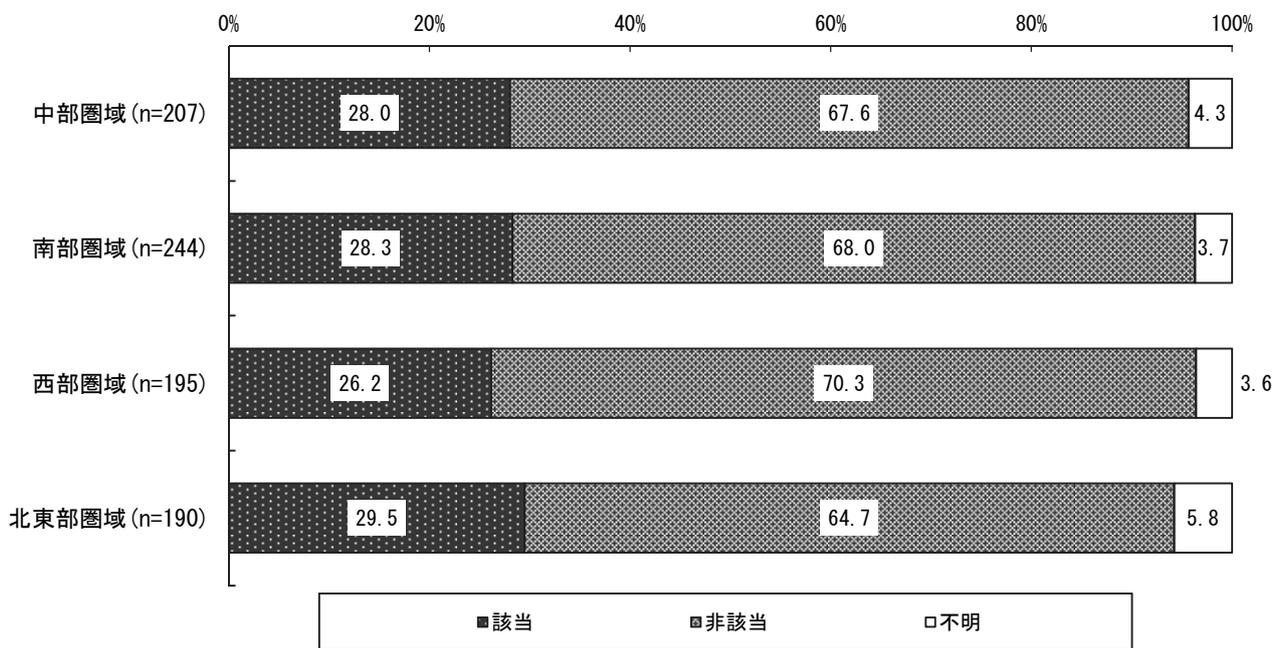


うつ予防の状況を性・年代別にみると、傾向が認められる人（該当）は『女性 85歳以上』が最も高く36.8%となっており、女性は年齢が上がるほど割合が高くなる傾向となっている。男性では、「65～74歳」（32.8%）が最も高く、年齢が上がるほど割合は低下する傾向となっている。



うつ予防の状況を圏域別にみると、傾向が認められる人（該当）は『北東部圏域』が最も多く 29.5%、『南部圏域』が 28.3%、『中部圏域』が 28.0%、『西部圏域』が 26.2%となっている。

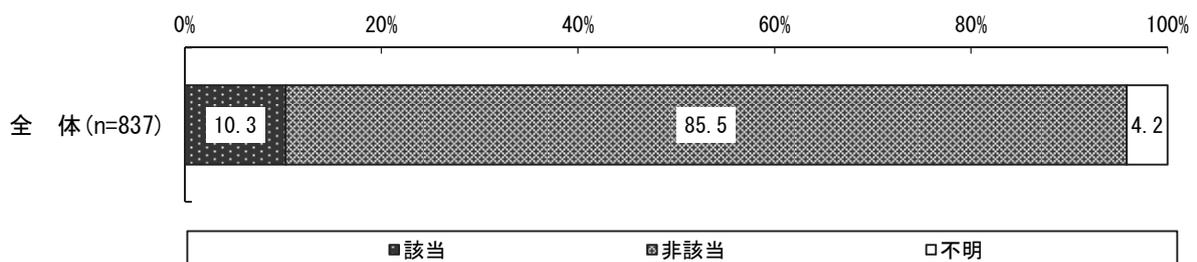
■ うつ予防の状況（圏域別）



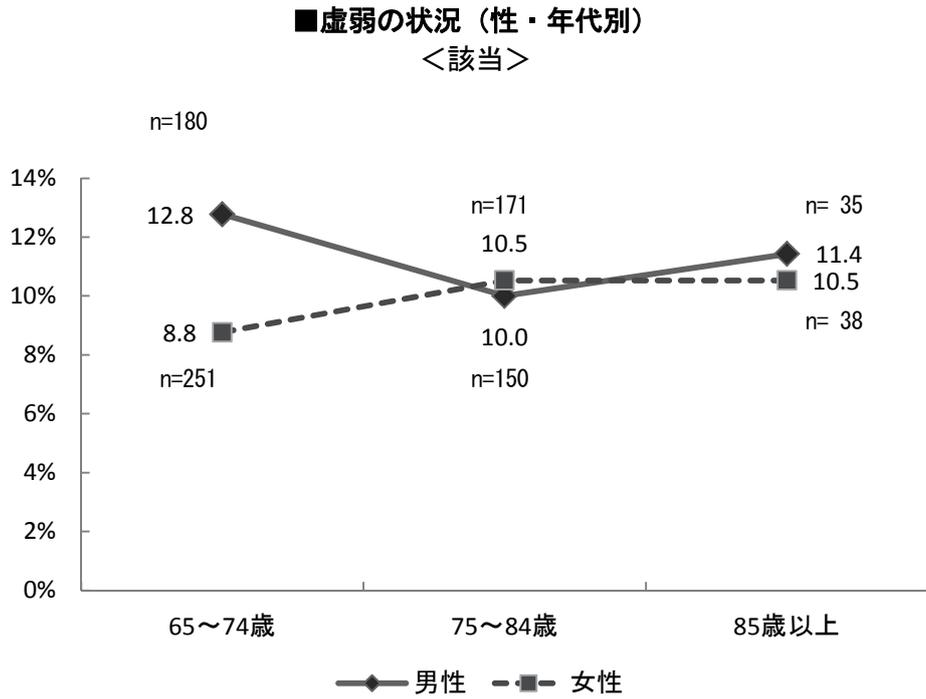
⑧ 虚弱の状況

基本チェックリストの該当設問を用いて、虚弱の状況をみると、傾向が認められる人（該当）は 10.3%となっている。

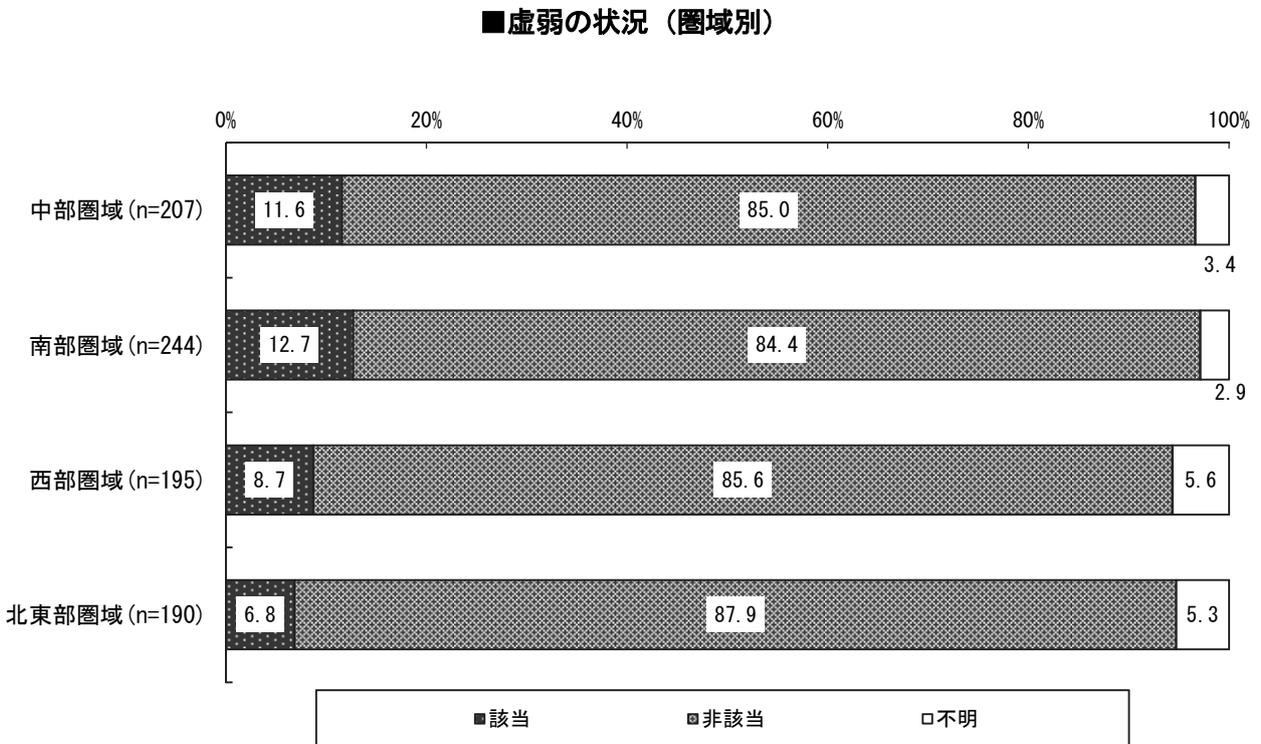
■ 虚弱の状況



虚弱の状況を性・年代別にみると、傾向が認められる人（該当）は『男性 65～74 歳』が 12.8%で最も高くなっている。

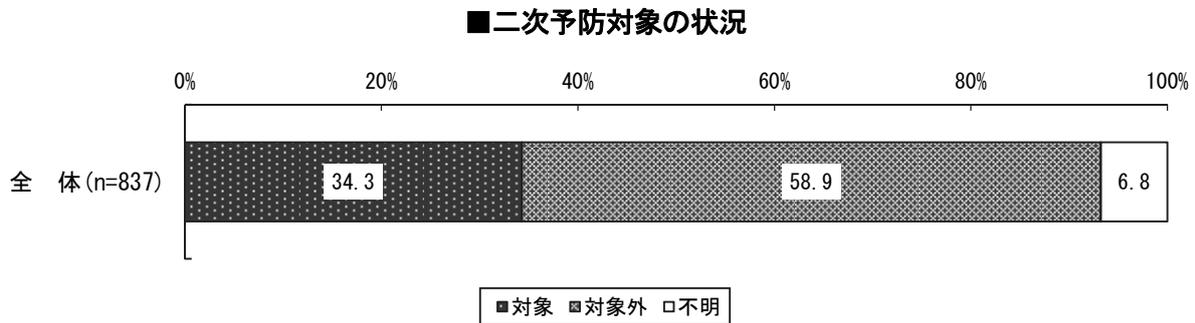


虚弱の状況を圏域別にみると、傾向が認められる人（該当）は『南部圏域』が最も多く 12.7%、『中部圏域』が 11.6%、『西部圏域』が 8.7%、『北東部圏域』が 6.8%となっている。

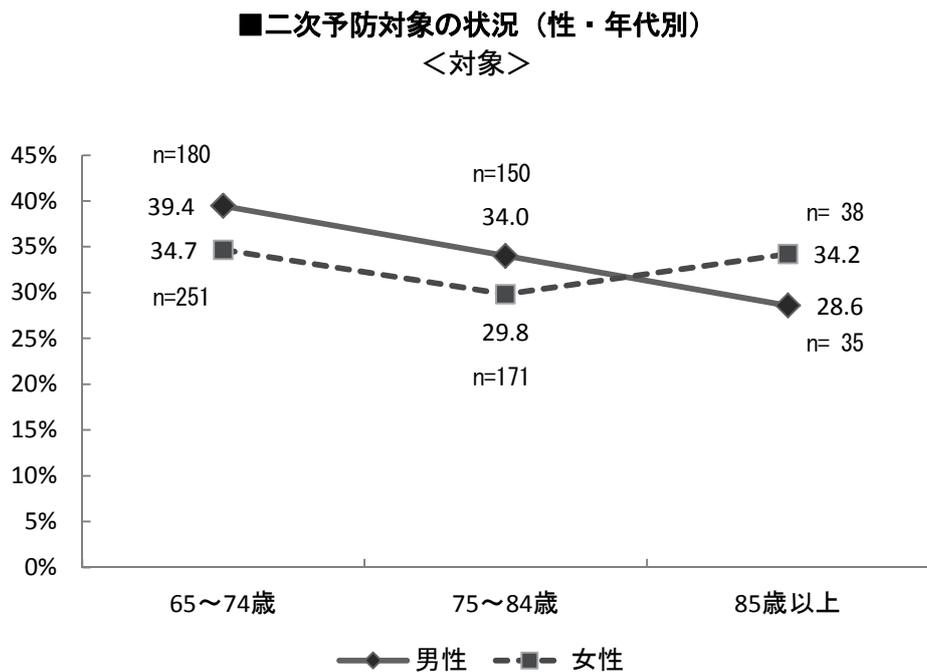


⑨ 二次予防対象の状況

基本チェックリストの該当設問を用いて、二次予防対象の状況を見ると、対象は34.3%となっている。

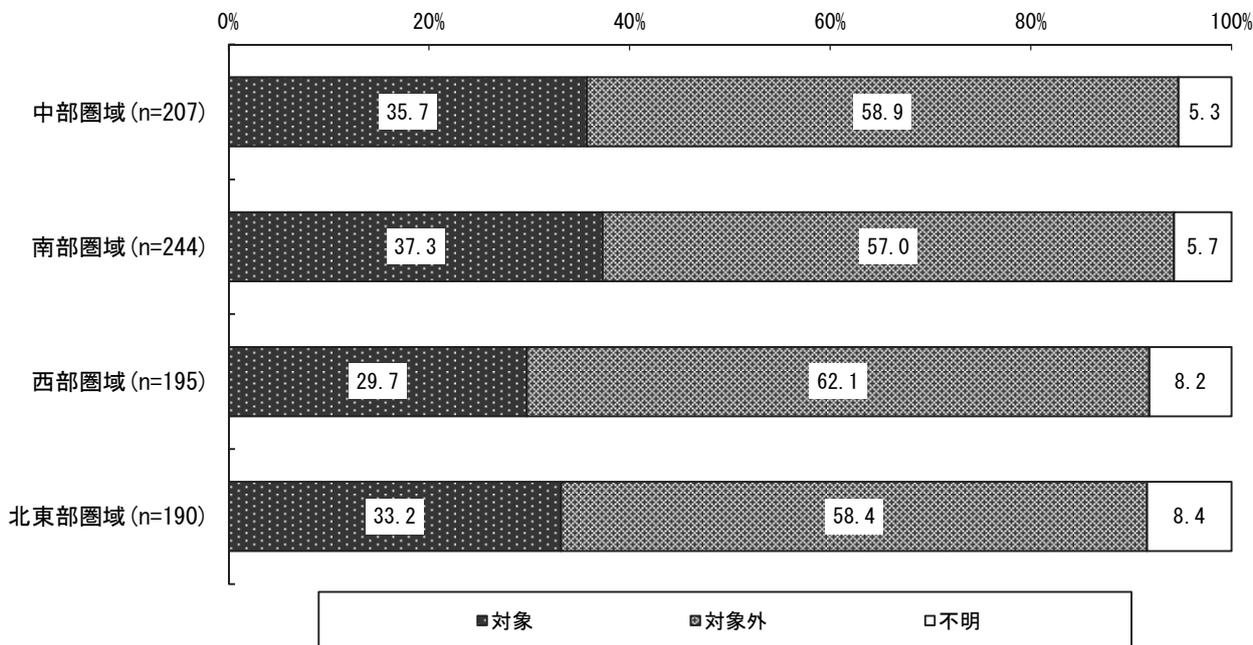


二次予防対象の状況を性・年代別にみると、男女ともに「65～74歳」で対象の割合が最も高くなっている。また、男性は年齢が上がるほど対象の割合が低くなっている。



二次予防対象の状況を圏域別にみると、対象の割合は『南部圏域』が最も多く 37.3%、『中部圏域』が 35.7%、『北東部圏域』が 33.2%、『西部圏域』が 29.7%となっている。

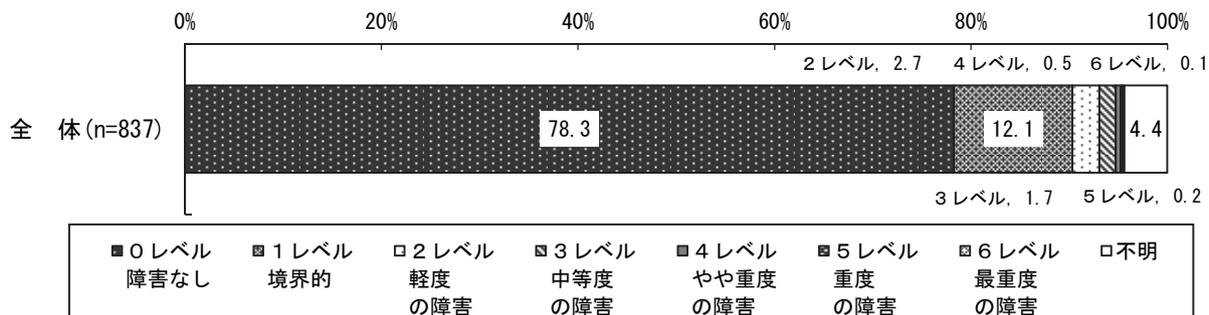
■二次予防対象の状況（圏域別）



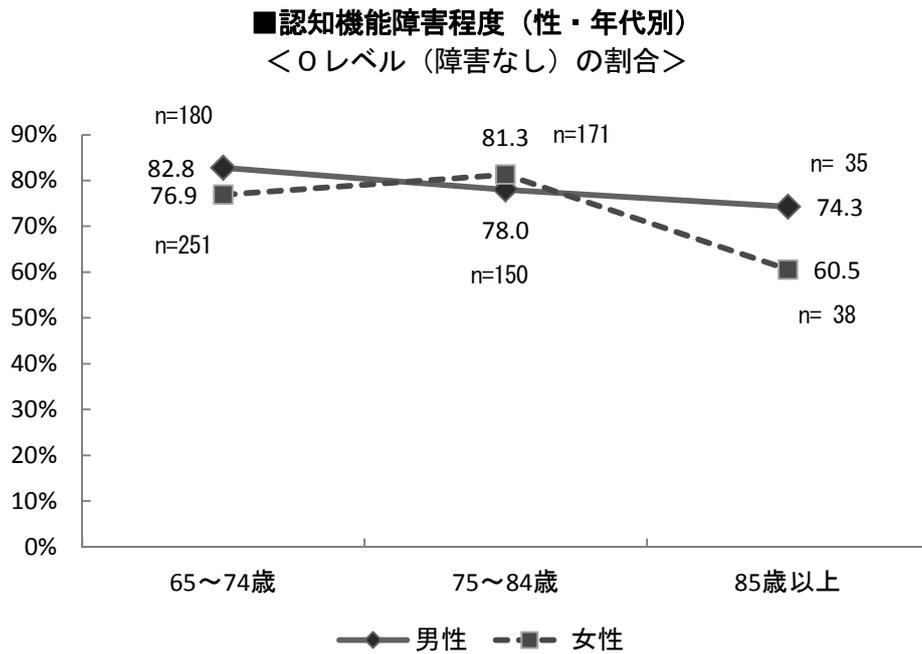
⑩ 認知機能障害程度（CPS）

認知機能障害程度（CPS）に準じて評価を行った認知機能の障害程度区分をみると、「障害なし」は 78.3%となっている。『3レベル以上』は 2.5%となっている。

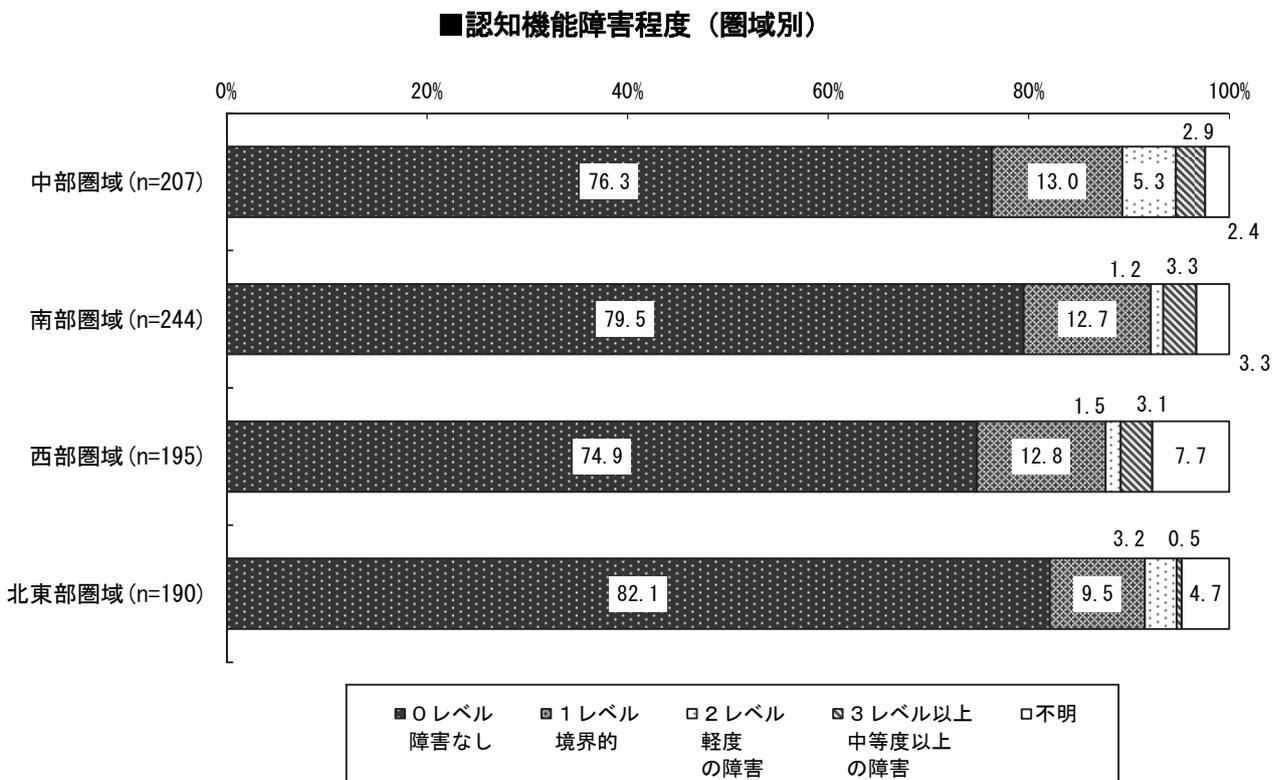
■認知機能障害程度（CPS）



認知機能障害程度（CPS）を性・年代別にみると、「障害なし」は男性では『65～74歳』（82.8%）が最も高く、女性では『75～84歳』（81.3%）が最も高くなっている。



認知機能障害程度（CPS）を圏域別にみると、「障害なし」は『北東部圏域』が最も多く 82.1%、『南部圏域』が 79.5%、『中部圏域』が 76.3%、『西部圏域』が 74.9%となっている。「3レベル以上」は『南部圏域』が 3.3%、『西部圏域』が 3.1%、『中部圏域』が 2.9%で、『北東部圏域』が 0.5%で最も低くなっている。



(6) 日常生活について

高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標に準じた設問を用いて、手段的日常生活動作（IADL:Instrumental Activities of Daily Living）を評価した。判定に用いた設問は下表のとおりである。評価方法は、5点が「高い」、4点が「やや低い」、0～3点が「低い」としている。

また、日常生活動作（ADL:Activities of Daily Living）に関して、ADL 評価指標として広く用いられているバーセルインデックスに準じた下表の設問、項目及び配点で、合計が100点満点となるように評価した。合計点に応じて、100点が「完全自立」、65～95点が「一部介助」、45～60点が「起居移動中心介助」、40点以下を「介助」としている。

以上の集計は、厚生労働省老健局より提供されている『生活支援ソフト（2013.12 改修版）』を用いて行い、性別の回答があった837人を対象としている。

<手段的日常生活動作（IADL）>

問番号	設問	選択肢
第6-問1	バスや電車、又は自家用車を使って一人で外出していますか	「できるし、している」または 「できるけどしていない」 : 1点
第6-問2	日用品の買物をしていますか	
第6-問3	自分で食事の用意をしていますか	
第6-問4	請求書の支払いをしていますか	
第6-問5	預貯金の出し入れをしていますか	

※IADLとは、モノや道具を使ってする生活能力のことをいう。ADL（日常生活動作）が、自立して生活するための基本的な身体的動作（食事、入浴、排泄など）を指しているのに対し、IADLはより広義で、日常の動作より応用的な動作が必要な活動（バスに乗って買い物に行く、食事の支度をする、電話をかけるなど）を指している。

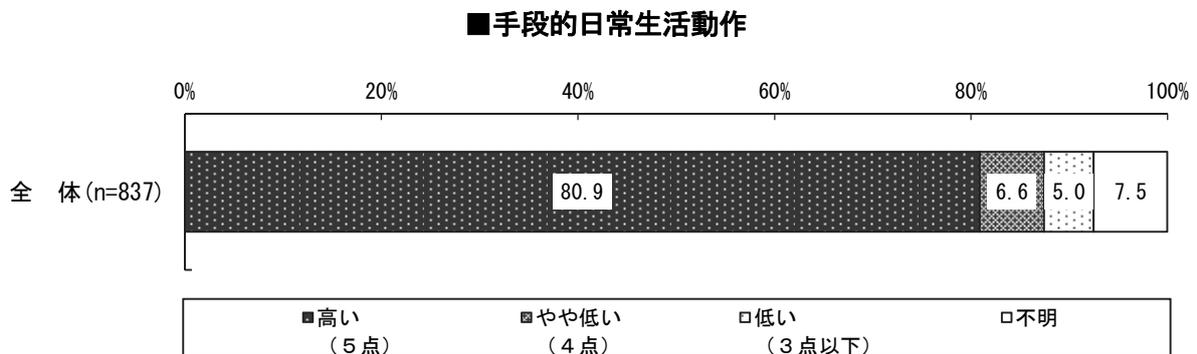
<日常生活動作（ADL）>

問番号	項目	配点と選択肢
第6-問6	食事	10点：「できる」、5点：「一部介助があればできる」、0点：「できない」
第6-問7	寝床への移動	15点：「受けない」、10点：「一部介助があればできる」、5点：「全面的な介助が必要」（第6-問8が「できる」「支えが必要」の場合）、0点：「全面的な介助が必要」（第6-問8が「できない」の場合）
第6-問9	整容	5点：「できる」、0点：「一部介助があればできる」「できない」
第6-問10	トイレ	10点：「できる」、5点：「一部介助があればできる」、0点：「できない」
第6-問11	入浴	5点：「できる」、0点：「一部介助があればできる」「できない」
第6-問12	歩行	5点：「できる」、0点：「一部介助があればできる」「できない」
第6-問13	階段昇降	10点：「できる」、5点：「介助があればできる」、0点：「できない」
第6-問14	着替え	10点：「できる」、5点：「介助があればできる」、0点：「できない」
第6-問15	排便	10点：「ない」、5点：「ときどきある」、0点：「よくある」
第6-問16	排尿	10点：「ない」、5点：「ときどきある」、0点：「よくある」

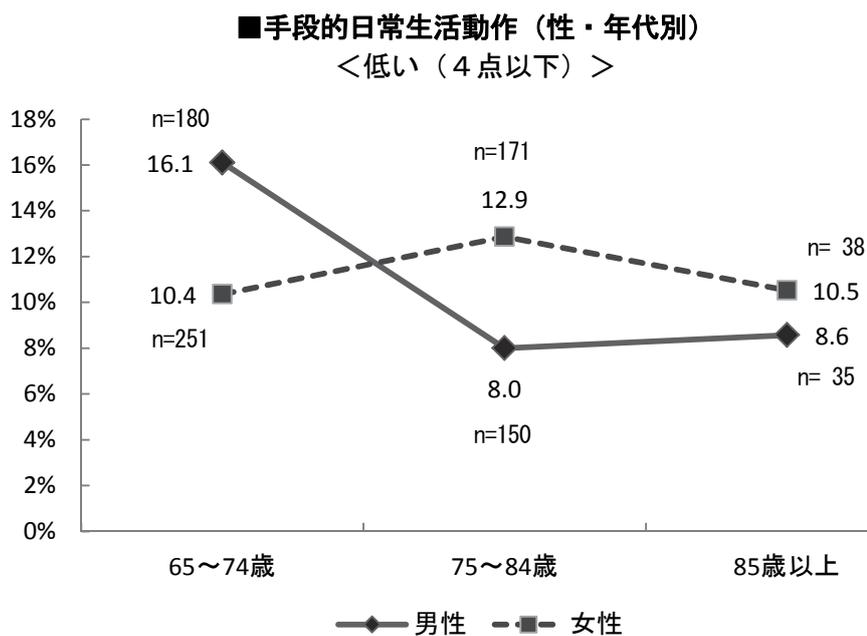
※ADLとは、食事、排泄、着脱衣、入浴、移動、寝起きなど、日常の生活を送るために必要な基本動作のことで、高齢者の身体活動能力や障害の程度をはかる上で重要な指標の一つとなっている。

① 手段的日常生活動作 (IADL)

手段的日常生活動作をみると、「高い」は 80.9%、「やや低い」と「低い」を合わせた《低い》は 11.6%となっている。

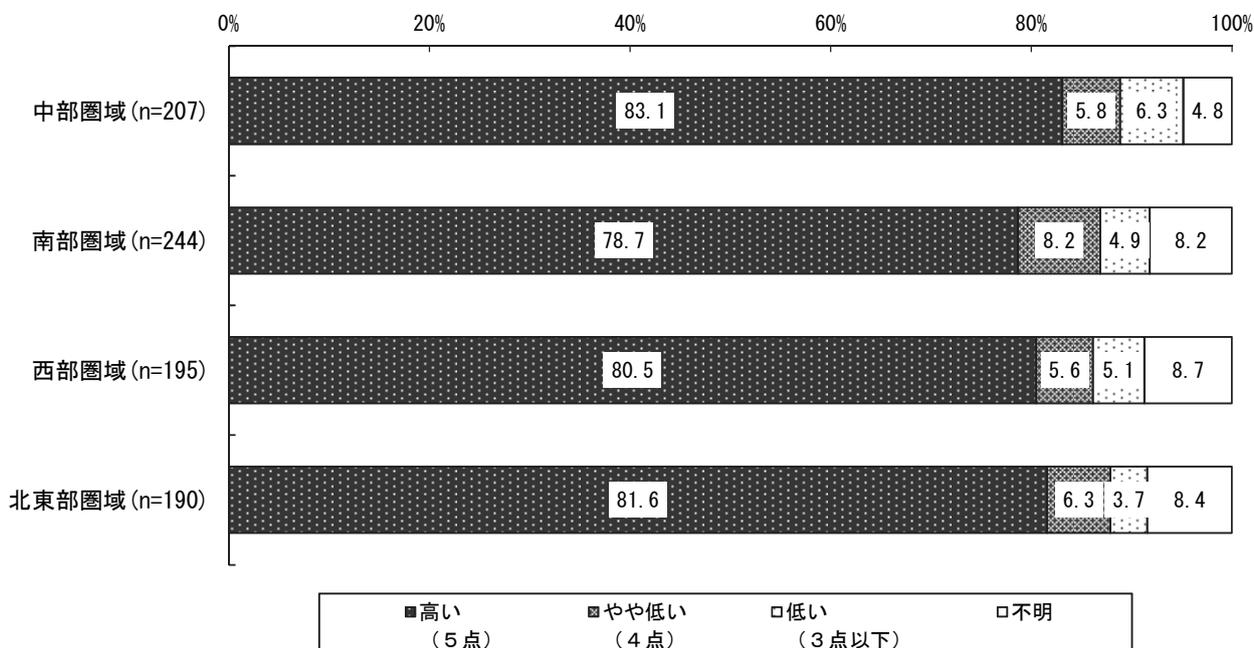


手段的日常生活動作を性・年代別にみると、「やや低い」と「低い」を合わせた《低い》は男性では「65～74歳」(16.1%)が最も多く、女性では「75～84歳」(12.9%)が最も多くなっている。



手段的日常生活動作を圏域別にみると、「やや低い」と「低い」を合わせた《低い》は『南部圏域』が最も多く13.1%、『中部圏域』が12.1%、『西部圏域』が10.7%、『北東部圏域』が10.0%となっている。

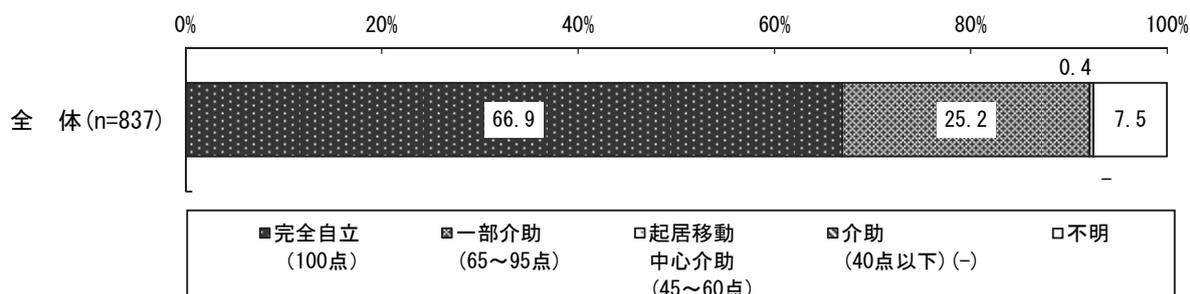
■手段的日常生活動作（圏域別）



② 日常生活動作 (ADL)

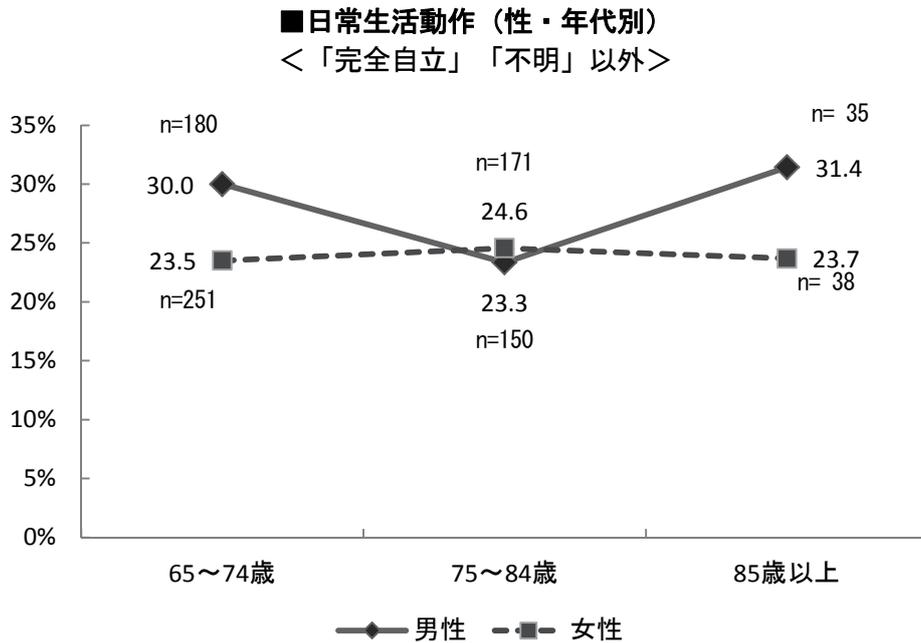
日常生活動作をみると、「完全自立」は66.9%となっている。「一部介助」が25.2%と全体の4分の1を占めている。

■日常生活動作

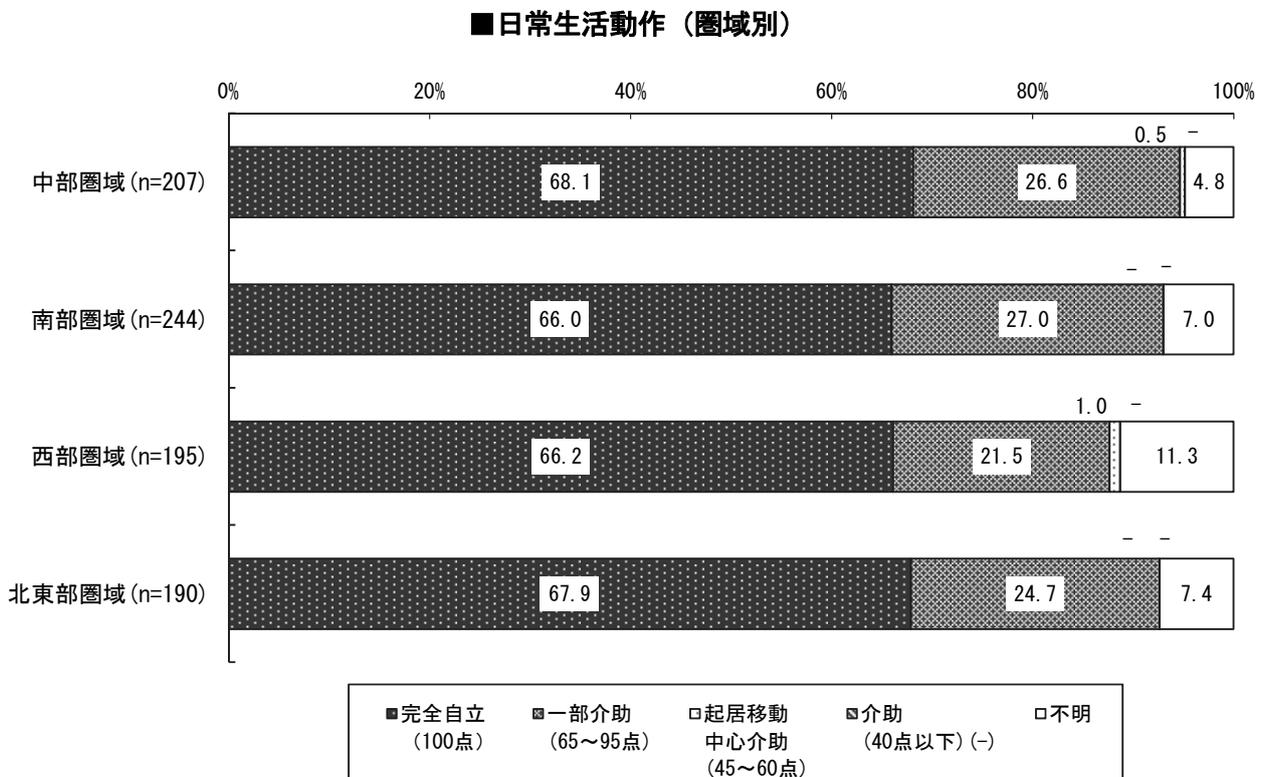


日常生活動作を性・年代別にみると、「一部介助」もしくは「起居移動中心介助」がある割合は男性の「85歳以上」(31.4%)と「65～74歳」(30.0%)と「65～74歳」(30.0%)と「65～74歳」(30.0%)が3割と高くなっている。

※「介助」(40点以下)の対象者は存在していない。



日常生活動作を圏域別にみると、「一部介助」の割合は『南部圏域』が27.0%、『中部圏域』が26.6%、『北東部圏域』が24.7%、『西部圏域』が21.5%となっている。



(7) 社会参加について

老研式活動能力指標に準じた高齢者の知的活動に関する設問を用いて、知的能動性を評価した。また、同様に高齢者の社会活動に関する設問を用いて、社会的役割を評価した。ともに評価方法は、4点が「高い」、3点が「やや低い」、0～2点が「低い」とし、用いた設問・配点は下表のとおりである。

老研指標総合評価は、手段的日常生活動作（IADL）、知的能動性、社会的役割の評価項目の合計点を13点満点で評価し、11点以上が「高い」、9～10点が「やや低い」、8点以下が「低い」として評価した。

以上の集計は、厚生労働省老健局より提供されている『生活支援ソフト（2013.12改修版）』を用いて行い、性別の回答があった837人を対象としている。

<知的能動性>

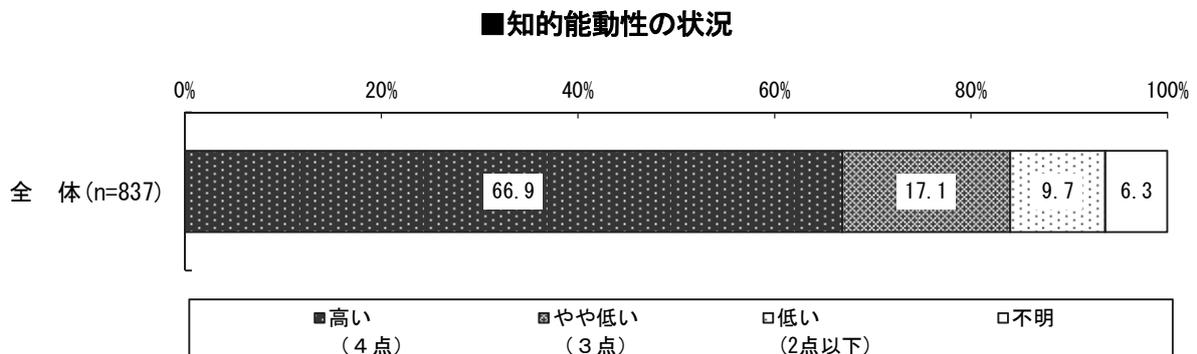
問番号	設問	選択肢
第7-問1	年金などの書類が書けますか	「はい」：1点
第7-問2	新聞を読んでいますか	
第7-問3	本や雑誌を読んでいますか	
第7-問4	健康についての記事や番組に関心がありますか	

<社会的役割>

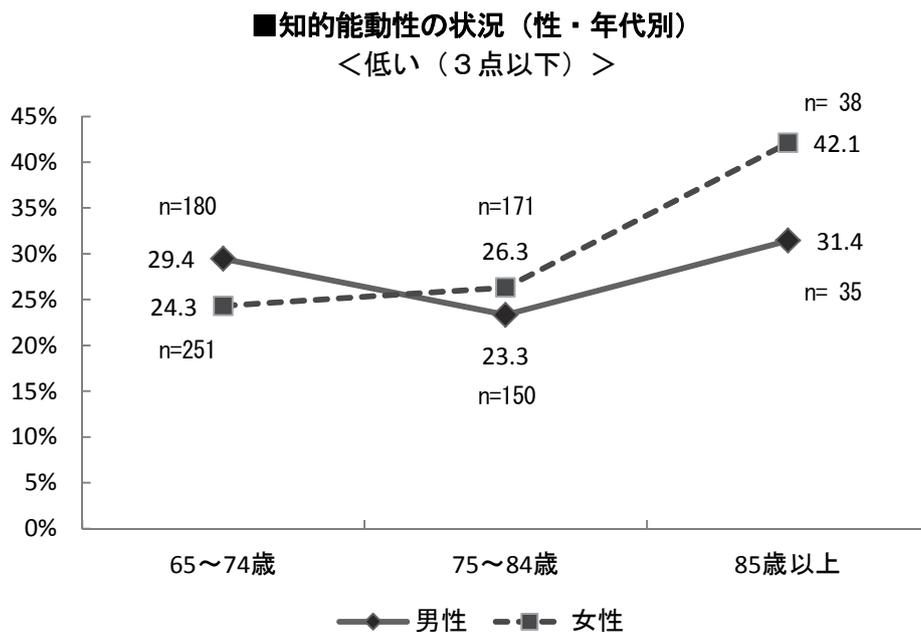
問番号	設問	選択肢
第7-問5	友人の家を訪ねていますか	「はい」：1点
第7-問6	家族や友人の相談にのっていますか	
第7-問7	病人を見舞うことができますか	
第7-問8	若い人に自分から話しかけることがありますか	

① 知的能動性の状況

知的能動性をみると、「高い」は66.9%、「やや低い」と「低い」を合わせた《低い》は26.8%となっている。

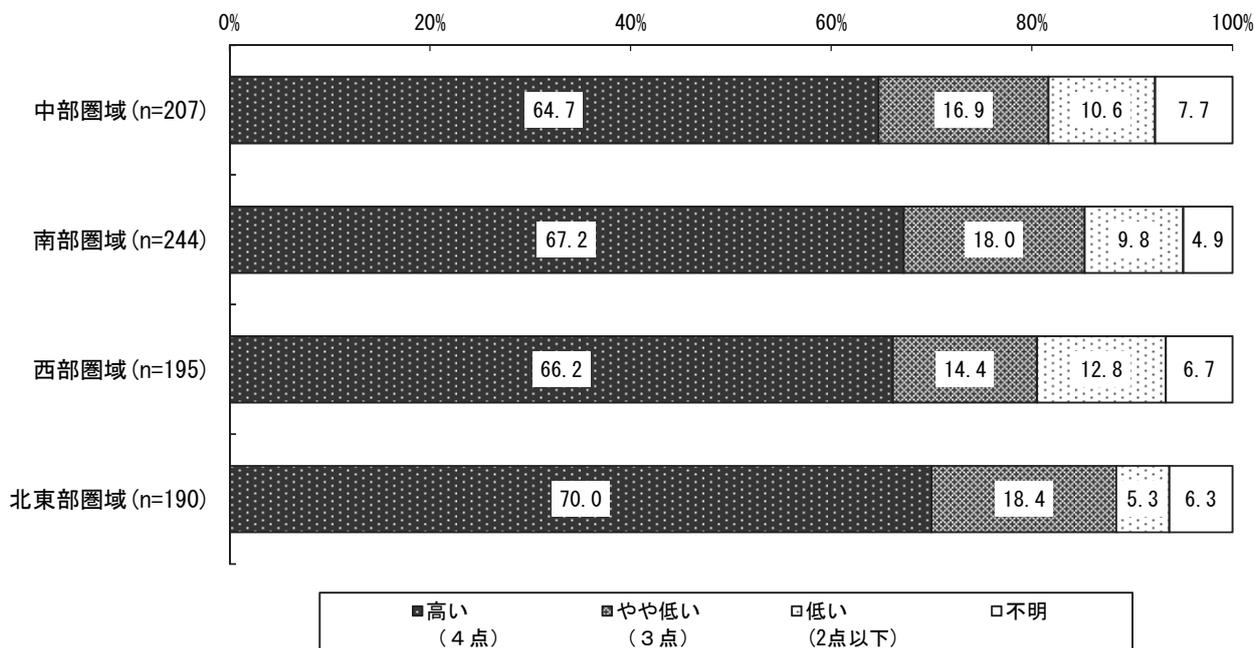


知的能動性を性・年代別にみると、「やや低い」と「低い」を合わせた《低い》は『女性85歳以上』が42.1%で最も高くなっている。男女ともに「85歳以上」が高く、女性では年代が上がるほど《低い》割合が高くなっている。



知的能動性を圏域別にみると、「やや低い」と「低い」を合わせた《低い》は『南部圏域』が27.8%、『中部圏域』が27.5%、『西部圏域』が27.2%、『北部圏域』が23.7%となっている。

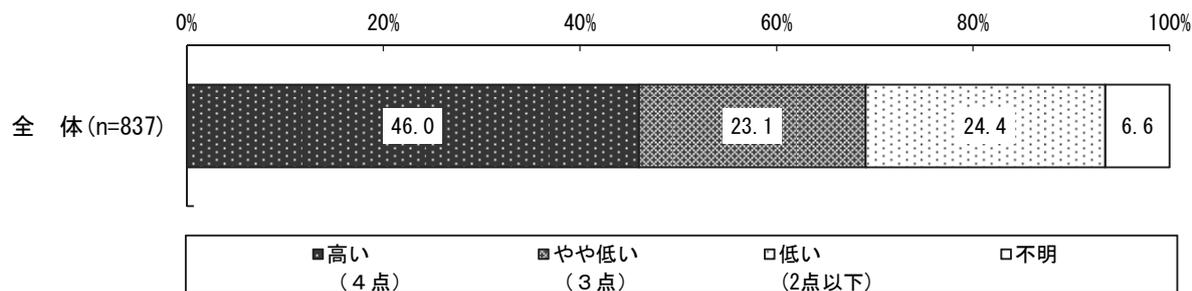
■知的能動性の状況（圏域別）



② 社会的役割の状況

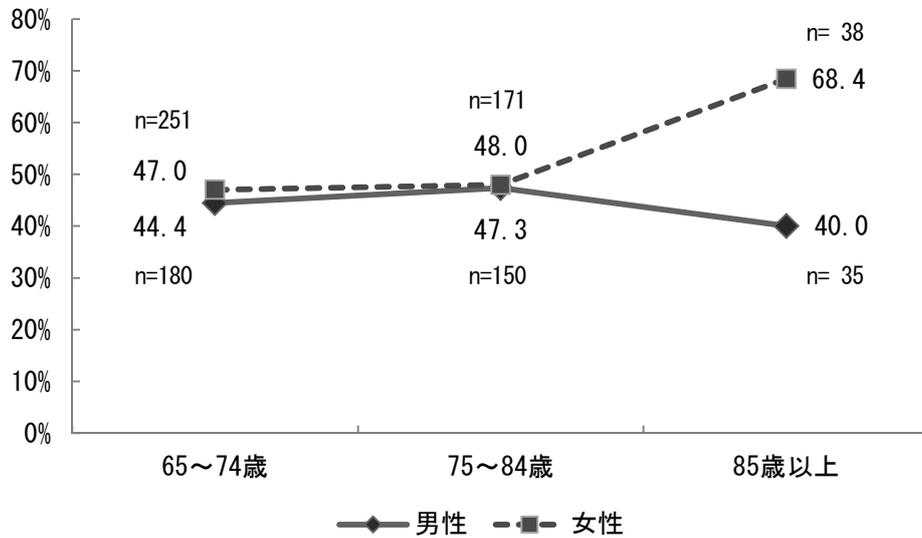
社会的役割の状況をみると、「高い」は46.0%、「やや低い」と「低い」を合わせた《低い》は47.5%となっている。

■社会的役割の状況



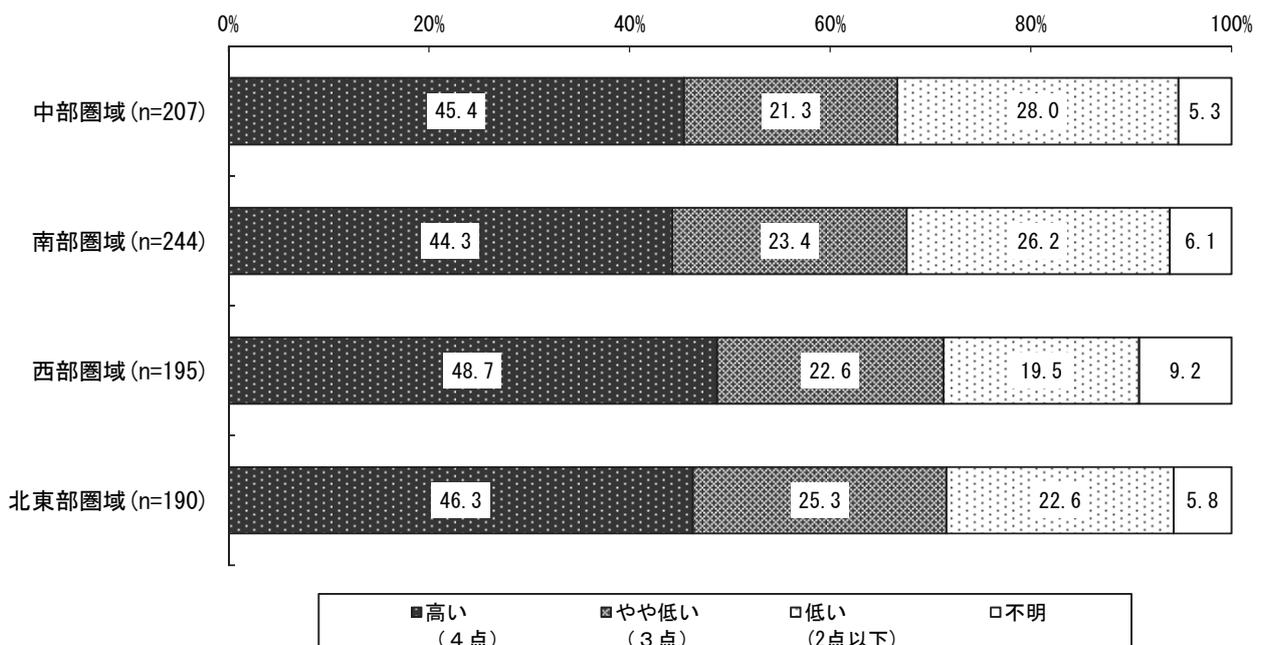
社会的役割の状況を性・年代別にみると、「やや低い」と「低い」を合わせた《低い》は『女性85歳以上』が68.4%で最も高くなっている。男性では「75～84歳」（47.3%）が最も高くなっている。

■社会的役割の状況（性・年代別）
 <低い（3点以下）>



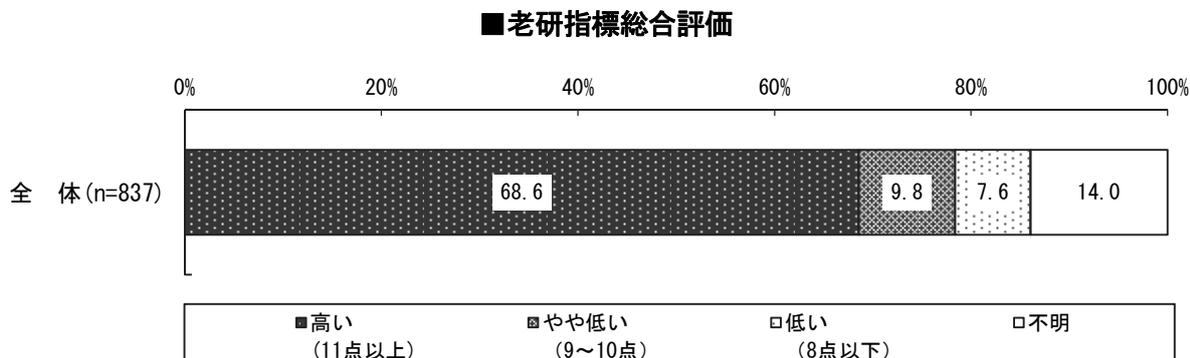
社会的役割の状況を圏域別にみると、「高い」は『西部圏域』（48.7%）が最も多くなっている。「やや低い」と「低い」を合わせた《低い》は『南部圏域』が49.6%、『中部圏域』が49.3%、『北東部圏域』が47.9%、『西部圏域』が42.1%となっている。

■社会的役割の状況（圏域別）

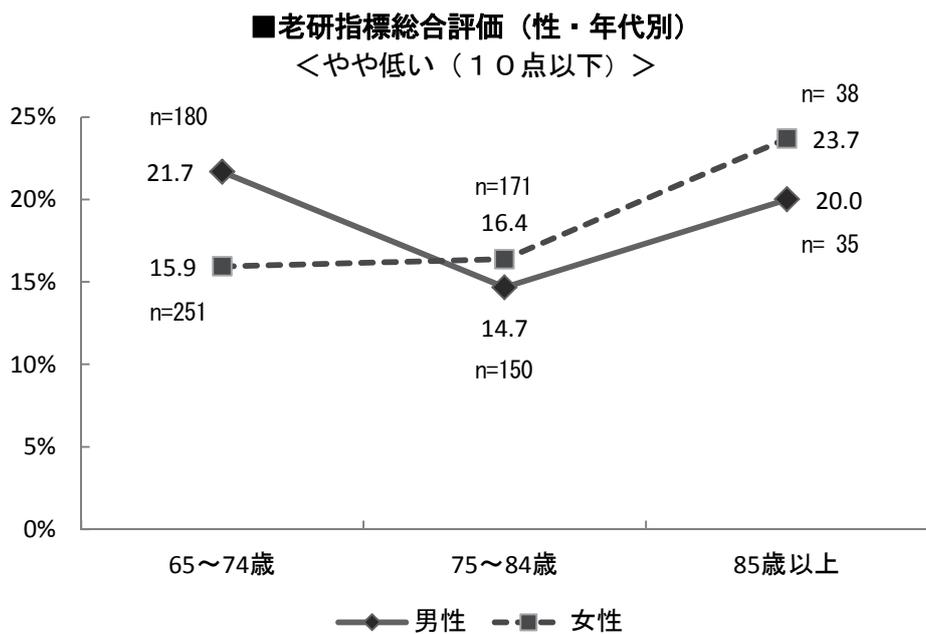


③ 老研指標総合評価

老研指標総合評価をみると、「高い」は68.6%、「やや低い」と「低い」を合わせた《低い》は17.4%となっている。

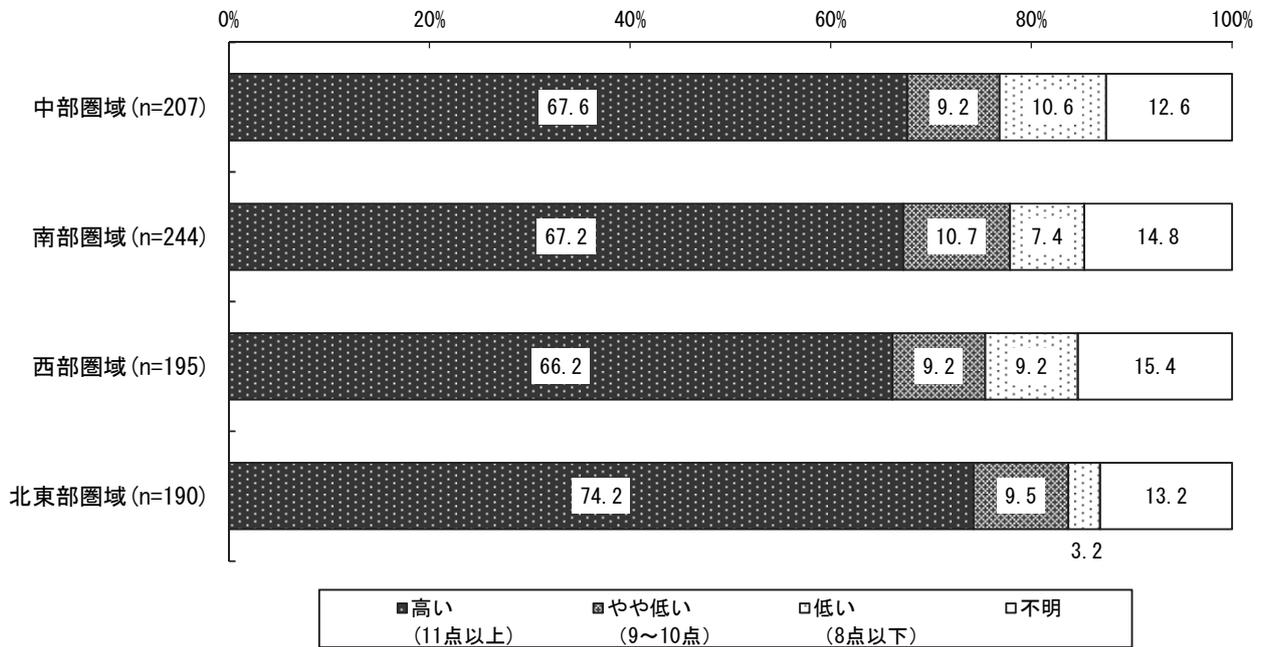


老研指標総合評価を性・年代別にみると、「やや低い」と「低い」を合わせた《低い》は男性では「65～74歳」(21.7%)が、女性では「85歳以上」(23.7%)が最も高くなっている。



老研指標総合評価を圏域別にみると、「高い」は『北東部圏域』が74.2%と最も多い。「やや低い」と「低い」を合わせた《低い》は『中部圏域』が19.8%、『西部圏域』が18.4%、『南部圏域』が18.1%、『北東部圏域』が12.7%となっている。

■老研指標総合評価（圏域別）



(8) 高齢者保健福祉サービス、介護保険制度への意見・要望（問43）

高齢者保健福祉サービス、介護保険制度について、自由記述形式でうかがい、内容ごとに分類・整理を行った。主な意見は以下のとおりである。

(社会参加の促進)

- ・高齢者向けの生涯学習など、退職者などが参加できる活動と場所を作ってほしい。

(健康づくりの推進)

- ・無料で週数回程度、健康運動を行ってほしい。
- ・ゲートボールのような遊び感覚でやれる運動ならば、エネルギーも続くし、高齢でもでき、また交流の場にもなり、皆元気を保つことができる。そういう場を地域に一つは作ってほしい。
- ・毎日運動と友人達との付き合いを積極的に行っている。
- ・状況の良くない人への援助はもとより、いろいろ考えて健康を維持している人への促進のための策があっても良いのではないか。
- ・健康寿命を延ばすことを目的に高齢者の運動会をまちをあげて開催できる仕組みを作る。
- ・市民の健康意識強化のための周知を積極的に行ってほしい。
- ・介護施設増設も必要だが、病気になるための健康作り教室等をもっと増やしてほしい。
- ・体操教室やプールでの運動、水泳など、あまりお金をかけずにできる機会をつくってほしい。現在は回数が少なすぎる。

(介護予防の推進)

- ・介護のお世話にならないで生活したい。できるかぎり自分のことは自分ですることが認知症にならないと思っている。体を動かす、頭を使う、骨切しない、前向き、人との付き合い等に心掛けている。

(介護保険サービスの充実)

- ・必要な時に速やかに利用できるシステムを希望する。
- ・将来ホームかグループホームのような施設に入所したいが、不足していてなかなか入れないようで不安である。
- ・自宅でのサービスの充実をお願いしたい。
- ・安く入居できる施設を整備してほしい。
- ・デイサービスの更なる充実をお願いしたい。認知症以外の外でも楽しめるようなデイサービスがほしい。
- ・サービスが受けられる場所がもっと多くあると良い。
- ・ますます高齢化していくので、市独自の介護を充実させてほしい。
- ・必要な人に必要なサービスを。
- ・リハビリ施設を増やしてほしい。

(特養の整備)

- ・特別養護老人ホームの待機者を国・都と協力してゼロにしてほしい。
- ・西東京市内の介護老人保健施設、特に特別養護老人ホームは全く少なく申込みをしても数年待ちである。一日も早く老健、特養の施設を作ってほしい。
- ・特養持ちが何百人と聞くので、施設を増やしてほしい。空き家などを利用してグループホーム、デイサービスを増やしてほしい。

(在宅療養体制の充実)

- ・介護、介助が必要になった時、自宅で介護、介助を受けて生活ができること。
- ・在宅療養体制の充実を願う。

(介護従事者の処遇改善)

- ・介護従事者の報酬を改善すべきである。

(介護保険制度の適切な運営)

- ・介護保険料が非常に高い。
- ・サービスや保険制度の利用者が多いと聞くが、それはこれらの利用料金が安いからで、必要のない人まで利用することになる。サービスの低下を防ぐなら、利用料金を増やすか、一般会計から

補填してでも、保険料を引き下げのべきと思う。

- ・介護保険料の負担が少しずつ上がり苦しい。ボランティアでできる仕事の内容や紹介、手続き等を詳しく知りたい。
- ・65歳から強制的に徴収されているが10年後には高齢者が今の何倍かになる。全員にサービスができるのか心配である。
- ・介護保険を利用する機会は少ないのに、保険料が高い。
- ・介護保険がパンク寸前、先行きが不安である。手厚い制度とはいえ、まだまだ不十分だし、年々介護サービスが減らされているようなので、これから利用する者として不安だらけである。
- ・高齢者が多くなる一方で介護保険の値上げが今後の生活に影響してくるのではないかと不安である。

(情報発信の充実)

- ・高齢者保健福祉サービス、介護保険制度についてわからないので知りたい。
- ・高額な介護保険料は本人にどう還元されるのか。健康な場合、完全な掛け捨てになるが、何らかの方策で、充実した老後を支えるようなことに使ってほしい。
- ・介護保険の制度、仕組み及び全体の収支バランスなど入口と出口でどのように使われているのか、わからない。
- ・介護保険制度を利用していないためか内容がよくわからない。もう少しわかりやすい冊子など作ってほしい。
- ・福祉サービスや制度をもっと積極的に、市側が説明してほしい。

(相談体制の充実)

- ・高齢者が気軽に相談できる場所がほしい。
- ・夫婦二人暮らしなので、自立生活しづらくなる将来に備えて具体的な設計と方法を知りたい。金銭管理、後見人、このまちでどう暮せるのか、前もってトータルに相談できる窓口を要望する。

(見守りの充実)

- ・6か月に1回位は訪問してほしい。
- ・一人住まいの方への見守りを十分をお願いしたい。

(移動支援)

- ・はなバスの値上げが痛い。
- ・東伏見と田無駅のはなバスの本数をもう一本増やしてほしい。田無駅から保谷庁舎のバスの本数が少なく、スポーツセンターの行事などに参加したくても、意欲がそがれる。

(地域包括支援センターの機能強化)

- ・地域包括支援センターの人員の増強を早急に実現してほしい。現在は人員が少なく大変多忙。

(関係機関の連携強化)

- ・社会福祉協議会、地域包括支援センターなどで横の連絡を取り合ってほしい。

資料

使用した調査票

【高齢者調査】

- ① 高齢者一般調査
- ② 若年者一般調査
- ③ 二次予防事業対象者調査
- ④ 介護保険居宅サービス利用者調査
- ⑤ 介護保険施設サービス利用者調査
- ⑥ 介護保険サービス未利用者調査
- ⑦ 介護保険サービス事業者調査
- ⑧ 介護支援専門員調査
- ⑨ 在宅医療と介護に関する調査
- ⑩ 日常生活圏域ニーズ調査

西東京市高齢者保健福祉計画策定のための 市民アンケート調査 ご協力のお願い

市民の皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

西東京市では、平成26年度に見直しを予定しております「西東京市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第6期）」の基礎資料として、皆さまのご意見やご要望を幅広くお聴きするため、保健・福祉全般の調査を実施することになりました。

この調査は、西東京市にお住まいの65歳以上の方の中から、無作為に3,000人を選ばせていただき、ご意見やご要望をおうかがいするものです。なお、ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理し、調査目的以外に使用することはありません。

お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

平成26年2月

西東京市長 丸山 浩一

記入についてのお願い

1. **この調査は、平成26年2月1日現在でお答えください。**
2. お答えは、特に説明のない限り、あてはまる番号を○で囲んでください。
3. お答えが「その他」にあてはまる場合は、その番号を○で囲み、〔 〕内になるべく具体的にその内容をご記入ください。
4. 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印（⇒）など、次にお答えいただく質問番号への案内にご注意ください。
5. 回答はできる限り、対象者ご本人がご記入ください。なお、対象者ご本人おひとりの回答がむずかしい場合は、ご家族の方がお手伝いいただくか、対象者の意見を聞いた上でご家族の方が代わりにご記入ください。

★対象の方が何らかの事情により不在で記入できない場合には、下の枠内のいずれかに○印をつけてご返送ください。

- | | | | |
|------------|------------|-------|-----------|
| 1. 医療機関入院中 | 2. 福祉施設入所中 | 3. 転居 | 4. その他〔 〕 |
|------------|------------|-------|-----------|

調査票、返信用封筒には住所、氏名を記入する必要はありません。

記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れ、

2月24日（月）までに 〔 〕にご返送ください。

調査についてご質問などがありましたら、下記までお問い合わせください。

【連絡先】 西東京市役所 保谷庁舎 福祉部 高齢者支援課 電話042（438）4028（直通）

問1 この調査票はどなたがご記入されますか。（1つに○）

- | | | |
|-----------|--------------|-----------|
| 1. あて名ご本人 | 2. あて名ご本人の家族 | 3. その他〔 〕 |
|-----------|--------------|-----------|

最初に、あなた（あて名ご本人）のことをおたずねします

※以下の質問で「あなた」とは、あて名ご本人のことです。お間違えないようにお答えください。

問2 あなた（あて名ご本人）の性別は。（1つに○）

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問3 あなたの年齢をご記入ください。

※平成26年2月1日現在の年齢でお答えください。

	歳
--	---

問4 あなたのお住まいの地区は。（1つに○）

- | | | | |
|--------|---------|-----------|------------|
| 1. 田無町 | 7. 向台町 | 13. 富士町 | 19. ひばりが丘北 |
| 2. 南町 | 8. 芝久保町 | 14. 中町 | 20. 柴町 |
| 3. 西原町 | 9. 新町 | 15. 東町 | 21. 北町 |
| 4. 緑町 | 10. 柳沢 | 16. 泉町 | 22. 下保谷 |
| 5. 台戸町 | 11. 東伏見 | 17. 住吉町 | |
| 6. 北原町 | 12. 保谷町 | 18. ひばりが丘 | |

問5 あなたのお住まいは次のうちどれですか。（1つに○）

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1. 一戸建ての持ち家 | 5. 公的賃貸住宅（都営・市営、公団、公社） |
| 2. 一戸建ての借家 | 6. 社宅・官舎 |
| 3. 分譲マンション | 7. その他〔 〕 |
| 4. 民間賃貸アパート・マンション | |

問6 現在のお住まいで、あなたが主に生活している場所は何階ですか。（1つに○）

（例：2階建ての家屋居住で主に1階で生活している場合は「1階」、6階建てのマンションの5階に居住している場合は「5階」とお答えください）

- | | | | |
|-------|-------|-------|---------|
| 1. 1階 | 3. 3階 | 5. 5階 | 7. 7階 |
| 2. 2階 | 4. 4階 | 6. 6階 | 8. 8階以上 |

問7 現在のお住まいには、エレベーターが設置されていますか。（1つに○）

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 設置されている | 2. 設置されていない |
|------------|-------------|

問8 現在のお住まいで困っていることはありますか。(いくつでも○)

1. 玄関周りの段差で困っている
 2. 廊下や居室などの段差で困っている
 3. 屋内の階段の昇り降りが大変で困っている
 4. 浴室や浴槽が使いにくくて困っている
 5. トイレに手すりなどがなかったり洋式でなかったりするため困っている
 6. エレベーターがなくて困っている
 7. その他〔 〕
 8. 特にない

問9 あなたと同居しているご家族は。(1つに○)

1. ひとり暮らし
 2. 夫婦ふたり暮らし ⇒付問へ
 3. その他の世帯(上記の1～2以外)で、全員が65歳以上
 4. その他の世帯(上記の1～3以外)

付問 問9で「2」と回答した方におたずねします。

あなたの配偶者の年齢をご記入ください。

※平成26年2月1日現在の年齢でお答えください。

〔 〕 歳

問10 あなたは、現在収入を得ていますか。(1つに○)

1. 収入がある
 2. 収入がない

問11 年間の世帯の収入はどのくらいありますか。(1つに○)

1. 60万円未満
 2. 60万円以上120万円未満
 3. 120万円以上200万円未満
 4. 200万円以上300万円未満
 5. 300万円以上400万円未満
 6. 400万円以上500万円未満
 7. 500万円以上600万円未満
 8. 600万円以上700万円未満
 9. 700万円以上900万円未満
 10. 900万円以上1,000万円未満
 11. 1,000万円以上

問12 あなたは、暮らしの問題や福祉について、困りごとがあったとき、どこに(誰に)相談しますか。(いくつでも○)

1. 親戚
 2. 家族
 3. 近所の人
 4. 友人・知人
 5. 市の保健福祉窓口職員
 6. 保健師
 7. ホームヘルパーなど
 8. 訪問看護師
 9. ケアマネジャー
 10. 社会福祉協議会職員
 11. 民生委員・児童委員
 12. 病院の医師・ケースワーカー・看護師など
 13. 地域包括支援センターの職員
 14. 相談できる人がいない
 15. その他〔 〕

問13 次のような活動のうち、あなたができると思うものは次のどれですか。(いくつでも○)

1. 高齢者の見守りや高齢者への声かけ、安否確認
 2. 高齢者の話し相手
 3. 高齢者宅のこみ出しの手伝い
 4. 高齢者宅の買物の手伝いなど
 5. 高齢者宅で、電球等簡単な器具の取替えや雪かきなど
 6. 高齢者施設の行事の手伝い
 7. 高齢者施設の洗濯物だまの手伝い
 8. 医療機関通院時の手伝い
 9. 参加は難しい
 10. 現段階としてはなんとも言えない
 11. その他の方法で参加できる〔 〕

これからの住まい方についておたずねします

問14 あなた(あて名ご本人)はこれからも西東京市に住み続けたいと思いますか。

(1つに○)

1. ずっと住み続けたい
 2. できれば住み続けたい } ⇒付問1へ
 3. できれば住み続けたいけれど、難しい
 4. できれば転出したい ⇒付問2へ
 5. 特に考えていない ⇒問15へ

付問1 問14で「1」「2」「3」と回答した方におたずねします。

西東京市に住み続けたい理由は、次のうちどれですか。(いくつでも○)

1. 通勤・買い物などが便利だから
 2. 住まいの広さや家賃などに満足しているから
 3. 友人や知り合いが多いから
 4. 近所づきあいに満足しているから
 5. 治安・防犯などがしっかりしているから
 6. 娯楽や文化を楽しめる場所だから
 7. 医療環境や介護サービスの環境に満足しているから
 8. その他〔 〕

付問2 問14で「4」と回答した方におたずねします。

西東京市から転出したい理由は、次のうちどれですか。(いくつでも○)

1. 通勤・買い物などに不便だから
 2. 住まいの広さや家賃などに満足できないから
 3. 友人や知り合いが少ないから
 4. 近所づきあいに不満があるから
 5. 治安・防犯などが心配だから
 6. 娯楽や文化を楽しめる場所ではないから
 7. 医療環境や介護サービスの環境に満足できないから
 8. 離れて暮らす家族と一緒に住みたいから
 9. その他〔 〕

問 15 現在のお住まいを建て替えたり、リフォームをしたりして住む予定はありますか。
(1つに○)

1. 建て替えやリフォームを予定する予定である
2. 建て替えやリフォームの必要がないため、現在の住まいで住み続ける予定である
3. 建て替えやリフォームは金銭的に難しいため、現在の住まいで住み続ける予定である
4. 別の住宅を求めて住み替えるつもりである
5. その他〔 〕
6. 特に考えていない

問 16 あなたが、もし、自宅以外（サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム、特別養護老人ホーム等）に住むことになった場合、月々どの程度であれば、費用を支払うことができますか。(1つに○)

※「費用」は室料のほか、生活支援サービス（安否確認、食事提供、家事援助等）、介護保険サービスなど必要なサービスを受けた場合を想定し、自分が負担できる範囲の費用に○をつけてください。

※入居時の一時金については、除いてください。

1. 5万円未満
2. 5～10万円未満
3. 10～15万円未満
4. 15～20万円未満
5. 20～25万円未満
6. 25万円以上

問 17 あなたが、安心して暮らしていくためには、どのような生活支援サービスが必要としますか。(いくつでも○)

1. 生活相談
2. 緊急時の対応
3. 安否確認
4. 食事提供
5. 家事援助
6. その他〔 〕
7. 特にない

問 18 西東京市で生活を続けるために必要な、交通や移動手段について、どのようなことを望みますか。(3つまで○)

1. 路線バス・はなバスの本数を増やしてほしい
2. バス停がもっと家の近くにないとよい
3. バス停に、屋根をつけたりベンチを置いてほしい
4. バスの乗り降りをもっと楽にできるようにしてほしい
5. 通院などで気軽に使える送迎サービスがあると良い
6. まちなかで車椅子、電動カートなどを貸出してほしい
7. 自宅の近くに駐車場がほしい
8. その他〔 〕
9. 特にない

生きがいについておたずねします

問 19 あなた（あて名ご本人）が現在継続して行っていることは何ですか。
(いくつでも○)

1. 働くこと
2. 文章を書くこと
3. 旅行すること
4. 買い物に出かけること
5. 家族・親族とのふれあい
6. 家族の介護
7. 孫の世話
8. 近所とのつきあい
9. 公民館等での活動
10. 福祉会館・老人福祉センターでの活動
11. レクリエーション活動
12. スポーツ活動
13. ボランティア活動
14. 個人、家族、趣味の会などの仲間内の活動
15. 町内会、自治会の活動
16. 高齢者クラブ活動
17. 社会福祉協議会の活動
18. その他〔 〕
19. 特にない

問 20 あなたが今後、行いたいことは何ですか。(いくつでも○)

1. 働くこと
2. 文章を書くこと
3. 旅行すること
4. 買い物に出かけること
5. 家族・親族とのふれあい
6. 家族の介護
7. 孫の世話
8. 近所とのつきあい
9. 公民館等での活動
10. 福祉会館・老人福祉センターでの活動
11. レクリエーション活動
12. スポーツ活動
13. ボランティア活動
14. 個人、家族、趣味の会などの仲間内の活動
15. 町内会、自治会の活動
16. 高齢者クラブ活動
17. 社会福祉協議会の活動
18. その他〔 〕
19. 特にない

問 21 あなたが、高齢者の生きがいづくりで、今後、市に特に力を入れて欲しいものは何ですか。(3つまで○)

1. 老人福祉センター・福祉会館の充実・建設
2. 高齢者スポーツ活動の充実
3. 高齢者文化・教養活動の充実
4. 高齢者クラブの育成
5. 共通の趣味や友だちをつくる場の紹介
6. ボランティア活動の紹介
7. 文化・学習情報の提供
8. 高齢者向け生涯学習の充実
9. パソコン教室の実施
10. 就労機会の拡大
11. 話仲間づくり
12. その他〔 〕
13. 特にない

問 22 あなたは現在、どのような悩みや不安がありますか。(いくつでも○)

1. 健康について不安がある
2. 親しい友人がいない
3. 近所との交流がない
4. 家族関係が良くない
5. 経済的に苦しい
6. 身のまわりの世話をしてくれる人がいない
7. 財産管理に不安がある
8. その他〔 〕
9. 特にない

問 23 外出の機会は、どれだけありますか。(1つに○)

1. ほぼ毎日 2. 週3～4回 3. 週1～2回 4. ほとんど外出しない

認知症についておたずねします

問 24 現在、あなた（あて名ご本人）は認知症に対する不安はありますか。(1つに○)

1. ある 3. あまりない
2. 少しある 4. ない

問 25 将来、もしも認知症状態になった場合、心配なことは何ですか。(1つに○)

1. 財産管理 4. 介護サービスが受けられるか心配
2. 世話をしてくれる人がいない 5. 心配なことがない
3. 家族の負担が増える 6. その他〔 〕

問 26 あなた自身や家族が認知症になった場合、だれに相談しますか。(いくつでも○)

1. 家族 3. かかりつけ医 5. 誰にも相談しない
2. 友人 4. 地域包括支援センター 6. その他〔 〕

問 27 現在、西東京市では、認知症の正しい知識をもち、認知症の人や家族を応援しながら、暮らしやすいまちづくりを行うボランティア「認知症サポーター」を一人でも増やそう、という運動をしています。このような「認知症サポーター」の制度について、あなたは知っていますか。(1つに○)

1. よく知っている 3. 聞いたことはあるが、あまり知らない
2. ある程度知っている 4. 全く知らない

問 28 「認知症サポーター」の制度について、あなたは関心がありますか。(1つに○)

1. 関心がある 3. あまり関心がない
2. 少し関心がある 4. 関心がない

問 29 認知症になっても喜ばしいと思えますか。(○はいくつでも)

1. 認知症のケアに詳しい専門家が增えるとよい
2. 近所ぐるみで、こみ出しや掃除など、生活を支えるしくみをつくるとよい
3. 地域の商店などが、高齢者の外出などを見守るしくみをつくるとよい
4. 警察、消防などが、緊急時に対応できるしくみがあるとよい
5. 悪質商法などから高齢者を守る、権利擁護のしくみが広まるとよい
6. 介護する家族を支援する、相談窓口が充実するとよい
7. 認知症の高齢者が生活できるグループホームが、充実するとよい
8. 地域の中に、「通い」や「泊まり」など、さまざまなサービスが受けられる場所があるとうい
9. その他〔 〕
10. 特にない

健康管理についておたずねします

問 30 あなた（あて名ご本人）の健康状態は次のどれに該当しますか。(1つに○)

1. 健康である 4. 病気がちで、寝ていることが多い
2. おおむね健康である 5. 病気で、ほとんど寝たきりである
3. 病気がちだが、寝ていることは少ない 6. その他〔 〕

問 31 だんだん体調を維持するために行っていることはありますか。(1つに○)

1. ある ⇒付問 1. 2へ 2. ない ⇒問 32へ

付問 1 問 31 で「1」と回答した方におたずねします。

あなたがだんだん体調を維持するためにしていることは何ですか。
(いくつでも○)

1. 定期的に運動している
2. 食生活や食事のバランスなどに気をつけ、よくかんで食べている
3. 規則正しい生活をするように心がけている
4. 病気の予防法などについて、テレビ・本・講演会などを利用して知識を深めている
5. かかりつけの医師・歯科医師に、健康チェックをしてもらうようにしている
6. 趣味活動などを行い、ストレスをためないようにしている
7. その他〔 〕

付問 2 問 31 で「1」と回答した方におたずねします。

あなたは、介護を必要としない健康な生活を送るために、または介護が必要な状態を悪化させないために、市から支援してほしいと思うことはありますか。(いくつでも○)

1. 広報や健康教室などによる情報や知識の提供
2. 介護予防に関する相談窓口の充実
3. 心身の機能に関する健康診断の実施
4. 一人ひとりにあった介護予防プラン（生活等の改善プラン）の作成
5. 介護予防のための教室・講演会などの開催
6. さまざまな趣味・余暇活動や地域活動などの場所や機会の提供
7. 健康体操などの場所や機会の提供
8. その他〔 〕
9. 特にない

医療の状況と介護予防についておたずねします

問 32 現在の医療機関の受診状況についておたずねします。あなた（あて名ご本人）は治療中の病気はありますか。(1つに○)

1. ある ⇒付問へ 2. ない ⇒問 33へ

付問 問 32 で「1」と回答した方におたずねします。

① 現在、定期的に受診している医療機関は何か所ですか。

か所

② 受診している診療科は、(いくつでもO)

1. 内科	5. 耳鼻咽喉科	9. 精神科
2. 外科	6. 皮膚科	10. その他
3. 整形外科	7. 歯科	(
4. 眼科	8. 脳神経外科)

問 33 あなたが抱えている「かかりつけ医」のイメージは次のうちどれですか。(1つにO)

1. 大学病院など大きな病院の医師	3. 入院設備のない診療所の医師
2. 入院設備のある中小規模の病院の医師	4. その他(
)

問 34 「かかりつけ医」「かかりつけ歯科医」「かかりつけ薬局」についておたずねします。

(1) あなたには、「かかりつけ医」がいますか。(1つにO)

1. いる	2. いない	3. わからない
-------	--------	----------

(2) あなたには、「かかりつけ歯科医」がいますか。(1つにO)

1. いる	2. いない	3. わからない
-------	--------	----------

(3) あなたには、「かかりつけ薬局」がいますか。(1つにO)

1. いる	2. いない	3. わからない
-------	--------	----------

問 35 あなたは、脳卒中の後遺症や末期がんなどで長期療養が必要になった場合、病院等への入院・入所はしないで、自宅で生活したいと思いますか。(Oは1つ)

1. そう思う ⇒ 付問 1 へ	} ⇒ 問 36 へ
2. そう思わない	
3. その他(
4. わからない	

付問 1 問 35 で「1」と回答した方におたずねします。

あなたは、在宅での療養は実現可能だと思いますか。(Oは1つ)

1. 難しいと思う ⇒ 付問 2 へ	} ⇒ 問 36 へ
2. 可能だと思う	
3. その他(
4. わからない	

付問 2 付問 1 で「1」と回答した方におたずねします。

それはなぜですか。(Oは3つまで)

1. 家族等に負担をかけるから	
2. 急に病状が変わったときの対応が不安だから	
3. 在宅でどのような医療や介護を受けられるかわからないから	
4. 療養できる居住環境が整っていないから	
5. 介護してくれる家族がいらないから	
6. 在宅医療や介護のサービス体制が整っていないから	
7. その他(
)

問 36 スポーツ施設等の利用状況についておたずねします。

(1) 健康維持のために、以下のような場所（施設）を利用していますか。(いくつでもO)

1. 市立のスポーツセンター・体育館
2. 公民館
3. 民間のスポーツジム・カルチャーセンター
4. 公園・緑道等の屋外
5. 福祉会館・老人福祉センター
6. その他(
7. 一つもない
)

(2) 健康維持のために、今後利用する（したい）場所（施設）はどこですか。(いくつでもO)

1. 市立のスポーツセンター・体育館
2. 公民館
3. 民間のスポーツジム・カルチャーセンター
4. 公園・緑道等の屋外
5. 福祉会館・老人福祉センター
6. その他(
7. 特にない
)

問 37 国では、介護認定を受ける前からの介護予防が重要と位置付け、次のような介護予防サービスが実施されています。今後、あなたが利用したいサービスはどれですか。一部、市でも実施しているサービスもあります。(いくつでもO)

1. 転倒骨折予防教室
2. 日常生活を送るための訓練（炊事・洗濯等の家事訓練を中心とした教室）
3. 高齢者食生活改善（高齢者の食生活教室等の開催、食生活改善推進委員等の訪問による食生活改善の支援等）
4. 食の自立支援事業（調理が困難な独居等の高齢者に対し定期的に居宅を訪問し、食事を提供するとともに安否確認を行う）
5. 歯科健康診査（歯の検査、歯周疾患検査、咬合検査などを行う）
6. 認知症予防のために、脳トレーニングの計算やゲームを行う教室
7. 足指・爪のケアに関する事業（足・指のケアの重要性と適切なケア方法の普及をはかる教室）
8. 運動指導事業（生活習慣病予防のための運動指導）
9. 筋力向上トレーニング事業（高齢者向けの運動機能の向上トレーニング）
10. 家族介護者の心身のリフレッシュを図る支援
11. 成年後見人制度利用支援（認知症高齢者などの権利を守るため、後見人等の審判の申立経費等に対し補助を行う）
12. 特にない
13. わからない

問 38 あなたは、今後西東京市が取り組む介護保険・保健福祉サービスとして、次のどれを優先して充実すべきとお考えですか。(5つまで)

1. 介護が必要な状態にならないための予防に関する事業
2. 在宅での介護を支援する、ホームヘルパーの派遣や入浴などのサービス
3. 在宅で介護を受ける方のための通所で行うデイサービス
4. 健康診査・がん検診などの保健サービス
5. 機能訓練・訪問指導・相談など、健康維持のためのサービス
6. 老人ホームなど、常時介護が必要な方のための入所施設
7. 介護を必要とする方を短期間預かりする短期入所施設(ショートステイ)
8. 見守りが必要な人のための生活支援型施設(サービス付き高齢者向け住宅等)
9. 地域包括支援センターなど、身近なところで相談など行える施設
10. 介護老人保健施設(老人保健施設)など、リハビリなどを行うための入所施設
11. 福祉会館など、健康の推進や趣味・教養向上のための施設
12. 住診やかかりつけ医・歯科医、訪問看護など、医療の充実
13. 保健・医療・福祉に関する情報提供や案内の充実
14. 趣味や教育の向上、生きがい対策など気軽に参加できる催し物・講座等の充実
15. ホランティアなど、高齢者の地域活動参加の促進や支援
16. 高齢者の就労支援
17. 認知症高齢者やその家族の支援
18. 認知症などで、判断能力が低下した方の財産保全等権利擁護に関する取り組み
19. その他〔 〕

問 39 福祉に関する情報などを、どのような方法で知りたいと思いますか(なお、この設問の選択肢には現在行われていないサービスも含まれています)。

- (いくつでも)
1. 市の相談窓口
 2. 地域包括支援センター
 3. 民生委員・児童委員
 4. 市報などのお知らせ
 5. 電話・ファックスサービス
 6. 市のホームページ
 7. その他のホームページ
 8. 施設の職員
 9. 公民館や福祉会館など施設の掲示板
 10. 町内の回覧板などのお知らせ
 11. 老人会などのお知らせ
 12. 福祉の便覧の定期配布
 13. 社会福祉協議会
 14. その他〔 〕

介護の経験と高齢者虐待についておたずねします

問 40 あなた(あて各ご本人)が中心になって面倒をみている両親や親せきの方などはいますか。(1つに○)

1. い る ⇒付問 1、2へ 2. いない ⇒問 41へ

付問 1 問 40で「1」と回答した方におたずねします。
どのような形で面倒をみていますか。(1つに○)

1. 一緒に暮らしながら面倒をみている
2. 別世帯で暮らしているが、訪問して面倒をみている
3. 施設に入居させている(具体的な施設形態: 〔 〕)
4. その他〔 〕

付問 2 問 40で「1」と回答した方におたずねします。
面倒をみていくうえで困っていることはありますか。(1つに○)

1. ある
〔 具体的に: 〕
2. ない

問 41 以下の中で、あなたが高齢者虐待と思うことは何ですか。(いくつでも○)

1. 身体に外傷が生じ、又は生じる恐れのある暴力を加えること
2. 衰弱させるような著しい減食、又は長時間の放置その他擁護すべき義務を著しく怠ること
3. 著しい暴言、又は著しく拒絶的な対応その他著しい心理的外傷を与える言動を行うこと
4. わいせつな行為をすること、又はさせること
5. 財産を不当に処分すること、その他高齢者から不当に財産上の利益を得ること
6. その他〔 〕

問 42 あなたは今までに、高齢者虐待と疑わしい状況を見たり、気づいたりしたことがありますか。(1つに○)

1. ある 2. ない 3. わからない

問 43 高齢者虐待に気づいたときに通報先又は相談先を知っていますか。(1つに○)

1. 知っている 2. 知らない

問 44 高齢者虐待が起きる理由や背景はどのようなことだと思いますか。(いくつでも○)

1. 介護をする家族が介護に疲れ、ストレスがたまるから
2. 介護を受ける側が介護者に過大な要求をするから
3. 介護をする側が暴力で問題を解決しようとするから
4. 高齢者や若いに対する理解が不足しているから
5. 認知症の症状に対する理解が不足しているから
6. 高齢者虐待に対する理解や社会的認識が不足しているから
7. 対応する専門機関がどのようなところかわからないから
8. 家族や親戚が高齢者の介護に無関心だから
9. 地域の人々が高齢者の介護に無関心だから
10. その他〔 〕
11. わからない

介護保険制度についておたずねします

問 45 あなた（あて名ご本人）は、「地域包括支援センター」を知っていますか。（1つに○）

※地域包括支援センターは、高齢者の方が住み慣れた地域で暮らし続けることができよう、介護・福祉・健康・医療など様々な面から関係機関との連携をとりながら、総合的に支えていく機関です。

1. 知っている ⇒付問 1. 2へ 2. 知らない ⇒問 46へ

付問 1 問 45 で「1」と回答した方におたずねします。

あなたのお住まいの地区を担当している「地域包括支援センター」の場所を知っていますか。（1つに○）

1. 知っている 2. 知らない

付問 2 問 45 で「1」と回答した方におたずねします。

あなたが、「地域包括支援センター」の事業内容について、知っていることを次の中からお選びください。（いくつでも○）

1. 高齢者や家族の総合的な相談・支援を行っている
 2. 高齢者の尊厳ある生活を守るための権利擁護業務を行っている
 3. ケアマネジャーの活動の環境整備や支援を行っている
 4. 介護予防に関する業務を行っている
 5. どのようなことをやっているのかわからない

問 46 今後、もし介護が必要な状態になった場合、あなたはどのようになりたいとお考えですか。（1つに○）

1. 在宅で、介護保険サービスを利用しながら生活したい
 2. 在宅で、家族などの介護を中心に生活したい
 3. 在宅で、介護保険サービスと家族の介護を組み合わせた生活がしたい
 4. 老人ホームや施設・病院などに入所（入院）し、介護を受けたい
 5. その他（ ）
 6. わからない

問 47 あなたが、「介護保険制度」全体をよりよくするため、西東京市が力を入れるべきだと思うことは、次のどれですか。（3つまで○）

1. サービス事業者の質の向上につとめること
 2. 介護支援専門員やヘルパーなどの人材を育成すること
 3. 在宅サービスの充実を力を入れること
 4. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）などの施設をふやしていくこと
 5. 利用料や保険料を補助するなど、利用者の費用負担を軽減すること
 6. 介護保険サービスが利用しやすいよう、啓発・PRを進めること
 7. 億たきりにならないよう、介護予防サービスに力を入れること
 8. 地域全体で介護を支援する基盤づくりを行うこと
 9. 困ったときに気軽に介護相談ができる場所をふやすこと
 10. 家族介護の負担を軽減すること
 11. その他（ ）
 12. わからない

問 48 市の高齢者保健福祉サービスや介護保険制度について、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

調査にご協力いただき誠にありがとうございました。

記入もれがないかどうかもう一度お確かめのうえ、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れて、**2月24日（月）まで**にお近くのポストに投函してください。

西東京市高齢者保健福祉計画策定のための 市民アンケート調査 ご協力のお願い

市民の皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

西東京市では、平成26年度に見直しを予定しております「西東京市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第6期）」の基礎資料として、皆さまのご意見やご要望を幅広くお聴きするため、保健・福祉全般の調査を実施することになりました。

この調査は、西東京市にお住まいの55～64歳の方の中から、無作為に1,500人を選ばせていただき、ご意見やご要望をおうかがいするものです。なお、ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理し、調査目的以外に使用することはありません。

お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

平成26年2月

西東京市長 丸山 浩一

記入についてのお願い

1. **この調査は、平成26年2月1日現在でお答えください。**
2. お答えは、特に説明のない限り、あてはまる番号を○で囲んでください。
3. お答えが「その他」にあてはまる場合は、その番号を○で囲み、〔 〕内になるべく具体的にその内容をご記入ください。
4. 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印（⇒）など、次にお答えいただく質問番号への案内にご注意ください。
5. 回答はできる限り、対象者ご本人がご記入ください。なお、対象者ご本人おひとりの回答がむずかしい場合は、ご家族の方がお手伝いいただくか、対象者の意見を聞いた上でご家族の方が代わりにご記入ください。

★対象の方が何らかの事情により不在で記入できない場合には、下の枠内のいずれかに○印をつけてご返送ください。

1. 医療機関入院中 2. 福祉施設入所中 3. 転居 4. その他〔 〕

調査票、返信用封筒には住所、氏名を記入する必要はありません。

記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れ、

2月24日（月）までに 〔 〕 にご返送ください。

調査についてご質問などがありましたら、下記までお問い合わせください。

【連絡先】 西東京市役所 保谷庁舎 福祉部 高齢者支援課 電話042（438）4102（直通）

問1 この調査票はどなたがご記入されますか。（1つに○）

1. あてご本人 2. あてご本人の家族 3. その他〔 〕

最初に、あなた（あてご本人）のことについておたずねします

※以下の質問で「あなた」とは、あてご本人のことです。お間違えないようにお答えください。

問2 あなた（あてご本人）の性別は。（1つに○）

1. 男性 2. 女性

問3 あなたの年齢をご記入ください。

※平成26年2月1日現在のお年齢でお答えください。

歳

問4 あなたのお住まいの地区は。（1つに○）

- | | | | |
|--------|---------|-----------|------------|
| 1. 田無町 | 7. 向台町 | 13. 富士町 | 19. ひばりが丘北 |
| 2. 南町 | 8. 芝久保町 | 14. 中町 | 20. 栄町 |
| 3. 西原町 | 9. 新町 | 15. 東町 | 21. 北町 |
| 4. 緑町 | 10. 柳沢 | 16. 泉町 | 22. 下保谷 |
| 5. 谷戸町 | 11. 東伏見 | 17. 住吉町 | |
| 6. 北原町 | 12. 保谷町 | 18. ひばりが丘 | |

問5 あなたのお住まいは次のうちどれですか。（1つに○）

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1. 一戸建ての持ち家 | 5. 公的賃貸住宅（都営・市営、公団、公社） |
| 2. 一戸建ての借家 | 6. 社宅・官舎 |
| 3. 分譲マンション | 7. その他〔 〕 |
| 4. 民間賃貸アパート・マンション | |

問6 現在のお住まいで、あなたが主に生活している場所は何階ですか。（1つに○）

（例：2階建ての家屋居住で主に1階で生活している場合は「1階」、6階建てのマンションの5階に居住している場合は「5階」とお答えください）

- | | | | |
|-------|-------|-------|---------|
| 1. 1階 | 3. 3階 | 5. 5階 | 7. 7階 |
| 2. 2階 | 4. 4階 | 6. 6階 | 8. 8階以上 |

問7 現在のお住まいには、エレベーターが設置されていますか。（1つに○）

1. 設置されている 2. 設置されていない

問8 現在のお住まいで困っていることはありますか。(いくつでも○)

1. 玄関周りの段差で困っている
2. 廊下や居室などの段差で困っている
3. 屋内の階段の昇り降りが大変で困っている
4. 浴室や浴槽が使いにくくて困っている
5. トイレに手すりなどがなかったり洋式でないなどで困っている
6. その他〔 〕
7. 特になし

問9 あなたと同居しているご家族は。(1つに○)

1. ひとり暮らし
2. 夫婦ふたり暮らし
3. 同居世帯(子どもや孫など多世代の家族などと同居)
4. その他の世帯(1～3以外)

問10 あなたは、現在収入を得ていますか。(1つに○)

1. 収入がある
2. 収入がない

問11 年間の世帯の収入はどのくらいありますか。(1つに○)

1. 60万円未満
2. 60万円以上 120万円未満
3. 120万円以上 200万円未満
4. 200万円以上 300万円未満
5. 300万円以上 400万円未満
6. 400万円以上 500万円未満
7. 500万円以上 600万円未満
8. 600万円以上 700万円未満
9. 700万円以上 900万円未満
10. 900万円以上 1,000万円未満
11. 1,000万円以上

地域とのかかわりについておたずねします

問12 あなた(あて名ご本人)は日頃、隣近所とどの程度のおつきあいをしていますか。(1つに○)

1. お茶のみや手助けなど、家族同様に、頻繁に家の中まで行き来している
2. 玄関先での簡単な頼みごとや、ものの貸し借りなど、気軽に助け合っている
3. 外で会うと、世間話や情報交換など、よく立ち話をする程度でありである
4. 顔を合わせると、挨拶をしあう程度の付き合いである
5. 町内会等の集まりで顔を合わせる程度であり、ほとんど話したことがない
6. 顔も良くかわからず、ほとんどつきあいがいい

問13 あなたは、地域の行事や活動には、どの程度参加していますか。(1つに○)

1. どの行事にも進んで積極的に参加・協力する
 2. 関心があるものについては積極的に参加・協力する
 3. 頼まれれば参加・協力する
 4. 頼まれても余り参加・協力しない
 5. まったく参加しない
- ⇒付問1、2へ
- ⇒問14へ

付問1 問13で「1」「2」「3」と回答した方におたずねします。

あなたは現在、どのような活動に参加していますか。具体的に記入してください。

付問2 問13で「1」「2」「3」と回答した方におたずねします。

地域の活動に参加している理由は次のうちどれですか。(いくつでも○)

1. 地域とのかかわりをもちたいから
2. 地域の役に立ちたいから
3. 家族が参加しているから
4. 友人に勧められたから
5. 生きがい、勉強になるから
6. 代々、この地域に住んでいるから
7. お互いさまたから
8. その他〔 〕

問14 次のような活動のうち、あなたがこれから参加できるものは、つぎのどれですか。(いくつでも○)

1. 高齢者の見守りや高齢者への声かけ、安否確認
2. 高齢者の話し相手
3. 高齢者宅のこみ出しの手伝い
4. 高齢者宅の買物の手伝いなど
5. 高齢者宅で、電球等簡単な器具の取替えや雪かきなど
6. 高齢者施設の行事の手伝い
7. 高齢者施設の洗濯物だまの手伝い
8. 医療機関通院時の手伝い
9. その他(方法で参加できる〔 〕)
10. 現段階としてはなんとも言えない
11. 参加は難しい

問15 高齢社会を支えていくためにボランティア活動が必要だと思いますか。(1つに○)

1. 必要だと思う
2. 必要ではない
3. わからない

問16 あなたご自身は高齢社会を支えていくためのボランティア活動やコミュニティ・ビジネスなどをやってみたいと思いますか。(1つに○)

※コミュニティ・ビジネスとは、住民が主体となって、地域にある資源(人材・もの・文化等)を活かしながら、地域のニーズや課題の解決を、事業を通じて取組むビジネスのことです。

1. やってみたい
2. やってみたいとは思わない
3. わからない

問17 どのような地域であれば、参加・協力ができますか。(1つに○)

1. 西東京市ならどこでも
2. 特定の町内なら(徒歩5～6分程度)
3. 団地の同じ棟や隣近所くらいなら
4. 地域にはこだわらない
5. その他〔 〕

これからの住まい方についておたずねします

問18 あなた(あて名ご本人)はこれからも西東京市に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

1. ずっと住み続けたい
 2. できれば住み続けたい
 3. できれば住み続けたいけれど、難しい
 4. できれば転出したい
- ⇒付問1へ
- ⇒付問2へ

5. 特に考えていない ⇒問19へ

付問1 問18で「1」「2」「3」と回答した方におたずねします。

西東京市に住み続けたい理由は、次のうちどれですか。(いくつでも○)

1. 通勤・買い物などが便利だから
2. 住まいの広さや家賃などに満足しているから
3. 友人や知り合いが多いから
4. 近所づきあいに満足しているから
5. 治安・防犯などがしっかりしているから
6. 娯楽や文化を楽しめる場所だから
7. 医療環境や介護サービスの環境に満足しているから
8. その他〔 〕

付問2 問18で「4」と回答した方におたずねします。

西東京市から転出した理由は、次のうちどれですか。(いくつでも○)

1. 通勤・買い物などに不便だから
2. 住まいの広さや家賃などに満足できないから
3. 友人や知り合いが少ないから
4. 近所づきあいに不満があるから
5. 治安・防犯などが心配だから
6. 娯楽や文化を楽しめる場所ではないから
7. 医療環境や介護サービスの環境に満足できないから
8. 離れて暮らす家族と一緒に住みたいから
9. その他〔 〕

問19 高齢期を迎えるにあたって、現在のお住まいを建て替えたり、リフォームしたりして住む予定はありますか。(1つに○)

1. 建て替えやリフォームを予定である
2. 建て替えやリフォームの必要がないため、現在の住まいで住み続ける予定である
3. 建て替えやリフォームは金銭的に難しいため、現在の住まいで住み続ける予定である
4. 別の住宅を求めて住み替えるつもりである
5. その他〔 〕
6. 特に考えていない

問20 あなたが、もし、自宅以外（サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム、特別養護老人ホーム等）に住むことになった場合、月々どの程度であれば、費用を支払うことができますか。(1つに○)

※「費用」は室料のほか、生活支援サービス（安否確認、食事提供、家事援助等）、介護保険サービスなど必要なサービスを受けた場合を想定し、自分が負担できる範囲の費用に○をつけてください。

※入居時の一時金については、除いてください。

- | | | |
|-------------|--------------|--------------|
| 1. 5万円未満 | 3. 10～15万円未満 | 5. 20～25万円未満 |
| 2. 5～10万円未満 | 4. 15～20万円未満 | 6. 25万円以上 |

問21 あなたが、安心して暮らしていくためには、どのような生活支援サービスが必要としますか。(いくつでも○)

1. 生活相談
2. 緊急時の対応
3. 食事提供
4. 家事援助
5. 食生活支援
6. 生活相談
7. 特にない

3. 安否確認 6. その他〔 〕

問22 西東京市で生活を続けていくために必要な、交通や移動手段について、どのようなことを望みますか。(3つまで○)

1. 路線バス・はなバスの本数を増やしてほしい
2. バス停がもっと家の近くにあるとよい
3. バス停に、屋根をつけたベンチを置いてほしい
4. バスの乗り降りをもっと楽にできるようにしてほしい
5. 通院などで気軽に使える送迎サービスがあると良い
6. まちなかで車椅子、電動カートなどを貸出してほしい
7. 自宅の近くに駐車場がほしい
8. その他〔 〕
9. 特にない

生きがいについておたずねします

問23 あなた（あて各ご本人）が現在継続して行っていることは何ですか。(いくつでも○)

1. 働くこと
2. 文章を書くこと
3. 旅行すること
4. 買い物に出かけること
5. 家族・親族とのふれあい
6. 家族の介護
7. 孫の世話
8. 近所とのつきあい
9. 公民館等での活動
10. 福祉会館・老人福祉センターでの活動
11. レクリエーション活動
12. スポーツ活動
13. ボランティア活動
14. 個人、家族、趣味の会などの仲間内の活動
15. 町内会、自治会の活動
16. 高齢者クラブ活動
17. 社会福祉協議会の活動
18. その他〔 〕
19. 特にない

問24 あなたが今後、行いたいことは何ですか。(いくつでも○)

1. 働くこと
2. 文章を書くこと
3. 旅行すること
4. 買い物に出かけること
5. 家族・親族とのふれあい
6. 家族の介護
7. 孫の世話
8. 近所とのつきあい
9. 公民館等での活動
10. 福祉会館・老人福祉センターでの活動
11. レクリエーション活動
12. スポーツ活動
13. ボランティア活動
14. 個人、家族、趣味の会などの仲間内の活動
15. 町内会、自治会の活動
16. 高齢者クラブ活動
17. 社会福祉協議会の活動
18. その他〔 〕
19. 特にない

問25 あなたは現在、どのような悩みや不安がありますか。(いくつでも○)

1. 健康について不安がある
2. 親しい友人がいない
3. 近所との交流がない
4. 家族関係が良くない
5. 身のまわりの世話をしてくれる人がいない
6. 財産の管理に不安がある
7. その他〔 〕
8. 特にない

5. 経済的に苦しい

健康管理についておたずねします

問 26 あなた（あて名ご本人）の健康状態は次のどれに該当しますか。（1つに○）

- 健康である
 2. おおむね健康である
 3. 病気がちだが、寝ていることは少ない
 4. 病気がちで、寝ていることが多い
 5. 病気で、ほとんど寝たきりである
 6. その他〔 〕

問 27 あなたは、ふだん体調を維持するためにやっていることはありますか。（1つに○）

1. ある ⇒付問へ
 2. ない ⇒問 28 へ

付問 問27で「1」とお答えの方に「おたずねします。」

あなたがふだん体調を維持するためにやっていることは何ですか。（いくつでも○）

1. 定期的に運動している
 2. 食生活や食事のバランスなどに気をつけ、よくかんで食べている
 3. 規則正しい生活をするように心がけている
 4. 病気の予防法などについて、テレビ・本・講演会などを利用して知識を深めている
 5. かかりつけの医師・歯科医師に、健康チェックをしてもらうようになっている
 6. 趣味活動などを行い、ストレスをためないようにしている
 7. その他〔 〕

問 28 あなたは、次の中で健康維持等のために知りたい情報がありますか。（いくつでも○）

1. ガンや生活習慣病の予防
 2. 食生活
 3. 運動・スポーツ
 4. 寝たきり予防
 5. 認知症の予防
 6. 介護予防
 7. 健康維持等に関する催しなどの情報
 8. 歯や入れ歯の手入れ、歯周疾患の予防
 9. その他〔 〕

問 29 現在の医療機関の受診状況についておたずねします。治療中の病気はありますか。（1つに○）

1. ある ⇒付問へ
 2. ない ⇒問30へ

付問 問29で「1」と回答した方におたずねします。

① 現在、定期的に受診している医療機関は何か所ですか。

か所

② 受診している診療科は。（いくつでも○）

1. 内科
 2. 外科
 3. 整形外科
 4. 眼科
 5. 耳鼻咽喉科
 6. 皮膚科
 7. 歯科
 8. 脳神経外科
 9. 精神科
 10. その他〔 〕

問 30 「かかりつけ医」「かかりつけ歯科」「かかりつけ薬局」についておたずねします。

※ 「かかりつけ医」「かかりつけ歯科」「かかりつけ薬局」とは、あなたの生活の状況などを理解していて、健康や病気のことを日ごろから、気軽に相談できるような身近な開業医、歯科医、薬局をさします。

(1) あなたには、「かかりつけ医」がいますか。（1つに○）

1. いる
 2. いない
 3. わからない

(2) あなたには、「かかりつけ歯科医」がいますか。（1つに○）

1. いる
 2. いない
 3. わからない

(3) あなたには、「かかりつけ薬局」がいますか。（1つに○）

1. いる
 2. いない
 3. わからない

問 31 あなたは、脳卒中の後遺症や末期がんなどで長期療養が必要になった場合、病院等への入院・入所はしないで、自宅で生活したいと思いますか。（○は1つ）

1. そう思う ⇒付問 1 へ
 2. そう思わない
 3. その他〔 〕
 4. わからない
 } ⇒問 32 へ

付問 1 問 31 で「1」と回答した方におたずねします。

あなたは、在宅での療養は実現可能だと思いますか。（○は1つ）

1. 難しいと思う ⇒付問 2 へ
 2. 可能だと思う
 3. その他〔 〕
 4. わからない
 } ⇒問 32 へ

付問 2 付問 1 で「1」と回答した方におたずねします。

それはなぜですか。（○は3つまで）

1. 家族等に負担をかけるから
 2. 急に病状が変わったときの対応が不安だから
 3. 在宅でのような医療や介護を受けられるかわからないから
 4. 療養できる居住環境が整っていないから
 5. 介護してくれる家族がいないから
 6. 在宅医療や介護のサービスの体制が整っていないから
 7. その他〔 〕

問 32 あなたは、将来のご自分の健康状態に不安がありますか。（1つに○）

1. 不安がある
 2. 少し不安がある
 3. あまり不安はない
 4. 不安はない

介護の経験や介護予防、保健福祉サービスについておたずねします

問 33 あなた(あて名ご本人)が中心になって面倒をみている両親や親せきの方などはいますか。(1つに○)

1. い る ⇒付問1. 2へ 2. いない ⇒問 34へ

付問1 問33で「1」とお答えの方におたずねします。
どのような形で面倒をみていますか。(1つに○)

1. 一緒に暮らしながら面倒をみている
2. 別世帯で暮らしているが、訪問して面倒をみている
3. 施設に入居させている(具体的な施設形態：
)
4. その他()

付問2 問33で「1」とお答えの方におたずねします。
面倒をみていくうえで困っていることはありますか。(1つに○)

1. ある
(具体的に：
)
2. ない

問 34 現在、もしくは過去に、認知症のある人の介護をした経験の中で大変だったのはどのようなことですか。(いくつでも○)

1. 認知症に対する偏見など、社会全体の理解が不足していたこと
2. 認知症に対する、介護関係者の理解が不足していたこと
3. 認知症の人に対する介護の仕方がわからなかったこと
4. 認知症の人が、利用できるサービスが少なかったこと
5. 認知症の人とその家族を、地域で支えるしくみがなかったこと
6. 身近に、認知症に詳しい医療機関が少なかったこと
7. 家族が身体的、精神的に疲れたこと
8. その他()
9. 認知症のある人の介護をした経験はない

問 35 あなたが将来認知症状態になった場合、自分の財産の管理で心配なことは何ですか。(いくつでも○)

1. 財産を管理してくれる家族等がないこと
2. 財産等をだましまし取られる可能性があること
3. そのようなことを相談する相手がいないこと
4. 法的なことがわからぬこと
5. その他()
6. 心配なことはない

問 36 認知症になっても暮らしていけるようにするために、まさにどのようなしくみがあると良いと思いますか。(いくつでも○)

1. 認知症のケアに詳しい専門家が増えることよい
2. 近所ぐるみで、こみ出しや掃除など、生活を支えるしくみをつくるとよい
3. 地域の商店などが、高齢者の外出などを見守るしくみをつくるとよい
4. 警察、消防などが、緊急時に対応できるしくみがあるとよい
5. 悪質商法などから高齢者を守る、権利擁護のしくみが広まるとよい
6. 介護する家族を支援する、相談窓口が充実するとよい
7. 認知症の高齢者が生活できるグループホームが、充実するとよい
8. 地域の中に、「通い」や「泊まり」など、さまざまなサービスが受けられる場所があることよい
9. その他()
10. 特にない

問 37 現在、西東京市では、認知症の正しい知識をもち、認知症の人や家族を応援しながら、暮らしやすいまちづくりを行うボランティア「認知症サポーター」を一人でも増やそう、という運動をしています。このような「認知症サポーター」の制度について、あなたは知っていますか。(1つに○)

1. よく知っている 3. 聞いたことがあるが、あまり知らない
2. ある程度知っている 4. 全く知らない

問 38 「認知症サポーター」の制度について、あなたは関心がありますか。(1つに○)

1. 関心がある 3. あまり関心がない
2. 少し関心がある 4. 関心がない

問 39 認知症と認知症予防について、知りたいこと、参加したいもののはつぎのうちどれですか。(いくつでも○)

1. 書籍や資料で認知症の基本的なことを知りたい
2. 認知症サポーター講座に参加して、認知症の人への接し方を知りたい
3. 講演会や勉強会などに参加して、認知症の詳しいことを知りたい
4. 認知症予防の方法を知って実践したい
5. 認知症の人や家族の人たちと交流したい
6. 認知症に詳しい病院や相談機関について知りたい
7. 知りたいこと・参加したいものはない
8. その他()

問 40 国では、介護認定を受ける前からの介護予防が重要と位置付け、次のような介護予防サービスが実施されています。今後、あなたが利用したいサービスはどれですか。一部、市でも実施しているサービスもあります。(いくつでも)

1. 転倒骨折予防教室
2. 日常生活を送るための訓練 (炊事・洗濯等の家事訓練を中心とした教室)
3. 高齢者生活改善 (高齢者の食生活教室等の開催、食生活改善推進委員等の訪問による食生活改善の支援等)
4. 食の自立支援事業 (調理が困難な独居等の高齢者に対し定期的に居宅を訪問し、食事を提供するのとともに安否確認を行う)
5. 歯科健康診査 (歯の検査、歯周疾患検査、咬合検査などを行う)
6. 認知症予防のために、脳トレーニングの計算やゲームを行う教室
7. 足指・爪のケアに関する事業 (足・指のケアの重要性と適切なケア方法の普及をはかる教室)
8. 運動指導事業 (生活習慣病予防のための運動指導)
9. 筋力向上トレーニング事業 (高齢者向けの運動機能の向上トレーニング)
10. 家族介護者の心身のリフレッシュを図る支援
11. 成年後見人制度利用支援 (認知症高齢者などの権利を守るため、後見人等の審判の申立経費等) に対し補助を行う)
12. 特にない
13. わからない

問 41 あなたは、今後西東京市が取り組む介護保険・保健福祉サービスとして、次のどれを優先して充実すべきとお考えですか。(5つまで)

1. 介護が必要な状態にならないための予防に関する事業
2. 在宅での介護を支援する、ホームヘルパーの派遣や入浴などのサービス
3. 在宅で介護を受ける方のための通所で行うデイサービス
4. 健康診査・がん検診などの保健サービス
5. 機能訓練・訪問指導・相談など、健康維持のためのサービス
6. 老人ホームなど、常時介護が必要な方のための入所施設
7. 介護を必要とする方を短期間預かりする短期入所施設 (ショートステイ)
8. 見守りが必要な人のための生活支援型施設 (サービス付き高齢者向け住宅等)
9. 地域包括支援センターなど、身近なところで相談など行える施設
10. 介護老人保健施設 (老人保健施設) など、リハビリなどを行うための入所施設
11. 福祉会館など、健康の推進や趣味・教養向上のための施設
12. 住診やかかりつけ医・歯科医、訪問看護など、医療の充実
13. 保健・医療・福祉に関する情報提供や案内の充実
14. 趣味や教育の向上、生きたがい対策など気軽に参加できる催し物・講座等の充実
15. ホランティアなど、高齢者の地域活動参加の促進や支援
16. 高齢者の就業支援
17. 認知症高齢者やその家族の支援
18. 認知症などで、判断能力が低下した方の方の財産保全等権利擁護に関する取り組み
19. その他

問 42 福祉に関する情報などを、どのような方法で知りたいと思いますか。(なお、この設問の選択肢には現在行われていないサービスも含まれています) (いくつでも)

1. 市の相談窓口
2. 地域包括支援センター
3. 民生委員・児童委員
4. 市報などのお知らせ
5. 電話・ファックスサービス
6. 施設の職員
7. 施設の見学
8. 施設の見学
9. 公民館や福祉会館など施設の掲示板
10. 町内の回覧板などのお知らせ
11. 老人会などの出張相談・説明会
12. 福祉の便り帳の定期配布

6. 市のホームページ
7. その他のホームページ
13. 社会福祉協議会
14. その他

介護保険制度についておたずねします

問 43 今後、もし介護の必要な状態になった場合、あなたはどのようにしたいとお考えですか。(1つに○)

1. 在宅で、介護保険サービスを利用しながら生活したい
2. 在宅で、家族などの介護を中心に生活したい
3. 在宅で、介護保険サービスと家族の介護を組み合わせて生活したい
4. 老人ホームや施設・病院などに入所 (入院) し、介護を受けたい
5. その他
6. わからない

問 44 あなたが、「介護保険制度」全体をよりよくするため、西東京市が力を入れるべきだと思うことは、次のうちどれですか。(3つまで)

1. サービス事業者の質の向上につとめること
2. 介護支援専門員やヘルパーなどの人材を育成すること
3. 在宅サービスの充実をいれること
4. 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム) などの施設をふやしていくこと
5. 利用料や保険料を補助するなど、利用者の費用負担を軽減すること
6. 介護保険サービスが利用しやすいよう、啓発・PRを進めること
7. 隠たきりにならないよう、介護予防サービスに力を入れること
8. 地域全体で介護を支援する基盤づくりを行うこと
9. 困ったときに気軽に介護相談ができる場所をふやすこと
10. 家族介護の負担を軽減すること
11. その他
12. わからない

問 45 市の高齢者保健福祉サービスや介護保険制度について、ご意見・ご要望がありますら、ご自由にお書きください。

調査にご協力いただき誠にありがとうございました。

記入もれがないかどうかもう一度お確かめのうえ、同封の返信用封筒 (切手は不要) に入れて、2月24日(月)までにお近くのポストに投函してください。

西東京市高齢者保健福祉計画策定のための 市民アンケート調査 ご協力のお願い

市民の皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

西東京市では、平成26年度に見直しを予定しております「西東京市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第6期）」の基礎資料として、皆さまのご意見やご要望を幅広くお聞きするため、保健・福祉全般の調査を実施することになりました。

この調査は、西東京市が実施する平成25年度の生活機能評価を受診された方のうち、医師により生活機能の低下があると判定された方200人に、ご意見やご要望をおうかがいするものです。なお、ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理し、調査目的以外に使用することはありません。

お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

平成26年2月

西東京市長 丸山 浩一

記入についてのお願い

1. **この調査は、平成26年2月1日現在でお答えください。**
2. お答えは、特に説明のない限り、あてはまる番号を○で囲んでください。
3. お答えが「その他」にあてはまる場合は、その番号を○で囲み、〔 〕内になるべく具体的にその内容をご記入ください。
4. 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印（⇒）など、次にお答えいただく質問番号への案内にご注意ください。
5. 回答はできる限り、対象者ご本人がご記入ください。なお、対象者ご本人おひとりの回答がむずかしい場合は、ご家族の方がお手伝いいただくか、対象者の意見を聞いた上でご家族の方が代わりにご記入ください。

★対象の方が何らかの事情により不在で記入できない場合には、下の枠内のいずれかに○印をつけてご返送ください。

1. 医療機関入院中	2. 福祉施設入所中	3. 転居	4. その他〔 〕
------------	------------	-------	-----------

調査票、返信用封筒には住所、氏名を記入する必要はありません。

記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れ、

2月24日（月）までに 〔 〕 にご返送ください。

調査についてご質問などがありましたら、下記までお問い合わせください。

【連絡先】 西東京市役所 保谷庁舎 福祉部 高齢者支援課 電話042（438）4029（直通）

問1 この調査票はどなたがご記入されますか。（1つに○）

1. あてご本人	2. あてご本人の家族	3. その他〔 〕
----------	-------------	-----------

最初に、あなた（あてご本人）のことについておたずねします

※以下の質問で「あなた」とは、あてご本人のことです。お間違えのないようにお答えください。

問2 あなた（あてご本人）の性別は。（1つに○）

1. 男性	2. 女性
-------	-------

問3 あなたの年齢をご記入ください。

※平成26年2月1日現在の年齢でお答えください。

〔 〕 歳

問4 あなたのお住まいの地区は。（1つに○）

1. 田無町	7. 向台町	13. 富士町	19. ひばりが丘北
2. 南町	8. 芝久保町	14. 中町	20. 栄町
3. 西原町	9. 新町	15. 東町	21. 北町
4. 緑町	10. 柳沢	16. 泉町	22. 下保谷
5. 谷戸町	11. 東伏見	17. 住吉町	
6. 北原町	12. 保谷町	18. ひばりが丘	

問5 あなたのお住まいは次のうちどれですか。（1つに○）

1. 一戸建ての持ち家	5. 公的賃貸住宅（都営・市営、公団、公社）
2. 一戸建ての借家	6. 社宅・官舎
3. 分譲マンション	7. その他〔 〕
4. 民間賃貸アパート・マンション	

問6 現在のお住まいで、あなたが主に生活している場所は何階ですか。（1つに○）

（例：2階建ての家屋居住で主に1階で生活している場合は「1階」、6階建てのマンションの5階に居住している場合は「5階」とお答えください）

1. 1階	3. 3階	5. 5階	7. 7階
2. 2階	4. 4階	6. 6階	8. 8階以上

問7 現在のお住まいには、エレベーターが設置されていますか。（1つに○）

1. 設置されている	2. 設置されていない
------------	-------------

問8 現在のお住まいで困っていることはありますか。(いくつでも○)

1. 玄関周りの段差で困っている
2. 廊下や居室などの段差で困っている
3. 屋内の階段の昇り降りが大変で困っている
4. 浴室や浴槽が使いにくくて困っている
5. トイレに手すりがないなど困っている
6. その他〔 〕
7. 特になし

問9 あなたと同居しているご家族は。(1つに○)

1. ひとり暮らし ⇒付問へ
2. 夫婦ふたり暮らし
3. 同居世帯(子どもや孫など多世代の家族など同居)
4. その他の世帯(1～3以外)

付問 問9で「2」と回答した方におたずねします。

あなたの配偶者の年齢をご記入ください。

※平成26年2月1日現在の年齢でお答えください。

[] 歳

問10 あなたは、現在収入を得ていますか。(1つに○)

1. 収入がある
2. 収入がない

問11 年間の世帯の収入はどのくらいありますか。(1つに○)

1. 60万円未満
2. 60万円以上120万円未満
3. 120万円以上200万円未満
4. 200万円以上300万円未満
5. 300万円以上400万円未満
6. 400万円以上500万円未満
7. 500万円以上600万円未満
8. 600万円以上700万円未満
9. 700万円以上900万円未満
10. 900万円以上1,000万円未満
11. 1,000万円以上

問12 外出する機会はどれだけありますか。(1つに○)

1. ほぼ毎日
2. 週3～4回
3. 週1～2回
4. ほとんど外出しない

日ごろの悩みや困ったことについておたずねします

問13 あなた(あて名ご本人)は現在、どんな悩みや不安がありますか。(いくつでも○)

1. 健康について不安がある
2. 親しい友人がいない
3. 近所との交流がない
4. 家族関係が良くない
5. 経済的に苦しい
6. 身のまわりの世話をしてくれる人がいない
7. 財産の管理に不安がある
8. その他〔 〕
9. 特になし

問14 あなたは、日常生活の中で困ったことがありますか。(1つに○)

1. ある ⇒付問へ
2. なし ⇒問15へ

付問 問14で「1」と回答した方におたずねします。

日常生活の中で困ったことは次のうちどれですか。(3つまで○)

1. 外出の際の移動手段
2. 税金の支払や公共機関の手続き
3. 財産やお金の管理
4. 日々の買物
5. 日々のゴミ出し
6. 家具の移動
7. 庭の手入れ
8. 掃除
9. 洗濯
10. 炊事
11. 電化製品の扱い方
12. トイレ
13. 入浴
14. 通院・通所
15. その他〔 〕

問15 あなたは、誰に悩みの相談や福祉に関する相談をしますか。(いくつでも○)

1. 親
2. 家族
3. 近所の人
4. 友人・知人
5. 市の保健福祉窓口職員
6. 保健師
7. ホームヘルパーなど
8. 訪問看護師
9. ケアマネジャー
10. 社会福祉協議会職員
11. 民生委員・児童委員
12. 病院の医師・ケースワーカー・看護師など
13. 地域包括支援センターの職員
14. その他〔 〕
15. 相談できる人がいない

問16 あなたが将来認知症状態になった場合、自分の財産の管理で心配なことは何ですか。(いくつでも○)

1. 財産を管理してくれる家族等がないこと
2. 財産等をたし取られる可能性があること
3. そのようなことを相談する相手がいないこと
4. 法的なことがわからないこと
5. その他〔 〕
6. 心配なことはない

生きがいについておたずねします

問17 あなた(あて名ご本人)が現在継続して行っていることは何ですか。(いくつでも○)

1. 働くこと
2. 文章を書くこと
3. 旅行すること
4. 買い物に出かけること
5. 家族・親族とのふれあい
6. 家族の介護
7. 孫の世話
8. 近所とのつきあい
9. 公民館等での活動
10. 福祉会館・老人福祉センターでの活動
11. レクリエーション活動
12. スポーツ活動
13. ボランティア活動
14. 個人、家族、趣味の会などの仲間内の活動
15. 町内会、自治会の活動
16. 高齢者クラブ活動
17. 社会福祉協議会の活動
18. その他〔 〕
19. 特になし

問 18 あなたが今後、行いたいことは何ですか。(いくつでも)

1. 働くこと
2. 文章を書くこと
3. 旅行すること
4. 買い物に出かけること
5. 家族・親族とのふれあい
6. 家族の介護
7. 孫の世話
8. 近所とのつきあい
9. 公民館等での活動
10. 福祉会館・老人福祉センターでの活動
11. レクリエーション活動
12. スポーツ活動
13. ボランティア活動
14. 個人、家族、趣味の会などの仲間内の活動
15. 町内会、自治会の活動
16. 高齢者クラブ活動
17. 社会福祉協議会の活動
18. その他〔 〕
19. 特にない

問 19 あなたが、高齢者の生きがいづくりで、今後、市に特に力を入れて欲しいものは何ですか。(3つまでに)

1. 老人福祉センター・福祉会館の充実・建設
2. 高齢者スポーツ活動の充実
3. 高齢者文化・教養活動の充実
4. 高齢者クラブの育成
5. 共通の趣味や友だちをつくる場の紹介
6. ボランティア活動の紹介
7. 文化・学習情報の提供
8. 高齢者向け生涯学習の充実
9. パソコン教室の実施
10. 就労機会の拡大
11. 話仲間づくり
12. その他〔 〕
13. 特にない

健康づくりと医療についておたずねします

問 20 あなた(あて名ご本人)の健康状態は次のどれに該当しますか。(1つに)

1. 健康である
2. おおむね健康である
3. 病気がちだが、寝ていることは少ない
4. 病気がちで、寝ていることが多い
5. 病気で、ほとんど寝たきりである
6. その他〔 〕

問 21 あなたは、ふだん体調を維持するためにに行っていることはありますか。(1つに)

1. ある ⇒付問へ
2. な い ⇒問 23 へ

付問 問21で「1」と回答した方におたずねします。

あなたがふだん体調を維持するためにに行っていることは何ですか。

(いくつでも)

1. 定期的に運動している
2. 食生活や食事のバランスなどに気をつけ、よくかんで食べている
3. 規則正しい生活をするように心がけている
4. 病気の予防法などについて、テレビ・本・講演などを利用して知識を深めている
5. かかりつけの医師・歯科医師に、健康チェックをしてもらうようにしている
6. 趣味活動などを行い、ストレスをためないようにしている
7. その他〔 〕

問 22 スポーツ施設等の利用状況についておたずねします。

(1) 健康維持のために、以下のような場所(施設)を利用していますか。(いくつでも)

1. 市立のスポーツセンター・体育館
2. 公民館
3. 民間のスポーツジム・カルチャーセンター
4. 公園・緑道等の屋外
5. 福祉会館・老人福祉センター
6. その他〔 〕
7. 一つもない

(2) 健康維持のために、今後利用する(したい)場所(施設)はどこですか。(いくつでも)

1. 市立のスポーツセンター・体育館
2. 公民館
3. 民間のスポーツジム・カルチャーセンター
4. 公園・緑道等の屋外
5. 福祉会館・老人福祉センター
6. その他〔 〕
7. 特にない

問 23 現在の医療機関の受診状況についておたずねします。あなたは治療中の病気はありますか。(1つに)

1. ある ⇒付問へ
2. な い ⇒問 24 へ

付問 問23で「1」と回答した方におたずねします。

① 現在、定期的に受診している医療機関は何か所ですか。

か所

② 受診している診療科は。(いくつでも)

1. 内科
2. 外科
3. 整形外科
4. 眼科
5. 耳鼻咽喉科
6. 皮膚科
7. 歯科
8. 脳神経外科
9. 精神科
10. その他〔 〕

問 24 「かかりつけ医」「かかりつけ歯科医」「かかりつけ薬局」についておたずねします。

※「かかりつけ医」「かかりつけ歯科医」「かかりつけ薬局」とは、あなたの生活の状況などを理解していて、健康や病気のことを日ごろから、気軽に相談できるような身近な開業医、歯科医、薬局をさします。

(1) あなたには、「かかりつけ医」がいますか。(1つに)

1. いる
2. いない
3. わからない

(2) あなたには、「かかりつけ歯科医」がいますか。(1つに)

1. いる
2. いない
3. わからない

(3) あなたには、「かかりつけ薬局」がありますか。(1つに○)

1. いる 2. いない 3. わからない

問 25 あなたは、脳卒中の後遺症や末期がんなどで長期療養が必要になった場合、病院等への入院・入所はしないで、自宅で生活したいと思いますか。(○は1つ)

1. そう思う ⇒付問 1へ

2. そう思わない

3. その他〔

4. わからない

〕 ⇒問 26へ

付問 1 問 25 で「1」と回答した方におたずねします。

あなたは、在宅での療養は実現可能だと思いますか。(○は1つ)

1. 難しいと思う ⇒付問 2へ

2. 可能だと思う

3. その他〔

4. わからない

〕 ⇒問 26へ

付問 2 付問 1 で「1」と回答した方におたずねします。

それはなぜですか。(○は3つまで)

1. 家族等に負担をかけるから

2. 急に病状が変わったときの対応が不安だから

3. 在宅でのような医療や介護を受けられるかわからないから

4. 療養できる居住環境が整っていないから

5. 介護してくれる家族がいないから

6. 在宅医療や介護のサービスの体制が整っていないから

7. その他〔

〕

問 26 あなたは、将来のご自分の健康状態に不安がありますか。(1つに○)

1. 不安がある

2. 少し不安がある

3. あまり不安はない

4. 不安はない

介護予防についておたずねします

問 27 西東京市では、要支援・要介護状態になる前からの介護予防が重要と位置づけ、次のようなサービスを実施していますが、あなた(あて名ご本人)が利用しているサービスはどれですか。(いくつでも○)

1. 運動して元気講座

(マシーンを使ったトレニング、マシーンを使わないトレニング)

(転倒・尿失禁予防講座、接骨院サテライト講座)

2. さわやか筋力アップ講座(野外健康器具を使ったトレニング)

3. まるごと知って元気講座(栄養・運動・口腔機能向上教室)

4. 閉じこもり予防講座

5. 認知症予防講座

6. 専門職による訪問事業

(管理栄養士・歯科衛生士・理学療法士による訪問指導)

7. どれも利用していない ⇒付問 2. 3へ

⇒付問 1へ

付問 1 問 27 で「1」～「6」と回答した方におたずねします。
サービスを利用して、あなたの生活や気持ちに変化はありましたか。(いくつでも○)

1. 体調がよくなった、元気になった

2. 歩く距離が増えた

3. 外出の頻度が増えた

4. 気持ちが前向きになった

5. 新しい友人ができた

6. 運動をする習慣ができた

7. ひざや腰などの痛みが改善した

8. 通院回数が減った

9. その他〔

10. 具体的効果はなかった

〕

付問 2 問 27 で「7」と回答した方におたずねします。

あなたがサービスを利用していない理由をご記入してください。

付問 3 問 27 で「7」と回答した方におたずねします。

今後利用してみたいサービスはどれですか。(いくつでも○)

1. 運動して元気講座

(マシーンを使ったトレニング、マシーンを使わないトレニング)

(転倒・尿失禁予防講座、接骨院サテライト講座)

2. さわやか筋力アップ講座(野外健康器具を使ったトレニング)

3. まるごと知って元気講座(栄養・運動・口腔機能向上教室)

4. 閉じこもり予防講座

5. 認知症予防講座

6. 専門職による訪問事業(管理栄養士・歯科衛生士・理学療法士による訪問指導)

7. 特にない

問 28 65 歳以上の方は、年に1回「生活機能評価」を受けていただくことになっていますが、「生活機能評価」は利用しやすかったですか。(1つに○)

1. 利用しやすかった ⇒問 29へ 2. 利用しにくかった ⇒付問へ

付問 問 28 で「2」と回答した方におたずねします。

生活機能評価が利用しにくかった理由は何ですか。(いくつでも○)

1. 医療機関が限られる

2. 医療機関が遠い

3. 時間がかかる

4. 結果が届くまで時間がかかる

5. その他〔

〕

問 29 生活機能評価を受けた結果、どのようなサービスを紹介されましたか。
(いくつでも)

1. 訪問型事業（専門職による訪問事業）
2. 通所型事業（運動して元気講座・まるごと知って元気講座）
3. 市の講座・プログラム（いきいき介護予防講座）
4. ボランティアグループ
5. その他〔 〕

問 30 紹介されたサービスを利用しましたか。(1つに〇)

1. 利用した ⇒付問1へ
2. 利用しなかった ⇒付問3へ

付問1 問30で「1」と回答した方におたずねします。
利用してどうでしたか。(1つに〇)

1. よかった } ⇒付問2へ
2. まあよかった } ⇒付問2へ
3. あまりよくなかった } ⇒付問3へ
4. よくなかった }

付問2 付問1で「1」または「2」と回答した方におたずねします。

その後取り組みは継続していますか。(1つに〇)

1. 継続している ⇒付問2-1へ
2. 継続していない ⇒付問2-2へ

付問2-1 付問2で「1」と回答した方におたずねします。

継続している取り組みはどのようなものですか。(いくつでも〇)

1. 訪問型事業（専門職による訪問事業）
2. 通所型事業（運動して元気講座・まるごと知って元気講座）
3. 市の講座・プログラム（いきいき介護予防講座）
4. ボランティアグループ
5. その他〔 〕

【次は問31へ進んでください】

付問2-2 付問2で「2」とお答えの方におたずねします。

継続しなかったのはなぜですか。(いくつでも〇)

1. 自宅から遠い
2. 時間があわない
3. 難しい
4. つまらない
5. 仲間がいない
6. 効果が実感できない・必要ない
7. 講座を終了したが、その後行ける講座がない
8. その他〔 〕

【次は問31へ進んでください】

付問3 問30で「2」、付問1で「3」「4」と回答した方におたずねします。

それはなぜですか。(いくつでも〇)

1. 自宅から遠い
2. 時間があわない
3. 難しい
4. つまらない
5. 仲間がいない
6. 効果が実感できない・必要ない
7. 講座を終了したが、その後行ける講座がない
8. その他〔 〕

問 31 これからの介護予防に求めることは何ですか。(いくつでも〇)

1. 自宅でできること
2. 近所のできるこ
3. いつでも気軽に取り組めること
4. 簡単で覚えやすいこと
5. 楽しみながらできること
6. 仲間がいること
7. 専門家のアドバイスが受けられること
8. 定期的に評価が受けられること
9. その他〔 〕

西東京市の介護保険・保健福祉サービスについておたずねします

問 32 あなたは、今後西東京市が取り組む介護保険・保健福祉サービスとして、次のどれを優先して充実すべきとお考えですか。(5つまで〇)

1. 介護が必要な状態にならないための予防に関する事業
2. 在宅での介護を支援する、ホームヘルパーの派遣や入浴などのサービス
3. 在宅で介護を受ける方のための通所で行うデイサービス
4. 健康診査・がん検診などの保健サービス
5. 機能訓練・訪問指導・相談など、健康維持のためのサービス
6. 老人ホームなど、常時介護が必要な方のための入所施設
7. 介護を必要とする方を短期間お預かりする短期入所施設（ショートステイ）
8. 見守りが必要な人のための生活支援型施設（サービス付き高齢者向け住宅等）
9. 地域包括支援センターなど、身近なところで相談など行える施設
10. 介護老人保健施設（老人保健施設）など、リハビリなどを行うための入所施設
11. 福祉会館など、健康の推進や趣味・教養向上のための施設
12. 往診やかかりつけ医・歯科医、訪問看護など、医療の充実
13. 保健・医療・福祉に関する情報提供や案内の充実
14. 趣味や教育の向上、生きがい対策など気軽に参加できる催し物・講座等の充実
15. ホランティアなど、高齢者の地域活動参加の促進や支援
16. 高齢者の就労支援
17. 認知症高齢者やその家族の支援
18. 認知症などで、判断能力が低下した方の財産保全等権利擁護に関する取り組み
19. その他〔 〕

問 33 福祉に関する情報などを、どのような方法で知りたいと思いますか。(なお、この設問の選択肢には現在行われていないサービスも含まれています)
(いくつでも〇)

1. 市の相談窓口
2. 地域包括支援センター
3. 民生委員・児童委員
4. 市報などのお知らせ
5. 電話・ファックスサービス
6. 市のホームページ
7. その他のホームページ
8. 施設の職員
9. 公民館や福祉会館など施設の掲示板
10. 町内の回覧板などのお知らせ
11. 老人会などの出張相談・説明会
12. 福祉の便利帳の定期配布
13. 社会福祉協議会
14. その他〔 〕

問34 あなたは、「地域包括支援センター」を知っていますか。(1つに○)

※地域包括支援センターは、高齢者の方が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、介護・福祉・健康・医療など様々な面から関係機関との連携をとりながら、総合的に支えていく機関です。

1. 知っている ⇒付問1、2へ 2. 知らない ⇒問35へ

付問1 問34で「1」と回答した人におたずねします。

あなたのお住まいの地区を担当している「地域包括支援センター」の場所を知っていますか。(1つに○)

1. 知っている 2. 知らない

付問2 問34で「1」と回答した人におたずねします。

あなたが、「地域包括支援センター」の事業内容について、知っていることを次の中からお選びください。(いくつでも○)

1. 高齢者や家族の総合的な相談・支援を行っている
2. 高齢者の尊厳ある生活を守るための権利擁護業務を行っている
3. ケアマネジャーの活動の環境整備や支援を行っている
4. 介護予防に関する業務を行っている
5. どのようなことをやっているのかわからない

介護保険制度についておたずねします

問35 今後、もし介護が必要な状態になった場合、あなたはどのようにしたいとお考えですか。(1つに○)

1. 在宅で、介護保険サービスを利用しながら生活したい
2. 在宅で、家族などの介護を中心に生活したい
3. 在宅で、介護保険サービスと家族の介護を組み合わせた生活がしたい
4. 老人ホームや施設・病院などに入所（入院）し、介護を受けたい
5. その他（ ）
6. わからない

問36 あなたが、「介護保険制度」全体をよりよくするため、西東京市が力を入れるべきだと思うことは、次のどれですか。(3つまで○)

1. サービス事業者の質の向上につとめること
2. 介護支援専門員やヘルパーなどの人材を育成すること
3. 在宅サービスの充実を力を入れること
4. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）などの施設をふやしていくこと
5. 利用料や保険料を補助するなど、利用者の費用負担を軽減すること
6. 介護保険サービスが利用しやすいよう、啓発・PRを進めること
7. 億たきりにならないよう、介護予防サービスに力を入れること
8. 地域全体で介護を支援する基盤づくりを行うこと
9. 困ったときに気軽に介護相談ができる場所をふやすこと
10. 家族介護の負担を軽減すること
11. その他（ ）
12. わからない

問37 市の高齢者保健福祉サービスや介護保険制度について、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

調査にご協力いただき誠にありがとうございました。

記入もれがないかどうかもう一度お確かめのうえ、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れて、**2月24日（月）まで**にお近くのポストに投函してください。

西東京市介護保険事業計画（第6期）策定のための 市民アンケート調査 ご協力をお願いします

市民の皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

西東京市では、平成26年度に見直しを予定しております「西東京市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第6期）」の基礎資料として、皆さまのご意見やご要望を幅広くお聴きするため、保健・福祉全般の調査を実施することになりました。

この調査は、西東京市にお住まいの65歳以上の方で、居宅サービスを利用されている方の中から、無作為に1,500人を選ばせていただき、ご意見やご要望をおうかがいするものです。なお、ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理し、調査目的の以外に使用することはありません。

お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

平成26年2月

西東京市長 丸山 浩一

記入についてのお願い

- この調査は、平成26年2月1日現在でお答えください。
- お答えは、特に説明のない限り、あてはまる番号を○で囲んでください。
- お答えが「その他」にあてはまる場合は、その番号を○で囲み、〔 〕内になるべく具体的にその内容をご記入ください。
- 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印（⇒）など、次にお答えいただく質問番号への案内にご注意ください。
- 回答はできる限り、対象者ご本人がご記入ください。なお、対象者ご本人おひとりの回答がむずかしい場合は、ご家族の方がお手伝いいただくか、対象者の意見を聞いた上でご家族の方が代わりにご記入ください。

★対象の方が何らかの事情により不在で記入できない場合には、下の枠内のいずれかに○印をつけてご返送ください。

1. 医療機関入院中 2. 福祉施設入所中 3. 転居 4. その他〔 〕

調査票、返信用封筒には住所、氏名を記入する必要はありません。

記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れ、

2月24日（月）までに にご返送ください。

調査についてご質問などがありましたら、下記までお問い合わせください。

【連絡先】 西東京市役所 保谷庁舎 福祉部 高齢者支援課 電話042（438）4032（直通）

問1 この調査票はどなたがご記入されますか。（1つに○）

1. あてご本人 2. あてご本人の家族 3. その他〔 〕

最初に、あなた（あてご本人）のことについておたずねします

※以下の質問で「あなた」とは、あてご本人のことです。お間違えないようにお答えください。

問2 あなた（あてご本人）の性別は。（1つに○）

1. 男性 2. 女性

問3 あなたの年齢をご記入ください。

※平成26年2月1日現在の年齢でお答えください。

歳

問4 あなたのお住まいの地区は。（1つに○）

1. 田無町	7. 向台町	13. 富士町	19. ひばりが丘北
2. 南町	8. 芝久保町	14. 中町	20. 栄町
3. 西原町	9. 新町	15. 東町	21. 北町
4. 緑町	10. 柳沢	16. 泉町	22. 下保谷
5. 谷戸町	11. 東伏見	17. 住吉町	
6. 北原町	12. 保谷町	18. ひばりが丘	

問5 あなたのお住まいは次のうちどれですか。（1つに○）

1. 一戸建ての持ち家	5. 公的賃貸住宅（都営・市営、公団、公社）
2. 一戸建ての借家	6. 社宅・官舎
3. 分譲マンション	7. その他〔 〕
4. 民間賃貸アパート・マンション	

問6 現在のお住まいで、あなたが主に生活している場所は何階ですか。（1つに○）

（例：2階建ての家屋居住で主に1階で生活している場合は「1階」、6階建てのマンションの5階に居住している場合は「5階」とお答えください）

1. 1階	3. 3階	5. 5階	7. 7階
2. 2階	4. 4階	6. 6階	8. 8階以上

問7 現在のお住まいには、エレベーターが設置されていますか。（1つに○）

1. 設置されている 2. 設置されていない

問8 現在のお住まいで困っていることはありますか。(いくつでも○)

1. 玄関周りの段差で困っている
2. 廊下や居室などの段差で困っている
3. 屋内の階段の昇り降りが大変で困っている
4. 浴室や浴槽が使いにくくて困っている
5. トイレに手すりかなかったり洋式でなかったりするため困っている
6. エレベーターがなくて困っている
7. その他〔 〕
8. 特にない

問9 あなたと同居しているご家族は。(1つに○)

1. ひとり暮らし
2. 夫婦ふたり暮らし ⇒付問へ
3. その他の世帯(上記1～2以外)で、全員が65歳以上
4. その他の世帯(上記1～3以外)

付問 問9で「2」と回答した方におたずねします。

あなたの配偶者の年齢をご記入ください。

※平成26年2月1日現在の年齢でお答えください。

[] 歳

問10 あなたの現在の及び1年前(平成25年2月)の介護度はどれですか。(1つに○)

- (現在)
1. 要支援1
 2. 要支援2
 3. 要介護1
 4. 要介護2
 5. 要介護3
 6. 要介護4
 7. 要介護5

- (1年前)
1. 要支援1
 2. 要支援2
 3. 要介護1
 4. 要介護2
 5. 要介護3
 6. 要介護4
 7. 要介護5
 8. 非該当
 9. 認定は受けていない
 10. わからない

医療の状況についておたずねします

問11 あなたは、現在治療中の病気はありますか。(1つに○)

1. ある
2. ない

問12 「かかりつけ医」「かかりつけ歯科医」「かかりつけ薬局」についておたずねします。

※「かかりつけ医」「かかりつけ歯科医」「かかりつけ薬局」とは、あなたの生活の状況などを理解していて、健康や病気のことをごころから、気軽に相談できるような身近な開業医、歯科医、薬局をさします。

(1) あなたには、「かかりつけ医」がいますか。(1つに○)

1. いる
2. いない
3. わからない

(2) あなたには、「かかりつけ歯科医」がいますか。(1つに○)

1. いる
2. いない
3. わからない

(3) あなたには、「かかりつけ薬局」がいますか。(1つに○)

1. いる
2. いない
3. わからない

問13 あなたの医療の受診形態は、次のどれですか。(1つに○)

1. 訪問診療(往診)してもらっている
2. 訪問診療(往診)と通院の両方を利用している } ⇒付問1、2、3へ
3. 通院している ⇒問14へ

付問1 問13で「1」または「2」と回答した方におたずねします。

現在、次のような医療処置を受けていますか。(いくつでも○)

1. 点滴の管理
2. ストーマの処置
3. 気管切開
4. 中心静脈栄養
5. たんの吸引
6. 在宅酸素療養
7. 疼痛の看護
8. 人工透析
9. 人工呼吸器
10. 経管栄養
11. 胃ろう
12. じょくそう
13. 留置カテーテル
14. インスリン
15. その他
16. 医療処置は受けていない

付問2 問13で「1」または「2」と回答した方におたずねします。

在宅療養を送る上で困っていることは何ですか。(いくつでも○)

1. 在宅療養(看取りを含む)について相談する場がない
2. 薬を飲み忘れることが多い
3. 予定どおりに医師が来てくれない
4. テイサービスやショートステイが利用できない
5. 緊急時に医師と連絡がとれない
6. 口腔ケアや歯科診療が受けられない
7. 医師や介護サービス事業所が悩みを聞いてくれない
8. 医療や介護サービスにお金がかかる
9. 介護者にゆとりがない
10. その他〔 〕

付問3 問13で「1」または「2」と回答した方におたずねします。

今後も、在宅での療養生活を継続する予定ですか。(1つに○)

1. 継続する(したい) ⇒付問3-1へ
2. 医療機関に入院する(したい)
3. 福祉施設に入院する(したい) } ⇒問14へ

付問3-1 付問3で「1」と回答した方におたずねします。

在宅療養生活を継続する理由は何ですか。(いくつでも○)

1. 住み慣れた家にいたい
2. 家族との時間を多く持ちたい
3. 病院での治療を望んでいない
4. 病院へ行くことが経済的に負担が大きい
5. 自宅で最期を迎えたい
6. 病院より退院等を迫られ希望せざるを得ない
7. その他〔 〕

介護保険の利用についておたずねします

問 14 介護保険の申請は、誰に勧められましたか。(1つに○)

1. 自分で申請しようと思った
 2. 家族や知人に勧められた
 3. 医師に勧められた
 4. 地域包括支援センターに勧められた
 5. その他 ()

問 15 あなたの介護保険サービスの平成 25 年 11 月の利用料は次のうちどれですか。
 介護保険サービスの枠以外のものや、食費を除いた総額でお答えください。
 (1つに○)

1. 千円未満
 2. 千円～2千円未満
 3. 2千円～3千円未満
 4. 3千円～4千円未満
 5. 4千円～5千円未満
 6. 5千円～1万円未満
 7. 1万円～1万5千円未満
 8. 1万5千円～2万円未満
 9. 2万円～2万5千円未満
 10. 2万5千円～3万円未満
 11. 3万円以上
 12. わからない

問 16 介護保険で利用できるサービスは、要介護状態区分に応じてサービスを利用できる上限の金額(利用限度額)が決まっています。問 15 で回答した利用料は、利用限度額を超えていますか。限度内に入っていますか。(1つに○)

1. 利用限度額を超えている ⇒付問1へ
 2. 利用限度額内に入っている ⇒付問2へ
 3. わからない ⇒問 17 へ

付問 1 問 16 で「1」と回答した方におたずねします。

利用限度額を超えている理由は次のうちどれですか。(いくつでも○)

1. 必要なサービスが足りないから
 2. 全額自己負担しても希望するサービスを受けたいから
 3. その他 ()
 4. わからない

付問 2 問 16 で「2」と回答した方におたずねします。

その理由は次のうちどれですか。(いくつでも○)

1. いま受けているサービスで足りているから
 2. 経済的に負担が大きいため
 3. 家族が介護してくれるから
 4. サービスに空きがないから
 5. 希望するサービスがないから
 6. 民間の家事援助サービス(シルバー人材、宅配弁当など)を受けている
 7. どのようなサービスがあるのかわからないから
 8. その他 ()
 9. わからない

介護保険サービスの利用についておたずねします

問 17 介護保険サービスの利用状況についておたずねします。

(1) 現在、あなた(あて名ご本人)が利用している介護保険サービスは何ですか。
 (いくつでも○) ※★は要支援1～2の方も利用できるサービス

◆家庭への訪問や通いで受けるサービス

1. 訪問介護★(ホームヘルパーの訪問)
 2. 訪問入浴介護★(入浴サービスの訪問)
 3. 訪問看護★(看護師などの訪問)
 4. 訪問リハビリテーション★(リハビリの専門職による訪問)
 5. 居宅療養管理指導★(医師などによる指導)
 6. 通所介護(デイサービス)★(日帰りの介護施設などへの通所)
 7. 通所リハビリテーション(デイケア)★(介護老人保健施設(老人保健施設)などへの通所)
 8. 短期入所生活介護(ショートステイ)★(介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)への短期入所)
 9. 短期入所療養介護(ショートステイ)★(介護老人保健施設(老人保健施設)などへの短期入所)
 10. 特定施設入居者生活介護★(有料老人ホームなどでの介護)

◆身近な地域でのサービス

11. 小規模多機能型居宅介護★(通所介護(デイサービス)を中心に、「訪問介護」や「短期入所(ショートステイ)」を組み合わせた介護サービス)
 12. 夜間対応型訪問介護(夜間に定期的に巡回して行う訪問介護と、通報に基づき随時対応する訪問介護)
 13. 認知症対応型通所介護★(認知症デイサービス)
 14. 認知症対応型共同生活介護★(認知症高齢者グループホーム)

◆その他

15. 福祉用具の貸与★(車いす・特殊寝台などの貸与)
 16. 福祉用具の購入費の支給★(入浴用いすなどの購入費の支給)
 17. 住宅改修費の支給★(手すりの取付けなど改修費の支給)

(2) 現在利用していて、今後回数や日数を増やしたいサービス、あるいは、現在利用していないが、今後新たに利用したいサービスは何ですか。(いくつでも○)

※★は要支援1～2の方も利用できるサービス

◆家庭への訪問や通いで受けるサービス

1. 訪問介護★ (ホームヘルパーの訪問)
2. 訪問入浴介護★ (入浴チームの訪問)
3. 訪問看護★ (看護師などの訪問)
4. 訪問リハビリテーション★ (リハビリの専門職による訪問)
5. 居宅療養管理指導★ (医師などによる指導)
6. 通所介護(デイサービス)★ (日帰りの介護施設などへの通所)
7. 通所リハビリテーション(デイケア)★ (介護老人保健施設(老人保健施設)などへの通所)
8. 短期入所生活介護(ショートステイ)★ (介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)への短期入所)
9. 短期入所療養介護(ショートステイ)★ (介護老人保健施設(老人保健施設)などへの短期入所)
10. 特定施設入居者生活介護★ (有料老人ホームなどでの介護)

◆施設などを利用するサービス

11. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)
12. 介護老人保健施設(老人保健施設)
13. 介護療養型医療施設

◆身近な地域でのサービス

14. 小規模多機能型居宅介護★ (通所介護(デイサービス)を中心に、「訪問介護」や「短期入所(ショートステイ)」を組み合わせた介護サービス)
15. 夜間対応型訪問介護(夜間に定期的に巡回して行う訪問介護と、通報に基づき随時対応する訪問介護)
16. 認知症対応型通所介護★ (認知症デイサービス)
17. 認知症対応型共同生活介護★ (認知症高齢者グループホーム)

◆その他

18. 福祉用具の貸与★ (車いす・特殊寝台などの貸与)
19. 福祉用具の購入費の支給★ (入浴用いすなどの購入費の支給)
20. 住宅改修費の支給★ (手すりの取付けなど改修費の支給)

問 18 上記の身近な地域でのサービスとして、平成 24 年度に創設された「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」と「複合型サービス」についておたずねします。

※現在、西東京市では実施していないサービスです。

(1) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護を利用したいですか。(1つに○)

※日中・夜間を通して、訪問介護と訪問看護を一体的に又はそれぞれが密接に連携しながら、定期巡回訪問と随時の対応を行います。

- | | | |
|----------|------------|----------|
| 1. 利用したい | 2. 利用したくない | 3. わからない |
|----------|------------|----------|

(2) 複合型サービスを利用したいですか。(1つに○)

※要介護度が高く、医療的なケアを必要とする人に、「小規模多機能型居宅介護」と「訪問看護」を組み合わせてサービスを利用することができます。

- | | | |
|----------|------------|----------|
| 1. 利用したい | 2. 利用したくない | 3. わからない |
|----------|------------|----------|

問 19 介護保険外のサービスを利用していますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 利用している ⇒付問1へ | 2. 利用していない ⇒付問2へ |
|-----------------|------------------|

付問1 問19で「1」と回答した方におたずねします。

どのようなサービスを利用していますか。(いくつでも○)

- | | |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉協議会やシルバー人材センターなどの有償サービス 2. 介護保険外の介護つき宿泊 3. 自費のヘルパー利用 4. 介護つき移送サービス(タクシードライバーなど) 5. その他の介護付きサービス(具体的に:) | |
|--|--|

付問2 問19で「2」と回答した方におたずねします。

介護保険外のサービスについて、料金や内容が明確になれば利用することも検討されますか。(1つに○)

- | | | |
|---------|----------|----------|
| 1. 検討する | 2. 検討しない | 3. わからない |
|---------|----------|----------|

問 20 介護保険サービスを利用するようになってから、あなたの生活環境はどのようになりましたか。(1つに○)

- | | | |
|-----------|----------------|------|
| 1. 改善した | 3. 以前とあまり変わらない | ⇒付問へ |
| 2. やや改善した | 4. 悪くなった | |

付問 問20で「3」または「4」と回答した方におたずねします。

生活環境が変わらない、悪くなった理由はなんですか。(いくつでも○)

- | | | |
|----------------------|-----------------------|-----------|
| 1. 本人や家族の希望が反映されていない | 4. 希望した回数や時間が確保されていない | 5. その他() |
| 2. 希望したサービスが入っていない | 3. 希望しないサービスが入っている | |

問 21 現在のサービス利用は、前年と比べてサービスの種類や回数は増えましたか。(1つに○)

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. サービスの種類や回数が増えた | 4. わからない |
| 2. 前年と変わらない | 5. 以前はサービスを利用していなかった |
| 3. サービスの種類や回数が減った | |

問 22 要支援から要介護、もしくは要介護から要支援に介護度が変わった(もしくは変わりそうになった)ことで、困った(もしくは困りそうになった)経験はありますか。(1つに○)

- | | |
|------------|-------|
| 1. ある ⇒付問へ | 2. ない |
|------------|-------|

付問 問22で「1」と回答した方におたずねします。
どのようなことで困った(もしくは困りそうになった)ことが起きましたか。(いくつかでも〇)

1. ケアマネジャーの変更
 2. サービス利用の変更
 3. 再契約の手間
 4. 料金の変更
 5. その他
- ()

問23 あなたの居宅サービス計画(ケアプラン)には、あなたやご家族の希望は反映されていますか。(1つに〇)

1. 十分に反映されている
2. ほぼ反映されている
3. 一部反映されていない
4. 全く反映されていない

問24 あなたは、介護支援専門員(ケアマネジャー)に満足していますか。(1つに〇)

1. 満足している
 2. やや満足している
 3. ぶつう
 4. やや不満である
 5. 不満である
- } ⇒付問へ

付問 問24で「4」または「5」と回答した方におたずねします。

どんなことに不満を感じましたか。(いくつかでも〇)

1. 知識、経験不足
2. 職員の状態が悪い
3. もっと時間を割いてほしいのに忙しそう
4. サービスの理解ができないまま使いはじめてしまった
5. その他()

問25 あなたが利用している居宅サービスはどのように感じますか。(1つに〇)

1. 大変よい
 2. まあよい
 3. ぶつう
 4. やや悪い
 5. 大変悪い
- } ⇒付問へ

付問 問25で「4」または「5」と回答した方におたずねします。

その理由は何ですか。(いくつかでも〇)

1. サービスの内容や質が希望したものと違うから
2. サービス提供職員がよく替わるから
3. 職員によってサービスにはらつきがあるから
4. 介護に関する知識や技術水準が低いから
5. 本人や家族への気配りが足りないから
6. サービス提供職員の態度が悪いから
7. その他()

サービスの要望や苦情についておたずねします

問26 あなた(あて名のご本人)は、これまでサービスを利用して感じた不満や問題点をどなたかに伝えましたか。(いくつでも〇)

1. 介護支援専門員(ケアマネジャー)に伝えた
 2. 直接事業者に伝えた
 3. 市の担当課に伝えた
 4. 民生委員に伝えた
 5. 家族に伝えた
 6. 近所の人に伝えた
 7. 地域包括支援センターの職員に伝えた
 8. その他()
 9. 特に何もしなかった
 10. 特に不満や問題点はない
- } ⇒付問へ
- } ⇒問27へ

付問 問26で「1」～「8」と回答した方におたずねします。
伝えた結果、不満や問題点は改善されましたか。(1つに〇)

1. 改善された
2. 一部改善された
3. 改善されなかった
4. その他(具体的に:)

問27 あなたはこれまでサービス事業者を変更したことがありますか。(1つに〇)

1. 変更したことがある ⇒付問へ
2. 変更したことがない

付問 問27で「1」と回答した方におたずねします。

変更した理由はなんですか。(いくつでも〇)

1. なかなか連絡がとれないから
2. 事業者の担当者・スタッフなどがたびたび替わるから
3. 事業者の担当者・スタッフなどの技術が未熟だから
4. 相談にのってくれないから
5. 事業者の担当者・スタッフなどの教育が不十分だから
6. その他()

介護保険制度についておたずねします

問28 あなたは(あて名ご本人)、「地域包括支援センター」を知っていますか。(1つに〇)

※地域包括支援センターは、高齢者の方が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、介護・福祉・健康・医療など様々な面から関係機関との連携をとりながら、総合的に支えていく機関です。

1. 知っている ⇒付問1、2へ
2. 知らない ⇒問29へ

付問1 問28で「1」と回答した方におたずねします。

あなたのお住まいの地区を担当している「地域包括支援センター」の場所を知っていますか。(1つに〇)

1. 知っている
2. 知らない

付問2 問28で「1」と回答した方におたずねします。
 あなたが、「地域包括支援センター」の事業内容について、知っていることを
 次の中からお選びください。(いくつでも○)

1. 高齢者や家族の総合的な相談・支援を行っている
2. 高齢者の尊厳ある生活を守るための権利擁護業務を行っている
3. ケアマネジャーの活動の環境整備や支援を行っている
4. 介護予防に関する業務を行っている
5. どのようなことをやっているのかわからない

権利擁護についておたずねします

問29 判断能力が不十分な方にかわり、財産管理や福祉サービスの利用援助などを行う
 成年後見制度があります。あなた(あて名のご本人)は、「成年後見制度」につ
 いてどの程度ご存じですか。(1つに○)

1. 言葉も内容も知っていた
2. 言葉は知っていたが、内容は知らなかった
3. 聞いたことがない

問30 あなたが、万一病気などで自分自身では判断ができなくなった場合、あなたに代
 わって家族や家族以外の信頼できる方などから家庭裁判所が選んだ「成年後見
 人」に財産管理などを任せるとして、どう思いますか。(1つに○)

1. 任せてもよい
2. 一部なら任せてもよい
3. 任せたくない
4. わからない

問31 物忘れや認知症状のある方への支援として、適切な福祉サービスを選択したり、
 日常的な金銭管理や書類等の預かりを行う日常生活自立支援事業があります。あ
 なた(あて名のご本人)は、「日常生活自立支援事業」についてどの程度ご存じ
 ですか。(1つに○)

1. 言葉も内容も知っていた
2. 言葉は知っていたが、内容は知らなかった
3. 聞いたことがない

今後の過ごし方についておたずねします

問32 あなた(あて名ご本人)は、介護サービスについて、最終的にどのように利用す
 ると思われますか。現在思っていることに最も近いものに○をつけてください。
 (1つに○)

1. できるだけ自宅で最期まで過ごす
2. 家族に負担をかけたくないので、最後はお金のかからない施設を選ぶ
3. 有料老人ホームなど、お金はかかるが家族に負担がかからない施設を選ぶ
4. その他()
5. 特に考えていない
6. わからない

問33 あなたの暮らしを支える上で、どんなサービスや手助けがあればいいと思います
 か。(いくつでも○)

1. 自分や介護する家族が具合が悪くなった時など、緊急に、または一時的に、
 介護をお願いできる
2. 自分や介護する家族が具合が悪くなった時など、緊急に、または一時的に、
 家事をお願いできる
3. 自分や介護する家族が具合が悪くなった時など、緊急時に入院できるベッド
 を確保してほしい
4. 電球等の簡単な器具の取りかえをしてくれる
5. コミ出しを代わりにしてくれる
6. 通院や薬取り、鍼行など用事に出かけるときに、付き添ってくれる
7. 買い物に付き合ってくれる
8. 趣味のための外出に付き合ってくれる
9. 階段の昇り降りの手伝いをしてくれる
10. 定期的に訪問して様子を見に来てくれる
11. 話し相手や相談相手をしてくれる
12. 気軽に立ち寄り、仲間や知り合いと一緒に過ごせる場所がある
13. その他()
14. わからない

介護保険制度に対するご意見についておたずねします

問34 あなた(あて名ご本人)が、「介護保険制度」全体をよりよくするため東京都
 が力を入れるべきだと思うことは、次のうちどれですか。(3つまで○)

1. サービス事業者の質の向上につとめること
2. 介護支援専門員やヘルパーなどの人材を育成すること
3. 在宅サービスの充実(特別養護老人ホーム)などの施設をふやしていくこと
4. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)などの施設の費用負担を軽減すること
5. 利用料や保険料を補助するなど、利用者の費用負担を軽減すること
6. 介護保険サービスの利用が増えるよう、啓発・PRを進めること
7. 寝たきりにならないよう、介護予防サービスに力を入れること
8. 地域全体で介護を支援する基盤づくりを行うこと
9. 困ったときに気軽に介護相談ができる場所をふやすこと
10. 家族介護の負担を軽減すること
11. その他()
12. わからない

問35 市の高齢者保健福祉サービスや介護保険制度について、ご意見・ご要望がありま
 したら、ご自由にお書きください。

ここからは、あて名ご本人をお世話している
ご家族の方についておたずねします

※ご家族の方が回答できない場合は、回答いただく必要はございません。ご協力ありがとうございます。

問 36 日頃、あなた（あて名ご本人）を介護なさっている方はいらっしゃいますか。
(1つに○)

1. いる 2. いない ⇒これにて調査は終了です。ご協力ありがとうございます。

以下の質問は、あて名ご本人を介護されている方がお答えください

問 37 あて名ご本人を主にお世話している方の性別はどちらですか。(1つに○)

1. 男性 2. 女性

問 38 あて名ご本人を主にお世話しているのは、本人からみてどなたですか。
(1つに○)

1. 夫または妻 4. 娘・息子の配偶者 7. その他の親類
2. 娘 5. 兄弟姉妹 8. 友人・知人、近所の人
3. 息子 6. 親 9. その他()

問 39 あて名ご本人を主に介護している方の年齢をご記入ください。

- 約 歳
問 40 あて名ご本人を主に介護している方はどこに住んでいますか。(1つに○)
1. 同じ住宅 3. 同じ町内 5. 東京都内
2. 同じ敷地内 4. 西東京市内 6. その他()

問 41 あて名の方を介護している期間はどのくらいですか。具体的な期間をご記入ください。

約 年 か月

問 42 あて名の方を直接お世話・介護している時間は、1日にどれくらいですか。
具体的な時間数をご記入ください。

約 時間

問 43 あて名ご本人は、医師から認知症の診断をうけていますか。(1つに○)

1. 受けている 2. 受けていない

問 44 介護保険サービスを利用してから、以下のような問題などが改善されましたか。

(1) からだや気持ちの疲れ (1つに○)

1. 改善された 2. やや改善された 3. 変わらない 4. 悪くなった

(2) 自分の時間がとれないこと (1つに○)

1. 改善された 2. やや改善された 3. 変わらない 4. 悪くなった

(3) 高齢者へのさめ細かいお世話 (1つに○)

1. 改善された 2. やや改善された 3. 変わらない 4. 悪くなった

(4) 介護の知識や技術 (1つに○)

1. 改善された 2. やや改善された 3. 変わらない 4. 悪くなった

問 45 あなたの気持ちについておたずねします。

(1) 介護を受けている方の行動に対し、困ってしまうことがありますか。(1つに○)

1. ない 3. どちらともいえない 5. ある
2. あまりない 4. ときどきある

(2) 介護を受けている方のそばにいると、腹が立つことがありますか。(1つに○)

1. ない 3. どちらともいえない 5. ある
2. あまりない 4. ときどきある

(3) 介護があるので、家族や友人と付き合いづらくなっていると思いますか。(1つに○)

1. 思わない 3. どちらともいえない 5. 思う
2. あまり思わない 4. ときどき思う

(4) 介護を受けている方のそばにいると、気が休まらなと思いますか。(1つに○)

1. 思わない 3. どちらともいえない 5. 思う
2. あまり思わない 4. ときどき思う

(5) 介護があるので、自分の社会参加の機会が減ったと思うことがありますか。(1つに○)

1. 思わない 3. どちらともいえない 5. 思う
2. あまり思わない 4. ときどき思う

(6) 介護を受けている方が家にいるので、友達を自宅によびたたくてもよべないと思っ
たことがありますか。(1つに○)

1. 思わない 3. どちらともいえない 5. 思う
2. あまり思わない 4. ときどき思う

(7) 介護をだれかに任せてしまいたいと思うことがありますか。(1つに○)

1. 思わない 3. どちらともいえない 5. 思う
2. あまり思わない 4. ときどき思う

(8) 介護を受けている方に対して、どうしていいかわからないと思うことがありますか。
(1つに○)

1. 思わない 3. どちらともいえない 5. 思う
2. あまり思わない 4. ときどき思う

問 46 現在介護をされていて一番困っているのはどのようなことですか。ご自由にお書きください。

--

問 47 あなたは介護していて、「孤独感」を感じたことがありますか。(1つに○)

1. ある	2. とまどきある	3. あまりない	4. ない
-------	-----------	----------	-------

問 48 恐れ入りますが、ご本人を介護していて、次のようなことがどのくらいありますか。

(1) 身体に外傷が生じ、又は生じる恐れのある暴力を加えること (1つに○)

1. ない	2. とまどきある	3. よくある
-------	-----------	---------

(2) 衰弱させるような著しい減食、又は長時間の放置その他擁護すべき義務を著しく怠ること (1つに○)

1. ない	2. とまどきある	3. よくある
-------	-----------	---------

(3) 著しい暴言、又は著しく拒絶的な対応その他著しい心理的外傷を与える言動を行うこと (1つに○)

1. ない	2. とまどきある	3. よくある
-------	-----------	---------

(4) わいせつな行為をすること、又はさせること (1つに○)

1. ない	2. とまどきある	3. よくある
-------	-----------	---------

(5) 財産を不当に処分すること、その他高齢者から不当に財産上の利益を得ること (1つに○)

1. ない	2. とまどきある	3. よくある
-------	-----------	---------

(6) 全体として、介護が雑になってしまふこと (1つに○)

1. ない	2. とまどきある	3. よくある
-------	-----------	---------

問 49 介護の負担感についておたずねします。

(1) 介護で疲れて、体の調子が良くない (1つに○)

1. まったく思わない	2. とまどき思う	3. よく思う
-------------	-----------	---------

(2) 介護で精神的にまいってしまふ (1つに○)

1. まったく思わない	2. とまどき思う	3. よく思う
-------------	-----------	---------

(3) 介護のために、仕事に出られない (1つに○)

1. まったく思わない	2. とまどき思う	3. よく思う
-------------	-----------	---------

(4) 育児や家族の世話に手がまわらない (1つに○)

1. まったく思わない	2. とまどき思う	3. よく思う
-------------	-----------	---------

(5) 昼間、自由な時間がとれない (1つに○)

1. まったく思わない	2. とまどき思う	3. よく思う
-------------	-----------	---------

(6) 夜間ゆっくり寝ることができない (1つに○)

1. まったく思わない	2. とまどき思う	3. よく思う
-------------	-----------	---------

(7) 介護のことで、家族と意見が合わない (1つに○)

1. まったく思わない	2. とまどき思う	3. よく思う
-------------	-----------	---------

(8) 介護の経済的な負担が大きい (1つに○)

1. まったく思わない	2. とまどき思う	3. よく思う
-------------	-----------	---------

問 50 これから介護者の支援策として、あなたが必要だと思ふのはつぎのどれですか。(いくつでも○)

1. 介護者に対する定期的な情報提供	
2. 介護者が気軽に休息がとれる機会づくり	
3. リフレッシュのための日帰旅行などの機会提供	
4. 電話や訪問による相談サービス	
5. 介護者が集まって話せる場づくり	
6. 家族会や介護者の自助グループづくり	
7. 在宅介護者への手当	
8. 介護休業取得者のいる企業への支援制度	
9. 介護者が仕事と介護の両立ができる支援制度、再就職支援策	
10. 介護者の経験を活かした介護問題への発言の場づくり	
11. その他〔	〕

調査にご協力いただき誠にありがとうございました。

記入もれがないかどうかもう一度お確かめのうえ、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れて、2月24日（月）までにお近くのポストに投函してください。

西東京市介護保険事業計画（第6期）策定のための 市民アンケート調査 ご協力のおお願い

市民の皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

西東京市では、平成26年度に見直しを予定しております「西東京市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第6期）」の基礎資料として、皆さまのご意見やご要望を幅広くお聴きするため、保健・福祉全般の調査を実施することになりました。

この調査は、西東京市の要支援・要介護認定を受けている方で、介護保険施設等に入所されている方の中から、無作為に500人を選ばせていただき、ご意見やご要望をおうかがいするものです。なお、ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理し、調査目的以外に使用することはありません。

お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

平成26年2月

西東京市長 丸山 浩一

記入についてのお願い

1. **この調査は、平成26年2月1日現在でお答えください。**
 2. お答えは、特に説明のない限り、あてはまる番号を○で囲んでください。
 3. お答えが「その他」にあてはまる場合は、その番号を○で囲み、〔 〕内になるべく具体的にその内容をご記入ください。
 4. 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印（⇒）など、次にお答えいただく質問番号への案内にご注意ください。
 5. 回答はできる限り、対象者ご本人がご記入ください。なお、対象者ご本人おひとりの回答がむずかしい場合は、ご家族や施設職員の方がお手伝いいただくか、対象者の意見を聞いた上でご家族や施設職員の方が代わりにご記入ください。
- ★対象の方が何らかの事情により不在で記入できない場合には、下の枠内のいずれかに○印をつけてご返送ください。**

1. 退所・退院 2. ご本人の意向 3. 家族の意向 4. その他〔 〕

調査票、返信用封筒には住所、氏名を記入する必要はありません。

記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れ、

2月24日（月）までに ご返送ください。

調査についてご質問などがありましたら、下記までお問い合わせください。

【連絡先】 西東京市役所 保谷庁舎 福祉部 高齢者支援課 電話042（438）4030（直通）

問1 この調査票はどなたがご記入されますか。（1つに○）

1. あてご本人
2. あてご本人の家族
3. 施設等の職員
4. その他〔 〕

最初に、あなた（あてご本人）のことについておたずねします

※以下の質問で「あなた」とは、あてご本人のことです。お間違えないようにお答えください。

問2 あなた（あてご本人）の性別は。（1つに○）

1. 男性 2. 女性

問3 あなたの年齢をご記入ください。

※平成26年2月1日現在の年齢でお答えください。

〔 〕 歳

問4 あなたの現在及び1年前（平成25年2月）の介護度はどれですか。（1つに○）

- （現在）
1. 要支援1 3. 要介護1 6. 要介護4
2. 要支援2 4. 要介護2 7. 要介護5
5. 要介護3

（1年前）

1. 要支援1 3. 要介護1 7. 要介護5
2. 要支援2 4. 要介護2 8. 非該当
5. 要介護3 9. 認定は受けていない
6. 要介護4 10. わからない

問5 あなたがお過ごしになっているのはどの施設ですか。（1つに○）

1. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）
2. 介護老人保健施設（老人保健施設）
3. 介護療養型医療施設
4. 有料老人ホーム
5. 認知症対応型共同生活介護（認知症高齢者グループホーム）
6. その他〔 〕

問6 現在の施設に入所されてどのくらいですか。（1つに○）

1. 半年以内 3. 1年以上2年未満 5. 3年以上5年未満
2. 半年以上1年未満 4. 2年以上3年未満 6. 5年以上

問7 ご家族はいらっしゃいますか。（1つに○）

1. 配偶者 4. その他〔 〕
2. 子ども 5. いない ⇒問8へ
3. 兄弟姉妹

付問 問7で「1」～「4」と回答した方におたずねします。

ご家族の面会の頻度はどのくらいですか。(1つに○)

- | | | |
|-----------|------------|------------|
| 1. ほぼ毎日 | 4. 数か月1回程度 | 7. ほとんど来ない |
| 2. 週に1回程度 | 5. 半年に1回程度 | |
| 3. 月に1回程度 | 6. 年に1回程度 | |

施設サービスの利用についておたずねします

問8 あなた(あて名ご本人)が現在入所しているお部屋は、何人部屋ですか。(1つに○)

- | | | |
|-------|---------|---------|
| 1. 個室 | 2. 2人部屋 | 3. 4人部屋 |
|-------|---------|---------|

問9 相部屋の方は個室を希望しますか。個室の方は引き続き個室にお住まいになりましたか。(1つに○)

- | | | |
|---------|----------|----------|
| 1. 希望する | 2. 希望しない | 3. わからない |
|---------|----------|----------|

問10 現在入所されている施設についておたずねします。

(1) 施設での生活は満足していますか。(1つに○)

- | | | |
|-------|--------|----------|
| 1. はい | 2. いいえ | 3. わからない |
|-------|--------|----------|

(2) 健康面での配慮はよくしてくれますか。(1つに○)

- | | | |
|-------|--------|----------|
| 1. はい | 2. いいえ | 3. わからない |
|-------|--------|----------|

(3) 介護は丁寧に、こちらの状態を配慮してくれますか。(1つに○)

- | | | |
|-------|--------|----------|
| 1. はい | 2. いいえ | 3. わからない |
|-------|--------|----------|

(4) レクリエーションやクラブ活動を楽しんでいますか。(1つに○)

- | | | |
|-------|--------|----------|
| 1. はい | 2. いいえ | 3. わからない |
|-------|--------|----------|

(5) 心配なことなどの相談のったり十分に対応してくれますか。(1つに○)

- | | | |
|-------|--------|----------|
| 1. はい | 2. いいえ | 3. わからない |
|-------|--------|----------|

(6) 職員の対応はゆとりが感じられますか。(1つに○)

- | | | |
|-------|--------|----------|
| 1. はい | 2. いいえ | 3. わからない |
|-------|--------|----------|

(7) こちらのいうことに十分耳を傾けてくれますか。(1つに○)

- | | | |
|-------|--------|----------|
| 1. はい | 2. いいえ | 3. わからない |
|-------|--------|----------|

(8) 約束したことを守ってくれますか。(1つに○)

- | | | |
|-------|--------|----------|
| 1. はい | 2. いいえ | 3. わからない |
|-------|--------|----------|

(9) どの職員も同じように丁寧に丁寧に接してくれますか。(1つに○)

- | | | |
|-------|--------|----------|
| 1. はい | 2. いいえ | 3. わからない |
|-------|--------|----------|

(10) 自分ではできないことを代わりにやってくれますか。(1つに○)

- | | | |
|-------|--------|----------|
| 1. はい | 2. いいえ | 3. わからない |
|-------|--------|----------|

(11) プライバシーが守られていますか。(1つに○)

- | | | |
|-------|--------|----------|
| 1. はい | 2. いいえ | 3. わからない |
|-------|--------|----------|

(12) リハビリ・機能訓練を十分にやってくれますか。(1つに○)

- | | | |
|-------|--------|----------|
| 1. はい | 2. いいえ | 3. わからない |
|-------|--------|----------|

問11 施設に改善してほしいことがありますか。(いくつでも○)

- | | |
|-------------|-----------|
| 1. 食事内容や世話 | 4. 排せつの世話 |
| 2. レクリエーション | 5. 職員の対応 |
| 3. 入浴の世話 | 6. その他〔 〕 |

問12 施設を利用する際には介護支援専門員(ケアマネジャー)があなだに合った施設サービス計画(ケアプラン)を作成します。あなだはこの施設サービス計画(ケアプラン)を知っていますか。(1つに○)

- | | | | |
|----------|------|---------|-------|
| 1. 知っている | ⇒付問へ | 2. 知らない | ⇒問13へ |
|----------|------|---------|-------|

付問 問12で「1」と回答した方におたずねします。

あなだは施設サービス計画(ケアプラン)に満足していますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|------------|
| 1. 満足している | 4. やや不満である |
| 2. やや満足している | 5. 不満である |
| 3. 不満 | |

問13 施設利用月額(限度額)について利用料を負担されていますが、あなだはその負担をどのように感じていますか。(1つに○)

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 妥当だと思う | 4. 非常に負担に感じる |
| 2. おおむね妥当だと思う | 5. わからない |
| 3. 少し負担に感じる | |

問14 現在の施設での生活は全般的にみていかがですか。(1つに○)

- | | |
|-----------|------------------|
| 1. 快適である | 3. 自分には合っていないと思う |
| 2. ふつうである | 4. わからない |

サービスの要望や苦情についておたずねします

問 15 あなた（あて名ご本人）はこれまで、サービスを利用して感じた不満や問題点を誰かに伝えましたか。（いくつでも〇）

- | | |
|----------------------|-----------|
| 1. 施設の職員やケアマネジャーに伝えた | } ⇒付問1、2へ |
| 2. 市の担当課に伝えた | |
| 3. 家族に伝えた | |
| 4. 施設等の他の入所者に伝えた | |
| 5. その他〔 | |
| 6. 特に何もなかった ⇒付問2へ | |
| 7. 特に不満や問題点はない | |

付問1 問15で「1」～「5」と回答した方におたずねします。

伝えた結果、不満や問題点は改善されましたか。（1つに〇）

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 改善された | 3. 改善されなかった |
| 2. 一部は改善された | |

付問2 問15で「1」～「6」と回答した方におたずねします。

あなたが、これまでサービスを利用して感じた不満や問題点の具体的な内容をお聞かせください。（いくつでも〇）

- | | |
|-------------------------|---|
| 1. 施設で提供しているサービスの内容について | } |
| 2. 施設職員の対応について | |
| 3. 介護保険サービスの利用料について | |
| 4. 要介護度について | |
| 5. その他〔 | |

今後の生活とご自宅のことについておたずねします

問 16 今後、あなた（あて名ご本人）はどのように過ごしたいと考えていますか。（1つに〇）

- | | |
|--------------------------------|---------|
| 1. 引き続きこの施設で過ごしたい | } ⇒付問1へ |
| 2. 別の施設で過ごしたい ⇒付問1へ | |
| 3. 自宅で介護保険サービスを利用して過ごしたい ⇒付問2へ | |
| 4. 自宅と施設を行き来しながら過ごしたい | |
| 5. 家族の意向に任せている | |
| 6. わからない | |

付問1 問16で「2」と回答した方におたずねします。

それはどのような施設ですか。（1つに〇）

- | | |
|------------------------|---|
| 1. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） | } |
| 2. 介護老人保健施設（老人保健施設） | |
| 3. 介護療養型医療施設 | |
| 4. その他〔 | |

付問2 問16で「3」と回答した方におたずねします。どのようなサービスを利用したいですか。（いくつでも〇）

- | | |
|---------------------------------|---|
| 1. 訪問介護 | } |
| 2. 訪問入浴介護 | |
| 3. 訪問看護 | |
| 4. 訪問リハビリテーション | |
| 5. 居宅療養管理指導 | |
| 6. 通所介護（デイサービス） | |
| 7. 通所リハビリテーション | |
| 8. 小規模多機能型居宅介護 | |
| 9. 短期入所生活介護・短期入所療養介護（ショートステイ） | |
| 10. 認知症対応型共同生活介護（認知症高齢者グループホーム） | |
| 11. 住宅改修 | |
| 12. 福祉用具の貸与・販売 | |
| 13. その他〔 | |

問 17 この施設を退所される場合、帰宅先はどちらになりますか。（1つに〇）

- | | | |
|-----------------|---|--------------|
| 1. 自宅 | } | 5. その他〔具体的に： |
| 2. 娘・息子の家 | | 6. わからない |
| 3. 兄弟姉妹の家 | | 7. ない |
| 4. おい・めいなどの親族の家 | | |

問 18 帰宅先はどちらですか。（1つに〇）

- | | |
|----------|---|
| 1. 西東京市内 | } |
| 2. 西東京市外 | |

問 19 帰宅にあたり、問題となることがあるとしたら、どのようなことですか。（いくつでも〇）

- | | |
|--------------------------|---|
| 1. 家が狭いこと | } |
| 2. 自分で使える部屋がないこと | |
| 3. 介護してくれる人がいないこと | |
| 4. 段差が多いなどすごしにくいこと | |
| 5. 一緒に過ごす仲間がいなくなること | |
| 6. 家族がいらないこと、帰宅できる家がないこと | |
| 7. 介護用の設備や用具がないこと | |
| 8. 介護費用の負担が大きいこと | |
| 9. 家族が介護するには心身の負担が大きいこと | |
| 10. その他〔 | |

最後に、介護保険制度に対するご意見をおたずねします

問 20 あなた（あてご本人）が、「介護保険制度」全体をよりよくするため西東京市が力を入れるべきだと思うことは、次のうちどれですか。（3つまで○）

1. サービス事業者の質の向上につとめること
2. 介護支援専門員やヘルパーなどの人材を育成すること
3. 在宅サービスの充実に力を入れること
4. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）などの施設をふやしていくこと
5. 利用料や保険料を補助するなど、利用者の費用負担を軽減すること
6. 介護保険サービスの利用が増えるよう、啓発・PRを進めること
7. 億たきりにならないよう、介護予防サービスに力を入れること
8. 地域全体で介護を支援する基盤づくりを行うこと
9. 困ったときに気軽に介護相談ができる場所をふやすこと
10. 家族介護の負担を軽減すること
11. その他（
12. わからない

問 21 市の高齢者保健福祉サービスや介護保険制度について、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

調査にご協力いただき誠にありがとうございました。

記入もれがないかどうかもう一度お確かめのうえ、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れて、**2月24日（月）まで**にお近くのポストに投函してください。

問8 現在のお住まいで困っていることはありますか。(いくつでも○)

1. 玄関周りの段差で困っている
 2. 廊下や居室などの段差で困っている
 3. 屋内の階段の昇り降りが大変で困っている
 4. 浴室や浴槽が使いにくくて困っている
 5. トイレに手すりになかったり洋式でなかったりするため困っている
 6. エレベーターがなくて困っている
 7. その他〔
 8. 特にない〕

問9 あなたと同居しているご家族は。(1つに○)

1. ひとり暮らし
 2. 夫婦ふたり暮らし ⇒付問へ
 3. その他の世帯(上記の1～2以外)で、全員が65歳以上
 4. その他の世帯(上記の1～3以外)

付問 問9で「2」と回答した方におたずねします。

あなたの配偶者の年齢をご記入ください。

※平成26年2月1日現在の年齢でお答えください。

〔
 〕
 歳

要介護認定と介護保険サービスについておたずねします

問10 あなたの現在及び1年前(平成25年2月)の介護度はどれですか。
 (現在及び1年前それぞれ1つに○)

(現在)
 1. 要支援1
 2. 要支援2
 3. 要介護1
 4. 要介護2
 5. 要介護3
 6. 要介護4
 7. 要介護5

(1年前)
 1. 要支援1
 2. 要支援2
 3. 要介護1
 4. 要介護2
 5. 要介護3
 6. 要介護4
 7. 要介護5
 8. 非該当
 9. 認定を受けていない
 10. わからない

問11 介護保険の「要介護認定」の申請はどなたがされたのですか。(1つに○)

1. あなた(あて名ご本人)
 2. 家族で話し合った結果
 3. 第三者にすすめられて
 〔
 〕

問12 介護保険の「要介護認定」を申請された理由をお聞かせください。

〔
 〕

問13 あなたは、「要介護認定」を受けながら、介護保険サービスを利用しない理由は
 何ですか。(いくつでも○)

1. 家族が介護してくれるから
 2. 家族以外に介護してもらったことが不安だから
 3. 契約することが不安だから
 4. 利用料を支払うだけのお金がないから
 5. 利用料がサービス内容に見合っていないと思うから
 6. 利用したいサービスがないから
 〔 希望するサービスを具体的に：
 〕

7. よいケアマネジャーが見つからないから
 8. ケアマネジャーの対応がよくなかったから
 9. 一時サービス(住宅改修など)だけでよかったから
 10. まだ利用しなくてもよいと思うから
 11. 病院に入院しているから
 12. 体調がよくないから
 13. よい事業者が見つからないから
 14. サービス利用の申請方法がわからないから
 15. サービスの内容がよくわからないから
 16. 障害者控除に介護度の証明が必要だから
 17. 家族介護費などのサービスを利用するため
 18. 自立者向けの住宅改修やヘルパーなどのサービスを利用するため
 19. 家族の介護負担について、介護度で評価したいので
 20. 介護認定をされているだけで安心感があるため
 21. 家族以外の人が家に入って欲しくないため
 22. その他〔
 23. わからない〕

問14 あなたは、平成26年2月1日時点、介護等についてどのようにされていますか。(1つに○)

1. 家族からの世話のみを受けていた
 2. 在宅で介護保険以外の福祉サービスを利用していた
 3. 病院に入院していた
 4. 介護保険以外の施設(介護老人ホーム、軽費老人ホーム、有料老人ホームなど)に入所していた
 5. その他〔
 6. とくに介護等は受けていない〕

日常生活の困りごとについておたずねします

問15 あなた(あて名ご本人)は、日常生活の中で困ったことがありますか。
 (1つに○)

1. ある ⇒付問へ
 2. ない ⇒問16へ

付問 問 15 で「1」と回答した方におたずねします。

日常生活の中で困ったことは次のうちどれですか。(3つまで○)

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1. 外出の際の移動手段 | 9. 洗濯 |
| 2. 税金の支払や公共機関の手続き | 10. 炊事 |
| 3. 財産やお金の管理 | 11. 電化製品の扱い方 |
| 4. 日々の買い物 | 12. トイレ |
| 5. 日々のゴミ出し | 13. 入浴 |
| 6. 家具の移動 | 14. 通院・入所 |
| 7. 庭の手入れ他 | 15. その他 |
| 8. 掃除 | 〔 〕 |

医療の状況についておたずねします

問 16 あなたは、現在治療中の病気はありますか。(1つに○)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問 17 「かかりつけ医」「かかりつけ歯科医」「かかりつけ薬局」についておたずねします。

※「かかりつけ医」「かかりつけ歯科医」「かかりつけ薬局」とは、あなたの生活の状況などを理解していて、健康や病気のことを日ごろから、気軽に相談できるような身近な開業医、歯科医、薬局をさします。

(1) あなたには、「かかりつけ医」がいますか。(1つに○)

- | | | |
|-------|--------|----------|
| 1. いる | 2. いない | 3. わからない |
|-------|--------|----------|

(2) あなたには、「かかりつけ歯科医」がいますか。(1つに○)

- | | | |
|-------|--------|----------|
| 1. いる | 2. いない | 3. わからない |
|-------|--------|----------|

(3) あなたには、「かかりつけ薬局」がいますか。(1つに○)

- | | | |
|-------|--------|----------|
| 1. いる | 2. いない | 3. わからない |
|-------|--------|----------|

問 18 あなたの医療の受診形態は、次のどれですか。(1つに○)

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. 訪問診療(住診)してもらっている | } ⇒付問 1. 2. 3へ |
| 2. 訪問診療(住診)と通院の両方を利用している | |
| 3. 通院している ⇒問 19へ | |

付問 1 問 18 で「1」または「2」と回答した方におたずねします。

現在、次のような医療処置を受けていますか。(いくつでも○)

- | | | |
|------------|-----------|------------------------|
| 1. 点滴の管理 | 7. 疼痛の看護 | 13. 留置カテーテル |
| 2. ストーマの処置 | 8. 人工透析 | 14. インスリン |
| 3. 気管切開 | 9. 人工呼吸器 | 15. その他 |
| 4. 中心静脈栄養 | 10. 経管栄養 | 〔 〕 |
| 5. たんの吸引 | 11. 胃ろう | |
| 6. 在宅酸素療養 | 12. じょくそう | |
| | | 16. 医療処置は受けていない ⇒問 19へ |

付問 2 問 18 で「1」または「2」と回答した方におたずねします。

在宅療養を送る上で困っていることは何ですか。(いくつでも○)

- | |
|-----------------------------|
| 1. 在宅療養(看取りを含む)について相談する場がない |
| 2. 薬を飲み忘れることが多い |
| 3. 予定どおりに医師が来てくれない |
| 4. ティサービスやショートステイが利用できない |
| 5. 緊急時に医師と連絡がとれない |
| 6. 口腔ケアや歯科診療が受けられない |
| 7. 医師や介護サービス事業所が悩みを聞いてくれない |
| 8. 医療や介護サービスにお金がかかる |
| 9. 介護者にゆとりがない |
| 10. その他〔 〕 |

付問 3 問 18 で「1」または「2」と回答した方におたずねします。

今後、在宅での療養生活を継続する予定ですか。(1つに○)

- | | |
|-----------------------|----------|
| 1. 継続する(したい) ⇒付問 3-1へ | } ⇒問 19へ |
| 2. 医療機関に入院する(したい) | |
| 3. 福祉施設に入所する(したい) | |

付問 3-1 付問 3 で「1」と回答した方におたずねします。

在宅療養生活を継続する理由は何ですか。(いくつでも○)

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1. 住み慣れた家にいたい | 5. 自宅で最期を迎えたい |
| 2. 家族との時間を多く持ちたい | 6. 病院より退院等を迫られ希望せざるを得ない |
| 3. 病院での治療を望んでいない | 7. その他〔 〕 |
| 4. 病院へ行くと経済的に負担が大きい | |

介護保険サービスの利用についておたずねします

問 19 介護保険サービスについておたずねします。

(1) 介護保険サービスには次のようなサービスがありますが、あなた（あて名の本人）はそれぞれの内容を知っていますか。

(いくつでも○) ※★は要支援1～2の方も利用できるサービス

◆家庭への訪問や通いで受けるサービス

1. 訪問介護★(ホームヘルパーの訪問)
2. 訪問入浴介護★(入浴チームの訪問)
3. 訪問看護★(看護師などの訪問)
4. 訪問リハビリテーション★(リハビリの専門職による訪問)
5. 居宅療養管理指導★(医師などによる指導)
6. 通所介護(デイサービス)★(日帰りの介護施設などへの通所)
7. 通所リハビリテーション(デイケア)★(介護老人保健施設(老人保健施設)などへの通所)
8. 短期入所生活介護(ショートステイ)★(介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)への短期入所)
9. 短期入所療養介護(ショートステイ)★(介護老人保健施設(老人保健施設)などへの短期入所)
10. 特定施設入居者生活介護★(有料老人ホームなどでの介護)

◆施設などを利用するサービス

11. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)
12. 介護老人保健施設(老人保健施設)
13. 介護療養型医療施設

◆身近な地域でのサービス

14. 小規模多機能型居宅介護★(通所介護(デイサービス)を中心に、「訪問介護」や「短期入所(ショートステイ)」を組み合わせた介護サービス)
15. 夜間対応型訪問介護(夜間に定期的に巡回して行う訪問介護と、通報に基づき随時対応する訪問介護)
16. 認知症対応型通所介護★(認知症デイサービス)
17. 認知症対応型共同生活介護★(認知症高齢者グループホーム)
18. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護(日中・夜間を通じて、訪問介護と訪問看護を一体的に又はそれぞれが密接に連携したサービス)
19. 複合型サービス(「小規模多機能型居宅介護」と「訪問看護」を組み合わせたサービス)

◆その他

20. 福祉用具の貸与★(車いす・特殊寝台などの貸与)
21. 福祉用具の購入費の支給★(入浴用いすなどの購入費の支給)
22. 住宅改修費の支給★(手すりの取付けなど改修費の支給)

(2) 今後、あなたが介護保険サービスを利用するとすれば、どのようなサービスを利用したいですか(条件があれば、という方もある程度条件が満たされたとしてお答えください)。(いくつでも○) ※★は要支援1～2の方も利用できるサービス

◆家庭への訪問や通いで受けるサービス

1. 訪問介護★(ホームヘルパーの訪問)
2. 訪問入浴介護★(入浴チームの訪問)
3. 訪問看護★(看護師などの訪問)
4. 訪問リハビリテーション★(リハビリの専門職による訪問)
5. 居宅療養管理指導★(医師などによる指導)
6. 通所介護(デイサービス)★(日帰りの介護施設などへの通所)
7. 通所リハビリテーション(デイケア)★(介護老人保健施設(老人保健施設)などへの通所)
8. 短期入所生活介護(ショートステイ)★(介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)への短期入所)
9. 短期入所療養介護(ショートステイ)★(介護老人保健施設(老人保健施設)などへの短期入所)
10. 特定施設入居者生活介護★(有料老人ホームなどでの介護)

◆施設などを利用するサービス

11. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)
12. 介護老人保健施設(老人保健施設)
13. 介護療養型医療施設

◆身近な地域でのサービス

14. 小規模多機能型居宅介護★(通所介護(デイサービス)を中心に、「訪問介護」や「短期入所(ショートステイ)」を組み合わせた介護サービス)
15. 夜間対応型訪問介護(夜間に定期的に巡回して行う訪問介護と、通報に基づき随時対応する訪問介護)
16. 認知症対応型通所介護★(認知症デイサービス)
17. 認知症対応型共同生活介護★(認知症高齢者グループホーム)
18. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護(日中・夜間を通じて、訪問介護と訪問看護を一体的に又はそれぞれが密接に連携したサービス)
19. 複合型サービス(「小規模多機能型居宅介護」と「訪問看護」を組み合わせたサービス)

◆その他

20. 福祉用具の貸与★(車いす・特殊寝台などの貸与)
21. 福祉用具の購入費の支給★(入浴用いすなどの購入費の支給)
22. 住宅改修費の支給★(手すりの取付けなど改修費の支給)

西東京市の介護保険・保健福祉サービスについておたずねします

問 20 あなたは、今後西東京市が取り組む介護保険・保健福祉サービスとして、次のどれを優先して充実すべきとお考えですか。(5つまで○)

1. 介護が必要な状態にならないための予防に関する事業
2. 在宅での介護を支援する、ホームヘルパーの派遣や入浴などのサービス
3. 在宅で介護を受ける方のための通所で行うデイサービス
4. 健康診査・がん検診などの保健サービス
5. 機能訓練・訪問指導・相談など、健康維持のためのサービス
6. 老人ホームなど、常時介護が必要な方のための入所施設
7. 介護を必要とする方を短期間お預かりする短期入所施設(ショートステイ)
8. 見守りが必要な人のための生活支援型施設(サービス付き高齢者向け住宅等)
9. 地域包括支援センターなど、身近なところで相談など行える施設
10. 介護老人保健施設(老人保健施設)など、リハビリなどを行うための入所施設
11. 福祉会館など、健康の推進や趣味・教養向上のための施設
12. 往診やかかりつけ医・歯科医、訪問看護など、医療の充実
13. 保健・医療・福祉に関する情報提供や案内の充実
14. 趣味や教育の向上、生きがい対策など気軽に参加できる催し物・講座等の充実
15. ホランティアなど、高齢者の地域活動参加の促進や支援
16. 高齢者の就労支援
17. 認知症高齢者やその家族の支援
18. 認知症などで、判断能力が低下した方の財産保全等権利擁護に関する取り組み
19. その他()

問 21 あなたは、「地域包括支援センター」を知っていますか。(1つに○)

※地域包括支援センターは、高齢者の方が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、介護・福祉・健康・医療など様々な面から関係機関との連携をとりながら、総合的に支えていく機関です。

1. 知っている ⇒付問 1. 2へ
2. 知らない ⇒問 22へ

付問 1 問 21 で「1」と回答した方におたずねします。

あなたのお住まいの地区を担当している「地域包括支援センター」の場所を知っていますか。(1つに○)

1. 知っている
2. 知らない

付問 2 問 21 で「1」と回答した方におたずねします。

あなたが、「地域包括支援センター」の事業内容について、知っていることを次の中からお選びください。(いくつでも○)

1. 高齢者や家族の総合的な相談・支援を行っている
2. 高齢者の尊厳ある生活を守るための権利擁護業務を行っている
3. ケアマネジャーの活動の環境整備や支援を行っている
4. 介護予防に関する業務を行っている
5. どんなことをやっているのか知らない

今後の過ごし方についておたずねします

問 22 今後、あなた(あて名のご本人)はどのように過ごしたいと考えていますか。現在思っていることに、最も近いものはどれですか。(1つに○)

1. できるだけ在宅で、介護保険サービスを利用しながら最期まで生活したい
2. できるだけ在宅で、家族の介護と介護保険サービスを受けながら最期まで生活したい
3. 家族に負担をかけたくないから、最後はお金のかからない老人ホームや施設・病院などに入所(入院)したい
4. 有料老人ホームなどお金がかかると、家族に負担がかからない施設に入りたい
5. その他()
6. 特に考えていない
7. わからない

介護保険制度に対するご意見などについておたずねします

問 23 あなたが、「介護保険制度」全体をよりよくするために西東京市が力を入れるべきだと思うことは、次のうちどれですか。(3つまで○)

1. サービス事業者の質の向上につとめること
2. 介護支援専門員やヘルパーなどの人材を育成すること
3. 在宅サービスの充実を力を入れること
4. 特別養護老人ホームなどの施設をふやししていくこと
5. 利用料や保険料を補助するなど、利用者の費用負担を軽減すること
6. 介護保険サービスが利用しやすいよう、啓発・PRを進めること
7. 寝たきりにならないよう、介護予防サービスに力を入れること
8. 地域全体で介護を支援する基盤づくりを行うこと
9. 困ったときに気軽に介護相談ができる場所をふやすこと
10. 家族介護の負担を軽減すること
11. その他()
12. わからない

問 24 市の高齢者保健福祉サービスや介護保険制度について、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

西東京市介護保険事業計画（第6期）策定のための 事業者アンケート調査 ご協力のお願い

皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。
西東京市では、平成26年度に見直しを予定しております「西東京市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第6期）」の基礎資料として、サービス提供事業者アンケート調査を実施することになりました。

お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

平成26年2月

西東京市長 丸山 浩一

記入についてのお願い

1. この調査は、平成26年2月1日現在でお答えください。
2. お答えは、特に説明のない限り、あてはまる番号を○で囲んでください。
3. お答えが「その他」にあてはまる場合は、その番号を○で囲み、〔 〕内になるべく具体的にその内容をご記入ください。
4. 質問によっては、回答していただく質問番号への案内にご注意ください。
など、次にお答えいただく質問番号への案内にご注意ください。

調査票、返信用封筒には住所、氏名を記入する必要はありません。

記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れ、

2月24日（月）までに ご返送ください。

調査についてご質問などがありましたら、下記までお問い合わせください。

【連絡先】西東京市役所 保谷庁舎 福祉部 高齢者支援課 電話042（438）4030（直通）

費事業所の概要についておたずねします

問1 費事業所の経営主体は何ですか。（1つに○）

1. 株式会社
2. 有限会社
3. 合名・合資会社
4. 社団法人
5. 社会福祉法人
6. 財団法人
7. 医療法人
8. 特定非営利活動法人（NPO 法人）
9. 社会福祉協議会
10. その他〔 〕

問2 費事業所の所在地はどこですか。（1つに○）

1. 西東京市内
2. 西東京市外

問3 費事業所で提供しているサービスは何ですか。

(1) 介護サービス（いくつでも○）

1. 居宅介護支援
2. 訪問介護
3. 訪問入浴介護
4. 訪問看護
5. 訪問リハビリテーション
6. 居宅療養管理指導
7. 通所介護
8. 通所リハビリテーション
9. 短期入所生活介護
10. 短期入所療養介護
11. 特定施設入居者生活介護
12. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）
13. 介護老人保健施設（老人保健施設）
14. 介護療養型医療施設
15. 小規模多機能型居宅介護
16. 夜間対応型訪問介護
17. 認知症対応型通所介護
18. 認知症対応型共同生活介護
19. 福祉用具貸与・購入
20. 住宅改修

(2) 予防サービス（いくつでも○）

1. 予防介護支援
2. 介護予防訪問介護
3. 介護予防訪問入浴介護
4. 介護予防訪問看護
5. 介護予防訪問リハビリテーション
6. 介護予防居宅療養管理指導
7. 介護予防通所介護
8. 介護予防通所リハビリテーション
9. 介護予防短期入所生活介護
10. 介護予防短期入所療養介護
11. 介護予防特定施設入居者生活介護
12. 介護予防小規模多機能型居宅介護
13. 介護予防認知症対応型通所介護
14. 介護予防認知症対応型共同生活介護
15. 介護予防福祉用具貸与・購入
16. 介護予防住宅改修

問4 費事業所の利用者についておたずねします。平成26年2月1日時点における利用者
総数と西東京市民の利用者数を要介護度別にご記入ください。

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
利用者総数	人	人	人	人	人	人	人
うち、西東京市民	人	人	人	人	人	人	人

収支状況についておたずねします

問5 平成24年度の貴事業所の介護事業会計についておたずねします。介護事業収支は、どのような状況ですか。(1つに○)

1. 大幅な赤字である
 2. やや黒字である
 3. ほぼ収支が均衡している
 4. やや赤字である
 5. 大幅な赤字である

問6 問5の介護事業会計の収支は、当初見込んだものと比較して、どのような状況ですか。(1つに○)

1. 大幅に上回った } ⇒付問1△
 2. やや上回った } ⇒付問2△
 3. やや下回った }
 4. 大幅に下回った }
 5. ほぼ見込みどおりである

付問1 問6で「1」または「2」と回答した事業所におたずねします。
 その理由をどうお考えですか。(2つまで○)

1. 一定以上の利用者数が確保できたため
 2. 利用者一人当たりについて、一定以上のサービスを確保できたため
 3. 人件費・事務費・事業費などの経費の支出を低く抑えることができたため
 4. 介護報酬収入以外の事業収入が得られたため
 5. 介護報酬が改定されたため
 6. その他〔 〕

付問2 問6で「3」または「4」と回答した事業所におたずねします。
 その理由をどうお考えですか。(2つまで○)

1. 当初見込んだ利用者数を確保できなかったため
 2. 当初見込んだ利用者一人当たりのサービスを確保できなかったため
 3. 人件費・事務費・事業費などの経費が予想より大きかったため
 4. 介護報酬収入以外の事業収入が得られなかったため
 5. 介護報酬が改定されたため
 6. その他〔 〕

事業運営についておたずねします

問7 平成24年度の報酬改定により利用者に対してどのような影響がありましたか。(1つに○)

1. 利用者が利用を控えるようになった
 2. 会議や研修に費やす時間が増えた
 3. 事務手続きなどが煩雑になった
 4. その他〔 〕
 5. 特に変化したことはない

問8 キャリア支援についておたずねします。

(1) 事業所内での講習会・研修は十分実施できていると思いますか。できていない場合は理由を具体的に書きください。(1つに○)

1. 十分実施できている
 2. 十分ではないが実施できている
 3. ほとんど実施できていない〔理由： 〕
 4. その他〔 〕

(2) 外部の研修や事例検討、勉強会について職員が積極的に参加できるよう支援していますか。できていない場合は理由を具体的に書きください。(1つに○)

1. 支援している
 2. 十分でないが支援している
 3. ほとんど支援していない〔理由： 〕
 4. 支援したいができない〔理由： 〕
 5. その他〔 〕

問9 円滑な事業運営を進めていくうえで、現在、特に困難に感じていることは何ですか。(いくつでも○)

1. 従事者の確保が難しい
 2. 利用者の確保が難しい
 3. 事務作業が多い
 4. 施設・設備の改善が難しい
 5. 必要な情報の入手に支障がある
 6. 従事者の資質向上を図ることが難しい
 7. 利用者や家族の制度に対する理解が進んでいない
 8. 市町村等との連携を図ることが難しい
 9. その他〔 〕
 10. 特に困難に感じることはない

苦情内容についておたずねします

問10 これまでに利用者や家族からどのような苦情を受けていますか。(いくつでも○)

1. サービス内容に関するもの
 2. 利用手続に関するもの
 3. 職員の態度に関するもの
 4. 施設・設備に関するもの
 5. 保険外負担（その他日常生活費等）に関するもの
 6. その他〔 〕
 7. 特に苦情を受けていない

サービスの質の向上に向けた取組みをおたずねします

問 11 今後、第三者評価を実施する予定はありますか。(1つに○)

1. 実施の予定がある 3. すでに実施した(実施年月: 年 月)
2. 実施の予定はない ⇒付問へ

付問 問 11 で「2」と回答した事業所におたずねします。

その理由は次のうちどれですか。(1つに○)

1. 費用がかかりすぎるから 4. サービスの改善に結びつくかわからないから
2. メリットがわからないから 5. その他
3. 評価機関の選び方がわからないから ()

問 12 サービスの質の向上に向けて、貴事業所で課題としてあげられること、また、今後取り組むこと(または続けること)はありますか。ア～ニのそれぞれの項目について、あてはまる欄に○をつけてください。

現在、課題としてとりあげられること

今後取り組むこと(または続けること)

ア. 事業所の経営理念の明確化	1	2
イ. 従業員への経営理念の周知徹底	1	2
ウ. 職場内での人材育成・教育の充実	1	2
エ. ケアカンファレンスへの積極的な参加	1	2
オ. 専門職の定着・確保	1	2
カ. 利用者にとって有益な情報開示の推進	1	2
キ. 利用者にわかりやすい契約書の工夫	1	2
ク. 利用者の納得と意思の尊重	1	2
ク. 利用者のプライバシーの保護・個人情報管理の徹底	1	2
ケ. 各種マニュアルの作成	1	2
サ. 苦情処理対応	1	2
シ. サービスの自己評価の取り組み	1	2
ス. 従業員の労働条件	1	2
セ. 提供するサービスの量的拡大	1	2
ソ. 提供するサービスエリアの拡大	1	2
タ. 福祉系事業所との連携	1	2
チ. 医療・保健系事業所との連携	1	2
ツ. ボランティア活動団体との連携	1	2
テ. ボランティア受入の拡大	1	2
ト. 家族等介護者とのつながり	1	2
ト. ネットケアや個室化の推進	1	2
ニ. その他(具体的に下の欄にご記入ください)	1	2

【その他の内容】具体的に記入ください。

●現在、課題としてあげられること

●今後取り組むこと(または続けること)

今後の運営方針についておたずねします

問 13 貴事業所で提供しているサービスについて、今後、どのように考えていますか。(1つに○)

1. 現状維持で考えている 3. 事業規模の縮小を考えている ⇒付問へ
2. 事業規模の拡大を考えている 4. その他 ()

付問 問 13 で「3」と回答した事業所におたずねします。

事業規模の縮小を考慮している理由は次のうちどれですか。(2つまで○)

1. 事業展開するのに十分な需要が見込まれないため
2. 競合の事業所に利用者が増える傾向がみられるため
3. 新たな事業所に参入してきているため
4. 利用者負担を考慮して、利用者がサービスの利用を控えているため
5. 医療保険などのほかの制度を利用するケースが見込み以上に多いため
6. 必要な従事者を確保できないため
7. 介護報酬単価が低く、利益が見込まれないため
8. その他 ()

問 14 貴事業所では、西東京市内での地域密着型サービスの事業拡大や新規参入を考えていますか。ア～オのサービスについて、それぞれあてはまる番号に○をつけてください。なお、同一法人で複数の事業所がある場合は、西東京市内の事業所の方が代表でお答えください。

	実施中	事業拡大・参入を希望している(参入時期、規模は)	検討中	考えていない(わからない/予定はない)
ア. 小規模多機能型居宅介護	1	2(平成 年 月頃)(定員数 人)	3	4
イ. 認知症対応型通所介護	1	2(平成 年 月頃)(定員数 人)	3	4
ウ. 認知症対応型共同生活介護	1	2(平成 年 月頃)(定員数 人)	3	4
エ. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	2(平成 年 月頃)(定員数 人)	3	4
オ. 複合型サービス	1	2(平成 年 月頃)(定員数 人)	3	4

問 15 平成 27 年 4 月に予定されている介護保険制度の改正について、貴事業所の経営に影響があると予想される事項は何ですか。(いくつでも○)

1. 予防給付が市区町村の独自事業に移行すること
2. 一定以上の所得がある利用者について負担を引き上げること
3. 特別養護老人ホームが中重度者に重点化すること
4. 小規模サービス施設のあり方が変わることに
5. その他 ()
6. 特になし

地域包括支援センターについておたずねします

問 16 西東京市の地域包括支援センターの4つの役割について、どの程度機能していると思えますか。(ア～エそれぞれ1つずつ○)

	よく機能している	機能している	どちらともいえない	あまり機能していない	ほとんど機能していない	わからない
ア. 介護予防事業のケアマネジメント	1	2	3	4	5	6
イ. 介護保険外サービスを含む、高齢者や家族に対する総合的な相談・支援	1	2	3	4	5	6
ウ. 被保険者に対する虐待の防止、早期発見等の権利擁護事業	1	2	3	4	5	6
エ. 保健医療の向上及び福祉の増進を包括的・継続的に支援	1	2	3	4	5	6

付問 問 16 で回答した理由を教えてください。また、地域包括支援センターについて、ご意見・ご要望があれば、ご自由にお書きください。

西東京市への意向についておたずねします

問 17 今後保険者としての西東京市に対し、事業者として望むことは次のうちどれですか。(3つまで○)

1. 苦情相談への指導・助言・援助
 2. ケアプランの指導
 3. 施設等の空き情報の提供
 4. 処遇困難ケースの指導・助言・援助
 5. 介護保険制度の最新情報提供
 6. 研修会やケース検討会の開催
 7. 医療と介護の連携
 8. 被保険者・家族への制度の周知
 9. 事業者に対するサービスの質の評価
 10. その他
11. 特にない

問 18 「介護保険制度」全体をよりよくするため西東京市が力を入れるべきだと思うことは、次のうちどれですか。(3つまで○)

1. サービス事業者の質の向上につとめること
2. 介護支援専門員の質の向上につとめること
3. 介護支援専門員やヘルパーなどの人材を育成すること
4. 介護保険サービスの整備に力を入れること
5. 介護保険外サービスの充実を図ること
6. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）などの施設をふやしていくこと
7. 利用料や保険料を補助するなど、利用者の費用負担を軽減すること
8. 介護保険サービスが利用しやすいよう、啓発・PRを進めること
9. 億たきりにならないよう、介護予防サービスに力を入れること
10. 地域全体で介護を支援する基盤づくりを行うこと
11. 困ったときに気軽に介護相談ができる場所をふやすこと
12. 家族介護の負担を軽減すること
13. 市民、事業者等の意見を集約し、東京都や国に提言していくこと
14. その他〔
15. わからない

問 19 介護保険事業について、ご意見、ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

調査にご協力いただき誠にありがとうございました。

記入もれがないかどうかもう一度お確かめのうえ、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れて、**2月24日（月）まで**にお近くのポストに投函してください。

西京市介護保険事業計画（第6期）策定のための 介護支援専門員アンケート調査 ご協力をお願いします

皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。
西京市では、平成26年度に見直しを予定しております「西京市高齢者保健福祉計画・
介護保険事業計画（第6期）」の基礎資料として、居宅介護支援事業所で勤務をされているケ
アマネジャーの方々を対象に、アンケート調査を行うことといたしました。

お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いい
たします。

平成26年2月

西京市長 丸山 浩一

記入についてお願い

1. この調査は、平成26年2月1日現在でお答えください。
2. お答えは、特に説明のない限り、あてはまる番号を○で囲んでください。
3. お答えが「その他」にあてはまる場合は、その番号を○で囲み、〔 〕内になるべ
く具体的にその内容をご記入ください。
4. 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印（⇒）
など、次にお答えいただく質問番号への案内にご注意ください。

調査票、返信用封筒には住所、氏名を記入する必要はありません。

記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れ、

2月24日（月）までに

 ご返送ください。

調査についてご質問などがありましたら、下記までお問い合わせください。

【連絡先】 西京市役所 保谷庁舎 福祉部 高齢者支援課 電話042（438）4030（直通）

あなたのことについておたずねします

問1 あなたの性別は次のうちどれですか。（1つに○）

1. 男性 2. 女性

問2 あなたの年齢をご記入ください。

※平成26年2月1日現在の年齢でお答えください。

歳

問3 あなたの勤務形態は次のうちどれですか。（1つに○）

1. 常勤 2. 非常勤

問4 あなたの介護支援専門員としての経験年数は次のうちどれですか。（1つに○）

1. 1年未満 4. 5年以上7年未満
2. 1年以上3年未満 5. 7年以上10年未満
3. 3年以上5年未満 6. 10年以上

問5 あなたが介護支援専門員以外にお持ちの資格はどれですか。（いくつでも○）

- | | |
|--|--|
| 1. 社会福祉士
2. 介護福祉士
3. 精神保健福祉士
4. 医師
5. 歯科医師
6. 保健師
7. 看護師 | 8. 准看護師
9. 歯科技術士
10. 理学療法士
11. 作業療法士
12. 栄養士（管理栄養士含む）
13. あん摩マッサージ指圧師
14. はり師・きゆう師
15. 柔道整復師
16. 薬剤師
17. ホームヘルパー1級
18. ホームヘルパー2級
19. 介護職員初任者
20. その他
〔 〕 |
|--|--|

貴事業所のことをおたずねします

問6 法人の組織は次のどれですか。（1つに○）

- | | |
|--|---|
| 1. 株式会社
2. 有限会社
3. 合名・合資会社
4. 社団法人
5. 社会福祉法人 | 6. 財団法人
7. 医療法人
8. 特定非営利活動法人（NPO法人）
9. その他
〔 〕 |
|--|---|

問7 所属する事業所と同じ所在地内において、居宅介護支援事業の他に介護保険サービス
事業を運営していますか。（1つに○）

1. 居宅介護支援事業だけを運営している
2. 他の介護保険サービス事業も運営している ⇒付問へ

付問 問7 「2」と回答した方におたずねします。
サービス内容はどれですか。(いくつでも○)

- | | |
|----------------|-------------------------|
| 1. 訪問介護 | 11. 福祉用具貸与 |
| 2. 訪問入浴介護 | 12. 住宅改修 |
| 3. 訪問看護 | 13. 特定施設入居者生活介護 |
| 4. 訪問リハビリテーション | 14. 小規模多機能型居宅介護 |
| 5. 居宅療養管理指導 | 15. 夜間対応型訪問介護 |
| 6. 通所介護 | 16. 認知症対応型通所介護 |
| 7. 通所リハビリテーション | 17. 認知症対応型共同生活介護 |
| 8. 短期入所生活介護 | 18. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) |
| 9. 短期入所療養介護 | 19. 介護老人保健施設(老人保健施設) |
| 10. 福祉用具販売 | 20. 介護療養型医療施設 |

問8 貴事業所では特定事業所加算を取得していますか。(1つに○)

- | | |
|----------------------|----------------|
| 1. 特定事業所加算(Ⅰ)を取得している | 3. いずれも取得していない |
| 2. 特定事業所加算(Ⅱ)を取得している | |

問9 あなたが担当している西東京市の利用者数と他市の利用者数のおよその割合はどのくらいですか。

西東京市：他市 = :

問10 貴事業所の中で、西東京市を中心に活動している介護支援専門員は何人いますか。

介護支援専門員： 人

問11 貴事業所には、主任介護支援専門員は何人いますか。

主任介護支援専門員： 人

ケアマネジメントについておたずねします

問12 あなたが現在、ケアマネジメントする上で困難を感じることは次のどれですか。(いくつでも○)

- | | |
|----------------------------------|--------|
| 1. 家族と本人の意見が合わず、調整が困難なことがある | } ⇒付問へ |
| 2. 家族間で意見の相違があり、振り回されてしまう | |
| 3. 認知症等で利用者の意思の確認ができない | |
| 4. 望ましいサービスを提案しても、本人や家族の理解を得られない | |
| 5. 本人の経済的な理由で必要なサービスを組み入れられない | |
| 6. 保険サービスの情報がない | |
| 7. 保険外サービスに関する情報が少ない | |
| 8. どのようなサービスを位置づければいいのかかわからない | |
| 9. 制度上、適切なサービスを組み合わせることが、判断できない | |
| 10. 希望の日にサービスを利用できない | |
| 11. サービスの量が不足している | |
| 12. 主治医との連携ができない | |
| 13. 医療関係者との連携がうまくとれない | |
| 14. サービス事業者との連携がうまくとれない | |
| 15. サービス担当者会議を行えない | |
| 16. 専門機関への相談がしにくい | |
| 17. 保険者(市役所)への相談がしにくい | |
| 18. 地域包括支援センターへの相談がしにくい | |
| 19. 作成しなければならぬ書類が多い | |
| 20. その他() | |

付問 問12で「16」～「18」と回答した方におたずねします。
「相談がしにくい」理由を具体的に書きください。

問13 あなたはこれまでにケアプランの作成が困難と感じるケースを担当したことがありますか。(1つに○)

1. はい ⇒付問へ 2. いいえ

付問 問13で「1」と回答した方におたずねします。
どのようなケースですか。(いくつでも○)

- | | |
|------------------------------------|--------|
| 1. 医療依存度が高い | } ⇒付問へ |
| 2. 利用者と家族の意見が違ふ | |
| 3. 利用者の要望に答えられない | |
| 4. 同居家族に精神疾患などがあり協力を得られない | |
| 5. 本人や家族がアルコール依存症や精神疾患のため意思判断ができない | |
| 6. 介護拒否があるためサービスを利用してもらえない | |
| 7. 独居などでキーパーソンがいない | |
| 8. 独居の認知症高齢者 | |
| 9. 経済的、金銭的な問題を抱えている | |
| 10. キャンセルが多くサービスの調整に手間取る | |
| 11. 深刻な虐待が疑われる | |
| 12. その他() | |

問 14 あなたは困難なケースを担当したとき、どのように対応していますか。

(いくつでも○)

1. 地域包括支援センターに相談している
2. 保険者（市役所）に相談している
3. 事業者内で解決できているので外部には相談していない
4. 相談していない

問 15 あなたの担当している方には、要支援認定者はいらしゃいますか。(1つに○)

1. いる	2. いない
-------	--------

問 16 「要支援」のほうが「要介護」よりも対応が困難に感じることがありますか。

(1つに○)

1. ある ⇒付問へ	2. ない
------------	-------

付問 問 16で「1」と回答した方におたずねします。

それはどのようなときですか。(いくつでも○)

1. サービスの利用時	4. 利用者との関係
2. ケアプランの作成時	5. その他
3. 利用料の算定時	〔 〕

問 17 ケアプラン作成時に不足して困ったサービスはありますか。

(1) 介護給付サービス(2つまで○)

1. 訪問介護	13. 特定施設入居者生活介護
2. 訪問入浴介護	14. 小規模多機能型居宅介護
3. 訪問看護	15. 夜間対応型訪問介護
4. 訪問リハビリテーション	16. 認知症対応型通所介護
5. 居宅療養管理指導	17. 認知症対応型共同生活介護
6. 通所介護	18. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
7. 通所リハビリテーション	19. 複合型サービス
8. 短期入所生活介護	20. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）
9. 短期入所療養介護	21. 介護老人保健施設（老人保健施設）
10. 福祉用具販売	22. 介護療養型医療施設
11. 福祉用具貸与	23. その他〔 〕
12. 住宅改修	24. 持たない

(2) 予防給付サービス(2つまで○)

1. 介護予防訪問介護	10. 介護予防福祉用具販売
2. 介護予防訪問入浴介護	11. 介護予防福祉用具貸与
3. 介護予防訪問看護	12. 介護予防住宅改修
4. 介護予防訪問リハビリテーション	13. 介護予防特定施設入居者生活介護
5. 介護予防居宅療養管理指導	14. 介護予防小規模多機能型居宅介護
6. 介護予防通所介護	15. 介護予防認知症対応型通所介護
7. 介護予防通所リハビリテーション	16. 介護予防認知症対応型共同生活介護
8. 介護予防短期入所生活介護	17. その他〔 〕
9. 介護予防短期入所療養介護	18. 持たない

問 18 介護保険サービスには要介護度別に支給限度額が設定されていますが、あなたはケアプランを作成していて、その幅を広げる必要性を感じたことがありますか。

(1つに○)

1. ある	⇒付問へ	3. あまりない
2. たまにある		4. ない

付問 問 18で「1」または「2」と回答した方におたずねします。

そのように感じるのは、主にどのようなときですか。(1つに○)

1. 独居の認知症の利用者などで全般的な支援が必要なとき
2. 重度の利用者で頻繁な医療処置が必要になっているとき
3. 状態が安定しないなどきめ細かいサービス調整が必要なとき
4. 介護者の疲労が激しいとき
5. その他〔 〕

問 19 住宅改修を検討する際、住宅改修事業者を選ぶ際にはどのようなことをしていますか。(いくつでも○)

1. 複数の事業者から見積を取り寄せて金額の検討をしている
2. 必ず材質や器具の品質について検証をしている
3. 住宅改修や福祉用具の展示会に参加して最新情報を収集している
4. 福祉環境コーディネーター等の専門家と相談しながら検討している
5. その他〔 〕

問 20 ケアプランの作成（アセスメントからモニタリングまで）以外で、勤務している時間内にどのような仕事をしていますか。(いくつでも○)

1. 給付管理	6. 利用者の入院先や施設入所先の手配
2. 住宅改修理由書の作成	7. 管理者としての業務
3. 要介護認定調査	8. 関係機関と連絡調整
4. 事業所の相談窓口業務	9. その他〔 〕
5. 利用者の通院同行（受診付添含む）	

問 21 問 20で○をつけたうち、最も負担に感じるものはどれですか。(1つに○)

1. 給付管理	6. 利用者の入院先や施設入所先の手配
2. 住宅改修理由書の作成	7. 管理者としての業務
3. 要介護認定調査	8. 関係機関と連絡調整
4. 事業所の相談窓口業務	9. その他〔 〕
5. 利用者の通院同行（受診付添含む）	

問 22 地域包括支援センターは、あなたの仕事にとって役に立っていると思えますか。

(1つに○)

1. そう思う	3. あまりそう思わない	⇒付問へ
2. ややそう思う	4. 思わない	
	5. わからない	

付問 問22で「3」「4」「5」と回答した方におたずねします。
その理由について自由にお書きください。

例) 相談するきっかけがない、相談したと思うような対応がなかった 等

問23 これから地域包括支援センターに期待するのはどのようなことですか。
(いくつでもO)

1. 地域のネットワークづくり
2. 介護予防事業対象者の把握やマネジメント
3. 総合相談の充実
4. 介護支援専門員の支援、指導
5. 権利擁護事業
6. 独居高齢者の把握や対応
7. 認知症高齢者の把握や対応
8. 消費者被害や振り込み詐欺等の防止
9. 困難ケースへの対応
10. 医療機関との連携
11. 住民の意識啓発
12. その他〔 〕

保険外サービスについておたずねします

問24 あなたは介護保険サービス以外のサービスをケアプランに加えたことがありますか。
(いくつでもO)

1. 市の高齢者サービスを加えたことがある ⇒付問1、3へ
2. 市の高齢者サービス以外のサービスを加えたことがある ⇒付問2、3へ
3. どちらもない ⇒付問4へ

付問1 問24で「1」と回答した方におたずねします。
どのような内容ですか。(いくつでもO)

1. 配食サービス
2. 緊急通報装置の設置
3. 自立支援ホームヘルプサービス
4. 高齢者緊急短期入所サービス
5. 高齢者入浴券支給サービス
6. 日常生活用具等給付サービス
7. 住宅改修等給付サービス
8. 認知症及びねたきり高齢者等紙おむつ給付サービス
9. 優良乾燥サービス
10. ねたきり高齢者理・美容券交付サービス
11. 高齢者福祉電話貸与・電話料助成サービス
12. 認知症高齢者徘徊位置探索サービス
13. 高齢者等外出支援サービス
14. その他〔 〕

付問2 問24で「2」と回答した方におたずねします。
それはどのような内容ですか。(いくつでもO)

1. 利用者の支給限度額を超えて提供する訪問介護等
2. 訪問介護での外出時の乗降介助、散歩などの付き添い
3. 話し相手、見守り
4. 夜間や日中、利用者の要望に添じた随時対応のサービス
5. 草むしり、犬の散歩等介護保険で利用できないサービス
6. 大掃除、家屋の修繕、園芸、家具の移動などの生活支援
7. 配食、墓参り等の付添いなど
8. 移送、参加等の付添いなど
9. 旅行のアテンド
10. 権利擁護、成年後見制度
11. 趣味・娯楽・文化活動サービス
12. ホラントニア
13. その他〔 〕

付問3 問24で「1」または「2」と回答した方におたずねします。
加えるにあたり困難に感じたことは次のどれですか。(いくつでもO)

1. 利用料が高い
2. 利用できる資源が少ない
3. どこにどのような資源があるのかわからない
4. 質の高いサービス事業者が少ない
5. サービスはあるが時間帯などがニーズに合わない
6. 手続きが煩雑で利用しにくい
7. 申し込んでから時間がかかる
8. サービスはあるが対象者などが合わない
9. 利用者・家族が必要を感じない
10. その他〔 〕
11. 困難に感じたことは特にない

付問4 問24で「3」と回答した方におたずねします。
ケアプランに保険外サービスを加えたことのない理由はつぎのどれですか。
(いくつでもO)

1. サービスの必要性を感じないから
2. 利用者からの希望がないから
3. ケアプランの責任の範囲があいまいになるから
4. どのようなサービスがあるか知らないから
5. 利用者の負担が増えるから
6. ケアプランの見直しが煩雑になるから
7. その他〔 〕
8. 特にない

問25 あなたが担当する利用者に、介護保険外の支援として、近隣の居住者の支援を受け
ている方はいます(いました)か。(1つにO)

1. いる(いた)
2. いない(いなかった)
3. わからない

問26 あなたはこれから、保険外サービスを積極的にケアプランに加えていきたいと思いませんか。(1つに○)

1. ぜひ加えたい
2. 必要であれば加えたい
3. 加えたくない
4. わからない

問27 介護保険外サービスを充実させていくためにはどのようなことが必要だと思いますか。その理由について自由にお書きください。

例) 保険外サービス資源や情報を整備すること、サービスの開発を進めること 等

スキルアップについておたずねします

問28 あなたはこの1年以内に、スキルアップのための研修や講習会に参加しましたが。(1つに○)

1. はい
2. いいえ ⇒付問へ

付問 問28で「2」と回答した方におたずねします。

- 研修や講習会に参加しなかったのはどのような理由からですか。(いくつでも○)
1. 忙しくて時間がないから
 2. 事業所の雰囲気が出づらいうから
 3. 事業所の方針で出られないから
 4. 研修や講習会に関する情報がない、または得にくいから
 5. 参加するための費用を負担に感じるから
 6. 必要と思わないから
 7. その他

問29 あなたは今後、どのような研修や講習会に参加したいと思いませんか。(3つまで○)

1. 基礎研修課程 I
2. 基礎研修課程 II
3. 専門研修課程
4. 主任ケアマネジャー研修
5. リスクマネジメント研修
6. ケアプランの作成・評価
7. 困難事例の検討
8. 介護予防に関する知識・技術
9. リハビリテーションに関する知識
10. 医学一般に関する知識
11. 住宅・住環境に関する知識
12. 福祉用具に関する知識
13. 認知症ケア、認知症医療
14. 成年後見制度など権利擁護関連制度
15. リスクマネジメンなどの法律知識
16. ケアプランの作成・評価
17. 職業倫理に関する知識
18. その他
19. 特になし

医療と介護の連携の状況についておたずねします

問30 在宅で療養生活を続けている高齢者への医療と介護は、サービス担当者会議等を通じて連携していると思いますか。(1つに○)

1. 十分連携していると思う
2. ある程度連携していると思う
3. 連携が不十分であると思う
4. ほとんど連携していないと思う

付問 問30で「3」または「4」と回答した方におたずねします。

その理由は何ですか。(3つまで○)

1. 医学知識や医療制度がわからない
2. お互いに多忙で連絡がとれない
3. 個人情報保護の観点から情報が共有されない
4. 交流の場がない
5. 誰と連絡をとればいいのかわからない
6. 医療関係者の介護保険に関する知識や理解が不足している
7. その他

問31 あなたは、医療と介護の連携を図る上で情報の共有化をどのように進めれば良いとお考えですか。具体的にお願いします。

問32 あなたが関わるサービス利用者の情報について、次の関係機関、職種への連絡状況を教えてください。(ア～シそれぞれ1つずつ○)

	ほとんど聞いていない	あまり聞いていない	ある程度知っている	よく知っている
ア. 病院	1	2	3	4
イ. サービス利用者のかかりつけ医	1	2	3	4
ウ. サービス利用者に必要と考えられる診療科の医師	1	2	3	4
エ. 歯科医師	1	2	3	4
オ. 薬剤師	1	2	3	4
カ. 病院の地域連携室(医療ソーシャルワーカー)	1	2	3	4
キ. 地域包括支援センター	1	2	3	4
ク. 訪問看護ステーション	1	2	3	4
ケ. ホームヘルパー	1	2	3	4
コ. 通所介護(デイサービス)	1	2	3	4
サ. 訪問・通所リハビリテーション	1	2	3	4
シ. 短期入所生活介護(ショートステイ)	1	2	3	4

問33 高齢者の在宅療養を進めていく上で不足している機能は何ですか。(いくつでも○)

1. 訪問診療や往診をしてくれる診療所
2. 訪問看護(訪問看護ステーション)
3. 訪問・通所リハビリテーションなどリハビリテーション施設
4. 介護老人福祉施設や介護老人保健施設などの介護保険施設
5. 一人ひとりの状況に応じて関係者が連携して対応するチームケア
6. その他

西東京市への意向についておたずねします

問 34 あなたは、ケアマネジメントを実施する上で、保険者（西東京市）との連携はどれ
ていますか。（1つに○）

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 充分とれていると思う | 4. まったくとれていないと思う |
| 2. ある程度とれていると思う | 5. わからない |
| 3. あまりとれていないと思う | |

問 35 次のようなサービスは、必要だと思えますか。（ア～イそれぞれ1つずつ○）

ア. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1. きわめて必要である	3. 必要かどうかわからない
	2. ある程度は必要だと思う	4. わからない
イ. 複合型サービス	1. きわめて必要である	3. 必要かどうかわからない
	2. ある程度は必要だと思う	4. わからない

問 36 それ以外に、西東京市でとくに必要だと思うサービスを、その理由もあわせ、自由
にお書きください。

問 37 今後保険者としての西東京市に対し、介護支援専門員として望むことは次のうちど
れですか。（3つまで○）

- | | |
|---------------------|---|
| 1. 苦情相談への指導・助言・援助 |) |
| 2. ケアプランの指導 | |
| 3. 施設等の空き情報の提供 | |
| 4. 処遇困難ケースの指導・助言・援助 | |
| 5. 介護保険制度の最新情報提供 | |
| 6. 研修会やケース検討会の開催 | |
| 7. 医療と介護の連携 | |
| 8. 被保険者・家族への制度の周知 | |
| 9. 事業者に対するサービスの質の評価 | |
| 10. その他 | |
| 11. 特にない | |

問 38 「介護保険制度」全体をよりよくするため西東京市が力を入れるべきだと思うこと
は、次のうちどれですか。（3つまで○）

- | | |
|--------------------------------------|---|
| 1. サービス事業者の質の向上につとめること |) |
| 2. 介護支援専門員の質の向上につとめること | |
| 3. 介護支援専門員やヘルパーなどの人材を育成すること | |
| 4. 介護保険サービスの整備に力を入れること | |
| 5. 介護保険外サービスの充実を図ること | |
| 6. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）などの施設をふやしていくこと | |
| 7. 利用料や保険料を補助するなど、利用者の費用負担を軽減すること | |
| 8. 介護保険サービスの利用しやすいよう、啓発・PRを進めること | |
| 9. 意たきりにならないよう、介護予防サービスに力を入れること | |
| 10. 地域全体で介護を支援する基盤づくりを行うこと | |
| 11. 困ったときに気軽に介護相談ができる場所をふやすこと | |
| 12. 家族介護の負担を軽減すること | |
| 13. 市民、事業者等の意見を集約し、東京都や国に提言していくこと | |
| 14. その他〔 | |
| 15. わからない | |

問 39 介護保険事業について、ご意見、ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

調査にご協力いただき誠にありがとうございました。

記入もれがないかどうかもう一度お確かめのうえ、同封の返信用封筒（切手は不要）
に入れて、**2月24日（月）まで**にお近くのポストに投函してください。

西東京市介護保険事業計画（第6期）策定のための 市民アンケート調査 ご協力をお願いします

市民の皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

西東京市では、平成26年度に見直しを予定しております「西東京市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第6期）」の基礎資料として、皆さまのご意見やご要望を幅広くお聴きするため、保健・福祉全般の調査を実施することになりました。

この調査は、西東京市にお住まいで、平成25年11月に介護保険の訪問看護を利用して40歳以上の要介護認定者の中から無作為に300人を選ばせていただき、在宅医療と介護についてご意見やご要望をおうかがいするものです。

なお、ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理し、調査目的以外に使用することはありません。

お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

平成26年2月

西東京市長 丸山 浩一

記入についてのお願い

1. この調査は、平成26年2月1日現在でお答えください。
2. ご回答は、封筒のあて名のご本人を主に介護されている方がご記入ください。
3. お答えは、特に説明のない限り、あてはまる番号を○で囲んでください。
4. お答えが「その他」にあてはまる場合は、その番号を○で囲み、〔 〕内になるべく具体的にその内容をご記入ください。
5. 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印（⇒）など、次にお答えいただく質問番号への案内にご注意ください。

調査票、返信用封筒には住所、氏名を記入する必要はありません。

記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れ、

2月24日（月）までに ご返送ください。

調査についてご質問などがありましたら、下記までお問い合わせください。

【連絡先】 西東京市役所 保谷庁舎 福祉部 高齢者支援課 電話042（438）4032（直通）

問1 あて名の方は、現在どこで生活していますか。（1つに○）

- | | | |
|------------------|--------------|--------|
| 1. 自宅 | 4. 老人保健施設 | 7. その他 |
| 2. 子ども等他の家族・親族の家 | 5. 特別養護老人ホーム | 〔 〕 |
| 3. 病院 | 6. 有料老人ホーム | |

※問1で「5」～「7」とお答えの方は、ここまでのご記入で結構です。返送してください。調査にご協力いただき誠にありがとうございます。

[問2以降は、問1で「1」～「4」と回答した方がお答えください。なお、「3」～「4」と回答した方は、医療機関・施設入院・入所する前の状況についてお答えください]

あて名の方についておたずねします

問2 この調査票はどなたがご記入されますか。あて名の方からみた結構でお答えください。（1つに○）

- | | | |
|----------|-------------|---------------|
| 1. 夫または妻 | 4. 娘・息子の配偶者 | 7. その他の親類 |
| 2. 娘 | 5. 兄弟姉妹 | 8. 友人・知人、近所の人 |
| 3. 息子 | 6. 親 | 9. その他〔 〕 |

問3 あて名の方の性別をお答えください。（1つに○）

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問4 あて名の方の年齢をお答えください。（1つに○）

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|----------|
| 1. 40～64歳 | 3. 70～74歳 | 5. 80～84歳 | 7. 90歳以上 |
| 2. 65～69歳 | 4. 75～79歳 | 6. 85～89歳 | |

問5 あて名の方のお住まいはどちらですか。（1つに○）

- | | | | |
|--------|---------|-----------|------------|
| 1. 田無町 | 7. 向台町 | 13. 富士町 | 19. ひばりが丘北 |
| 2. 南町 | 8. 芝久保町 | 14. 中町 | 20. 栄町 |
| 3. 西原町 | 9. 新町 | 15. 東町 | 21. 北町 |
| 4. 緑町 | 10. 柳沢 | 16. 泉町 | 22. 下保谷 |
| 5. 谷戸町 | 11. 東伏見 | 17. 住吉町 | |
| 6. 北原町 | 12. 保谷町 | 18. ひばりが丘 | |

問6 あて名の方の世帯構成をお答えください。（1つに○）

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 単身（ひとりぐらし）世帯 | 3. 夫婦のみ（配偶者は64歳以下）の世帯 |
| 2. 夫婦のみ（配偶者は65歳以上）の世帯 | 4. その他の世帯 |

問7 あて名の方の要介護度は、次のどれですか。(1つに○)

1. 要介護1 3. 要介護3 5. 要介護5
 2. 要介護2 4. 要介護4 6. わからない

あて名の方を主に介護されている方についておたずねします

※以下の質問で、「あなた」とはあて名の方を主に介護されている方のことです。お間違えのないように教えてください。

問8 あなたの年齢はおいくつですか。(1つに○)

1. 30歳未満 4. 50歳代 7. 70～74歳 10. 85～89歳
 2. 30歳代 5. 60～64歳 8. 75～79歳 11. 90歳以上
 3. 40歳代 6. 65～69歳 9. 80～84歳

問9 あなたはどこに住んでいますか。(1つに○)

1. 同じ住宅 3. 同じ町内 5. 東京都内
 2. 同じ敷地 4. 西東京市内 6. その他〔 〕道府県

問10 あて名ご本人を介護している期間はどのくらいですか。具体的な期間をご記入ください。

約 年 月 日

問11 あて名ご本人を直接お世話・介護している時間は、1日にどれくらいですか。具体的な時間数をご記入ください。

約 時間

問12 あなたの健康状態はいかがですか。(1つに○)

1. よい 3. ふつう 5. よくない
 2. まあよい 4. あまりよくない

問13 あなたご自身は、要介護認定を受けていますか。(1つに○)

1. 受けている 2. 受けていない

あて名の方の在宅療養生活についておたずねします

問14 あて名の方の療養が必要になった主な原因は何ですか。(1つに○)

1. 脳血管疾患(脳卒中等) 7. 呼吸器疾患
 2. 関節疾患(変形性関節症、リウマチ等) 8. 糖尿病
 3. 骨折・転倒 9. 背髄疾患(変形性脊椎症など)、背髄損傷
 4. 高齢による衰弱 10. 悪性新生物(がん)
 5. 認知症 11. パーキンソン病等の特定疾病
 6. 心臓病 12. その他〔 〕

問15 あて名の方は、どのような医療処置を受けていますか。(いくつでも○)

1. 点滴の管理 6. 在宅酸素療養 11. 胃ろう
 2. ストーマの処置 7. 疼痛の看護 12. じょくそう
 3. 気管切開 8. 人工透析 13. 留置カテーテル
 4. 中心静脈栄養 9. 人工呼吸器 14. インスリン
 5. たんの吸引 10. 経管栄養 15. その他〔 〕

問16 あて名の方の在宅療養について、地域包括支援センターに相談しましたが。(1つに○)

1. 相談した 2. 相談しなかった

問17 あて名の方の体調が急変したとき、どこに連絡しますか。(1つに○)

1. かかりつけ医に連絡する ⇒付問へ 4. 家族・親族に連絡する } ⇒問18へ
 2. 訪問看護師に連絡する } ⇒問18へ
 3. ケアマネジャーに連絡する []

付問 あなたが抱えている「かかりつけ医」のイメージは次のうちどれですか。(1つに○)

1. 大学病院など大きな病院の医師 3. 入院設備のない診療所の医師
 2. 入院設備のある中小規模の病院の医師 4. その他〔 〕

問18 あて名の方が在宅療養を送る上で困っていることは何ですか。(いくつでも○)

1. 在宅療養(看取りを含む)について相談する場がない
 2. 薬を飲み忘れることが多い
 3. 予定どおりに医師が来てくれない
 4. 医療機関での待ち時間が長い
 5. テイサービスやショートステイが利用できない
 6. 緊急時に医師と連絡がとれない
 7. 口腔ケアや歯科診療が受けられない
 8. 医師や介護サービス事業所が悩みを聞いてくれない
 9. 医療や介護サービスにお金がかかる
 10. 介護者にゆとりがない
 11. その他〔 〕

問 19 あて名の方は、次の介護サービスを利用していますか。ア～オのサービスごとに「1. 利用している」「2. 利用していない」のいずれかに○をつけ、サービスを
利用している方は1か月の利用回数を、サービスを利用していない方は利
用していない主な理由を1つお答えください。

ア. 訪問看護

1. 利用している 2. 利用していない

利用回数をお答えください ↓ 利用していない理由を以下から1つお選びください

月 □ 回 1. 近くにサービス提供事業所がないから 4. 自身が希望して
予約がいつばい
できないから 5. その他)

3. 医療ニーズに対応できないから

イ. 訪問介護（ホームヘルプサービス）

1. 利用している 2. 利用していない

利用回数をお答えください ↓ 利用していない理由を以下から1つお選びください

月 □ 回 1. 近くにサービス提供事業所がないから 4. 自身が希望して
予約がいつばい
できないから 5. その他)

3. 医療ニーズに対応できないから

ウ. 通所介護（デイサービス）

1. 利用している 2. 利用していない

利用回数をお答えください ↓ 利用していない理由を以下から1つお選びください

月 □ 回 1. 近くにサービス提供事業所がないから 4. 自身が希望して
予約がいつばい
できないから 5. その他)

3. 医療ニーズに対応できないから

エ. 短期入所生活介護（ショートステイ）

1. 利用している 2. 利用していない

利用回数をお答えください ↓ 利用していない理由を以下から1つお選びください

月 □ 回 1. 近くにサービス提供事業所がないから 4. 自身が希望して
予約がいつばい
できないから 5. その他)

3. 医療ニーズに対応できないから

オ. 小規模多機能型居宅介護

※利用者の選択に応じて、サービス拠点への「通い」を中心として、短期間の「宿泊」や利用者の自宅への「訪問」を組み合せ、家庭的な環境と地域住民との交流の下で日常生活上の支援や機能訓練などが受けられます。

1. 利用している 2. 利用していない

利用回数をお答えください ↓ 利用していない理由を以下から1つお選びください

月 □ 回 1. 近くにサービス提供事業所がないから 4. 自身が希望して
予約がいつばい
できないから 5. その他)

3. 医療ニーズに対応できないから

問 20 あて名の方の医療の受診形態は、次のどれですか。（1つに○）

1. 訪問診療（往診）してもらっている } ⇒問 21～問 25へ
2. 訪問診療（往診）と通院の両方を利用している }
3. 通院している ⇒問 26へ

問 21 あて名の方が在宅で医療を受けられるようになってどのくらい経ちますか。

() 年 () か月

問 22 あて名の方の在宅医療を受ける前の状況を教えてください。（1つに○）

1. 入院していた 3. 医療を受けていなかった
2. 通院していた 4. その他 ()

問 23 あて名の方は、1か月に何回くらい訪問診療（往診）を受けていますか。

1か月に () 回くらい

問 24 訪問診療（往診）の医師は何科の先生ですか。（いくつでも○）

1. 内科 3. 整形外科 5. 歯科
2. 外科 4. リハビリテーション（理学療法）科 6. その他 ()

問 25 あなたは、あて名の方が現在受けている在宅医療にどの程度満足していますか。（1つに○）

1. 満足 3. どちらともいえない 5. 不満足
2. やや満足 4. やや不満足

[問 20 で「1. 訪問診療（往診）してもらっている」と回答した方は、8 ページの問 31へ進んでください]

[問 26～問 30 は、問 20 で「2. 訪問診療（往診）と通院の両方を利用している」または「3. 通院している」と回答した方がお答えください]

問26 あて名の方は、1か月に何回くらい通院していますか。

1か月に()回くらい

問27 あて名の方は、どのような方法で通院していますか。(いくつでもO)

1. 自家用車 3. 一般のタクシー 5. その他
2. 電車・バス 4. 介護タクシー ()

問28 あて名の方が通院している診療科を教えてください。(いくつでもO)

1. 内科 3. 整形外科 5. 歯科
2. 外科 4. リハビリテーション(理学療法)科 6. その他 ()

問29 あて名の方が通院している理由は何ですか。(いくつでもO)

1. 通院できるし、通院する方がいいから
2. かかりつけ医が訪問診療(往診)を行っていないから
3. かかりつけ医以外の医者の診療は受けたくないから
4. 家の中に家族以外の人が入ることに抵抗があるから
5. 訪問診療(往診)を受けたいが、必要な診療科の往診がないから
6. その他 ()

問30 今後、あて名の方は「在宅での医療」を希望していますか。(1つにO)

1. 希望している ⇒付問1へ 3. わからない ⇒問31へ
2. 希望していない ⇒付問2へ

付問1 問30で「1」と回答した方におたずねします。

あて名の方が「在宅での医療」を希望する理由は何ですか。(いくつでもO)

1. 住み慣れた家にいたいから
2. 家族との時間を多く持ちたいから
3. 病院での治療を望んでいないから
4. 病院へ行くくと経済的に負担が大きいため
5. 自宅で最期を迎えたいから
6. 病院より退院等を迫られて希望せざるを得ないから
7. その他 ()

付問2 問30で「2」と回答した方におたずねします。
あて名の方が「在宅での医療」を希望しない理由は何ですか。
(いくつでもO)

1. 訪問診療(往診)してくれない医療機関・医師を知らないから
2. どこに相談したらいいかわからないから
3. 症状が急に悪くなったとき、適切に対応してもらえないか不安があるから
4. 家族や身の回りの人への負担が大きいため
5. 居住環境が在宅医療を受けるのに適していないから
6. 在宅医療は経済的に負担が大きいため
7. 地域の訪問看護や訪問介護サービスの体制が整っていないから
8. その他 ()

[問31及び問32は、問22で「1. 入院していた」と回答した方がお答えください。
問22で「2. 通院していた」「3. 医療を受けていなかった」「4. その他」と回答した方は問33へ進んでください]

退院支援についておたずねします

問31 あなたは、入院していた病院から以下のような退院支援の援助を受けましたか。
(A～ケそれぞれ1つにO)

	はい	いいえ	わからない
ア. 症状がどの程度回復するか、わかりやすく説明してくれた	1	2	3
イ. 退院後の治療について、わかりやすく説明してくれた	1	2	3
ウ. 退院後の注意点について、わかりやすく説明してくれた	1	2	3
エ. 退院後の生活や治療への希望を十分聞いてもらえた	1	2	3
オ. 介護サービスの利用方法を説明してくれた	1	2	3
カ. 退院後の介護サービスについて、十分検討できた	1	2	3
キ. 退院先についての助言や医師を紹介された	1	2	3
ク. 介護の方法を具体的に教えてくれた	1	2	3
ケ. 退院後の生活の不安について、十分聞いてもらえた	1	2	3

問32 あなたは、入院していた病院から受けた退院支援の援助に満足していますか。
(1つにO)

1. 満足 3. どちらともいえない 5. 不満
2. やや満足 4. やや不満

[問33～問35は、問20で「1. 訪問診療(往診)してもらっている」「2. 訪問診療(往診)と通院の両方を利用している」と回答した方がお答えください。問20で「3. 通院している」と回答した方は問36へ進んでください]

訪問診療（往診）してもらっている医療機関についておたずねします

問 33 訪問診療（往診）してもらっている医療機関は、どのようにして見つけましたか。（いくつでも〇）

- | | |
|--------------------------|-------------------|
| 1. 入院していた病院から紹介された | 4. ケアマネジャーから紹介された |
| 2. インターネットで検索した | 5. その他 [] |
| 3. 地域包括支援センターから紹介された [] | |

問 34 訪問診療（往診）してもらっている医療機関は、在宅療養支援診療所*ですか。（1つに〇）

- ※在宅療養支援診療所とは、24時間体制で訪問診療（往診）や訪問看護を実施する診療所です。
- | | |
|------------------|----------|
| 1. 在宅療養支援診療所である | 3. わからない |
| 2. 在宅療養支援診療所ではない | |

問 35 訪問診療（往診）してもらっている医療機関は、ご自宅以下のような医療行為を行ってくれますか。（ア～ウそれぞれ1つに〇）

- | | | | |
|----------|-----------|------------|----------|
| ア. 終末期ケア | 1. 行ってくれる | 2. 行ってくれない | 3. わからない |
| イ. 看取り | 1. 行ってくれる | 2. 行ってくれない | 3. わからない |
| ウ. 緩和ケア | 1. 行ってくれる | 2. 行ってくれない | 3. わからない |

※緩和ケアとは、治療が難しい方のために、体の痛みや症状、精神的な不安をなるべく解消して、毎日安らかに過ごせるように支える医療のことをいいます。

【問 36 以降は、全員の方がお答えください】

医療と介護の連携についておたずねします

問 36 あなたは、医療機関と介護サービス事業者が連携していると思えますか。（1つに〇）

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1. 連携していると思う ⇒問 37へ | 3. わからない ⇒問 37へ |
| 2. 連携していないと思う | |

付問 問 36で「2」と回答した方におたずねします。（いくつでも〇）
連携していないと思う理由は何ですか。

- | |
|-------------------------------------|
| 1. かかりつけ医と介護サービスのスタッフ間で、情報交換ができていない |
| 2. 医療と介護のサービスがばらばらに提供されている |
| 3. サービスの全体を調整してくれる人がいない |
| 4. その他 [] |
| 5. わからない |

問 37 あなたは、医療機関と介護サービス事業者が連携するために、誰が中心になるべきだとお考えですか。（1つに〇）

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. ケアマネジャー | 5. ホームヘルパー等の介護職 |
| 2. かかりつけ医 | 6. 家族 |
| 3. 訪問看護師 | 7. その他 [] |
| 4. 地域包括支援センターの職員 | 8. わからない |

あて名の方の今後の療養生活についておたずねします

問 38 あなたは、あて名の方の在宅での療養生活を継続するためにどのようなことを希望しますか。（いくつでも〇）

- | |
|----------------------------------|
| 1. 困ったときに相談できる場所がほしい |
| 2. 訪問診療（往診）してくれる診療所を増やしてほしい |
| 3. 緊急時に医師と連絡がとれるような仕組みをつくってほしい |
| 4. 緊急時に入院・入所できるベッドを確保してほしい |
| 5. 長期に入院・入所できる施設がほしい |
| 6. 看取りまで面倒をみてくれる医療機関がほしい |
| 7. 訪問してくれる歯科診療所を確保してほしい |
| 8. 訪問してくれる薬局を増やしてほしい |
| 9. デイサービスやショートステイを利用しやすいようにしてほしい |
| 10. その他 [] |

問 39 あて名の方は、今後どこで療養生活を送りたいと希望していますか。（1つに〇）

- | | | |
|------------------|--------------|----------|
| 1. 自宅 | 4. 特別養護老人ホーム | 7. その他 |
| 2. 子ども等他の家族・親族の家 | 5. 老人保健施設 | [] |
| 3. 病院 | 6. 有料老人ホーム | 8. わからない |

問 40 あなたは、あて名の方の最期をどこで迎えることを希望されますか。（1つに〇）

- | | | |
|------------------|--------------|-----------------|
| 1. 自宅 ⇒問 41へ | 4. 特別養護老人ホーム | 7. その他 |
| 2. 子ども等他の家族・親族の家 | 5. 老人保健施設 | [] |
| 3. 病院 | 6. 有料老人ホーム | 8. わからない ⇒問 41へ |

付問 問 40で「2」～「7」と回答した方におたずねします。

あて名の方が、自宅で最期を迎えられない理由は何ですか。（いくつでも〇）

- | |
|--------------------------|
| 1. 急に病状が変わったときの対応が不安だから |
| 2. 医療機器の取り扱いが不安だから |
| 3. 医師や看護師の訪問が精神的に負担になるから |
| 4. 介護の負担が大きいから |
| 5. お金がかかるから |
| 6. その他 [] |

介護の負担感などについておたずねします

問 41 あなたの気持ちについておたずねします。

(1) 介護を受けている方の行動に対し、困ってしまうことがありますか。(1つに○)

1. な い 3. どちらともいえない 5. ある
2. あまりない 4. ときどきある

(2) 介護を受けている方のそばにいて、腹が立つことがありますか。(1つに○)

1. な い 3. どちらともいえない 5. ある
2. あまりない 4. ときどきある

(3) 介護があるので、家族や友人と付き合いづらくなっていると思いますか。(1つに○)

1. 思わない 3. どちらともいえない 5. 思 う
2. あまり思わない 4. ときどき思う

(4) 介護を受けている方のそばにいて、気が休まらなと思いますか。(1つに○)

1. 思わない 3. どちらともいえない 5. 思 う
2. あまり思わない 4. ときどき思う

(5) 介護があるので、自分の社会参加の機会が減ったと思うことがありますか。(1つに○)

1. 思わない 3. どちらともいえない 5. 思 う
2. あまり思わない 4. ときどき思う

(6) 介護を受けている方が家にいるので、友達を自宅によびたくてもよべないと思っ
たことがありますか。(1つに○)

1. 思わない 3. どちらともいえない 5. 思 う
2. あまり思わない 4. ときどき思う

(7) 介護をだれかに任せてしまいたいと思うことがありますか。(1つに○)

1. 思わない 3. どちらともいえない 5. 思 う
2. あまり思わない 4. ときどき思う

(8) 介護を受けている方に対して、どうしていいかわからないと思うことがありますか。
(1つに○)

1. 思わない 3. どちらともいえない 5. 思 う
2. あまり思わない 4. ときどき思う

問 42 介護の負担感についておたずねします。

(1) 介護で疲れて、体の調子が良くない(1つに○)

1. まったく思わない 2. ときどき思う 3. よく思う

(2) 介護で精神的にまいってしまっ (1つに○)

1. まったく思わない 2. ときどき思う 3. よく思う

(3) 介護のために、仕事に出られない(1つに○)

1. まったく思わない 2. ときどき思う 3. よく思う

(4) 育児や家族の世話に手がまわらない(1つに○)

1. まったく思わない 2. ときどき思う 3. よく思う

(5) 昼間、自由な時間がとれない(1つに○)

1. まったく思わない 2. ときどき思う 3. よく思う

(6) 夜間ゆっくり寝ることができない(1つに○)

1. まったく思わない 2. ときどき思う 3. よく思う

(7) 介護のことで、家族と意見が合わない(1つに○)

1. まったく思わない 2. ときどき思う 3. よく思う

(8) 介護の経済的な負担が大きい(1つに○)

1. まったく思わない 2. ときどき思う 3. よく思う

問 43 最後に、あて名の方の医療や介護サービスについてのお考え、医療機関と介護サ
ービス事業者の連携を図るために市に取り組んでほしいことなどについて、ご自
由にお書きください。

調査にご協力いただき誠にありがとうございました。

記入もれがないかどうかもう一度お確かめのうえ、同封の返信用封筒(切手は不要)
に入れて、**2月24日(月)まで**にお近くのポストに投函してください。

西東京市介護保険事業計画（第6期）策定のための 市民アンケート調査 ご協力のお願い

市民の皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

西東京市では、平成26年度に見直しを予定しております「西東京市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第6期）」の基礎資料として、皆さまのご意見やご要望を幅広くお聴きするため、保健・福祉全般の調査を実施することになりました。

この調査は、厚生労働省の日常生活圏域ニーズ調査手法により、西東京市にお住まいの65歳以上の方の中から、無作為に1,200人を選ばせていただき、介護予防の観点から日常生活の状況や健康行動についてお聞きするものです。なお、ご回答いただきました内容は、すべて統計的に処理し、調査目的以外に使用することはありません。

お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

平成26年2月

西東京市長 丸山 浩一

記入についてのお願い

1. **この調査は、平成26年2月1日現在でお答えください。**
2. お答えは、特に説明のない限り、あてはまる番号を○で囲んでください。
3. お答えが「その他」にあてはまる場合は、その番号を○で囲み、〔 〕内になるべく具体的にその内容をご記入ください。
4. 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印（⇒）など、次にお答えいただく質問番号への案内にご注意ください。
5. 回答はできる限り、対象者ご本人がご記入ください。なお、対象者ご本人おひとりの回答がむずかしい場合は、ご家族の方がお手伝いいただくか、対象者の意見を聞いた上でご家族の方が代わりにご記入ください。

★対象の方が何らかの事情により不在で記入できない場合には、下の枠内のいずれかに○印をつけてご返送ください。

- | | | | |
|------------|------------|-------|-----------|
| 1. 医療機関入院中 | 2. 福祉施設入所中 | 3. 転居 | 4. その他〔 〕 |
|------------|------------|-------|-----------|

調査票、返信用封筒には住所、氏名を記入する必要はありません。

記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れ、

2月24日（月）までに にご返送ください。

調査についてご質問などがありましたら、下記までお問い合わせください。

【連絡先】西東京市役所 保谷庁舎 福祉部 高齢者支援課 電話042(438)4030（直通）

記入日	平成26年	月	日
この調査票を記入するのはなただですか。(1つに○)			
1. あて名のご本人			
2. ご家族→(あて名のご本人からみられた続柄:)			
3. その他〔 〕			

※以下は、あて名のご本人の情報を記入してください。

年齢	〔 〕歳 ※平成26年2月1日現在の年齢でお答えください。
性別 (1つに○)	1. 男性 2. 女性
生年月日	大正・昭和〔 〕年〔 〕月〔 〕日
お住まいの 地区は (1つに○)	1. 田無町 7. 向台町 13. 富士町 19. ひばりが丘北 2. 南町 8. 芝久保町 14. 中町 20. 栄町 3. 西原町 9. 新町 15. 東町 21. 北町 4. 緑町 10. 柳沢 16. 泉町 22. 下保谷 5. 谷戸町 11. 東伏見 17. 住吉町 6. 北原町 12. 保谷町 18. ひばりが丘
要支援・要介護認定の状況 (1つに○)	1. 要支援・要介護認定を受けていない ⇒3ページの第1へ 2. 要支援・要介護認定を受けている →要介護度は(1つに○) 1. 要支援1 3. 要介護1 5. わからない 2. 要支援2 4. 要介護2

※3ページ以降の質問で、該当する答えの番号に○をつけ、数字を記入する欄には数字を記入してください。

※また、「あなた」とは、あて名ご本人のことです。お間違のないようにお答えください。

<p>第1 あなたのご家族や生活状況についておたずねします</p> <p>問1 家族構成を教えてください。(1つに○)</p> <p>1. 一人暮らし ⇒問2へ 2. 家族などと同居(二世帯住宅を含む) ⇒問1-1、問1-2へ 3. その他(施設入居など) ⇒問2へ</p> <p>問1-1 (家族などと同居されている方のみ) 自分を含めて何人で暮らしていますか。また、同居されている方はどなたですか。(いくつでも○)</p> <p style="text-align: center;">人</p> <p>1. 配偶者(夫・妻) 3. 娘 5. 孫 7. その他 2. 息子 4. 子の配偶者 6. 兄弟・姉妹 []</p> <p>問1-2 (家族などと同居されている方のみ) 日中、一人になることがありますか。(1つに○)</p> <p>1. よくある 2. たまにある 3. な い</p> <p>問2 あなたは、ふだんの生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つに○)</p> <p>1. 介護・介助は必要ない ⇒問3へ 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない ⇒問2-1へ 3. 現在、何らかの介護を受けている(要介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む) ⇒問2-1～問2-3へ</p> <p>問2-1 (介護・介助が必要な方のみ) 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(いくつでも○)</p> <p>1. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) 8. 糖尿病 2. 心臓病 9. 視覚・聴覚障害 3. がん(悪性新生物) 10. 骨折・転倒 4. 呼吸器の病気(肺炎腫・肺炎等) 11. 腎椎損傷 5. 関節の病気(リウマチ等) 12. 高齢による衰弱 6. 認知症(アルツハイマー病等) 13. その他 [] 7. パーキンソン病 14. 不明</p> <p style="text-align: right;">[問2で「2」とお答えの方は問3へ進んでください]</p> <p>問2-2 (介護・介助を受けている方のみ) 主にあなたの介護・介助を受けていますか。(1つに○)</p> <p>1. 配偶者(夫・妻) 4. 子の配偶者 7. 介護サービスのヘルパー 2. 息子 5. 孫 8. その他 3. 娘 6. 兄弟・姉妹 []</p> <p>問2-3 (介護・介助を受けている方のみ) 主に介護・介助している方の年齢は、次のどれですか。(1つに○)</p> <p>1. 65歳未満 2. 65～74歳 3. 75～84歳 4. 85歳以上</p> <p>問3 年金の種類は次のどれですか。(1つに○)</p> <p>1. 国民年金 3. 厚生年金(企業年金なし) 5. 無年金 2. 厚生年金(企業年金あり) 4. 共済年金 6. その他 []</p> <p>問4 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つに○)</p> <p>1. 苦しい 2. やや苦しい 3. ややゆとりがある 4. ゆとりがある</p>
--

<p>問5 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(1つに○)</p> <p>1. 一戸建て 2. 集合住宅</p> <p>問6 お住まいは、次のどれにあたりますか。(1つに○)</p> <p>1. 持ち家 3. 公営賃貸住宅 4. 借 間 2. 民間賃貸住宅(市・都営・都市機構、公社等) 5. その他 []</p> <p>問7 あなたが主に生活している部屋は2階以上にありますか。(1つに○)</p> <p>1. はい ⇒問7-1へ 2. いいえ ⇒第2へ</p> <p>問7-1 (2階以上の方のみ) お住まいにエレベーターは設置されていますか。(1つに○)</p> <p>1. はい 2. いいえ</p>
<p>第2 運動・閉じこもりについておたずねします</p> <p>問1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つに○)</p> <p>1. はい 2. いいえ</p> <p>問2 いすに座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つに○)</p> <p>1. はい 2. いいえ</p> <p>問3 15分くらい続けて歩いてみますか。(1つに○) 1. はい 2. いいえ</p> <p>問4 5m以上歩けますか。(1つに○) 1. はい 2. いいえ</p> <p>問5 週に1回以上は外出していますか。(1つに○) 1. はい 2. いいえ</p> <p>問6 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つに○)</p> <p>1. はい 2. いいえ</p> <p>問7 外出を控えていますか。(1つに○)</p> <p>1. はい ⇒問7-1へ 2. いいえ ⇒問8へ</p> <p>問7-1 (外出を控えている方のみ) 外出を控えている理由は、次のどれですか。(いくつでも○)</p> <p>1. 病 気 6. 目の障害 2. 障害(脳卒中の後遺症など) 7. 外での楽しみがない 3. 足腰などの痛み 8. 経済的に出られない 4. トイレの心配(失禁など) 9. 交通手段がない 5. 耳の障害(聞こえの問題など) 10. その他 []</p> <p>問8 買物や散歩で外出する頻度はどのくらいですか。(買物・散歩それぞれあてはまる番号1つに○)</p> <p>買物…1. ほぼ毎日 2. 週4～5日 3. 週2～3日 4. 週1日 5. 週1日未満 散歩…1. ほぼ毎日 2. 週4～5日 3. 週2～3日 4. 週1日 5. 週1日未満</p> <p>問9 外出する際の移動手段は何ですか。(いくつでも○)</p> <p>1. 徒 歩 6. 電 車 10. 電動車いす(カート) 2. 自転車 7. 路線バス(はなバスを 11. 歩行者・シルバーカー 含む) 3. バイク 8. 病院や施設のバス 12. タクシー 4. 自動車(自分で運転) 8. 病院や施設のバス 13. その他 5. 自動車(人に乗せてもらう) 9. 車いす []</p>

第3 転倒予防についておたずねします
問1 この1年間に転んだことがありますか。(1つに○) 1. はい 2. いいえ
問2 転倒に対する不安は大きいですか。(1つに○) 1. はい 2. いいえ
問3 背中が丸くなってきましたか。(1つに○) 1. はい 2. いいえ
問4 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いませんか。(1つに○) 1. はい 2. いいえ
問5 杖(つえ)を使っていますか。(1つに○) 1. はい 2. いいえ

第4 口腔・栄養についておたずねします
問1 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(1つに○) 1. はい 2. いいえ
問2 身長・体重を教えてください。(それぞれ右詰で数字を記入してください。例えば、体重が62 kgの場合、 <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="6"/> <input type="text" value="2"/>) 身長 <input type="text" value=""/> <input type="text" value=""/> <input type="text" value=""/> cm 体重 <input type="text" value=""/> <input type="text" value=""/> <input type="text" value=""/> kg
問3 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1つに○) 1. はい 2. いいえ
問4 お茶や汁物等でむせることがありますか。(1つに○) 1. はい 2. いいえ
問5 口の渇きが気になりますか。(1つに○) 1. はい 2. いいえ
問6 歯磨き(人にやってももらう場合も含む)を毎日していますか。(1つに○) 1. はい 2. いいえ
問7 定期的に歯科受診(健診を含む)をしていますか。(1つに○) 1. はい 2. いいえ
問8 入れ歯を使用していますか。(1つに○) 1. はい ⇒問8-1, 2へ 2. いいえ ⇒問9へ
問8-1 (入れ歯のある方のみ) 噛み合わせは良いですか。(1つに○) 1. はい 2. いいえ
問8-2 (入れ歯のある方のみ) 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(1つに○) 1. はい 2. いいえ
問9 1日の食事の回数は何回ですか(1つに○) 1. 朝昼晩の3食 3. 朝昼の2食 5. 1食 2. 朝晩の2食 4. 昼晩の2食 6. その他〔 〕

問10 食事を抜くことがありますか。(1つに○) 1. 毎日ある 3. 月に何度かある 2. 週に何度かある 4. ほとんどない
問11 自分一人だけでなく、どなたかと食事をともにする機会はありますか。(1つに○) 1. 毎日ある 3. 月に何度かある 2. 週に何度かある 4. 年に何度かある ⇒問11-1へ 5. ほとんどない ⇒第5へ
問11-1 (どなたかと食事をともにする機会がある方のみ) 食事をともにする人はどなたですか。(いくつでも○) 1. 家族 3. デイサービスの間 2. 近所の人や友人 4. その他〔 〕

第5 物忘れについておたずねします
問1 周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあると聞かれますか。(1つに○) 1. はい 2. いいえ
問2 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(1つに○) 1. はい 2. いいえ
問3 今日が何月何日かわからないときがありますか。(1つに○) 1. はい 2. いいえ
問4 5分前のことが思い出せませんか。(1つに○) 1. はい 2. いいえ
問5 その日の活動(食事をする、衣服を選ぶなど)を自分で判断できますか。(1つに○) 1. 困難なくできる 3. 判断するときに、他人からの合図や見守りが必要 2. いくらか困難であるが、できる 4. ほとんど判断できない
問6 人に自分の考えをうまく伝えられますか。(1つに○) 1. 伝えられる 3. あまり伝えられない 2. いくらか困難であるが、伝えられる 4. ほとんど伝えられない

第6 日常生活についておたずねします	
問1 バスや電車、又は自家用車で一人で外出していますか。(1つに○)	1. できるし、している 2. できるけれどしていいない 3. できない
問2 日用品の買物をしていますか。(1つに○)	1. できるし、している ⇒問3△ 2. できるけれどしていいない } ⇒問2-1△ 3. できない
問2-1 (日用品の買物をしていない、できない方のみ) 日用品の買物をする人は主にどなたですか。(1つに○)	1. 同居の家族 3. 介護サービスのヘルパー 5. その他 2. 別居の家族 4. 配達を依頼 []
問3 自分で食事の用意をしていますか。(1つに○)	1. できるし、している ⇒問4△ 2. できるけれどしていいない } ⇒問3-1△ 3. できない
問3-1 (自分で食事の用意をしていない、できない方のみ) 食事の用意をする人は主にどなたですか。(1つに○)	1. 同居の家族 3. 介護サービスのヘルパー 5. その他 2. 別居の家族 4. 配食サービスを利用 []
問4 請求書の支払いをしていますか。(1つに○)	1. できるし、している 2. できるけれどしていいない 3. できない
問5 預貯金の出し入れをしていますか。(1つに○)	1. できるし、している 2. できるけれどしていいない 3. できない
問6 食事は自分で食べられますか。(1つに○)	1. できる 3. できない 2. 一部介助 (おかずを切ってもらうなど) があればできる
問7 寝床に入るとき、何らかの介助を受けますか。(1つに○)	1. 受けない 2. 一部介助があればできる 3. 全面的な介助が必要
問8 座っていることができますか。(1つに○)	1. できる 2. 支えが必要 3. できない
問9 自分で洗面や歯磨きができますか。(1つに○)	1. できる 2. 一部介助があればできる 3. できない
問10 自分でトイレができますか。(1つに○)	1. できる 3. できない 2. 一部介助 (他人に支えてもらうなど) があればできる
問11 自分で入浴ができますか。(1つに○)	1. できる 3. できない 2. 一部介助 (他人に支えてもらうなど) があればできる
問12 50m以上歩けますか。(1つに○)	1. できる 3. できない 2. 一部介助 (他人に支えてもらうなど) があればできる

問13 階段を昇り降りできますか。(1つに○)	1. できる 2. 介助があればできる 3. できない
問14 自分で着替えができますか。(1つに○)	1. できる 2. 介助があればできる 3. できない
問15 大便の失敗がありますか。(1つに○)	1. な い 2. とまどきある 3. よくある
問16 尿もれや尿失禁がありますか。(1つに○)	1. な い 2. とまどきある 3. よくある
問17 家事全般ができていますか。(1つに○)	1. できている 2. できていない

第7 社会参加についておたずねします

問1 年金などの書類 (市役所や病院などに出す書類) が書けますか。(1つに○)	1. は い 2. いいえ
問2 新聞を読んでいますか。(1つに○)	1. は い 2. いいえ
問3 本や雑誌を読んでいますか。(1つに○)	1. は い 2. いいえ
問4 健康についての記事や番組に関心がありますか。(1つに○)	1. は い 2. いいえ
問5 友人の家を訪ねていますか。(1つに○)	1. は い 2. いいえ
問6 家族や友人の相談にのっていますか。(1つに○)	1. は い 2. いいえ
問7 病人を見舞うことができますか。(1つに○)	1. は い 2. いいえ
問8 若い人に自分から話しかけることがありますか。(1つに○)	1. は い 2. いいえ
問9 趣味はありますか。(1つに○)	1. は い 2. いいえ
問10 生きがいがありますか。(1つに○)	1. は い 2. いいえ

問 11	以下のような会・グループ等の活動にどのくらいの頻度で参加していますか。
(1)	ボランティアのグループ (1つに○)
1.	週4回以上 5. 年に数回
2.	週2～3回 6. 参加していない
(2)	スポーツ関係のグループやクラブ (1つに○)
1.	週4回以上 5. 年に数回
2.	週2～3回 6. 参加していない
(3)	趣味関係のグループ (1つに○)
1.	週4回以上 5. 年に数回
2.	週2～3回 6. 参加していない
(4)	高齢者クラブ (1つに○)
1.	週4回以上 5. 年に数回
2.	週2～3回 6. 参加していない
(5)	町内会・自治会 (1つに○)
1.	週4回以上 5. 年に数回
2.	週2～3回 6. 参加していない
(6)	学習・教養サークル (1つに○)
1.	週4回以上 5. 年に数回
2.	週2～3回 6. 参加していない
(7)	その他の団体や会 (1つに○)
1.	週4回以上 5. 年に数回
2.	週2～3回 6. 参加していない
問 12	以下のような活動(社会参加活動や仕事)をどのくらいの頻度でしていますか。
(1)	見守りが必要な高齢者を支援する活動 (1つに○)
1.	週4回以上 5. 年に数回
2.	週2～3回 6. していない
(2)	介護が必要な高齢者を支援する活動 (1つに○)
1.	週4回以上 5. 年に数回
2.	週2～3回 6. していない
(3)	子どもを育てている親を支援する活動 (1つに○)
1.	週4回以上 5. 年に数回
2.	週2～3回 6. していない
(4)	地域の生活環境の改善(美化)活動 (1つに○)
1.	週4回以上 5. 年に数回
2.	週2～3回 6. していない
(5)	収入のある仕事 (1つに○)
1.	週4回以上 5. 年に数回
2.	週2～3回 6. していない

問 13	あなたと周りの人の「たすけあい」についておたずねします。あてはまる人がいない場合は、「8. そのような人はいない」に○をつけてください。
(1)	あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人はどなたですか。(いくつでも○)
1.	配偶者 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 7. その他
2.	同居の子ども 5. 近 隣 ()
3.	別居の子ども 6. 友 人 8. そのような人はいない
(2)	反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人はどなたですか。(いくつでも○)
1.	配偶者 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 7. その他
2.	同居の子ども 5. 近 隣 ()
3.	別居の子ども 6. 友 人 8. そのような人はいない
(3)	あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はどなたですか。(いくつでも○)
1.	配偶者 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 7. その他
2.	同居の子ども 5. 近 隣 ()
3.	別居の子ども 6. 友 人 8. そのような人はいない
(4)	反対に、看病や世話をしてあげる人はどなたですか。(いくつでも○)
1.	配偶者 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 7. その他
2.	同居の子ども 5. 近 隣 ()
3.	別居の子ども 6. 友 人 8. そのような人はいない
問 14	家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(いくつでも○)
1.	町内会・自治会、高齢者クラブ 5. 地域包括支援センター・市役所
2.	社会福祉協議会、民生委員 6. その他
3.	ケアマネジャー ()
4.	医師・歯科医師・看護師 7. そのような人はいない
問 15	友人関係についておたずねします。
(1)	友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(1つに○)
1.	週4回以上 3. 週1回 5. 年に数回
2.	週2～3回 4. 月1～3回 6. 会っていない
(2)	この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人に何度会っても1人として数えてください。(1つに○)
1.	0人(いない) 3. 3～5人 5. 10人以上
2.	1～2人 4. 6～9人
(3)	よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも○)
1.	近所・同じ地域の人 5. 趣味や関心が同じ友人
2.	初なじみ 6. ボランティア等の活動での友人
3.	学生時代の友人 7. その他()
4.	仕事での同僚・元同僚 8. いない

第8 健康についておたずねします
問1 ふたん、ご自分で健康だと思いますか。(1つに○) 1. とても健康である 2. まあまあ健康である 3. あまり健康でない 4. 健康でない
問2 現在治療中、または後遺症のある病気がありますか。(いくつでも○) 1. 高血圧 2. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) 3. 心臓病 4. 糖尿病 5. 高脂血症 (脂質異常) 6. 呼吸器の病気 (肺炎・気管支炎等) 7. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 8. 腎臓・前立腺の病気 9. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症・関節症等) [] 10. 外傷 (転倒・骨折等) 19. な い
問3 現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいきますか。(1つに○) 1. 1種類 2. 2種類 3. 3種類 4. 4種類 5. 5種類以上 6. 飲んでいない
問4 現在、病院・診療所 (医院、クリニック等)に通院していきますか。(1つに○) 1. はい ⇒問4-1、2へ 2. いいえ ⇒問5へ
問4-1 (通院している方のみ) 通院の回数は次のどれですか。(1つに○) 1. 週1回以上 2. 月1回程度 3. 月1回程度 4. 2か月に1回程度 5. 3か月に1回程度
問4-2 (通院している方のみ) 通院に介助が必要ですか。(1つに○) 1. はい 2. いいえ
問5 現在、以下の在宅サービスを利用していますか。(いくつでも○) 1. 訪問診療 (医師の訪問) 2. 訪問介護 3. 訪問看護 (医師の訪問) 4. 訪問入浴介護 5. 訪問看護 (居宅療養管理指導) 6. 訪問リハビリテーション 7. 通所介護 (デイサービス) [] 8. 認知症対応型通所介護 9. 通所リハビリテーション (デイケア) 10. 小規模多機能型居宅介護 11. 短期入所 (ショートステイ) 12. 医師や薬剤師などによる療養上の指導 13. その他 14. 利用していない
問6 お酒は飲みますか。(1つに○) 1. ほぼ毎日飲む 2. 時々飲む 3. ほとんど飲まない 4. ちとと飲まない
問7 タバコは吸っていますか。(1つに○) 1. ほぼ毎日吸っている 2. 時々吸っている 3. 吸っていたがやめた 4. ちとと吸っていない

問8 (ここ2週間) 毎日の生活に充実感がない。(1つに○) 1. はい 2. いいえ
問9 (ここ2週間) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった。(1つに○) 1. はい 2. いいえ
問10 (ここ2週間) 以前は楽しんでできていたことが、今ではおっくうに感じられる。(1つに○) 1. はい 2. いいえ
問11 (ここ2週間) 自分が役に立つ人間だと思えない。(1つに○) 1. はい 2. いいえ
問12 (ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする。(1つに○) 1. はい 2. いいえ
問13 最後に、市の高齢者保健福祉サービスや介護保険制度について、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

調査にご協力いただき誠にありがとうございました。

記入もれがないかどうかもう一度お確かめのうえ、同封の返信用封筒 (切手は不要) に入れて、**2月24日(月)まで**にお近くのポストに投函してください。

**西東京市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第6期）
策定のためのアンケート調査報告書**

平成26年3月発行

発行 西東京市

編集 西東京市福祉部高齢者支援課

〒202-8555 東京都西東京市中町1丁目5番1号（保谷庁舎）

☎042-464-1311（代表）

西東京市のホームページ <http://www.city.nishitokyo.lg.jp>
